



コーパス調査に基づく現代日本語における非和語系 語彙の用法解明と日本語教育への応用

鄧, 琪

(Degree)

博士 (学術)

(Date of Degree)

2022-03-25

(Date of Publication)

2023-03-01

(Resource Type)

doctoral thesis

(Report Number)

甲第8235号

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/D1008235>

※ 当コンテンツは神戸大学の学術成果です。無断複製・不正使用等を禁じます。著作権法で認められている範囲内で、適切にご利用ください。



博士論文

コーパス調査に基づく現代日本語における非和語系語彙の
用法解明と日本語教育への応用

2022 年 1 月

神戸大学大学院国際文化学研究科

鄧 琪

コーパス調査に基づく現代日本語における非和語系語彙の 用法解明と日本語教育への応用

所 属 専 攻・コース:グローバル文化・外国語教育コンテンツ論
氏 名:鄧 琪
指 導 教 員 氏 名:石川 慎一郎

目次

第 I 部 研究の枠組み	1
第 1 章 はじめに	1
1.1 はじめに	1
1.2 現代日本語における非和語系語彙の重要性	4
1.3 日本語教育における非和語系語彙の重要性	5
1.4 本論文で扱う問題の範囲	6
1.5 本論文の位置づけ・目的・構成	8
第 2 章 研究対象としての非和語系語彙	10
2.1 非和語系語彙の定義	10
2.2 現代日本語における非和語系語彙の位置づけ	16
2.3 日本語教育学における非和語系語彙の位置づけ	17
2.4 非和語系語彙研究の現状	23
2.5 まとめ	26
第 3 章 先行研究	27
3.1 重要語抽出という観点から見た非和語系語彙研究	27
3.2 統語論的観点から見た非和語系語彙研究	36
3.3 意味論的観点から見た非和語系語彙研究	40
3.4 形態論的観点から見た非和語系語彙研究	49
3.5 語用論的観点から見た非和語系語彙研究	58
3.6 日本語教育学という観点から見た非和語系語彙研究	63
3.7 先行研究のまとめ	71
第 4 章 リサーチデザイン	73
4.1 使用するデータ	73

4.2 使用する統計手法.....	92
4.3 まとめ	95
第Ⅱ部 非和語系語彙の言語特性の解明.....	97
第5章 使用実態:コーパスに基づく重要語彙の抽出.....	97
5.1 はじめに	97
5.2 リサーチデザインと手法	98
5.3 結果と考察.....	101
5.4 まとめ	106
第6章 統語論的特性:体言接続の問題(1)	107
6.1 はじめに.....	108
6.2 リサーチデザインと手法.....	111
6.3 結果と考察.....	113
6.4 まとめ	142
第7章 統語論的特性:体言接続の問題(2)	145
7.1 はじめに.....	145
7.2 リサーチデザインと手法	147
7.3 結果と考察	153
7.4 まとめ	164
第8章 意味論的特性:類義漢語・外来語の使い分けの問題	166
8.1 はじめに	166
8.2 リサーチデザインと手法	169
8.3 結果と考察	172
8.4 まとめ	183
第9章 形態論的特性:表記ゆれの問題	186
9.1 はじめに	186
9.2 リサーチデザインと手法	188
9.3 結果と考察.....	198
9.4 まとめ.....	222
第10章 語用論的特性:産出モード・産出環境の影響.....	224
10.1 はじめに	224

10.2 リサーチデザインと手法	224
10.3 結果と考察	228
10.4 まとめ	254
第Ⅲ部 中国語を母語とする日本語学習者のための非和語系語彙指導	256
第11章 使用実態の横断調査	256
11.1 はじめに	256
11.2 リサーチデザインと手法	258
11.3 結果と考察	263
11.4 まとめ	283
第12章 使用実態の縦断調査	286
12.1 はじめに	286
12.2 リサーチデザインと手法	286
12.3 結果と考察	292
12.4 まとめ	320
第13章 指導シートの開発	322
13.1 はじめに	322
13.2 開発方針	322
13.3 教師および上級学習者のコメント	330
13.4 シートの改善	336
13.5 まとめ	344
第Ⅳ部 まとめ	345
第14章 本研究で得られた知見および制約と課題	345
14.1 本論文で得られた知見	345
14.2 本論文の課題と今後の方向性	348
参考文献	351
付録	360
付録1 「重要漢語語彙リスト」	360
付録2 「重要外来語語彙リスト」	372
付録3 学習シート1(初版)	382
タスクシート	382

参考シート	385
付録 4 学習シート 1(改善版)	387
タスクシート	387
参考シート	389
付録 5 学習シート 2(初版)	391
タスクシート	391
参考シート	394
付録 6 学習シート 2(改善版)	396
タスクシート	396
参考シート	400
付録 7 学習シート 3(初版)	402
タスクシート	402
参考シート	407
付録 8 学習シート 3(改善版)	409
タスクシート	409
参考シート	414
謝辞	417

第Ⅰ部 研究の枠組み

第1章 はじめに

1.1 はじめに

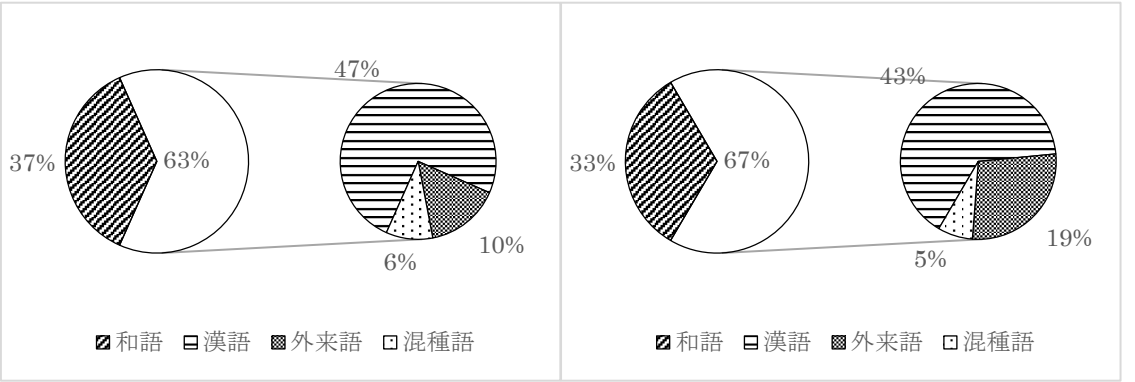
日本語の語彙は、もとから日本語にあった成分と、他の言語から借用した外来成分が存在する。これを区別するため、個々の単語を言語的出自によって分類し、分類された個々の種別を「語種」と呼ぶ。こうして日本語では、和語・漢語・外来語・混種語という4種の語種が区分される。『日本語学大辞典』によれば、これら4種の語種の定義および関係はそれぞれ以下の表1ようになる。

表1 『日本語学大辞典』における4種の語種の定義および関係

語種	定義	成分種類	成分由来		標準表記
和語	日本列島の主として西域に古来からある言語, 日本語に固有の語で倭語とも称する	単種	固有成分		ひらがな・漢字
漢語	中国から借用した語。広義には, それにならって日本で作った音読みの語(和製漢語)を含む		非固有成分	漢字音成分によるもの	漢字
外来語	外国語から借用されて日本語の語彙の一員として使用されるようになった語			漢字音成分によらないもの	カタカナ
混種語	上記の 3 種の組み合わせである語	複種			

日本語研究においては、従来、これらの語種の比率についての研究が進められており、たとえば、図1と図2のような結果が報告されている。

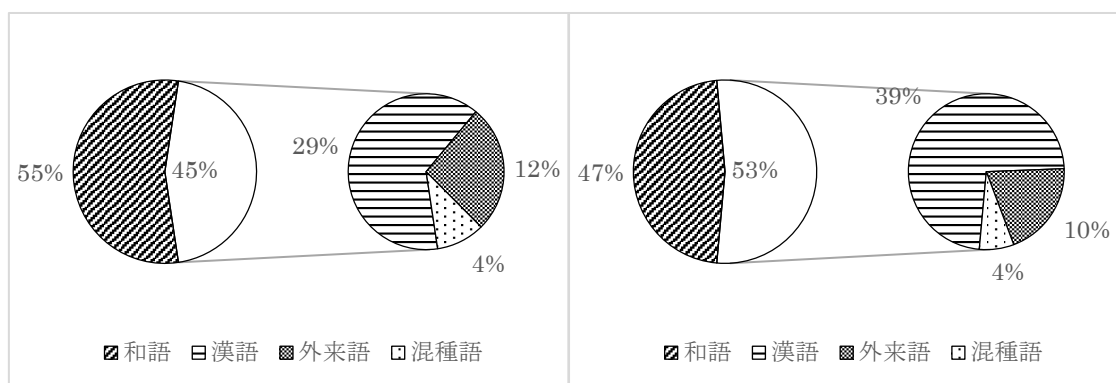
図1 雑誌調査(1962)における語種別異なり語数(%) 図2 「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)における語種別異なり語数(%)



これらのデータを見るとわかるように、日本語の語彙は必ずしも和語に偏ったものではなく、異なり語数を根拠にすれば、むしろ漢語・外来語・混種語といった「非和語系語彙」のほうがより大きな割合を占めていることがわかる。

では、このような現代日本語における語彙の比率というのは日本語教育においても正しく反映されているのであろうか。以下は、世界の日本語教育の現場で幅広く使用されている『みんなの日本語』の初級Ⅰ・初級Ⅱの2冊の巻末語彙リストを筆者が語種別に分類した結果である。

図3 『みんなの日本語』の初級Ⅰの巻末語彙リストにおける語種別異なり語数(%) 図4 『みんなの日本語』の初級Ⅱの巻末語彙リストにおける語種別異なり語数(%)



上記の結果から明らかなように、現代日本語は漢語・外来語・混種語といった「非和語系語彙」に偏っている一方、日本語教育では和語への偏りが見られる。すなわち、現代日本語の実際の言語使用と日本語教育の間で出現する語種の比率にずれがあることが示された。

もっとも、世界の日本語学習者の大部分を占める中国語を母語とする日本語学習者(以下、CLJ: Chinese learners of Japanese と呼ぶ)について言えば、日本語の漢語は母語の知識で対応が可能であるため、語彙指導を和語中心にすることは妥当であるという考え方も存在する。しかしながら、CLJ の漢語習得は本当に問題ないのであろうか。以下は、上海交通大学が編纂された「日本語学習者書き言葉コーパス」(日语学习者书面语料库)におけるCLJの作文の一例である。「日本語学習者書き言葉コーパス」は、中国国内の大学で日本語を専門とした日本語学習者の作文コーパスの1つである。具体的には第4章第1節を参照されたい。なお、以下の修正はコーパスに示されたものである。

(1) 私は7歳の時、小学(→小学校)に入りました。(作文番号:j0002)

(2) 国慶節は中国全民(→全国民)の節日(→祝日)です。(作文番号:j0012)

上記の例から、CLJ は中国語の語彙と日本語における漢語語彙の区別を行わず、母語にある表現をすべてそのままの形で日本語として不適切な形で使用してしまう傾向があることが明らかになった。このことは、母語の知識が利用できる CLJ であっても、日本語の漢語がときとして大きな習得の問題になりうることを示している。

また、外来語についてはさらに問題が大きいと言わなければならない。日本語における外来語は、開音節化などの独自の音韻的変化が起こり、必ずしも原語における発音を正しく記録していない。以下は、先に引用した同じ学習者コーパスの誤用例である。

(3) あるショッピングモー(→ショッピングモール)はこの間の売り上げが全体の半分以上も占めている。(作文番号:j0022)

(4) チケット(→チケツ)はもう売り切れそうだ。(作文番号:j0038)

上記のように、日本語独自の音韻的変化がわからない場合(「モール」のように開音節化により「ル」をつけたり、あるいは「チケツ」のように促音をつけたりするなど)、CLJ は原語の発音知識があっても、むしろ原語の発音知識があればあるほど外来語の理解が困難になっていると思われる。

また、これらを組み合わさった混種語についても同様な問題が見られる。

(5) 友だちと1 kmも歩いて、ヤットバステ(→バス停)が見つかった。(作文番号:j0018)

以上で見てきたように、CLJ は、日本語の漢語・外来語・混種語の使用に少なからず問題を抱えていると言える。こうした学習者に対する日本語の語彙指導の望ましいありかたを考えるうえでは、これまで軽視してきた漢語・外来語・混種語、すなわち「非和語系語彙」の言語学的特性について、綿密な調査を行い、その言語的ふるまいを正確に特定したうえで、学習者が理解しやすい形で教材として提示していくことがきわめて重要であると考えられる。以上の基本的論点に立ち、本研究では「非和語系語彙」に焦点を絞り、その特性を解明し、学習者の抱える問題点を明らかにし、さらには学習者の問題点を解消する新しい非和語系語彙の教材および指導システムの開発を行っていくこととする。

なお、広義の「非和語系語彙」のうち、混種語の一部分は和語がその構成成分となっていること

から、本研究では混種語は調査の対象から外し、漢語と外来語の 2 種を持って「非和語系語彙」と呼ぶことにする。

以下、本章の第 2 節においては、現代日本語の語彙における本稿が定義する「非和語系語彙」の重要性について概観する。また、第 3 節では CLJ が念頭に置きながら、日本語教育における非和語系語彙の重要性について概観する。その後、第 4 節においては、「非和語系語彙」に関わる様々な問題のうち、本論文で扱う問題の範囲を具体的に記述する。最後に、第 5 節ではこれまでの議論をまとめ、本論文の狙いと全体構成について詳しく見る。

1.2 現代日本語における非和語系語彙の重要性

すでに述べたように、本節では現代日本語の語彙における「非和語系語彙」の重要性について概観する。はじめに、漢語は現代日本語における重要性を確認していく。

まず、漢語が日本語の語彙に占める量について、陳(2003)は日本語の語彙の中で語種として漢語がもっとも多いと述べ、野村(1999)は、漢語が各種の国語辞典や、語彙調査で異なり語数でもっとも多くの量を占め、つまり、使用される語彙の種類としては漢語が一番多いことになると述べた。このように、漢語は日本語の語彙体系を飛躍的に豊かにしたと言える(影山, 2010)。

なお、漢語が果たした役割としては、日本語の語彙数を増やしたという量的なことだけではなく、日本語に入った後も新しい単語を作るという動的造語機能(影山, 2010)や、また、細かな意味の違いを表現し分ける機能(堀畑, 2019)、改まった文章語としての文体機能なども挙げられる。

以上のように、漢語は語彙量が豊富で、また、様々な機能を果たしていることが確認された。次に、外来語の現代日本語における重要性を見ていきたい。

まず、外来語の数について、漢語のように日本語語彙の中でもっとも大きな割合を占めているわけではないものの、その数は近年大きく増加しているとされている。たとえば、クルボノーヴァ(2016)は、日本語において外来語の使用が目立って増大しており、新しい言葉が次々に出現していると述べ、専門領域でしか使われないはずの言葉が一般社会に流出し、白書・広報紙などの公的文書や多くの人を対象とする新聞・放送、国を代表する政治家のインタビューなどでも新しい外来語が使われ、勢いを増やしていると述べた。山田(2005)は、数量的に判断するかぎり、60 年代前後に日本語の中で外来語が勢力を伸ばし始めたと述べ、また、橋本(2006)も、60 年代以降に外来語が急激に増加し始めたと述べた。

こうしたような外来語の氾濫について、日本国内では批判的な見解も示されている。実際に、外来語の過剰使用はコミュニケーションの阻害要因となっているとして、外来語の言い換えを促す動

きもある(国立国語研究所「外来語」委員会, 2006 など)。しかしながら, 言い換えの試みは多くの場合うまくいっていない。

では, なぜ外来語の言い換えはうまくいかないのでしょうか。外来語の存在理由について, たとえば, 石綿(1985)は, 外来語表現を使うには 7 つの動機があり, それは新しい事物や考え方の表現, 新しい漢字の表現, 今までのものと相違する表現, 専門家時代の専門語, 国際化時代の影響, 婉曲表現, 言語構造に由来するもの, などであると述べた。また, 戸田(1993)は, 外来語は名詞が圧倒的多数を占め, しかも日本語の音韻体系及び文法構造の許容範囲内で使用され, そして, 海外からの新しい事物や概念を名付け, 新しい概念の説明, 新しい感覚の創出などの点で必要であると述べた。宮田他(2006)は外来語が新しいものや概念の導入に伴って使われ始めることが多いが, すでに類義の漢語・和語の存在にもかかわらず多用される原因として, ただ新奇さを求めて使われているだけでなく, 一定の棲み分けがあり, 単純に置き換えることができないことが挙げられると述べた。このように, 新奇性に加え, タブーや詳細を避ける「曖昧化」「ソフト化」や「自由さ」などが, 外来語が重宝される大きな理由となっている(望月, 2012)。

以上で述べたように, 漢語と外来語はともに日本語の語彙の中で重要な位置を占め, 他の語彙で容易に置き換えることができない役割を持っていると言える。

1.3 日本語教育における非和語系語彙の重要性

上記では, 現代日本語の語彙における本稿が定義する「非和語系語彙」の重要性について概観した。本節では, CLJ に注目し, 日本語教育における非和語系語彙の重要性について概観していく。

はじめに, 漢語の問題について考えてみよう。一般に, CLJ は漢語習得において有利であると言われる。たとえば, 玉岡(1997)は, 日本語と中国語の漢字の共通性が高いため, 視覚呈示課題での漢字語処理においては, CLJ が有利であると述べた。また, 陳(2003)は CLJ の漢語学習においては, 日中で字形が同じである同形語が多いため, 学習者にとって大きな助けになっていると述べた。

このように, CLJ は日本語の漢語習得において有利であることは否定できない事実である。しかしながら, このことは CLJ が日本語の漢語習得に何も問題を持たないことを意味するものではない。過去の研究で, 荒川(1979)は日本人と中国人が「基本的」に同じ漢字を使っているということは, 大きな利点にもなれば大きな「落とし穴」にもなっていると述べた。また, 陳(2007)は, CLJ が日本語の文字, 語彙を母語の中国語の形, 音, 義のスキーマを生かしながら認知し, 母語と目標言語

の発音、意味、用法などの相似性や相違性に目をむけて学んでいくことは他の学習者にはない優位性をもつが、教師などが否定的証拠(「〇〇とは言わない」というようなデータ)を与えなければ、学習者の中間言語における誤りが固定化して矯正されない化石化現象が起きやすいデメリットもあると述べた。許(2011)は文脈の中で日本語の漢字熟語と意味に対応する中国語の熟語を選択させる調査を行った結果、10問のうち5問が逆となり、CLJは日本語の漢字熟語を母語のルールそのまま理解しようとする傾向が見られ、これらの学習者が日本語の漢語を勉強する際に母語干渉の影響を受けていると述べた。

続いて外来語について考えておこう。従来、CLJは外来語習得に困難を感じると主張する研究が数多く存在する。たとえば、陣内(2008)はCLJにとっては外来語の習得の困難度が他国より高く、「もっときちんと教えて欲しい」という要望を抱く学習者も他国の学習者より遥かに多いと述べた。また、田島・金(2011)では5つの中国の大学において日本語を学んでいる学習者(3,4年生)を対象にアンケート調査を行った結果、CLJのうち、69%が外来語の習得が難しいと答えたことが確認された。

以上で見たように、CLJにとって、日本語の漢語と外来語の習得はきわめて困難なものとなっている。しかしながら、日本語教育の分野においては、以下の2つの問題が存在する。1点目は、具体的にCLJが書いたり話したりする文において、どこに問題があるのか、また、どのように改善すればよいのかといったところはまだ明らかになっていないということである。2点目は、これらの語彙に対する指導は必ずしも充分ではないということである。特に外来語について言えば、学習上の困難点になることが繰り返し指摘されているものの、問題解決に必要となる基礎的情報が不足した状態にある(茂木, 2015)と指摘されている。

1.4 本論文で扱う問題の範囲

以上、1.2節および1.3節では、「非和語系語彙」が現代日本語と日本語教育における重要性を確認した。以下、「非和語系語彙」に関わるさまざまな問題に関して本研究で具体的に扱う問題の範囲を確認する。

すでに述べたように、本研究は非和語系語彙の様々な言語的ふるまいについて見ていくこととする。一般に、言語学では語や文法のふるまいについて統語論・意味論・音韻論・形態論・語用論の5観点に注目することが多い。しかしながら、非和語系語彙に限って言えば、このうち音韻論の重要性はより低いと考えられる。語の発音がもとななる外国語の語音に由来するため、非和語系語彙として独自の音韻パターンを持っているとは考えにくいからである。また、CLJのための非和語

系語彙の効果的指導を考えるという本研究の目的に照らして言えば、前述の 4 観点に加え、新たに使用重要語抽出と日本語教育の 2 つの要素を加えることが必要であろう。

以下は、本研究で取り扱う 6 つの観点と具体的に論じる研究課題を一覧した表である。

表 2 本研究の枠組み

観点	説明	本研究で取り扱う具体的な研究課題
重要語抽出	言語学および日本語教育学においてどのような語彙が重要であるかに関わる研究	コーパスに基づく重要非和語系語彙の抽出
統語論	文の内部構造を扱う分野であり、文を成り立たせるいろいろな要素について、どのような要素がどのように結合することで文を形成されるかを明らかにしようとする分野	非和語系形状詞の体言接続問題の解明 (1)「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的」・「的ナ」といった 5 種の連体標識の許容度と、それらの頻度的・ジャンルの・意味的相違の解明
		(2)類似した形式を持つ「ナ」と「ノ」の許容度調査と、2 標識の選択モデルの構築
意味論	言語表現の意味に関連のある研究分野の中、語が個々に持っている独自の意味の分析・記述を扱う分野	非和語系類義語の語義およびコロケーション比較(「停止」と「ストップ」を例に)
形態論	単語の内部構造や単語の作り方を扱う分野	非和語系語彙の表記ゆれに対する調査 (1)漢語: 仮名表記に対する調査 (2)外来語: 2 重母音「ei」における表記ゆれの調査
語用論	ことばの統語上の意味と現実の言語行動における機能との関連を探る言語学の一分野	産出モードと産出環境という 2 つの観点から、非和語系語彙の使用に及ぼす影響に対する調査
日本語教育		(1)学習者の産出に対する調査 (2)学習者のための非和語系語彙指導シートの開発および効果検証

以上、本研究は非和語系語彙のふるまいに関して伝統的な言語学の 5 分野のうち音韻論を除く 4 分野、それに加えて重要語抽出と日本語教育という 2 つの観点を組み合わせて 6 つの観点からこの問題を扱っていくこととする。また、それぞれの問題を議論する際には、具体的な課題を設定し、それを手掛かりとして考えていくこととする。

なお、本研究はこれまでの言語研究の様々な成果と密接に結びついて展開される。その中で特

に重要なものはコーパス言語学と計量言語学である。コーパス言語学と計量言語学はある種の手法のようなものであり、さまざまな分析対象に応用して使用することができるが、本研究ではこれら 2 つをうまく活用して非和語系語彙のふるまいを見ていくこととする。

1.5 本論文の位置づけ・目的・構成

筆者はこれまで日本語における外来語の問題について検討を行ってきた。鄧(2017a)では日本へ留学を希望する CLJ のための外来語指導のあり方を探るため、留学に関係する日本語テキストの読解に特に注目すべき外来語語彙の特定を行った。鄧(2017b)では国立国語研究所(2007)が提案した『『外来語』言い換え提案』の一考察として、言い換え対象とされた 176 種の外来語を取り上げ、新聞アーカイブを用い、過去 10 年間の頻度変化パターンを概観した。鄧(2018a)では、中国人日本語学習者のための外来語指導の必要性を検証するため、「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」(I-JAS)を用い、中国人学習者の外来語の使用特性について考察した。鄧(2018b)では、語末長音・連母音「ei」・「v」音・「ti」音の外来語表記に注目し、日本語母語話者と CLJ の直観データと日本語母語話者による実際の産出言語データに基づき、(1)標準表記に対して特殊表記を使用する意向はどの程度あるか、(2)特殊表記の使用意向に一貫性があるか、(3)使用意向と実際の言語使用データとはどのように関係しているかを解明した。鄧(2019a)では、朝日新聞「聞蔵 II ビジュアル」を用い、日本語外来語の新聞におけるジャンル別出現状況を調査した。また、鄧(2019b)では以上で述べた点を改めて述べることに加えて、(1)現代日本語における外来語の使用状況の解明、(2)日本語教育における外来語の扱いと CLJ による実際の外来語使用状況の解明、(3)学習すべき外来語の確定、を行った。

本論文はこうした筆者の研究の延長線上に位置づけられるものである。これまでの外来語研究のデータ分析をより一層深めるとともに、新たに漢語調査を加え、分析の対象を「非和語系語彙」に拡張させることで、日本語教育における語彙指導の問題点を明らかにし、指導の改善について具体的な指針を与えることを目指す。

上記をふまえ、本研究は(1)日本語における非和語系語彙の諸相の科学的な解明、(2)日本語学習者による実際の非和語系語彙の使用状況の解明、(3)中国語を母語とする日本語学習者を対象とした非和語系語彙指導シートの開発、の 3 点を目的とする。なお、本研究は日本語学習者の中で、もっとも数の多い CLJ を直接の研究対象とするが、本研究で得られた知見の一部は、世界の日本語学習者にも適用可能なものであると考える。

この目的に従い、本論文は以下のような構成を取る。

まず、第Ⅰ部「研究の枠組み」では、本研究の枠組みについて説明する。第 1 章「はじめに」では、日本語における非和語系語彙の重要性、また、日本語教育における非和語系語彙の研究の重要性を確認し、本研究の目的と構成を説明する。

第 2 章「研究対象としての非和語系語彙」では、(1) 非和語系語彙の定義、(2) 現代日本語における非和語系語彙の位置づけ、(3) 日本語教育における非和語系語彙の位置づけ、(4) 非和語系語彙研究の現状という 4 つの観点から研究対象としての非和語系語彙を概観する。

第 3 章「先行研究」では、これまでの非和語系語彙研究を、本研究が立てた 6 つの具体的な研究課題に即して詳しく見ることとする。具体的には、(1) 重要語抽出・(2) 統語論・(3) 意味論・(4) 形態論・(5) 語用論・(6) 日本語教育という 6 観点から見た非和語系語彙研究を概観する。

第 4 章「リサーチデザイン」では、本論文で使用したデータおよび統計手法について概説する。

次に、第Ⅱ部「非和語系語彙の言語特性の解明」では、日本語における非和語系語彙の特性を言語学的観点から調査する。これらの調査においては、観点ごとにそれぞれ 1 つのリサーチトピックを設定し、そのトピックに絡めて非和語系語彙の言語特性を科学的に概観していくこととする。具体的には、第 5 章で非和語系語彙の重要語の抽出を行う。第 6 章と第 7 章では統語論的特性に関して、「非和語系形状詞の体言接続」の問を取り上げる。第 8 章では意味論的特性に関して「類義語の語義およびコロケーション」の問題を取り上げる。第 9 章では形態的特性に関して「漢語の仮名表記」および「外来語の表記ゆれ」の問題を扱う。第 10 章では語用論的特性に関して、「産出モード・産出環境の影響」の問題を検討する。

第Ⅲ部「中国語を母語とする日本語学習者のための非和語系語彙指導」では、日本語学習者による実際の非和語系語彙の使用状況の解明、および、CLJ を対象とした非和語系語彙指導シートの開発の試行を行う。具体的に、第 11 章「使用実態の横断調査」および第 12 章「使用実態の縦断調査」では、大規模な日本語学習者コーパスを利用し、様々な習熟度段階にある CLJ、あるいは各学習段階にある CLJ の非和語系語彙の使用実態を解明する。第 13 章では、CLJ を対象とした非和語系語彙指導シートの開発の試行を行う。

最後に、第Ⅳ部「まとめ」では、本論文の内容についてまとめる。第 14 章「終わりに」では、本研究のまとめ、および、本研究の制約と課題について述べる。

第 2 章 研究対象としての非和語系語彙

2.1 非和語系語彙の定義

第 1 章で述べたように、本論文は非和語系語彙の大部分を占める、すなわち漢語と外来語を研究対象として扱う。漢語、および外来語を扱った各種の先行研究を概観するのに先立ち、ここでは、「漢語」と「外来語」の定義を確認しておく。

なお、「漢語」と「外来語」というのは、一般的文脈、言語学的文脈、また、教育的文脈のいずれにおいても使用する概念である。以下では、この 2 つの概念について、(1) 一般的定義、(2) 言語学定義、(3) 教育学定義をそれぞれ確認する。具体的に調査する辞書は以下の表 1 のようになる。

表 1 調査する辞書

分野	調査する辞書
国語辞書	『三省堂国語辞典』(第 7 版・2014 年) 『新明解国語辞典』(第 7 版・2012 年) 『大辞林』(第 3 版・2006 年)
言語学辞典	『日本語学大辞典』(2018 年) 『言語学大辞典』(1996 年) 『日本語学辞典』(新版・1994 年)
日本語教育学辞典	『研究社日本語教育事典』(2012 年) 『新版日本語教育事典』(2005 年)

上記で示したように、本研究はこれら 8 種の辞書を取り上げ、それぞれに示された「漢語」と「外来語」の定義を確認する。

2.1.1 漢語の定義

ここでは、まず、前述の 8 種の辞書における漢語の定義を概観する。

表 2 8 種の辞書における漢語の定義

	辞書	定義
国語辞書	『三省堂国語辞典』 (第 7 版・2014 年)	①昔, 中国からはいつてきて日本語となった語。漢字を音読みした語。 ②中国語。
	『新明解国語辞典』 (第 7 版・2012 年)	①中国起源の字音語のうち, 文章語としては広く用いられるが, 一般の人にとってはやや改まった感じをもって受け取られるもの。 ②日本起源の字音語, および中国起源ではありながら, 社会生活に密着して久しく用いられて来た結果, 同化の程度がはなはだしく, あたかも日本起源であるかのように一般の人には受け取られている字音語。
	『大辞林』 (第 3 版・2006 年)	①日本語として使われる語のうち, 漢字音でよまれる語。また, 漢字の熟語。「火事」「大根」のように, 和語に当てた漢字を音読みした和製の漢語もある。 ②漢民族の言語。中国語。
言語学辞典	『日本語学大辞典』 (2018 年)	中国から借用した語。広義には, それにならって日本で造った音読み の語(和製漢語)を含む。…借用語の下位分類でもあるわけだが, 外来 語に比較して, その流入が始まったのが千年以上前にさかのぼり, 借 用という意識が薄れていること, さらに和製漢語や以下に述べるような 擬似漢語が多数存在することにより, 主としてヨーロッパ諸語を起源と する用語とは区別される。
	『言語学大辞典』 (1996 年)	日本では漢字で記されている中国語起源の単語を漢字といい, また, 漢字語ともいわれる。…ただ, 日本の漢語には一つの特徴がある。上 述のごとく, 漢語は日本語の教養語彙であったから, 幕末から明治にか けて日本語が西欧文化と接触したとき, その西欧文化の高度の概念を 受け入れる場合, それらの概念を表す西欧の原語をそのままとりいれ ず, 多くの場合, 2 字漢語に翻訳してとり入れた。これは翻訳借用とい われるもの, たとえば, 鉄道, 需要など多くの例が見られる。漢語は, 日 本語の中で, 文法的には名詞として扱われる。それは漢語の母体であ る中国語が孤立・無構造の言語であって, 活用や曲用をしないからで ある。したがって, 漢語はそのまま素材として日本語の中に取り入れて ても, 何の支障も起こらない。この漢語を用言化しようとするれば, 動詞の場 合はスルという動詞をつければよいし, 形容詞の場合は形容動詞(一 ダ, 一ナ)とすればよい。
	『日本語学辞典』 (新版・1994 年)	原則として, 古代中国語～近代中国からの借用語。和語・外来語(狭 義)の対。漢語は, その伝来の時期が古く, ひろく一般に用いられたた め, 今日では和語のように意識されているものもある。古く中国語から 借用された『馬, 梅, 銭, 絵』など。また, 名詞以外の品詞にも用いられ

		るのも他の借用語との大きな違いである。たとえば、『力む, 四角い, 元気だ(用言)・切に, 全然, 折角(副詞)』など。漢語の中には, 日本人によって作られ, 中国に典拠を持たないものがあるが, これらは、『和製漢語』と呼ばれ, 本来の漢語とは区別する(和製漢語と本来の漢語を総称して『字音語』ということがある)。
日 本 語 教 育 学 辞 典	『研究社日本語教育事典』 (2012 年)	中世以前に中国から入ってきて, 日本語に定着した語のこと。当初は中国語の発音と表記をそのまま取り入れたが, やがて日本語に同化した。同時の中国語の発音に倣ったものを字音あるいは音読みと言う。…中世以前に伝わった漢語は外来語とはみなされない。また, 漢語が持つ造語性を生かした日本独自の漢語(和製漢語)もある。また, 江戸時代以降, 欧米の新しい概念を導入する際に, 日本人が訳語として考えたものも多い。…但し, 漢語はもとを辿ると中国からの借用語であるが, 近代以降日本に取り入れられた「拉麺, 餃子, 麻雀」等は中国語の音をそのまま用いているため, 外来語に分類される。
	『新版日本語教育事典』 (2005 年)	漢語とは, 語種による語の分類の 1 つで, 古代から中世にかけて, 中国大陸から漢字とともに日本語に入ってきた語のことをいう。すなわち, 当時の中国語の語彙が, 発音・表記とも原語のまま導入され, やがて日本語化したものが漢語である。漢語は, 漢字で書かれ, 中国語に由来する発音で読まれる点に特徴がある。漢字の発音を漢字音あるいは字音と呼ぶことから, 漢語を字音語ということもある。日本語の語彙には, 中国語から取り入れた本来の漢語のほかに, 日本で独自に漢字を組み合わせつくった大量の和製漢語が存在する。それらのなかには, 「大根, 返事」のように和語の「おほね, かえりごと」を漢字表記したものが, 音読みされて(すなわち字音で読まれて)生まれたものもある。また, 江戸時代以降には欧米から外来語の概念を導入する際に, 中国語の古語をその訳語として利用したり, 新たに日本人が訳語を造語したりしてできたものもある。字音語は, 本来の漢語に対して, これらを含めた総称として用いるのに便利な用語である。なお, 「阿弥陀, 娑婆, 檀那」のような中国で音訳された梵語(サンスクリット語)は, 広い意味での漢語に含めるのが普通である。

以上で示したように, 一般的定義, 日本語学的定義, 日本語教育学定義の 3 種類の定義を確認したところ, 細かな点で違いが認められるが, その主張の大部分は相互に重なっていると考えられる。各辞書の述べるところの最大公約数をとりつつ, 本研究では「漢語」を以下のように定義する。

「漢語」とは、中国語に由来し、漢字で書かれ、漢字音でよまれる語のことである。また、日本で独自に漢字を組み合わせて作った和製漢語や、近代において欧米からの概念を導入する際に造語された和製漢語も「漢語」に含める。ただし、古い中国から借用したが、すでに和語化したものは「漢語」から除外する。

2.1.2 外来語の定義

以上 2.1.1 節では、本研究の研究対象の一部となる「漢語」の定義を確認した。以下、同じく本研究の研究対象となる「外来語」の定義を確認していく。8 種類の辞書における「外来語」の定義は以下の表 3 のようになる。

表 3 8 種の辞書における外来語の定義

	辞書	定義
国 語 辞 典	『三省堂国語辞典』 (第 7 版・2014 年)	もと外国語だったものが、日本語の中にとり入れられたことば。おもに欧米から直接つたわったことばに言う。ふつう、カタカナで書く。
	『新明解国語辞典』 (第 7 版・2012 年)	もと、外国語だったものが、国語の中に取り入れられた言葉。「借用語」とも。
	『大辞林』 (第 3 版・2006 年)	他の言語より借り入れられ、日本語と同様に日常的に使われるようになった語。「ガラス」「ノート」「パン」「アルコール」の類。広くは漢語も外来語であるが、普通は漢語以外の主として西欧語からはいつてきた語をいう。片仮名で書かれることが多いので「カタカナ語」などともいう。伝来語。
言 語 学 辞 典	『日本語学大辞典』 (2018 年)	外国語から借用されて日本語の語彙の一員として使用されるようになった語を外来語という。外来語は外国語の語形を受け継ぐ。…古く中国語から借用された語は漢語と呼ばれて外来語と区別される。外来語は西洋の諸言語からはいったものを指すので洋語と呼ぶこともある。近代以降の中国音ではいった中国語も外来語のなかに入れることが多い。
	『言語学大辞典』 (1996 年)	(日本の)慣用としての外来語とは、ヨーロッパと日本が接触をもって以来の、古くはポルトガル語やオランダ語その他、いわゆる南蛮人のことばから受け入れたものから、明治以降、現代に至る欧米からの大量の借用語 (loan word) に限られ、漢語は省かれることになる。
	『日本語学辞典』 (新版・1994 年)	発生的には外国語であるが、音訳され、その国の音韻体系に組み込まれて、語形・意味・発音・表記の点でその国の国語の体系に帰化した語。日本語一般と差別すべきものではない。外来語は①意味が言語よりはるかに拡張また縮小され、あるいは変化する。②表記上、その国の文字体

		系によるため、かなり異質化する。日本語は漢字あるいは片仮名表記を標準的とする。③音韻が変質する。日本語の場合は開音節になったり、逆に本来ない拗音や促音など外来音が新しく日本語の音韻に加わることもある。その出自から大きく二分される。すなわち①欧米語からと②東洋語からである。また原語の文化・科学など詩的背景により、時代とも関連して、内容的にはそれらの語籍はオランダ語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・ロシア語・ポルトガル語・スペイン語などとなる。また、後者は中国語・梵語(古代インド語)・朝鮮語・アイヌ語・その他東南アジアの諸語などとなる。
日 本 語 教 育 学 辞 典	『研究社日本語教育事典』 (2012 年)	漢語を除き、外国語そのまま日本語として使用している語のこと。近世以降、主に欧米の諸言語から新たな事物や概念として取り入れられたもので、カタカナで表記されることが多い。
	『新版日本語教育事典』 (2005 年)	外来語とは、語種による語の分類の 1 つで、室町時代末期以降、主として欧米諸言語から日本語に入ってきた語のことをいう。欧米諸言語がその大半を占めることから、洋語と呼ぶこともある。また、カタカナで表記することから、最近ではカタカナ語と呼ぶことも多い。ただし、これらが指し示す内容にはずれがあり、完全に重なる概念ではない。

以上、8 種類の辞書における外来語の定義を確認したところ、以下の表 4 のような共通点と相違点が挙げられる。

表 4 8 種類の辞書における外来語の共通点と相違点

共通点	(1) 欧米からの借用語。(2) 主にカタカナで表記する。
相違点	(1) 漢語が含まれるかどうか。 含まれる:『新明解国語辞典』・『大辞林』・『日本語学辞典』 含まれない:『三省堂国語辞典』・『言語学大辞典』・『新版日本語教育事典』・『日本語教育事典』 言及していない:『現代言語学辞典』 (2) 導入の時期がいつか。 ヨーロッパと日本が接触をもって以来:『言語学大辞典』 室町時代末期以降:『新版日本語教育事典』 言及していない:『三省堂国語辞典』・『新明解国語辞典』・『大辞林』・『日本語学大辞典』・『日本語学辞典』・『研究社日本語教育事典』

なお、本研究は上記の相違点について、『日本語教育事典』の観点を援用し、いわゆる「漢語」

は「外来語」として認めないが、近代音による中国語を「外来語」として扱う。そこで、本研究は「外来語」について以下のように定義する。

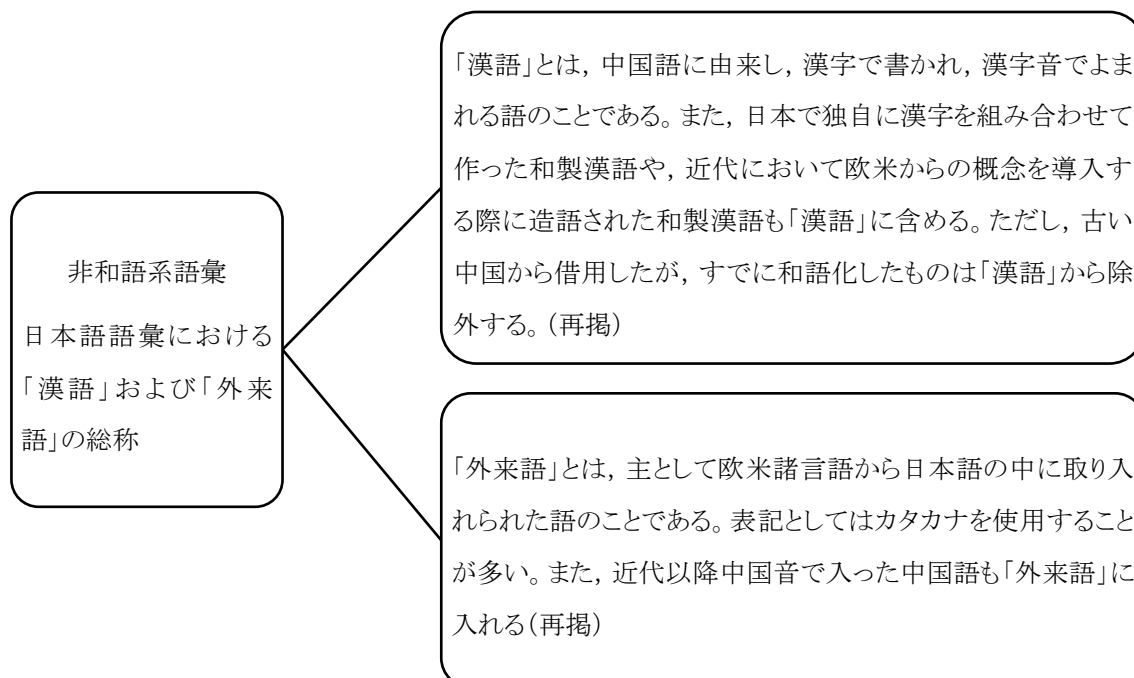
「外来語」とは、主として欧米諸言語から日本語の中に取り入れられた語のことである。表記としてはカタカナを使用することが多い。また、近代以降中国音で入った中国語も「外来語」に入る。

2.1.3 非和語系語彙の定義

すでに 1 章で述べたように、広義の非和語系語彙には漢語・外来語・混種語の 3 つが含まれるわけであるが、混種語の多くは和語を内包するものであることから、本研究では混種語を除き、外来語と漢語のみを「非和語系語彙」と称する。

また、すでに 2.1.1 節および 2.1.2 節で述べた内容をまとめると、本研究における非和語系語彙は以下のように定義される。

図 1 非和語系語彙の定義



以上 2.1 節においては、一般辞書・言語学辞典・教育学辞典における本研究の研究対象としての「非和語系語彙」の定義を確認した。以下、2.2 節では現代日本語における非和語系語彙の位置づけ、2.3 節では日本語教育学における非和語系語彙の位置づけ、最後に、2.4 節では非和語

系語彙の研究の現状について概説する。

2.2 現代日本語における非和語系語彙の位置づけ

これまで述べてきたように、語種の多様性は日本語の語彙の大きな特徴の 1 つであるとされる。では、こうした様々な語種は、実際の日本語においてそれぞれどの程度使用されているのであろうか。最近の研究では何等かのデータベースを用いて具体的にそれぞれの語種がどの程度使われているかを計量的に調べようとするアプローチも生まれてきている。

なお、語種別の頻度を議論する際には、延べ語数(token)と異なり語数(type)という 2 つの単位が存在する。たとえば、同じ語が 20 回繰り返し使用されたとしよう。この場合延べ語数は 20 となるが、異なり語数は 1 と数えられる。語種別の頻度を議論する場合には 2 つの観点から見ていくことが重要であると言えるだろう。

以下は、『現代雑誌九十種の用語用字』(国立国語研究所, 1962), 『電子計算機による新聞の語彙調査Ⅲ』(国立国語研究所, 1972), 『現代雑誌の語彙調査:1994 年発行 70 種』(国立国語研究所, 2005), および、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ) (国立国語研究所, 2011)における各種語彙の使用量である。

表 5 語種別の異なり語数・延べ語数

調査対象		語種			
		和語(%)	漢語(%)	外来語(%)	混種語(%)
雑誌 90 種調査 (1962)	延べ語数	221,875 (53.9)	170,033 (41.3)	12,034 (2.9)	8,030 (1.9)
	異なり語数	11,134 (36.7)	14,407 (47.5)	2,964 (9.8)	1,862 (6.0)
新聞 3 紙調査 (1972)	延べ語数	247,982 (43.9)	286,940 (50.7)	22,491 (4.0)	8,047 (1.4)
	異なり語数	14,902 (38.8)	17,030 (44.3)	4,621 (12.0)	1,842 (4.8)
雑誌 70 種調査 (2005)	延べ語数	248,098 (35.8)	345,142 (49.8)	85,710 (12.4)	14,223 (2.0)
	異なり語数	11,530 (25.4)	15,214 (33.5)	15,779 (34.8)	2,862 (6.3)
「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(2011)	延べ語数	71,518,076 (70.3)	26,106,082 (25.7)	2,945,153 (2.9)	1,125,516 (1.1)
	異なり語数	38,530 (33.1)	50,649 (43.5)	21,622 (18.6)	5,614 (4.8)

まず、混種語に比率に注目する。混種語は延べ語数について言えば 1.1%~2.0%、異なり語数について見ても 4.8%~6.3%に留まっており、混種語を「非和語系語彙」の対象から外すとした本論文の判断は一定の妥当性を持つことが確認された。

次に、本研究の対象となる「非和語系語彙」、つまり漢語と外来語に注目すると、延べ語数について言えば 28.6%~62.2%となり、延べ語数においても 3 割以上が非和語系語彙であることがわかった。また、異なり語数について言えば 56.3%~68.3%となり、過半数が非和語系語彙であることが確認された。「非和語系語彙」を研究の対象とする本研究の立場の妥当性もここで確認されたと言える。

以上、「非和語系語彙」は日本語の語彙において、延べ語数について 3 割以上、また、異なり語数について過半数を占めることが確認された。このことは、非和語系語彙は日本語において重要な位置を占めていることが示されたと言えるであろう。

2.3 日本語教育学における非和語系語彙の位置づけ

上記の 2.2 節では、現代日本語において非和語系語彙が非常に重要な位置を占めていることが確認された。本節では、日本語教科書と CLJ の作文における非和語系語彙の位置づけを見ていきたい。

2.3.1 日本語教科書における非和語系語彙

はじめに、日本語教科書における非和語系語彙の取り扱いを確認する。ここでは、世界中の日本語教育現場で広く使用されている『みんなの日本語』と、中国の日本語教育現場で広く使用されている『新編日語』と『総合日語』という 3 種の教科書を例として取り上げたい。

まず、世界中の日本語教育で広く使用されている『みんなの日本語』の場合、以下の図 2 のように例文や会話文の中で漢語や外来語が使用されているが、漢語や外来語の言語特性や特徴などは言及されていない。

図 2 『みんなの日本語』第 19 課における非和語系語彙の出現例

皆	: 乾杯。
松本良子	: マリアさん、あまり 食べませんね。
マリア	: ええ。きのうから <u>ダイエット</u> を して います。
松本良子	: そうですか。わたしも <u>ダイエット</u> を した ことが あります。

次に、中国の日本語教育現場で広く使用されている教科書を見てみよう。『総合日語』の場合、本文中に漢語や外来語の使用が多くなされているものの、すでに見てきた『みんなの日本語』と同じように、それらの語種について独立した解説は存在しない。

一方、『新編日語Ⅰ』は、図3のような「語種」についての独立した項目が見られる。

図3 『新編日語Ⅰ』(単元1 復習)における語種の紹介(<>内は筆者による翻訳である)

日語词汇的来源大致有三类。

①日語原有的词汇，日語叫做「和語」。如：

会う(遇見) 秋(秋天) こえ(声音) あせ(汗) たかい(高) わたし(我)

②漢語词汇，日語叫「漢語」，有直接采用汉语的和利用汉字创造出来的两种。

直接采用汉语的:学校 先生

利用汉字创造的:切手 時計

③外来语词汇，日語叫「外来語」，主要从欧美语言(多数是英语)音译而来。如：

ノート インク テレビ ラジオ パン

<日本語語彙の出自は概ね3種類がある

①日本語の中もともとある語彙，日本語では「和語」と呼ぶ。たとえば：

会う 秋 こえ あせ たかい わたし

②漢語語彙，日本語では「漢語」と呼ぶ。直接中国語を利用したものと，漢字を使用して造ったものの2種類が存在する

中国語を直接に利用したもの:学校 先生

漢字を使用して造ったもの:切手 時計

③外来語語彙，日本語では「外来語」と呼ぶ。主として欧米の語彙(ほとんどは英語である)を音訳したものである。たとえば：

ノート インク テレビ ラジオ パン>

また、『新編日語Ⅳ』においては、図4のような中国語と日本語における類似漢字を紹介するところがある。

図 4 『新編日語』における日中類似漢字表記の紹介

中日漢字の違いに注意しましょう										
日	愚	压	围	隱	營	塩	汚	応	画	灰
中	餓	压	围	隱	營	塩	汚	応	画	灰
日	絵	害	角	広	陥	気	岐	挙	強	芸
中	绘	害	角	广	陷	气	歧	举	强	艺
日	決	県	碎	済	冊	残	実	写	舍	収
中	決	县	碎	济	册	残	实	写	舍	收
日	処	乗	壊	撰	対	単	庁	脳	覇	拝
中	处	乘	壞	撰	对	单	厅	脑	霸	拜
日	氷	辺	変	両	勇	黒	抜	徳	恵	齒
中	冰	边	变	两	勇	黑	拔	德	惠	齿

ただし、漢字が列挙されているだけで、語レベルでの解説はまったく行われていない。

以上、『みんなの日本語』と『総合日語』、『新編日語』という 3 種の教科書における非和語系語彙の取り扱いを確認した。『みんなの日本語』と『総合日語』のいずれにおいても漢語や外来語が独立して取り上げられることはなかった。一方、『新編日語』においては「語種」や日中類似漢字についての紹介があるが、その内容はきわめてシンプルなもので、漢語や外来語の詳しい言語特性や使い方についての説明はほとんど行われていなかった。

2.3.2 日本語学習者の作文における非和語系語彙

すでに述べたように、CLJ の多くは非和語系語彙の習得に困難を感じているとされる。CLJ が具体的にどのような問題を抱えているかを検証するため、以下では「日本語学習者書き言葉コーパス」を用いて学習者の実例を観察してみよう。以下は、漢語または外来語に関して学習者が誤用を犯した用例の一部である。

まず、漢語に関する学習者の誤用例を見ていく。

- (1) 学生は、真面目に本を勉強して、いい初中(→中学校)に入るのため、頑張ってそれから、高中(→高校)と大学、最後に、いい仕事を探したいです。(作文番号:j0008)
- (2) それは給料も少ないし進昇(→昇進)のキャンスも少ないし、仕事も安易すぎた、といことですから。(作文番号:j0006)
- (3) 鄧小平のおかげに、70 年代後期に大学入学試験が回復(→復活)した。(作文番号:j0004)

- (4) ですから、国慶節で 1 日の休みは十分で、こんな長い休みは需要(→必要)でなはいと思います。(作文番号:j0012)
- (5) しかし、戦争(→戦争)のため、人は戦略を重視するとなっていた。(作文番号:j0003)
- (6) その目的は、国にとって経済の発展のためで、個人(→個人)にとってお金をもうけるためだ。(作文番号:j0004)
- (7) 秋、そして連休、普通の人が優先(→優先して)考えたのは旅行です。(作文番号:j0019)
- (8) 仕事も家庭も安定している状態で、自分も成熟な(→成熟した)女性になり、けっこう物事には自分の考えをもっています。(作文番号:j0036)
- (9) 全国の大学に向けて、適切な(→適切な)人材を採用する予定です。(作文番号:j0006)
- (10) それはほんとうな(→ほんとうの)事実にもかかわらず、精神的な若さを持ちつづければ、十年経っても私はまだ二十歳だと信じています。(作文番号:j0041)

以上で示したように、学習者の漢語誤用はさまざまであり、詳しく分類してみると、用例(1)(2)は語の構造による誤用であり、用例(3)(4)は意味理解による誤用であり、用例(5)(6)は字形による誤用であり、用例(7)(8)は品詞に関わる誤用であり、用例(9)(10)は体言接続に関わる語用である。ここで注目すべきは、CLJ の漢語使用には、(1)～(6)までのような語そのものに関わる比較的低いレベルの誤用だけ存在するのではなく、(7)～(10)のように統語に関わる高いレベルの誤用も犯しているということである。このことは、CLJ は漢語の使い方を十分には理解できておらず、習得上多くの問題が存在していることを示す。

では、なぜ CLJ は漢語の習得を難しく感じるのでしょうか。筆者はさまざまな先行研究をふまえ、CLJ にとっての難しさは以下の 4 点に起因するのではないかと考える。

表 6 CLJ に対して漢語が難しいと思われる原因

原因	説明	例
(1) 意味 干渉	日本語の漢語と対応する中国語とは「O」(同形類義語)・「D」(同形異義語)である場合、CLJ が漢語の知識をそのまま日本語に持ち込むと誤用が生じる(文化庁(1978)は、日本語の漢語と対応する中国語を「S」(日中両国語における意味が同じか、または、きわめて近い	*「単位に行く」 (「単位」というのは中国語で「部署」の意味があるが、日本語にはそういう意味を持っていない)

	もの(例:安全)・「O」(日中両国における意味が一部重なってはいるが,両者の間にズレのあるもの)(例:意見)・「D」(日中両国語における意味が著しく異なるもの)(例:曖昧)・「N」(中国語に存在しないもの)(例:大根)という4種類に分類した)	
(2) 字形 干渉	中国語と日本語の字形が違う	＊「開放」 (中国語では「開放」という漢字で書くが,日本語では「开」という漢字が存在せず,「開放」というふうを書く)
(3) 品詞 干渉	特に同形類義語について,中国語と日本語の品詞が違うため,学習者に混乱しやすい	＊「連続に使用する」 (「連続」という単語は中国語では副詞として使われるが,日本語では自動詞として使用しなければならないため,「連続に」とは言わない) ＊「経済を発展する」 (「発展」について言えば,中国語では自他動詞ともに使われるが,日本語では自動詞にしか使わないため,「経済を発展する」とは言わない)
(4) 構造 干渉	①中国語語彙より日本語語彙のほうが語素の数が少ない場合や,逆に②日本語語彙のほうが語素の数が多の場合,または③構成語素の配列順序が異なる場合などがある	＊①「縁分」 (「縁」(日本語)→「縁分」(中国語)) ＊②「血型」 (「血液型」(日本語)→「血型」(中国語)) ＊③「和平」 (「平和」(日本語)→「和平」(中国語))

以上で,漢語の誤用例とその背景にある4つの要因について考えてきた。続いて,外来語の誤用例を観察してみよう。

(11) となりにたくさんのホームレス(→ホームレス)がいる。(作文番号:j0038)

(12) 友達との約束をキャンセル(→キャンセル)し,両親の家も行かずに,本を読んだり,テレビを見たりします。(作文番号:j0019)

(13) 私はずっとテルビ(→テレビ)を見たり,寝ったりしました。(作文番号:j0012)

(14) 世界一番ロマンチック(→ロマンチック)な国家として,子供の頃から私の心に置いていた。

(作文番号:j0031)

(15)けれども周りのクラスメード(→クラスメイト)達はいつでも一生懸命やっていった。(作文番号:j0007)

(16)それはショックの(→ショックな)ことなんか会う場合で。(作文番号:j0460)

上記の用例から, CLJ は外来語の発音について特に問題を抱えていることがわかった。たとえば, 長音を落としたり(用例 11), 子音(用例 12)や母音(用例 13)を間違ったり, そして, 促音を脱落したり(用例 14)する誤用が見られた。また, 外来語の表記にも問題を抱えている(用例 15)。それに, 漢語と同じように, 外来語そのものに関わる誤用だけではなく, 体言接続(用例 16)など統語的レベルの誤用も存在する。

ここで興味深いのは, ある学習者の 1 本の文章の中に次のような用例が見られたことである。

(17)皆, このゴールデンウェークを利用して, 家を出て, リラックスします。(作文番号:j0016)

(18)国慶節のゴールデンウィークで, 皆, 家族や友達や恋人や一緒に遊びに行きました。(作文番号:j0016)

上記の用例から見ると, この学習者はある箇所では「ゴールデンウィーク」と正しく記述しているものの, 別の箇所では「ゴールデンウェーク」と誤った表記を行っている。このように, 同じ書き手が 2 つの表現形を使用するということは, 外来語の発音と表記が十分に理解できていないことの証拠となるであろう。

では, CLJ はどうして外来語の習得に難しさを感じるのでしょうか。その原因としては, 以下の 5 つが挙げられる。

表 7 CLJ に対して外来語が難しいと思われる原因

原因	説明	例
(1) 原語の意味との違い	外来語が原語にない新しい意味を獲得している場合が少なくない	「print」→印刷する 「プリント」→①印刷すること。また, 印刷物。②解答を書き込んで学習する問題用紙。
(2) 和製外来語の出現	原語の尻尾を切ったり, 組み合わせたりして, 新しい語を作る	「省エネルギー」→省エネ 「hello+work」→ハローワーク

(3)表記のブレ	一部分の外来語において表記のブレが見られる	「make」→メークとメイク 「computer」→コンピューターとコンピュータ
(4)音の表記が特殊	日本語の外来語は必ずしも原語の音を正確に写し取っておらず、開音節化などの発音変容が見られる	「desk」→デスク 「merit」→メリット
(5)類推がきかない	漢字の知識がある CLJ は漢語についてある程度類推できるが、外来語についてこういう類推がきかない	

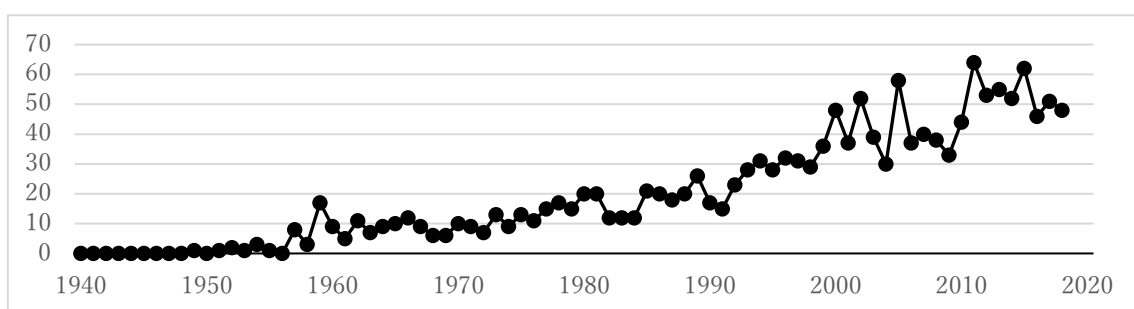
以上、日本語教科書、日本語学習者の作文における「非和語系語彙」を概観してきたが、いずれも問題が存在することがわかった。本研究は、これらの問題点を精査することにより、より網羅的な非和語系語彙の教材提案、また、より効率的な非和語系語彙の指導法提案を目指す。

2.4 非和語系語彙研究の現状

すでに述べたように、伝統的に言語学や日本語学においては和語系語彙の研究は盛んに行われてきた。一方、非和語系語彙の研究は必ずしも盛んではなかった。しかしながら、最近では、非和語系語彙への研究者の関心も次第に高まっている。この点を計量的に確認するため、日本における学術論文の電子アーカイブである CiNii Articles を使い、漢語の研究について「漢語」・「字音語」を、また、外来語の研究について「外来語」・「カタカナ語」を検索語として調査を行ったところ、以下のような結果が得られた。

はじめに、漢語研究の量を調べる。「漢語」・「字音語」を対象として検索を行ったところ、以下のような図 5 が得られた。

図 5 漢語に関わる先行研究の年代推移



また、外来語の研究については、「外来語」・「カタカナ語」を検索対象として検索を行ったところ、以下の図 6 のような結果が得られた。

図 6 外来語に関わる先行研究の年代推移

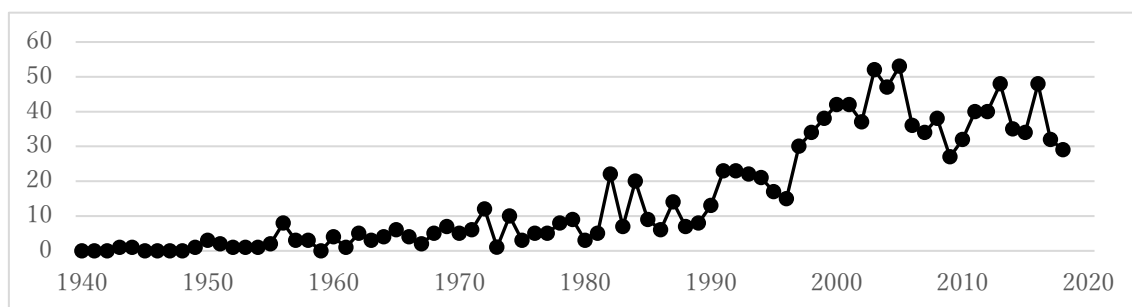


図 5 と図 6 で示したように、漢語と外来語のいずれの場合でも、研究の数が大きく増えている。

では、これらの非和語系語彙は主としてどのような観点から分析されているのであろうか。ここでは、先と同じデータベース CiNii Articles を使い、2018 年の研究に限定したうえで、それぞれのキーワードを含む研究のジャンル分類を概観してみることにしたい。なお、CiNii Articles では、詳しい分野が示されていないため、筆者が手作業で個々の研究ごとに分野のコーディングを行った。

図 7 漢語に関わる研究の分野

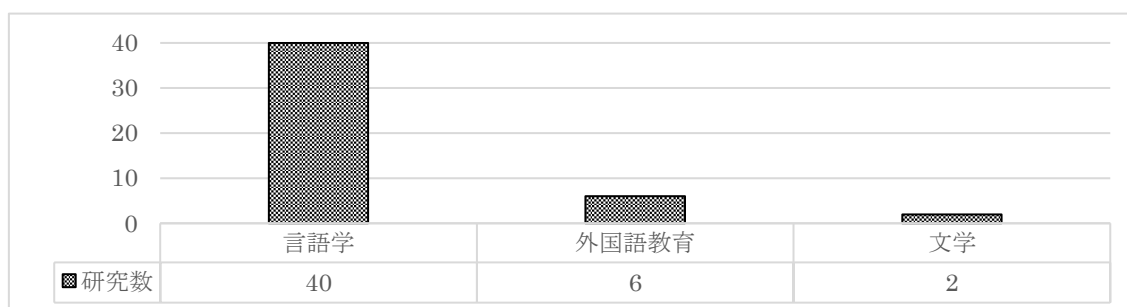


図 7 からわかるように、漢語について言えば、言語学研究が圧倒的に多く、外国語教育は 2 割程度しか存在しない。非和語系語彙のふるまいの言語学的解明をふまえて外国語教育への応用を提唱する本研究のアプローチの必要性が改めて確認されたと言える。では、言語学においてはどのような分野の研究が多いのであろうか。

図 8 言語学に関わる漢語研究の分類

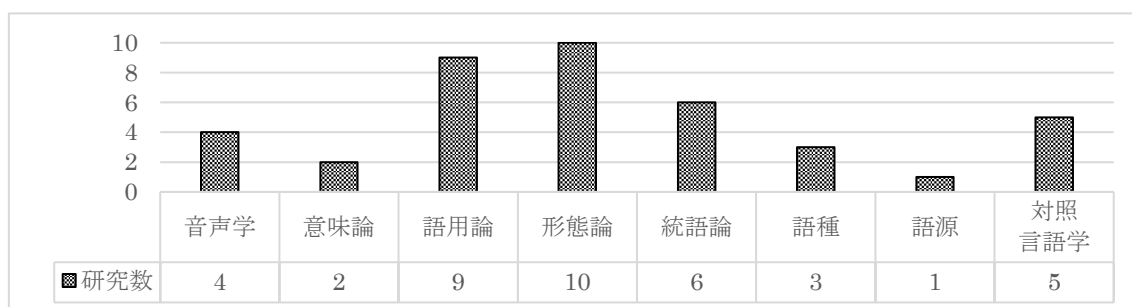


図 8 を見ると、言語学の分野に限っても様々な分野で研究が万遍なく行われていることが確認された。また、本研究に注目する統語論・意味論・語用論・形態論についてもそれぞれ一定程度の研究が行われていることがわかった。

次に、外来語についても同様に見てみよう。

図 9 外来語に関わる研究の分野

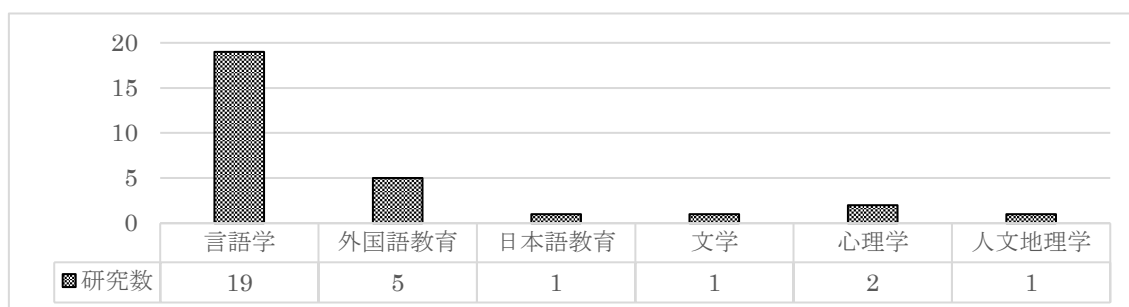


図 9 からわかるように、外来語研究においても言語学に関わる研究が圧倒的に多い。また、言語学を下位区分に分類すると、以下のような図 10 が得られた。

図 10 言語学に関わる外来語研究の分類

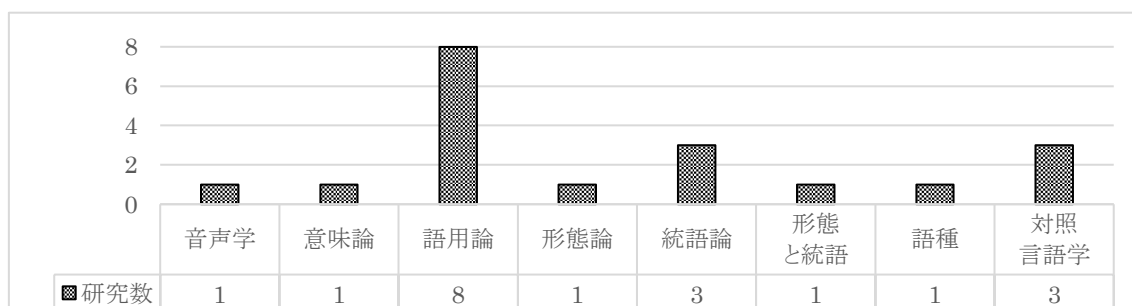


図 10 を見るとわかるように、外来語の場合も、本研究が注目する 7 観点からの研究が一定程度存在する。なお、外来語の場合語用論的観点からの研究が特に多く、その原因としては、前述のように外来語の過剰使用により、様々な言語変種における外来語に対する調査は注目を集めていることが挙げられる。

2.5 まとめ

以上、第 2 章では本研究の対象とする非和語系語彙について様々な観点で重要性を持つことが示された。まず、2.1 節において非和語系語彙の定義を確認したあと、2.2 節では 4 種類のコーパス調査の結果を報告し、いわゆる非和語系語彙が延べ語数について 3 割以上、また、異なり語数について過半数を占めることを示した。すなわち、どのデータにおいても非和語系語彙は現代日本語の一定の割合を占めていることが確認されたと言える。また、2.3 節では、教科書における非和語系語彙の扱いを概観し、漢語についても外来語についても語としては提示されているものの、十分な解説が行われておらず、体系的な指導がなされていないことが確認された。また、学習者の作文においても多くの誤りが存在することが確認された。2.4 節では非和語系語彙の研究状況を概観した。過去の研究は和語に偏る傾向があるものの、最近では、非和語系語彙の研究が増えていることがわかった。ただし、言語学的研究が多いものの、外国語教育に注目した研究は比較的少なく、両者を融合した研究の必要性があることが確認された。

以上のことをふまえ、第 3 章では先行研究を詳しく見ることにしたい。

第3章 先行研究

すでに述べたように、本研究は非和語系語彙のふるまいに関して伝統的な言語学の5分野のうち、音韻論を除く4分野、それに加えて重要語抽出と日本語教育という2つの観点を組み合わせて6つの観点からこの問題を扱っていくこととする。また、第1章第4節で示したように、それぞれの問題を議論する際には、具体的な課題を設定し、それを手掛かりとして考えていくこととする。

以下では、この6観点について本研究が立てた具体的な研究課題に即した先行研究を詳しく見ることとする。具体的に、3.1節では重要語抽出という観点、3.2節では統語論的観点、3.3節では意味論的観点、3.4節では形態論的観点、3.5節では語用論的観点、3.6節では日本語教育学的観点から、それぞれの先行研究を概観する。

3.1 重要語抽出という観点から見た非和語系語彙研究

本節では、重要語抽出という観点から見た非和語系語彙に関わる先行研究を紹介する。前述のように、本研究は重要語抽出という観点から見た非和語系語彙について、コーパスに基づく重要非和語系語彙の抽出という課題を設定した。以下、この課題に即した先行研究を見ていく。

3.1.1 重要語抽出という観点から見た漢語研究

重要漢語の選定について、国立国語研究所(1984)は、留学生等外国人の日本語学習者が、専門領域の研究または職業訓練に入る基礎としてはじめに学習すべき日本語の一般的・基本的な語彙を選定するために調査を行った。この調査における基本語彙の選定は、「第一次選定」と、その結果に基づく「第二次選定」の2段階に分けて行われた。

まず、第一次選定について、『分類語彙表』を判定材料とし、これに所載の約36000項目のそれぞれについて、日本語教育・国語学・言語教育などの専門家22人による基本度の判定を行った(なお、判定者間の判定結果の類似度を調べたところ、うち2名については判定結果が他のものと比べて極端に偏った形をしまったため、集計から除外し、判定者は20名として処理した)。判定の共通理解として、「留学生等外国人の日本語学習者が、専門領域の研究または職業訓練に入る基礎としてはじめに学習すべき日本語の一般的・基本的語彙について妥当な標準を得る」として設定した。具体的には、以下の3段階の判定を求める方式を採った。

表 1 3 段階の判定基準および目安

	基準	目安
第一判定	共通理解	『日本語教育基本語彙第一次集計資料—六千語』
第二判定	第一判定で選定されたものうちもっとも基本的で、はじめに学習しておくべきと考えられるもの	『日本語教育基本語彙第一次集計資料—二千語』
0 判定	第一判定および第二判定のいずれにも判定されないもの	

判定者は、提示された語項目について、上記 3 段階の判定を行った。また、『分類語彙表』に載っていないがどうしても判定者が必要であると考えたものについては、各自記入の上判定を加えることにした。判定結果の集計については、上記の 3 段階の判定にあたる語項目について、それぞれ 1 点、2 点そして 0 点を与えた。その結果、各語に対して、40 点を最高とし、0 点を最低とする全 41 の段階にランク付けされた。第 1 次集計資料は、得点の高い順に「六千語」を基準に採りだし、次にこれらの語彙のうちでより上位得点を得ている語を、「二千語」を基準に採りだした。その結果、『基本六千語』について 7196 語項目、『基本二千語』について 2090 語項目を抽出した。次に、第二次選定について、第一次基本語彙集計資料と他の日本語教育を目的として作成された語彙表、使用語彙の頻度調査の結果などと比較し、各語彙表収録語彙と第 1 次基本語彙集計との共通語彙・非共通語彙のリストアップ等を行って検討・選定を行った。これにより、『基本語六千』では 6,880 項目、『基本語二千』では 2,030 項目が選定された。その中、『基本語六千』においては漢語 3,225 語が、『基本語二千』においては漢語 861 語が存在する。

李 (2011) は汎用的漢語サ変動詞を抽出するため、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ) を利用して調査を行った。調査する言語変種について、BCCWJ で使用する書籍、雑誌、新聞、ブログ、白書、知恵袋の 6 変種のうち、書籍については日本十進分類法 (NDC) による 10 ジャンル (0.総記, 1.哲学, 2.歴史, 3.社会科学, 4.自然科学, 5.技術・工学, 6.産業, 7.芸術, 8.言語, 9.文学) をそれぞれ独立した変種と見なし、あわせて 15 種の変種データに対して調査を行った。調査対象語として、2 文字の漢語サ変動詞に絞った。具体的調査手法について、まず、15 種の言語変種ごとに高頻度上位 50 語を抽出し、重複を除いた 279 語を決めた。次に、汎用性を確認するため、15 変種のうち、1 変種しか上位 50 語に入っていないもの (「出走」, 「共起」) を除き、277 語を対象として変種別の頻度調査を行った。最後に、主成分分析を用いて 15 変種の頻度を合成し、第 1 主成分得点に基づいて 277 語を並べ替え、主成分得点が正 (+) となる 93 語を高頻度かつ汎用的な漢語サ変動詞として特定した。

以下、以上まとめたそれぞれの漢語語彙リストの上位 30 語を例として示す。

表 2 各語彙リストの漢語上位 30 語

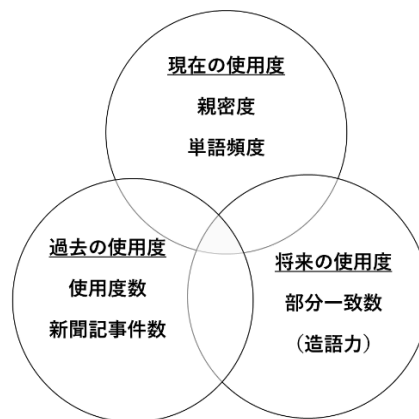
語彙リスト	順位づけ の有無	総語数	漢語上位 30 語
国研(1984) 「基本六千語」	なし	3225 語	愛, 愛情, 愛想, 曖昧, 握手, 圧迫, 圧力, 案, 案外, 暗記, 暗殺, 暗示, 安心, 安静, 安全, 安定, 案内, 委員, 委員会, 以下, 以外, 意外, 医学, 意見, 以後, 医師, 意志, 意地, 維持, 意識
国研(1984) 「基本二千語」	なし	861 語	愛, 握手, 案外, 安心, 安全, 案内, 以下, 以外, 意見, 以後, 意志, 医者, 異常, 椅子, 以前, 位置, 一番, 一部, 一緒, 一生, 一生懸命, 一層, 一杯, 一般, 一方, 以内, 違反, 意味, 印刷
李(2011)	あり	93 語	存在, 利用, 紹介, 説明, 使用, 確認, 理解, 表示, 発見, 発生, 注目, 指摘, 期待, 実施, 用意, 発表, 注意, 開催, 構成, 評価, 設定, 変化, 提供, 形成, 実現, 表現, 展開, 参加, 検討, 意味

3.1.2 重要語抽出という観点から見た外来語研究

重要外来語あるいは基本外来語の選定に関わる研究について、すでに述べた国立国語研究所(1984)は『基本語六千』において外来語 312 語を、『基本語二千』において外来語 51 語を抽出した。

井上(2004)はカタカナ語の基本語彙を選定するための語彙特性とその選定基準を検討し、そして、選定基準に基づいた「カタカナ語基本語彙リスト」の試案の提示を目指した。まず、カタカナ語基本語彙の言語特性として、(1)幅広い範囲にわたり数多く用いられ、すなわち、使用範囲が広く、使用率が大きい(語の使用度)、(2)ある程度の長期間にわたって使用され続け、日本語への定着度の高さを示し(語使用の時間的安定性)、(3)より多くの語形成の構成要素となりやすい(造語力)、などがあげられる。具体的には以下の図 1 のようになる。

図 1 井上(2004)における基本語彙の選定要因と資料(井上(2004)により転載)



選定段階は以下ようになった。まず、第 1 次選定段階においては、天野・近藤(1999)に基づき、親密度 6.000 以上の単純語と複合語(親密度 6.000 以上)の構成要素語(6.000 未満の単純語も含む)を選定候補として抽出された。第 1 次選定段階で選定された対象語は 1036 語であった。次に、第 2 次選定段階では、1 次選定対象語の安定性を見るために、現在・過去・将来の語使用度を調査した。2 次選定の基準は、単語頻度 140 以上、合計度数 5 以上、部分一致数 3 以上のうちいずれか 1 つの条件をみたす語であった。その結果、2 次選定対象語として 882 語を抽出した。最後に、第 3 次選定段階について、前段階まで現在使用度に基盤を置いた選定方針とは逆に、過去と将来の語使用から選定を行った。その結果、581 語が選定された。なお、切れのいい数字にするために、581 語より単語頻度の小さい値から 31 語を除外し、計 550 語を基本語彙として選択した。

また、井上(2005)は井上(2004)で選定した基本語彙 550 語から、最重要語 175 語を選定した。選定基準としては、(1)文字音声単語親密度 6000 以上であること、(2)単語頻度(現在の語使用度)は 140 以上であること、(3)使用度数(一世代前の語使用度)は 5 以上であること、(4)新聞記事数(二世代前の語使用度)は 3 以上であること、(5)部分一致数(単純語の造語力・将来の推定使用度)は 3 以上であること、という 5 つが挙げられた。

郭(2012)は、カタカナ語指導をより充実させていくために、日本語のデータに対する量的分析に基づき、高頻度・広範囲に出現しているカタカナ語を客観的な方法で抽出し、学習基本語リストの整理を目指した。具体的には、時事日本語を中心的な資料として分析し、合わせて新聞・ウェブ・文学という 3 種類の代表的なジャンルで、カタカナ語の頻度の比較検討を行った。その後、各ジャンルにおける頻度や親密度や各種の語彙調査に基づく教育的重要度を合成することで、最終的な重要カタカナ語を決定し、日本語教育で使用されている教科書に掲載されているカタカナ語

と相互に比較した。具体的なデータは以下の表 3 のようになる。

表 3 郭(2012)で使われたデータ

時事日本語に関わるデータ	時事データ	「聞蔵Ⅱビジュアル for Libraries(聞蔵)」 (2008 年の 1 年間について, 毎月 1 日の全データ)
客観的頻度に関わるデータ	新聞データ	(1) 朝日新聞社の「聞蔵Ⅱビジュアル・フォーライブラリ」 (2) 読売新聞社の「ヨミダス歴史館」 (3) 毎日新聞社の「毎日 News パック」 (4) 日本経済新聞社の「日経テレコン 21」
	ウェブデータ	(1) 政府機関が登録されている「gov」 (2) 教育機関が登録されている「ac」 (3) 会社や法人が登録されている「co」 (4) その他の多様なサイトを包含する「com」
	文学データ	(1) 『新潮文庫の 100 冊 CD-ROM』 (2) 『新潮文庫の絶版 100 冊 CD-ROM』
主観的親密度に関わるデータ	先行の大規模調査結果	天野・近藤(1999, 2008)による単語親密度
	自作のアンケート調査	「カタカナ語親密度調査(A)」と「カタカナ語親密度調査(B)」
教育的重要度に関わるデータ	教育的基本語彙調査(1984)	国立国語研究所による日本語教育のための基本語彙 上位 2000 語および上位 6000 語
	日本語能力試験の出題基準(1993)	日本語能力試験企画小委員会出題基準作成会議が定めた基準語彙
	新明解国語辞典第六版(2005)	単語の重要度情報

その結果, (1) 頻度は 100 万語あたり 12 回以上, レンジは 12 のうち 7 以上のものを 12,739 語が抽出され, そして, 頻度・レンジ基準によるフィルタリングを行い, 高頻度汎用語として 400 語が抽出された。(2) 3 種の言語ジャンル(新聞・ウェブ・文学), 主観的親密度, 教育的重要度をふまえて補正を行った結果, 計量単位・スポーツ・交通・メディア・国名や地域名・飲食・事業・空間・住宅などに関連する重要カタカナ語 100 語が抽出され, 高頻度汎用カタカナ語より偏りの少ない均質的な結果が得られ, また, ウェブ分野について JSP(Japanese for Special Purpose)的な独自リストを作成する必要があることが示唆された。(3) 従来の日本語教育で扱われるカタカナ語と比較した結果, 重要カタカナ語は代表的な初級教科書においては 7 割強のカバー率であり, 初級段階

で学ぶ必要性の低い語が教科書に多く存在することが確認された。

望月 (2012) は、日本語学習者が抱えている外来語学習のニーズに応えるため、『日英対訳で学ぶ留学生のためのカタカナ語 1』(自習用) という教材を開発した。対象者は、大学の初年次教育の JSL 日本語学習者 (N1～N2 レベル) であった。教材の構成について、第 1 章では「カタカナ語の基礎知識」について概観し、第 2 章～第 11 章では 300 語のカタカナ外来語を紹介し、さらに第 12 章では 80 語のローマ字略語と「国立国語研究所によるカタカナ語言い換えリスト」の 140 語を紹介した。300 語のカタカナ外来語を選択した基本的な考え方については、11 種の先行研究や資料を参考に、3 種類以上の資料に立項あるいは見出し語として採り上げた。なお、質問紙調査によって確認された既習語彙や、一語一義的な語彙で辞書を引けば簡単に問題が解決し運用もさほど困難でない語彙を取り除き、汎用度の高い語彙を取り出した。具体的な 11 種の先行研究と資料は以下の表 4 のようになる。

表 4 望月 (2012) で使用した 11 種の先行研究および資料

先行研究	(1) 5 冊の日本語初級教科書の比較分析 (菅生, 2002)
	(2) カタカナ語基本語彙 550 語と最重要語の選定 (井上, 2004, 2008)
	(3) 中上級用アカデミックジャパニーズのカタカナ語テキスト (佐々木, 2001)
	(4) 初年次学部留学生用の新聞外来語集 (福井, 1998, 2005)
	(5) 中上級用分野別カタカナ語テキスト (島野, 2008)
	(6) 超級時事カタカナ語テキスト (陣内, 2010)
	(7) 増加傾向にある外来語 701 語 (金愛蘭)
資料	(8) 『日本語能力試験出題基準【改訂版】』
	(9) 『みんなの日本語』初級 I と II
	(10) 中上級～上級用日本語テキスト, 日本語能力試験 1～2 級問題集など
	(11) 『最新カタカナ語辞典第二版』(講談社編)

また、提示方法として、各見出し語には原語・アクセント・意味・類義語・対義語・合成語・連語 (共起語) を示し、3 級以上の語彙には振り仮名を付けた。教材の効果について、直後テストと 2 か月後に実施した事後テストの結果を分析した結果、学習の定着率は低く、ばらつきが大きいことがわかった。学習定着率が低い原因について事後アンケートを行った結果、(1) 基本的な外来語を体系的に学んでいない、(2) 知識としてはわかっていてもカタカナ外来語を実際に運用しようとしてもよくわからない、という 2 点が示された。

以下、以上まとめたそれぞれの語彙リストの上位 30 語を例として示す。

表 5 各語彙リストの外来語上位 30 語

語彙リスト	順位づけ の有無	総語数	外来語上位 30 語
国研(1984) 「基本六千語」	なし	312 語	アイスクリーム, アイデア, アイロン, アクセサリー, アクセント, アジア, アナウンサー, アパート, アフリカ, アマチュア, アメリカ, アラビア, アルカリ, アルコール, アルバイト, アルバム, アルミ, アンテナ, イギリス, イタリア, イメージ, インク(インキ), インテリ, インド, イントネーション, インドネシア, インフレ, ヴィザ, ウイスキー, ウール
国研(1984) 「基本二千語」	なし	51 語	アクセント, アパート, インク(インキ), ガス, カメラ, ガラス, キロ, グラム, コーヒー, コップ, ゴム, スカート, ゼロ, センチ, タクシー, テーブル, テニス, デパート, テレビ, ドア, ナイフ, ニュース, ネクタイ, ノート, バス, バター, パン, ハンカチ, ピアノ, ビール
井上(2004)	なし	550 語	アート, アイス, アイデア, アイロン, アウト, アクション, アクセサリー, アスファルト, アップ, アナウンサー, アナウンス, アパート, アピール, アベック, アマチュア, アリバイ, アルコール, アルバイト, アルバム, アルミ, アレルギー, アンコール, アンテナ, イメージ, インク, インターナショナル, インフルエンザ, インフレ, ウイスキー, ウール
井上(2005)	なし	175 語	アイロン, アルコール, アルミ, インフレ, エプロン, エンジン, オーバー, オープン, オペラ, オリンピック, カーテン, カード, カーブ, カクテル, ガス, ガソリン, カット, カップ, カバー, カメラ, カラー, ガラス, カルシウム, ギター, キャスト, キャンプ, グラウンド, クラス, クラブ, グラフ
郭(2012)	あり	100 語	テレビ, バス, スポーツ, パン, ニュース, サービス, メンバー, ドア, カメラ, ページ, スタート, ビル, グループ, エンジン, イメージ, ゲーム, アメリカ, マンション, メートル, ホテル, エネルギー, プロ, カード, アパート, ビール, メモ, レストラン, プレゼント, アジア, ガス
望月(2012)	なし	300 語	アイデア, アイデンティティ, アウトドア, アクション, アクセス, アップ, アドバイス, アナウンス, アバウト, アピール, アプローチ, アポイント(アポイントメント, アポ), アマチュア(アマ), アルバイト(バイト), アレルギー, アレンジ, アンケート, アンダーライン, アンチ, アンテナ, イエスマン, イコール, イデオロギー, イニシアチブ, イベント, イメージ, イラスト(イラストレーション), インタビュー, インパクト, インフォメーション

また、上記述べたような日本語全体における基本外来語の選定以外に、JSP のための外来語選定も行われた。たとえば、金・野崎(2010)は情報教育を学習することを目的に留学してきた中国人留学生のためのカタカナ語を選定するため、24 冊の高校「情報」教科書の索引に掲載されている 6015 個の情報用語を抽出し、単純語である 668 個のカタカナ語を情報用語のカタカナ語彙表の研究対象語彙にした。そして、使用頻度や難易度など各種属性情報(表 6)を付与し、「情報用語のカタカナ語彙表」を開発した。具体的な語彙表は以下の表 7 のようになる。

表 6 「情報用語のカタカナ語彙表」に付与した各種属性情報

属性	調査方法
(1) 単語親密度	「日本語の語彙特性 第 1 期 CD-ROM 版 単語親密度」(天野他, 2003)に基づき、個々の語彙の文字音声単語親密度を調べる。なお、検索されない語彙の親密度は「0.000」とする。
(2) 単語頻度	「日本語の語彙特性 第 2 期第 7 巻 CD-ROM 版」(天野他, 2003)に基づき、個々の単語の頻度を調べる。また、データベースで検索されない語彙の単語頻度は「0」とする。なお、本データベースは 1985 年から 1998 年の単語頻度を調べたため、単語頻度は過去の使用度として使用する。
(3) 記事数	「聞蔵Ⅱ ビジュアル」を使い、個々の単語は 1986～1993, 1994～2001, 2002～2009, 1986～2009 の 4 期間における記事数を数える。
(4) 辞書掲載状況	「大辞林 第二版」より当該の単純語を含む合成語数を数える。
(5) 情報の教科書における頻度	研究対象語彙に対して、24 冊の情報の教科書における頻度を数える。
(6) 基本情報技術者試験における頻度	基本情報技術者試験問題(平成 16 年～平成 20 年までの秋と春を含む 5 年分の午前問題 10 回分)で使用されたカタカナ語の頻度を数える。
(7) 生活用語	井上(2005)「カタカナ語基本語彙:レベル 1(最重要語)とレベル 2(重要語)」に、また、今西(2008)「調査資料中の 4 級及び 3 級語彙」と「調査資料中の級外,1 級及び 2 級語彙」に掲載されている掲載されているかを調査する。
(8) 熟知度のアンケート調査	愛知教育大学学生(日本語母語話者 4 名と CLJ1 名)に対してアンケート調査を行い、知らないと答えた人の人数を記入する。
(9) 備考(表記のユレ)	削除された表記のユレがある語彙についてここで反映させる。

表 7 情報用語のカタカナ語彙表(金・野崎(2010)により筆者が一部編集)

順番		1	2
番号		419	40
語表記	日本語	ビット	インターネット
	英語	bit	Internet
	中国語	比特	互联网
(1)単語親密度		5.031	0.000
(2)単語頻度		778	6764
(3)記事数	1986～1993	1469	4
	1994～2001	2190	30497
	2002～2009	1480	42146
	1986～2009	5133	72647
(4)辞書掲載状況(造語力)		9	1
(5)教科書における頻度		24	23
(6)基本情報技術者試験における頻度		177	29
(7)生活用語	井上・今西	0	0
(8)熟知度のアンケート調査	人数	0	0
(9)備考(表記のユレ)			
説明リンク	日本語	*	*

* 論文から読み取れない

表 7 のように、重要なカタカナ語の提示だけではなく、その語に関わる様々な情報も付与することで、学習者がこれらの語彙に対する理解が深められると期待できるだろう。

上記のように、重要語抽出について、漢語についても外来語についても様々な研究が行われてきた。しかしながら、これらの研究において重要としている漢語、または外来語の数も異なれば、具体的に指定している語彙も異なっている。すなわち、言語学においてどのような非和語系語彙が重要であるか、また、日本語教育学においてどのような非和語系語彙をどの程度指導すべきかについてまだ共通理解がなされていなかった。また、これらの語彙リストの選定にあたっては、研究者の主観や言語辞典に基づくものは少なくなかった。今後、現実の言語使用の実例的データ集であるコーパスの頻度と科学的手法に基づき、重要語の精選が必要であると言えるであろう。

3.2 統語論的観点から見た非和語系語彙研究

以上 3.1 節では、重要語抽出という観点から非和語系語彙の研究を見てきた。その結果、現実の言語使用を反映するコーパスの頻度と科学的手法に基づき、重要語の精選が必要であることが明らかになった。

非和語系語彙に関する 6 つの論点のうち、本節では統語論的特性に注目する。統語論とは、文の内部構造を扱う分野であり、文を成り立たせるいろいろな要素について、どのような要素がどのように結合することで文を形成されるかを明らかにしようとする分野である。すでに述べたように、本論文では、非和語系語彙の統語論的特性について、具体的に、(1) 第 6 章「統語論的特性：体言接続の問題(1)」では、「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的」・「的ナ」という 5 種の連体標識の許容度と、それらの頻度的・ジャンルの・意味的相違を調査し、(2) 第 7 章「統語論的特性：体言接続の問題(2)」では、類似した形式を持つ「ナ」と「ノ」に絞り、許容度調査と 2 標識の選択モデルの構築を行うこととする。以下この 2 つの課題に従い、「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的」・「的ナ」という 5 種の連体修飾標識の意味機能に関わる先行研究を概観していく。

なお、非和語系形状詞の体言接続問題に関わる先行研究の中、漢語を取り出して考察を行った研究は存在するが、外来語を単独に取り出して考察した研究は筆者の知る限り少ないため、本論文はこの分野の先行研究について、漢語と外来語を分けず同時に見ることとする。

従来、異なる連体修飾標識の意味機能について様々な研究が行われてきた。たとえば、「ノ」について、村木(2012)は「ノ」形容詞というカテゴリーを取り上げて説明した。また、「的」について、遠藤(1984)は「的」の形態や意味の分類などをまとめ、山下(1999)は「的」の語基と後続語を結合して果たした役割に基づき、「的」の意味機能を 3 種類に分類した。なお、本研究はこれらの連体修飾標識の比較に注目するため、以下、(1)「ナ」と「ノ」の比較、「ナ」と「的ナ」の比較、(2)「的 ϕ 」と「的ナ」の比較、という 2 観点から先行研究を概観する。

まず、「ナ」と「ノ」について、ここでは、内省に基づく意識調査とデータベースに基づく事例調査という 2 つのタイプに分けて概観する。

内省に基づく意識調査について、スワン(1994)は形容動詞の連体修飾用法が「ナ」であるか「ノ」であるかを検討するため、辞書からすべての形容動詞を抜き出して比較を行った。その結果、(1) 外来語について、その原語が形容詞であるものは「～＋ナ」の形で形容動詞化されやすいこと、(2) 辞書により「ナ」もしくは「ノ」の選択が可能かどうか明示的に記載しているものとそうでないものが存在すること、(3) 上記のズレは、和語・漢語の場合と比べ、外来語では相対的に少ないこと、などが確認された。

では、「ナ」を取る語と「ノ」を取る語にはどのような内容的違いが存在するのであろうか。

羅(2009)は、第1実験として、辞書において「ナ」と後続される2字漢語25語と、「ノ」と後続される2字漢語25語、合計50語を日本語母語話者に示し、それらの語がどのようなイメージを持っているのかについて調査を行った。その結果、「ナ」と後続する語はプラスもしくはマイナスのイメージを持つのにに対し、「ノ」が後続する語はむしろ中立的なイメージを持つことが明らかになった。次に、第2実験として、辞書において「ノ」が後続するとされる2字漢語25語を取り上げ、日本語母語話者による実態調査を行った。その結果、「不意・抜群・最悪・独特・適度」の5語については、実際には「ナ」も相当数使用されることが確認された。そこでこれらの5語を例文の中に入れて、それらのイメージを母語話者に聞いたところ、「柔らかい」語感あるいは「情意的」イメージである場合は「ナ」が選ばれ、「固い」語感あるいは「客観的」イメージである場合は「ノ」を選ばれる傾向があることが示された。また、「ノ」を使用する場合は事実を中立的に述べるのに対し、「ナ」を使用する場合はその事実に対する強調や好悪といった話者の心情を表している場合が多いことも示された。さらに、「ナ」と「ノ」の選択については、日本語母語話者も明確な意識を持っておらず、感覚に基づき、無意識に使い分けを行っている可能性が示唆された。

次に、データベースに基づく実例調査を見ておこう。

田野村(2002)は、『朝日新聞記事データベース』1987年版～1992年版(日外アソシエーツ)を使って調査を行った。調査対象語は2字漢語を語幹とする形容動詞のうち、語幹が「有名」「無名」のように「有○」「無○」という形をしているもの、とりわけ「有○」対「無○」の対を成して存在しているものであった。手法については、それぞれの形容動詞が連体形を取る場合、「ナ」と「ノ」のいずれが選択されているかを調査した。調査をふまえ、90%以上「ナ」を取るものを「ナ類」、90%以上「ノ」を取るものを「ノ類」、両方を使用するものを「ナ／ノ類」に分けた。その後、これらの3つのグループについて質的に検討を行った結果、(1)「ナ類」は程度の大小に、「ノ類」は択一的な属性にそれぞれ関係すること、(2)「有○」よりも「無○」のほうが「ノ」を選びやすいこと、(3)「ナ」と「ノ」の選択は多数の要因によって複合的に支配された複雑な現象であること、が明らかになった。このうち、(1)と(2)について、「無○」は選択を許さない択一属性に関わることから、2つの結果は言語学的に同じ現象を示していると述べている。

荻野(2006)は田野村(2002)の結果を追試するため、検索エンジン Yahoo を使って調査を行った。その結果、(1)田野村(2002)のタイプ分けは全体として妥当なものであるが、「有責」や「無為」など田野村と異なる結果が示された語もあった。ただし、それについて、田野村(2002)の分類が不適切であるというよりも、使用したデータの性質が異なるためであると主張している。次に、田

野村(2002)の主張のうち、程度の大小を問題にする場合は「ナ」という基準の妥当性を検証した。その結果、「有○」については田野村(2002)の基準が確認されたものの、その逆となる「無○」についてははっきりした「ナ」の優先が確認されなかった。あわせて「有○」と比べて、「無○」は程度副詞を修飾する比率が低いことも明らかになった。

李(2013)は、形状詞「ナ」と「ノ」による名詞修飾節の使用実態を明らかにするため、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)を用いて調査を行った。調査対象語としては、「名詞-普通名詞-形状詞可能+ノ・ナ+名詞」というパターンで、合計頻度 10 以上の形状詞可能語(トークン頻度 21,743, タイプ頻度 277)が挙げられた。調査方法については、クラスター分析と判別分析を使ってグループ分けを行い、その上、グループ間の語義数や語彙親密度に差が見られるかを分散分析で検討した。その結果、クラスター分析と判別分析により、調査対象語を 3 つのクラスターに分類した。それぞれの「ナ」・「ノ」との共起平均頻度は以下の図 2 のようになる。

図 2 3 つのクラスターの「ナ」共起と「ノ」共起の平均値(李(2013)により転載)

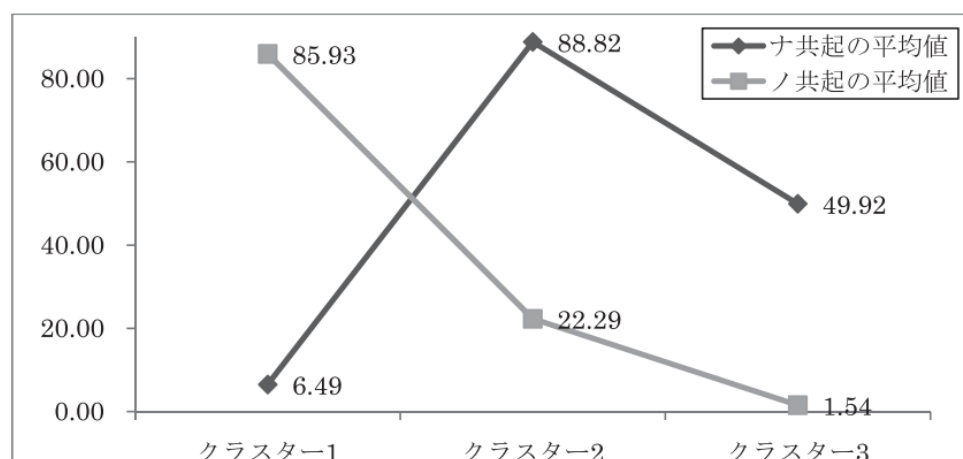


図 2 からわかるように、クラスター1(例:個別・未知)は「ノ」との共起が顕著で「ナ」との共起はあまり顕著でないグループである。クラスター2(例:不明・無用)は「ナ」との共起が顕著であるが、「ノ」ともある程度共起するグループである。そして、クラスター3(例:過剰・無駄)は「ナ」との共起は中程度であり、「ノ」とはほとんど共起しないグループである。

また、各グループの語義数や語義分類、そして、親密度に対して分析を行った結果、(1) 形状詞可能語の共起パターンには語義数において有意な差が存在すること、(2) 多様な語義を有する語は、「ナ」と「ノ」のどちらともよく共起すること、(3) 「ノ」共起の形状詞は「関係概念」を表すものが多く、「ナ」共起の形状詞は「活動(出来事)概念」を表すものが多いこと、(4) 語の基本語性を示す

親密度は「ナ」と「ノ」の共起とは無関係であること、が明かになった。

過去の研究は「ナ」と「ノ」の使い分けについて様々な目安を述べているが、それらは相互に一致しておらず、「ナ」と「ノ」の使い分けに関して信頼できる枠組みがいまだに確立していないことが確認された。

次に、「ナ」と「的ナ」の比較について、豊田(1980)は中国人学習者がよく誤用する「ナ形容詞」に注目し、連体修飾標識「ナ」と「的」の特徴などについて質的分析を行った。その結果、「ナ」をとる場合、「直接あるものの状態・性質などを形容している」の意味を有するのに対し、「的ナ」をとる場合、「...の性質・状態のような、...まがいの、...もどきの、...に類する」の意味を有することが明らかになった。

最後に、「的 ϕ 」と「的ナ」の比較について、王(2008)は中国人日本語学習者に「的」を習得するときに有益な手がかりを提示するため、「的」の「語基部分」と「後続部分」に注目し、「的」付きナ形容詞の統語的機能と使用特徴について調査を行った。データとしては、朝日新聞朝刊(東京本社発行)のオピニオン2の投書欄「声」を使用した(1995年1月分, 2001年1月分, そして2007年1月分の3ヶ月分)。その結果、(1)語基部分に複数の単語がある場合、「的」と「な」の省略方法によって表現する意味も変わっていくこと(たとえば、「A 的 B 的な C」と「A 的な B 的 C」)、(2)語基が漢字1字である場合「的 ϕ 」類が多用されること(たとえば、「公的」や「人的」など)、(3)語基が2字の場合は「的な」より「的 ϕ 」類のほうが語彙化のイメージが強く、その原因で「的 ϕ 」類は形式名詞の「他の語に対する接続の関係は、独立した名詞と同じやうに用ゐられる」(時枝, 1950)という特性と相性が悪く、形式名詞と共起しない傾向があること(たとえば、「～的 ϕ こと」、「～的 ϕ もの」は言いにくい)、などが明らかになった。

呉人他(2008)は「的」の統語的用法・意味・機能の違いを説明するため、「的」が付く語基の特徴と、「的」が付く結合語の文中における用法を分析した。具体的には、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞の3紙の社説に出現するすべての「的」の用例を抽出して調査を行った。その結果、(1)語基の語種について、漢語(計画的など)・和語(なし崩しの)・外来語(スローガンの)とも見られるが、2字漢語(89.6%)がほとんどであること、(2)語基の品詞性について、体言類(近代・化学など)・用言類(計画・注意など)・副言類(全然・絶対など)・相言類(優秀・最後など)・結合類(積極・合理など)のいずれもあるが、体言類(67.5%)が大多数を占めていること、(3)「的」が付く結合語の文中における用法について、「的な」と「的 ϕ 」の比率はそれぞれ38.6%と21.6%となり、その使い分けの特徴として、被修飾語が形式体言や一字の漢語である時、そして、「的」の派生語の後に限定語がある時「的な」をとり、「的」の派生語と被修飾語の結び付きが強いとき「的 ϕ 」をとることが挙げら

れること、(4)「わたし的には」「気持ち的には」などのような「的」の新しい用法について、その用法は「範囲・カテゴリーの規定的用法」という意味の「的」の延長線にあり、本来の意味用法から外れていないこと、などが確認された。

原田(2016)は日本語母語話者がどのように「的 ϕ 」と「的ナ」を選択しているのかを明らかにするため、「近代的」と「近代的ナ」を例として、アンケート調査を行った。協力者は JNS5 人(20 代から 60 年代までの各年代から 1 人ずつ)であった。調査対象は「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)の新聞・書籍・雑誌・白書・教科書・広報紙・ウェブページジャンルにおける「近代的」を含む用例の中、「近代的 ϕ + 体言」と「近代的ナ + 体言」のどちらかを含む 35 例を抽出したものである。その結果、(1)形態について、構文的な理由(例:「近代的な街の雑貨屋」)や臨時一語として認めにくいと感じられたもの(例:「近代的商店街」や「近代的大都市」など)、また、「近代的」との意味の関わりが希薄なもの(例:「近代的神経」)は「ナ」がある方が自然であるのに対して、臨時一語化すると思われた場合(例:「近代的法治主義」)や、文脈上の漢語連続とのバランスを保つ場合(例:「近代的国民経済」)は「近代的 ϕ 」の方が自然であることが明らかになった。(2)意味について、「近代的ナ」は「近代としての特徴を持つ」と「新しい感じを持つ」のどちらもより自由に表現できるが、「近代的 ϕ 」の方はやや制限がかかることが確認された。また、(3)頻度について、非並列で連体修飾として働く「近代的 ϕ 」と「近代的ナ」の用例数はそれぞれ 170 例と 290 例となり、連体修飾としてはたらく際の「近代的 ϕ 」は形態的にも意味的にも制限が加わる傾向があることが確認された。

以上、3.2.2 節では異なる連体修飾標識の意味機能に関わる研究を概観してきた。過去の研究において以下のような課題が残されている。1 点目は、「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的」・「的ナ」という 5 種の連体修飾標識のうち、「シタ」の分析事例が存在しないことである。上述のように、「ナ」・「ノ」・「的 ϕ 」・「的ナ」の特性については詳しく調査がなされてきたが、「シタ」というサ変動詞の連体用法に対する調査はほとんどない。2 点目は、少数の形態を取り上げて比較した研究は多いが、5 つの形態を同時に比較した研究はほとんどないことである。最後に、3 点目は、頻度に注目した計量的研究と、共起語の意味分類に注目した質的研究は存在するが、両者を組み合わせた研究は少ないことである。

以下 3.3 節では、非和語系語彙の意味論的観点に関する研究を整理する。

3.3 意味論的観点から見た非和語系語彙研究

前述のように、本節は意味論的観点から見た非和語系語彙の研究を扱う。一般的に、意味論と

いうのは、言語表現の意味に関連のある研究分野の中、語が個々に持っている独自の意味の分析・記述を扱う分野のことである(日本語教育学会, 2005)。すでに 1.4 節で述べたように、本研究は非和語系語彙の意味論的観点について、非和語系類義語の語義およびコロケーション比較という課題について調査を行う。そこで、ここでは、類義語の語義比較やコロケーション比較に関わる先行研究を概観していく。

3.3.1 意味論的観点から見た漢語研究

漢語の類義語語義比較の研究について、中山(2016)は、類義漢語「貧乏」と「貧困」の使用頻度における品詞の偏りおよび意味の違いを明らかにするため、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)の「出版・書籍」データを用いて調査を行った。具体的な品詞分類の方法は以下の表 8 のようになる。

表 8 品詞分類の方法(中山に基づき筆者が再作成)

	形態論的特徴	統語論的特徴
名詞	(1) 格助詞(ガ, フなど)をともない文の中で主語や補語としてはたらく。 (2) 格助詞ノをともない名詞ヲ修飾する。	「～ダ」の形について、それが性状規定の文なのか判断の文なのか、つまり、述語が主語に立つ名詞の表す物事を持つ性質や状態を表している文なのか、あるいは主語に立つ名詞の表す物事と述語に立つ名詞の表す物事との論理的な関係を判断し述べる文なのか、を判断する。前者は第二形容詞、後者は名詞として判定する。
第二形容詞	(1) 格助詞をともなわない。主語や補語にならない。 (2) 「～ナ」という語形で連体修飾する。 (3) 「～ニ」という語形で連用修飾する。	
動詞	「スル」と組み合わせる。	

その結果、(1)「貧乏」と「貧困」は品詞の面で大きな差があり、「貧乏」は第二形容詞に、「貧困」は名詞に偏り、また、サ変動詞は「貧乏」にしか見られないこと、(2)「貧乏」という状態の持ち主は個人(例: 貧乏な青年)であることが多いのに対し、「貧困」の持ち主は人の集団(階層, 国, 地域)(例: 貧困な諸国)であること、(3)「貧乏」と「貧困」の品詞の違いと語彙的な意味は関係していること、がわかった。特に、(3)について、「貧困」はある人の状態のみならず社会的な現象としての抽象概念を表すので、名詞として使われる傾向にある(例: …カンボジアの貧困からの救済…)。また、「貧困」は「経済的な欠乏・困窮状態」という基本義と「必要なもの、大事なものがとぼしいこと」という

派生義(例:…思想は貧困だった。))を持つが、第二形容詞の場合基本義は「貧乏」と重なるので、ある種の棲み分けとして「貧困」が第二形容詞の場合に特に派生義を発達させていると考えられた。

中溝他(2011)は日本語教材作成の一助となるため、類義語である「進歩」と「向上」のコロケーションの異同について調査を行った。データとしては、より新しい用例を収集するため、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)の2000年以降のデータ(「国会議事録」が含まれていない)が使用された。その結果、以下のようなコロケーション情報試案を提案した。

表9 「進歩」と「向上」のコロケーション情報(中溝(2011)に基づき筆者が作表)

	「進歩」(スル動詞可)	「向上」(スル動詞可)
	パターン	パターン
共起する動詞	(1)「進歩」の意図(例:進歩を図る)	(1)「向上」の意図(例:向上を図る, 向上を目指す)
	(2)「進歩」の開始(例:進歩を生み出す)	
	(3)「進歩」の達成(例:進歩を遂げる)	(2)「向上」への努力(例:向上に努める)
	(4)「進歩」の停滞(例:進歩が止まる)	(3)「向上」への貢献(例:向上に寄与する)
修飾語	(1)「名詞+ノ」で「進歩」の分野を表す(特に技術分野)(例:技術の進歩, 文明の進歩)	(1)「名詞+ノ」で「向上」する物事やそのレベル・性質を表す。幅広い分野で使用可能。(例:水準の向上, 能力の向上)
	(2)「進歩」の様態(例:小さな進歩, 急速な進歩)	(2)「向上」の様態(例:緩やかな向上, 顕著な向上)
熟語等	(1)前接する語 ・「進歩」の分野を表す(例:技術進歩) ・「～的」が使用される(例:科学的進歩)	(1)前接する語 ・「向上」する内容や分野における指標などを表す(例:生産性向上, 性能向上)
	(2)後接する語 ・一般(例:進歩的, 進歩性) ・専門(特に社会科学)(例:進歩主義)	(2)後接する語 ・一般(例:向上心, 向上傾向) ・専門(特に施策・運動など)(例:向上推進(事業), 向上(対)策)

このように、類義語の意味的な異同の説明だけではなく、実際にどのように、どのような語と共用しやすいかも明らかにした。

なお、上記のような漢語同士の類義語比較の研究以外に、漢語と外来語の類義語比較についての研究も多くなされている。これらについては以下の3.3.2を参照されたい。

3.3.2 意味論的観点から見た外来語研究

外来語の類義語の研究について、山下他(2018)は効果的なカタカナ語学習を検討するため、カタカナ語の語彙知識として「意味」と「使用」に注目し、カタカナ語とその類義語の使い分けに関して調査を行った。具体的には、日本語母語話者を対象としてカタカナ語とその類義語の使い分けに関して質問紙調査を行い、母語話者がカタカナ語と類義の漢語あるいは和語を、どのように使い分けしているのかを明らかにした。調査対象者は、男性 14 名と女性 96 名を含む日本語母語話者 110 名であった。その中、大学生が 81 名、日本語教師 29 名であった。質問項目は、(1)カタカナ語とその類義語のペアを提示し、思いつく文をそれぞれ書いてもらう文産出法の問いと、(2)両者の違いや気づいたことについての自由記述であった。調査語彙は、広範囲・高頻度に用いられて、定着していると考えられるカタカナ語とその類義語 14 ペアであった。その結果、(1)産出文で共起する語が割れ、自由記述でも意見が分かれるなど、類義語との使い分けに個人差が見られる語が 2 ペア(「テストする」と「試験する」、「ストップする」と「停止する」)であったこと、(2)他の 12 ペアには、①カタカナ語に類義語にはないニュアンスが付加されている、②カタカナ語のほうが類義語より多義的である、③カタカナ語が特定の使用に限られ類義語と役割分担している、という 3 つの使い分け基準があることが確認された。それぞれの基準に満たす語は以下の表 10 のようになる。

表 10 カタカナ語と類義語の使い分けの基準(山下他(2018)より転載)

使い分けの基準	カタカナ語と類義語のペア
①カタカナ語にニュアンスが付加	カットする・切る, サインする・署名する, スタートする・開始する, プリントする・印刷する, リ(レ)ポートする・報告する
②カタカナ語のほうが多義的	カバーする・補う, サービスする・奉仕する, チェックする・点検する, リードする・率いる
③特定の使用に限られ役割分担	アピールする・訴える, トレーニングする・練習する, リラックスする・くつろぐ

宮田他(2006)は外来語の存在理由を考察する足がかりとして、外来語「リスク」を取り上げ、その類義語「危険」と「危険性」との比較を行った。データとしては新聞データベース(朝日新聞・毎日新聞・読売新聞の 2003・2004 年の朝夕刊)を使用した。調査方法については、(1)用言類との共起関係、および、(2)連体修飾成分との共起関係という 2 つの観点から考察した。なお、連体修飾成分の類型については、格関係に還元できる「内の関係」(例: 高まるメリット→≡メリットが高まる)と格関係に還元できない「外の関係」(例: 効率化できるメリット)という 2 つに分けることができるが、

「内の関係」は用言類との共起関係の分析と同様であるので、この研究では「外の関係」の例に絞って観察した。具体的な用言類との共起パターンの分類方法と用言類の意味分類は以下の表 11 と表 12 のようになる。

表 11 宮田他(2006)における用言類の出現数による分類方法(宮田他(2006)により筆者が作表)

分類	内訳
A	「危険」(「危険性」とのみ共起
B	「危険」(「危険性」と共起する例が多い) (1000 例あたりの用例数が「リスク」の 3 倍以上)
C	AB・DE 以外
D	「リスク」と共起する例が多い (1000 例あたりの用例数が「危険」(「危険性」)の 3 倍以上)
E	「リスク」とのみ共起

表 12 宮田他(2006)における用言類の意味分類(宮田他(2006)により筆者が作表)

意味カテゴリー	構文
①人が被る影響	・<人>に【〇〇】[がを]<用言類> 例:…米国人に【危険】が <u>及んだ</u> 場合
	・<人>[がを]【〇〇】に<用言類> 例:従業員をより高い【リスク】に <u>さらす</u>
②認識・伝達 ・知覚(「察知する」「気づく」など) ・思考(「考える」「予想する」など) ・評価(「否定する」「嫌う」など) ・伝達(「警告する」「言及する」など)	・<人>が【〇〇】[がにを]<用言類> 例:政府は派遣による利益と【リスク】を <u>検討した</u>
③行動	・<人>が【〇〇】[がにを]<用言類> 例:資金の出し手は,【リスク】を <u>取る</u> 見返りに高い収益を期待する
④程度の変化	・【〇〇】が<用言類> 例:感染の【危険性】が <u>下がり</u> , 相談件数も今後減る
⑤その他 (存在・発生・消失・関係など)	【〇〇】[がにを]<用言類> 例:要介護状態になる【リスク】があると <u>いっても</u>

その結果, (1)3 つの単語と共起する用言類とそれぞれの意味特徴については以下の表 13 のよ

うになることがわかった。また、(2)連体修飾句の比較について、①「(利害の受け手にとって)意図的制御が不可能の事態」(例:少しの雨でも水量が大幅に増える【危険性】があった)と②「意図的制御が可能の事態」(例:小泉首相が自ら訪朝する【リスク】を取る姿勢を示した)という2つのタイプの中、「リスク」は②の割合が高い点で際立っていることが明らかになった。このことは、上記と同じように、「リスク」が<意図性>に支えられているからであると述べた。

表 13 「リスク」と「危険」・「危険性」と共起する用言類および意味特徴の比較(宮田他(2006)より筆者が一部編集)

		リスク	危険	危険性
共起する用言類 (意味カテゴリー)	①人が被る影響	○	×	×
	②認識・伝達	知覚	○	×
		思考	「予想」「予知」など	「判定」「立証」など
		評価	△「否定」など	△「嫌う」「恐れる」など
		伝達	△「訴える」「警告する」など	○
	③行動	「除去」「放置」など	×	「分担」「冒す」など
意味特徴	④程度の変化	△「増す」「高まる」など	△「増す」「高まる」など	○
	状態性	○	×	×
	程度性	△	△	○
	意図性	×	×	○

宮田(2007)は外来語「メリット」とその類義語「利点」の意味を比較するため、新聞データベース(朝日新聞・毎日新聞・読売新聞の2003・2004・2005年の朝夕刊データ)を利用して分析を行った。具体的な調査方法は宮田他(2004)と一致している。なお、共起成分の意味役割については、<受益者>・<行動>・<利益>という3つを設定した(たとえば、「観光客にとってバスを利用するメリットは、直通であること」という句の中で、「観光客」は「受益者」にあたり、「バスを利用する」は「行動」にあたり、そして、「直通である」は「利益」にあたる)。また、用言類との共起関係の比較方法について、以下の表14のような手順で比較を行った。

表 14 宮田 (2007)における「メリット」と「利点」と共起する用言類の比較手順

Step1 助詞「が」「を」「に」「は」「も」を介して後接する用言類の数を計測する。なお、受身・使役の例は、能動態に直して数える。
Step2 少なくとも一方の名詞と共起した例が 4 以上出現した用言類のみを分析対象とする。
Step3 「メリット」と共起する用言類の数を「利点」と比較し、宮田他 (2004)と同じような分類を行う。
Step4 共起した用言類を、以下の意味カテゴリーに分類する(宮田他 (2004)を参照)。 ①人が被る影響 ②認識・伝達 ③行動 ④程度の変化 ⑤発生・消失 ⑥存在 ⑦その他

その結果、(1)連体修飾成分について、a.両語とも＜利益＞に分類した成分と共起しやすいが、「メリット」は＜行動＞に分類した成分とともに「結果として生じる」という意味で使われやすいこと、b.特定の＜受益者＞を想定する場合は「メリット」の方が使われやすいこと、が明らかになった。また、(2)共起した用言について、a.カテゴリー②～④に属する用言との共起は顕著な偏りは見られていないこと、b.カテゴリー①に属する用言はタイプ C・D・E に偏っていること、c.カテゴリー⑤に属する用言はタイプ C・D・E に偏っていること、d.カテゴリー⑥の内、「少ない」「ない」などの類は C・D・E に偏っていること、が明らかになった。まず、b.の原因としては、「メリット」は「特定の＜受益者＞がその＜行動＞を選択した際に結果として発生するもの」という特徴、すなわち「結果性」と「個別性」という意味特徴を持っているため、⑤「発生・消失」(「～が出る」「～が生み出す」「～がなくなる」など)というカテゴリーに分類した用言と共起しやすいことが挙げられる。また、c.の原因としては、「メリット」は特定の＜受益者＞が明示される場合に使われやすいという特徴を持っているため、①「人が被る影響」(「～を得る」「～を受ける」「～を享受する」など)と結びやすいことが挙げられる。最後に、d.の原因としては、「利点」は、「点」が「特定の場所。箇所」を表していることから、＜行動＞の一部をなす構成要素であり、すなわち、「＜行動＞に恒常的・普遍的に内在する特徴を指す」という意味合いが強いのにに対し、「メリット」は「存在が恒常的・普遍的でない」ことを表しているため、⑥「存在(無・少)」(「～がない」「～が少ない」「～が乏しい」など)と共起しやすいことが挙げられた。以上をまとめると、以下のような表 15 が得られた。

表 15 「メリット」と「利点」の意味特徴の比較(宮田 (2007)より転載)

	結果性・個別性	恒常性・普遍性
「メリット」	○	○
「利点」	△	○

佐藤(2013)は外来語の意味的研究の一事例として、朝日新聞データベースを用いて外来語「ムード」と漢語「雰囲気」を比較し、それぞれの意味特徴を明らかにした。その結果、両語は「ある対象の全体から感じとられる、部分の総和に還元できない全体の性質」という意味特徴を共有し、そして、その性質を持っているとされる根拠を客観的に提示することが難しく、人の主観の境域に属するということがわかった。また、両語は以下のような違いを持っている。

表 16 「ムード」と「雰囲気」の違い(佐藤(2013)より筆者が作表)

両語の違い	例
(1)「ムード」は「人間の情緒や感情に由来する性質」という意味特徴を持っている	○「アマゾンのジャングルってどんな <u>雰囲気</u> だろう？」 *「アマゾンのジャングルってどんな <u>ムード</u> だろう？」 (「アマゾンのジャングル」は「人間の情緒や感情に由来する対象の性質」という特徴とは関与の余地がないため「ムード」を使用しにくい)
(2)「ムード」は主観的にとらえられる情報を共有しやすく、客観的な情報の場合は使われにくい	○「逃走した容疑者はどのような <u>雰囲気</u> でしたか？」 *「逃走した容疑者はどのような <u>ムード</u> でしたか？」 (客観情報が求められるので「ムード」は使われにくい)
(3)人間の特徴について、「異性としての魅力」を述べる場合は「ムード」が使われるが、異性としての魅力以外の人物の特徴を述べる場合は「雰囲気」が使われる	○「彼はムードがあつてとても魅力的です。」 ○「彼は <u>雰囲気</u> があつてとても魅力的です。」 (異性としての魅力を述べているかた両語とも使える) ○「たくさんのサークル勧誘を受けたんですけど、ガリ勉っぽい <u>雰囲気</u> の人はほとんどいなかった。」 *「たくさんのサークル勧誘を受けたんですけど、ガリ勉っぽい <u>ムード</u> の人はほとんどいなかった。」 (異性としての魅力以外の人物の特徴を述べたため「雰囲気」が使われる)
(4)複合語の形成という点において、「雰囲気」よりも「ムード」の方が圧倒的に生産的である	○「 <u>ムード</u> メーカー」 *「 <u>雰囲気</u> メーカー」 ○「新春 <u>ムード</u> 」 *「新春 <u>雰囲気</u> 」 ○「あきらめ <u>ムード</u> 」 *「あきらめ <u>雰囲気</u> 」

陳(2014)はカタカナ語「ケア」と漢語「介護」の相違を検討するため、「中日新聞」2006 年のデータを用いて両語の意味フレームを明らかにした。調査方法として、「ケア」と「介護」の「直前直後共起語」と「文中共起語」を抽出し、それぞれ「場所」・「組織」・「経営」・「職業・知識・能力」・「病状・治療」・「受ける人の身体的・生活的な面」・「対象者」・「種類」・「設備・食品」・「心理的・精神的」・「美容」・「実施する人の生活」という 12 類に分類し、それにより両語の差異を見た。その結果、以下のような表 17 が得られた。

表 17 「ケア」と「介護」の使用分野の共起の特徴(陳(2014)により転載)

調査語	語種			制度	学術	サポート			対象者			実施側
	外来語	和語	漢語			外側	内側・ 繊細	心理・ 精神	高齢者	病人	それ 以外	
ケア	○	○	○	×	△	△	○	○	○	○	○	×
介護	△	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○

○共起しやすい △共起するが、少ない ×共起しない

このように、「ケア」と「介護」の書き言葉におけるそれぞれの意味フレームを明らかにした。

茂木(2015)は「マークする」と「マークをつける」・「記録する」とはどのような共通点と相違点を持つのかを明らかにするために、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)を用いて調査を行った。その結果、(1)「マークする」と「マークをつける」の違いについて、「マークをつける」は「ペンを使って引いた線や鉛筆で塗りつぶした楕円形といった比較的単純な形状をした印であり、動作の結果はじめて『マーク』として機能する」という意味と、「記号や商標のような具体的な形をしたもので、目的の場所につける前から『マーク』として成立している」という2つの意味を持ち、前者については「マークする」と同じであり、後者は「マークする」との違いであると述べた。また、(2)「マークする」と「記録する」の違いについて、①「マークする」と共起するヲ格名詞はスポーツに関わる語が多いのに対し、「記録する」のヲ格名詞には気象や経済に関わる語もあり、共起する語が比較的多様であること、②「マークする」のヲ格名詞はプラス評価のものに偏っているのに対し、「記録する」のヲ格名詞はマイナスのニュアンスを伴うものも共起できること、③「マークする」は「人間の力で努力した結果、顕著な数値や事実を生じさせる」という意味が内包されているのに対し、「記録する」は人為の及ばない現象についても描写できること、④「マークする」については語り方が軽いという印象を受け、新聞・雑誌・ブログ以外の媒体に現れにくいであるが、「記録する」は社会現状や動きを報告する公的な文書で現れやすいこと、がわかった。

以上、非和語系語彙に関する6つの観点のうち、第3点目意味論的観点から見た先行研究を概観した。先行研究において、様々な類義語を事例として分析がなされてきたが、観察の手法を用いてこれらの語彙の品詞性や共起語について差異を分析する研究が多く、得られた頻度を客観的な手法を使用して分析する研究は比較的少ない。また、小規模のデータベースを使用して類義語の関係を観察する研究が多く、大規模なコーパスを用いた研究は必ずしも多くない。そこで本研究は、これらをふまえ、非和語系語彙の類義語比較について、大規模なコーパスをふまえ、客

観的統計手法を使用し、類義語の内部関係を可視化してモデルの構築を試みたい。

以下 3.4 節では、形態論的観点から見た非和語系語彙研究について見ていきたい。

3.4 形態論的観点から見た非和語系語彙研究

以上、3.1 節では重要語抽出という観点、3.2 節では統語論的観点、3.3 節では意味論的観点から見た非和語系語彙の研究をまとめてきた。以下 3.4 節では、形態論的観点から見た非和語系語彙に関わる研究を概観する。

形態論というのは、単語の内部構造や単語の作り方を扱う分野である。すでに 1.4 節で述べたように、本研究は形態論的観点から見た非和語系語彙について、漢語について仮名表記の問題を、外来語について語末長音・連母音「ei」・「v」音・「ti」音という 4 種の外来語の表記ゆれ問題を課題として調査を行う。以下、それぞれについて先行研究を紹介する。

3.4.1 形態論的観点から見た漢語研究

ここでは、漢語の仮名表記問題に関わる研究を見ていくわけであるが、漢語だけを取り出して調査した研究がより少ないため、ここでは日本語全体と一緒に調査した研究も合わせて見ることにする。

まず、日本語全体の仮名表記ゆれに注目した研究について、斎賀(1955)(総合雑誌, カタカナ表記), 土屋(1976)(新聞, カタカナ表記), 佐竹(1989)(若者文章, カタカナ表記), 金城(1998)(広告, カタカナ表記語とアルファベット表記語), 中山(1998)(新聞, 非外来語のカタカナ表記), 成田他(2004)(新聞, 非外来語のカタカナ表記), 堀尾他(2005)(若者雑誌, 非外来語のカタカナ表記), 則松他(2006)(若者雑誌, 非外来語のカタカナ表記), 喜古(2007)(戦後小説, カタカナ表記), 松田(2007)(新聞, カタカナ表記), 奥垣内(2010)(Web・小説, 非外来語のカタカナ表記), 小椋(2012)(白書・新聞・雑誌・書籍・Web の 5 媒体, すべての表記ゆれ), 増地(2013)(テレビ番組におけるテロップなどの文字情報, 非標準的なカタカナ表記), 柏野(2014)(書籍, カタカナ表記), などが挙げられる。

斎賀(1955)はカタカナで書かれる言葉は、どのぐらい使われているか、また、どんな種類の言葉がカタカナで書かれているのかを明らかにするため、総合雑誌およびそれと近い内容を持つ雑誌 13 種(昭和 28 年 7 月号から昭和 29 年 6 月号まで)を用いて調査を行った。その結果、(1)カタカナで書かれた語彙の延べ語数と異なり語数はそれぞれ全体の 3.9%と 9.4%を占めること、(2)①外来語の表記に用いられたもの、②和語の表記に用いられたもの、③漢語の表記に用いられたもの、④その他(記号、音表記、ルビなど)に用いられたものという 4 種類のうち、延べ語数におい

でも異なり語数においても①>②>④>③という順序関係になること、(3)カタカナで書かれた和語のうち、漢字で書けるものがカタカナ書きした理由として、執筆者個人のクセに左右される要素が多いが、物品や道具の名前(カバンやクシなど)、一般の意から特殊の意味に限定して用いた語(アカ(赤)→共産主義、クビ(首)→首きりなど)、そして俗語(ザマ(を見ろ)など)などいくつかの類型が求められること、(4)漢語のカタカナ書きについて、当用漢字以外の漢字を避けた形跡が認められるが、なにか特別の効果を狙うために当用漢字であるのにわざわざカタカナで書いた例もあること、などが確認された。また、新聞と比べると、雑誌におけるカタカナ書きは数においても種類についても新聞とほとんど違いがないことも確認された。

土屋(1976)は昭和 41 年の新聞 3 紙を対象として語彙調査を行った。その結果、外来語や外国の人名・地名以外に、(1)食料品、(2)家具・道具・家庭用品など、(3)自然現象、(4)医学・衛生など、(5)体の部分、(6)動植物の部分、(7)形容詞・形容動詞、(8)副詞・接続詞・代名詞、(9)その他、の 9 種類においてカタカナ表記が見つかった。また、カタカナ表記の理由として、(1)カタカナで書く習慣のあるもの(例:タネやタマゴなど動植物の名称や、テンカンやニキビなど医学・衛生関係の語)、(2)漢字制限のため漢字で書けず、カタカナで書くもの(例:タクアンやタンスなど当用漢字表の「使用上の注意事項」にある「代名詞・副詞」・接続詞・感動詞・助動詞・助詞は、なるべくかな書きにする」にあたるもの)、(3)B が習慣化して範囲が広がったもの(例:デンワやマンガなど当用漢字の範囲内で表記することもできるもの)、(4)平仮名と違って、あるニュアンスを持たせるもの(例:解雇する意味で使われる「クビ」や現実する可能性のない「ユメ」など)、という 4 つが挙げられた。

佐竹(1989)は「若者文章におけるカタカナが多い」という傾向はどう変化したのか、もし、その傾向が認められるとしたら、カタカナはどのような表現効果をもたらしているのかを解明するために、若者雑誌(7 種)の読者投稿ページと「いわさきちひろ美術館」に備え付けられている感想ノートの文章(16~25 歳の文章)を対象に調査を行った。その結果、(1)雑誌の投稿文章は一般の文章よりカタカナが多用される傾向があること、(2)外来語以外の表記でカタカナが使われている場合として、①感情や評価を表す場合(主観的な評価)(たとえば、「ダメ」や「カッコいい」など)、②話し言葉ふうの表現を表す場合(たとえば、「ネ」や「ヨ」のような終助詞や、「けれど」の口語形「ケド」のほか、「イマイチ」や「モテモテ」のような話し言葉でよく使われる俗語・流行語)、そして③その他(日常の話し言葉で比較的によく登場し、普通ならば漢字で書かれる語)を表す場合(たとえば、「ソウゾウ」や「ユウワク」など)、という 3 つが挙げられること、(3)若者の文章のカタカナ使用の根本には、書き手自身の微かなニュアンスを含んだ感覚的な表現を、非標準表記の 1 形式として表すという

意識が存在すること、などが明らかになった。

金城(1998)はカタカナ表記語やアルファベット表記語の多用傾向が広告分野にも見られるのか、また、見られるとしたらどのような形でどの程度あるかを明らかにするために、大学広告を用いて調査を行いました。調査対象は日本経済新聞第2部全面広告に掲載された148編の「日経進学ガイド・1997年度全国主要公私立大学学校情報」(1997年7月4日付)であった。その結果、(1)使用したカタカナ表記語の延べ語数は総語数の7.1%を占め、また、カタカナ表記語を使用した広告件数は全体の93.9%を占めること、(2)種類としては、外来語以外に漢字かひらがなで表記されることが一般的な日本語も存在すること、(3)品詞としては名詞が一番多く、形容詞・形容動詞・副詞・動詞といった品詞は少ないこと、(4)カタカナ表記の構成は2単位語を中心に、複数単位の語構成が多いこと、などが明らかになった。

中山(1998)はカタカナで表記される非外来語の実態をとらえるために、朝日新聞3日分の朝刊(1997年4月1日、5月1日、6月1日)を対象に調査を行った。その結果、(1)非外来語の片仮名表記の数について言うと、異なり語数と延べ語数のどちらにおいても非外来語の1割前後であること、(2)非外来語の片仮名表記の種類として、①擬声語・擬態語、②感動詞・終助詞・語気語調、③振りがな、④方言・文、⑤外国人の発話文中語・外国製単語、⑥混種語、⑦動植物名・性別、⑧専門用語・隠語・俗語、⑨電報文、⑩単位・数を数える語、⑪人名・国名・地名、⑫機関・施設名、⑬その他などに分けられること、(3)本来漢字または平仮名で書くべき語をカタカナで書く理由として、①漢字で表される漢語の第1義でない場合(例、本のオビ、カギを握る)、②第1義だが、漢字で書くとわかりにくい場合(例、メド、ベーゴマ)、③表記者が本来の意味に特別な意味を加味している場合(例、カネ(選挙資金の意))、④表記の段階で、他とのバランスを考えたと思われる場合(例、ケイリン(自転車競技の種目として「エリミネーションレース、ポイントレース」など他のカタカナ表記の種目と並ぶ場合))、⑤見出し語などの単なる強調の場合(新聞等書き言葉特有の視覚的效果をねらったもの)(例、ナゾ、ハズレ)、⑥漢字または平仮名表記でよいと思われる場合(例、マンガ、カッコ)などが挙げられること、がわかった。

成田他(2004)は非外来語のカタカナ表記のあり方を整理して表記の原則との関係を考察し、また、このような表記がなされる背景にある語種についての意識や、表記戦略の仮説を提示するため、新聞を用いて調査を行った。その結果、(1)語の性質面から見ると、「体の類」(およそ名詞)が一番多く、延べて8割、異なりで7割を占め、また、「用・相の類」(主として動詞、形容詞、形容動詞、副詞)の多様性をもっとも高いこと、(2)意味用法の面から見ると、一般語(専門語、動物、植物、数、オノマトペ・畳語・感動詞類、付属語・接辞類、その他)の数は固有名詞より多いこと、などが明らか

になった。また、日本語の表記戦略として、(1)明らかに外来語である語はカタカナで書けること、(2)固有名は決まった表記があればそれに従えること(例、ニッサンやトヨタ)、(3)漢字で書ける語は漢字で書けること、(4)動物・植物・オノマトペ・畳語はカタカナで書いてもよいこと(例、ネコやナス、ガタガタ)、(5)漢字で書けるはずの語で、漢字が分からない、あるいは読みにくいと思われるときはカタカナで書ける(活用語尾はひらがなでよい)こと(例、ホンマ、するんスよね)、(6)音を明示したい、意味をきわだたせたい、などの表現意図があるときは、カタカナで書けること(例:今夜はヤマである)、(7)上記のいずれにもあてはまらない場合は、ひらがなで書けること、が挙げられた。すなわち、日本語の表記をするときに、語種を意識するのは明らかな外来語についてだけで、それ以外は別の基準や理由による、ということである。

堀尾他(2005)は若者雑誌におけるカタカナ表記とその慣用化の実態を解明するため、若者雑誌 5 種を対象として調査を行った。その結果、(1)カタカナ表記が進んでいる語(カタカナ表記率が 50%を超え、かつ該当語のカタカナ表記の延べ語数が 30 以上、5 誌 5 冊すべてにわたって現れる語)と、カタカナ表記の慣用化が進みつつある語(カタカナ表記率が 20%~49%であり、かつ該当語のカタカナ表記の延べ語数が 30 以上、5 誌 5 冊すべてにわたって現れる語)を合わせて、異なり語数 539 語のうち 18 語があること、(2)上記の語彙は大別して、①隠語として使用するもの(ネタ)、②表外漢字を含むもの(例:ニキビ、キレイ)、③表外音訓を含むもの(メリハリ)、④当用漢字であるのにカタカナで表記されるもの(例、クセ、コツ)の 4 種に分けられること、などが明らかになった。また、語が仮名表記される理由として、①表外漢字、表外音訓については、難しい漢字や一般的でない特殊な読み方をする漢字の使用を避けること(例:ニキビ、キレイ)、②漢字の表す本来の字義と実際の使用場における語義との間にすでに大きな隔たりが存在すること(例:モテる、コツ)、③前後のひらがな連続への埋没を避け当該語を視覚的にきわだたせること(例:コレ、メリハリ)、などが挙げられる。

表 18 カタカナ表記が進んでいると進みつつある 18 語とカタカナ表記される理由(堀尾他(2005)に基づき筆者が作図)

分類	語	理由
隠語	ネタ	①隠語
表外漢字	ニキビ(面皰)	①表外漢字②医学・衛生関係の語
	ハマる(嵌る)	表外漢字
	キレイ(綺麗)	表外漢字

	コレ(此れ)	①表外漢字②具象物や具体的場所を指す
	オシャレ(御洒落)	表外漢字
	ココ(此处)	①表外漢字②具象物や具体的場所を指す
表外音訓	メリハリ(減り張り)	①表外音訓②前後のひらがな連続への埋没を回避し、視覚的にきわだたせる効果を発揮する
当用(常用) 漢字	持てる(もてる)	①「持」という感じ本来の字義からかけ離れた ②前後のひらがな連続への埋没を回避するという意図を働く
	クセ(癖)	言い回し
	コツ(骨)	①誤読を避ける ②漢字本来の字義と遠ざかるという効果を発揮する ③前後のひらがな連続への埋没を回避するという意図を働く。
	ダメ(駄目)	本来の語義との差別化を図るという意図に基づく
	キミ(君)	
	イヤ(嫌)	感情や評価を表す
	カッコいい(格好いい)	感情や評価を表す
	ワザ(技)	
	オススメ(お勧め)	感情や評価を表す
	コ(子)	漢字本来の字義の意との間に一定の距離間を保つという意図を働く

則松他(2006)は、常用漢字をカタカナ表記で表記した語に焦点を当て、それらの語彙は意味分野ごとの出現状況や偏在の様相について考察を行った。調査対象は若者雑誌4誌(2005年9月)であった。その結果、(1)〈抽象的關係〉〈人間活動－精神および行為〉という2つの意味分野において、カタカナ表記語が頻出され、また、下位区分の中項目では、〈抽象的關係〉の《様相》(例:メリハリ、ノリノリ)、また、〈人間活動－精神および行為〉の《心》(例:コツ、ニクイ)という意味分野にカタカナ表記語の偏在が認められることがわかった。また、(2)性質や状態など属性を表す語や、感覚や感情・心情など情態を表す語のカタカナ表記化が著しく、その理由としては一般的な意味・用法と若者特有の使用法との差別化、あるいは、広く一般に定着している語感を弱化させる若者特有の感覚・感性・感情などを表現しようとする書き手の意図があることが挙げられた。

喜古(2007)は、カタカナ表記の表現効果にはどのようなものがあるかを解明するため、戦後の小説を資料として調査を行った。具体的な分析観点は、カタカナで表記されている場合、ことばのどの要素(意味・イメージ・音声)にどのような効果が生じているかということである。その結果、(1)ことばの意味に関わる効果について、「限定・ずれ・強調」があることが明示されること、(2)ことばのイメージに関わる効果について、「卑俗、略式といったイメージ」、「西洋風、新しい、最先端といった

イメージ」,「平易というイメージ」などのイメージが表現できること,(3)ことばの音声に関わる効果について, 音声を際立たせる効果があること, などが解明した。また, これらの効果は共起する場合もあることが述べられた。

松田(2007)は新聞記事におけるカタカナ表記の時間的変遷を考察するために, 新聞データ(1984～2006年の期間, 10年毎に1日分)を用いて調査を行った。その結果, 新聞におけるカタカナ表記語数は全体的に非常に緩やかであり, その原因として, 新聞では外来語に限らず, わかりにくい語を極力使用しないよう心掛けられていることが挙げられることがわかった。

奥垣内(2010)は, 身体性とイメージの観点から, 語の漢字・仮名表記の違いと意味の違いを考察した。その結果, (1)「走る」の場合, 音楽用語として使用されるときに「ハシル」と書くほうが適切であり, カタカナ表記は「外国」というイメージに動機付けられること, (2)「嵌る」の場合, 漢字表記は「不利益を被らせる」という意味で用いるのに対し, 「ハマる」というカタカナ表記は「主語が不利益を被るのではなく, 好ましいもの, もしくは趣味を表すものである」という意味で使用され, 「モダン」という要素から新しいポップカルチャーに関連されていること, (3)「薬」の場合, 漢字表記は病気の治療に使われることを指すのに対し, 「クスリ」は法律で規制されている大麻や覚醒剤のことを特定の指し, カタカナ表記に「鋭角的」「冷たい」という要素に動機付けられること, (4)「携帯」の場合, 漢字表記は「身につけて持っている・持ち歩く」という意味で使用するのは可能であるが, カタカナ表記する場合「携帯電話」のみを指す名詞であり, 「モダン」と「おしゃれ」という要素に動機付けられること, (5)「先生」の場合, カタカナ表記の「センセイ」は「尊敬と親しみ」というよりもバカにした表現であり, 「冷たい」「気とった」などの要素に動機付けられていること, などがわかった。また, カタカナ表記語がカタカナ表記のイメージを積極的に利用した表現であり, カタカナ表記を使うことは新語を生産するための一定の制限付きの手法であるといえることが述べられた。

増地(2013)は, 語用論的要素が文字種の選択の要因の1つであることを証明するために, テレビ番組におけるテロップ等の文字情報を対象として調査を行った。具体的には, 「報道」, 「教育・教養・実用」, 「スポーツ」, 「その他の娯楽番組」ジャンルのテレビ番組29本におけるテロップおよび画面内の文字を対象とした。その結果, コンテキストや, それに応じた表記主体の意識, そして文字種は連動していること, また, この考え方が文字種の選択要因を考えるにあたって重要であること, などが指摘された。

柏野(2014)は「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)の書籍データを用い, どういった和語や漢語に対して, どういった意図や意識からカタカナ表記が選択されているかについて調査を行った。調査対象語は新聞や雑誌の先行調査の対象語より選定した60語であった。その結

果、(1)書籍において明らかにカタカナ表記が優勢であるもの(カタカナ表記率は50%を超えているもの)は13語しか確認できず、全体の約2割程度に過ぎないこと、(2)①「表外漢字」「表外音訓」「表外熟字訓」を含む語、②動植物名の語、③擬音語・擬態語、④第1義でない意味の語、⑤特別な意味を加味する用法の語、⑥強調用法があり、⑦同字語を避けたい、⑧音を明示したい、⑨習慣的に用いられる語、などの場合はカタカナ表記が使いやすいこと、が確認された。

小椋(2012)は現代日本語における表記のゆれの実態を明らかにするため、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)のコアデータ(白書・新聞・雑誌・書籍・Webの5媒体)を用いて調査を行った。具体的には、媒体と語種という2つの観点から調査を行い、さらに動詞に注目して、どのような語表記のゆれの類型があるかを調査した。その結果、(1)媒体による差異について、語表記のゆれの割合の高いWeb・書籍・雑誌とゆれの割合の低い白書・新聞に大きく分けられること、(2)語種による差異について、和語のゆれ率がもっとも高いこと、(3)品詞を動詞に絞った場合、異なりで35%の語彙について表記のゆれが見られること、また、類別で見ると、平仮名と漢字の対立によるゆれと、異なる漢字の対立によるゆれが多いことなどが明らかになった。

次に、漢語の仮名表記だけに注目した研究について、吉村(1982)(新聞雑誌、カタカナ表記)、間淵(2017)('現代日本語書き言葉均衡コーパス'(BCCWJ)、仮名表記)、などが挙げられる。

吉村(1982)は現代日本語における漢字表意性の退行を証明するために、新聞と雑誌を用い、漢字を代行するカタカナ表記について調査を行った。その結果、(1)カタカナの各種類の占有率を見ると、①漢字の種類によるもの>②意味に特別な効果を持たせるもの>③漢字と意味が分離しているもの>④発音どおりに表すもの>⑤品詞によるもの>⑥表記上際立たせるものという順序関係になることがわかった。また、漢字と意味が分離しているもの中、a.1字になう意味が不明瞭なもの(例:「ボロ」(檻樓)や「アイサツ」(挨拶)など)、b.1字になう意味が明瞭であっても、語義と字義のつながりが認められないもの(例:「ユエン」(所以)や「ヤカン」(薬罐)など)、c.当て字(例:「ヤジ」(野次)や「ウヤムヤ」(有耶無耶)など)、d.造語・略語(例:クロヨン(九・六・四)など)、e.固有名詞(例:「ワセダ」(早稲田)や「タカシマヤ」(高島屋)など)という5種類に分けられることもわかった。

間淵(2017)は漢語の仮名表記の実態と背景を明かにするために、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)を用いて調査を行った。具体的には、(1)字体特徴、(2)語の出現状況、(3)音声変位形の有無、(4)語義分野、(5)品詞性、(6)レジスターという6つの観点から仮名表記の定着度はどのような要因に関わっているかについて考察を行った。その結果、(1)「常用漢字表」に含まれない字(音)が含まれる漢語は仮名表記率が高いこと、(2)語の一般性が高いほど、ルールに基づく表記(「常用漢字表」に含まれる語は漢字表記、含まない語は仮名表記)が選択されや

すいこと、(3) 音声転訛(たとえば、「面倒:メンドウ→メンド」のような語末長音短呼形、「絶対:ゼッタイ→ゼッテー」のような融合形、「最高;サイコウ→サイコウ」のような一時的に現れる促音付加, そして、「携帯:ケイタイ→ケータイ」のような意図的な連母音の長音化など)について、常用漢字表外字を含む漢語では音声転訛形のある語は仮名表記率が高いこと、(4) 動植物や植物に関連する語義で仮名表記率が高いが、抽象概念を表す語で仮名表記率が低いこと、(5) 動詞は仮名表記になりやすく、副詞は仮名表記になりやすいこと、(6) レジスターについて、新聞や雑誌は標準的な表記選択が行われているが、Web 媒体のテキストではそれによらず、仮名表記率が低い傾向があること、などが確認された。特に、意味分野や品詞性という 2 つの要因について、仮名表記率にもっとも影響の大きいと思われる字体特徴という要因を超えて機能している可能性があり、これは類似性に基づく合理化作用が働いている可能性がある」と述べられた。

なお、先行研究はまだ以下のような課題が残されている。1 点目は、それぞれの研究が異なるデータを用い、異なる調査対象を扱っているため、統合的な説明に達していないことである。2 点目は、特殊表記の存在するものだけを取り上げた分析はあるが、その前提として特殊表記の発生確率を調べた研究は少ないことである。3 点目は、ほとんどの先行研究では多種の品詞を混ぜて調査しており、品詞別の観察は十分ではないことである。4 点目は、教育的応用の視点が十分にふまえられていないことである。そこで本研究は、仮名表記が存在する語彙を抽出して調査するのではなく、重要漢語をのうち、仮名表記が生じやすい漢語副詞・形状詞(間淵(2017))に絞って調査を行うこととする。

3.4.2 形態論的観点から見た外来語研究

以下、2 重母音[ei]の表記ゆれに関わる研究を紹介する。

先行研究を概観する前に、まず、現代日本語における外来語表記のガイドラインを確認しておこう。この点については、たとえば新聞社や出版社がそれぞれ独自にガイドラインを所持していると考えられるが、ここでは一般的なものとして文部科学省(1991)とテクニカルコミュニケーター協会(2015)を挙げる。具体的には以下の表 19 のようにまとめられる。なお、テクニカルコミュニケーター協会(Japan Technical Communicators Association)は、製品やサービスの使用説明を扱う専門家の団体であり、「使用説明」の品質向上によって誰もが安全かつ簡単に最新の技術を利用できること、仕事や生活の質が高められる社会を実現できること、また、TC 技術に携わる人々の間の情報共有と情報交換が活発に行えることを目指す団体である。

表 19 2 重母音の標準表記と特殊表記に関する判断基準

文部科学省(1991) 『外来語の表記』	テクニカルコミュニケーター協会(2015) 『外来語表記ガイドライン』
原則として長音符号「ー」。慣用と なっている場合は「エイ」「オウ」	「ai」「a+子音+e」「o」など、発音記号は“ei” “ou”などのアク セントのある二重母音になる表記には長音符号「ー」を充てる

表 19 で示したように、2 重母音の表記に関しては、たとえば「メール」と「メイル」という 2 つの表記について、2 つのガイドラインともに「メール」を標準としているが、文部科学省(1991)は慣用された場合は「エイ」の使用も許されるとしている。

もっとも、このように 2 つのガイドラインはほとんど同じ立場を示しているにもかかわらず、日本語には 2 重母音と連母音表記の両方が混在して存在する現状がある。この点をふまえ、多くの研究者がそれぞれの表記方法の出現のメカニズムやパターンについて検討を行ってきた。

たとえば、宮島・高木(1984)は 1956 年の雑誌 90 種を対象とし、その中に出現する外来語表記のゆれ現象について調査を行った。その結果、「エ段」の長音表記について、(1)延べ語数においても異なり語数においても「長音表記」>「エ」表記>「イ」表記(連母音表記)となり、また、長音表記は全体の 97%を占めており、圧倒的に多いこと、(2)原語の発音が 2 重母音という意識がある時に連母音表記を選択しやすいこと、(3)CV 型音節の長音を除き、V 型音節の場合だけ抜き出すと、すべて長音表記となること、(4)一般名詞に比べて固有名詞(人名・地名)の方が連母音表記が多いこと、(5)「語中」より「語尾」のほうが連母音表記率が高いこと、などが明らかになった。

荻野(2014)は英語で[ei]で発音される外来語について、(1)個々の語はそれぞれどのような表記が選好されるか、(2)長音表記と連母音表記にはどのような意味・用法の違いが存在するか、という 2 点について調査を行った。その結果、(1)について、①長音表記は圧倒的に多く使われていること、②半々で揺れている語は見つからなく、単語ごとにどう表記されるかが決まっていると見るべくこと、③古い時代に日本語に入ってきた単語が長音表記される傾向があること、などが確認された。また、(2)について、「ネーム」を例として調査を行った結果、「ネーム」は会社名や商品名に多く使われているのに対して、「ネイム」は曲名やアパレルの会社名などよりおしゃれに使用したい場合で多く使われていること、が明らかになった。

小椋(2015)は原語で二重母音「ei」を含む外来語に注目して、二重母音「ei」をエ段長音として長音符号で書くか、連母音で書くかについて、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)を用いて頻度調査を行った。調査対象は出版サブコーパス(書籍・雑誌・新聞)と特定目的サブコー

パス(知恵袋・ブログ)で出現頻度が 100 回を超えた外来語に限定している。また、より詳細な議論を行うため、「ディスプレイ」と「メイク」の 2 語を取り上げて分析した。その結果、(1)全体として、「ei」の表記は長音表記が圧倒的に多く、いずれのサブコーパスでも 9 割を占めること、(2)しかし、「ディスプレイ」については、連母音による表記「ディスプレイ」が多いこと、(3)「ディスプレイ」は「陳列・展示」の意味で使われる場合よりも、「モニター」(コンピューターの画面)の意味で使われる場合に連母音表記率がさらに高まること、(4)美容・ファッション関係で使用される「メイク」について言うと、出版サブコーパスでは表記のゆれが生じているのに対し、個人が表記を自由に選択できるウェブにおいては連母音表記が定着していることが明らかになった。

先行研究は様々な有益な知見が得られたものの、まだ以下のような課題が残されている。まず 1 点目は、先行研究は異なるデータ、異なる調査対象をふまえて、使い分けの要因を考察しているが、教育的な重要外来語への当てはまり度は未確認ことである。2 点目は、特殊形である連母音表記を選ぶときに、どのような動機が存在しているのかはまだ全面的には明らかになっていないことである。3 点目は、異なる表記にはどのような意味用法の差異が存在するのかについて、具体的な外来語に対する調査はまだ少ないことである。

以上、形態論的観点に関わる外来語研究について概観してきた。以下の 3.5 節では語用論的観点から見た非和語系語彙研究について紹介する。

3.5 語用論的観点から見た非和語系語彙研究

語用論とは、ことばの統語上の意味と現実の言語行動における機能との関連を探る言語学の一分野である(日本語教育学会, 2005)。語用論の研究に共通しているのは、「コミュニケーションは文法的な知識のみによっては達成できない」という考え方であり、コミュニケーションを達成には、文法以外にも、パラ言語、非言語、コンテキスト(文脈)、社会言語的知識、社会文化的知識、コミュニケーション参加者の相互交渉など、さまざまな要素が相互に関連している。すでに 1.4 節で述べたように、本研究は語用論的観点について、産出モード(書き言葉か話し言葉か)や産出環境などの要素が非和語系語彙使用に与える影響に対する調査という課題を扱う。

以下、語用論的観点に関わる漢語研究(3.5.1)と外来語研究(3.5.2)についてそれぞれ紹介していく。

3.5.1 語用論的観点から見た漢語研究

ここでは、漢語の語用的特性に関わる研究について、(A)非言語要素として時代要素を、(B)

言語要素としてコンテキスト要素(文体差)を取り上げて概観する。

まず、(A)時代変化による意味変化に関わる研究について、間淵(2017)は近代の漢語がどのような特徴を持ち、どのような背景で変化していくのかを明らかにするため、現代漢語との比較を行った。具体的なデータについて、近代語のコーパスとしては『日本語歴史コーパス 明治大正時代編』(CHJ)を、現代語のコーパスとしては「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)を取り上げた。調査対象語は2字漢語に絞り、分析指標とそれぞれのラベルは以下ようになった。

表 20 間淵(2017)の分析指標

分析指標	ラベル
使用の有無	a.近代専用(CHJのみに出現し、BCCWJで用例が得られない語) b.近現代両用(CHJ, BCCWJのいずれにも1例以上の用例が見られる語) c.現代専用(BCCWJのみに出現し、CHJで用例が得られない語)
語の変化パターン	a.<消失>近代専用の語 b.<減少>近代で有意に高頻度の語 c.<不変>有意差が認められない語 d.<増加>現代で有意に高頻度の語 e.<出現>現代専用の語
語彙レベル	a.Aレベル:語のカバー率は60%以上 b.Bレベル:語のカバー率は80%以上 c.Cレベル:語のカバー率は90%以上 d.Dレベル:語のカバー率は95%以上 e.Eレベル:語のカバー率は99%以上 f.Fレベル:語のカバー率は100%以上 g.Gレベル:頻度0のもの

その結果、(1)近代では現代より豊富な語彙を有していること、(2)現代における漢語使用は限られた漢語を高頻度で用いるものであるのに対し、近代は中間層がより厚く、豊富な漢語を幅広く用いるものであること、(3)近代で使用頻度の低いものは、現代語に引き継がれても周辺的な語として残る傾向にあり、使用頻度の高いものは増加し語彙レベルを上げて定着する傾向にあること、(4)近代での頻度がきわめて高いにもかかわらず現代において使用が有意に減少する漢語には、政治的・社会的な抽象概念を示すものが多く、逆に近代では頻度が低く周辺的な語にとどまっていた漢語が現代で使用を増やした語には、サ変動詞として用いられる漢語多いこと、が明らかになった。

また、個々の語の時代変化について、中山(2014)は漢語「了解」の意味変化を明らかにするため、「太陽コーパス」(総合雑誌『太陽』の1895・1901・1909・1917・1925年分)と「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)を用いて調査を行った。なお、意味を判断する時、主観的な判断に陥らないように、客観的な構文的条件(連語的な構造)、つまり、名詞としてのどのような動詞と組

み合わせるか、動詞としてどのような名詞と組み合わせるかなどに基づき分析を行った。具体的な「了解」の2つの意味の違い、および、それに支える構文的な構造は以下の表21のようになった。

表21 「了解」の2つの意味の違いとそれに支える構文的な構造(中山(2014)により筆者が作表)

	意味			意味に支える構文的な構造
意味 A ≒理解	外界の事柄に対する認知活動			(1) <動詞>の場合
	主体	対象	相手	①名詞ヲ(抽象的な事柄)+了解スル 名詞ニ就キ/ニ就キテ/ニ対シテ(抽象的な事柄)+了解スル
	人 (組織)	動作・行為でない	なし	②互イニ/ヲ+了解スル ③節(物事の状態や性質)+了解スル ④節(疑問文)+了解スル ⑤難易:了解シ易イ/了解シ難イ (2) <名詞の場合> ①難易:了解ニ苦シム ②名詞ハ(事柄)/節ハ(状態や性質)/節(疑問文)+了解ガデキル
意味 B ≒承諾	動作・行為の実行に対する態度			(1) <動詞>の場合:名詞ヲ(動作・行為)/〜スルコトヲ了解スル
	主体	対象	相手	(2) <名詞の場合>
	人 (組織)	動作・行為	人 (組織)	①特定の動詞とのくみあわせ(える・とるなど) ②人(組織)ト人(組織)ノ間ニ/デ了解ガアル (3) <慣用表現>の場合:暗黙ノ了解 (4)感動詞的なもの:単独で文をなす

その結果、(1)品詞別の実例数を見ると、「了解」はもともとサ変動詞としてしか使われていないが、その後、名詞としての用法が出てきて、現代では名詞用法が優勢になりつつあること、(2)明治大正期の書き言葉では、サ変動詞の場合は年代を問わずほとんどすべて「理解」の意味で使われているが、名詞の場合は1920年造語から、「承諾」の意味が多く現れており、「理解」と「承諾」の実例数がほぼ拮抗すること、(3)現代語の書き言葉において、サ変動詞の場合であれ名詞の場合であれ「承諾」の意味として使われている例が圧倒的に多いこと、がわかった。

次に、(B)文体差に注目した研究について、小磯他(2009)は、新聞や書籍、Web上の文章、話し言葉など様々なジャンル媒体におけるテキストの文体の差や類似性を比較するため、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)と『日本語話し言葉コーパス』(CSJ)を用いて調査を行った。その結果、(1)漢語率について、白書>新聞>学会>国会会議録>模擬講演>Web上の文体>小説という順序となること、(2)漢語率と名詞率の高い原因として、複合名詞が多いこと、文章が複雑であることなどが挙げられること、がわかった。

田辺他(2014)は伝達目的によって異なる二字漢語動名詞の使用表現の限定化・習慣化の実態を明らかにするため、新聞における2字漢語動名詞使用の特徴を考察した。データとして、日英新聞パラレルコーパス及び「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)の「図書館・書籍」サブコーパスを使用した。調査対象語は、「日本語新聞キーワード」(中條他, 2010)によって選出された664語のうち、日英新聞コーパスによってサ変動詞として使用が認められ、そして、動詞としての使用例が500を超える26語であった。具体的には、(1)上記の2つのコーパスにおいて二字漢語動名詞の名詞として使われる度合いと動詞として使われる度合いを比較し、(2)動詞として使われた場合、使用形式(テンス・アスペクト・ヴォイス)の使用比率を比較した。その結果、(1)新聞コーパスの報道場面における名詞用法は動詞用法よりやや高いであること、(2)新聞というような報道の目的を持つ場面でも、一般的な書き言葉によるコミュニケーションの場面でも、「ある場面においてある文法形式が多く使う」というようなモデルの一般化が難しく、むしろ動詞各々の意味によって使われ方が異なること、などがわかった。

馬場(2018)は語の文体差を数値化することで文体研究における有効性・可能性を検討するため、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)の図書館サブコーパスの文体情報を用いて調査を行った。その結果、語種別の特徴として、(1)和語と外来語は専門度、客観度、硬度の全体平均値が高く、くだけ度は全体平均値が低く、漢語に比べて、硬くなくてくだけた文体のテキストで使われやすいこと、(2)漢語の語別平均値の標準偏差がもっとも大きく、他の語種に比べて文体差が大きい傾向にあること、(3)硬度、専門度、硬度、くだけ度の4指標の平均値を語の文体差を評価する目安として用いることが可能であること、などが明らかになった。

3.5.2 語用論的観点から見た外来語研究

以下、語用論的観点から見た外来語研究について概観する。具体的には、(A)時代要素、(B)コンテキスト要素(文体差)、(C)その他の要素という3つの観点から概観する。

まず、(A)時代要素について、橋本(2006)は新聞社説における外来語の量的変化を明らかにするため、1901年から1940年8月までの『東京朝日新聞』と、1941年9月から2000年までの『朝日新聞』(東京本社版)における社説をデータとして調査を行った。調査方法については、外来語を固有名詞(人名、地名、社名、組織名)、数量名詞(具体的な数値に後接する助数詞)、普通名詞(それ以外)という3種類に分け、それぞれの通時的変化を見た。また、外来語の出自によって英語出自とそれ以外に分類し、それらの通時的変化も見た。その結果、(1)全期間で見ると、3タイプの外来語の割合について、固有名詞が6割を占め、普通名詞は3割強に過ぎないこと、(2)

普通名詞の割合は 1940 年以降に徐々に増え、現在では固有名詞匹敵するようになったこと、(3) 普通名詞の 1 万字あたり出現度数は一貫して増加し、現在(1981 年～2000 年)は戦前(1901～1940 年)と比べ約 9 倍の量の外来語が使用されていること、(4)3 つのタイプの外来語の 1 万字あたり出現度数ともに 60・70 年代に一気に増加し、60・70 年代は外来語増加のターニングポイントとなること、(5)英語出自の外来語は全期間にわたって増加しているが、英語出自以外の外来語の増加は 1961～1980 年に限られていること、が確認された。

次に、(B)コンテキスト要素について、田中(2006)は公共的な媒体における外来語の実態を把握するため、新聞、省庁発行の白書、地方自治体発行の広報紙という 3 つの公共媒体をデータとして調査を行った。具体的調査対象として、新聞は 2003 年発行の『毎日新聞』朝夕刊を、白書は 2003 年発行の国会や閣議に提出される白書(電子媒体と紙媒体との双方が公開されているもの全 35 冊)を、広報紙は 2003 年発行のものから無作為に 61 号を、取り上げた。その結果、(1)国立国語研究所(1994)年の雑誌に対する調査の結果と比べると、公共性の高い 3 つの媒体における外来語の比率は低いことがわかった。(2)また、新聞の各面種の外来語比率を見てみると、スポーツ(5.3)＞芸能(4.4)経済(4.2)科学(4.2)＞家庭(3.7)＞社会(2.5)文化(2.4)＞国際(2.0)という順になった。(3)白書の各内容ジャンルの外来語比率について、情報(6.9%)＞外交(2.9%)＞国土(2.8%)＝全体(2.8%)＝経済(2.8%)＞教育(2.6%)＞福祉(2.3%)＞環境(2.2%)＞安全(1.6%)＞農林(1.3%)という順になった。(4)新聞と白書において外来語比率の高い分野が目立ち、他の分野ではあまり多く使われない外来語については、それぞれなくてはならない概念を表しており、それが報道や報告に取り上げられた結果、公共性の高い新聞や白書にも顔を出すことになる」と述べた。

桐生(2007)は、新聞の各面種の外来語使用実態の特徴を明らかにするため、『CD—毎日新聞』を用いて分析を行った。具体的には、『CD—毎日新聞』(日外アソシエーツ)1994 年～2003 年の 10 年分に収録される記事データのうち、大阪版の記事を除いた東京版の記事全文を使用した。総語数は 452,307,883 語であった。特徴語の抽出にあたっては、特化係数を用いた(面種 j における語 i の特化係数＝面種 j における語 i の割合/面種 j における語 i の割合)。その結果、(1)各面種に含まれる外来語の分量について、スポーツ＞芸能＞国際＞総合＞科学＞経済＞家庭＞特集＞読書＞文化＞社会＞一面＞三面＞解説＞社説＞二面という順になること、(2)各面種の高頻度外来語に占める特徴語の割合について、スポーツ・芸能・科学・家庭・経済などは特徴語の割合が 50%を超え、特徴的専門的な面種である一方、社説・解説・一面・特集・総合・二面・三面などは特徴語の割合が 20%に満たなく、平均的一般的な面種であること、(3)各語の特徴語

となる面種について、「スポーツ」の特徴語の大多数が「面種専用の語」である一方、「三面」「社説」「一面」などの特徴語は複数の面種にまたがる特徴語が多いこと、がわかった。

最後に、(C)その他の要素について、久屋(2013)は外来語「ケース」を例としてその共時的分布を明らかにし、また、外来語使用における言語外的要因を特定するため、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)を利用し、「ケース」と同様の意味をもつ既存語(事例・場合・例)について分析を行った。分析対象となるサンプルを抽出した結果、「ケース」が 363 件、「事例」が 92 件、「場合」が 1010 件、「例」が 331 件となった。また、言語外的要因について分析した結果、(1) 書き手の生年について、書き手が若くなるにつれて、既存語群に変わって外来語がより用いられ、「ケース」の生起率と生年代との関連が統計的に認められたこと、(2) 書き手の性別について、「ケース」の生起率は男性グループ(20.1%)より女性グループ(21.3%)のほうが若干高いが、統計的には有意な差が認められなかったこと、(3) 書き手の最終学歴について、最終学歴の上昇するにつれて外来語の生起率が段階的に低下しており、「ケース」の生起率と最終学歴との関連が統計的に認められたこと、(4) 書き手の海外滞在歴について、書き手が「海外滞在歴なし」(アンケートにより別途調査した)のグループより「海外滞在あり」のグループのほうが「ケース」の生起率が高いが、統計的に有意な差が認められなかったこと、(5) 媒体種について、「ケース」の生起率は書籍(19.6%)よりも雑誌(33.8%)のほうが高く、統計的には有意な差が認められたこと、(6) 販売対象(書籍のみ)について、「ケース」の生起率は相対的に一般書で高く、専門書で低かったこと、が確認された。

上記の先行研究で述べたように、漢語使用においても外来語使用においても、時代や文体など様々な要素に大きな影響を受けていることが明らかになった。しかしながら、中山(2014)や久屋(2013)のようなある単語に対する調査や、田辺他(2014)や桐生(2007)のような限定された文体ジャンルに対する調査が多く、幅広い非和語系語彙について、大量のデータを使用した研究は必ずしも多くない。

以上、語用論的観点からみた非和語系語彙研究について概観した。以下 3.6 では、日本語教育学という観点から見た非和語系語彙に関わる研究について紹介していく。

3.6 日本語教育学という観点から見た非和語系語彙研究

以下、3.6 節では日本語教育的観点から見た非和語系語彙に関わる研究を概観するという目的で、学習者の意識および産出に関わる非和語系語彙研究について見ていく。具体的には、(A) 学習者に対する意識調査に関わる研究、(B) 学習者の使用実態に関わる研究、という 2 つの観点か

ら概観する。

3.6.1 日本語教育学という観点から見た漢語研究

まず、(A)学習者に対する意識調査について、許(2011)は中国人学習者が日本語を勉強する際に、母語干渉の影響を受けているかを明らかにするため、日本語と中国語の同形語の意味・用法の差異をめぐって使用実態を調査した。調査方法としては、文脈の中で日本語の漢字熟語と意味に対応する中国語の熟語を選択させるアンケート調査を取り上げた。設問は主に金(1987)の『同じ漢字でもこれだけ違う日本語と中国語』と『日中辞典』から抜粋した 20 問であった(なお、この論文では設問 10 まで検討した)。具体的な設問は以下の表 24 のようになった。有効回答は日本人 837 人と中国人 174 人であった。

表 22 許(2011)におけるアンケート調査の設問

設問 1	公共の(A 場合・B 場面)では秩序を守るべきだ。
設問 2	公開の(A 場・B 場合)では話に気をつけなければならない。
設問 3	文章の内容を十分(A 把握・B 理解)する。
設問 4	実態を(A 把握・B 理解)する。
設問 5	会議は(A 円満・B 円滑)にとり行われた。
設問 6	旅行に行けない(A 事情・B 理由)を話す。
設問 7	僕はずっと前から中国の(A 事情・B 状況)を知るべきだと思った。
設問 8	(A 検討・B 討論)の結果、二つの意見が出た。
設問 9	(A 検討・B 反省)の色があまり見えない。
設問 10	この論文の中味は一体どうか(A 評判・B 検討)して欲しい。

アンケート調査を行った結果、10問のうち、日本人と中国人の回答が一致したと言えるのは設問 3、設問 4、設問 8、設問 9 という 4 問であり、日本語の漢字熟語の選択率と中国語の訳文の熟語の選択率が逆になった設問は設問 1、設問 2、設問 5、設問 7、設問 10 であった。10 問のうち 5 問が逆となった結果で、中国人日本語学習者は日本語の漢字熟語を母語のルールそのまま理解しようとする傾向が見られたと述べた。

次に、(B)学習者の使用実態に関わる研究について、陳(2007)は L2 習得のプロセスにおいて L1 がどのレベルに、どのように影響を与えているのかを明らかにするため、「Language Acquisition Research Project at Soochow University」(LARP at SCU)という学習者コーパス

を用いて調査を行った(LARP at SCU とは、学習者の産出過程の発達プロセスを解明するため、台湾東呉大学日本語学科の 37 名の学生を調査対象とし、3 年間半にわたって収集された作文とインタビューからなる縦断的学習者コーパスである)。データ収集方法について、1 年生第 2 学期から 4 年生第 2 学期にかけての 3 年間半の間、学習者に毎月 1 回作文を書かせ、同時にその作文のフォローアップインタビューを受けさせる)。具体的には、CLJ(台湾)の日本語の発達とともに、作文に見られる漢語語彙は母語との対応関係はどうなるか、また、その対応関係から習得プロセスにおける内的メカニズムの特徴はどうであるかを分析した。なお、この研究では、漢語を品詞別に名詞類、サ変動詞類、ナ形容詞類、副詞類、接辞複合類という 5 種類に分類し、また、日中両語の対応関係を見るため、漢語を①同形同義語(S)、②同形異義語(D)、③同形だが中日語間で意味にずれのある語(O)、④日本語にしか存在しない語(J)、⑤中国語にしか存在しない語(C)という 5 種類に分類した。時期について、1 回～10 回を初期(3 級から 2 級へ)とし、11 回～20 回を中級(2 級前後)とし、21 回～30 回を後期(2 級から 1 級へ)として分けた。その結果、(1)初期において、①漢語語彙の語数変化は W 字型であること、②S 類がもっとも多く、次に J 類になり、母語との類似性が活用されていると言える一方、相違性の J 類も多く使用されること、③サ変動詞の誤用・不自然な用法(例:勉強のとき、絵の研究しています)が目立っていること、④空間・場所を表す語彙が多く使用されること、⑤初級を超える複合的用語(～時代など)も使用されること、が確認された。また、(2)中期において、①O 類が初期より豊富になり、C 類が中期から消滅したこと、②サ変動詞の不自然な使用が少なくなったこと、③初期の「～時代」「～時間」以外に、接辞・複合的用語の複雑性が増えたこと(日常生活・電子辞書など)、③母語の影響でナ形容詞に「的」を添加したこと(×貴重的な)、④表記の問題も母語の影響を受けたこと(×聯絡する)、が確認された。最後に、(3)後期において、①漢語の使用語数は初中期に比べ、不規則的に増えていること、②名詞類の数がもっとも多く増えていること、③母語とずれのある語彙について極自然に用いられること、④接辞・複合用語について「臨場感」や「環境破壊」のようなより高度な表現が使用されること、⑤サ変動詞の使い方について、母語の影響(例:影響された→影響を受けた)と日本語漢語の過剰般化の影響(例:行列していた→行列を作っていた)が受けられていること、がわかった。

胡(2012)は、「日本語学習者による日本語作文と、その母語訳との対訳データベース(作文対訳 DB)オンライン版)を利用して日本語学習者の漢語の使用状況について調査を行った。調査対象は、上記のデータベースにおいて「あなたの国の行事について」というテーマを指定し、日本語母語話者と中国人・韓国人・シンガポール人・アメリカ人・インド人学習者が書いた作文各 10 編を収集したものであった。調査方法については、「日本語読解支援システム リーディング チュウ太」

を使い、調査対象を「語彙チェッカー」で判定し、判定された漢語の語数と比率を計算した。その結果、(1)中国人学習者の使用率は20.8であり、6ヵ国の中で一番高いこと、(2)日中の同形同義漢語が多いため、日本語がわからないときに、中国語の漢字や漢語を試しに使うこと(例:「春節を祝うために、人々が商店やスーパーマーケットに行って、いろいろな野菜や、果物や、肉や、それからピーナッツや瓜子などを買う、とても忙しい。」)、(3)中国人学習者が使用頻度の低い漢字や常用漢字表外字を多用することが特徴であること(例:辺鄙, 諺), などが明らかになった。

学習者の漢語使用の誤用について、河住(2005)は CLJ による漢字語彙使用の誤用分析を行った。調査対象は誤用を含むセンテンス 1028 例であった。なお、対象者の学習歴は3か月から3年までの開きがあった。誤用の分類の枠組みと分類結果は以下の表 23 のようになった。

表 23 河住(2005)による誤用分析の枠組みおよび結果

誤用タイプ			比率
1 類:文法に関わる問題を含むもの (選択した語彙は正しいが文法的用法が正しくない)	A:複合語のご構成に問題を含むもの(例:公共場所)		7%
	B:品詞の選択に問題を含むもの(例:発達です)		11%
	C:文法的共起関係において問題を含むもの(例:充実している)		1%
	D:派生語において問題を含むもの, 助数詞の問題を含むもの(例:不発達)		8%
	E:省略形式に問題を含むもの(例:栄養品)		1%
2 類:文体に関わる問題を含むもの (誤用とは言い切れないが文体的に違和感を与える)	A:美化語に問題を含むもの(例:お夫婦さんが船に乗って→美化語不要)		1%
	B:外来語を使用したほうがよいもの(例:病毒→ウィルス)		2%
	C:漢語から和語に(もしくは和語から漢語に)変えたほうがよいもの(例:…私の前に <u>出現</u> しました→現れました)		5%
	D:類義の別の語に言い換えたほうがよいもの(例: <u>愛好</u> がたくさんあります→趣味)		11%
3 類:意味に関わる問題を含むもの (選択した語彙が正しくないもの)	A: 意味的共起関係において問題を含むもの	1.意味的または文体的共起しないもの(例:目標を完成)	6%
		2.意味が重複しているもの, 語が欠落しているもの(※間食を食べました)	5%
	B: 日中同形意義語の問題を含むもの	1.全く違う意味となるもの(例:勉強する事の <u>圧力</u> はとても重いです→ストレス)	7%
		2.類義の正しくない語彙を使用したもの(例:経済について <u>趣味</u> を持っています→興味)	16%
4類:中国語語彙をそのまま使用したもの(日本語に存在しない語を使用したもの)			19%

次に、漢語の構造に関わる誤用に特化した研究として、三喜田(2000)は CLJ の作文に見られる語形の誤りを分類した。その結果、漢語の構成成分に関して、(1)数の誤り(例:縁分(正:縁)、血型(正:血液型)など)、(2)成分そのものの誤り(例:出院(正:退院))、(3)配列順序の誤り(例:命運(正:運命))という3種の誤用パターンが存在することが確認された。

また、品詞の誤用に特化した研究について、五味他(2006)は、2字漢語を対象として、漢語の動詞性の有無によって生じる誤用を収集して分析を行った。調査対象は日本と中国の大学生によって書かれた作文128本であった。その結果、動名詞を非動詞性の語ととらえる誤用(例:低下になる)が、非動詞性の語を動名詞としてとらえる誤用(例:夢中する)より多いこと、また、それらは変化という意味に関する誤用(例:回復になる)、関係の構成に関する誤用(例:対立になる)、語彙的な誤用(例:愛用になる)などに分類されることが確認された。また、誤用の原因として、日本語の漢語動名詞を「変化」の枠組みでとらえるとき、母語影響により、形容詞の変化を含意する「变得」や、名詞の変化を含意する「成為」が思い浮かぶこと、他動詞を持つ「する」を自然に生起する事柄に対して使いにくく感じる点、中国語の「化」は日本語より意味の幅が広く、形容詞の意味まで覆う可能性があること、などが挙げられた。

3.6.2 日本語教育学という観点から見た外来語研究

以下、上記の2つの観点から学習者の意識および産出に関わる外来語研究を概観していく。

まず、(A)学習者に対する意識調査について、岡本(1996)は中国人日本語初級レベルの学習者の外来語習得戦略を見るため、中国赴日留学生予備学校博士班で日本語教育を受ける中国人研究者76名を対象に、外来語の聞き取りテストを行った。聞き取りテストの問題としては、学習者が日ごろの教室活動で発音に問題があった語彙を短文にして出題し、回答はひらがなかカタカナを表記させるものである。当該研究は回答中単語にのみ注目し、カタカナ語の表記にどのような誤用が生じるかを見る。その結果、調査対象者の大半は英語学習経験を持っているため、外来語の習得戦略としては、日本語よりも、なじんでいる英語に基づいて習得しようとするのがわかった。中国人学習者による英語を原語とする外来語の語彙習得ステージは、(1)日本語のカタカナ表記初期認知、(2)英語での意味理解、(3)母語英語化発音を元にした記憶、(4)日本語音化した記憶、(5)カタカナ表記定着という5段階に分けられる。また、学習者は外来語を英語の音として認知する傾向があるわけだが(上記の(3))、この期間を短縮し、日本語音に学習者の注意を向けさせるには、誤用に焦点を絞った指導が必要であるという示唆が示された。

陣内(2008)は日本語教育現場におけるカタカナ語教育の実態を把握するため、日本語学習者

に対してアンケート調査を行った。調査対象者は CLJ238 人, KLJ111 人, それ以外の言語を母語とする学習者 129 人であった。調査項目は, フェースシート部分(10 問), カタカナ文字に関する質問(5 問), カタカナ語に関する質問(9 問)という 3 つの部分からなった。その結果, (1)カタカナ文字の習得について, 「難しくない」と感じる学習者は 30.7%しか存在しておらず, また, 学習年数が少ないほどカタカナ文字に対して難しいと感じること, (2)CLJ がカタカナ語に対してもっとも困難と感じ, 「カタカナ語がわからなくて困ったことはどれくらいありますか」という質問に対し, 「よくある」「ときどきある」と答えた学習者は 90%となること, (3)CLJ はカタカナ語を困難と感じる主な原因(過半数の学習者が選択した)としては, 「意味推測不能」(64.1%)・「英語との発音の違い」(60.5%)・「辞書不掲載」(55.6%)・「表記の困難さ」(52.5%)という 4 つが挙げられること, (4)CLJ はカタカナ語学習への要望がもっとも強く, 「もっときちんと教えてほしい」と答えた学習者は 71.8%となっていること, が明らかになった。また, 邵他(2019)は, CLJ が外来語に対する意識および彼らが感じている困難点や抱いている悩みを明らかにし, そこから見えてくる外来語教育の対応策を検討するため, 陣内(2008)の調査方法と成果に基づき, 日本語を専攻する CLJ121 名に対してアンケート調査を行った。その結果, (1)CLJ の多くは外来語が困難であると感じ, 外来語の勉強が日本語学習者の大きな壁となっていること, (2)学習者は外来語が難しいと感じる主な原因(過半数の学習者が選択した)として, 「知らない外来語は見ても意味が全く想像できない」(68.7%)・「外来語を書こうと思っても, 正しく書けない」(53.7%)・「外来語は元の言葉(英語など)と発音が違う」(51.2%)という 3 つが挙げられること, (3)英語の知識は外来語の勉強に役立つと思う学習者は 96.7%となり, CLJ の大部分は英語力と外来語学習の関連性に肯定的な意見を持っていること, (4)日本語のカリキュラムで外来語に関する講義が設定されていないと述べた学習者は 88.4%となり, 中国の日本語教育現場において外来語教育が導入されておらず, 外来語教育の強化は日本語教育現場の大きな課題となっていること, が明らかになった。

上野山(2010)は日本語学習者の多くにとって学習が苦手である外来語に注目し, 地域別の学習者の外来語習得はどのような傾向にあるのかについてアンケート調査を行った。調査対象者は, 英語圏の国(オーストラリア・アメリカ・カナダ), 中国, 台湾, 韓国と, 国内の大学で日本語を学んでいる学習者であり, 有効回答者数は 1846 名であった。調査対象語については, 初級日本語教科書 17 冊の中多くの教科書で扱われていた外来語の上位 60 語を, 『品詞別・レベル別 1 万語語彙分類集』(1991)より 40 語を, 『広辞苑』第六版(2008)に新しく載せられた語から 20 語抽出した。調査方法については, まず, 上記のそれぞれの語彙について, 「1.知らない・使わない」・「2.知っている・使わない」・「3.知っている・ときどき使う」・「4.知っている・よく使う」のどれかを選んでもらう

ようにした。次に、それぞれの平均値の上位と下位の語を 20 位まで取り出し、また、「1.知らない・使わない」の割合により認知度の高さを順位づけし、上位と下位 20 までの語を取り出した。その結果、国外の CLJ については、(1) 平均値が上位となっている語はいずれも初級教科書の語であること、(2) 平均値の高い語は全体的に「4.知っている・よく使う」の割合が高いこと、(3)「サッカー」や「テニス」など認知度の高い語の中には、「認知度は高いが、使用頻度はそれほど高くない語」が存在すること、(4) CLJ の外来語習得は学年やアルバイトなどとの相関がすこし見られるが、学習者の性別や年齢などの属性との相関が低く、上位となっている語彙は環境によるインプットとはあまり関係なく、学習により習得されていること、などがわかった。また、日本国内の CLJ は、中国で日本語を勉強する学習者と比べ、上位語には「エレベーター」や「メモ」など日常生活で実際に使用される語が多く、また、外来語習得とアルバイトとの相関が高いこと、が明らかになった。

安(2011)は日本語学習者の外来語習得にどのような問題があるかを明らかにするため、日本語学校の中級クラスの生徒 58 名を中級学習者として、日本語学校上級クラスの生徒と大学生の合計 53 名を上級学習者としてアンケート調査を行った。調査内容は、a.英語の表記を示して日本語のカタカナ語で書いてもらい、b.事前に録音した日本人のカタカナ語の発音を聞き、カタカナ語を書いてもらい、c.問 a と問 b の中でどちらが難しかったのかを質問し、d.普段カタカナ語をどのように覚えているかを質問する、というものである。調査結果から、(1)長音の誤用が最も多いこと、(2)カタカナ語の聞き取り能力はレベルが上がるにつれて必ずしも伸びるものではなく、また日本語能力が上がることでカタカナ語に関する自信や理解も必ずしも深まらないこと、(3)母語干渉による誤用より、英語の学習経験から共通した誤用のほうが多く見られること、(4)英語の学習経験を生かし、カタカナ語を覚えようとする学習方法には限界があることなどがわかった。日本社会におけるカタカナ語の扱われ方は日本語教育現場や日本語学習者における扱われ方と大きなずれがあることがわかった。

田島他(2011)は、増加しつつ日本語の外来語に対して日本語教育はどのように改善すべきかを検討するため、日本語母語話者(大学生と大学院生)84 名および日本語を専門とする中国の大学の日本語学習者(中・上級レベル)169 名を対象としてアンケート調査を行った。調査内容は、学術論文専門用語、新聞記事用語、一般文章用語、ホームページ用語、グルメ用語などの分野における外来語に対する認知度、また、外来語の増加における認知についていくつかの質問事項であった。その結果、(1)学術論文に使われた外来語について、日本語母語話者が学習者より理解度が低く、学術的専門用語はそれが使われている文章を読まない限り、母語話者であってもその理解が難しいこと、(2)学習者にとって新聞記事や一般文章、またインターネットに使われた外来語

が難しく、母語話者より理解度が低いこと、(3) 学習者は日本語の外来語に非常に困難を感じるとともに、これ以上増え続けたいことを望んでいること、が確認された。

望月 (2012) は、日本の大学に入学し、アカデミックジャパニーズコースを受講した学生を対象に、カタカナ外来語の使用や学習に対する意識を明らかにするため、K 大学の日本語コースの第 1 週目に意識調査を行った。調査方法としては、無記名で自由記述という方法を採用した。分析対象は、有効回答数の 33 人であった。回答を分析した結果、(1) 学習者がカタカナ文字やカタカナ外来語の学習や運用に困難を感じていること、(2) 原語とカタカナ外来語では意味や発音が異なる語彙が多いものの、英語の知識があればカタカナ外来語の学習に有利であると考えられる傾向があること、(3) 大学生活にカタカナ外来語の学習は必要不可欠であるという意識を持っていること、などが確認された。また、学習者に対して日本社会におけるカタカナ外来語の位置づけや使用実態、外来語の特性、そして、英語の日本語化の発音や表記の規則などの説明と練習を体系的に行うことが必要であることも示唆がなされた。また、望月 (2012) は学習者がカタカナ外来語を学習する際に困難と感じる原因について 9 つを挙げた。具体的には以下の表 24 のようにまとめられる。

表 24 学習者がカタカナ語学習に困難を感じる原因 (望月 (2012) に基づき筆者が作表)

原因	内容	例
(1) 発音のズレ (開音節化)	外国語をカタカナ語化する際に音節が CV パターンになる。	cut→カット, food→フード
(2) 表記のゆれ	表記の原則と慣用表記の間にゆれが見られる。	mail→メール/メイル, main→メイン/メーン
(3) 意味のズレ	外来語には原語より狭い意味を表すものや、原語にない意味を表すものが存在し、意味に原語から拡張や縮小が見られる。	アウトレット→〇モールの放出品 (外来語の意味) ×コンセントの差込口 (原語の意味)
(4) 和製英語	英語には存在しない語が、純然たる日本語の語彙として作り出される。	ナイター, ハローワーク
(5) 縮約語または短縮語	長い単語や複合語を独自のルールで短縮する。	アマチュア→アマ, リモートコントロール→リモコン
(6) 混種語	外来語を単独使用するだけでなく、和語と組み合わせることで独自の語を作られる。	和語＋外来語: 生ビール, 紙コップ; 外来語＋和語: アイロン台, サラ金
(7) 動詞化・ナ形容詞化	「する」・「る」を付加することで外来語を動詞化したり、「形容詞＋な」の形でナ形容詞化する。	外来語＋する: アピールする, サインする; 外来語＋る: メモる, サボる; ナ形容詞化: オーバーな表現, オーソドックスな服

(8) 非外来語のカタカナ表記	擬音語, 擬態語, 外国製日本語, 感動詞, 振り仮名, 期間・施設名, 漢字の難しい語などの表記にもカタカナが用いられる。	擬音語: ワンワン 擬態語: キラキラ 外国製日本語: ハラキリ 感動詞: マア 漢字の代わり: バラ
(9) 和語・漢語・外来語の類語	一部の外来語が基本語化しているが, その場合, 既存語の使い分けが明らかでない。	ケースと場合

次に, (B) 学習者の使用実態に関わる研究について, 羅(2010)は台湾学習者のカタカナ語彙の習得状況を把握するため, LARP を用いて縦断調査を行った。調査対象者は, 1 年生第 2 学期から 4 年生第 2 学期にかけての三年間半に全ての調査(33 回)に参加した日本語学習者(台湾) 3 名であった。調査方法については, 上記述べた全 33 回の作文を初期(1~11 回), 中期(12~22 回), 後期(23~33 回)の三段階に分け, その中のカタカナ語彙使用にどのような特徴があるかを検討した。その結果, (1)カタカナ語彙の使用量は全体的に少なく, 習得段階の個人差があるが, 語彙量の大幅な成長が見られないこと, (2)異なり語数について個人差が表れ, 個人的にカタカナ語彙のネットワークが形成されたこと, (3)動詞化したカタカナ語(アルバイト(を)する)や形容詞化したカタカナ語(クールな)が若干使用されているが, 「に」を付加して副詞化したカタカナ語(クールに)が全く使用されていないこと, (4)学習者は原語に近い機能形態素の省略されないカタカナ語を産出しやすく, また, 前半を省略したカタカナ語((オード)バイク)よりも後半を省略した語(テレビ)のほうを産出しやすいこと, (5)混種語も産出したが, 漢字表記語とカタカナ表記語の混種語がほとんどであり, 母語の促進的な働きがあったこと, (6)学習者が使用したカタカナ語と教科書に出ているカタカナ語彙との比較について, 初期では初級教科書からの影響が多いが, 中後期になると教科書から離れた語彙が多用されること, (7)長音・短音の区別, 清音・濁音の区別など, 学習者がカタカナ語を正確に表記するのに困難があること, が確認された。

以上の研究は, CLJ が非和語系語彙に対する理解が不足していること, また, それらの非和語系語彙使用には問題が抱えていることが明らかになった。しかしながら, 大規模な学習者コーパスを使用して CLJ が具体的にどのような非和語系語彙の使用には問題を持っているか, 習熟度やレベルが異なればこれらの傾向はどのように変化するか, などの点についてはまだ明らかにされていない。

3.7 先行研究のまとめ

以上, 第 3 章では, 伝統的な言語学の 5 分野のうち音韻論を除く 4 分野, それに加えて重要語抽出と日本語教育という 2 つの観点を組み合わせた 6 つの観点について, 本研究が立てた具体

的な研究課題に即した先行研究を詳しく見た。上記で見てきたように、非和語系語彙に関わる研究は量的にも多いし、その分野も広い。

3.1 節では、重要語抽出という観点から見た先行研究について、重要非和語系語彙の抽出に関わる研究を見てきた。言語学においてどのような非和語系語彙が重要であるか、また、日本語教育学においてどのような非和語系語彙をどの程度指導すべきかについてまだ共通理解がなされていないこと、また、研究者の主観や言語辞典に基づくものは少なくないことが明らかになった。

3.2 節では、統語論的観点から見た先行研究について、非和語系形状詞の体言接続問題にかかわる研究を概観した。それらの研究において、「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的」・「的ナ」という5種の連体修飾標識のうち、「シタ」の分析事例が少ないこと、また、少数の形態を取り上げて比較した研究は多いが、5つの形態を同時に比較した研究はほとんどないことなどが確認された。

3.3 節では、意味論的観点から見た先行研究について、非和語系語彙の様々な類義語に関わる研究を概観した。客観的な手法を使用して分析する研究や大規模なコーパスを用いた研究は比較的少ないことが確認された。

3.4 節では、形態論的観点から見た先行研究について、漢語の仮名表記問題、および、外来語の表記ゆれに関わる研究を紹介した。それぞれの研究が異なるデータを用い、異なる調査対象を扱っているため、統合的な説明に達していないことや、教育的応用の視点が十分にふまえられていないことなどが確認された。

3.5 節では、語用論的観点から見た先行研究について、非和語系使用と関係しうる様々な要素に関わる研究を概説した。非和語系語彙の使用は時代や文体など様々な要素に大きな影響を受けていることが明らかになった。しかしながら、幅広い非和語系語彙について、大量のデータを使用した研究は必ずしも多くないことがわかった。

最後に、3.6 節では、日本語教育学的観点から見た先行研究について、学習者の意識および産出に関わる非和語系語彙研究に関わる研究を見てきた。しかしながら、大規模な学習者コーパスを使用して CLJ が具体的にどのような非和語系語彙の使用には問題を持っているか、習熟度やレベルが異なればこれらの傾向はどのように変化するか、などの点についてはまた明らかにされていない。

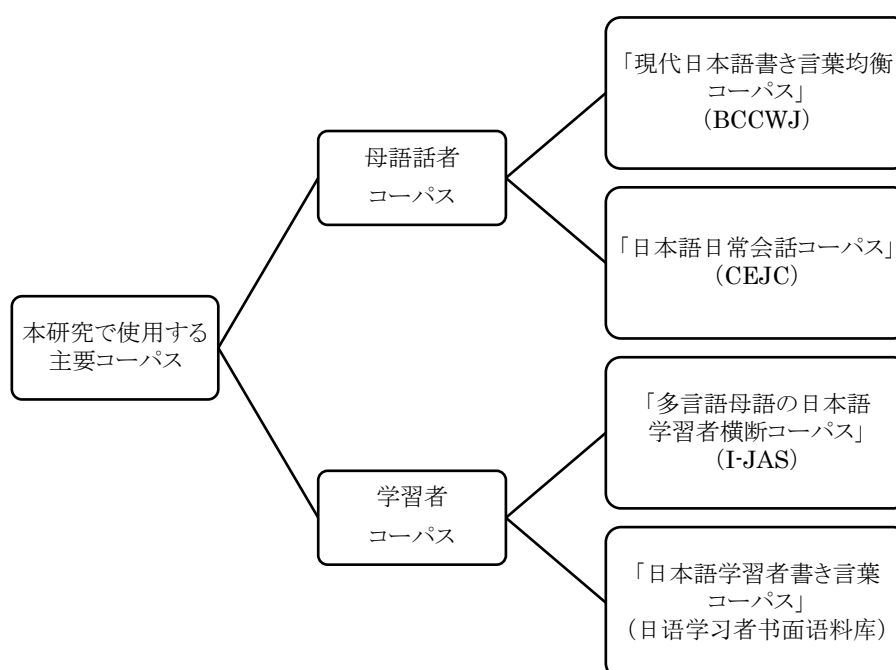
本研究は、上記をふまえ、言語的観点から非和語系語彙のふるまいを見るとともに、学習者を抱える問題点を明らかにし、教育的な対策を考えていく。

第4章 リサーチデザイン

4.1 使用するデータ

すでに述べたように、本研究では言語的観点から非和語系語彙のふるまいを見るときともに、学習者の抱えている問題点を明らかにし、教育的な対策を考えていく。前者の目的に関しては「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)と「日本語日常会話コーパス」(CEJC)を、後者の目的に関しては「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」(I-JAS)と「日本語学習者書き言葉コーパス」(日本語学習者书面語料庫)を使用する。具体的な概念図は以下の図1ようになる。

図1 本研究で使用するコーパスの概念図



以下、それぞれのコーパスについて、(1)コーパス構築方法と、(2)コーパス検索方法という2つの観点から概説する。

4.1.1 「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)

「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese, 以下 BCCWJ)は、国立国語研究所が中心となって開発した日本語に関する初めての大規模均衡コーパスである。BCCWJ は従来の単一種類のテキストを集めたコーパスと異なり、書籍・新聞・雑誌・白書・ブログなど様々なレジスターのテキストを集め、書き言葉の多様な実態をとらえることができるデータとなっている(山崎, 2011)。データ量は英語の大型コーパスである BNC と

比肩しうる 1 億語となっている(石川, 2012)。

4.1.1.1 BCCWJ の構築方法

ここでは, BCCWJ の構築方法について, 収集対象とデータ抽出法という 2 つの観点から紹介する。

まず, 収集対象について, BCCWJ は, 日本語の実態のできるだけ正確な縮図となるコーパス, いわゆる均衡コーパスとなるように設計した。ここで問題となるのは, 現代日本語の実態とは何かということである。以下は, 書き言葉の実態を反映する 3 つの過程である。

図 2 書き言葉の実態を反映する各過程

(https://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/basic-design.htmlより転載)



上記に基づき, BCCWJ は出版(生産実態)サブコーパス, 図書館(流通実態)サブコーパス, および, 特定目的サブコーパスという性質の異なる 3 つのサブコーパスを構築した。各サブコーパスの内訳および特徴は以下の表 1 のようになる。

表 1 BCCWJ の内部構成および特徴(山崎(2011)により筆者が作表)

	出版サブコーパス (生産実態)	図書館サブコーパス (流通実態)	特定目的サブコーパス
総語数	約 3500 万語	約 3000 万語	約 3500 万語
特徴	書き手の立場を重視し, 売れ行きや知名度にかかわらず, 出版された書き言葉であればどの書籍(雑誌・新聞)も同じ確率で選ばれるようにする。語彙やコロケーションなど言語的属性の多様性が確保されると期待される。	広い意味で社会の需要を反映している書き言葉と言え, より一般的な用語用字を調べるのに適している。通時的な観察が可能である。	出版サブコーパスと図書館サブコーパスでは十分な分量が集まりにくい資料を中心に収録したサブコーパスである。

このように、BCCWJは大きく3つのサブコーパスに分けられる。また、BCCWJはそれぞれのサブコーパスについてさらに細分化され、いくつかの異なるレジスターに分けられる。具体的な構成と語数は以下のような表2のようになる。なお、データ語数については、アラビア数字を漢数字に置き換える変換処理(NumTrans)を行う前と後のデータが示されている。たとえば、「2019年」は「二千十九年」のように変換された。

表2 BCCWJの構成

SC	レジスター	対象期間	母集団	サンプル数	NumTrans 版語数(万)	非 NumTrans 版語数(万)
出版 SC	書籍(PB)	2001-2005	約 485 億文字	10,117	2,855	2,866
	雑誌(PM)	2001-2005	約 105 億文字	1,996	444	450
	新聞(PN)	2001-2005	約 64 億文字	1,473	137	138
図書館 SC	書籍(LB)	1986-2005	約 479 億文字	10,551	3,038	3,044
特定 目的 SC	白書(OW)	1976-2005	1006 冊	1,500	488	494
	教科書(OT)	2005-2007	145 冊	412	93	93
	広報紙(OP)	2008	100 自治体	354	376	383
	ベストセラー(OB)	1976-2005	951 冊	1,390	374	375
	Yahoo! 知恵袋 (OC)	2004-2005	約 312 万質問	91,445	1,026	1,030
	Yahoo! ブログ (OY)	2008-2009	約 346 万記事	52,680	1,019	1,028
	韻文(OV)	1980-2005	139 冊	252	23	23
	法律(OL)	1976-2005	718 法律	346	108	108
	国会会議録(OM)	1976-2005	32,925 会議	159	510	510
合計				172,675	10,491	10,542

このように、BCCWJはレジスターにより13種に分けられる。幅広いレジスターのテキストを集めることで、BCCWJは現代日本語書き言葉の多様な実態を捉え、現代日本語の実態を反映できる価値の高いコーパスと言えるであろう。

次に、これらの対象データに対し、どのような方法を使用して抽出するかに注目する。BCCWJは母集団における言語の諸特性の分布を過不足なく表現できるよう、層別ランダムサンプリング方

法を実施した。

層別抽出法というのは、事前に母集団の構成比を調査し、同じ構成比でサンプリングを行う方法である。たとえば 2001～2005 年に出版された書籍の場合、図書館で利用されている日本十進分類法 (NDC) を利用して本の内容による層別は以下の表 3 のようになる。

表 3 層別抽出法の例 (https://pi.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/sampling.html より転載)

NDC	総文字数	構成比
0.総記	1,636,414,548	3.37%
1.哲学	2,597,610,813	5.35%
2.歴史	4,301,204,340	8.86%
3.社会科学	12,408,321,943	25.56%
4.自然科学	5,069,594,034	10.44%
5.技術工学	4,615,929,967	9.51%
6.産業	2,196,387,437	4.53%
7.芸術	3,258,432,447	6.71%
8.言語	888,800,128	1.83%
9.文学	9,341,275,486	19.25%
n.記録なし	2,225,954,208	4.59%
合計	48,539,925,351	100.0%

この表に従うと、たとえば「総記」には書籍データ全体の 3.37%を、また「哲学」には 5.35%をそれぞれ割り当てる。このような層別によってサンプルの偶然の偏りを避けることができ、母集団に対する推定の精度も向上する。

ランダムサンプリング法というのは、各々のサンプルについて無作為に、すなわちランダムに抽出するという方法である。たとえば書籍の場合、BCCWJ では、まず上記のように層別し、各層に含まれる全ページに対してランダムに優先順位を割り振り、優先順位の高い順位に指定された書籍の指定されたページに含まれる文章を抽出する。なお、指定されたページについて、図 3 のように縦横の線を引いて 100 個の交点を作り、その中からランダムに 1 つを選び(図中の赤い矢印参照)、その交点にもっとも近い文字からデータを取る。

図 3 ランダムサンプリングの例

(https://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/sampling.html より転載)

コサル●「新しい」と「新たな」

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	「新しい」と「新たな」									
B	「新しくよきた」のつもりで「手 持ちブタヤ」と言ってしまった。 「お前もせよまた」が「オマヤヤ」									
C	せむきもたすだ言ってもまたせむ たことはありやせんか。語り合う二 つの間の位置が入れ替わるこの現象									
D	は、「新現象」と呼ばれています。 「アタラシ」が「アタラシヤ」 「新たな」をいう語ともて使われて にふたり、「日本道路会議」が 「日本ロード会議」になったりと、 言葉よく知られた現象です。									
E	一般論に反論して、新現象としての み方がそのままだと事柄も異な ります。例えば、「新しい」「新たな」									
F	をそれぞれ置換してみてください。 その意味「アタラシ」が「アタラシヤ」 で、「サ」と「ツ」の音が入れ替 わっていますね。そもそも「新しい」 という語は、奈良時代には「アラタ									
G	ツヤツヤやせむきもたす「新現象」に は、明治天竺通訳による訳の語があ ります。									
H	新しき 星の形の 宇宙の 有る無の 言葉の いやまけ 山手									
I	平安時代になると「アタラシ」と 「アタラシヤ」という二つの語が混同 するようになった。やがて「アタラシヤ」 といふ語に統一されました。「アラ タシ」が「アタラシ」に変わった									
J										

なお、BCCWJ はいずれのサブコーパスに対して、母集団からの抽出比を重視した「固定長サンプル」と、ある程度の文脈を確保した「可変長サンプル」という 2 種類のサンプルを収集した。前者は、ある 1 文字をランダムに指定し、その文字を始点として 1000 文字の範囲を抽出するサンプルである。後者は、ランダムに指定した 1 文字を含む言語的な構造のまとまり(「章」や「節」など、ただし 1 万字を上限とする)を抽出するサンプルである。これら 2 種類のサンプルを取得することにより、BCCWJ は言語研究以外にも、辞書編集や言語政策など様々な研究にも使える汎用的な目的に供すコーパスとなりうるとされる。

以上、収集対象とデータ抽出法という 2 つ観点から BCCWJ を概観した。なお、BCCWJ を実際に使用する時には、以下の 3 つの点に留意する必要がある。

1 点目は、レジスターの偏りということである。前述の表 2 からわかるように、全体で 13 種のデータが存在するように思えるものの、実際には書籍(60%)、Yahoo! 知恵袋(10%)、そして、Yahoo! ブログ(10%)の 3 種で全体の 80%を占めている。このことを考慮せず、コーパスを 1 つのまとまりとして検索する場合、現代日本語ではなく、書籍データとネットデータの特性を反映する可能性が高い。

2 点目は、各レジスターのデータ収集期間が統制されていないということである。たとえば、白書のデータの収集期間は 1976 年から 2005 年までであるが、Yahoo! ブログについて 2008 年～2009 年までとなり、その間には大きな差が存在する。そこで、BCCWJ を使ってジャンル間の差異を分析する際に、調査対象の期間に対する統制が必要となると言えるであろう。

3 点目は、語数の数え方ということである。日本語の語数を考えるときに様々な立場があるが、本研究は BCCWJ の品詞タグづけの単位である短単位を採用する。短単位というのは、言語の形態的側面に着目して規定した言語単位であり、現代日本語において意味を持つ最小の単位のことである。たとえば、短単位の基準によると、「図書館」は「図書」と「館」という 2 語に分割される。一般的な語彙の概念と一致していない場合もあるが、ここでは、処理の一貫性を優先し、筆者による調整は行わず、BCCWJ に付された短単位情報を語の認定基準とする。

4.1.1.2 BCCWJ の検索方法

BCCWJ にはデータそのものを自分のパソコンにインストールした上で直接検索する方法と、オンラインの検索サイトを経由して検索する方法がある。本研究はオンラインの検索サイトを利用する。

なお、オンラインの検索サイトについて、形態素解析を行わないデータを対象に、文字列検索を行う『少納言』と、形態素解析済みのデータを対象に検索を行う『中納言』という 2 種類のインターフェースが提供されている。以下、この 2 つのインターフェースの各々において「コンピューター」を検索した結果の一部である。

図 4 『少納言』で「コンピューター」を検索した結果の一部

検索結果								
1250 件の結果が見つかりました。そのうち 500 件を表示しています。								
表示 番号	前文脈	検索文字列	後文脈	執筆者	生年代	性別	メディア/ジャンル	タイトル
1	以内に、ということは、こっちは裏庭から探していけばいいのよ」 笑ったまま、イヴは	コンピューター	に続けて命じた。犯人が彼女の車に 組工するのにかかった時間を知って おきたかった。	J・D・ロブ(著)/ 青木 悦子(訳)	1950/ 1960	女/ 女	書籍/9 文学	復讐は聖母の前で
2	度で普及し、ここ数年、年々倍増の勢いだ。世界中のインターネットを構成するホスト・	コンピューター	の数は、定期的に調査され、九四年 七月に三百万台だったのが、九五年 の七月には六百万	会津 泉(著)/ 公文 俊平(著)	1950/ 1930	男/ 男	書籍/0 総記	入門インターネット・ビジネス
3	の生態が明らかになってきている恐竜の世界を伝える第二夜。発掘現場などでの取材と、	コンピューター	グラフィックス (CG) の映像を交 えて届ける。田原総一郎の熱論 SP (朝日後 9・0)	中国新聞社(著)/ 宇佐見 潔明(著)	/ 1920	/ 男	新聞/地方紙	中国新聞

図 5 『中納言』で「コンピューター」を検索した結果の一部

5,816 件の 検索結果が 見つかりました。そのうち 500 件 を表示しています。 検索対象語数: 124,100,964 記号・補助記号・空白を除いた検索対象語数: 104,911,460												
サンプル ID	開始位置	連番	前文脈	キー	後文脈	語彙素読み	語彙素	語彙素細分類	品詞	活用型	活用形	レジスター
PB19_00458	13430	7730	て「騒い」でる「 」ど「 」。「ワープロ」や「表計算」 「それ」に「年賀状」の「デザイン」らしい「なら」 「どの」	コンピュ ー ター	「お」文句「 」な「 」し「 」な「 」ん「 」だ「 」 「#」そんな「作」業「に」今「 」の「 」イ「 」エ「 」ン「 」ド「 」を「 」使「 」う「 」な「 」ん「 」て「 」 「あ」ぜ「連」を「	コンピュ ー ター	コンピュ ー ター	computer	名詞・普通 名詞・一般			出版・書籍
PB36_00063	16070	10450	省「は」 「千九百」七十「四」年「あ」よ「び」千九百「七 十」五「年」に「 」 「それぞれ」に「 」C「輸入」に「 」	コンピュ ー ター	「輸入」の「完全」自「由」に「 」行「う」に「 」同「時」に「 」 「 」超「 」s「i」(「国家」プロジェクト「 」)の「開始」を「	コンピュ ー ター	コンピュ ー ター	computer	名詞・普通 名詞・一般			出版・書籍
PB28_00026	3340	2170	と「 」いう「 」物「 」を「 」組「合」せ「て」版「を」作「り」 「紙」に「 」印 刷「し」な「 」 「#」それ「が」 「	コンピュ ー ター	「組版」(「C」I「T」 「S」 「)で「 」は「 」 「文字」は「 」目「 」に「 」見え「 」ない「 」電子「 」の「 」記号「 」に「 」置き換「え」	コンピュ ー ター	コンピュ ー ター	computer	名詞・普通 名詞・一般			出版・書籍

上記のように、『少納言』で得られた「コンピューター」の用例は 1,250 例であるのに対し、『中納

言』で得られた「コンピューター」の用例は 5,816 例となった。これは、『少納言』では「コンピューター」と形に合う語しか抽出していないのに対し、『中納言』では「コンピューター」だけではなく、「コンピュータ」のような、語彙素は「コンピューター」であるが表記上に違いが存在するものも抽出したためである。このように、『中納言』を使用することで個々の語に関してより体系的に用例を抽出することが可能であるため、本研究は形態素解析済みのデータが使用できる『中納言』を使用する。

以上、構築方法と検索方法という 2 点から BCCWJ を概説した。BCCWJ は、幅広いレジスターのテキストを収集し、また、層別ランダムサンプリング法という科学的な統計手法により構築したものであり、現代日本語の実態を反映する価値の高いコーパスと言えるであろう。

4.1.2 「日本語日常会話コーパス」(CEJC)

「日本語日常会話コーパス」(Corpus of Everyday Japanese Conversation, 以下 CEJC) は、さまざまな場面における日常会話をバランスよく収集したコーパスであり、日常場面を扱うコーパスとして世界初となっている。なお、本コーパスで収録した 200 時間の会話は、文字化した上で、形態論情報や係り受け情報などのアノテーションを行い、検索可能な形に整備して、2021 年度末に一般公開される予定であるが、コーパスの利用可能性や問題などを把握するため、モニター版が先行的に公開されている。

4.1.2.1 CEJC の構築方法

本節では、CEJC の会話の収録法と、コーパス格納データの選定方針という 2 つの観点から概説する。

まず、会話収録法について、CEJC は日常場面の中で当事者たち自身の動機や目的によって自然に生じる会話をバランスよく収集するために、主として個人密着法という収録法を使用する。個人密着法というのは、日常生活の中で生じる会話を、一般の調査協力者自身に収録してもらうという方法である(小磯他, 2018)。具体的に、協力者に収録機材を 3 カ月ほど貸出し、日常生活における多様な場面の会話を 15 時間程度収録してもらう。

次に、コーパスに格納するデータの選定方針について、すでに述べたように、CEJC は多様な会話をバランスよく集めるために、約 250 人の成人を対象に会話行動調査を実施した。具体的には、起床から就寝までの間に行ったすべての会話について、いつ、どこで、誰と、何をしながら、どのような種類の会話を起こったか、などを調査した。この結果を一つの目安として、コーパスに格納するデータの選定が進められている。また、モニター公開対象についても、構築状況を見ながらで

きるだけ多様な会話が含まれるように選定した。この方針に基づき、モニター公開対象データとして協力者の内訳と、協力者から見た会話者との関係の内訳は以下の表 4 と表 5 のようになる。

表 4 モニター公開対象データの調査協力者の内訳(小磯他(2018)より転載)

年代	男性				女性			
	職業・職種等	収録数	会話数	時間	職業・職種等	収録数	会話数	時間
20 代	大学生	5	5	2.2h	大学生	7	7	2.6h
	大学院生	5	5	2.5h	大学生	5	10	2.6h
30 代	自営業・自由業	4	4	2.8h	会社員・公務員等	5	6	2.7h
	会社員・公務員等	6	6	2.2h	専業主婦	7	7	2.8h
40 代	会社員・公務員等	4	5	2.1h	会社員・公務員等	5	5	2.6h
	自営業・自由業	6	6	2.4h	パート・アルバイト	6	6	2.6h
					パート・アルバイト	6	6	2.6h
50 代	会社員・公務員等	7	7	2.4h	会社員・公務員等	7	7	3.2h
	会社員・公務員等	4	4	2.6h	自営業・自由業	6	6	2.7h
60 代	その他(非常勤講師)	8	8	2.1h	専業主婦	6	7	2.7h
以上	定年退職	6	8	3.0h				

表 5 調査協力者から見た会話者との関係の内訳(人)(小磯他(2018)より転載)

関係性 1	関係性 2	延べ	異なり	関係性 1	関係性 2	延べ	異なり
家族親戚	配偶者	30	13	仕事	職場の上司	1	1
	子供	36	17		同僚	7	7
	父母	17	12		部下	3	3
	義父母	9	7		取引先など他社の人	6	6
	自分の兄弟姉妹	7	7		その他	9	9
	配偶者の兄弟姉妹	3	3		計	26	26
	自分の祖父母	4	3	先生生徒	学校の先生	4	4
	おい・めい	3	3		学校の生徒・学生	6	3
	その他	5	4		習い事などの生徒	1	1
	計	114	69		計	11	8
友人知人	計	118	108	公共商業サービス	サービスを提供する人	4	4
					サービスを受ける人	2	2
					計	6	6

また、CEJC における具体的な会話例以下の図 6 ようになる。

図 6 CEJC の会話例

会話ID	会話概要	話者数	時間(分)	形式	場所	活動	話者間の関係性
C001_001	飲食店で友人4人と誕生日会	5	31	雑談	施設_飲食店	付き合い	友人知人
C001_002	友人宅に宿泊し起床後に友人と雑談	2	17	雑談	室内_知人宅	休息	友人知人
C001_005	実家から知人宅に向けて母と散歩	2	17	雑談	屋外	移動	家族
C001_007	実家で両親とニュースを見ながら夕食	3	51	雑談	室内_実家	食事	家族

このように、CEJC は日常生活における様々な人との会話を収集している。さらに、CEJC は音声だけでなく映像まで含めて収録・公開する。日常生活の中で生じる会話を 200 時間の規模で映像まで含めて公開するというのは、世界的に見ても新しい取り組みであり(小磯他, 2018), 現実の話し言葉を多角的に反映できる価値の高いコーパスと言えるであろう。

4.1.2.2 CEJC の検索方法

CEJC (モニター公開版)の利用方法としては、BCCWJ と同じように、データそのものを自分のパソコンで直接検索する方法と、オンラインの検索サイトを經由して検索する方法、という 2 つの方法が挙げられる。本研究は、オンラインインターフェースである『中納言』を利用する。ここでは、「コンピュータ」を例として検索結果を見てみよう。

図 7 CEJC における「コンピューター」の用例

[illegible]

図 7 で示したように、検索語の頻度情報や用例、活用形など言語的情報のみならず、会話概要や会話時間、話者数、話者間の関係性、形式、年齢、性別、出身地、居住地など様々な言語外情報も得られ、語の使用を言語的要素と言語外要素といった総合的観点考察ができると言えるであろう。

4.1.3 「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」(I-JAS)

以上で BCCWJ と CEJC という 2 つの日本語母語話者のコーパスを紹介してきたが、学習者の実際の外来語使用の実態を見るためには、母語話者コーパスだけではなく、学習者コーパスの使用が必要となる。学習者コーパスとしてはさまざまなものが開発されたが、本研究は横断コーパスとして「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」(I-JAS)を、縦断コーパスとして「日本語学習者書き言葉コーパス」(日本語学習者书面語料庫)を使用する。

4.1.3.1 既存の横断学習者コーパスの課題

本研究で使用する「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」(International Corpus of Japanese as a Second Language, 以下 I-JAS と呼ぶ)はきわめて大規模で、かつ信頼性の高い学習者コーパスであるが、I-JAS が開発される前に、すでに多くの学習者横断コーパスが存在する。以下、学習者作文コーパス「なたね」、日本語学習者作文コーパス、日本語学習者による日本語作文とその母語訳との対訳データベース(作文対訳 DB)、KY コーパス(第二言語としての日本語学習者の話し言葉)、インタビュー形式による日本語会話データベース(村上コーパス)を例として概観する。

表 6 既存の学習者横断コーパス

コーパス	公開年	母語・収集国(人数)	データ量	収集方法
「なたね」	2012 年	中国語(115), マレーティー語(36), ベトナム語(13), 韓国語(11), スペイン語(2), マレー語(1), スロベニア語(1), ハンガリー語(1), タイ語(1), 母語未入力(11)(合計:192 人)	285 編	作文
日本語学習者作文コーパス	2010 年	韓国語(144), 中国語(160) (合計 304 人)	304 編	作文
作文対訳 DB	2009 年	韓国, スリランカ, マレーシア, タイ, インド, カンボジア, ブラジルなど	1,565 編	作文
KY コーパス	1999 年	中国語(30), 英語(30), 韓国語(30)(合計 90 人)	90 人分の OPT テープを文字化した言語資料	OPI
村上コーパス	1998 年	英語(27 名), 韓国語(22 名), 中国語(4 名), デンマーク語(2 名), ロシア語(2 名), その他(9 名)	OPT テープを文字化した言語資料 66 本	OPI (会話・ロールプレー)

上記の学習者コーパスはいずれも先駆的なものであり、それぞれの価値を持っているが、以下のような課題がまだ存在する(迫田他, 2016)

- (1) 母語別・学習者環境別のデータ数が少なく、データに言語の偏りがある。
- (2) 学習者の背景情報が不足している、または詳細ではない。
- (3) レベル判定が、日本語能力の客観テストとしては不十分である。
- (4) タスクのバリエーションが乏しい。
- (5) 同一の学習者による発話と作文を備えたデータが少ない。
- (6) 検索システムを備えたものが少ない。

以上をふまえ、1000 人を超えるデータ数、12 の異なる母語の学習者を対象とし、また、統一的な日本語能力テストを実施した I-JAS が開発された。

4.1.3.2 I-JAS の構築方法

前述のように、I-JAS というのは、日本語学習者の話し言葉・書き言葉を大量に収集して電子化した言語資料で、検索システム I-JAS を備えた学習者コーパスの 1 つである。

従来の学習者コーパスと比べ、I-JAS の構築上の特徴としては、(1) 調査対象が大規模であること、(2) 学習者情報が詳細であること、(3) 日本語能力の客観テストを実施したこと、(4) タスクのバリエーションが豊富であること、という 4 つが挙げられる(迫田他, 2016)。

まず、(1)について、I-JAS は、①海外の教室環境学習者、②国内の教室環境学習者、③国内の自然環境学習者という 3 種類の環境における学習者のデータを収集し、特に①について、中国語・韓国語・英語など 12 言語を母語とする日本語学習者のデータを収集している。公開予定人数は 1000 人となっている。データ公開の予定人数および各言語類型は以下の表 7 のようになる。

表 7 I-JAS のデータ公開予定人数および各言語類型

	環境・母語		言語類型	公開予定人数(人)
1	海外 (教室環境)	インドネシア語	オーストロネシア語族	50
2		スペイン語	印欧語族—イタリック語派	50
3		タイ語	カム・タイ語族	50
4		トルコ語	アルタイ語族	50

5		ドイツ語	印欧語族—ゲルマン語派	50
6		ハンガリー語	ウラル語族	50
7		フランス語	印欧語族—イタリック語派	50
8		ベトナム語	モン・クメール語族	50
9		ロシア語	印欧語族—スラブ語派	50
10		英語	印欧語族—ゲルマン語派	100
11		韓国語	不明	100
12		中国語	シナ・チベット語族	200
13	国内	教室環境	—	100
14		自然環境	—	50

このように、I-JAS では多様な母語とする学習者が含まれ、また、学習者の学習環境も考慮されていた。

次に、(2)については、I-JAS は様々な学習者の情報を詳細に収集するため、20 項目のアンケート調査を行った。その中、学習者の属性について 7 項目、学習者の現在の言語環境について 7 項目、日本語学習開始から現在までの日本語との関わりについて 6 項目となっていた。

(3)については、I-JAS はすべての学習者に対して 2 種類の日本語能力の客観テストを行った。1 つ目は J-CAT (Japanese Computerized Adaptive Test) であり、もう 1 つ目は SPOT (Simple Performance-Oriented Test) である。J-CAT というのは、日本語能力自動判断テストというもので、聴解・語彙・文法・読解の 4 観点から日本語能力を測定するテストである。また、SPOT というのは、言語知識と言語運用の両面から日本語能力を測定するテストである。これらのテストはウェブで公開され、だれでも自由に受験できる。このように、学習者の習熟度が把握できるようになり、異なる母語の学習者間の習熟度別比較も可能になる。

なお、異なる言語を母語とする学習者グループを比較するときに、各習熟度における学習者の数は必ずしも一致していないことに注意する必要がある。ここでは、I-JAS で収集された学習者の J-CAT の成績を参照し、中国語を母語とする学習者・韓国語を母語とする学習者 (以下、KLJ: Korean learners of Japanese と呼ぶ)・英語を母語とする学習者 (以下、ELJ: English learners of Japanese と呼ぶ) を例として挙げられる。以下は、各レベルの学習者数である。

表 8 I-JAS の母語別学習者の各習熟度にあたる人数

習熟度	CLJ	KLJ	ELJ	合計
初級(0 点～99 点)	0	1	7	8
中級前半(100 点～149 点)	2	5	13	20
中級(150 点～199 点)	22	6	16	44
中級後半(200 点～249 点)	41	13	12	66
上級前半(250 点～299 点)	31	14	2	47
上級(300 点～349 点)	3	10	0	13
日本語母語話者相当(350 点～)	1	1	0	2

表 8 を見るとわかるように、CLJ については初級のデータが不足しており、また、ELJ については上級および日本語母語話者相当の 2 つのレベルのデータが不足している。たとえ各言語を母語とする日本語学習者のデータをすべて使用して比較するならば、要因は母語だけではなく、習熟度も考慮しなければならない。そこで、各言語を母語とする学習者グループを比較するときに、学習者グループの習熟度を統制する必要があると考えられる。

最後に、(4)について、I-JAS では 1 人の学習者に対して 7 種類 12 タスクを行わせた。それぞれのタスクの詳細は以下の表 9 のようになる。

表 9 I-JAS のタスク構成(迫田他(2016)により筆者がまとめ)

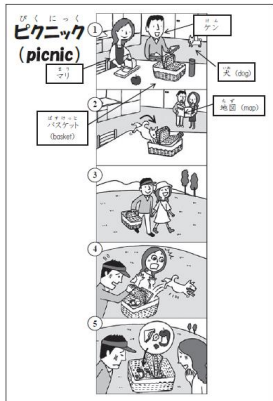
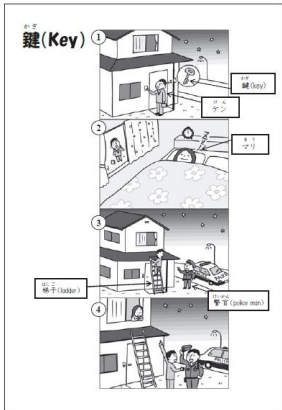
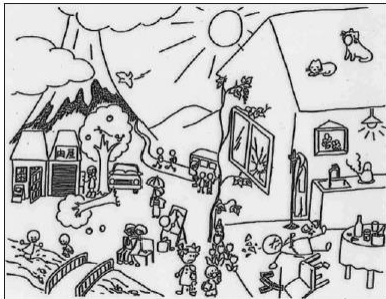
タスク	詳細	目的
対面調査	以下のような 2 つのイラストのストーリーを話すというタスクである。登場人物の名前や日本語能力試験の旧 2 級以上の名詞語彙には、日本語と英語の訳を付与した。 図 8 イラスト 1 	(1) 対話で十分な発話量を引き出せない場合への対策 (2) 談話レベルの発話ではあまり観察できない文法項目の使用状況を観察 (3) 学習者の緊張を和らげる

		図 9 イラスト 2 	
	対話	学習者と調査実施者が自然な会話を 30 分程度行うタスクである。データ間での比較を考慮し、内容はある程度統一されている。話題は全 15 項目で、前半は学習者本人に関する過去、現在、未来について話せるものをバランスよく配置し、後半には、談話レベルの発話が引き出せるよう、意見陳述や反論ができるような話題を設定した。	自然な流れでの学習者の言語運用を引き出す
	ロールプレイ	設定された場面に応じて、与えられた役を演じて会話するタスクである。(場面 1: 日本料理店でのアルバイト場面で、店長にアルバイトの出勤日数を依頼する。場面 2: 日本料理店でのアルバイト場面で、店長から仕事内容の変更依頼を断る)	学習者の日本語によるコミュニケーション能力、交渉能力を観察
	絵描写	以下のような図を見て説明するタスクである。 図 10 絵描写のイラスト 	対話では見られない動詞の活用に着目する
	ストーリーライティング	ストーリーテリングと同一の 2 種類のタスクを PC で入力するというタスクである。日本語での PC 入力が困難場合は手書きで対応した。制限時間は 1 タスクにつきおよそ 10 分で、辞書やインターネットの使用は不可である。	同種のタスクを口頭産出した場合と文産出した場合の相違点を探る
作	メール文	タスクに対して作文するものである。対面調査前にタスクを与え、学習者は各自自宅や学校などで行う。辞書、インターネットの使	同一の学習者による、発話と作文

索システムにより一遍に取り出すことができ、分析上にはきわめて便利な検索システムとなっていると言えるであろう。

以上、既存の横断学習者コーパスの問題点を確認したうえで、I-JAS の構築方法と検索方法という 2 点から I-JAS を紹介した。すでに述べたように、I-JAS は今までの学習者コーパスの問題点の多くを解決し、学習者産出の分析にきわめて有用なコーパスとなっている。

4.1.4 「日本語学習者書き言葉コーパス」(日语学习者书面语料库)

4.1.3 節では、既存横断学習者コーパスの問題を確認し、本研究で使用する I-JAS について概説した。以下、本研究で使用する縦断コーパス「日本語学習者書き言葉コーパス」(日语学习者书面语料库)について概観する。

4.1.4.1 既存の縦断学習者コーパスの問題点

「日本語学習者書き言葉コーパス」の紹介に先立ち、既存の縦断コーパスの概説を見ていく。以下、「日本語学習者の縦断的発話コーパス」(C-JAS)と「Language Acquisition Research Project at Soochow University」(LARP at SCU)という 2 つの縦断コーパスを例として挙げる。

表 10 既存の学習者縦断コーパス

コーパス	公開年	母語・収集国 (人数)	調査期間	データ量	データ 収集方法
C-JAS	2012 年	中国語(3 名), 韓国語(3 名) (合計 6 名)	日本語学習 約 3 カ月から 約 3 年間まで	47 本 (計約 46 時間)	母語話者との自由会話 形式(調査期ごとに共 通の話題を設定)
LARP	2009 年	中国語(台湾) (37 名)	2004 年 3 月 から 2007 年 5 月までの三 年半	1 人につき作文 33 回 (なお, 37 名の学習者 は 33 回全部参加したと いうわけではない)	(1) 作文 (2) 日本語教師との 1 対 1 フォローアップイン タビュー (3) 作文の修正

上記の 2 つの縦断コーパスは、なかなか入手しにくい縦断コーパスのうち、学習者の言語習得の発達過程を直接研究できる非常に貴重なデータと言える。ただし、表 10 を見るとわかるように、既存の縦断コーパスはサンプルサイズが比較的小さい、また、CLJ の習得問題を解明したい本研究

の目的に適していないなどの問題点が残されている。これらをふまえ、本研究は比較的規模が大きく、そして CLJ に特化した縦断学習者コーパス「日本語学習者書き言葉コーパス」を使用する。

4.1.4.2 「日本語学習者書き言葉コーパス」の構築方法

「日本語学習者書き言葉コーパス」は上海交通大学文科科研基金項目「学習者書き言葉および日本語教学研究」(代表者:張建華, 課題番号:08TS1)の一環であり, 上海交通大学, 東北師範大学, 上海師範大学, 上海外国語大学, 南開大学とう5つの大学における日本語科の学習者401名の作文を収集したコーパスである。総作文数は1931本となり, 文字数は1,607,033となった。

「日本語学習者書き言葉コーパス」は学習者課題を与え, 論理的に意見や感想を述べる作文を書かせた。毎回の作文に当たっては, 特に制限を設けず, 作文授業の時間内, あるいは宿題として授業以外の時間に完成させる形を取っている。作文のテーマとしては, 学習者が興味ありそうな様々な社会問題(たとえば, 女性, 就職, 家族など)を取り上げた。具体的なデータ構成は以下の表11のようになる。

表11 「日本語学習者書き言葉コーパス」で収録された作文の内訳

学期	人数	篇数	字数
第3学期	33	389	212,012
第4学期	66	503	357,075
第5学期	98	376	328,787
第6学期	113	305	316,074
第7学期	59	326	358,005
第8学期	32	32	35,080
合計	401	1931	1,607,033

また, 「日本語学習者書き言葉コーパス」では学習者の生データだけではなく, コーパス構築チームによる修正も含まれている。具体的な誤用タグセットは以下の表12のようになる。

表12 「日本語学習者書き言葉コーパス」の誤用タグセット

分類	タグ	パターン	タグ	パターン
表記	Hk1	漢字	Hk2	仮名
	Hk3	その他	Hk4	誤字
コロケーション	R1	名詞と形容詞	R2	副詞と動詞
	R3	名詞と動詞	R4	名詞と名詞

	R5	形容詞と名詞	R6	形容動詞と名詞
	R7	形容動詞と動詞	R8	形容詞と動詞
	R9	定型表現		
文	B1	多用	B2	成分落とし
	B3	テンス	B4	構成
	B5	肯定・否定		
段落	Ss1	文体	Ss2	符号
	Ss3	語の順序	Ss4	段落・書式

なお、誤用の提示方についてはまた 4.1.4.3 で説明する。

4.1.4.3 「日本語学習者書き言葉コーパス」の検索方法

「日本語学習者書き言葉コーパス」は、許可を得てからオンラインインターフェースにて利用できる。「日本語学習者書き言葉コーパス」で「コンピューター」を検索したところ、以下のような検索画面が得られる。

図 12 「日本語学習者書き言葉コーパス」における「コンピューター」の検索結果の一部

Corpus

原文検索

错误検索

语料库信息

作者学校:

不限

作者性別:

不限

学习时间:

不限

学生母語:

不限

写作学期:

不限

作者代码:

毎ページ目:

90

☒ 全部文章
☐ 历时语料
☐ 共时语料

共有23篇文章符合搜索要求。当前显示第1篇到第23篇。

无上页

| 1 |

无下页

作品コード	執筆者コード	題目	图片	学期	執筆日	字数
j0092	a15	尊敬する母	图片	x7	2004.10.25	641
...を書くために、資料を調べたり、コンピューターに入力したり しましたしていました。 仕事に忙...						
j0141	a15	なぜ勉強するか	图片	x7	2004.11.8	1198
...はどういう風景か、 想像しかありません想像するしかありません。テレビ、コンピューターなどがなければ、退屈ではないで...						
j0146	a14	勉強について	图片	x7	2004.11.8	1162
...人と人の交流の橋ですが、数学やコンピューターなどは私たちの頭を働かせて、判...						
j0150	a14	友情を温める	图片	x7	2004.12.13	1119
...ました。いつも携帯のメッセージやコンピューターのメールで交流しています。...						

図 12 のように、検索対象を出現した作文の題目や学習者の学習段階(学期)、文字数(字数)などの情報が見られる。また、作文タイトルをクリックすれば、作文全体を見ることができ、さらに、辞書使用の有無や時間制限の有無など詳しい条件も見ることができる。たとえば、題目「尊敬する母」のボタンをクリックすると、以下のような文章が表示される。

図 13 「日本語学習者書き言葉コーパス」における学習者の作文の例

尊敬する母

尊敬する人といえば、最初に思い出したのは母のことです。今まで **育ててくれ**

る の **に** 感謝の気持ち **をもっている** ほかに、尊敬する感じ **育ててくれた** **こと** への **の**

も **みちています**。なぜかという、母は大学の教授ですから、なんとなくちょ **心**に

っと違うと感じられます。

教授である母の仕事は非常に忙しいです。授業だけでなく、家で授業の準備 **と**

か、学生たちの宿題を直してあげる **こと** **とか**、いつも机の前で仕事に没頭 **や**

しています。数学の先生ですから、参考書は書棚 **に** 全部 **詰めてある** **が** **うまる** **ほどた**

くさんあります。小さい頃からそんな **雰囲気** **に** **囲まれる** **私はずっ**

雰囲気 **囲まれて、**

と「母 **が** **すごいなあ**」と思っていました。時には学生から電話がかかってきまし **は**

た。練習問題 **と** 解く方法が **わからなかったから**、長い時 **を**

間 **にかかってしまいました**。ちょうど食事中にもかかわらず。根気よく回答して **あ**

げました。 **暑休み** も教科書を書くために、資料を調べたり、

あげていました **夏休み**

コンピューターに入力したり **しました** **していました**。

図片 关闭

作者情報	
作者コード	a15
文章情報	
作文番号	j0092
題目	尊敬する母
文体	記叙文
写作学期	x7
日语学习时间	1832
写作日期	2004.10.25
是否使用辞典	有
是否有时间限制	有
字数	641

図 13 で示されたように、表示された作文においては、コーパス構築チームによる誤用の修正も見られる。最後に、「題目」の右側にある「図片」ボタンを押してみると、以下の図 14 のような学習者の手書きの原稿が見られる。

図 14 「日本語学習者書き言葉コーパス」における学習者の作文の原稿例

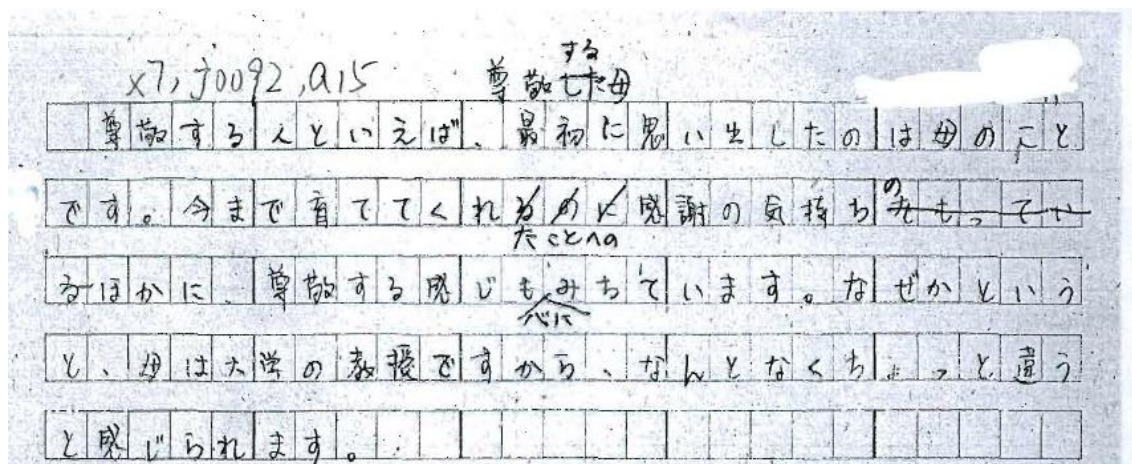


図 14 のような学習者の手書き原稿を利用することで、学習者が作文した時の文字選択の葛藤や、習得段階の進むにつれて学習者の表記上の進歩などが分析することができる。このように、学習者の手書きの原稿と、修正が加えられた作文が両方見られることは、「日本語学習者書き言葉コーパス」の大きな特徴の 1 つと言えるであろう。

以上、4.1 節では、本研究で使ったコーパスについて概説した。以下は、本研究で使用する統計手法について紹介していく。

4.2 使用する統計手法

すでに述べたように、本研究ではコーパス言語学に合わせる計量的な手法が多く使用される。具体的に使用される計量的手法についてここで概観していく。以下、4.2.1 節では仮説検定を、4.2.2 節では相関分析を、4.2.3 では回帰分析を、4.2.4 では判別分析を、4.2.5 ではコレスポンデンス分析をそれぞれ紹介する。

4.2.1 仮説検定 (hypothesis testing)

仮説検定とは、複数の数量データに実質的な差 (有意差) があると言えるかどうかを客観的に判定するために行うものである (石川他, 2010)。仮説検定には様々なタイプが存在するが、3 群以上の平均値の差を検証する場合は、分散分析 (ANOVA) を使用する。分散分析では、群内の分散と群間の分散が比較され、群内分散に対して群間分散が十分に大きな値を示している場合に、群間の差に意味があると結論する。また、ANOVA には、使用する数量データが正規分布の仮定を満たしている際にはパラメトリック型検定と前提が保証されていない場合にノンパラメトリック型検定が

存在する。

本論文の第 9 章では、分野間と語義間において、「プレイヤー」と「プレーヤー」という 2 つの表記の頻度について統計的な差異が存在するかについてカイ二乗検定を用いて検証する。

そして、第 10 章では、産出モード別非和語系語彙使用量にはどのような差があるかを調査する際に、差の有意性を統計的に検定する。具体的には、トークン使用量についてカイ二乗検定を行い、タイプ使用量について t 検定を行う。

最後に、第 12 章では、CLJ・KLJ・ELJ と日本語母語話者の間には差があるかを確認するため、ANOVA を利用した。なお、データサイズが小さく、内部のばらつきが大きいと判断されることから、ノンパラメトリック検定のクラスカル・ウォリスの H 検定で検証する。

4.2.2 相関分析(correlation analysis)

相関分析とは、一方が変化すれば他方もそれにつれて変化するという直線的な関係がどの程度の強さで見られるかを調べる統計的分析方法である(石川他, 2010)。相関の強さを相関係数という連続的な指標で表現し、一般に、相関係数の絶対値が .7 より大きい場合は「強い相関」が、.4 より大きい場合は「中程度の相関」が、.2 より大きい場合は「弱い相関」があると判断され、.2 以下の場合には「相関なし」と判断される。また、頻度など量的データの相関を調査する際に、ピアソンの相関係数を使用し、順位など質的データの相関を分析する際に、スピアマンの順位相関係数やケンドールの順位総関係数を使用する。

本論文の第 9 章では、漢語の仮名表記率と外来語の連母音表記率はそれぞれどのような要因と関係しているかを調査するため、相関分析が使用される。

4.2.3 回帰分析(regression analysis)

回帰分析とは、原因となる変数と結果となる変数の間の関係を量的に分析する統計手法である(石川他, 2010)。ここで、原因となる変数を説明変数(X)、また、結果となる変数を目的変数(Y)と呼ぶ。回帰分析の特徴としては、説明変数と目的変数の関係の有無や強弱を示すだけでなく、数学的な因果モデルで表現することが挙げられる。

回帰分析では、説明変数の数によって 2 種類に分けることができる。説明変数が 1 つだけの場合を単回帰分析(simple regression analysis)と呼び、回帰式は $Y=aX+b$ のようになる。また、説明変数が 2 つ以上の場合を重回帰分析(multiple regression analysis)とよび、回帰式は $Y=a_1X_1+a_2X_2+\cdots+b$ のようになる。

特に、重回帰分析においては、説明変数の選択手法として「全変数法」・「変数増減法」・「変数増減法」という3種が選べる。手元のデータをすべて使用してモデルを作りたい場合は「全変数法」を、有効性の高い変数だけ使用し、統計的にもっとも妥当性の高いモデルを作りたい場合は「変数増減法」などを使用する。「変数増減法」は選択する変数の数を事前に固定せず、変数を増やしたり減らしたりする作業からシミュレーションし、統計的にもっとも妥当性の高いモデルを作ることから、ステップワイズ法 (stepwise method/stepwise forward regression) と呼ばれる。

本論文の第7章では、非和語形状詞の言語特性による「ナ」と「ノ」の選択モデルを作る際に重回帰分析が使用される。なお、変数の選択手法については、変数増減法を使用する。

4.2.4 判別分析(discriminant analysis)

判別分析とは、何らかの数学的基準に基づいて、個々のデータが所属するそれぞれのグループを自動的に判定する手法である(石川他, 2010)。もっとも一般的な判別分析としては、線形判別分析 (linear discriminant function) が挙げられる。

線形判別分析を行うとき、判定にはなんらかの基準が必要であるが、数学的には判別の基準として線形判別関数を利用する。この関数から得られた値を判別得点といい、判別得点によってグループへの所属の有無を判断する。また、判別手法の選択としては「線形判別法」・「変数増減法」・「正準判別法」という3種類が挙げられる。

本論文の第7章では、非和語系形状詞の前後要素による「ナ」と「ノ」の判別モデルを作るため、判別分析が使用される。変数の選択手法については、「変数増減法」を使用する。

4.2.5 コレスポンデンス分析(correspondence analysis)

コレスポンデンス分析とは、頻度表における行・列の関係を組み替え、頻度表に含まれる情報を少数の次元 (dimension) にまとめることで、行・列を整理する解析法である(石川他, 2010)。また、データ表の行列の対応関係に注目することから、日本では対応分析とも呼ばれている。コレスポンデンス分析によって、データ表の行や列の関係を散布図上に布置することができ、視覚的なデータの俯瞰が可能になる。コレスポンデンス分析においては、変数とケースの区別を行わず、列方向に入るデータの集合を第1アイテム、列方向に入るデータの集合を第2アイテムと呼ぶ。なお、行と列の区別は便宜的なもので、行列の転置を行っても結果は変わらない。

判別分析やクラスター分析などの他のデータ分類手法に比べ、コレスポンデンス分析は多くのメリットを持つとされている(石川他, 2010)。1点目は、変数とケースといったデータの性質の違いが

問題にならないことである。2 点目は、2 つのカテゴリーを同時に分類することが可能であるということである。3 点目は、分析の主目的が、データの合成や分析ではなく、カテゴリーの整理と分類そのものにあるということである。4 点目は、因子分析などと比べると、分析者は人為的に選択するオプションが少なく、分析結果が比較的安定しているということである。

本論文の第 6 章では、異なる標識の意味機能的相違を解明するために、各連体修飾パターンの特徴ジャンルと共起語の比較を行う。その際、まず、各連体修飾標識の特徴ジャンルの比較について、連体修飾パターンを第 1 アイテム、各ジャンルを第 2 アイテムとする頻度表を作成してコレスポネンシ分析を行う。また、共起語の比較について、各連体修飾パターンを第 1 アイテム、上位後続名詞を第 2 アイテムとする頻度表を作成してコレスポネンシ分析を行う。

そして、第 8 章では、外来語「ストップ」とその類義漢語「停止」の意味機能的相違を明らかにするため、2 語の共起語について比較を行う。その際、「ストップ」と「停止」の各ジャンルを第 1 アイテム、共起語の上位語を第 2 アイテムとする頻度表を作成してコレスポネンシ分析を行う。

続いて、第 11 章では、各言語を母語とする学習者が使用された特徴語にはどのようなものがあるかを調査するため、話者グループを第 1 アイテムとし、使用した上位語を第 2 アイテムとする頻度表を作成してコレスポネンシ分析を行う。また、母語別と習熟度別に学習者の非和語系語彙使用の関係を分析するため、中国語・韓国語・英語を母語とする日本語学習者の各習熟度段階と日本語母語話者という 19 種の話者グループを第 1 アイテムとし、漢語および外来語の使用総量(延べ語数・異なり語数)・語彙難度・上位語一致率という 4 つの観点を第 2 アイテムとして、コレスポネンシ分析を実行し、両者の総合関係を散布図上で検討する。

最後に、第 12 章では、各学習段階に特徴的に使用される非和語系語彙を見るため、学習段階を第 1 アイテム、使用した上位語を第 2 アイテムとする頻度表を作成してコレスポネンシ分析を行う。また、各習熟度段階にある CLJ の非和語系語彙使用の総合関係を見るために、各習熟度段階の CLJ を第 1 アイテムとし、漢語および外来語の使用総量(延べ語数・異なり語数)・語彙難度・上位語一致率という 4 つの観点を第 2 アイテムとして、コレスポネンシ分析を行う。

4.3 まとめ

以上本章では、本研究が使用するデータと使用する統計手法について紹介してきた。4.1 節「使用データ」については、言語学的コーパスとして「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)と「日本語日常会話コーパス」(CEJC)を、教育学的コーパスとして「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」(I-JAS)と「日本語学習者書き言葉コーパス」(日本語学習者书面語料庫)を取り上げて

紹介を行った。4.2 節「使用する統計手法」については、仮説検定、相関分析、回帰分析、判別分析、コレスポンデンス分析のそれぞれについて紹介を行った。

第Ⅱ部 非和語系語彙の言語特性の解明

すでに第Ⅰ部「研究の枠組み」では、本研究の枠組みについて説明した。第1章「はじめに」では、日本語における非和語系語彙の重要性、また、日本語教育における非和語系語彙の研究の重要性を確認し、本研究の目的と構成を説明した。第2章「研究対象としての非和語系語彙」では、(1)非和語系語彙の定義、(2)現代日本語、(3)日本語教育における非和語系語彙の位置づけ、(4)非和語系語彙研究の現状という4つの観点から研究対象としての非和語系語彙を紹介した。第3章「先行研究」では、これまでの非和語系語彙研究を、本研究が立てた具体的な研究課題に即して概観した。第4章「リサーチデザイン」では、本論文で使用したデータおよび統計手法について概説した。

以下第Ⅱ部では、本研究の研究対象となる非和語系語彙の言語特性を解明するために、科学的統計手法を用いて調査を行う。一般に、語彙の使用に関しては、統語論・意味論・形態論・語用論などの観点に関わる。本研究では、これらについて、それぞれ1つないし2つの分析の切り口を用意し、その観点から、非和語系語彙の言語特性を考えていく。なお、こうした分析にあたっては、何らかの具体的な語彙をサンプルとして調査を進めていくことになるが、恣意的に選んだ語彙サンプルから得られた結果では、妥当性に問題が生じる。そこで、議論の前提として、大規模コーパスを調査し、高頻度で汎用的な非和語系語彙の抽出を行う。

以下、第5章では非和語系語彙の重要語の抽出を行う。第6章と第7章では統語論的特性に関して、「非和語系形状詞の体言接続」の問題を取り上げる。第8章では意味論的特性に関して「類義漢語・外来語の使い分け」の問題を取り上げる。第9章では形態的特性に関して「漢語と外来語の表記ゆれ」の問題を扱う。最後に、第10章では語用論的特性に関して、「産出モード・産出環境は非和語系語彙使用に与える影響」を検討する。

第5章 使用実態:コーパスに基づく重要語彙の抽出

5.1 はじめに

CLJを対象とした非和語系語彙の指導を考える場合、もっとも基本的かつ重要なことは、学習すべき対象語を明示化することである。漢語についても外来語についても既存の教材にはさまざまなものが提示されている。しかしながら、日本語教育全体でどのような漢語を、また、どのような外来語をどこまで覚えるべきかがほとんど示されていない。この点をふまえると、本研究を進めていく前提として大量に存在する漢語・外来語の中から、特に重要なものを絞ることが不可欠であると言えるであろう。

重要語の選定は、従来幅広く行われてきた。すでに第 3 章の 1 節で述べたように、漢語の基本語彙の選定については、国立国語研究所(1984)や李(2011)などが挙げられ、また、外来語の基本語彙の選定については、井上(2004)(2005)や望月(2012)などが挙げられる。しかし、これらの重要語語彙選定の多くは、既存の国語辞典における収録状況を調べることや、研究者の主観判断を調査するといった間接的データに基づくもので、実際の言語使用を収集したコーパスのような直接的データに基づく語彙抽出は必ずしも多くない。

以上をふまえれば、コーパスデータを直接的証拠として新たに漢語および外来語の重要語を抽出していく必要がある。その際に留意すべきは、コーパスのジャンルに適切な配慮を行うということである。そこで、本研究においては頻度とレンジ(使用範囲)という 2 つの基準を立てて、重要語彙の抽出を行うこととする。

5.2 リサーチデザインと手法

5.2.1 研究目的と RQ

すでに述べたように、本章の目的は、コーパスにおける出現頻度とレンジという 2 つの観点を調査することで、今後の日本語学および日本語教育で活用しうる重要非和語系語彙リストを作成することである。この目的に従い、本章は以下のようなリサーチクエスションを設定した。

RQ1 コーパスにおける出現頻度と使用範囲という 2 つの観点到に注目する場合、「重要漢語」としてどのようなものがあるか？(重要漢語)

RQ2 コーパスにおける出現頻度と使用範囲という 2 つの観点到に注目する場合、「重要外来語」としてどのようなものがあるか？(重要外来語)

5.2.2 データ

本章では、書き言葉コーパスとして BCCWJ を、話し言葉コーパスとして CEJC を利用する。なお、本研究は BCCWJ における 13 言語変種のうち、韻文を除くこととする。また、書籍については、「出版・書籍」と「図書館・書籍」、「特定目的・ベストセラー」を合わせて 1 つの言語変種と見なす。最後に、話し言葉における非和語系語彙の出現を確認するため、CEJC も言語変種の 1 つとして見なす。すなわち、本研究で対象となるのは、書籍、雑誌、新聞、白書、教科書、広報紙、Yahoo! 知恵袋、Yahoo! ブログ、法律、国会会議録、話し言葉(CEJC)という 11 種の言語変種である。

5.2.3 手法

まず、漢語抽出の前処理として、BCCWJにおけるすべての2文字漢語を抽出する。なお、2文字漢語に限定した理由は、(1) 2文字漢語が日本語の漢語語彙の種類や頻度において中心的な位置を占めており、(2) 三字以上の漢語のほとんどは、2文字漢語が語基になって成り立っており、(3) 1文字漢語は、和語の複合要素(動詞や助詞・助動詞)との結合が固く、他の2文字以上の漢語と文法的振る舞いが大きく異なっているためである(間淵, 2017)。

次に、抽出方法について考えたい。いわゆる重要語抽出では、かつては頻度のみに注目する研究が多かったが、最近では、頻度とレンジ(使用範囲)の両方に注目する研究が増えている。たとえば、10種のジャンルからなるコーパスで、1ジャンルだけで100回出現している語よりも、すべてのジャンルで10回ずつ出現している語のほうが汎用性が高いと考えられるためである。ただ、基本となる頻度データに対して、レンジという異なる性質のデータをどう組み合わせていくべきか、という点については先行研究でも確立した手法が存在しない。そこで、本論文におけるデータ処理方法を決定する予備実験として、2つの重要語抽出方法を比較した。

(A) 頻度に、出現する言語変種数は全変種数に占める比率をかける(例: 頻度 50, 出現変種数 5: $50 \times 5/11 \div 22$)

(B) 頻度に、各言語変種における頻度順位平均値の逆数をかける(例: 頻度 50, 全変種における頻度順位平均値 3: $50 \times 1/3 \div 17$)

(A)の方法は、レンジの情報を直接使用しているが、(B)の方法は、レンジの情報を頻度に基づく順位値に変換しており、レンジの情報は間接的に使用する。以下の表1は、2つの方法を適用した際の上位語の一部である。

表1を見ると、(A)の方法によって抽出された漢語上位15語のうち、たとえば、「事業」(15位→1位)や「規定」(66位→2位)、そして「当該」(223位→13位)など特に法律ジャンルに多く使用される難語が多く含まれている。すなわち、ジャンルフィルターが低すぎる可能性が示唆された。また、これらの結果を日本語教育の専門家と討議した結果、頻度と各レンジにおける順位の逆数を掛け合わせる方法がより妥当な単語が選ばれているという判断が得られたため、本研究は手法2、すなわち「重要度＝コーパスにおける出現頻度×(1/言語変種順位平均値)」という手法を採用する。

表 1 2種の抽出方法による漢語と外来語上位 15 語

	漢語					外来語			
	手法 1	元順位	手法 2	元順位		手法 1	元順位	手法 2	元順位
1	事業	15	必要	3	1	センター	7	テレビ	7
2	規定	66	関係	4	2	サービス	9	サービス	4
3	必要	7	以上	8	3	メール	14	センター	3
4	問題	6	社会	16	4	エネルギー	13	ホーム	11
5	地域	22	情報	36	5	ファックス	23	スポーツ	22
6	自分	2	問題	7	6	テレビ	6	データ	9
7	年度	37	生活	22	7	スポーツ	19	グループ	15
8	委員	29	地域	11	8	ホーム	22	システム	5
9	関係	9	学校	5	9	システム	25	メール	8
10	会社	20	利用	9	10	データ	31	バス	28
11	利用	31	会社	27	11	チーム	20	チーム	27
12	以上	14	研究	15	12	グループ	21	イメージ	20
13	当該	223	自分	28	13	バス	2	カード	26
14	計画	45	環境	47	14	ガス	39	ホテル	12
15	情報	23	活動	12	15	ホテル	38	ソフト	29

たとえば、「自分」という漢語を例に説明しよう。まず、BCCWJ における出現頻度は(ここで言う頻度は 100 万あたり調整頻度 (pmw)であり、以下も同じである)1061.81 である。次に、各言語変種における「自分」の順位について、書籍ジャンルにおける順位は 2, 雑誌ジャンルにおける頻度は 4, 新聞ジャンルにおける頻度は 19, 白書ジャンルにおける頻度は 992, 教科書ジャンルにおける頻度は 16, 広報紙ジャンルにおける頻度は 151, Yahoo!知恵袋における頻度は 2, Yahoo!ブログにおける頻度は 3, 法律ジャンルにおける頻度は 3556, 国会会議録ジャンルにおける頻度は 189, 話し言葉における頻度は 6 となり、これらの平均順位は 449.09 となった。最後に、重要度＝コーパスにおける出現頻度×(1/言語変種順位平均値)という式で計算した結果、 $1061.81 \times (1/449.09) = 2.36$ という値が得られる。また、「必要」という漢語は BCCWJ における頻度は 674.93 であり、また、各言語変種における平均順位は 22.09 であるため、重要度は 30.55 となった。つまり、平均頻度においては、「自分」のほうが上位になるが、最終的な重要度においては、「必要」のほうが上位になる。

なお、ここで問題になるのは以下の 2 点である。1 点目は、それぞれの重要語を抽出した時、そ

の数を決めなければならないということである。すでに述べたように、先行研究では重要語の抽出について様々な調査が行われていたが、抽出された重要語の数は必ずしも一致していない。たとえば、国立国語研究所(1984)では、『基本語六千』において漢語 3,225 語と外来語 312 語が、『基本語二千』において漢語 861 語と外来語 51 語が抽出された。また、井上(2004)では基本外来語として 550 語が、最重要外来語として 175 語が抽出された。本研究は、BCCWJ において漢語・外来語を頻度別にソートし、総頻度に占めるカバー率が 80%の語の数を目安として重要語の抽出を行う。その結果、総頻度に占めるカバー率が 80%の漢語を抽出したところ、全 50,649 種の漢語のうち高頻度二字漢語として 2,883 種が抽出され、また、総頻度に占めるカバー率が 80%の外来語を抽出したところ、全 21,622 種の外来語のうち高頻度外来語として 1,642 種が抽出された。そこで、本研究は、重要漢語 2,900 語を、重要外来語 1,700 語を目安として抽出を行う。

2 点目は、抽出された語の中には、数詞、助数詞、接尾詞、接頭詞、前置詞、冠詞といった機能語が含まれるということである。この点について、本研究は手作業でこれらを除きすることとする。

5.3 結果と考察

5.3.1 RQ1 「重要漢語」

以上で述べたように、各漢語の「重要度」を計算し、また、総頻度に占めるカバー率が 80%の語の数を目安として重要語の抽出を行った結果、重要度順位による漢語語彙 2,900 語が抽出された。以下、このうちの上位 50 語を示す。

表 2 重要度順位による漢語語彙リストの上位 50 語

順位	漢語	平均 頻度	ジャンル 順位	重要度	元 順位	順位	漢語	平均 頻度	ジャンル 順位	重要度	元 順位
1	二十	1502.39	4.00	375.60	1	26	研究	350.46	166.55	2.10	26
2	三十	1012.39	11.82	85.66	3	27	環境	444.65	213.82	2.08	15
3	五十	776.76	12.82	60.60	4	28	大臣	281.82	136.55	2.06	41
4	必要	674.93	22.09	30.55	7	29	社会	226.28	110.82	2.04	64
5	六十	523.78	26.73	19.60	10	30	生活	347.59	171.91	2.02	27
6	時間	648.65	44.82	14.47	8	31	保険	242.29	131.36	1.84	53
7	関係	550.57	44.09	12.49	9	32	法律	318.52	175.18	1.82	34
8	九十	520.74	50.91	10.23	11	33	調査	272.13	155.45	1.75	43
9	八十	473.22	49.64	9.53	12	34	学校	406.90	233.82	1.74	18

10	以上	446.17	47.27	9.44	14	35	実施	317.85	183.64	1.73	35
11	九百	699.24	102.18	6.84	5	36	施設	281.68	169.45	1.66	42
12	二百	344.95	56.55	6.10	28	37	活動	410.41	252.45	1.63	16
13	社会	468.19	77.27	6.06	13	38	経済	225.54	144.18	1.56	65
14	情報	376.49	64.00	5.88	23	39	本当	239.99	159.45	1.51	54
15	問題	683.27	125.91	5.43	6	40	整備	259.08	180.45	1.44	47
16	生活	403.06	81.18	4.96	19	41	世界	236.33	168.91	1.40	58
17	地域	379.04	80.55	4.71	22	42	以下	325.07	234.00	1.39	33
18	学校	364.35	83.18	4.38	25	43	対象	239.96	174.91	1.37	55
19	利用	337.95	77.82	4.34	31	44	企業	263.72	199.64	1.32	45
20	会社	393.52	128.36	3.07	20	45	技術	211.58	160.64	1.32	75
21	研究	381.13	146.55	2.60	21	46	現在	222.30	172.36	1.29	117
22	自分	1061.81	449.09	2.36	2	47	開発	237.02	184.00	1.29	56
23	環境	293.32	124.82	2.35	39	48	機関	265.33	212.18	1.25	44
24	活動	300.54	136.55	2.20	38	49	方法	281.94	232.00	1.22	40
25	内容	254.72	120.73	2.11	49	50	参加	263.71	238.00	1.11	46

表 2 からわかることは、出現頻度と使用レンジを考慮した重要度で並べ替えた結果、一部の漢語の順位は大きく変わったということである。たとえば、元順位は 2 位となった「自分」は、Yahoo！知恵袋やブログなど比較的プライベートの言語変種における頻度は高いが、白書や広報紙、法律など改まった言語変種での使用頻度が非常に少ないため、平均頻度が低くなり、結果的に 22 位に落ちた。また、元順位は 31 位となった「利用」について言えば、ある言語変種における偏りが少なく、各言語変種において一定程度出現しているため、ジャンル順位が高くなり、結果的に順位が 19 位にあがった。このように、頻度という 1 つの指標に頼るだけではなく、レンジも新たな 1 つの指標として考慮することで、より妥当性の高い重要漢語リストが得られたと言えるであろう。

なお、表 2 からわかるように、重要度による漢語語彙リストのうち、「二十」・「三十」のような数詞や、「箇月」や「箇所」のような助数詞、また、「等々」のような接尾辞が存在する。本研究はこれらを除外することとした。以下は、重要度順位の上位 2,900 語に含まれる除外語 35 語である。

表 3 本研究で除外となった漢語 35 語

二十, 三十, 五十, 六十, 時間, 九十, 八十, 九百, 二百, 二千, 三百, 五百, 八百, 年間, 六百, 箇月, 三千, 五千, 週間, 箇所, 六千, 八千, 九千, 箇国, 丁目, 周年, 二三, 数十, 一千, 数百, 何十, 等々, 年次, 数千, 箇年

上記の 35 語を除き、本研究は重要漢語として 2,865 語が抽出された。以下、重要漢語 2,865 語の上位 50 を例として示す。

表 4 重要漢語 2865 語の上位 50 語

順位	漢語	平均 頻度	ジャンル 順位	重要度	順位	漢語	平均 頻度	ジャンル 順位	重要度
1	必要	674.93	22.09	30.55	26	調査	281.68	169.45	1.66
2	関係	550.57	44.09	12.49	27	世界	410.41	252.45	1.63
3	以上	446.17	47.27	9.44	28	大学	259.08	180.45	1.44
4	社会	468.19	77.27	6.06	29	現在	325.07	234.00	1.39
5	情報	376.49	64.00	5.88	30	使用	239.96	174.91	1.37
6	問題	683.27	125.91	5.43	31	計画	263.72	199.64	1.32
7	生活	403.06	81.18	4.96	32	管理	211.58	160.64	1.32
8	地域	379.04	80.55	4.71	33	自然	222.30	172.36	1.29
9	学校	364.35	83.18	4.38	34	部分	237.02	184.00	1.29
10	利用	337.95	77.82	4.34	35	教育	265.33	212.18	1.25
11	会社	393.52	128.36	3.07	36	電話	281.94	232.00	1.22
12	研究	381.13	146.55	2.60	37	技術	263.71	238.00	1.11
13	自分	1061.81	449.09	2.36	38	地方	212.67	193.55	1.10
14	環境	293.32	124.82	2.35	39	人間	407.38	380.73	1.07
15	活動	300.54	136.55	2.20	40	参加	209.08	195.73	1.07
16	内容	254.72	120.73	2.11	41	時代	337.98	322.73	1.05
17	企業	350.46	166.55	2.10	42	委員	338.91	327.45	1.03
18	事業	444.65	213.82	2.08	43	状態	242.70	235.36	1.03
19	結果	281.82	136.55	2.06	44	目的	194.38	189.00	1.03
20	基本	226.28	110.82	2.04	45	以外	185.01	183.91	1.01
21	可能	347.59	171.91	2.02	46	程度	200.44	200.91	1.00
22	一般	242.29	131.36	1.84	47	保険	248.94	251.55	0.99
23	方法	318.52	175.18	1.82	48	説明	223.45	256.27	0.87
24	状況	272.13	155.45	1.75	49	開発	230.21	264.18	0.87
25	経済	317.85	183.64	1.73	50	個人	171.00	202.18	0.85

このように、本研究は重要漢語として 2,865 語を抽出した。以下各章は、これらを分析対象として、漢語の言語的特性を考察していきたい。

5.3.2 RQ2 「重要外来語」

RQ1 では、コーパスにおける出現頻度と使用範囲という 2 つの観点を調査することで、「重要漢語」として 2,865 語を特定した。以下、「重要外来語」の特定を行っていきたい。

各外来語の「重要度」を計算したところ、重要度順位による外来語語彙 1,700 語が抽出された。以下、このうちの上位 50 語を示す。

表 5 重要度順位による外来語語彙リストの上位 50 語

順位	外来語	平均 頻度	ジャンル 順位	重要度	元 順位	順位	外来語	平均 頻度	ジャンル 順位	重要度	元 順位
1	パーセント	605.97	10.91	55.55	1	26	パソコン	84.54	105.64	0.80	23
2	ページ	235.56	32.36	7.28	2	27	ゲーム	69.43	91.73	0.76	38
3	テレビ	149.54	23.55	6.35	7	28	タイプ	90.95	123.82	0.73	17
4	メートル	152.56	24.73	6.17	6	29	クラブ	66.45	94.00	0.71	41
5	サービス	159.03	28.55	5.57	4	30	ケース	75.77	115.00	0.66	32
6	センター	197.53	38.18	5.17	3	31	テーマ	57.71	88.36	0.65	53
7	ホーム	103.14	29.82	3.46	11	32	エネルギー	94.92	152.73	0.62	16
8	スポーツ	85.65	32.45	2.64	22	33	バランス	52.75	91.82	0.57	62
9	データ	126.28	59.36	2.13	9	34	ライン	58.76	103.00	0.57	49
10	グループ	95.59	48.55	1.97	15	35	ボール	67.72	118.82	0.57	40
11	システム	157.32	81.09	1.94	5	36	コース	58.66	103.45	0.57	50
12	ポイント	104.38	55.91	1.87	10	37	ワン	69.87	124.91	0.56	37
13	メール	149.02	87.27	1.71	8	38	インターネット	62.55	117.73	0.53	45
14	バス	80.67	50.64	1.59	28	39	メーカー	64.13	123.55	0.52	42
15	チーム	80.97	58.27	1.39	27	40	クラス	50.84	101.82	0.50	65
16	アップ	88.93	64.09	1.39	19	41	ネット	61.43	128.45	0.48	46
17	イメージ	88.13	67.18	1.31	20	42	ビル	50.28	113.55	0.44	68
18	カード	81.19	63.00	1.29	26	43	タイム	50.99	121.45	0.42	64
19	ホテル	100.40	78.00	1.29	12	44	グラム	63.50	154.18	0.41	43
20	ソフト	78.38	74.82	1.05	29	45	カメラ	57.84	141.00	0.41	52
21	チェック	73.56	74.27	0.99	35	46	トップ	56.54	139.00	0.41	57
22	レベル	82.24	93.09	0.88	25	47	ガス	61.33	152.73	0.40	47
23	デザイン	68.99	81.18	0.85	39	48	ビデオ	44.01	115.45	0.38	89
24	キロ	76.13	92.18	0.83	31	49	パン	60.89	164.82	0.37	48
25	モデル	82.69	100.82	0.82	24	50	プログラム	50.25	142.18	0.35	69

表 5 からわかるように、外来語の場合も漢語と同じように、出現頻度と使用レンジを考慮した重要度で並べ替えた結果、一部の外来語の順位が大きく変わった。たとえば、元順位が 22 位であった「スポーツ」について言えば、各言語変種において一定程度出現しているため、結果として 8 位に上がった。

なお、これら 1,700 種の外来語の中にも、本研究の目的に照らすと、除外すべき語は多く含まれている。それらは、A.数詞・助数詞類と、B.原語における機能語類(接頭詞(ノン・プレなど)や前置詞(アップ・インなど)、冠詞(ザ・アなど)など)という 2 つである。まず、A について以下の 61 語を除外した。

表 6 本研究で除外となった A 類外来語 53 語

パーセント、ページ、メートル、ポイント、キロ、グラム、ドル、センチメートル、キロメートル、トン、ゼロ、センチ、ミリメートル、キログラム、ミリ、リットル、ミリリットル、カロリー、キロカロリー、ミリグラム、フォト、ヘクタール、インチ、マイル、ビット、キロワット、ボルト、メガバイト、パケット、アール、ヤード、レントゲン、ギガバイト、ポンド、メガヘルツ、フィート、メガ、ワット、メッシュ、フラン、セント、ロット、マルク、ワン、ツー、ファースト、セブン、スリー、エイト、セカンド、フォー、テン、シックス

次に、B 類については以下の 35 語を除外した。

表 7 本研究で除外となった B 類外来語 35 語

アップ(up)、イン(in)、ザ(the)、オン(on)、オブ(of)、アンド(and)、デ(des)、オフ(off)、ツー(to)、バイ(by)、アウト(out)、ル(le)、ド(de)、アット(at)、フォー(for)、ア(a)、プレ(pre)、イズ(is)、ノン(non)、アンチ(anti)、アンダー(under)、アー(are)、オア(or)、ビー(be)、アフター(after)、ウ、ノット(not)、ダウン(down)、サブ(sub)、フロム(from)、ウィズ(with)、ラ(la)、レス(less)、レ(les)、リ(ris)

表 6 と表 7 で示した 88 語を除外した結果、重要外来語としては 1,612 語が挙げられる。以下、重要外来語 1,612 語の上位 50 を例として示す。

表 8 重要外来語上位 50 語

順位	外来語	平均 頻度	ジャンル 順位	重要 度	順位	外来語	平均 頻度	ジャンル 順位	重要 度
1	テレビ	149.54	23.55	6.35	26	エネルギー	94.92	152.73	0.62
2	サービス	159.03	28.55	5.57	27	バランス	52.75	91.82	0.57
3	センター	197.53	38.18	5.17	28	ライン	58.76	103.00	0.57
4	ホーム	103.14	29.82	3.46	29	ボール	67.72	118.82	0.57
5	スポーツ	85.65	32.45	2.64	30	コース	58.66	103.45	0.57
6	データ	126.28	59.36	2.13	31	インターネット	62.55	117.73	0.53
7	グループ	95.59	48.55	1.97	32	メーカー	64.13	123.55	0.52
8	システム	157.32	81.09	1.94	33	クラス	50.84	101.82	0.50
9	メール	149.02	87.27	1.71	34	ネット	61.43	128.45	0.48
10	バス	80.67	50.64	1.59	35	ビル	50.28	113.55	0.44
11	チーム	80.97	58.27	1.39	36	タイム	50.99	121.45	0.42
12	イメージ	88.13	67.18	1.31	37	カメラ	57.84	141.00	0.41
13	カード	81.19	63.00	1.29	38	トップ	56.54	139.00	0.41
14	ホテル	100.40	78.00	1.29	39	ガス	61.33	152.73	0.40
15	ソフト	78.38	74.82	1.05	40	ビデオ	44.01	115.45	0.38
16	チェック	73.56	74.27	0.99	41	パン	60.89	164.82	0.37
17	レベル	82.24	93.09	0.88	42	プログラム	50.25	142.18	0.35
18	デザイン	68.99	81.18	0.85	43	メンバー	50.45	142.91	0.35
19	モデル	82.69	100.82	0.82	44	セット	49.86	148.45	0.34
20	パソコン	84.54	105.64	0.80	45	ドア	74.91	224.73	0.33
21	ゲーム	69.43	91.73	0.76	46	スタート	48.62	146.36	0.33
22	タイプ	90.95	123.82	0.73	47	タバコ	58.10	179.36	0.32
23	クラブ	66.45	94.00	0.71	48	スーパー	42.53	133.55	0.32
24	ケース	75.77	115.00	0.66	49	シート	45.00	144.18	0.31
25	テーマ	57.71	88.36	0.65	50	ファイル	77.50	253.09	0.31

5.4 まとめ

本章は、コーパスにおける各言語変種の使用頻度と使用レンジという 2 つの観点から、「重要漢語」2,865 語、「重要外来語」1,612 語、あわせて「重要非和語系語彙」4,477 語を特定した（具体的な語彙については付表 1「重要漢語語彙リスト」と付表 2「重要外来語語彙リスト」を参照されたい）。このように得られたリストは日本語学における非和語系語彙研究の基礎データとして、また、日本語教育における非和語系語彙の指導対象として重要な資料となりうると言えるであろう。

第 6 章 統語論的特性: 体言接統の問題(1)

本論文の第 II 部においては、非和語系語彙の言語特性を、(1) 重要語抽出、(2) 統語論、(3) 意味論、(4) 形態論、(5) 語用論、という 5 観点から調査するが、すでに第 5 章において、重要語抽出という観点から、「重要漢語」2865 語、「重要外来語」1612 語、あわせて「重要非和語系語彙」4477 語を特定した。第 6 章と第 7 章では統語論に注目して調査を行っていく。

非和語系語彙の統語的特性について議論すべき点は多い。その中で特に重要となるのは非和語系語彙が他の名詞と結合して新たな名詞句を作る現象である。非和語系語彙は名詞句の構成成分となることで、表現の幅を大きく広げているが、どのような結合形式が許されるのか、複数の結合形式を許される場合、どのような頻度的、ジャンルの、意味的相違が発生するのかは必ずしも明らかではない。

非和語系語彙が他の名詞と結合して新たな名詞句を作る場合、想定される結語パターンとしては大別して以下の 5 種類が挙げられる。以下では、X が議論の対象となる非和語系語彙、Y は結合相手の名詞を示す。

- (1) X ナ Y
- (2) X ノ Y
- (3) X シタ Y
- (4) X 的 Y
- (5) X 的ナ Y

ここで注目すべきは、漢語か外来語かによって、さらには個々の語によって上記の 5 形式のうち、使用できるものと使用できないものがあるように思えることである。下記は、漢語として「独自」と「選択」、外来語として「マクロ」と「オープン」を例に取り上げて簡易検証用の名詞句を作り、母語話者に言えるかどうかを「○」「△」「×」の 3 段階で内省判断してもらった結果である。また、使用した語は形容詞的なものと動詞的なものをそれぞれ含むようにしている。

表 1 母語話者の内省判断

	X ナ Y	X ノ Y	X シタ Y	X 的 Y	X 的ナ Y
独自	独自な手法 ○	独自の手法 ○	独自した手法 ×	独自の手法 ○	独自のな手法 △
選択	選択な結果 ×	選択の結果 ○	選択した結果 ○	選択的结果 × (言えるが意味が 変わる)	選択的な結果 × (言えるが意味が 変わる)
マクロ	マクロなレベル ○	マクロのレベル ○	マクロしたレベル ×	マクロのレベル ○	マクロ的なレベル △
オープン (開店の 意味で)	オープンな店 ×	オープンの店 ×	オープンした店 ○	オープンの店 ×	オープ的な店 ×

上記をふまえると、5 つの名詞句形式の許容度は漢語と外来語によって、また、個々の語によって大きく異なると言えそうである。また、5 形式のうち、特に類似の形を持つ「ナ」と「ノ」の間で許容性が異なることも興味を引く。

これらの点をふまえ、本章(第 6 章)では「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的の」・「的な」という 5 種の連体標識の許容度と、それらの頻度的・ジャンルの・意味的相違を概観し、その後、次章(第 7 章)において、類似した形式を持つ「ナ」と「ノ」に絞り、許容度調査と 2 標識の選択モデルの構築を行うこととする。

6.1 はじめに

すでに述べたように、日本語において非和語系語彙は単独で使用するのみならず、他の名詞と接合して新たな名詞句を形成するが多い。その際、上述したように、「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的の」・「的な」といった連体標識が使用されるが、これらは場合によって使用できたり、できなかったりする。また、複数の標識が使用可能な場合も、微妙なニュアンス差が生じる。

適切な連体標識の選択は、非母語話者にはきわめて難しく、学習者はしばしば、不適切な連体標識を選択している。ここで、「日本語学習者書き言葉コーパス」(日语学習者书面语料库)における CLJ の作文の用例を見てみよう。

(1) 有名な会社に入れば、?安定な仕事で、豊かなサラリーを持って、自慢の気持ちもある。(作文

番号:j0040)

- (2) たぶん?安定的な生活はつまらない生活といわれるが、人によって違うと思う。(作文番号:j0109)

上記はどちらも日本語として不自然で、いずれも、下線部を「安定した」に置き換えることが妥当であろう。

なお、結合相手の語によっては複数の連体標識が許容される場合もある。ここで、BCCWJ における JNS の使用例を見てみよう。

- (3) それらは安定な原子だが、それに対して時に放射線を出す物質がある。(LBe4_00020)
- (4) 政治的には、オーストリアは国家条約を調印してから、安定の時代に入ったように思われる。(LBj2_00068)
- (5) でも、彼との計画が確実だと信じていた私は、その安定した生活を迷いもなく捨てた。(LBo2_00045)
- (6) 世界貿易の安定的発展のために早い機会に規律の確立が行われることが望ましい。(OW1X_00074)
- (7) これからの対策としては、引き続きという部分もあるわけですが、特に、やはり低コストで安定的な供給体制の整備を図るという意味で、各種の共同利用施設等の整備を図る。(OM61_00009)

これらの例について、異なる連体標識を用いた各パターンの中で、使用頻度や意味がどう変わるかは必ずしも明確ではない。こうした判断もまた、学習者にはきわめて困難である。

以上で見てきたように、非和語系語彙と他の名詞を連体標識でつなぐ名詞句の形成に関しては、筆者の知る限り、日本語学においても明確な指針が出されておらず、その結果として、日本語教育でもほとんど指導されていない。そこで、本章ではまず、第 5 章で得られた重要非和語系語彙の中から、高頻度の漢語・外来語をサンプルとして、5 つの連体修飾標識の許容性を解明する。次いで、すべての(または大部分の)標識と接続できる漢語・外来語に焦点を絞り、異なる連体修飾標識と接続することでどのような意味機能の違いが生じるかを調査する。

すでに 3.2 節において、異なる連体修飾標識の選択が意味機能に及ぼす影響に関わる先行研究を概観してきた。以下の表 2 はそれらをまとめたものである。

表 2 異なる連体修飾標識の意味機能に関わる先行研究

標識	先行研究	意味特徴
「ナ」	羅(2009)	①「柔らかい」語感あるいは「情意的」イメージを表す ②その事実に対する強調や好悪の話者の心情を表す
	田野村(2002) 荻野(2006)	程度の大小を問題とすることのできる属性を表す
	李(2013)	「活動(出来事)概念」を表す
	豊田(1989)	「直接あるものの状態・性質などを形容している」という意味を有する
	王(2008)	①より日常語的である ②語基は「感覚」「性格」「状態」「数量」などの意味分野に属する
「ノ」	羅(2009)	①「固い」語感あるいは「客観的」イメージを表す ②事実をニュートラルで述べる
	田野村(2002) 荻野(2006)	そうであるかないかとしか言えない択一的な属性を表す
	李(2013)	「関係概念」を表す
「的φ」	呉人他(2008)	「的」の派生語と被修飾語の結び付きが強い
	原田(2016)	①臨時一語化すると思われた場合や文脈上の漢語連続とのバランスを保つ ②意味的にはやや制限がかかる
	王(2008)	語基が漢字 1 字である
「的ナ」	豊田(1989)	「…の性質・状態のような, …まがいの, …もどきの, …に類する」というような意味を表す
	王(2008)	①文章語的な公的なイメージを高める働きがある ②語基は「変化」「関係」「支配」「感覚」の意味分野に属する
	呉人他(2008)	①被修飾語が形式体言である ②被修飾語が一字の漢語である ③「的」の派生語の後にさらに限定語がある
	原田(2016)	構文的な理由や臨時一語として認めにくいと感ぜられる
	王(2008)	形式名詞と共起する

従来の研究は様々な知見を示したが、以下の 3 つの課題が残されている。1 点目は、5 種の連体修飾標識のうち、「シタ」の分析事例が存在しないということである。上述のように、「ナ」・「ノ」・「的φ」・「的ナ」の特性については詳しく調査がなされてきたが、「シタ」というサ変動詞の連体用法に対する調査はほとんどない。動詞に由来する「シタ」は、そのほかの標識とは統語的性質が異なる

るが、名詞を修飾するという点においては他の連体修飾標識と同等の機能を持つと考えられるため、本章では「シタ」を調査対象に含める。

2 点目は、少数の形態を取り上げて比較した研究は多いが、5 つの形態を同時に比較した研究はほとんどないことである。特に、非和語系語彙に対して 5 つの標識の許容性がどのようにになっているのか、また、個々の語によってどのような違いがあるかについて調査した研究はほとんどない。本章では、この点をふまえ、5 つの形態を網羅的に比較する。

最後に、3 点目は、頻度に注目した計量的研究と、共起語の意味分類に注目した質的研究は存在するが、両者を組み合わせた研究は少ないことである。本章では、量的分析と質的分析を組み合わせ、先行研究に残された課題の解決を目指す。

6.2 リサーチデザインと手法

6.2.1 研究目的と RQ

すでに述べたように、本章では、非和語系語彙に後続する「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的 ϕ」・「的ナ」という 5 つの連体修飾標識の許容性がどのように異なるか、を解明する。また、これらの連体修飾標識の全部または大部分と接続可能な語彙に絞り、異なる連体修飾標識を用いることで、その意味機能にどのような影響が生じるかを解明する。なお、「意味機能」という概念はきわめて広範であるため、本研究では語彙使用の基礎的指標として、(1)使用される頻度、(2)使用されるジャンルの広さ、(3)特徴的に使用されるジャンル、(4)共起語、という 4 点に着目する。

以上をふまえ、本研究は以下の研究課題を設定した。

第 1 課題(漢語)

RQ1 重要漢語上位 100 語をサンプルとした場合、5 標識の許容度にどのような違いがあるか？

また、個々の語によってどのような差異があるか？(5 標識の選択許容性)

RQ2 5 種の連体修飾標識のすべてと共起する漢語について、結合形式によってどのような意味機能の差異があるか？(異なる標識の意味機能的相違)

第 2 課題(外来語)

RQ1 重要外来語上位 100 語をサンプルとした場合、5 標識の許容度にどのような違いがあるか？

また、個々の語によってどのような差異があるか？(5 標識の選択許容性)

RQ2 5 種の連体修飾標識のすべて(または大部分)と共起する外来語について、結合形式によっ

てどのような意味機能の差異があるか？（異なる標識の意味機能的相違）

6.2.2 データ

本章では、現代書き言葉均衡コーパス BCCWJ を利用する。

6.2.3 手法

第 1 課題・第 2 課題とも、RQ1 (5 標識の選択許容性) では、第 5 章で得られた非和語系語彙の重要語のうち、上位 100 語の漢語・外来語をサンプルとする。

分析は以下の手順で行う。まず、はじめに、5 種の標識の側に着目し、(1) 標識ごとに結合する漢語 (外来語) の数と、(2) 各標識の頻度占有比を調べる。次に、漢語 (外来語) の側に着目し、(3) 漢語 (外来語) 別の標識結合状況、(4) 結合可能な標識種別数ごとの漢語 (外来語) 一覧、(5) 標識に対する選好性に基づいた漢語 (外来語) のタイプ分けについて順に概観する。

なお、データ処理にあたって留意すべき点が以下の 2 つある。1 点目は、いわゆる臨時一語 (当該の文脈でのみ 1 回限りで許される臨時的な造語) の扱いである。本研究においては、個々の形式の出現の有無を判断する場合、頻度 1 のものは除外し、頻度 2 以上のものに限ることとする。

2 点目は、以下に示すように、前接要素を含む漢語 (外来語) の出現例の扱いである。

(8) 清朝がたおれ、新政権にかわったといっても、広大な中国で、交通や通信の方法がそれほど発達していなかった時代なので、とくに辺境は一時的に不安定な状態になったのはやむをえない。(LBn9_00218)

(9) 人員削減の主要な対象として、より低コストのパート労働者に代替されつつある。
(LBe3_00074)

(10) イラクにおける大量破壊兵器の能力は九十～九十五パーセントまで、検証可能な形で廃棄されました。(PB33_00294)

(11) フリータイムのママの妹だとわかったことで、彼女に対する印象が大きく変わったのだ。
(LBi9_00016)

例 (8) と例 (9) では、キーとなる漢語 (外来語) の直前に接頭詞があり、例 (10) と例 (11) では、直前に名詞がある。これらの事例の許容性は、こうした前接要素によって影響されている。そこで、本研究では、キーとなる漢語 (外来語) の直前に接頭詞と名詞が来る用例については、出現数から除

外することとする。

RQ2(異なる標識の意味機能的相違)について、(1)頻度比較について、選定された漢語(外来語)に対して、それぞれの連体修飾パターンは BCCWJ における出現頻度を数えて比較を行う。(2)レンジ比較について、5つの連体修飾パターンはBCCWJの韻文を除いた12ジャンルのうち、どのぐらいのジャンルに出現しているかを調査して比較を行う。(3)特徴づけるジャンルの比較について、5つの連体修飾パターンは各ジャンルにおける出現頻度を数える。また、連体修飾パターンを第1アイテム(漢語の場合は5種、外来語の場合は3種)、各ジャンルを第2アイテム(韻文を除いた12ジャンル)とする頻度表を作成してコレスポンデンス分析を行う。(4)共起語の比較について、各連体修飾パターンを第1アイテム(漢語の場合は5種、外来語の場合は3種)、上位後続名詞を第2アイテム(上記のグループに対してそれぞれの後続語上位10語を抽出して重複を削除。また、10番目の語と頻度が一致している語が存在する場合、頻度が同じであるすべての語を対象とする)とする頻度表を作成してコレスポンデンス分析を行う。

6.3 結果と考察

6.3.1 第1課題(漢語)

6.3.1.1 RQ1 5標識の選択許容性

5標識の許容度を議論する際には、(1)出現の有無(前述のように、本研究では、臨時一語の可能性をふまえ、2回以上の出現のみを「出現」例とみなす)に基づく観察と、(2)頻度に基づく観察の2種が必要である。

まず、前者に関して、5種の連体修飾標識ごとに、漢語100種のうち、結合しうる漢語の種類数を計測した。

図1 連体修飾標識ごとに接続できる漢語の種類数

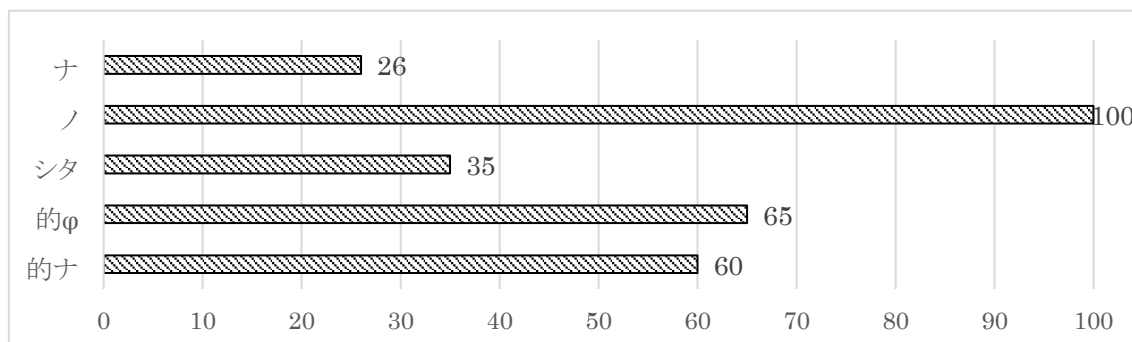


図 1 を見ると、5 つの標識のうち、「ノ」の許容性が一番高く、続いて、「的 ϕ」>「的ナ」>「シタ」>「ナ」という順序関係となるということである。特に「ノ」は 100 語の漢語のうち、すべての漢語とも接続でき、許容性のもっとも高い連体標識と言えるであろう。また、個々の連体標識と結合しうる漢語の種類数には大きな差が存在することも確認された。

続いて、同じく重要漢語上位 100 語に対して、5 標識の出現頻度を計算し、総頻度を 100 とし、各標識の占有比を求めたところ、以下の結果を得た。

表 3 漢語と結合する場合の 5 種の連体修飾標識の占有比

標識	ナ	ノ	シタ	的 ϕ	的ナ
占有比(平均)	6.74%	72.74%	8.61%	4.85%	7.05%

上表に明らかなように、5 種の標識の占有比については、「ノ」>「シタ」>「的ナ」>「ナ」>「的 ϕ」という順序になることが確認された。ここでは、以下の 5 つの点に絞って考察する。

まず、1 点目は、5 種の標識の使用度に大きな差が存在するということである。日本語教育において、「5 種の標識が存在する」ことを学習者に伝えた場合、多くの学習者は、それらが等しく使用できると思いがちである。しかし、大規模なコーパス調査の結果、漢語に後続する個々の連体標識の許容度には大きな差が存在することが確認された。

2 点目は、5 種の中で「ノ」が全体の 7 割を占め、圧倒的に多いということである。漢語と他の名詞の結合においては、「ノ」が典型的な標準形であることが示された。また、形態的に類似している「ナ」と「ノ」の間にも大きな差があることがあわせて確認された。

3 点目は、多くの先行研究で調査対象外とされていた「シタ」が、「ノ」に次いで多く使用されるということである。文法的な性質という点では他と違いが存在するが、漢語と名詞の結合という表現形式を学習する際には、「シタ」も適切に指導する必要性が示唆された。前述のように、「シタ」が接続できる漢語の数は 100 語のうち 35 語しか存在しておらず、「的ナ」の 58.33%しか占めていないが、平均使用率で並べると 2 位となり、「的ナ」より 1.56%も多いことが明らかになった。この点について言えば、「シタ」と接続できる語の数は必ずしも多くないが、その使用頻度が高い。

4 点目は、同じく「的」を含む「的 ϕ」と「的ナ」では、「的ナ」のほうが多く使用されるということである。CLJ の視点で言えば、「的」の 1 語があればそれだけで非和語系語彙と結合できると感じられるが、実際の日本語では、「的」だけでなく、さらに「ナ」を加えることがより自然であることが示された。なお、ここで注目すべきは、接続できる漢語数が 2 位となる「的 ϕ」は、5 つの連体標識の平均使

用率をもっとも低くなることである。すなわち、「シタ」とは逆に、「的 ϕ」と接続できる漢語は多いが、その使用頻度が低い。この点について、原田(2016)では臨時一語化すると思われた場合や文脈上の漢語連続とのバランスを保つ場合「的 ϕ」を使用すると述べたが、今回の結果から見れば、ある程度証明されたとと言えるであろう。

最後に、5 点目は、「ノ」を除くと、「シタ」を含む残りの 4 形の頻度が拮抗していたということである。このことは、後続する意味機能の比較分析の必要性を示唆していると言える。

以上で、出現有無と頻度という 2 つの観点から、漢語上位 100 語全体の傾向を確認してきた。しかし、上位語とはいえ、個々の語ごとに差が存在する可能性もある。そこで、個別に調査したところ、以下の結果を得た。

表 4 漢語上位 100 語の 5 標識の占有比および 5 標識に対する許容度

	漢語	ナ		ノ		シタ		的 ϕ		的ナ		許容度
1	意味	0.19%	○	95.99%	○	0.96%	○	2.01%	○	0.86%	○	5
2	関係	0.17%	×	88.74%	○	10.43%	○	0.17%	○	0.50%	○	4
3	社会	0.03%	○	40.31%	○	0.00%	×	48.52%	○	11.14%	○	4
4	情報	0.14%	○	99.50%	○	0.00%	×	0.23%	○	0.14%	○	4
5	生活	0.00%	×	98.59%	○	1.07%	○	0.12%	○	0.21%	○	4
6	研究	0.00%	×	92.35%	○	6.70%	○	0.36%	○	0.58%	○	4
7	活動	0.00%	×	89.66%	○	3.89%	○	1.46%	○	5.00%	○	4
8	基本	0.04%	○	8.18%	○	0.00%	×	31.05%	○	60.72%	○	4
9	可能	98.07%	○	1.17%	○	0.00%	×	0.35%	○	0.41%	○	4
10	状況	0.35%	○	98.75%	○	0.00%	×	0.77%	○	0.14%	○	4
11	世界	0.03%	○	83.97%	○	0.00%	×	5.78%	○	10.22%	○	4
12	計画	0.00%	×	56.02%	○	5.47%	○	11.33%	○	27.17%	○	4
13	管理	0.00%	×	85.84%	○	3.20%	○	6.16%	○	4.79%	○	4
14	自然	26.08%	○	68.19%	○	0.00%	×	4.29%	○	1.44%	○	4
15	教育	0.00%	×	82.62%	○	0.32%	○	13.28%	○	3.78%	○	4
16	人間	0.08%	○	94.54%	○	0.00%	×	2.46%	○	2.92%	○	4
17	説明	0.00%	×	46.89%	○	50.80%	○	1.30%	○	1.01%	○	4
18	健康	46.93%	○	42.38%	○	0.00%	×	0.64%	○	10.05%	○	4
19	中心	0.30%	○	36.30%	○	0.00%	×	30.17%	○	33.23%	○	4
20	機能	0.00%	×	73.03%	○	1.28%	○	12.01%	○	13.68%	○	4
21	指導	0.00%	×	67.81%	○	8.21%	○	15.76%	○	8.21%	○	4

22	存在	0.40%	○	65.78%	○	32.62%	○	1.20%	○	0.00%	×	4
23	消費	0.00%	×	86.62%	○	11.03%	○	1.41%	○	0.94%	○	4
24	決定	0.00%	×	13.51%	○	22.91%	○	7.99%	○	55.59%	○	4
25	発生	0.00%	×	15.91%	○	83.18%	○	0.75%	○	0.15%	○	4
26	生産	0.00%	×	78.60%	○	8.32%	○	6.09%	○	6.98%	○	4
27	代表	0.00%	×	12.00%	○	1.52%	○	15.41%	○	71.07%	○	4
28	結果	0.21%	×	93.82%	○	0.21%	×	5.33%	○	0.43%	○	3
29	目的	0.34%	○	98.88%	○	0.09%	×	0.60%	○	0.09%	×	3
30	確認	0.12%	×	39.81%	○	59.72%	○	0.12%	×	0.24%	○	3
31	必要	98.95%	○	0.79%	○	0.00%	×	0.26%	○	0.01%	×	3
32	内容	0.07%	×	98.10%	○	0.00%	×	0.42%	○	1.41%	○	3
33	一般	0.02%	×	54.17%	○	0.00%	×	8.57%	○	37.24%	○	3
34	方法	0.18%	×	94.93%	○	0.00%	×	4.35%	○	0.54%	○	3
35	部分	0.07%	×	83.65%	○	0.00%	×	6.43%	○	9.84%	○	3
36	参加	0.00%	×	24.93%	○	74.49%	○	0.48%	○	0.10%	×	3
37	時代	0.03%	×	97.59%	○	0.00%	×	1.61%	○	0.77%	○	3
38	開発	0.00%	×	52.87%	○	45.87%	○	1.15%	○	0.10%	×	3
39	対象	0.00%	×	94.03%	○	0.26%	×	3.64%	○	2.08%	○	3
40	文化	0.05%	×	58.22%	○	0.00%	×	27.65%	○	14.08%	○	3
41	制度	0.06%	×	81.53%	○	0.00%	×	12.49%	○	5.91%	○	3
42	女性	0.02%	×	98.53%	○	0.00%	×	0.32%	○	1.14%	○	3
43	効果	0.07%	×	19.99%	○	0.00%	×	6.02%	○	73.93%	○	3
44	以上	0.06%	○	99.83%	○	0.12%	○	0.00%	×	0.00%	×	3
45	地域	0.00%	×	93.82%	○	0.00%	×	3.62%	○	2.55%	○	3
46	学校	0.00%	×	99.70%	○	0.00%	×	0.20%	○	0.10%	○	3
47	環境	0.00%	×	96.63%	○	0.00%	×	2.06%	○	1.31%	○	3
48	企業	0.00%	×	98.57%	○	0.00%	×	1.18%	○	0.26%	○	3
49	経済	0.00%	×	35.70%	○	0.00%	×	46.69%	○	17.61%	○	3
50	調査	0.00%	×	73.38%	○	26.46%	○	0.00%	×	0.16%	○	3
51	現在	0.00%	×	99.86%	○	0.00%	×	0.05%	○	0.09%	○	3
52	技術	0.00%	×	52.78%	○	0.00%	×	29.18%	○	18.04%	○	3
53	地方	0.00%	×	97.76%	○	0.00%	×	0.86%	○	1.38%	○	3
54	状態	0.59%	○	98.10%	○	0.00%	×	1.30%	○	0.00%	×	3
55	個人	0.00%	×	64.23%	○	0.00%	×	11.67%	○	24.09%	○	3
56	国際	0.00%	×	2.75%	○	0.00%	×	35.54%	○	61.71%	○	3

57	対応	0.16%	○	31.52%	○	68.32%	○	0.00%	×	0.00%	×	3
58	評価	0.00%	×	82.80%	○	16.63%	○	0.57%	○	0.00%	×	3
59	国民	0.00%	×	89.92%	○	0.00%	×	7.43%	○	2.65%	○	3
60	商品	0.00%	×	99.30%	○	0.00%	×	0.53%	○	0.18%	○	3
61	期間	0.00%	×	98.92%	○	0.00%	×	0.54%	○	0.54%	○	3
62	自動	0.00%	×	17.07%	○	0.00%	×	26.83%	○	56.10%	○	3
63	全体	0.00%	×	87.00%	○	0.00%	×	3.45%	○	9.55%	○	3
64	都市	0.00%	×	91.85%	○	0.00%	×	6.05%	○	2.09%	○	3
65	家族	0.00%	×	98.02%	○	0.00%	×	1.17%	○	0.81%	○	3
66	事務	0.00%	×	72.12%	○	0.00%	×	3.35%	○	24.54%	○	3
67	写真	0.00%	×	99.02%	○	0.00%	×	0.85%	○	0.13%	○	3
68	労働	0.00%	×	96.53%	○	3.01%	○	0.23%	×	0.23%	×	2
69	対策	0.00%	×	98.91%	○	0.73%	○	0.18%	×	0.18%	×	2
70	報告	0.00%	×	68.45%	○	31.02%	○	0.27%	×	0.27%	×	2
71	理解	0.19%	×	54.51%	○	45.11%	○	0.19%	×	0.00%	×	2
72	問題	0.99%	○	98.96%	○	0.00%	×	0.05%	×	0.00%	×	2
73	利用	0.00%	×	34.40%	○	65.55%	○	0.00%	×	0.05%	×	2
74	事業	0.00%	×	99.53%	○	0.00%	×	0.43%	○	0.05%	×	2
75	使用	0.00%	×	32.18%	○	67.74%	○	0.00%	×	0.08%	×	2
76	事件	0.00%	×	99.85%	○	0.00%	×	0.05%	×	0.10%	○	2
77	安全	67.36%	○	32.58%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.06%	×	2
78	特別	63.28%	○	36.69%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.03%	×	2
79	販売	0.00%	×	74.52%	○	25.21%	○	0.28%	×	0.00%	×	2
80	自分	0.00%	×	99.98%	○	0.00%	×	0.02%	○	0.00%	×	2
81	電話	0.00%	×	89.93%	○	10.07%	○	0.00%	×	0.00%	×	2
82	以外	0.32%	○	99.68%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	2
83	程度	0.06%	○	99.94%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	2
84	重要	99.96%	○	0.04%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	2
85	十分	97.87%	○	2.13%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	2
86	自由	68.74%	○	31.26%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	2
87	影響	0.00%	×	93.27%	○	6.73%	○	0.00%	×	0.00%	×	2
88	機関	0.00%	×	99.40%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.60%	○	2
89	意見	0.00%	×	99.69%	○	0.31%	○	0.00%	×	0.00%	×	2
90	普通	0.92%	○	99.08%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	2
91	実施	0.00%	×	38.11%	○	61.89%	○	0.00%	×	0.00%	×	2

92	会社	0.02%	×	99.94%	○	0.00%	×	0.02%	×	0.02%	×	1
93	保険	0.00%	×	99.75%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.25%	×	1
94	施設	0.06%	×	99.94%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
95	年度	0.00%	×	99.21%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.79%	×	1
96	大学	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
97	委員	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
98	理由	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
99	以下	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
100	一部	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1

上記に明らかなように、個々の語の単位で見ると、結合可能な標識の数は、1~5 までまちまちである。これらを整理したところ、以下の結果が得られた。

表 5 個々の漢語と接続できる標識の数

結合できる 標識の数	語数 (比率)	漢語
5	1 (1%)	意味
4	26 (26%)	関係, 社会, 情報, 生活, 研究, 活動, 基本, 可能, 状況, 世界, 計画, 管理, 自然, 教育, 人間, 説明, 健康, 中心, 機能, 指導, 存在, 消費, 決定, 発生, 生産, 代表
3	40 (40%)	結果, 目的, 確認, 必要, 内容, 一般, 方法, 部分, 参加, 時代, 開発, 対象, 文化, 制度, 女性, 効果, 以上, 地域, 学校, 環境, 企業, 経済, 調査, 現在, 技術, 地方, 状態, 個人, 国際, 対応, 評価, 国民, 商品, 期間, 自動, 全体, 都市, 家族, 事務, 写真
2	24 (24%)	労働, 対策, 報告, 理解, 問題, 利用, 事業, 使用, 事件, 安全, 特別, 販売, 自分, 電話, 以外, 程度, 重要, 十分, 自由, 影響, 機関, 意見, 普通, 実施
1	9 (9%)	会社, 保険, 施設, 年度, 大学, 委員, 理由, 以下, 一部

表 5 を見ると、5 標識とも結合できる漢語は「意味」の 1 語しかないことがわかった。ただし、「意味」と「ナ」と結合する用例は以下の 2 例のみである。

(12) 夫婦のように生活してる…って事では同じ意味な気がしますけど？ (OC12_03949)

(13) 成人といえば，法律的に責任能力を持った年齢の人，という意味な気がしますし…
(OC09_15368)

これらは，いずれも「意味である気がする」を口語的に言いかえたもので，例外的な事例と見るべきであろう。当初の予想では 5 標識すべてと結合する漢語が多いと考えていたが，実際には，そうした語はほとんど存在しないことが確認された。

次に，漢語上位 100 語に関して言えば，3 つの標識と結合できる漢語の数が 40% で一番多いことがわかった。これは，個々の語と結合する連体標識の数の平均が 2.86 (約 3) になることとも符合している。多くの漢語が 3 語程度の標識を許容するという事実は，それらの間での意味機能の差異の解明の必要性が示されていると言える。

また，今回の調査により，個々の漢語は，優先的に結びつく標識を持っていることが示された。以下は，それらを整理した結果である。

表 6 各連体修飾パターンの頻度に基づく 100 語漢語のタイプ分け

タイプ	基準	語数	漢語
「ナ」型	「ナ」率 60%以上	7 語	可能, 必要, 安全, 特別, 重要, 十分, 自由
「ノ」型	「ノ」率 60%以上	69 語	意味, 関係, 情報, 生活, 研究, 活動, 結果, 状況, 世界, 管理, 自然, 教育, 人間, 目的, 機能, 指導, 存在, 消費, 生産, 内容, 方法, 部分, 時代, 対象, 制度, 女性, 以上, 地域, 学校, 環境, 企業, 調査, 現在, 地方, 状態, 個人, 労働, 評価, 国民, 商品, 期間, 全体, 対策, 都市, 家族, 事務, 報告, 写真, 問題, 会社, 事業, 事件, 販売, 自分, 電話, 以外, 程度, 影響, 機関, 意見, 普通, 保険, 施設, 年度, 大学, 委員, 理由, 以下, 一部
「シタ」型	「シタ」率 60%以上	6 語	発生, 参加, 対応, 利用, 使用, 実施
「的 φ」型	「的」率 60%以上	0 語	
「的ナ」型	「的ナ」率 60%以上	4 語	基本, 代表, 効果, 国際
「ナ」・「ノ」型	どちらの標識の使用	1 語	健康
「ノ」・「シタ」型	率も 60%未満である	4 語	説明, 確認, 開発, 理解
「ノ」・「的 φ」型	が, ある 2 つ, あるい	4 語	社会, 文化, 経済, 技術

「ノ」・「的ナ」型	はある 3 つの標識の使用率を合わせて 80%を超える	3 語	計画, 一般, 自動
「ノ」・「シタ」・「的ナ」型		1 語	決定
「ノ」・「的 ϕ」・「的ナ」型		1 語	中心

表 6 を見るとわかることは 2 点ある。まず 1 点目は、1 つだけの連体修飾標識に偏るパターンのうち、「的 ϕ」型に属する漢語は 1 語もないということである。すでに述べたように、「的 ϕ」と接続できる漢語の数は多いが、それぞれの使用頻度が少なく、「臨時一語」として使用する場合が多いが、「的 ϕ」型に属する漢語は 1 語もないことは、この結論を支持したと言えるであろう。

2 点目は、1 つだけの連体修飾標識に偏る(「ナ」型, 「ノ」型, 「シタ」型, 「的ナ」型のどちらかに属するもの)漢語は 86 語となり、すなわち、ほとんどの場合、漢語はどちらか 1 つの連体標識を選好する傾向があるということである。

以上、第 1 課題の RQ1 では、重要漢語上位 100 語をサンプルとして、5 標識の許容度の相違、および、個々の漢語の相違について概観してきた。その結果、まず、5 標識の許容度の相違について、(1) 結合できる漢語の数は、「ノ」>「的 ϕ」>「的ナ」>「シタ」>「ナ」という順序関係となること、(2) 5 種の標識の占有比は「ノ」>「シタ」>「的ナ」>「ナ」>「的 ϕ」という順序になることが確認された。

また、個々の漢語の相違について、(1) 平均して結合できる漢語の種類は 3 種程度となり、5 種すべてと結合できるのは「意味」の 1 語のみであること、(2) 各連体修飾パターンの頻度に基づいて漢語を分類すると、どちらか 1 つの連体修飾標識だけに偏る漢語は 86 語となり、すなわち、ほとんどの場合、漢語はある 1 つの連体標識を選好する傾向があることが確認された。

以下 RQ2 では、「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的 ϕ」・「的ナ」の 5 つの連体修飾標識とすべて接続可能な漢語について、結合形式によってどのような意味機能的相違が生じるかを見ていく。

6.3.1.2 RQ2 異なる標識の意味機能的相違:「安定」を例にして

RQ1 より、5 種類の連体修飾標識のすべてと結合しうる漢語として「意味」が抽出されたが、用例分析を行ったところ、「意味ナ＋名詞」の出現形はきわめて例外的なものであることがわかった。この語を除き、漢語上位 100 語の中には、5 種の標識すべてと結合しうるものはない。

そこで、範囲を広げ、上位 200 語を対象に、取りうる連体修飾標識を悉皆的に調査したところ、順位 152 位の「安定」が、すべての標識を取りうることが確認された。そこで、RQ2 については、「安

定」をサンプル語として調査を進めることとする。

では、「安定」は 5 種の連体修飾パターンのうち、どの形態が典型的であるのか、また、異なる標識の選択によってどのようなニュアンス差が生じるのであろうか。本調査に入る前に、ここでは、各種国語辞典における「安定」の連体修飾関連の記述を見ておこう。

表 7 各種国語辞典における「安定」の記述

『岩波国語辞典』(8 版)	『大辞林』(4 版)	『新明解国語辞典』(8 版)
①『名・ス自』 激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にあること。 ②『名ナノ』〔物理・化学〕物体・物質に少々の変化を与えても、もとの状態にもどろう、またはもとの状態を保とうとする性質を示すこと。	『名・形動』 スル ①落ち着いていて変動の少ないこと(さま)。 ②〔物理〕ある系が外からの作用により微小な変化を与えられても、もとに戻そうとする力が働いて、ずれが一定の範囲に収まるような状態。 ③〔化学〕物質について、化学変化が起きにくい、あるいは反応速度が遅い性質。また、そのさま、不活性。	『一する』 ①ほとんど変動が認められず、いつも決まった状態にある(なる)こと。 ②物体・物質に少々の力を与えても、もとの状態に戻る(を保つ)ような性質を示すこと。

上記からわかるように、異なる辞書における「安定」の連体修飾パターンについての記述は部分的に相違している。たとえば、『岩波国語辞典』においては、物理化学分野の術語用法では「ナ」「ノ」の連体修飾標識を伴うとされるが、『大辞林』の物理化学分野の用法には語形制約への言及はなく、その他の標識も接合可能であるように読める。『新明解国語辞典』でも、連体修飾標識に関する情報はほとんど記述されていない。また、同じ辞書の異なるバージョンにおいても違う記述が見られた。『岩波国語辞典』の最近の版の記述の変遷を見ておこう。

表 8 『岩波国語辞典』における「安定」の記述の変遷

『岩波国語辞典』(7 版)	『岩波国語辞典』(8 版)
『名・ス自』 ①激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にあること。 ②〔物理・化学〕物体・物質に少々の変化を与えても、もとの状態にもどろう、またはもとの状態を保とうとする性質を示すこと。▽②の意では「一な」の形も使う。	①『名・ス自』 激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にあること。 ②『名ナノ』〔物理・化学〕物体・物質に少々の変化を与えても、もとの状態にもどろう、またはもとの状態を保とうとする性質を示すこと。

物理化学分野の用法について言うと、7 版では、名詞形に加え、スル自動詞形が使用可能で、さらに、「安定ナ」の形もありうることが示されていた。一方、8 版になると、「安定ナ」以外に「安定ノ」も使用できる一方、スル自動詞形は使用できないという記述になっている。

以上で見てきたように、漢語と他の名詞を連体修飾標識でつなぐ名詞句の形成における標識の許容性に関しては、筆者の知る限り、日本語学においても辞書学においてもかならずしも明確な指針が出されているとは言えない。そこで、以下、本節は「安定」の 5 種の連体修飾パターンの意味機能的相違を調査していく。

はじめに、「安定」と共起する 5 種の標識の頻度調査を行ったところ、以下の図 2 のような結果を得た。

図 2 「安定」の 5 つの連体修飾パターンの出現頻度

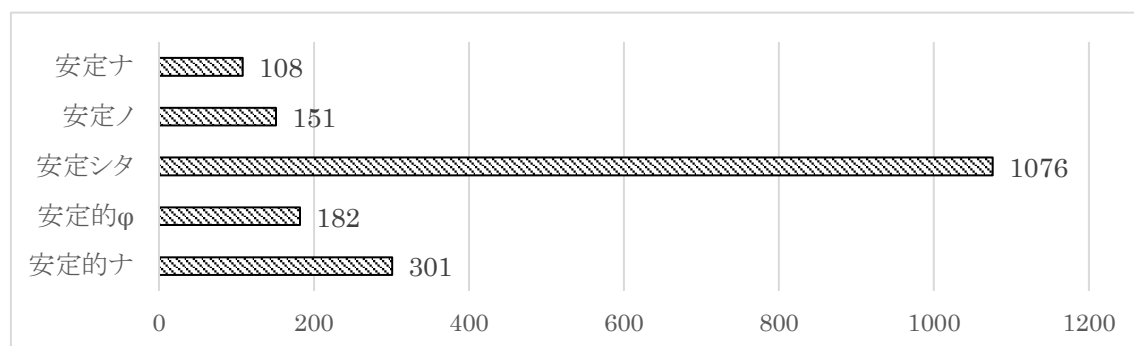


図 2 について、以下の 4 点に絞って考察していきたい。

1 点目は、「安定シタ」の頻度は全体の 59.19%を占め、「安定」は他の名詞と接合する場合、6 割程度「シタ」が選ばれるといえることである。すでに述べたように、重要漢語上位 100 語に対して 5 種の標識の占有比を調査した結果、「ノ」(72.74%) > 「シタ」(8.61%) > 「的ナ」(7.05%) > 「ナ」(6.74%) > 「的φ」(4.85%)という順序となり、「ノ」が 7 割で圧倒的に多いことが確認されたが、「安定」の場合、「安定ノ」は 5 つのパターンにおける占有比は 8.31%しか留まっておらず、全体の傾向と異なった。従来の研究では、連体修飾標識について「ナ」・「ノ」・「的φ」・「的ナ」について多く比較してきたが、「シタ」というサ変動詞の連体用法と他の連体修飾標識との比較はほとんど行われなかった。今回の結果から見れば、連体修飾標識を比較する場合、サ変動詞の連体用法も併せて考察する必要性が改めて確認されたといえるだろう。

2 点目は、「安定ナ」より「安定ノ」のほうが選好されるということである。すでに述べたように、田野村(2002)や荻野(2006)においては、程度の大小に関係する場合は「ナ」、択一の属性に関わる

場合は「ノ」という基準が指摘されたが、「安定」はそうであるか否かという択一の属性を備えると考えられるため、「ナ」より「ノ」のほうが選好されるという結果は、先行研究を支持したといえるだろう。

3点目は、同じく「的」を含む「的φ」と「的ナ」では、「的ナ」のほうが65.38%多く使用されるということである。この点について、すでに確認された全体傾向と合致しているといえる。なお、この2つの形の使用頻度を合わせると、全5形式の26.57%を占めているが、どちらでも辞書に紹介されておらず、「的」も修飾パターンの1つとして積極的に記載していく必要があるのではないかと考えられる。

最後に4点目は、「安定的φ」の頻度は「安定ナ」と「安定ノ」のどちらよりも高いことである。前節では「的φ」の占有比が5種の標識の中でもっとも低いと確認されたが、「安定」について言えば、全体の傾向とは異なり、より「的φ」が選好されるといえる。

以上のように、「安定シタ」がもっとも多く、「安定ナ」がもっとも少ないという結果が得られたわけであるが、これはBCCWJをかたまりとみなした頻度であり、BCCWJに包含される様々なテキストジャンルに満遍なく出現しているものかどうかはわからない。そこで、各標識が出現するジャンル数（韻文を除いて最大は12種）を調べたところ、以下の図3が得られた。

図3 「安定」の5つの連体修飾パターンの使用レンジ

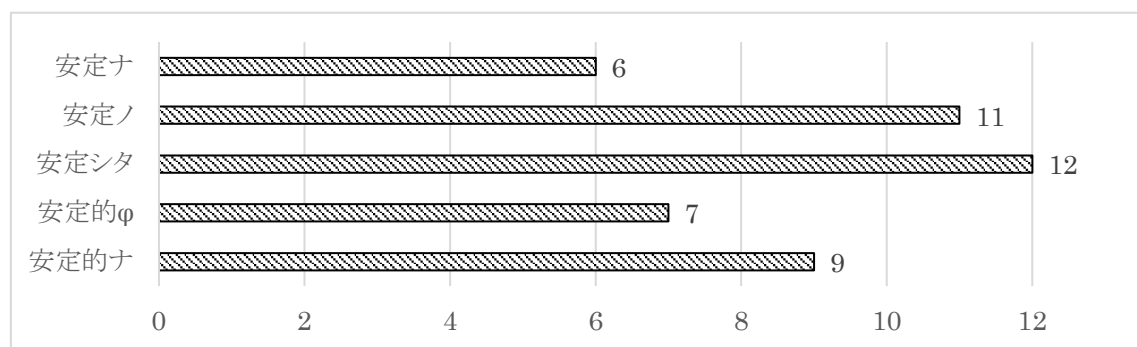


図3について、以下の3点に絞って見ていきたい。

1点目は、「安定シタ」は韻文以外のすべてのジャンルにおいて使用され、使用範囲がもっとも広いことが確認された。すでに確認してきたように、「安定シタ」の頻度も他のパターンと比べて圧倒的に多い。すなわち、「安定シタ」は5つの連体修飾パターンの中でもっとも典型的な形であるといえる。この点について、どの辞書においても「スル」形が記述されていることは、実際の言語使用実態と合致しているといえる。

2点目は、「安定ノ」のレンジ順位が2位となったことである。RQ1では「ノ」は接続できる漢語の

数においても、頻度においてももっとも多く、漢語と他の名詞の接合における典型的な標準形であると指摘された。「安定」について言えば、「安定ノ」の頻度は 5 種の標識の中 4 位となり、必ずしも多くないが、「シタ」以外の 3 標識との差が小さく、また、レンジについて見ると 2 位となり、幅広いジャンルに使用されるということは RQ1 の結論にある程度あてはまったといえるであろう。

3 点目は、「安定ナ」は頻度順位においてもレンジ順位においても 5 位となり、もっとも典型的ではない形となることである。これは、『岩波国語辞典』で記述したように、「安定ナ」が物理や化学の専門用語としてしか使用されないことに起因している可能性があると考えられる。

最後に、各標識の典型性について以下のような傾向が確認された。

では、それぞれの連体修飾パターンはどのようなジャンルに特徴づけられるのであろうか。以下、各連体修飾パターンを第 1 アイテム、各ジャンルを第 2 アイテムとする頻度表を作成してコレスポデンス分析を行った結果、図 4 のような散布図が得られた。次元 1 と次元 2 の寄与率はそれぞれ 70.18%と 21.15%となり、全体の 91.33%が説明できる。

図 4 「安定」の各連体修飾パターンに特徴づけるジャンル

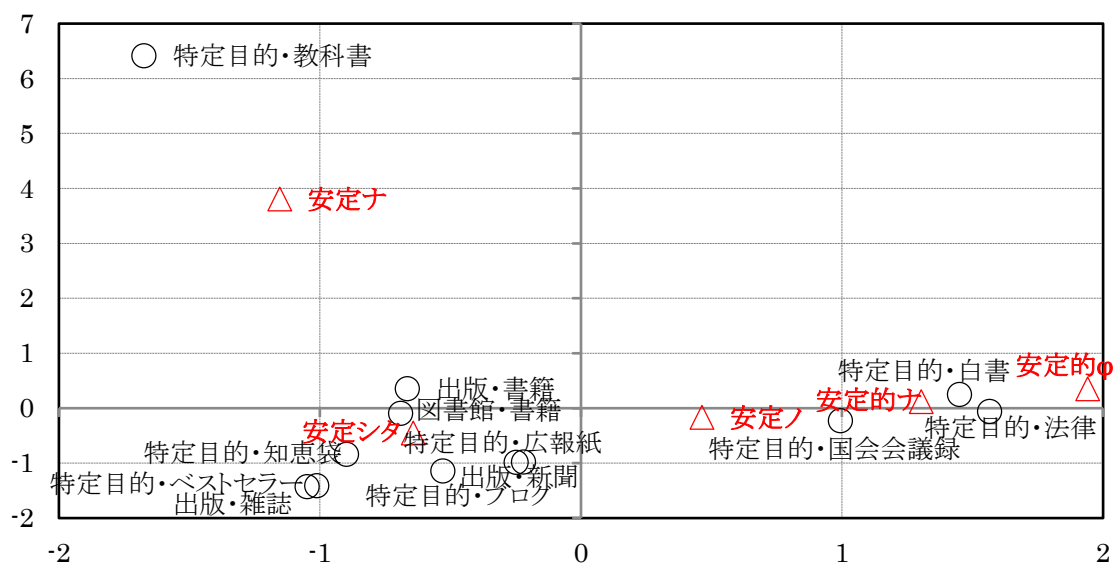


図 4 よりわかることとして以下の 3 点を指摘したい。

1 点目は、「安定ナ」は教科書ジャンルに特徴づけられることである。また、具体的な用例を観察した結果、すべての教科書ジャンルに特徴づけられるのではなく、特に物理や化学など理科の教科書に特徴づけられることがわかった。

2 点目は、「安定的(ナ)」は白書や法律ジャンルに特徴づけられることである。すでに述べたよう

に、王(2008)では『『的』は文章語的な公的なイメージを高める働きがある』とあるが、今回の結果はある程度王を支持したと言えるであろう。

3 点目は、「安定シタ」に特徴づけるジャンルが一番多く、書籍・雑誌・新聞・ブログなどのジャンルに特徴づけられることである。

以下、具体的な用例を見てみよう。

(14) 原子中の電子は、内側の電子殻にあるほど原子核に強く引きつけられて、エネルギーの低い【安定な】状態になる。(高等学校理科総合A)(OT23_00040)

(15) 崩壊したあとの原子核は不安定であることが多く、【安定な】原子核になるまで α 崩壊や β 崩壊を続け、次々に新しい原子核に変わっていく。(高等学校物理Ⅱ)(OT23_00002)

(16) 世界貿易の【安定的】発展のために早い機会に規律の確立が行われることが望ましい。(白書)(OW1X_00074)

(17) 効率的かつ【安定的な】農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に関する目標。
(法律)(OL1X_00060)

(18) 短期支払能力を示す当座比率、流動比率は、【安定的な】推移を示している。(白書)(OW1X_00017)

まず、「安定ナ」の用例について見てみよう。上記の用例(14)と(15)の用例はいずれも高等学校の理科(物理や化学)からの出典である。すでに述べたように、『岩波国語辞典』の記述において、物理・化学の専門用語として使用するとき「ナ」形も使用すると記述されているが、今回の結果はこれを証明したといえる。

次に、「安定的 ϕ 」と「安定的ナ」の用例を見ていく。例(16)～例(17)のように、この2つの形式が白書や法律ジャンルにおいて多用される。王(2008)では『『的』は文章語的な公的なイメージを高める働きがある』とあるが、「安定的 ϕ 」と「安定的ナ」という2形式が白書と法律のようなフォーマリティの高いジャンルに特徴づけられることは王を支持したといえるであろう。

最後に、各連体修飾パターンと共起する後続名詞についてどのような違いが存在するかを見ていく。各連体修飾パターンを第1アイテム、上位後続語67語を第2アイテムとする頻度表を作成してコレスポンデンス分析を行った結果、以下のような散布図が得られた。次元1と次元2の寄与率はそれぞれ34.40%と30.20%となり、全体の約64.60%が説明できる。

図 5 「安定」の各連体修飾パターンの特徴後続語による散布図

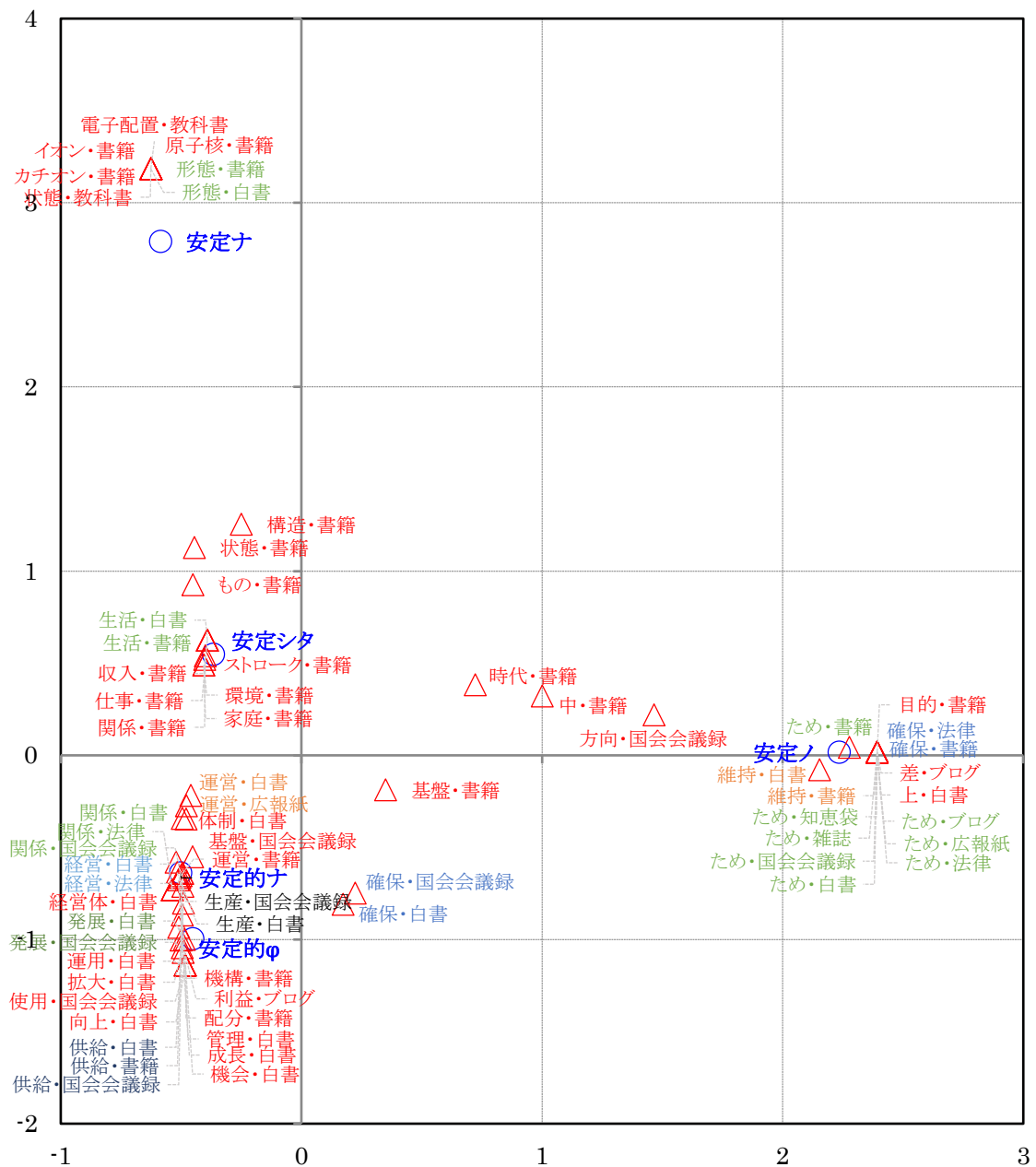


図 5 に基づき、各連体修飾パターンに特徴づける共起名詞は以下の表 9 のようにまとめられる。

表 9 「安定」の各連体修飾パターンの特徴共起名詞

パターン	象限	共起名詞
「安定ノ」	第 1 象限 第 4 象限	ため, 維持, 確保, 時代, 中, 方向, 上, 差, 目的, 基盤
「安定ナ」	第 2 象限	電子配置, 形態, イオン, カチオン, 原子核, 状態
「安定シタ」		状態, もの, 構造, 生活, 収入, 関係, 環境, 家庭, 仕事, ストローク
「安定的ナ」	第 3 象限	供給, 生産, 関係, 機会, 基盤, 成長, 運営, 経営, 経営体, 体制
「安定的φ」		発展, 拡大, 供給, 使用, 配分, 機構, 管理, 向上, 運用, 利益

次元 1 を見ると、右側に「安定ノ」が、また、左側に他のパターンが布置されていることがわかった。各グループに特徴づけられる後続語を見ると、「安定ノ」に特徴づけられる後続語は「ため」や「目的」などであり、意味的には「安定」という概念は何らかの物事の目標としてとらえられている。すなわち、右側の「安定」はほとんど名詞的用法で使われていると言える。また、左側に位置された「安定ナ」は「分子」・「イオン」などに、「安定シタ」は「状態」・「生活」などに、また、「安定的(ナ)」は「経営」・「運営」などに特徴づけられており、意味的には物事の状態の説明となる。すなわち、左側の「安定」は形容詞的用法で使われていると言える。

また、次元 2 を見ると、上側に「安定ナ」が位置され、下側に「安定的φ」と「安定的ナ」が位置され、原点付近に「安定シタ」が布置されていることがわかった。各グループに属する後続語の意味を観察すると、上側の「安定ナ」に特徴づける語は「分子」や「イオン」など「自然科学に関わる専門性の高い名詞概念」が多いのに対し、下側の「安定的(ナ)」に特徴づける語は「発展」や「運営」など「社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念」が多い。また、原点付近に布置されている「生活」や「仕事」などの語は「専門性の低い名詞概念(一般用語)」が多い。

以下、それぞれの標識の具体的用例を見る。

(19)ほか、被災地や商店街の特別警戒、生活関連物資をめぐる不法事案の予防、事件、事故防止広報等の諸活動を行い、被災後における住民生活の【安定ノ】確保に努めた。

(OW2X_00015)

(20)しかも、二十一世紀を目前にして、平和と【安定ノ】時代が始まったということは、ますます「経済である」ということだ。(LBj3_00124)

例(19)と(20)で示したように、「安定ノ」の後続部分について、「確保」や「時代」のような一般名

詞が多い。なお、「安定ノ」は他の連体修飾パターンと異なり、後続名詞の属性を表すのではなく、「安定」という概念は何らかの物事の目標としてとらえられている場合が多い。たとえば、例(20)の「【安定ノ】確保」について、『確保』は激しい変化がなく、落ち着いた状態にある」という意味ではなく、『安定』という状態を確実に保障する」という意味となる。

(21)崩壊したあとの原子核は不安定であることが多く、【安定ナ】原子核になるまで α 崩壊や β 崩壊を続け、次々に新しい原子核に変わっていく。(OT23_00002)

(22)周期表一番右の十八族(希ガス)の電子配置は、きわめて【安定ナ】閉殻構造をとり、通常、化学反応には関与しないので上記のブロックには加えないことにする。(LBo4_00005)

例(21)と(22)を見ると、後続語は自然科学に関する専門性の高い名詞概念(「原子核」・「閉殻構造」)である。このように、「安定ナ」はほとんどの場合、専門分野の術語として使用されている。

(23)人間には、生きていくための衣食住を満たしたい、危険を避けて将来も【安定シタ】生活がしたい、友情や愛情を交わして職場や社会生活に同化したい、能力を向上させて評価を受けて認められたい、自分のもっている能力を発揮したい、という欲求五段階がある。(PB44_00192)

(24)にもかかわらず、仕事を辞めようと考えたときは、【安定シタ】収入を失うことが心配だった。(PB29_00539)

上述のように、「安定シタ」は後続部分が専門性の低い一般名詞概念が多い。例(23)と例(24)を見るとわかるように、後続語は「生活」や「収入」のような専門性の低い一般用語である。

(25)世界貿易の【安定的】発展のために早い機会に規律の確立が行われることが望ましい。(OW1X_00074)

(26)この概要は、農水省の方も入手されておるといいますし、経済企画庁の方も、野菜の問題についてこれから【安定的】供給をするためにどうしたらいいかということを政策的にいろいろ検討されている以上、この行政監察局の調査結果についての検討も加えられていることと思います。(OM26_00002)

(27)また、公営住宅や身体障害者福祉ホーム等に居住する身体に障害のある人を対象に、専

任介護グループによる【安定的ナ】介護サービスを提供する身体障害者自立支援事業を平成 3 年度から実施している。(OW6X_00595)

(28)遊漁船業者は、遊漁船における利用者の安全の確保及び利益の保護並びに漁場の【安定的ナ】利用関係の確保に関する業務を行う者で農林水産省令で定める基準に適合するもの…(OL3X_00026)

このように、「安定的φ」と「安定的ナ」について言うと、「供給」(例 26)や「介護サービス」(例 27)のような社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念が多い。

以上 RQ2 においては、漢語「安定」を例として、異なる連体修飾標識と接続することでどのような意味機能の違いが生じるかを調査した。その結果、(1)頻度について、「安定シタ」>「安定的ナ」>「安定的φ」>「安定ノ」>「安定ナ」という順序関係となったこと、(2)レンジについて、「安定シタ」>「安定ノ」>「安定的ナ」>「安定的φ」>「安定ナ」となり、頻度順序とほぼ一致していること、(3)特徴ジャンルについて、「安定ナ」は物理や化学の教科書に特徴づけられ、「安定的(ナ)」は白書や法律ジャンルに特徴づけられ、「安定シタ」に特徴づけるジャンルが一番多く、書籍・雑誌・新聞・ブログなどのジャンルに特徴づけられていること、(4)共起名詞について、「安定ノ」は安定という概念は何かの物事の目的・目標としてとらえられ、名詞的用法で使われているのに対して、「安定ナ」「安定シタ」「安定的(ナ)」は意味的には物事の状態の説明となり、形容詞的用法で使われていると言えること、が確認された。

6.3.2 第 2 課題(外来語)

6.3.2.1 RQ1 5 標識の選択許容性

以上、第 1 課題では、(1)漢語上位 100 語に対して、「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的φ」・「的ナ」という 5 つの連体修飾標識の許容性はどのようになっているかを解明した。また、5 つの連体修飾標識と全部接続可能な語彙のうち、頻度のもっとも高い「安定」を例として、異なる連体修飾標識を用いることで、その意味機能にどのような影響が生じるかを解明した。以下、外来語の分析を行っていく。

まず、外来語の全体の傾向を見ていきたい。ここでは、漢語と同じように、(1)出現の有無と、(2)頻度に基づく観察の 2 種に注目して外来語の分析を行っていく。前者に関して、5 種の連体修飾標識ごとに、外来語 100 種のうち、結合しうる外来語の種類数を計測した。

図 6 各連体修飾標識と接続できる外来語の数

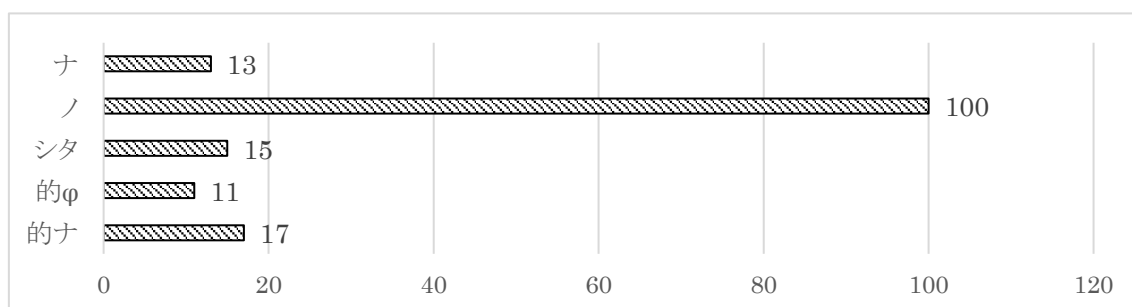


図 6 を見ると、5 つの標識のうち、「ノ」の許容性が一番高く、100 語の外来語のいずれとも接続できることがわかった。また、「ノ」以外の 4 つの連体標識について、共起できる外来語の語数は 10 語程度であり、大きな差が認められなかった。すなわち、外来語の場合、「ノ」が高く許容される点は漢語と同じ傾向にあるが、その他の 4 標識に対する許容度は漢語より遥かに少ない。

続いて、同じく重要外来語上位 100 語に対して、5 標識の出現頻度を計算し、総頻度を 100 とし、各標識の占有比を求めたところ、以下の結果を得た。

表 10 外来語と結合する場合の 5 種の連体修飾標識の占有比

外来語	ナ	ノ	シタ	的φ	的ナ
占有比(平均)	1.21%	95.29%	3.09%	0.15%	0.26%

表 10 から、5 標識の占有比については、「ノ」>「シタ」>「ナ」>「的ナ」>「的φ」という順序になることが確認された。以下、4 点に絞って考察を行う。

1 点目は、5 標識の使用度に大きな差が存在することである。この点について漢語と同じ傾向にあるが、外来語においては 5 標識の差がさらに大きいことが確認された。

2 点目は、5 種の中で「ノ」が全体の 95% を占め、圧倒的に多いことである。すでに述べたように、漢語と他の名詞の結合においては「ノ」が 7 割を占め、典型的な標準形であるが、外来語においてはその比率がさらに大きくなり、ほとんどの場合「ノ」が使用されると言える。

3 点目は、文法的な性質は他の形と異なる「シタ」の占有比は「ノ」に続いて 2 番目となることである。この点について言えば、漢語と同じく、非和語系語彙と名詞の結合という表現形式を学習する際には、「シタ」も適切に指導する必要性が示唆された。

4 点目は、「的φ」と「的ナ」の使用率はそれぞれ 0.15% と 0.26% となり、外来語は「的」とほとん

ど共起しないということである。漢語の場合、「ノ」を除くと、「シタ」を含む残りの 4 形の頻度が拮抗していたことが確認されたが、外来語の場合、「ナ」と「シタ」の 2 形の頻度が拮抗しているが、「的 φ」と「的ナ」の使用は非常に少なく。すなわち、外来語の場合、「的」系の標識に対する指導の必要性が相対的に低いと言える。

以上、出現の有無および頻度という 2 つの観点から、外来語の名詞接続の全体傾向について確認してきた。では、個々の語ごとにどのような差が存在するのであろうか。上位 100 語に対して個別に調査したところ、以下の表 11 が得られた。

表 11 重要外来語上位 100 語の 5 標識の選択許容性

	外来語	ナ		ノ		シタ		的 φ		的ナ		許容度
1	デザイン	0.13%	×	80.61%	○	16.98%	○	1.07%	○	1.20%	○	4
2	ゲーム	0.17%	×	98.45%	○	0.34%	○	0.34%	○	0.69%	○	4
3	ソフト	34.67%	○	63.21%	○	0.00%	×	0.42%	○	1.69%	○	4
4	イメージ	0.17%	×	66.44%	○	32.19%	○	0.17%	×	1.03%	○	3
5	システム	0.10%	×	98.82%	○	0.00%	×	0.59%	○	0.49%	○	3
6	プラス	1.52%	○	88.72%	○	9.45%	○	0.30%	×	0.00%	×	3
7	デジタル	24.14%	○	72.41%	○	0.00%	×	1.15%	×	2.30%	○	3
8	ボランティア	0.59%	○	98.22%	○	0.30%	×	0.00%	×	0.89%	○	3
9	サービス	0.00%	×	99.65%	○	0.00%	×	0.17%	○	0.17%	○	3
10	スポーツ	0.00%	×	97.36%	○	0.00%	×	0.66%	○	1.98%	○	3
11	モデル	0.00%	×	92.71%	○	0.00%	×	1.62%	○	5.67%	○	3
12	テーマ	0.91%	○	98.17%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.91%	○	3
13	プロ	0.48%	○	99.16%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.36%	○	3
14	オープン	37.02%	○	15.27%	○	47.71%	○	0.00%	×	0.00%	×	3
15	イベント	0.39%	×	98.43%	○	0.00%	×	0.39%	×	0.78%	○	2
16	テスト	0.34%	×	94.58%	○	4.75%	○	0.00%	×	0.34%	×	2
17	タイプ	0.06%	×	99.82%	○	0.12%	○	0.00%	×	0.00%	×	2
18	セット	0.60%	×	65.27%	○	34.13%	○	0.00%	×	0.00%	×	2
19	マーク	0.00%	×	78.31%	○	21.08%	○	0.60%	×	0.00%	×	2
20	コスト	0.00%	×	97.74%	○	0.00%	×	0.45%	×	1.81%	○	2
21	メディア	0.24%	×	99.02%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.73%	○	2
22	ファン	0.46%	○	99.38%	○	0.00%	×	0.15%	×	0.00%	×	2
23	センター	0.00%	×	98.68%	○	0.00%	×	1.32%	○	0.00%	×	2

24	メール	0.00%	×	97.42%	○	2.58%	○	0.00%	×	0.00%	×	2
25	チェック	0.00%	×	70.14%	○	29.86%	○	0.00%	×	0.00%	×	2
26	ライン	0.95%	○	99.05%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	2
27	メーカー	0.00%	×	99.72%	○	0.00%	×	0.28%	○	0.00%	×	2
28	プログラム	0.00%	×	99.62%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.38%	○	2
29	スタート	0.00%	×	36.51%	○	63.49%	○	0.00%	×	0.00%	×	2
30	スーパー	1.86%	○	98.14%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	2
31	ファイル	0.00%	×	99.46%	○	0.54%	○	0.00%	×	0.00%	×	2
32	フリー	9.05%	○	90.95%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	2
33	メニュー	0.00%	×	99.07%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.93%	○	2
34	コンピューター	0.00%	×	99.75%	○	0.00%	×	0.25%	○	0.00%	×	2
35	ビジネス	0.00%	×	99.17%	○	0.00%	×	0.83%	○	0.00%	×	2
36	スタイル	0.77%	○	99.23%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	2
37	マン	2.47%	○	97.53%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	2
38	プレー	0.00%	×	60.87%	○	39.13%	○	0.00%	×	0.00%	×	2
39	ファックス	0.00%	×	95.95%	○	4.05%	○	0.00%	×	0.00%	×	2
40	データ	0.10%	×	99.80%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.10%	×	1
41	レベル	0.18%	×	99.65%	○	0.00%	×	0.18%	×	0.00%	×	1
42	コース	0.00%	×	99.04%	○	0.00%	×	0.48%	×	0.48%	×	1
43	ガラス	0.14%	×	99.72%	○	0.00%	×	0.14%	×	0.00%	×	1
44	スペース	0.77%	×	98.46%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.77%	×	1
45	サッカー	0.00%	×	99.52%	○	0.24%	×	0.24%	×	0.00%	×	1
46	ブラン	0.00%	×	98.06%	○	0.97%	×	0.00%	×	0.97%	×	1
47	テレビ	0.00%	×	99.93%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.07%	×	1
48	チーム	0.00%	×	99.88%	○	0.00%	×	0.12%	×	0.00%	×	1
49	ホテル	0.06%	×	99.94%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
50	パソコン	0.00%	×	99.92%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.08%	×	1
51	クラブ	0.00%	×	99.76%	○	0.00%	×	0.24%	×	0.00%	×	1
52	エネルギー	0.00%	×	99.87%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.13%	×	1
53	カメラ	0.00%	×	99.81%	○	0.00%	×	0.19%	×	0.00%	×	1
54	パン	0.30%	×	99.70%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
55	タバコ	0.12%	×	99.88%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
56	ニュース	0.37%	×	99.63%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
57	ルール	0.44%	×	99.56%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
58	ネットワーク	0.00%	×	99.79%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.21%	×	1

59	トイレ	0.00%	×	99.79%	○	0.21%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
60	マンション	0.12%	×	99.88%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
61	ビール	0.34%	×	99.66%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
62	ラジオ	0.00%	×	99.69%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.31%	×	1
63	カー	0.00%	×	97.50%	○	0.00%	×	2.50%	×	0.00%	×	1
64	コーヒー	0.42%	×	99.58%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
65	カップ	0.93%	×	99.07%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
66	メッセージ	0.00%	×	99.46%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.54%	×	1
67	ストレス	0.43%	×	99.57%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
68	グリーン	0.00%	×	99.67%	○	0.33%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
69	ホーム	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
70	グループ	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
71	バス	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
72	カード	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
73	ケース	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
74	バランス	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
75	ボール	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
76	インターネット	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
77	クラス	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
78	ネット	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
79	ビル	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
80	タイム	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
81	トップ	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
82	ガス	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
83	ビデオ	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
84	メンバー	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
85	ドア	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
86	シート	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
87	サイト	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
88	ベース	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
89	カラー	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
90	キー	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
91	テーブル	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
92	ベッド	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
93	ボタン	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1

94	エンジン	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
95	コーナー	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
96	スタッフ	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
97	ゴルフ	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
98	ホール	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
99	スピード	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1
100	バック	0.00%	×	100.00%	○	0.00%	×	0.00%	×	0.00%	×	1

上記に明らかなように、個々の語の単位で見ると、結合可能な標識の数はまちまちである。これらを整理したところ、以下の結果が得られた。

表 12 個々の外来語と接続できる標識の数

接続できる 標識の数	語数 (比率)	漢語
5	0 (0%)	
4	4 (4%)	デザイン, ゲーム, ソフト
3	12 (12%)	イメージ, システム, プラス, デジタル, ボランティア, サービス, スポーツ, モデル, テーマ, プロ, オープン
2	30 (30%)	イベント, テスト, タイプ, セット, マーク, コスト, メディア, ファン, センター, メール, チェック, ライン, メーカー, プログラム, スタート, スーパー, ファイル, フリー, メニュー, コンピューター, ビジネス, スタイル, マン, プレー, ファックス
1	54 (54%)	データ, レベル, コース, ガラス, スペース, サッカー, プラン, テレビ, チーム, ホテル, パソコン, クラブ, エネルギー, カメラ, パン, タバコ, ニュース, ルール, ネットワーク, トイレ, マンション, ビール, ラジオ, カー, コーヒー, カップ, メッセージ, ストレス, グリーン, ホーム, グループ, バス, カード, ケース, バランス, ボール, インターネット, クラス, ネット, ビル, タイム, トップ, ガス, ビデオ, メンバー, ドア, シート, サイト, ベース, カラー, キー, テーブル, ベッド, ボタン, エンジン, コーナー, スタッフ, ゴルフ, ホール, スピード, バック

表 12 を見ると、上位 100 語のうち、5 標識とも結合できる外来語は存在しておらず、また、半分以上の外来語は 1 つの標識としか結合できないことが確認された。実際に、個々の外来語と結合できる連体標識の数の平均を計算したところ、1.56 という値が得られた。漢語と比べて、外来語は

各標識に対する許容度は 45.45% 少ないことがわかった。

また、今回の調査により、個々の外来語は、優先的に結びつく標識を持っていることが示された。以下は、それらを整理した結果である。

表 13 各連体標識パターンの頻度に基づく 100 語外来語のタイプ分け

タイプ	基準	語数	漢語
「ノ」型	「ノ」率 60% 以上	98 語	デザイン, ゲーム, イメージ, ソフト, システム…
「シタ」型	「シタ」率 60% 以上	1 語	スタート
「ナ」・「シタ」型	どちらの標識の使用率も 60% 未満であるが, ある 2 つの標識の使用率を合わせて 80% を超える	1 語	オープン

表 13 を見ると、外来語の場合、100 語のうち 98 語は「ノ」型であり、ほとんどの外来語は「ノ」を選好することが確認された。その他、「シタ」型 1 語と「ナ・シタ」型はそれぞれ 1 語存在することも確認された。すでに述べたように、漢語の場合も「ノ」型に属するものが多いが、「ナ」型や「シタ」型、そして「的ナ」型など他のタイプもバラエティー豊かに存在している。それに対して、外来語の場合、「ノ」型は 98% となり、他のタイプはほとんど存在しない。

以上、第 2 課題の RQ1 では、重要外来語上位 100 語をサンプルとした場合、5 標識の許容度の相違、および、個々の外来語の相違について概観してきた。その結果、まず、5 標識の許容度の相違について、(1) 結合できる外来語の数については、「ノ」が一番多く、それ以外の 4 標識と結合できる外来語の語数には大きな差がないこと、(2) 5 種の標識の占有比については、「ノ」>「シタ」>「ナ」>「的ナ」>「的 ϕ」という順序となることが確認された。また、個々の外来語の相違について、(1) 個々の語と結合する連体標識の数について、5 標識とも結合できる外来語が存在しておらず、また、半分以上の外来語は 1 つの標識としか結合できないこと、(2) 各連体修飾パターンの頻度に基づいて漢語を分類すると、100 語のうち 98 語は「ノ」型であり、外来語は「ノ」を選好する傾向があること、が確認された。

以下 RQ2 では、各連体修飾標識と結合することによってどのような意味機能的相違が生じるかを見ていく。

6.3.2.2 RQ2 異なる標識の意味機能的相違:「オープン」を例にして

すでに述べたように、外来語と「的 ϕ 」・「的ナ」という2つの連体標識との相性が悪く、この2つのいずれにおいても平均使用率は0.5%未満であった。そこで、以下のRQ2においては、「ナ」・「ノ」・「シタ」という3つの連体修飾標識に絞り、3つとも接続可能な外来語について、結合形式によってどのような意味機能的相違をもたらすかを見ていきたい。

すでにRQ1においては、「ナ」・「ノ」・「シタ」の3つとも接続できる外来語として「プラス」と「オープン」の2語があることが確認できた。ただし、「プラス」と「ナ」と結合する用例は5例しか存在しないため、ここでは、「オープン」に絞って調査を行ってきたい。

まず、「オープン」の3つの連体修飾パターンのそれぞれについてBCCWJにおける出現頻度を見ていく。

図7 「オープン」の3つの連体修飾パターンの出現頻度

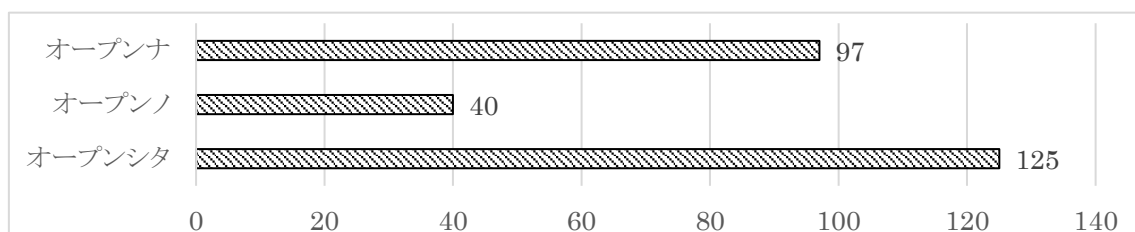


図7を見ると、「オープン」の3つの連体修飾パターンの頻度順は「オープンシタ」>「オープンナ」>「オープンノ」となることがわかった。外来語全体としては「ノ」>「シタ」>「ナ」となり、かつ「ノ」の占有率が95%で圧倒的に多いが、「オープン」の場合、「開放的な」という形容詞的な意味合いと「開店する」という動詞的な意味合いが両方あるため、全体と異なる傾向を示したのではないかと考えられる。では、この3つの連体修飾パターンが使用されるレンジの広さはどうなるのであろうか。

各標識がBCCWJの13ジャンルのうち、どのぐらいの数のジャンルに出現しているか(レンジ数)を調査した。その結果、以下の図8が得られた。

図8 「オープン」の3つの連体修飾パターンの使用レンジ

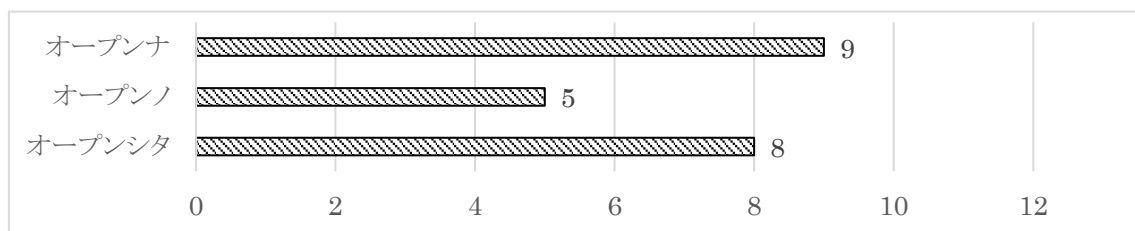


図 8 を見ると、ジャンルの広さの順で並べると、「オープンナ」>「オープンシタ」>「オープンノ」となった。「オープン」の連体修飾パターンについて言うと、頻度の点では「シタ」がもっとも典型的であるものの、使用範囲(レンジ)の点では、「シタ」と「ナ」がともに広いことがわかった。逆に言えば、3 種の連体修飾パターンのうち、「ノ」は、頻度においても、レンジにおいても、周縁的な表現であることが確認された。一般に、ある具体的なものや事物をスペシフィックに言及して、輪郭のはっきりした特定のものを指す名詞であれば、「ノ」と結びやすいが、それが人の雰囲気や感情、または性質など曖昧な抽象概念になってくると、輪郭が緩くなり、「ノ」と結び難くなる。外来語の大部分は何等かの特定のものを表すもので、「ノ」と結びやすいが、「オープン」の場合、特に「開放的」という形容詞的な意味もあるがゆえに、「ノ」との相性が相対的に悪くなったのではないかと考えられる。

では、それぞれの連体修飾パターンはどのようなジャンルに特徴づけられるのであろうか。以下、各連体修飾パターンを第 1 アイテム、各ジャンルを第 2 アイテムとする頻度表を作成してコレスポンデンス分析を行った結果、図 9 のような散布図が得られた。次元 1 と次元 2 の寄与率はそれぞれ 79.86%と 20.14%となった。

図 9 「オープン」の各連体修飾パターンに特徴づけるジャンル

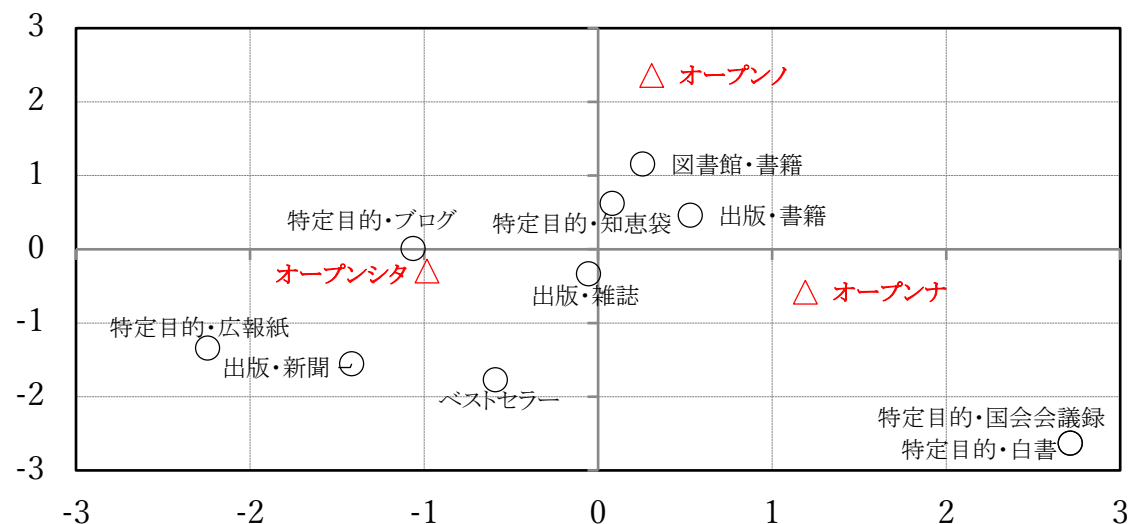


図 9 を見ると、「オープンナ」は国会会議録や白書ジャンルに、「オープンノ」は書籍ジャンルに、「オープンシタ」はブログや新聞、広報紙などのジャンルに特徴づけられることがわかった。「オープンシタ」は特にブログジャンルとの距離が近く、より砕けた文体に使いやすいと考えがちであるが、実際には新聞や広報紙など、編集が入った硬い文章においても多く使用される。また、「オープン

ナ」についても、国会会議録や白書ジャンルに特徴づけられ、よりフォーマリティの高い文章に使われやすいと考えられる。すなわち、これらのパターンにはフォーマリティによる違いがほとんど見られないことが確認された。

では、なぜ「オープンシタ」は新聞や広報紙に使用されるが、同じくフォーマリティの高い国会会議録や白書ジャンルにおいて使用されないのであろうか。以下、それぞれのパターンは特徴ジャンルにおける実例を見てみよう。

- (29) 自由民主党という政党は非常に【オープンな】政党でありまして、ですから、こうやって公開をさせていただいて批判を仰ぐということであります。(国会会議録・OM35_00006)
- (30) 私なんかはそれに対して最も先鋭的に、そんなことはない、日本は最も【オープンな】市場である、誤解が多いというようなことを主張してやり返してきたのであります。(国会会議録・OM51_00001)
- (31) また、公共建築生産におけるシステム化工法の積極的活用を目指し、公共建築市場を通じて、【オープンな】生産システムを開発することとしている。(白書・OW4X_00041)
- (32) …今後さらに【オープンな】ネットワークの広がりによって今後のビジネスチャンスの拡大が予想される。(白書・OW5X_00181)
- (33) 昔、【オープンの】年に風邪で一週間休みました。(出版書籍・PB36_00099)
- (34) 【オープンの】時も改装した時も、あなたとぼくは純粋にクライアントとデザイナーだった」。(図書館書籍・LBa9_00107)
- (35) 養老町内で最近【オープンした】店で飾られていた招福干支の置物でした。(ブログ・PB5n_00018)
- (36) かなりお金をかけて【オープンした】店でこだわりも感じるが、今のままでは数日後にはお客さんの足が遠のく感じがするのは僕だけではないと思う。(ブログ・OY03_04670)
- (37) 7月に【オープンした】天文台の魅力に迫ります。(広報紙・OP07_00001)
- (38) 10 月 1 日に【オープンした】市民活動センター「ランタナ」の次の施設の利用団体を募集します。(広報紙・OP94_00001)
- (39) 昨年 4 月、地元【オープンした】愛知大学車道校舎との協力体制だ。(新聞・PN5f_00007)
- (40) 10 月 30 日に【オープンした】ホームックスーパーデポ北野通店。(新聞・PN2e_00008)

上記を見ると、国会会議録と白書ジャンルにおける「オープンナ」の用例は、「オープンな政党」や「オープンな生産システム」のように、「開放的な」という意味に使われている。それに対して、新聞や広報紙における「オープンシタ」の用例は、「オープンシタ市民センター」や「オープンシタ店」のように「開店する、営業を始める」という意味で使われている。すなわち、2つのパターンの意味の違いによって使用ジャンルの違いが生じたのではないかと考えられる。以下、各連体修飾パターンの特徴共起語の違いを分析することで、この仮説が妥当であるかを見ていく。

各連体修飾パターンを第1アイテム、上位後続語38語を第2アイテムとする頻度表を作成してコレスポンデンス分析を行った結果、以下のような散布図が得られた。次元1と次元2の寄与率はそれぞれ67.49%と32.51%となった。

図10 「オープン」の各連体修飾パターンの特徴後続語による散布図

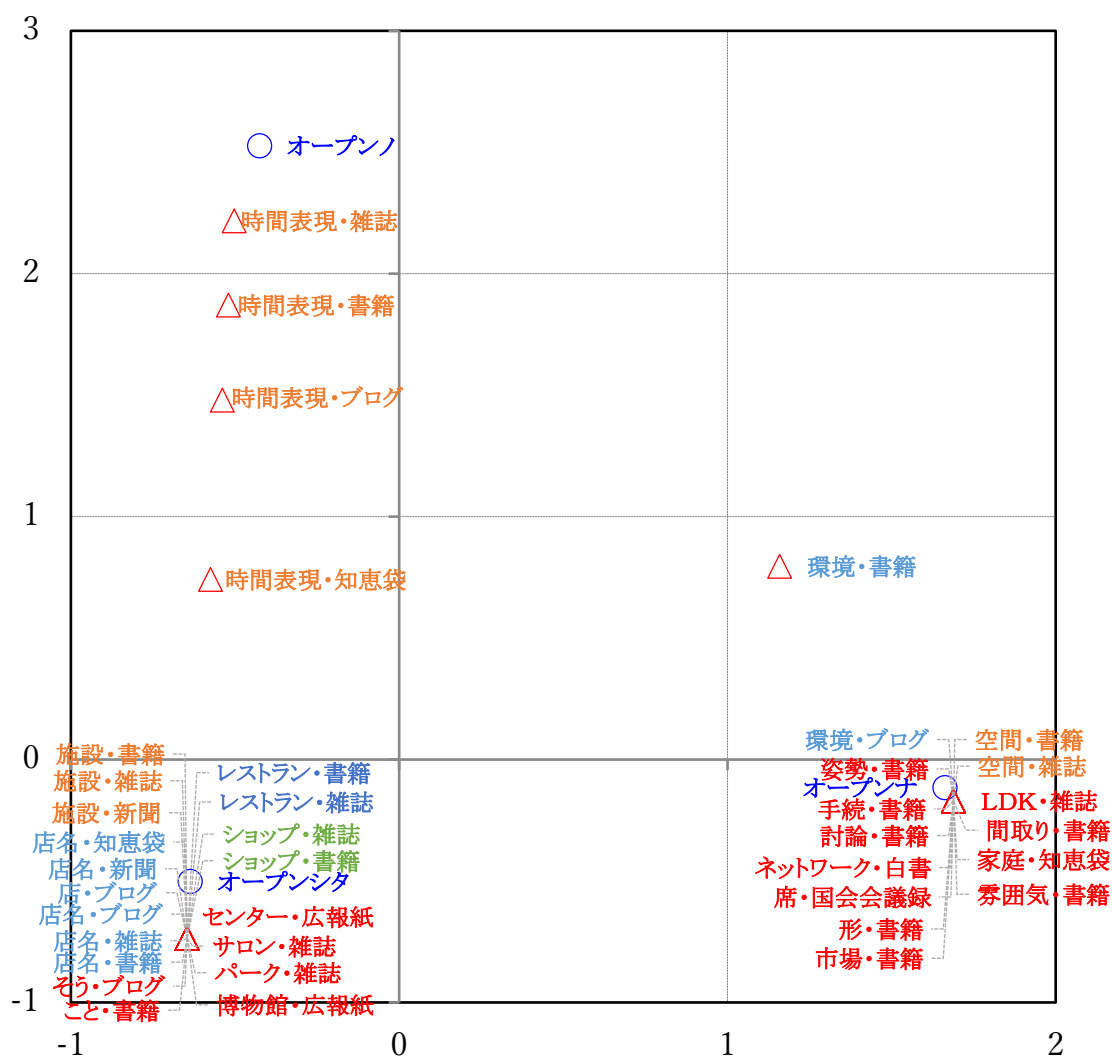


図 10 に基づき、「オープン」の各連体修飾パターンに特徴づける共起名詞は以下の表 14 のようにまとめられる。

表 14 「オープン」の各連体修飾パターンの特徴共起名詞

連体修飾パターン	共起名詞
「オープンナ」	環境, 手続, 形, 市場, 姿勢, 討論, 空間, 雰囲気, 間取り, 家庭, 席, ネットワーク, LDK
「オープンノ」	時間表現(日, 時, 時点, 前日, 時間, 年, ○年後)
「オープンシタ」	店名, 施設, 店, ショップ, 当時, こと, レストラン, 博物館, センター, そう, サロン, パーク

次元 1 を見ると、右側に「オープンナ」が、左側に「オープンノ」と「オープンシタ」が布置されていることがわかった。以下、順にそれぞれの連体修飾パターンを特徴づける共起語について観察していこう。

まず、左側に布置される「オープンノ」について見ていく。表 15 を見ると、「オープンノ」と共起しうる名詞は各種の時間表現であり、すなわち、「営業や催しを始める時間」を表す名詞に特徴づけられることがわかった。すでに述べたように、「オープン」は具体的な事物を指し示す名詞としての意味の充足性が低いため、一般的には「ノ」と共起しにくい語と考えられるが、「日」や「時点」というような明確に規定される時間表現を加えることで意味が規定され、「オープンノ」というコンビネーションが許容されているのではないかと考えられる。すなわち、特定の時間を明示することによって、「オープン」の持つ意味の曖昧さを弱め、かとして「ノ」接続を許容しているのではないかと考えられる。

次に、「オープンシタ」について、共起しうる名詞概念としては「店」や「施設」、「店名」(多用なバリエーションが存在する)など、「店名関係」に関わるものが多い。すなわち、「営業や催しを始める主体」を表す名詞に特徴づけられることが確認された。なお、ここで注目すべきは、「ショップ」や「パーク」、「レストラン」など外来語のものが多様に存在することである。本来は「開業シタ」や「開店シタ」というべきところを、外来語で表現することで若干柔らかさを表現しており、被修飾語はカタカナ語のほうが共起しやすいことを示している。なお、「店名関係」といった概念以外を指すものは「そう」と「こと」の 2 種類があった。しかしながら、数の上でこれらが一般的なものとは言えない。

最後に、「オープンナ」について見てみよう。「オープンナ」はこれまで見てきた 2 種類とは異なり、「開店する」という動詞的な意味ではなく、「隠しだてのないさま, 開放的」という形容詞的な意味合いで使われている。また、「オープンナ」は「LDK・家庭・間取り・雰囲気」などの日常語から、「環

境・手続・討論」などよりオフィシャルの語まで幅広く共起することが確認された。一般に、漢語や和語に比べて、外来語はより砕けた印象が与えられたが、実際にはそのように限られておらず、幅広い共起語を取りうることを確認された。

以下、それぞれの標識の典型的用法と具体的用例を示す。

(41)とても【オープンな】家庭でなんでも話しますし周りからは「仲がいいね」と良く言われます。

(OC10_03210)

(42)【オープンな】市場を持つことの意味は、国際競争にさらされることであり、競争の結果は、財、サービスだけでなく、労働市場にも及ぶ。(LBn3_00055)

例(41)と(42)のように、「オープンナ」は形容詞的用法に使用されやすく、また、意味的には、「オープンな家庭」や「オープンな市場」のように、「隠しだてのないさま、開放的」という意味を表している。

(43)東京ディズニーランド【オープンの】年の1月に入った私は、まずパート・アルバイトの立場としての準社員で入り、その研修を受けました。(PB36_00019)

(44)私は何日も前から【オープンの】日を心待ちにし、フライドポテトの無料引換券がボロボロになるほど、毎日持ち歩いていた。(PM33_00093)

(45)かなりお金をかけて【オープンした】店でこだわりも感じるが、今のままでは数日後にはお客さんの足が遠のく感じがするのは僕だけではないと思う。(OY03_04670)

(46)最近【オープンした】レストラン「ノブ」のユニフォームもデザインした。(PM21_00454)

例(43)～例(46)に示したように、「オープンノ」と「トオープンシタ」ともに動詞的用法で使用されやすく、意味的には「営業や催しを始める」を表している。ただし、「オープンノ」の後続語は、「年」や「日」のような時間を表す語彙が多く、「トオープンシタ」の後続語は、「店」や「レストラン」のような「店名関係」に関わるものが多い。

上記をまとめると、後続する連体修飾標識によって同じ「オープン」であってもどういう意味合いで使われているかはほぼ予測できる。すでに各パターンの特徴ジャンルに対して調査を行った時、「トオープンシタ」と「オープンナ」の意味の違いによって使用ジャンルの違いが生じたのではないかと予測されたが、共起語に対する調査はこの結果を支持したと言えるであろう。というのも、新聞や

広報紙などのジャンルにおいて営業し始める店の紹介などは一般に行われるが、白書や国会においては店の紹介はしないからである。

ここでは特に注目すべきは、一般に「ナ」と「ノ」はより類似的に使用されると思われがちであるが、コーパスを使って実際に確認したところ、形容詞的に使用されるときに「ナ」が選ばれ、動詞的に使用されるときに「ノ」が選ばれるといったはっきりした選好性の違いがあることは明らかになった。

6.4 まとめ

本章は非和語系語彙に後続する「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的φ」・「的ナ」という 5 つの連体修飾標識の許容性がどのように異なるか、また、漢語「安定」と外来語「オープン」に絞って、異なる連体修飾標識を用いることで、その意味機能にどのような影響が生じられるかを解明した。以下、本章で得られた知見をまとめる。

5 標識の相違:

(1)各標識に結合しうる語彙数について、

a.漢語の場合、「ノ」(100%)>「的φ」(65%)>「的ナ」(60%)>「シタ」(35%)>「ナ」(26%)という順序関係となり、外来語の場合、「ノ」(100%)>「的ナ」(17%)>「シタ」(15%)>「ナ」(13%)>「的φ」(11%)という順序関係となる。

b. (漢語と外来語の共通点)漢語と外来語のどちらの観点から見ても、「ノ」はすべての語彙と結合でき、高く許容される。

c. (漢語と外来語の相違点)漢語の場合、「ノ」以外の標識にも一定程度の語彙と結合して使用されるが、外来語の場合、「ノ」以外の 4 標識について共起できる外来語の語数は 10 語程度しかない。すなわち、外来語は「ノ」以外の 4 標識に対する許容度は漢語より遥かに少ない。…6.3.1.1 節と 6.3.2.1 節

(2)各標識の頻度占有比について、

a.漢語の場合、「ノ」(72.74%)>「シタ」(8.61%)>「的ナ」(7.05%)>「ナ」(6.74%)>「的φ」(4.85%)という順序関係となり、外来語の場合、「ノ」(95.29%)>「シタ」(3.09%)>「ナ」(1.21%)>「的ナ」(0.26%)>「的φ」(0.15%)という順序関係となる。

b. (漢語と外来語の共通点)漢語と外来語のどちらの観点から見ても、「ノ」標識が圧倒的に多く、「シタ」は「ノ」に続いて 2 位となる。

c. (漢語と外来語の相違点)漢語の場合、「ノ」を除くと、「シタ」を含む残りの 4 形の頻度が拮抗していたが、外来語の場合、「ナ」と「シタ」の 2 形の頻度が拮抗しているが、「的 ϕ」と「的ナ」の使用は非常に少ない。…6.3.1.1 節と 6.3.2.1 節

語彙の相違:

(1)結合可能な標識種別数について,

a. 漢語の場合, 5 標識, 4 標識, 3 標識, 2 標識, 1 標識と結合できる語彙の数は, それぞれ 1 語, 26 語, 40 語, 24 語, 9 語となり, 平均して結合できる標識の種類は 2.86(3 種程度)である。また, 外来語の場合, 5 標識, 4 標識, 3 標識, 2 標識, 1 標識と結合できる語彙の数は, それぞれ 0 語, 4 語, 12 語, 30 語, 54 語となり, 平均して結合できる標識の種類は 1.56 種(2 種程度)である。

b. (漢語と外来語の共通点) 5 標識とも接続できるものは少ない。

c. (漢語と外来語の相違点)漢語の場合, 最頻値は 3 標識となるが, 外来語の場合半分以上は 1 つの標識としか結合できない。…6.3.1.1 節と 6.3.2.1 節

(2)標識に対する選好性に基づいた語彙のタイプ分けについて,

a. (漢語と外来語の共通点)「ノ」型に属するものが多い。

b. (漢語と外来語の相違点)漢語の場合,「ノ」型以外のタイプもバラエティー豊かに存在しているが, 外来語の場合はほとんど「ノ」型であり, その以外のタイプに属するものが 2 語しか存在していない。…6.3.1.1 節と 6.3.2.1 節

ケーススタディー:

(1)漢語「安定」について,

a. 頻度の点で, 「安定シタ」>「安定的ナ」>「安定的 ϕ」>「安定ノ」>「安定ナ」という順序関係となる。

b. レンジの点で, 「安定シタ」>「安定ノ」>「安定的ナ」>「安定的 ϕ」>「安定ナ」という順序関係となる。

c. 特徴ジャンルの点で, 「安定ナ」は物理や化学の教科書に特徴づけられ, 「安定的(ナ)」は法律や白書ジャンルに特徴づけられる。

d. 共起語という点で, 「安定ナ」は自然科学に関する専門性の高い名詞概念と共起しやすく, 「安定的(ナ)」は社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念と共起しやすい。また, 「安定シタ」

は専門性の低い名詞(一般用語)と共起しやすい。…6.3.1.2 節

(2) 外来語「オープン」について、

- a. 頻度の点で、「オープンシタ」>「オープンナ」>「オープンノ」という順序関係となる
- b. レンジの点で、「オープンナ」>「オープンシタ」>「オープンノ」という順序関係となる。
- c. 特徴ジャンルの点で、「オープンナ」は国会会議録や白書ジャンルに特徴づけられ、「オープンノ」は書籍ジャンルに特徴づけられる。また、「オープンシタ」はブログや新聞、広報紙などのジャンルに特徴づけられる。
- d. 共起語という点で、「オープンノ」と「オープンシタ」は、「営業や催しを始める」という意味合いに使われ、「オープンノ」は「営業を始める時間」を表す名詞と共起しやすく、「オープンシタ」は「営業を始める主体」を表す名詞と共起しやすい。また、「オープンナ」は「隠しだてのないさま、開放的」という意味合いに使われている。…6.3.2.2 節

以上、本章では、非和語系語彙に後続する「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的 ϕ」・「的ナ」という 5 つの連体修飾標識の許容性がどのように異なるか、また、その意味機能にはどのような相違が存在するかについて調査を行った。ただし、本章はまだ以下のような課題も残されている。

1 点目は、すべての連体修飾パターンを対象としていないことである。本研究はよく議論された「ナ」・「ノ」・「的 ϕ」・「的ナ」に「シタ」を加えて範囲を広げたが、分析の限界として「N+N」や「している」など他の接続がまだ見られていない。2 点目は、異なる連体修飾標識を用いることで、その意味機能にどのような影響が生じるかについて、漢語と外来語のそれぞれは 1 語のサンプルしか調査していないということである。3 点目は、前接要素の調査において、各修飾パターンがどのような語彙的環境で生じやすいかを見てきたが、本当に前接の要素と統語的に結びついているかどうかについては分析していないことである。今後、これらの点については、継続研究において引き続き対応を図っていきたい。

なお、ここで特に注目を引くのは類似した形式を持つ「ナ」と「ノ」の 2 標識である。この点について、第 7 章では「ナ」と「ノ」という 2 つの形式に絞り、許容度調査と 2 標識の選択モデルの構築を行っていく。

第 7 章 統語論的特性:体言接続の問題(2)

7.1 はじめに

すでに述べたように, 第 6 章では 5 種の連体標識の許容度と, それらの頻度的・ジャンルの・意味的相違を概観した。本章第 7 章において, 類似した形式を持つ「ナ」と「ノ」に絞り, 許容度調査と 2 標識の選択モデルの考察を行うこととする。

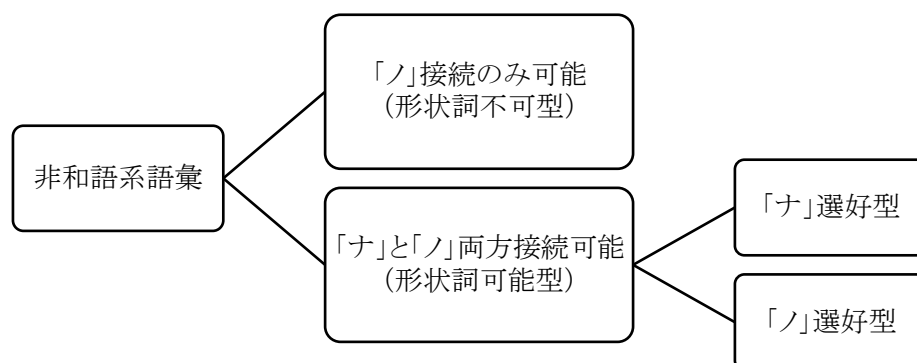
まず, 以下の例を見てみよう。

- (1)○選択の方法
- (2)? 選択な方法
- (3)○高速の処理
- (4)○高速な処理
- (5)○スープの味
- (6)? スープな味
- (7)○ストレートの髪型
- (8)○ストレートな対応

上記に明らかなように, 非和語系語彙の中には「ノ」と「ナ」の両形態を許容するもの(高速やストレートなど)もあれば, 「ノ」の形態のみを許容し, 「ナ」の形態を許容しないもの(選択やスープなど)が存在する。

「ノ」の形態を許容する場合, 当該語の品詞はほとんど名詞(漢語の場合副詞や接続詞などが存在する)と認定される。一方で, 「ナ」の形態を許容する場合, その品詞は一般に「形状詞」と認定される(ここでは伝統文法でいう形容詞と形容動詞を統合した概念を「形状詞」と呼ぶ)。このことをふまえると, 非和語系語彙の体言接続に関しては, 「形状詞不可型」のものと「形状詞可能型」のものが存在することになる。ただし, 「形状詞可能型」の中には, 「ノ」をより強く選好するものもあれば, 「ナ」をより強く選ぶものもあると考えられる。つまり, 以上の全体的関係性は下のモデル図 1 のように示される。

図 1 「形状詞不可型」と「形状詞可能型」のモデル図



ここで問題となるのは、そもそも多様な漢語・外来語のうち、「形状詞不可型」のものと「形状詞可能型」のものがどの程度存在しているのであろうか。また、「形状詞可能型」のものについて言えば、「ノ」選好型のものと「ナ」選好型のものがそれぞれどの比率で存在し、かつ具体的にどのような語がそれぞれのグループに存在するかを明らかにすることである。

これらの情報が教育的にも重要であることは以下に示す学習者の誤用例(I-JAS)からも確認される。

(9) ファッションブルの町 (CLJ)

(10) ハンサムの男 (CLJ)

(11) 普通な省 (CLJ)

(12) 有名の学校 (CLJ)

これらの用例はすべて不適切であり、「ノ」を「ナ」に、「ナ」を「ノ」に置き換えることが妥当であると考えられる。学習者はこうした問題を多く抱えているのは、非和語系語彙の中にそもそも「形状詞不可型」のものと「形状詞可能型」のものが存在し、かつ「形状詞可能型」の中にも「ノ」選好型のものと「ナ」選好型のものが存在することを十分に理解していないためであると考えられる。

この点については、こうした情報が従来の日本語教育にはまったく教えられていないことも関係している。「ナ」と「ノ」のそれぞれの説明があるが、体言接続のパターンについての情報がほとんど存在しない。すなわち、学習者は十分な量の日本語インプットを接触できない上に、直接の指導も受けず、すなわち手掛かりのない状況で「ノ」と「ナ」の選択が迫られているのが実情であると言えるであろう。

以上をふまえると、日本語学および日本語教育学的にまず明らかにすべきことは、「形状詞不可型」非和語系語彙と「形状詞可能型」非和語系語彙がそれぞれの程度存在するのか、また、「形状詞可能型」非和語系語彙のうち「ナ」と「ノ」の選好性はどうか、ということである。これらの問題を明らかにするために、本研究は以下のような 3 つのリサーチクエスションを立てて問題を考えていくこととする。

7.2 リサーチデザインと手法

7.2.1 研究目的と RQ

本研究は、体言接続の問題において、類似した形式を持つ「ナ」と「ノ」に絞り、許容度調査と 2 標識の選択モデルの構築を行うことを目的とする。この目的に従い、以下の 2 つの分析課題を設定した。

第 1 課題(漢語)

RQ1 「形状詞不可型」漢語と「形状詞可能型」漢語はそれぞれの程度存在するか？（「形状詞不可型」漢語と「形状詞可能型」漢語の比率）

RQ2 各種の漢語をまとめて見た場合、後続要素として「ナ」と「ノ」のいずれが多いか？また、叙述用法に限定した場合、その結果がどう変化するか？（「ナ」と「ノ」の比率）

RQ3 「形状詞可能型」漢語のうち、「ナ型」・「ナ寄り型」・「両用型」・「ノ寄り型」・「ノ型」に属するものにはどのようなものがあるか？（型分類）

RQ4 各型に属するものはそれぞれのどのような言語特性を持っているか？（言語特性による「ナ」と「ノ」の選択モデル）

RQ5 「形状詞可能型」漢語の前接要素および「ナ」・「ノ」の後続要素は「ナ」と「ノ」の選択とどのように関わっているか？（前後要素による「ナ」と「ノ」の判別モデル）

第 2 課題(外来語)

RQ1 「形状詞不可型」外来語と「形状詞可能型」外来語はそれぞれの程度存在するか？（「形状詞不可型」外来語と「形状詞可能型」外来語の比率）

RQ2 各種の外来語をまとめて見た場合、後続要素として「ナ」と「ノ」のいずれが多いか？また、叙述用法に限定した場合、その結果がどう変化するか？（「ナ」と「ノ」の比率）

RQ3 「形状詞可能型」外来語のうち、「ナ型」・「ナ寄り型」・「両用型」・「ノ寄り型」・「ノ型」に属す

るものにはどのようなものがあるか？(型分類)

RQ4 各型に属するものはそれぞれどのような言語特性を持っているか？(言語特性による「ナ」と「ノ」の選択モデル)

RQ5 「形状詞可能型」外来語の前接要素および「ナ」・「ノ」の後続要素は「ナ」と「ノ」の選択とどのようにかかわっているか？(前後要素による「ナ」と「ノ」の判別モデル)

なお、以下これらのリサーチクエスチョンを実例データのもとに検証していくわけであるが、あとで行う検証をより体系化するため、事前にそれぞれの課題に対する仮説を考えておきたい。

第1課題・第2課題 **H1** 語彙調査において日本語における名詞の割合(たとえば、国立国語研究所(1962)によりその割合が 67.3%にのぼる)が一番大きいことから、漢語においても外来語においても、「形状詞可能型」より「形状詞不可型」(すでに述べたように、少数の漢語副詞と接続詞以外に「形状詞不可型」に属する語彙の品詞はほとんど名詞である)の方が量的に多いのではないかと予想される。

H2 教科書などでは、形状詞の後続要素として「ナ」しか説明していないことをふまえると、全体の圧倒的大部分は「ナ」であり、「ノ」の用例はほとんどないと予想される。

H3 (1) 上記で述べたように、教科書では「ナ」の説明はほとんどであるため、広義「ナ型」のほうが「ノ型」より多いと予想される。(2) 「ナ」または「ノ」を排他的に選ぶ語は広義の両用型より多いのではないかと考えられる。(3) 両用型は比較的特殊なものであるから、数が少ないのではないかと予想される。

H4 (1) 頻度の高い語は「ナ」と共起しやすい傾向が予想される。

また、(2) 李(2013)では、多様な語義を有する語は、「ナ」と「ノ」のどちらともよく共起すると述べたため、語義数は「ナ」と「ノ」の選択と関わる言語特性の1つとして選ばれるのではないかと予想される。

次に、(3) 漢語も外来語も借用語であるため、原語の品詞性に引っ張られ、原語が形容詞性を持つ場合は「ナ」、原語が名詞性を持つ場合は「ノ」と共起しやすいのではないかと考えられる。また、外来語は漢語より新しく輸入した語種であるため、漢語より原語の品詞性の影響が大きいのではないかと考えられる。

最後に、(4) 李(2013)は「ノ」共起の形状詞は「関係概念」を表すものが多く、「ナ」共起の形状詞は「活動(出来事)概念」を表すものが多いと述べたので、「抽象的關係」に分類した語は「ノ」と、

また、「人間活動—精神および行為」に分類した語は「ノ」と共起しやすいのではないかと予想される。

H5 田野村(2002)は程度の大小に関係する場合は「ナ」、択一属性に関わる場合は「ノ」という基準を提唱しているため、程度形容詞や程度副詞、程度接頭詞に修飾される語は「ナ」を選好する傾向があるのではないかと予想される。

7.2.2 データ

本章では BCCWJ を利用する。なお、本章では、ジャンル区分は行わず、総体データに対して出現状況の調査を行う。

7.2.3 手法

7.2.3.1 調査対象語の抽出: 叙述的「ノ」と叙述的でない「ノ」

すでに述べたように、本研究は「形状詞可能型」非和語系語彙のうち、「ナ」と「ノ」の選好性について調査を行う。なお、「ナ」と「ノ」を計量的に比較する場合、両者の用法にズレがあることに留意する必要がある。たとえば、以下のような「ナ」と「ノ」の用例を見てみよう。

(13) ブルーな背広

(14) ブルーの背広

(15) ソフトの開発

上記の例で明らかなように、「ナ」の場合は、例(13)のように属性用法しか存在しない(ブルーは背広の属性を示している)。一方、「ノ」の場合は、例(14)のように属性を示すこともあれば、例(15)のように属性以外の意味を表すこともある。すなわち、単純に「ナ」と「ノ」の出現頻度を比較した場合、「ノ」の頻度は非属性用法によって不適切な形で拡大されている可能性がある。

この点を考慮するならば、「ノ」のすべてを分析対象とするのではなく、属性用法の「ノ」に絞って計量することが適切であると思われるが、「ノ」の用法はどのようにして区別するべきであろうか。この点について、本研究では加藤(2003)で提唱された 2 つの言語テストを使用する。具体的には以下の表 1 のようになる。

表 1 叙式的「ノ」であるかの判断基準

	叙式的「ノ」	叙式的でない「ノ」
テスト 1:「X の Y」が「X である Y」とパラフレーズできるか？	○ (例:ブルーの背広)	×
テスト 2:「X の Y」を「X とその Y」と書き換えて不適格になるか？	×	○ (例:ソフトとその開発)

本研究はこの 2 つの言語テストをすべての用例に適用し、叙述用法であることを確認の上、計量対象とする。

7.2.3.2 各 RQ の手法

第 1 課題(漢語)、第 2 課題(外来語)とも、5 つの共通する RQ を検討する。まず、前提として、調査対象となる語の抽出について述べる。

本研究のこれまでの章では、すでに第 5 章で述べたように、(使用頻度)×(各言語変種における頻度順位平均値の逆数)で得られた値に基づき、全体を降順で並べ替えるという手法で抽出した重要非和語系語彙(漢語 2865 語、外来語 1607 語)を議論の対象にしていたわけであるが、「ナ」と「ノ」の使い分けに関してはサンプル数が多くなりすぎるため、ここでは、対象語彙を絞ることとする。具体的には、まず、総頻度に占めるカバー率が 80%に達するまでのすべての語を抽出し、次いで、使用レンジ比率が BCCWJ の全 13 ジャンルのうち 10 ジャンル未満のものを削除した。その結果、漢語 2805 語、外来語 1078 語を抽出した。5 章の手法に比べ、全体で、600 語程度対象を圧縮している。

RQ1(「形状詞不可型」と「形状詞可能型」の比率)では、上記の方法で得られた語彙のうち、BCCWJ の品詞タグが「名詞_普通名詞_サ変形状詞可能」・「名詞_普通名詞_形状詞可能」・「形状詞_一般」であるものを「形状詞可能型」非和語系語彙として抽出し、全体に占める比率を計算する。

RQ2(「ナ」と「ノ」の比率)では、まず、RQ1 で抽出された漢語(外来語)に対して、BCCWJ において「漢語(外来語)+ダ(ナ)+名詞」(BCCWJ では「ナ」は語彙素「ダ」に含まれる書字形出現形として定義される)と、「漢語(外来語)+ノ+名詞」で検索し、得られた「ナ」共起の使用数と「ノ」共起の使用数の比率を計算する。

RQ3(型分類)では、「形状詞可能型」漢語(外来語)について、「ノ」と結合する用例の数と、「ナ」と結合する用例の数を数え、各語について「ナ」共起率＝「ナ」共起の出現頻度/「ナ」共起の出現

頻度+「ノ」共起の出現頻度)という式で「ナ」共起率を計算する。

また、本研究で扱う 5 種類の分類は、必ずしも頻度と明確に紐づけられたものではない。そこで本研究では 1 つの指針として、「ナ」共起率に着目し、それが、0%であれば「ノ」のみを許容する「ノ型」に、40%未満であれば「ノ」を選好する「ノ寄り型」に、40%以上であれば、両形態を許容する「両用型」に、60%以上であれば「ナ」を選好する「ナ寄り型」に、100%であれば、「ナ」のみを許容する「ナ型」に分類する。

RQ4(言語特性による「ナ」と「ノ」の選択モデル)では、「ナ」共起率(目的変数)に、どのような要因が影響を及ぼしているか重回帰分析(変数増減法)を用いて検討する。非和語系語彙の「ナ」共起率に関連するものとしてさまざまな要因が想起できるが、ここでは、頻度・語義数・原語品詞・意味分類という 4 つを挙げる。具体的な説明変数は以下の表 2 のようになる。

表 2 重回帰分析の説明変数

説明変数	内訳
頻度	個々の語を BCCWJ における頻度を調べる。 例:フル(2,410)
語義数	個々の語を『岩波国語辞典』・『三省堂国語辞典』・『広辞苑国語辞典』の 3 種の辞書で調べ、記載された語義数の平均値を取る。 例:フルの平均語義数 = (2+1+1)/3=1.33
原語品詞 (4 カテゴリー)	漢語については『現代汉语词典』における個々の漢語の原語の品詞を、また、外来語については『ロングマン現代英英辞典』における個々の外来語の原語の品詞を調べる。原語の品詞は名詞・動詞・形容詞・副詞に合致の有無をコード化する。 例:ブルー(「名詞」(1)・「動詞」(0)・「形容詞」(1)・「副詞」(0))
意味分類 (4 カテゴリー)	個々の語について語義分類を調査する。なお、語彙分類については、国立国語研究所が刊行した『分類語彙表』に準ずる。なお、該当する意味分類は「抽象的關係」(なお、分類語彙表の抽象的關係概念には力や時間などの概念も含まれており、いわゆる 2 者間の関係性を示すものだけに限らない)・「人間活動の主体」・「人間活動—精神および行為」・「生産物および用具」・「自然物および自然現象」という 5 種類であることから、4 カテゴリーごとに合致の有無をコード化する。 例:ブルー (「抽象的關係」(0)・「人間活動の主体」(0)・「人間活動—精神および行為」(0)・「生産物および用具」(0))

RQ5(前後要素による「ナ」と「ノ」の判別モデル)では、先行程度副詞および形容詞の有無、後続名詞の文字数、語種および意味分類を説明変数として、「ナ」群と「ノ」群のどちらに属するかを目的変数として判別分析を行った。具体的な説明変数は以下の表 3 になる。

表 3 判別分析の説明変数

説明変数	内訳
先行程度副詞の有無	当該漢語・外来語を修飾する副詞の有無を調べる。修飾する副詞がある場合は 1, ない場合は 0 というダミー変数に変換する。 例:非常にグレーなところ(1)
先行程度形容詞の有無	当該漢語・外来語を修飾する程度形容詞の有無を調べる。修飾する形容詞がある場合は 1, ない場合は 0 というダミー変数に変換する。 例:薄いグレーのハンカチ(1)
先行程度接頭詞の有無	当該漢語・外来語を修飾する程度接頭詞の有無を調べる。修飾する接頭詞がある場合は 1, ない場合は 0 というダミー変数に変換する。 例:超簡単なテクニック(1)
後続名詞の文字数	当該漢語・外来語の後続名詞の文字数を数える。 例:グレーのスーツ(3)
語種 (3 カテゴリー)	当該漢語・外来語の後続名詞の語種を調べる。語種は和語, 漢語, 外来語に合致の有無をコード化する。 例:グレーのスーツ (和(0), 漢(0), 外(1))
後続名詞の意味分類 (4 カテゴリー)	個々の後続名詞の語義分類を調査する。なお、語彙分類については、国立国語研究所が刊行した『分類語彙表』に準ずる。該当する意味分類は「抽象的關係」・「人間活動の主体」・「人間活動—精神および行為」・「生産物および用具」・「自然物および自然現象」という 5 種であることから、4 カテゴリーごとに合致の有無をコード化する。 例:グレーのスーツ (「抽象的關係」(0)・「人間活動の主体」(0)・「人間活動—精神および行為」(0)・「生産物および用具」(1))

なお、判別分析の実施にあたっては、いわゆる過学習(データに対して実際よりもあてはまりすぎるモデルを作ってしまうこと)を抑制する観点から、あらかじめデータの一部を取り出してモデリングを行い、その後、得られたモデルを、モデリングに使用していないデータに適用して妥当性を確認するホールドアウト法や、データを k 個に分割し、k-1 個でモデリングを行った結果を残った 1 個に

当てはめて、当てはまりを調べる作業を k 回繰り返してモデル精度の平均値を取る k 交差法などが行われる。本来、こういう交差検証を行うべきであるが、本研究では、手元のデータの説明を優先にするという観点から、こうした検証を行わず、データのすべてを対象として判別分析を行うこととしたい。

7.3 結果と考察

7.3.1 第 1 課題(漢語)

7.3.1.1 RQ1 「形状詞不可型」漢語と「形状詞可能型」漢語の比率

すでに述べたように、ここでは「形状詞不可型」漢語と「形状詞可能型」漢語の比率を確認する。重要漢語のうち、BCCWJ の品詞タグは「名詞_普通名詞_サ変形状詞可能」・「名詞_普通名詞_形状詞可能」・「形状詞_一般」であるものを「形状詞可能型」漢語として抽出を行った結果、以下の図 2 を得た。

図 2 「形状詞不可型」漢語と「形状詞可能型」漢語の比率

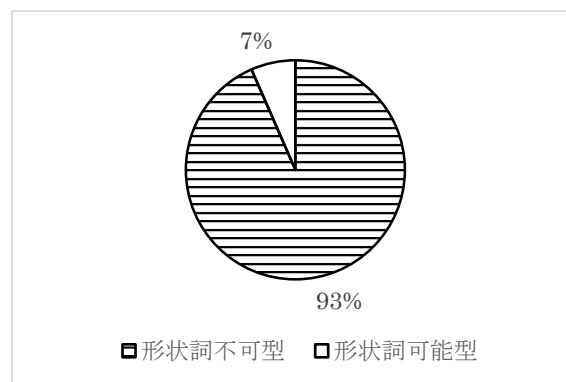


図 2 からわかるように、「形状詞可能型」漢語は全体の 7%しか占めていない。この点については、仮説と同じように、「形状詞可能型」より「形状詞不可型」の方が圧倒的に多いことが確認された。

7.3.1.2 RQ2 「ナ」と「ノ」の比率

RQ1 では、「形状詞可能型」漢語は全体の 7%しか占めていないことが確認された。では、これらの語彙において、「ナ」と「ノ」の使用比率はどのようになるのであろうか。ここでは、RQ1 で抽出された「形状詞可能型」漢語 211 語を取り上げ、BCCWJ における「ナ」と「ノ」の出現頻度を調査したところ、以下の結果を得た。

図 3 「形状詞可能型」漢語の後続要素として「ナ」と「ノ」の比率

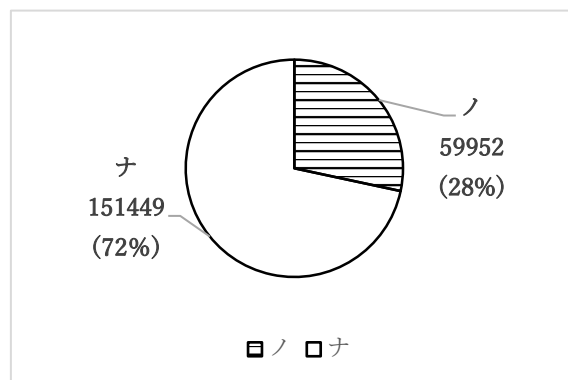


図 3 に明らかなように、「形状詞可能型」漢語の後続要素として、全体で見ると「ナ」の比率は 72%で、標準後続要素は「ナ」であると言えるであろう。しかしながら、教科書ではほとんど説明されていない「ノ」が全体の 28%程度の出現が確認された。仮説では、「全体の圧倒的大部分は『ナ』であり、『ノ』の用例はほとんどない」と述べたが、実際の例を確認したところ、仮説と異なり、後続要素として「ノ」も重要な位置を占めていることが示された。ただし、「ノ」の中には性質の違う用例が含まれていることに注意しなければならない。すでに述べたように、厳密な意味において「ナ」と対照すべきものは、「ソフトの開発」型の「ノ」ではなく、「ブルーの背広」型の「ノ」のみである。そこで手作業で質的に分類を行い、叙述的「ノ」に限定して再度調査を行ったところ、以下の図 4 が得られた。

図 4 「形状詞可能型」漢語の後続要素として叙述的「ナ」と「ノ」の比率

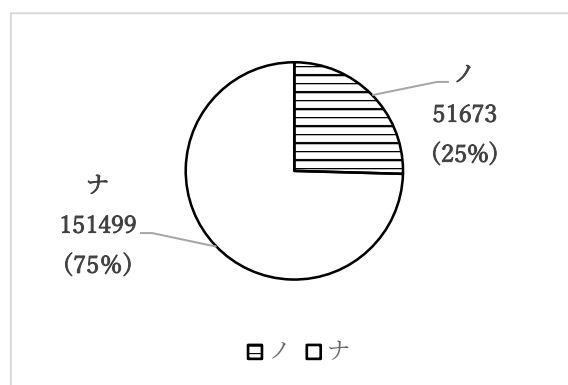


図 4 から、図 3 の場合とはほとんどかわりなく、漢語について、叙述用法に絞ることで結果はあまり変化されていないことが確認された。

7.3.1.3 RQ3 型分類

RQ2 では、「形状詞可能型」漢語の後続要素として「ナ」の方が標準であることが確認された。また、叙述的用法に絞った場合、結果があまり変化していないことも確認された。では、個々の語に注目した場合、「ノ型」・「ノ寄り型」・「両用型」・「ナ寄り型」・「ナ型」などのパターンに属するものそれぞれのぐらいいあるであろうか。以下、各型に属する漢語の比率である。

表 4 各型に属する「形状詞可能型」漢語の比率

型分類(「ナ」共起率)	「形状詞可能型」漢語
「ノ型」(0%)	1 語 (0.47%)
「ノ寄り型」(40%未満)	43 語 (20.38%)
「両用型」(40%以上)	15 語 (7.11%)
「ナ寄り型」(60%以上)	130 語 (61.61%)
「ナ型」(100%)	22 語 (10.43%)

仮説では、(1)教科書では「ナ」の説明はほとんどであるため、広義の「ナ型」のほうが「ノ型」より多いこと、(2)「ナ」または「ノ」を排他的に選ぶ語は広義の両用型より多いこと、(3)両用型は比較的特殊なものであるから、数は少ないこと、と予想された。実際のデータを確認したところ、(1)「形状詞可能型」漢語の後続要素としての「ナ」と「ノ」の優先性を確認するため、「ノ型」および「ノ寄り型」に含まれる語の数と、「ナ型」・「ナ寄り型」に含まれる語の数を比較したところ、前者は 44 語、後者は 152 語となって、「ノ」よりも「ナ」のほうが 3 倍以上多いことが示された。すでに RQ1 の図 2 で見たように、延べ語数に関して言えば、「ナ」と「ノ」の比率は 3:1 程度であったわけであるが、語の種類について言うと、その比率は一致していることが示された。また、(2)「ナ」または「ノ」を排他的に選ぶ語は漢語について全体の 11%しか存在しておらず、仮説と異なり、大部分は「ナ」と「ノ」の併用を許すことが確認された。このことは、現代日本語における漢語の多くが広い意味で「ナ」と「ノ」の両用型であることを示唆していると言えるであろう。最後に、(3)全 164 種のうち大部分が広義の両用型に区分されるものの、「ナ」と「ノ」のいずれにおいても選好性を持たない純粋な「両用型」に限ってみれば、その数は 15 語 (7.11%)しか存在しておらず、「両用型」は比較的特殊なものであることが確認された。

以上をまとめると、「形状詞可能型」漢語において、「ナ」または「ノ」を排他的に選ぶ語は全体の 11%に留まることが明らかになった。また、89%は広い意味での両用型であるが、「ナ」と「ノ」をほぼ同様に使用するという狭い意味での「両用型」は 7%しか存在しないことも明らかになった。すな

わち、現代日本語の漢語の大部分は排他的とまでは言えないものの、「ノ」または「ナ」を優先的に使用する語と言える。最後に、それらの語に関して言えば、「ノ」を選択するものよりも、「ナ」を選択するものが3倍以上多いことが明らかになった。

では、「ナ」を選好する語と「ノ」を選好する語にはどのような意味的相違が存在するのであろうか。

表 5 主要漢語形状詞の型分類

型分類 (「ナ」共起率)	「形状詞可能型」漢語
「ノ型」(0%)	三角
「ノ寄り型」 (40%未満)	一定, 無数, 沢山, 単独, 最高, 直接, 普通, 大量, 同一, 個別, 反対, 普遍, 秘密, 独自, 一杯, 当然, 別々, 共通, 拔群, 種々, 不足, 無限, 偶然, 固有, 新規, 不意, 特有, 必須, 連続, 最悪, 最低, 必死, 同様, 長寿, 緊急, 独特, 公式, 神秘, 不良, 不明, 不満, 苦痛, 肝心
「両用型」 (40%以上)	相当, 高速, 夢中, 優位, 水平, 満足, 不能, 自然, 不正, 苦勞, 懸命, 平等, 高額, 無効, 得意
「ナ寄り型」 (60%以上)	幸運, 特別, 垂直, 平和, 無事, 安心, 透明, 名誉, 好調, 正式, 貧困, 高度, 高級, 最適, 不安, 心配, 孤独, 不要, 自由, 高等, 幸福, 不法, 上手, 阿呆, 過剰, 非常, 純粹, 均等, 不幸, 正常, 違法, 平気, 貧乏, 異常, 不快, 馬鹿, 特殊, 正直, 慎重, 詳細, 安定, 正当, 簡易, 贅沢, 退屈, 有利, 皮肉, 乱暴, 意外, 公平, 危険, 温暖, 不利, 妥当, 有効, 可能, 十分, 多様, 誠実, 安全, 迷惑, 失礼, 極端, 良好, 優秀, 完璧, 健康, 熱心, 結構, 大事, 有力, 高価, 幼稚, 頻繁, 不当, 順調, 悲惨, 確実, 真剣, 柔軟, 面倒, 困難, 率直, 無理, 特異, 適当, 明確, 厄介, 曖昧, 元気, 有害, 残念, 親切, 簡単, 容易, 忠実, 微妙, 強力, 清潔, 活発, 広大, 必要, 知的, 重要, 適正, 余計, 冷静, 顕著, 完全, 丁寧, 公的, 偉大, 公正, 豪華, 急速, 単純, 重大, 大切, 快適, 有名, 主要, 新鮮, 貴重, 便利, 奇麗, 大変, 立派, 巨大, 奇妙, 適切
「ナ型」(100%)	正確, 複雑, 深刻, 邪魔, 豊富, 急激, 強烈, 着実, 愉快, 敏感, 厳密, 強引, 素朴, 健全, 法的, 円滑, 的確, 迅速, 私的, 大胆, 密接, 性的

すでに述べたように、田野村(2002)は程度の大小に関係する場合は「ナ」、択一属性に関わる場合は「ノ」という基準を提唱しているが、表 5 を見るとわかるように、この指摘は漢語についてある程度当てはまるようである。たとえば、「ノ」型に属する「三角」は「三つの角をもつ図形」という意味で、程度の大小を許容しない。これに対し、「ナ」型に属する「正確」や「複雑」などの語の場合、示

される概念の中に一定の幅が存在する。また、「無数」・「沢山」・「大量」などのような数量(存在の有無)を表している語はほぼ「ノ」型であることも確認された。

ただし、こうした違いはきわめて主観的な判断によるものであって、これ以外に「ナ型」と「ノ型」を区別している基準が存在するかどうかは明らかではない。

7.3.1.4 RQ4 言語特性による「ナ」と「ノ」の選択モデル

すでに RQ3 について述べたように、「ノ」型については択一的属性と結びつき、「ナ」型の語は範囲や程度を表す語と結びつきやすいことは確認されたが、こうした意味傾向以外に、語の持つ他の属性が「ナ」・「ノ」の選好に影響している可能性も存在する。そこで、変数増減法による重回帰分析を行った。その結果、次のような回帰式が得られた。

$$(\text{漢語})[\text{ナ共起率}] = 0.788 - 0.186[\text{抽象的關係}] + 0.0993[\text{形容詞}] \quad (p < .05, R^2 = .07)$$

なお、今回漢語について説明力の高いモデルが得られなかったが、もっとも効いているパラメーターとして「抽象的關係」が選ばれた。李(2013)では関係概念を表す場合、「ノ」を後続すると述べられたが、今回の結果では李(2013)と同じように、関係概念を表す場合「ノ」を後続することが確認された。

7.3.1.5 RQ5 前後要素による「ナ」と「ノ」の判別モデル

RQ3 で「X+ナ」または「X+ノ」の構造において、X 要素の特性のうち何が「ナ」と「ノ」の選択に関わっているかを確認してきた。しかしながら、実際の言語の中には、「ZX な Y」や「ZX の Y」のようにそれぞれ他の語と共起している。そこで、Z と Y に当たる成分に注目し、その性質を手掛かりとして「ナ」と「ノ」の判別を試みたところ、以下のような判別式と判別結果表が得られた。

判別式(漢語):

$$Z = 0.092[\text{文字数}] + 0.756[\text{和語}] + 0.482[\text{漢語}] - 0.239[\text{外来語}] - 3.934[\text{修飾形容詞}] + 2.963[\text{修飾副詞}] - 0.925[\text{修飾接頭詞}] + 0.654[\text{抽象的關係}] - 0.476[\text{人間活動の主体}] + 0.828[\text{人間活動—精神および行為}] - 0.499[\text{生産物および用具}] - 1.475 \quad (p < .001)$$

上記の判別式によると、共起語が和語であったり(非常な違い)、漢語であったり(普通な行為)、

修飾副詞が付いたり(とても普通なご飯),「抽象的關係」を示していたり(普通な日々),「人間活動—精神および行為」を表したり(普通な行為)する場合,「ナ」を取る確率が高く,そうでなければ「ノ」を取る確率が高いことを意味している。

表 6 漢語判別結果表

漢語	予測群		正判別率
	「ナ」群	「ノ」群	
「ナ」群	89,403	62,046	59.0%
「ノ」群	24,258	27,415	53.1%
総合			57.5%

ただし,表 6 からわかるように,上記の判別式によって,全体として 57.5%の正判別率しか持たないことが確認された。すなわち,漢語について言えば,「ZX な Y」や「ZX の Y」における「Z」と「Y」の成分の性質を手掛かりとして「ナ」と「ノ」の判別するのが困難であることがわかった。

なお,分類語彙表に示されている語は一般的な学習者にはすぐ理解できるものではない。そこで,ここでは,「ナ」を取る確率が高い「抽象的關係」と「人間活動—精神および行為」という 2 つを例として代表的な語を分類語彙表から挙げておこう。

表 7 分類語彙表からの用例

分類	例(下位分類)
抽象的關係	現実(事柄),種類(類),設立(存在),状況(様相),競争力(力),変化(作用),時(時間),位置(空間),形態(形),値段(量)など
人間活動-精神および行為	感覚(心),表現(言語),作品(芸術),文化(生活),権利(行為),付き合い(交わり),統治(待遇),所有(経済),生産(事業)など

表 7 のように,単に語の意味ラベルを示すのではなく,このような具体的な語のサンプルをあわせて提示することで,学習者の理解を深めることができるであろう。

7.3.2 第 2 課題(外来語)

第 1 課題では,「形状詞不可型」漢語と「形状詞可能型」漢語の比率を確認したうえで,「形状詞可能型」漢語の後続要素として「ナ」と「ノ」の選好性を確認した。

RQ1(「形状詞不可型」漢語と「形状詞可能型」漢語の比率)では、「形状詞可能型」漢語は全体の7%を占め、「形状詞可能型」より「形状詞不可型」の方が圧倒的に多いことが確認された

RQ2(「ナ」と「ノ」の比率)では、一般的には約72%:28%であるが、叙述用法に限って言うと、75%:25%になることがわかった。

RQ3(型分類)では、「ノ」共起率によって各漢語を「ナ型」・「ナ寄り型」・「両用型」・「ノ寄り型」・「ノ型」に分類した。「ナ」または「ノ」を排他的に選ぶ語は全体の11%に留まること、また、89%は広い意味での両用型であるが、実際に「ナ」と「ノ」の両方をほぼ同じ比率で使う語は7%しか存在しないこと、が明らかになった。

RQ4(言語特性)では、各型の漢語の言語特性について、説明力の高いモデルが得られなかったが、もっとも効いているパラメーターとして「抽象的關係」が選ばれたことがわかった。

RQ5(前後要素の判別モデル)では、「ZX な Y」や「ZX の Y」における「Z」と「Y」の成分の性質を手掛かりとして「ナ」と「ノ」の判別するのが困難であることがわかった。

以下は、外来語に注目して上記の5点を考察していく。

7.3.2.1 RQ1 「形状詞不可型」外来語と「形状詞可能型」外来語の比率

重要外来語のうち、BCCWJの品詞タグは「名詞_普通名詞_サ変形状詞可能」・「名詞_普通名詞_形状詞可能」・「形状詞_一般」であるものを「形状詞可能型」外来語として抽出を行った結果、以下の図5を得た。

図5 「形状詞不可型」漢語と「形状詞可能型」漢語の比率

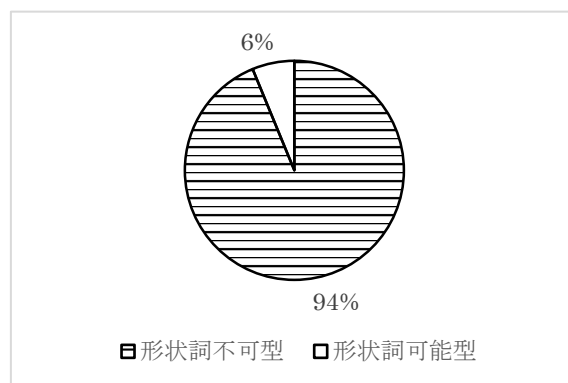


図5からわかるように、外来語の場合も漢語と同じように、「形状詞可能型」より「形状詞不可型」の方が圧倒的に多いことが確認された。

7.3.2.2 RQ2 「ナ」と「ノ」の比率

次に、これらの語彙において、「ナ」と「ノ」の使用比率について調査を行う。RQ1 で抽出された「形状詞可能型」外来語 64 語を取り上げ、BCCWJ における「ナ」と「ノ」の出現頻度を調査したところ、以下の結果を得た。

図 6 「形状詞可能型」外来語の後続要素として「ナ」と「ノ」の比率 図 7 「形状詞可能型」外来語の後続要素として叙式的「ナ」と「ノ」の比率

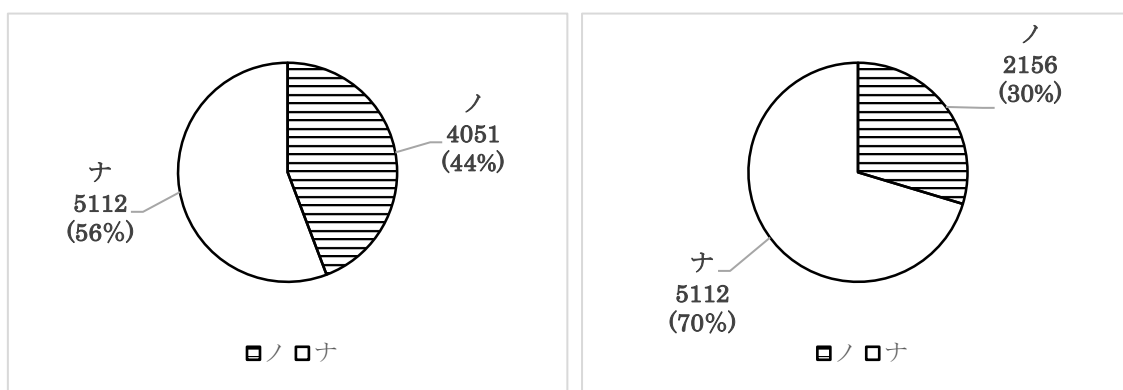


図 6 からわかるように、「形状詞可能型」外来語について言えば、「ナ」の比率は 56%であり、「ノ」の比率は 44%であった。すなわち、「ナ」と「ノ」の頻度は概ね拮抗していることがわかった。また、叙式的「ノ」に限定した場合(図 7)、外来語の後続要素として「ナ」と「ノ」の優先順序が変わっていないが、「ノ」の比率について言えば 14%減少したことが確認された。この点については、漢語と同じように仮説を棄却し、後続要素として「ノ」も重要な位置を占めていることが示された。

7.3.2.3 RQ3 型分類

次に、「ノ型」・「ノ寄り型」・「両用型」・「ナ寄り型」・「ナ型」などのパターンに属する「形状詞可能型」外来語はそれぞれどのぐらい存在するのかを確認していく。

表 8 各型に属する語の比率

型分類(「ナ」共起率)	「形状詞可能型」外来語
「ノ型」(0%)	1 語(1.56%)
「ノ寄り型」(40%未満)	13 語(20.31%)
「両用型」(40%以上)	4 語(6.25%)
「ナ寄り型」(60%以上)	35 語(54.68%)
「ナ型」(100%)	11 語(17.19%)

表 8 を見ると、(1) 広義の「ナ型」(「ナ型」および「ナ寄り型」)は 71.87%であるのに対し、広義の「ノ型」(「ノ型」および「ノ寄り型」)は 21.87%であり、仮説と一致して広義の「ナ型」のほうが「ノ型」より多いことがわかった。また、(2) 全 64 語のうち、「ナ」と「ノ」のいずれか一方と限定的に接続する語は 12 語しか存在しないということである。最後に、(3)「両用型」は 6.25%しか存在しておらず、比較的特殊なものであることが確認された。

次に、各語の「ナ」共起率によって「ノ型」・「ノ寄り型」・「両用型」・「ナ寄り型」・「ナ型」に分類した結果、以下のような結果が得られた。

表 9 主要外来語形状詞の型分類

型分類 (「ナ」共起率)	外来語
「ノ型」(0%)	フル
「ノ寄り型」 (40%未満)	グレー, ブルー, フリー, アメリカン, グラフィック, オリジナル, マニア, インスタント, グルメ, マクロ, ノーマル, オーバー, ハイテク
「両用型」 (40%以上)	デジタル, ベスト, ストレート, ドライ
「ナ寄り型」 (60%以上)	コア, ユニバーサル, ローカル, ショック, クリア, スタンダード, パブリック, インターナショナル, ソフト, メンタル, オープン, ワイド, ハイ, スロー, レア, アクティブ, メジャー, スリム, リアル, ハード, ホット, レトロ, ポジティブ, パーソナル, クリーン, タイムリー, グローバル, フラット, コンパクト, ネガティブ, スマート, ベーシック, ラフ, ポピュラー, ユニーク
「ナ型」(100%)	グッド, ビッグ, スムーズ, シヤープ, ナショナル, ロマンチック, ダイレクト, ダイナミック, ビジュアル, ランダム, ヒューマン

表 9 を見るとわかるように、外来語も漢語と同じように、田野村(2002)の指摘とある程度当てはま

る。たとえば、「ノ型」について、「フル」はすでに 100%の状態を示し、程度の大小を許容しない。同じく、色合いと関わる「グレー」・「ブルー」や、国籍と関わる「アメリカン」、事物に関わる「グラフィック」などについては通例そうであるかいなか問題になるだけで、程度の大小は関心対象となりにくいと言える。一方、「ナ型」について言えば、「グッド」・「ビッグ」・「スムーズ」など、示される概念の中に一定の幅が存在するものが多く確認された。

7.3.2.4 RQ4 言語特性による「ナ」と「ノ」の選択モデル

次に、語の持つ他の属性が「ナ」・「ノ」の選好に影響しているかを確認していく。そこで、変数増減法による重回帰分析を行った結果、次のような回帰式が得られた。

(外来語) [ナ共起率] = $0.973 - 0.518[\text{名詞}] - 0.00821[\text{頻度}]$ ($p < .01$, $R^2 = .20$)

モデルは有意であり、説明力は 20%である。すなわち、外来語については語の持つ言語特性によって「ナ」と「ノ」の選択がある程度説明できることがわかった。

回帰式を見ると、語義数・原語品詞(4種)・意味分類(7種)という12種の説明変数のうち、2つが選ばれた。このモデルに従えば、外来語の元となっている原語が名詞性を持つ場合は「ノ」を選択する確率が高いことを意味している。この点については仮説を支持し、外来語は漢語より新しく輸入した語種であるため、漢語より原語の品詞性の影響が大きいのではないかと考えられる。また、頻度が高ければ「ノ」を選択する確率が高いことも示された。

7.3.2.5 RQ5 前後要素による「ナ」と「ノ」の判別モデル

最後に、「ナ」と「ノ」の選択に影響を及ぼしうる前後要素について確認していく。判別分析を行った結果、以下のような判別式と判別結果表が得られた。

判別式(外来語):

$Z = 0.317[\text{和語}] + 0.622[\text{漢語}] - 2.793[\text{修飾形容詞}] + 1.451[\text{修飾副詞}] + 1.262[\text{抽象的關係}] + 1.460[\text{人間活動}] - 0.489[\text{生産物および用具}] - 1.204$ ($p < .001$)

上記の判別式によると、共起語が和語であったり(グレーなもの)、漢語であったり(グレーな部分)、修飾副詞が付いたり(非常にブルーな)、抽象的關係を示していたり(オープンなスペース)、

人間活動を表していたり(オープンな感じ)する場合は「ナ」を取る確率が高く、また、修飾形容詞を伴ったり(淡いブルーの)、生産物および用具(オリジナルの服)を表したりする場合は、「ノ」を取る確率が高いことを意味している。

表 10 外来語判別結果表

外来語	予測群		正判別率
	「ナ」群	「ノ」群	
「ナ」群	3954	1158	77.3%
「ノ」群	863	1294	60.0%
総合			72.2%

表 10 からわかるように、上記の判別式によって、全体として 72.2%の正判別率がなされることが確認された。また、「ノ」を判別する場合よりも「ナ」を判別する場合(上の例の場合)のほうがより高い判別率が出ていることもわかった。

以上、第 2 課題において、「形状詞可能型」外来語の比率を調査し、また、「形状詞可能型」外来語の後続要素として「ナ」と「ノ」の選好性を確認した。

RQ1(「形状詞不可型」外来語と「形状詞可能型」外来語の比率)では、「形状詞可能型」外来語は全体の 6%しか占めておらず、「形状詞可能型」の方が圧倒的に少ないことが確認された

RQ2(「ナ」と「ノ」の比率)では、一般的には約 56%:44%であるが、叙述用法に限って言うと、70%:30%になり、叙述的「ノ」に限定した場合優先順序が変わっていないが、「ノ」の比率について言えば 14%減少したことが確認された。

RQ3 (型分類)では、「ナ」または「ノ」を排他的に選ぶ語は全体の 19%に留まること、また、81%は広い意味での両用型であるが、実際に「ナ」と「ノ」の両方をほぼ同じ比率で使う語は 7%しか存在しないこと、が明らかになった。

RQ4(言語特性)では、各型の外来語の言語特性について、外来語の元となっている原語が名詞性を持つ場合は「ノ」を選択する確率が高く、また、頻度が高ければ「ノ」との共起率が高くなることが明らかになった。

RQ5(前後要素の判別モデル)では、正判別率 72.2%の判別モデルが得られた。

7.4 まとめ

従来、「形状詞可能型」語彙の「ナ」と「ノ」の識別の問題は日本語学において広く研究されている。しかしながら、和語や漢語を中心とした研究が多く、そして「ノ」の持つ 2 種類の意味的属性の違いを区別しない分析も多い。これらに対し、本研究では「形状詞可能型」非和語系語彙+「ナ」・「ノ」の接続に範囲を絞り、また、「ノ」の意味属性を区別して分析を行うという新しいアプローチによって、以下のような結果を得た。

「形状詞不可型」非和語系語彙と「形状詞不可型」非和語系語彙の比率:

漢語においても外来語においても、「形状詞可能型」より「形状詞不可型」の方が量的に多い。

…7.3.1.1 節と 7.3.2.1 節

「ナ」と「ノ」の比率:

(1)「形状詞可能型」外来語であれ「形状詞可能型」漢語であれ、「ナ」のほうが多数を占めるが、「ノ」も 4 分の 1 程度使用されている。

(2)「形状詞可能型」漢語よりも「形状詞可能型」外来語のほうが「ノ」との選好性が強い(この点については仮説を支持し、漢語と比較する場合、外来語は語としての際立ち度が高いと考えられるため、特殊後続要素「ノ」との結合は漢語より高い)。…7.3.1.2 節と 7.3.2.2 節

型分類:

(1)漢語の場合、「ナ型」、「ナ寄り型」、「両用型」、「ノ寄り型」、「ノ型」の各型に属する語彙の比率は、10.43%, 61.61%, 7.11%, 20.38%, 0.47%という順序関係になった。

(2)外来語の場合、「ナ型」、「ナ寄り型」、「両用型」、「ノ寄り型」、「ノ型」の各型に属する語彙の比率は、17.19%, 54.68%, 6.25%, 20.31%, 1.56%という順序関係になった。

(3)(漢語と外来語の共通点)「形状詞可能型」外来語と「形状詞可能型」漢語の型分類について似たような構造を持ち、その大部分は排他的とまでは言えないものの、「ノ」または「ナ」を優先的に使用すると言える。また、「形状詞可能型」漢語と外来語の後続要素として「ナ」は優先性を持ち、「ナ」と「ノ」のいずれにおいても選好性を持たない純粋な「両用型」の数は少ない。…7.3.1.3 節と

7.3.2.3 節

言語特性による選択モデル:

(1) 漢語の場合, [ナ共起率] = $0.788 - 0.186[\text{抽象的關係}] + 0.0993[\text{形容詞}]$ ($p < .05$, $R^2 = .07$) という回帰式が得られた。

(2) 外来語の場合, [ナ共起率] = $0.973 - 0.518[\text{名詞}] - 0.00821[\text{頻度}]$ ($p < .01$, $R^2 = .23$) という回帰式が得られた。

(3) (漢語と外来語の相違点)「ナ」と「ノ」の選択について, 「形状詞可能型」外来語の場合はその語自身の言語特性と一定程度関わっているが, 「形状詞可能型」漢語の場合はその関係性が弱い。…7.3.1.4 節と 7.3.2.4 節

前後要素による判別モデル:

(1) 漢語の場合, $Z = 0.092[\text{文字数}] + 0.756[\text{和語}] + 0.482[\text{漢語}] - 0.239[\text{外来語}] - 3.934[\text{修飾形容詞}] + 2.963[\text{修飾副詞}] - 0.925[\text{修飾接頭詞}] + 0.654[\text{抽象的關係}] - 0.476[\text{人間活動の主体}] + 0.828[\text{人間活動—精神および行為}] - 0.499[\text{生産物および用具}] - 1.475$ ($p < .001$) という回帰式が得られた。

(2) 外来語の場合, $Z = 0.317[\text{和語}] + 0.622[\text{漢語}] - 2.793[\text{修飾形容詞}] + 1.451[\text{修飾副詞}] + 1.262[\text{抽象的關係}] + 1.460[\text{人間活動}] - 0.489[\text{生産物および用具}] - 1.204$ ($p < .001$) という回帰式が得られた。

(3) (漢語と外来語の共通点)「ノ」を判別する場合よりも「ナ」を判別する場合のほうがより高い判別率が出ていることはわかる。

(4) (漢語と外来語の相違点)「形状詞可能型」外来語の場合, 正判別率 72.2%のモデルが得られたが, 「形状詞可能型」漢語の場合, 正判別率 57.5%のモデルしか得られず, 前後要素によって「ナ」と「ノ」の判別はほとんどできない。…7.3.1.5 節と 7.3.2.5 節

こうしたような言語事実はこれまでの日本語学においても日本語教育学においてもはっきり示されていなかったが, 今回の結果は教育的な価値もある情報が得られたと言えるであろう。

ただし, 本章には次のような課題も残されている。1 点目は, 調査対象語の数が限られていることである。2 点目は, モデルの構築に関して, 考慮した説明変数の種類が限られていることである。今後の研究では, 以上の点を考慮しつつ, さらに分析の精緻化を図っていきたい。

第 8 章 意味論的特性:類義漢語・外来語の使い分けの問題

8.1 はじめに

本論文の第Ⅱ部においては、非和語系語彙の言語特性を、(1)重要語抽出、(2)統語論、(3)意味論、(4)形態論、(5)語用論、という 5 観点から調査するが、すでに第 5 章において、重要語抽出という観点から、「重要漢語」2865 語、「重要外来語」1612 語、あわせて「重要非和語系語彙」4477 語を特定した。また、第 6 章と第 7 章において、統語論的観点から非和語系語彙と他の体言との接続現象に注目して調査を行った。具体的には、第 6 章において、非和語系語彙に後続する「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的 ϕ 」・「的ナ」という 5 つの連体修飾標識の許容性はどのように異なるか、また、漢語「安定」と外来語「オープン」を例として異なる連体修飾標識を用いることで、その意味機能にどのような影響が生じるかを解明した。第 7 章において、類似した形式を持つ「ナ」と「ノ」に絞り、許容度調査と 2 標識の選択モデルの構築を行った。本章は、意味論的観点に注目して調査を行っていきたい。

非和語系語彙の意味に関して注目すべき点が多いが、そのうち特に重要なことは、類義の意味を有する語種間での使い分けの規準である。中でも、類義の外来語と漢語の併用は、現代日本語の 1 つの特徴となっている。たとえば、以下の記事例を見てみよう。

表 1 『朝日新聞』の記事例

(『朝日新聞』)コロナと介護 ケア継続へ支援強化を

2020 年 5 月 4 日 5 時 00 分

新型コロナウイルスの影響で休業する介護事業所が増えている。多くが、高齢者が日帰りで食事や入浴のケアを受けるデイサービスや短期入所の施設だ。

上記の例を見ると、「ケア」とその類義漢語「介護」が 1 つの文章において混用されている。これは、2 つの語が完全な同義語ではなく、何らかの意味的な差異を有している可能性を示す。

このように、外来語に対して類義の漢語が存在することは珍しいことではない。この点を確認するためには、5 章で特定された重要外来語上位 50 語について、『広辞苑』において類義の漢語が示されているかどうかの確認を行った。結果は以下の通りであった。

表 2 外来語上位 50 語とその類義漢語

	外来語	類義漢語		外来語	類義漢語
1	テレビ		26	エネルギー	活気・精力
2	サービス	奉仕・給仕・接待・用役	27	バランス	均衡
3	センター	中央・中心	28	ライン	線・行・列・輪郭線・航路・鉄道路線・系列・系統・水準
4	ホーム	家庭・自宅・施設	29	ボール	球
5	スポーツ		30	コース	行路・進路・競技路・経過・順序・課程
6	データ	資料・与件	31	インターネット	
7	グループ	集団	32	メーカー	製造者
8	システム	組織・系統	33	クラス	階級・等級・学級
9	メール	郵便・郵便物	34	ネット	正味・純益
10	バス		35	ビル	
11	チーム		36	タイム	時間
12	イメージ	印象・心象・形象・映像	37	カメラ	
13	カード	紙票	38	トップ	頂上・首位・先頭・首脳
14	ホテル	旅館	39	ガス	気体
15	ソフト		40	ビデオ	
16	チェック	照合する・確認する・阻止する・抑制する	41	パン	
17	レベル	水準・標準・段階・水平面・平面・水準器・水準儀	42	プログラム	番組・予定・計画・目録・計画表
18	デザイン	素描・図案・意匠計画	43	メンバー	成員・一員
19	モデル	模型・模範・手本	44	セット	一式
20	パソコン		45	ドア	
21	ゲーム	遊戯・競技	46	スタート	出発・出発点
22	タイプ	類型・典型	47	タバコ	
23	クラブ		48	スーパー	超
24	ケース	事例・事件	49	シート	
25	テーマ	主題・題目	50	ファイル	

興味深い結果として、上位 50 語の外来語のうち、約 7 割の 34 語において、何等かの漢語が語釈の中で示されていた。このことは、日本語の重要外来語の大部分は実際には漢語においても表

現可能であることを意味し、つまり、外来語と漢語の混用現象がここで見た「ケア」と「介護」に限らず、日本語において一般的に観察されたことを示唆している。このことは、すでに述べたように、外来語と類義の漢語の意味や振る舞いの差を特定する必要性を改めて示すと言えるだろう。

こうした現象に関して、先行研究は、外来語とその類義語との使い分けの規準を様々な観点から議論してきた。たとえば、山下(2018)は外来語に注目し、外来語と、その類義語(漢語または和語) 14 ペアを取り上げ、日本語母語話者 110 名(教師・学生)による意識調査を行った。その結果、表 3 のような使い分け基準があることが確認された。なお、ここでは、本研究の趣旨に沿って、外来語と漢語の使い分けに関する例のみを示す。

表 3 カタカナ語と類義語の使い分けの基準(山下他(2018)を筆者が加工)

	外来語	類義漢語・和語
カタカナ語にニュアンスが付加	スタートする(※「開始する」より新しさやプラスの評価といった付加的な意味が加わる)	開始する
	プリントする(※写真の焼き付けや布地への模様付けに用いられる)	印刷する
	サインする	署名する
	レ(リ)ポートする	報告する
カタカナ語の方が多義的	チェックする(※個人が行う確認で、より広い範囲に使われている)	点検する
	サービスする	奉仕する
特定の使用に限定(役割分担)	トレーニングする(※主にスポーツの領域で使われる)	練習する

なお、山下(2018)の調査では、「ストップする」と「停止する」、「テストする」と「試験する」の 2 ペアについては、母語話者でも受け止め方に食い違いが存在し、その差異が不明であると指摘されている。このように、母語話者の内省だけで差異が見出しにくい類義語の意味的相違の解明に関しては、コーパス調査の手法が有効であると考えられる。そこで、本章では、このうち、「ストップ」と「停止」のペアをサンプルに取り上げ、(1)頻度、(2)品詞(活用)タイプ、(3)ジャンル、(4)共起語という 4 つの観点から類義語の意味的特性の違いを明らかにしていく。

8.2 リサーチデザインと手法

8.2.1 調査対象語としての「ストップ」と「停止」:辞書における意味

本調査を行う前に、辞書における「ストップ」と「停止」のそれぞれの意味記述はどうなっているのかを確認する必要があると考えられる。以下は『大辞林』と『新明解』における「ストップ」と「停止」の意味記述である。

表 4 辞書における「ストップ」と「停止」の意味記述

	『大辞林』	『新明解』
ストップ	(名) スル ①とまること。とめること。やめること。「雪で電車がー」「作業のーを命じる」 ②「とまれ」の信号。③オルガンなどの音栓。	[ーする] ①[ーする]止まること。「ノンストップ」 ②止まれ(のしるし)「連勝にストップをかける」
停止	(名) スル ①動いていたものがとまること。また、とめること。「ー信号」「心臓がー」 ②していたことをやめること。また、やめさせること。「拝観ー」「貸し出しをー」	[ーする] ①[移動しているものが]途中で止まること。 ②活動をやめ(させ)ること。

表 4 を見るとわかるように、「ストップ」と「停止」ともに「とまること」・「とめること」・「やめること」などの意味を持ち、具体的な使い分けについて記述されていない。また、『広辞苑』(6 版)には、「ストップ」の語義が以下のように記載されている。

とまること。とめること。停止。

つまり、「ストップ」と「停止」は、事実上の同義語とみなされていることになる。このことは、2 語の使い分けについて調査を行う必要性を示す。

8.2.2 研究目的と RQ

すでに述べたように、本研究は JNS でも意味理解に食い違いが存在し、意味の差異が不明とされる「ストップ」と「停止」(山下, 2018)を例として、外来語とその類義漢語の使い分けの解明を目指す。なお、意味は多面的概念であるため、本研究は、(1)使用頻度、(2)品詞(活用)タイプ、(3)

使用ジャンル, (4) 共起語という 4 つの観点から, 外来語「ストップ」とその類義漢語「停止」を比較する。一般に, 語の意味に直接的に関係しているのは共起語であるが, そのほかの要因も, 2 語の使い分けの基準を探るうえで重要であると考えらる。

具体的には, 以下の 4 つの RQ を設定した。

RQ1 使用頻度にどのような違いが存在するか? (頻度比較)

RQ2 品詞(活用)タイプにどのような違いが存在するか? (品詞(活用)タイプ比較)

RQ3 使用されるジャンルにどのような違いが存在するか? (ジャンル比較)

RQ4 共起語にどのような違いが存在するか? (共起語比較)

なお, これらのリサーチクエスチョンを実例データのもとに検証していくわけであるが, あとで行う検証をより体系化するため, 事前にそれぞれの課題に対する仮説を考えておきたい。

H1 先行研究の報告を見ると, 類義の漢語と外来語の頻度差については, 外来語の頻度が高いとするもの(たとえば, 宮田(2007)(メリット vs 利点:7898 vs 5125))と, 漢語のほうが頻度が高いとするもの(たとえば, 宮田(2006)(リスク vs 危険:4671 vs 8091), 陳(2014)(ケア vs 介護:1097 vs 3766)など)がある。「ストップ」と「停止」は, 株価の「ストップ高」や原子力発電所の「緊急停止」など, 社会・経済的文脈で多く使われると予想されるため, 先行研究の事例では, 「リスク・危険」や「ケア・介護」と性質が近く, この点をふまえれば漢語頻度のほうが高くなるのではないかと予想される。

H2 品詞については, 2 語ともに動詞的なニュアンスを持った名詞であるが, 動詞的意味の残存度の差が品詞タイプや活用タイプに影響すると考えられる。この点に関して辞書(『岩波国語辞典』第 8 版)記述を調査したところ, 「停止」の語義が「移動・進行中のものが, 動きをやめてとどまること, そういうものをとどめること。また, 続行するものを(一時)差し止めること」であるのに対し, 「ストップ」の語義は「止まること」「止めること」とされていた。語釈の細かさは違うものの, 動詞性・自他性においてははっきりした差は見られなかった。この点を根拠に考えると, 2 語の品詞タイプや活用タイプは同等であると予測される。

H3 使用されるジャンルについて, 外来語はよりくだけた文体や日常会話において, また, 漢語は相対的に硬い文体や公式の場面において使われやすいと指摘されたため(周(2014), 馬場(2018)など), 「ストップ」はよりフォーマリティの低い「ブログ」や「雑誌」ジャンルにおいて多く使用

し、「停止」はよりフォーマリティの高い「白書」や「法律」などのジャンルで多用するのではないかと予想される。

H4 共起語について、(1)共起する語種について、外来語は共起する語種に対する制限がより少ないと想定されるため(たとえば、陳(2018)は「ケア」が和語・漢語・外来語とも共起しているが、「介護」が主に和語・漢語と共起していると述べた)、「ストップ」は和語・漢語・外来語ともに共起するが、「停止」は主に和語と漢語と共起するのではないかと予測される。(2)また、宮田他(2006)でも述べたように、類義の既存語が存在した場合、その外来語の存在理由として既存語との間に一定の棲み分けが存在することが挙げられ、すなわち 2 語の意味には一定の違いが存在すると思われる。これにより、2 語の共起語にも差が存在するのではないかと予測される。

8.2.3 データ

本章では、書き言葉均衡コーパス BCCWJ を利用する。

8.2.4 手法

RQ1(頻度比較)では、BCCWJ における「ストップ」と「停止」の 2 語の出現頻度を調査する。

RQ2(品詞(活用)タイプ比較)では、まず、品詞タイプについて、「ストップ」と「停止」の 2 語が名詞として使用する頻度と動詞として使用する頻度をそれぞれ調査する。また、動詞の活用パターンについて、BCCWJ における活用パターン(未然形・連用形・終止形・連体形・假定形・命令形・意志推量形など 11 分類)に準ずる。

RQ3(ジャンル比較)では、BCCWJ の 12 ジャンル(韻文を除く)における「ストップ」と「停止」のそれぞれの頻度を調査する。また、ジャンル間の比較を行うために、100 万語あたり調整頻度で統一する。

RQ4(共起語比較)では、(1)名詞として使用する場合、各用例の左 1 語、右 1 語、右 2 語を抽出し、それぞれの上位 15 語を抽出する(なお、15 番目の語と頻度が一致している語が存在する場合、頻度が同じであるすべての語を対象とする)。また、「ストップ」と「停止」の各ジャンルを第 1 アイテム(上位語の出現頻度は 20 以下のジャンルを除いた 18 ジャンル)、共起語の上位語を第 2 アイテム(重複を除いた 84 語)とする頻度表を作成してコレスポンデンス分析を行う。(2)動詞として使用する場合、まず、各用例の目的語を手作業で抽出し、それぞれの上位 30 語を抽出する(なお、30 番目の語と頻度が一致している語が存在する場合、頻度が同じであるすべての語を対象とする)。次に、「ストップ」と「停止」の各ジャンルを第 1 アイテム(上位語の出現頻度は 20 以下のジ

ジャンルを除いた 10 ジャンル), また, 目的語の上位語を第 2 アイテム(重複を除いた 64 語)とする
頻度表を作成してコレスポンデンス分析を行う。

8.3 結果と考察

8.3.1 RQ1 頻度比較

まず, 「ストップ」と「停止」は BCCWJ における出現頻度を調査したところ, 以下のような図 1 が得られた。

図 1 「ストップ」と「停止」の使用頻度

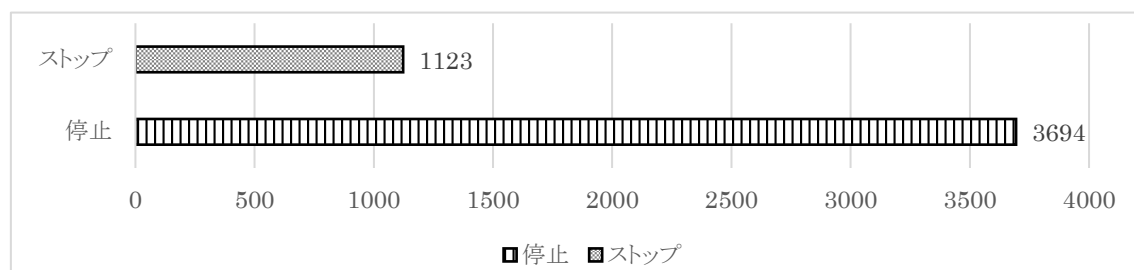


図 1 を見ると, 語彙素単位で品詞を不問する場合, 「停止」は「ストップ」の 3.3 倍程度の頻度で使用され, 漢語の方が圧倒的に高い頻度で使用されていることが確認された。

すでに仮説でも述べたように, 類義の漢語と外来語の頻度比較は先行研究でも行われてきたが, その結果はまちまちであった。たとえば, 宮田(2006)は漢語「危険」の頻度が外来語「リスク」より 3 割少ないというデータを示している。一方, 陳(2014)は漢語「介護」の頻度が外来語「ケア」より 2.4 倍多いことを示している。今回, 「ストップ」は「停止」より 2.3 倍多くなっており, 頻度関係で言えば, 「介護・ケア」の使い分けと似た結果を示している。

ではなぜ, 「危険・リスク」というペアの漢語選択率は低く, 「停止・ストップ」というペアの漢語選択率は高いのであろうか。この点に関しては 2 つの可能性が考えられる。1 点目は, 外来語の語としての品詞性によって差が生じたという可能性である。「リスク」はサ変不可の純粋な名詞だが, 「ストップ」はサ変可名詞であり, 動詞的にも使用できる。一般に, 名詞は具体物, とくに輪郭のはっきりした静的な特定の具体物を指すため, 物と語の一対一対応的な結びつきが強く, 他の語による置き換えが難しい。これに対し, 動詞は変化する動きの総体を表す語であるため, その指示内容は, 通例, 名詞の場合より広い。たとえば, 名詞の「みかん」という語によって含意される内容と, 動詞の「食べる」という語によって含意される内容を比較すると, 後者のほうが圧倒的に広く, 曖昧で, 意味

的な特定性が低いことがわかる。このため、動詞と語の一対一対応的な結びつきの強度は相対的に下がり、結果として、他の語との置き換えがより容易になる。このため、名詞性の強い「リスク」では漢語への置換があまり起きないのに対し、動詞性を有する「ストップ」では漢語への置換が多く起こったのではないかと考えられる。この説明は、同じく漢語選択率が高い「介護・ケア」の場合にもあてはまる。

2 点目は、仮説でも触れたような語の使用環境の違いである。日常に近い環境では外来語での置き換えが広くなされるのに対し、社会・経済的文脈で多用される語についてはフォーマリティを持った漢語が選好される可能性がある。

上記に基づき、以下は、品詞(RQ2)と文体(ジャンル)(RQ3)を分けて見ていく。

8.3.2 RQ2 品詞(活用)タイプ比較

次に、「ストップ」と「停止」の名詞用法と動詞用法の頻度をそれぞれ調査したところ、以下のような図 2 と図 3 が得られた。

図 2 「ストップ」の名詞用法と動詞用法の頻度 図 3 「停止」の名詞用法と動詞用法の頻度

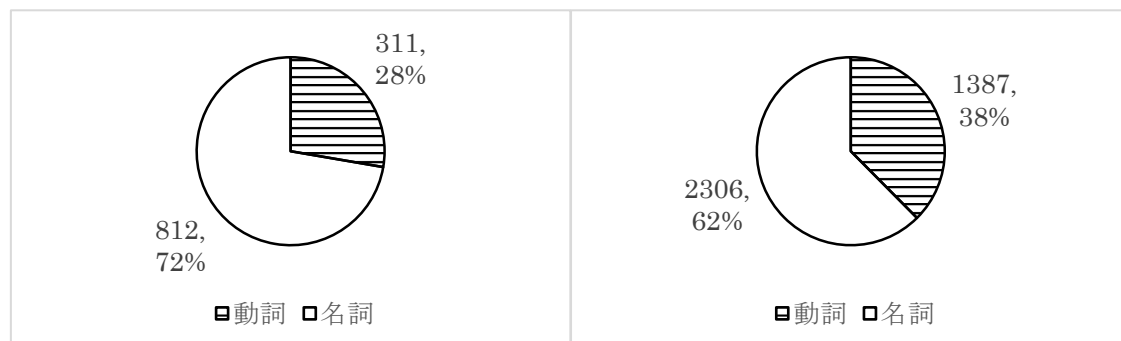


図 2 と図 3 を見ると、2 語ともに動詞用法より名詞用法の方が多いが、「ストップ」の名詞用法の比率は 72% となり、「停止」より 10% 多いことが確認された。

では、2 語が動詞として使う場合、その活用タイプにおいてどのような違いが存在するのであろうか。BCCWJ における動詞活用形の分類に基づき、2 語の動詞用法を分類すると、以下のような図 4 と図 5 が得られた。

図 4 動詞として使用する「ストップ」の活用タイプ

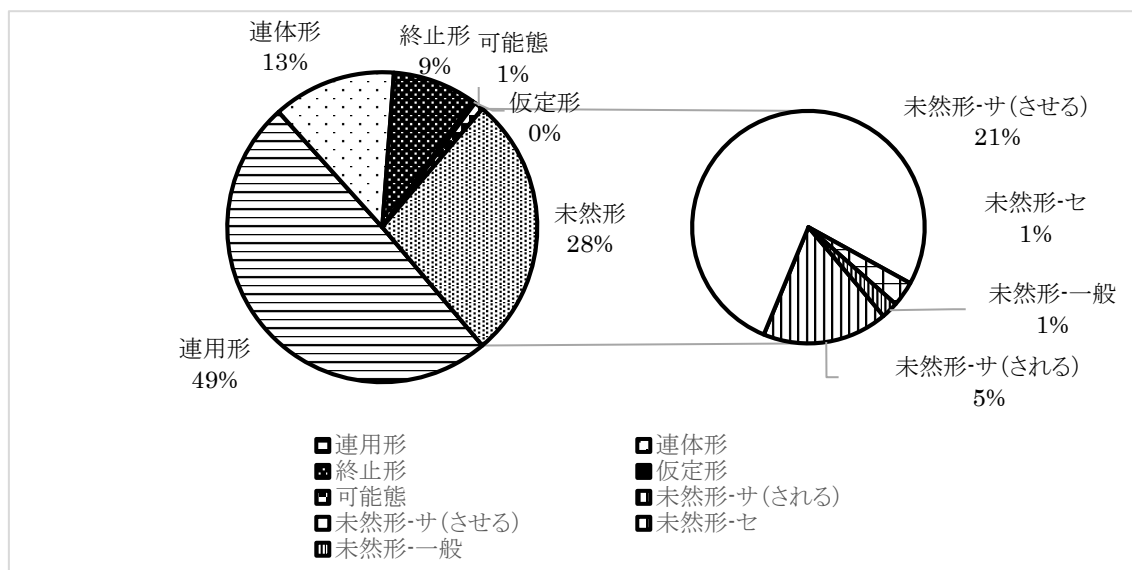


図 5 動詞として使用する「停止」の活用タイプ

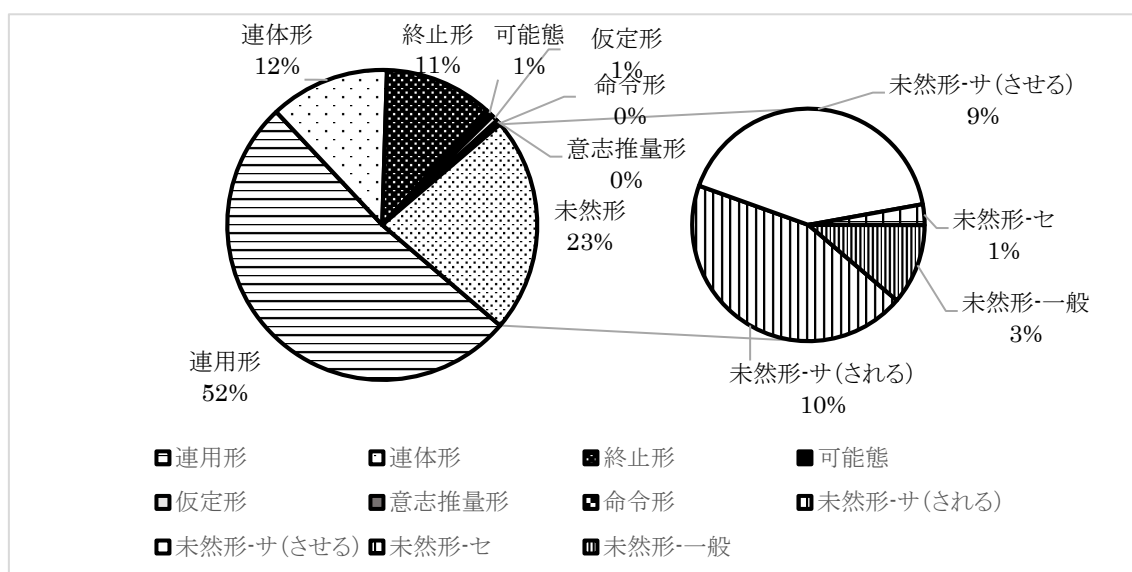


図 4 と図 5 を見ると、「ストップ」の「させる」形は 21.22% となり、「停止」より 126.47% 多く、また、「ストップ」の「される」形は 4.82% となり、「停止」より 51.56% 少ないことがわかった。すなわち、「ストップ」は使役態が多く、「強制的・意図的」を含意しているのに対し、「停止」は受け身形が多く、「状況受け身の・必然的」という意味を含んでいるのではないかと考えられる。

すでに仮説で述べたように、辞書の記述から見れば、2 語の品詞タイプや活用タイプは同等であると思われるが、実際の使用状況を調査すると、仮説とは異なり、「ストップ」のほうがより「使役」の

意味が含まれるのではないかと考えられる。この点については、現存の辞書の記述を再検討する余地がまだ残されているのではないかと考えられる。

8.3.3 RQ3 ジャンル比較

以上 RQ1 と RQ2 は、使用頻度と品詞(活用)タイプという 2 つの観点から「ストップ」と「停止」の差異を調査した。その結果、(1)全体の頻度から見れば、「ストップ」より「停止」の方が頻度 2 倍以上多いことが確認された。そして、(2)品詞(活用)タイプに注目すると、「ストップ」のほうは名詞用法がより多いこと、また、「ストップ」は「させる」形が「停止」より 126.47%多く、「強制的」意味をより強調していることが明らかになった。では、2 語が選好しているジャンルにはどのような差異が存在しているのだろうか。

以下は BCCWJ の各ジャンルにおける 2 語の頻度を調査した結果である。

表 5 各ジャンルにおける「ストップ」と「停止」の頻度(PMW)と比率

ジャンル		ストップ		停止	
		PMW	比率(%)	PMW	比率(%)
書籍	出版・書籍	7.64	6	35.93	5
	図書館・書籍	7.37	6	24.46	4
	特定目的・書籍	5.61	4	20.58	3
雑誌		25.87	20	29.92	4
新聞		15.33	12	66.41	10
ブログ		30.61	24	24.92	4
教科書		2.15	2	25.85	4
広報紙		13.32	10	37.55	5
国会会議録		9.21	7	42.72	6
知恵袋		9.36	7	38.22	5
白書		3.48	3	56.52	8
法律		0.00	0	293.75	42

表 4 からわかることとして以下の 3 点を指摘したい。1 点目は、「ストップ」はブログジャンルや雑誌ジャンルで多用され、新聞ジャンルや広報紙ジャンルにおいても使用されるが、法律ジャンルにおいてまったく使用されないということである。すなわち、「ストップ」はくだけた文脈で好まれることが確認された。

2 点目は、「停止」は法律ジャンルにおいて多用され、また、新聞ジャンルにおいてもある程度使用されることである。すなわち、「停止」はより公的な文脈で好まれることが確認された。仮説では、外来語はよりくだけた文体や日常会話において、また、漢語は相対的に硬い文体や公式の場面において使われやすいため、「ストップ」より「停止」のほうがよりフォーマリティの高いジャンルで多用されると述べられたが、この 2 点については仮説を支持したと言える。

最後に 3 点目は、特定ジャンルへの偏りについて、「停止」は法律ジャンルにおいて圧倒的に多く使用されるということで、「ストップ」より偏りが大きいことである。外来語は新鮮感を出し、文体的な差を積極的に生かしていくために使用されるという機能があるとよく指摘されたが(山崎, 2006), 今回の結果から見れば、漢語もフォーマリティの高い文体と他のジャンルとの間の差を際立つ機能が持たれている可能性があることが示唆されたと言えるであろう。

8.3.4 RQ4 共起語比較

最後に、2 語と共起する語に注目して比較を行っていきたい。まず、名詞として使用される場合を見ていく。「ストップ」と「停止」の各ジャンルを第 1 アイテム、また、共起語の上位語 84 語を第 2 アイテムとする頻度表を作成してコレスポンド分析を行った結果、図 6 が得られた。次元 1 と次元 2 の寄与率はそれぞれ 17.25%と 12.59%となり、全体の 29.83%が説明できる。

図 6 を見ると、「ストップ」と「停止」の 2 語を左右に分けられたことがわかった。2 語に特徴づけられる語をまとめると、以下の表 6 が得られる。

図 6 名詞として使用する場合 2 語と共起する特徴語による散布図

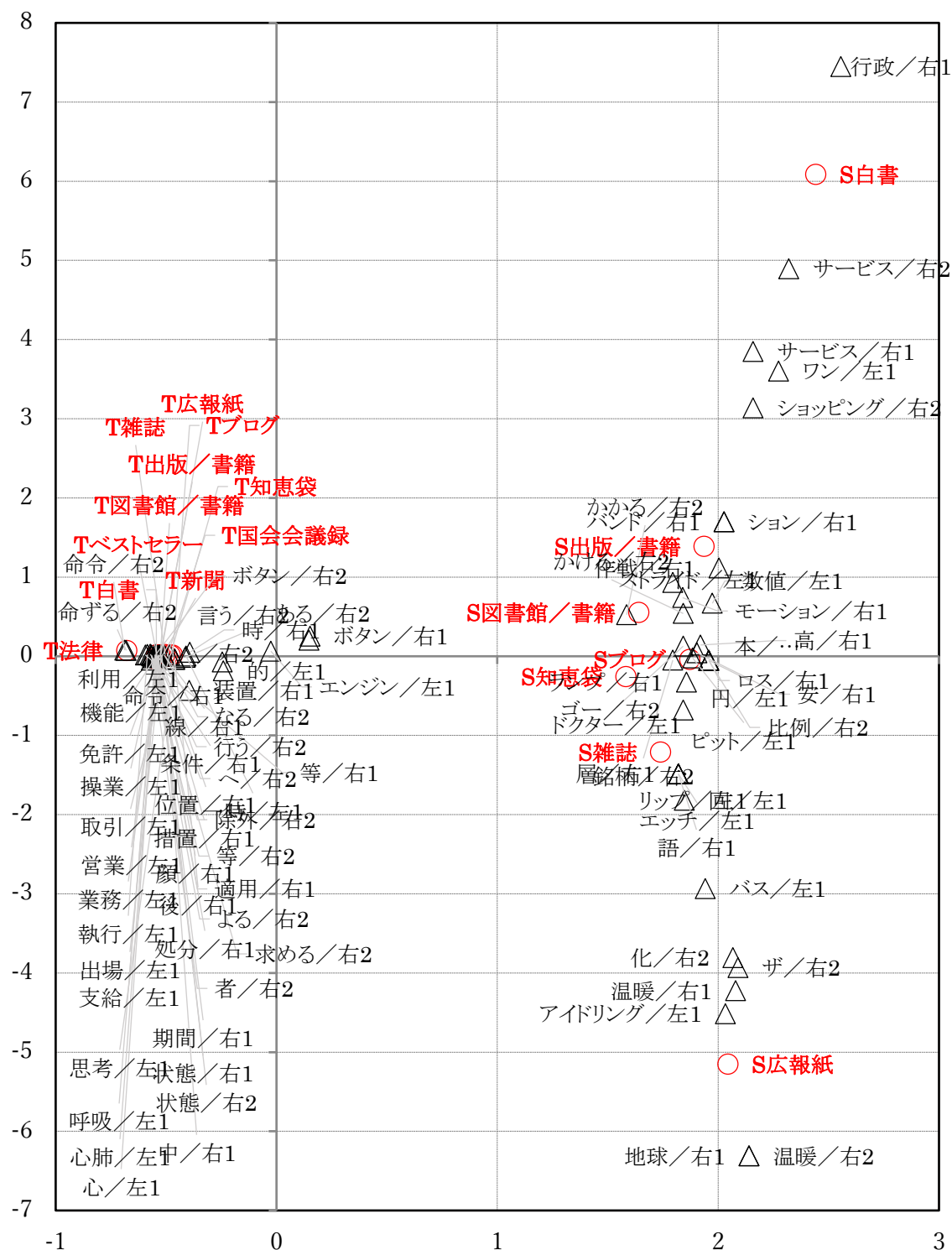


表 6 「ストップ」と「停止」の特徴語

	「ストップ」	「停止」
左 1 語	ワン, アイドリング, 数値, 円, 本, バス, ピット, 回, ドクター, エッチ, スライド	執行, 利用, 操業, 呼吸, 機能, 支給, 心, 心肺, 営業, 業務, 免許, 出場, 取引, 思考, 一時, 的, エンジン
右 1 語	行政, サービス, 地球, 温暖, バンド, ション, 作戦, ロス, 高, 安, ランプ, モーション, 層, 語, ボタン	等, 条件, 顔, 適用, 処分, 措置, 期間, 命令, 状態, 位置, 中, 線, 後, 装置, 時
右 2 語	サービス, ショッピング, 温暖, ザ, 化, 比, 例, ゴー, かける, 銘柄, かかる, ある	命令, 命ずる, 等, 者, よる, 求める, へ, 除外, 行う, ボタン, 状態, なる, 言う, する

表 6 からわかることとして以下の 3 点を指摘したい。

1 点目は, 2 語の特徴語の語種を見ると, 仮説どおり, 「ストップ」は和語・漢語・外来語ともに共起しているが, 「停止」は主に和語と漢語と共起していることである。

2 点目は, 「ストップ」と共起する語には, 「数値」(左 1)や「高」(右 1), または「安」(右 1)のような特定の点を表す語が多いのに対し, 「停止」と共起する語には「期間」(右 1)・「状態」(右 1・右 2)・「中」(右 1)など, 幅を持った継続性のある語が多いことである。すなわち, 「ストップ」が「止まる点」を指すのに対し, 「停止」は「時間の継続」を含意していると言えよう。

3 点目は, 「ストップ」は, 「ドクターストップ」(医師が患者に対して, 病状や障害の悪化, 死に至ることを防ぐなどで, なんらかの行動を禁止することをいう)や「ストップ地球温暖化」など, 「動いているものを止めるというアクション, あるいは止めようとする行為そのもの」を強調するのに対し, 「停止」は, 「免許停止」や「営業停止」のように「とめられている状態」や, 「呼吸停止」や「心肺停止」のように「とまった後の状態」を指す場合が多いことである。「ストップ」は「とめるその動作」そのものを強調しているが, 「停止」は「とまった後の結果」を強調している。

上記は, 以下のようなイメージ図としてまとめられる。

図 7 「ストップ」と「停止」の名詞用法差異のイメージ図

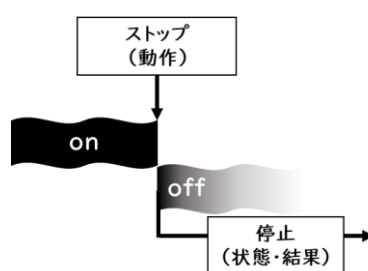


図 7 のように、「ストップ」は瞬時性を強調し、「とめるその動作」を表しているのに対し、「停止」は一定の時間の継続性を許容し、「止まっている状態と結果」を表している。具体的な用例は以下のよう示す。

- (1)この問題にストップをかけるため、無駄なエネルギーを使用しない節約型の暮らしや、自然エネルギーへの転換などが求められています。(OP74_00002)
- (2)区は目標の達成に向け、照明設備や空調設備を高効率なものに更新し、装着可能なすべての庁有車にアイドリングストップ装置を装着など、率先して温室効果ガスの排出抑制にも取り組んでいます。(OP30_00002)
- (3)あと、不動産営業の労働実体は時間に直すと労働基準法以上に働いているケースが多く、そのまま手続きと会社が営業停止になってしまいます。(OC03_00938)
- (4)特に、心肺停止状態の傷病者の救命率向上に資CPR(心肺蘇生法)の習得に主眼を置き、かつ訓練用人形等を用いた住民体験型の普及啓発活動の積極的な推進が求められている。(OW4X_00479)

次に、「ストップ」と「停止」は動詞として使う場合を見てみよう。2 語の各ジャンルを第 1 アイテム、また、目的語の上位語 64 語を第 2 アイテムとする頻度表を作成してコレスポンデンス分析を行った結果、以下の図 8 が得られた。次元 1 と次元 2 の寄与率は 27.44%と 22.81%となり、全体の 50.24%が説明できる。

図 8 動詞として使用する場合 2 語と共起する特徴語による散布図

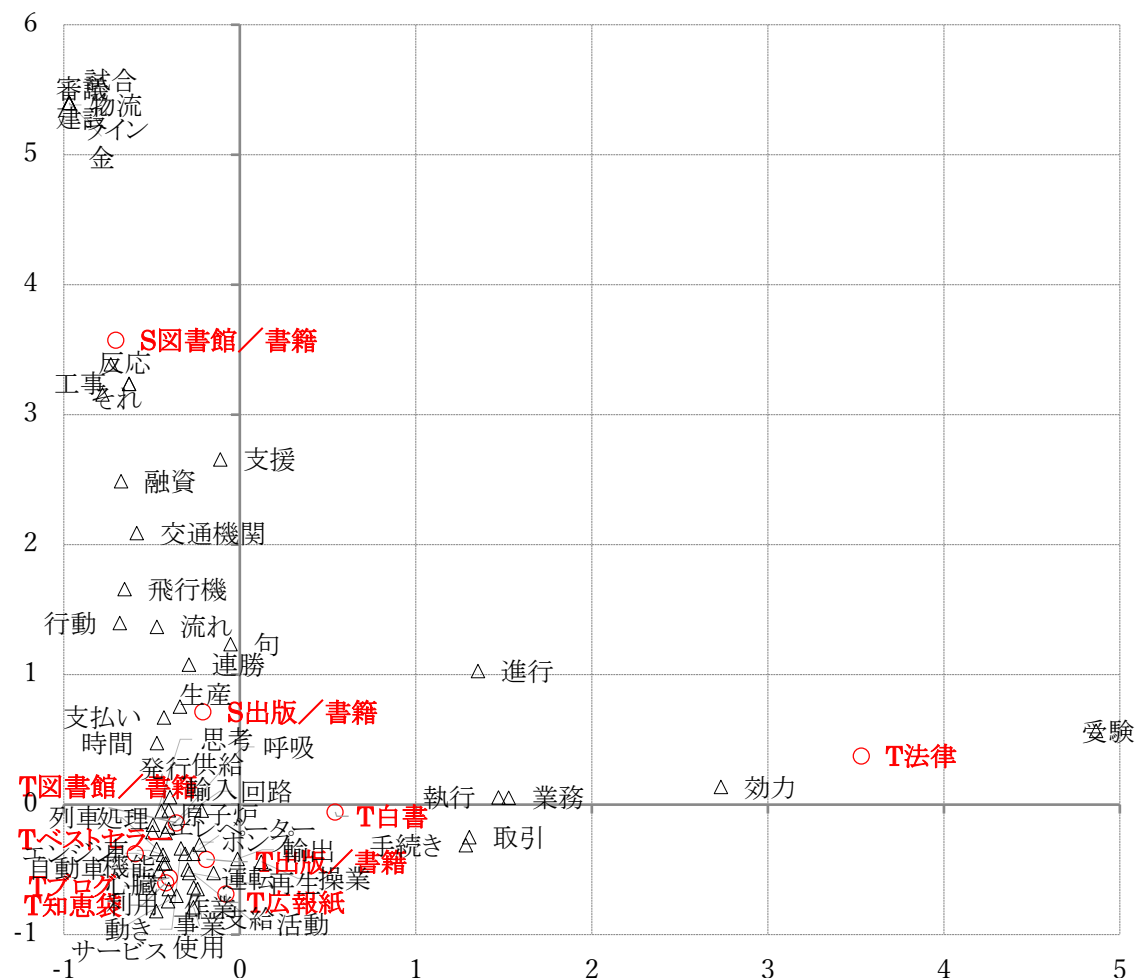


図 8 を見ると、「停止」の法律ジャンルと白書ジャンルはその他のジャンルと分けられたことがわかった。この点については、法律ジャンルにおいて、たとえば「受験」や「効力」など、一般文書ではほとんど使用されない語彙、すなわち非常に特殊な語彙を重複して多用されたため、他のジャンルと違う位置に布置されたと考えられる。そこで、法律ジャンルを一個の外れ値としてみなし、法律ジャンルを除いてもう一回コレスポンデンス分析を行った結果、以下のような図 9 が得られた。次元 1 と次元 2 の寄与率は 30.23%と 18.14%となり、全体の 50.24%が説明できる。

図 9 動詞として使用する場合 2 語と共起する特徴語による散布図 (法律ジャンルを除く)

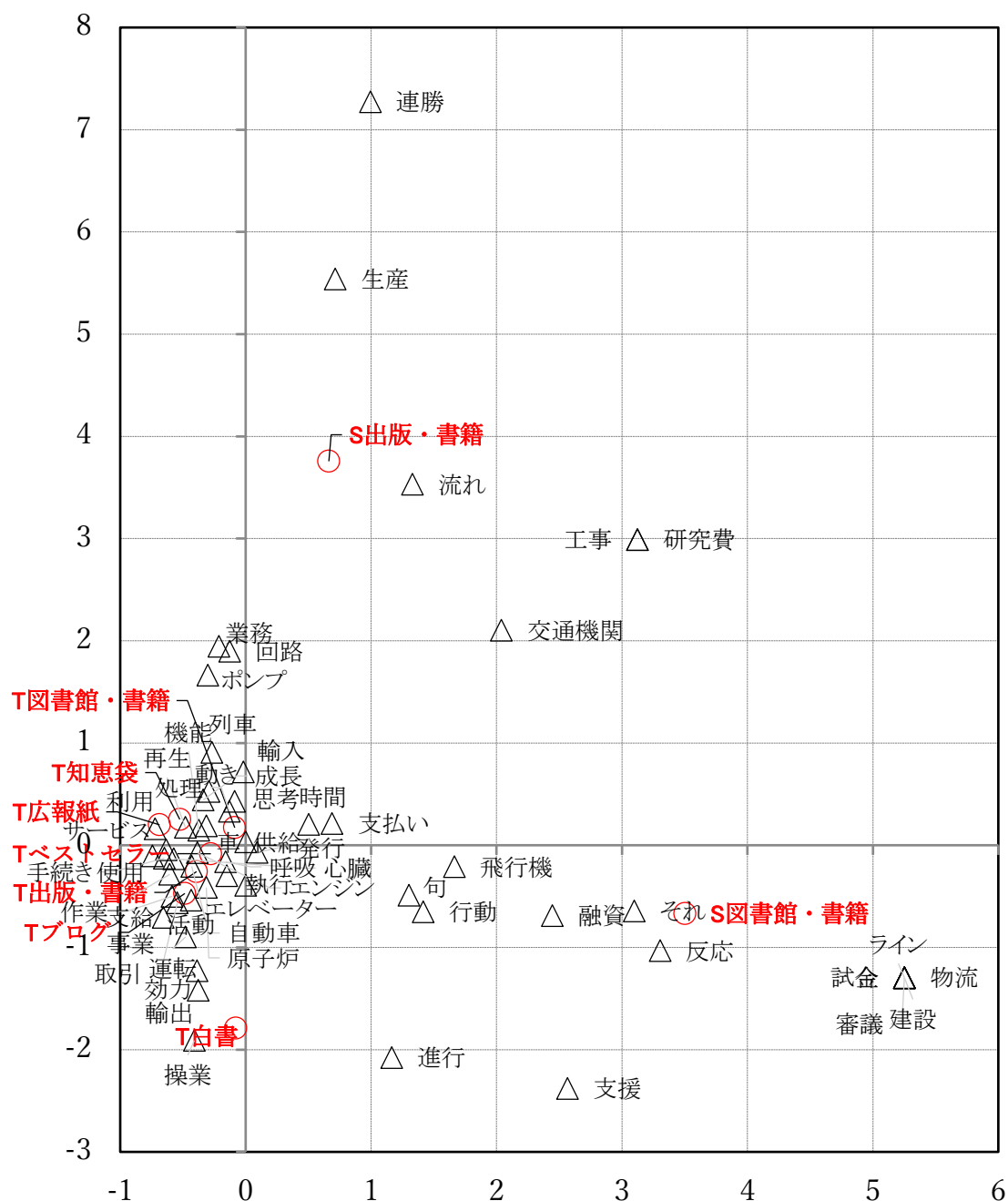


表 7 「ストップ」と「停止」の特徴目的語

	「ストップ」	「停止」
目的語	試合, ライン, 金, 審議, 建設, 物流, 反応, 工事, 研究費, それ, 支援, 融資, 交通機関, 飛行機, 行動, 流れ, 句, 連勝, 生産, 支払い, 時間, 発行	エレベーター, 輸入, 供給, 思考, 回路, 処理, 呼吸, ポンプ, 動き, 列車, 原子炉, 成長, 車, 輸出, 機能, エンジン, 活動, 自動車, 再生, 運転, 作業, 心臓, 支給, サービス, 事業, 使用, 利用

表 7 を見ると、「ストップ」の特徴目的語において「試合」や「物流」、そして「支援」など、意味的には「抵抗の大きいもの、または進行中の動作」を表す語が多いである。それに対して、「停止」の特徴目的語においては、「列車」や「エンジン」など機械に関わる名詞、そして、「心臓」や「呼吸」など身体の機能に関わる名詞など、「抵抗の小さいもの」を表す語が多いである。以下、具体的な用例を示す。

- (5) 春先なのに数十年ぶりの大寒波がおとずれ、雪がふりはじめ、やがて猛吹雪にかわって、多くの交通機関がストップし、もちろん飛行機もとばず、三日後によく雪がやんでもなお、町全体が白く凍りついたようになっていたから、曇天の雲間にひっそりとあらわれたこの夕陽の下の光景は、なおのこと美しく夢幻的に見えたのかもしれない。(LBo2_00085)
- (6) 明らかにコントラへの支援をストップさせるべきであり、アメリカ合衆国の政策に抵抗すべきです。(LBo1_00005)
- (7) 現在、ヨーロッパの多くの国が、移民の流れをストップしようとしています。(PB35_00199)
- (8) これを田辺海上保安部通信所が受信したが、感度が非常に微弱であり、さらに、浸水で発電機が停止しバッテリー使用による送信であったため約3分で通信が途絶えてしまったことなどから、L号の遭難位置は野島埼の南方としか確認できなかった。(LBg5_00015)
- (9) けがや急病などで呼吸や心臓が停止してしまった場合、人工呼吸や心臓マッサージは、知識がないとできません。(OP15_00002)
- (10) コンピュータの盗難を理由にページは事務所の仕事をすべて停止した。(PM32_00102)

例を見ると、「ストップ」は「抵抗の大きいもの、または進行中の動作を意図的に止める」という意味を持ち、また、名詞用法と似ているように「とめるその行動」を強調していることがわかった。たとえば例(5)では、交通機関は雪であっても維持されるべきであり、本来、交通機関を中断させることは回避されるべきである(このことは、交通機関の中断に対する心理的な抵抗感につながる)にもか

かわらず、雪の影響により、やむなく、交通を止めたことがここから示唆される。また、例(6)では、これまでずっと続けてきた支援について、普通継続するのが自然であるが、それを止めるにはコントロールからも大きな抵抗が受けられると考えられる。例(7)についても、強い意志で入って来ようとする移民を無理やりカットアウトするため、大きな抵抗が受けられたと考えられる。

それに対して、「停止」の場合、「抵抗の小さいもの」とまっている状態」を指すことが多い。たとえば、例(8)について、止まった主体は発電機となり、「止めたくない」という意図が発電機にはないため、ここでは「停止」が選ばれた。また、例(9)のようにすでにけがや病気があり、それが原因で心臓が自然に止まったということを表し、特に抵抗が受けていないため、ここでは「停止」が選ばれた。

このように、「ストップ」は「被害の可能性がある中、受けられた抵抗に打ち勝って、突然、無理やり止めること」を強調しているのに対して、「停止」は「物事が自然に止まっていくこと」を表現することが多い。

8.4 まとめ

以上、本章は(1)使用頻度、(2)品詞性、(3)使用ジャンル、(4)共起語という4つの観点から、外来語「ストップ」とその類義漢語「停止」の意味機能の使い分けの解明を試みた。本章で得られた知見は以下のようにまとめられる。

使用頻度:

語彙素単位で品詞を不問する場合、「停止」は「ストップ」より2倍以上使用される。…8.3.1 節

品詞(活用)タイプ:

(1)2語ともに動詞用法より名詞用法の方が多いが、「ストップ」の名詞用法の比率は「停止」より10%多い。

(2)「ストップ」は使役態が多く、「強制的・意図的」を含意しているのに対し、「停止」は受け身形が多く、「状況受け身的・必然的」という意味を含んでいる。…8.3.2 節

使用ジャンル:

(1)「ストップ」はジャンルへの偏りが小さく、より砕けた文脈で好まれる。

(2)「停止」はジャンルへの偏りは「ストップ」より大きく、公的な文脈で好まれる。…8.3.3 節

共起語:

(1) 名詞として使用する場合、「ストップ」は瞬時性を強調し、「とめるその動作」を表しているのに対し、「停止」は一定の時間の継続性を許容し、「止まっている状態」を表している。

(2) 動詞として使用する場合、「ストップ」の特徴目的語には、意味的に「抵抗の大きいもの、または進行中の動作」を表す語が多いのに対して、「停止」の特徴目的語においては「抵抗の小さいもの」を表す語が多い。また、「ストップ」は「抵抗の大きいもの、または進行中の動作を意図的に止める」という意味を持ち、「とめるその行動」を強調しているが、「停止」は「抵抗の小さいもの」となっている状態を指すことが多い…8.3.4 節

このように、外来語「ストップ」とその類義漢語「停止」が使い分けられている。すでに述べたように、現存の辞書において、「ストップ」と「停止」の使い分けについてほとんど論じていない。以下は第 2 節でも示した『大辞林』と『新明解』の意味記述を示したものである。

表 8 辞書における「ストップ」と「停止」の意味(再掲)

	『大辞林』	『新明解』
ストップ	(名) スル ①とまること。とめること。やめること。「雪で電車がー」「作業のーを命じる」 ②「とまれ」の信号。 ③オルガンなどの音栓。	[ーする] ①[ーする]止まること。「ノンストップ」 ②止まれ(のしるし)「連勝にストップをかける」
停止	(名) スル ①動いていたものがとまること。また、とめること。「ー信号」「心臓がー」 ②していたことをやめること。また、やめさせること。「拝観ー」「貸し出しをー」	[ーする] ①[移動しているものが]途中で止まること。 ②活動をやめ(させ)ること。

これらは、一定の信頼性のある記述でありうるが、表 8 を見るだけでは、「ストップ」と「停止」の使い分けの基準について、とくに外国人日本語学習者からすると、はっきりとは理解できない。これを改善するには、たとえば表 9 のような記述が考えられる。

表 9 新しい辞書記述の提案

	新しい辞書記述の提案
ストップ	ジャンル: ★ブログ・雑誌 ☆新聞や広報紙 ×法律 ★★★☆名詞: <瞬時的にとまる>という動作を強調している [ドクターストップ, アイドリングストップ, ワンストップ行政, ストップ高] ★☆☆動詞: <抵抗が大きい物事・進行中の動作>を<意図的・強制的>にとまる [連敗をストップ, 供給をストップ, 支払いをストップ]
停止	ジャンル: ★★法律 ☆新聞 ★★★名詞: <とまっている>状態を強調している [利用停止, 出場停止, 心肺停止, 停止処分, 停止状態] ★★動詞: <抵抗の小さい物事>を<自然的>にとまる [活動を停止, 機能を停止, エンジンを停止, 呼吸を停止]

表 9 で示したように, 本章で得られた「ストップ」と「停止」に関わるジャンルの情報や品詞の情報, そして, 具体的な使用選好などを加えることで, 2 語の使い分けがより分かりやすくなるのではないかと考えられる。

以上, 本章は意味論的観点から「ストップ」と「停止」の 2 語をサンプルとしてその意味機能の使い分けを解明した。そこから, 外来語とその類義漢語の間には違いが存在することが示唆された。ただし, 本章は以下のような課題も残されている。1 点目は, 外来語とその類義漢語の 1 ペアしか見られていない点である。学習者に外来語とその類義漢語の違いを説明するためには, より多くのペアを取り上げて, 本章のような詳細な分析が必要であろう。2 点目は, 母語話者の内省を組み込んで調査していないということである。これらの点については, 今後の継続研究において対応を図っていきたい。

第9章 形態論的特性:表記ゆれの問題

9.1 はじめに

本論文の第Ⅱ部においては、非和語系語彙の言語特性を、(1)重要語抽出、(2)統語論、(3)意味論、(4)形態論、(5)語用論という5観点から調査するが、すでに第5章において、重要語抽出という観点から、「重要漢語」2865語、「重要外来語」1612語、あわせて「重要非和語系語彙」4477語を特定した。また、第6章と第7章において、統語論的観点から非和語系語彙と他の体言との接続現象に注目して調査を行った。具体的には、第6章において、非和語系語彙に後続する「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的 ϕ 」・「的ナ」という5つの連体修飾標識の許容性がどのように異なるか、また、その意味機能にどのような影響が生じるかを解明した。第7章において、類似した形式を持つ「ナ」と「ノ」に絞り、許容度調査と2標識の選択モデルの構築を行った。第8章において、意味論的観点から、類義漢語・外来語の使い分けの問題に注目し、外来語「ストップ」とその類義漢語「停止」を例としてその意味機能の使い分けを解明した。本章は、形態論的観点に注目して、非和語系語彙の表記ゆれの問題について調査を行っていきたい。

日本語には、漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベットなど多様な文字が存在するが、非和語系語彙について言うと、漢語は漢字で表記され、外来語はカタカナで表記されるのが一般的である(『新版日本語教育事典』(2005)など)。しかしながら、実際の日本語において、非和語系語彙の表記は必ずしもこのようなルールに従うものではない。以下は、BCCWJからの用例である。

- (1) 夜景を綺麗に撮るには、暗いところはしっかりと真っ暗に写す必要があります。
(PB17_00273)
- (2) きれいに焼き目のついたお豆腐ステーキともなれば、なんだかプロっぽくも出てくるから不思議だ。(PB27_00199)
- (3) みなさま、キレイへのチャンスですよ！是非この機会にみなさまもご体感され、「肌キレイになったね」と褒められ、一緒ににやけましょう！(OY14_39131)

上記の例を見るとわかるように、同じ漢語「綺麗」に対して、漢字で表記されるだけでなく、ひらがな(例2)やカタカナ(例3)で表記される場合もある。このように、日本語の中には、ある単語の表記について文字間のゆれが存在する。

さらに、同じ文字種で表記される単語にもゆれが見られる。たとえば、以下のような用例が見られる。

(4) ヘッドを九十度左に倒して極端にフェースをかぶせた状態にしてから、グリップを握るのです。

(PM41_00195)

(5) ほわーっとしたベビーフェイスから、ビシッとメリハリのきいた女の表情になる(LBi9_00021)

上記を見ると、同じカタカナで表記される外来語「フェース」(face)に対して、「フェース」(例 4)のように長音で表記される場合もあれば、「フェイス」(例 5)のように連母音で表記される場合もある。こうした非和語系語彙の表記のゆれに関して日本語教育の観点から問題となるのは以下の 2 点である。

1 点目は、どの程度の語彙についてゆれが存在するのかがはっきりしないということである。もしゆれが少数しか存在しないのであれば具体例を直接学習者に教えるのが有効だが、ゆれが多数存在する場合、具体例を学習者に覚えさせるのは非効率的で、ゆれの発生する法則やルールを学習者に教える必要がある。

2 点目は、異なる表記の間に使い分けが存在するかどうか不明だということである。表記の選択が意味機能的な使い分けによるものではなく個人の選好によるのであれば、学習者に当該語に関して表記のゆれが存在するという事実だけを伝えれば十分であるが、異なる表記間に意味機能の上での使い分けが存在する場合、各表記が持つニュアンスの違いを学習者に教えることが必要になってくる。

上記をふまえ、本章は、(1) 非和語系の重要語彙について表記のゆれがどの程度存在しているのか、(2) ゆれが存在する語彙について、異なる表記間でのニュアンスの違いが存在するかどうかを調査する。

なお、非和語系語彙の表記の問題については、3.4 節で概観したように、すでに多くの先行研究が存在する。先行研究は様々な知見を示しているが、(1) それぞれの研究が異なるデータを用い、異なる調査対象を扱っているため、統合的な説明に達していない、(2) 特殊表記の存在するものだけを取り上げた分析はあるが、その前提として特殊表記の発生確率を調べた研究は少ない、(3) ほとんどの先行研究では多種の品詞を混ぜて調査しており、品詞別の観察は十分ではない、(4) 教育的応用の視点が十分にふまえられていない、といった課題も残る。本章は、これらの点で新たな知見を得ることを目指す。

9.2 リサーチデザインと手法

9.2.1 調査対象

漢語・外来語の表記ゆれを議論する際、留意すべきは、漢語と外来語ではゆれの出方が異なるということである。漢語は漢字・ひらがな・カタカナ間でのゆれが生じやすいが(例:絶対・ぜったい・ゼッター), 外来語をひらがなや漢字で書くことは少なく、文字種のゆれよりもカタカナ表記法上のゆれが生じやすい(例:電子メール／電子メイル)。そこで本章は、非和語系語彙の表記の問題として、漢語については文字種間の表記ゆれの問題を、外来語についてはカタカナ表記上のゆれの問題を取り上げて調査を行う。

このうち、漢語の表記ゆれは、名詞や動詞よりも副詞類において生じやすいと考えられるため(間淵(2017)), 本章では、副詞(例:「勿論」)と、副詞的に使用できる形状詞(形容動詞語幹部分。例:「奇麗(に)」)に絞って調査を行う。

また、外来語の表記ゆれについては、語末長音表記のゆれ(コンピューター／コンピュータ), [v]音表記のゆれ(バイオリン／ヴァイオリン), [ti]音表記のゆれ(プラスチック／プラステック), 二重母音[ei]表記のゆれ(メール／メイル)などが存在する。第5章で抽出した重要外来語リストを用い、原語における綴りを手掛かりとして、それぞれの表記ゆれの発生確率を簡易推定したところ、2重母音[ei](原語に「ei」, 「ai」, 「ea」, 「a*e」, 「ay」のいずれかを含むものが計290種) > 語末長音(原語の語尾は「er」, 「or」, 「ar」, 「y」のいずれかであるものが計268種) > [v]音(原語に「v」を含むものが85種), [ti]音(原語に「ti」を含むものが71種)という順になった。数で見ると2重母音「ei」と語末長音のゆれが多いことになるが、このうち、語末長音についてはすでに広く調査がなされている(小椋(2014)など)ため、本研究は、先行研究において十分に扱われていない2重母音[ei]を調査対象としたい。

9.2.2 研究目的とRQ

本章は重要非和語系語彙に対して、(1)表記のゆれがどの程度存在しているのか、(2)表記選択に影響する要因はどのようなものか、(3)表記のゆれが存在する語彙について異なる表記に意味やニュアンスの違いが存在するかを調査する。

上記をふまえ、漢語・外来語の各々につき、以下のような課題を設定した。それぞれRQ1とRQ2では全体傾向を概観し、RQ3ではサンプル語を決めて用法を調査する。

第1課題(漢語副詞・形状詞)

RQ1 (A)対象漢語全体の仮名表記率ほどの程度か？(B)仮名表記率の高い／低い漢語にはどのようなものがあるか？(全体傾向)

RQ2 仮名表記選択の言語的要因は何か？(選択要因)

RQ3 漢語「奇麗」が仮名表記された場合、どのような意味特性が生じているか？(実例調査)

第2課題(二重母音[ei]を含む外来語)

RQ1 (A)対象外来語全体の連母音表記率ほどの程度か？(B)連母音表記率の高い／低い外来語にはどのようなものがあるか？(全体傾向)

RQ2 連母音選択の言語的要因は何か？(選択要因)

RQ3 外来語「プレーヤー」が連母音表記された場合、どのような意味特性が生じているか？(実例調査)

9.2.3 データ

本章では、BCCWJ を利用する。また、調査する語彙の範囲は、第5章で抽出された重要語彙に限定する。

9.2.4 手法

9.2.4.1 第1課題(漢語)

すでに述べたように、ここでは、第5章で抽出された重要漢語 2865 語のうち、仮名表記が生じやすいと想定される形状詞と副詞に調査対象を絞る。形状詞については、BCCWJ における品詞タグが「形状詞」から始まるもの(「形状詞_一般」「形状詞_一般, 副詞」「形状詞_一般, 名詞_普通名詞_サ変可能」「形状詞_一般, 名詞_普通名詞_一般」「形状詞_一般, 名詞_普通名詞_副詞可能」)を抽出した。副詞については、品詞タグが「副詞」から始まるもの(「副詞」「副詞, 形状詞_一般」「副詞, 形状詞_一般, 」「副詞, 形状詞_一般, 名詞_普通名詞_一般」「副詞, 名詞_普通名詞_サ変可能, 形状詞_一般」「副詞, 名詞_普通名詞_一般」「副詞, 名詞_普通名詞_一般, 形状詞_タリ」「副詞, 名詞_普通名詞_一般, 名詞_普通名詞_サ変可能」「副詞, 名詞_普通名詞_形状詞可能」)を抽出した。これにより、調査対象語は 131 語(そのうち、漢語副詞 32 語、漢語形状詞 99 語)となった。なお、BCCWJ における品詞ラベルは形態論情報に基づくもので、必ずしも個々の漢語の使用実態や用法に基づいたものではないが(間淵, 2017)、本研究では品詞ラベルを個々の語のとりうる品詞の典型と見なす。

RQ1 について、まず、個々の調査対象語に対して、仮名表記された用例の数と、漢字表記された用例の数を数え、分析の基礎資料とした。なお、仮名表記といっても、ひらがなとカタカナの両方が考えられるが、本研究はこれらを合わせて仮名表記と呼ぶ。また、2種の表記の中では漢字表記がデフォルトで、仮名表記が特殊形であると考えられることから、仮名表記頻度を全体頻度で割って、仮名表記率を算出した。分析は、(1)全体における仮名表記率と漢字表記率の調査、(2)異なる仮名表記率ごとの該当漢語の調査、という2段階で進める。

RQ2 について、漢語の仮名表記に影響を及ぼす要因としては、漢字・音韻・意味など、様々なものが考えられる。具体的には以下の表1のようにまとめられる。

表1 想定される仮名表記の影響要因

要因		先行研究	本研究における扱い	
漢字特性	a. 漢字制限	斎賀(1955), 土屋(1976), 吉村(1982), 中山(1998), 堀尾他(2005), 間淵(2017)	○	
	b. 漢字と意味の分離	吉村(1982), 堀尾他(2005), 奥垣内(2010)	×	この点については計量的客観的に処理することが難しく、先行研究においても筆者の判断に頼るものが多かったため、RQ2において扱わないこととする。なお、RQ1において、仮名表記率の高いものと低いものを例として取り上げてこの点について見ていきたい。
	c. 親密度	間淵(2017)	○	
	d. 画数		○	この点については漢字制限と似ている部分もあるが、表内漢字であっても画数の多いものと少ないものがあり、一般に、画数の多いものは仮名表記しやすいと考えられるため、本研究はこの点についても調査を行うこととする。
音韻特性	a. 表外音訓	堀尾他(2005)	○	
	b. 音転訛形／ことばの音声が際立つ	間淵(2017), 喜古(2007), 成田他(2004), 柏野(2014)	○	
意味特性	a. 第1義でない場合	中山(1998), 柏野(2014)	×	個々の語の使用実態や用法を調査することになるため、RQ3の実例調査において扱うこととする。
	b. 意味に特別のニュアンスや効果を持た	斎賀(1955), 土屋(1976), 吉村(1982), 中山(1998),	×	

	せる	成 田 他 (2004) , 喜 古 (2007), 柏野(2014)		
	c. 意味分野	則松他(2006)	○	
	d. 語義分野	斎賀(1955), 間淵(2017)	×	先行研究において動植物名や植物などに関連する語彙の仮名表記率が高い傾向にあることが報告されたが, 本研究は副詞化しやすい漢語(副詞・形状詞)に絞ったため, これらの語彙分野に該当する語彙が少ないと考えられるため本研究は調査しないこととする。
使用環境	a. カタカナで書く習慣のあるもの(たとえば, 地名や人名, 動植物名, 擬声擬態語, 医学・衛生関係の語など)	斎賀(1955), 土屋(1976), 成 田 他 (2004) , 堀 尾 他 (2005), 柏野(2014)	×	これらの観点について, 実際の文脈に踏まえて, 個々の語の使用実態や用法を調査することになるため, RQ2 において扱わないこととする。なお, RQ3 の実例調査において具体的な漢語を取り上げて見ることとする。
	b. 分野(ジャンル) 差	小 椋 (2012), 増 地 (2013), 柏野(2014), 間淵(2017)	×	
	c. 表記上きわだたせるもの	吉村(1982), 中山(1998), 堀尾他(2005)	×	
	d. 表記の段階で他とのバランスを考えたと思われる場合	中山(1998)	×	
	e. 品詞性	吉村(1982), 金城(1998), 間淵(2017)	×	
個人習慣	執筆者個人の習慣	斎賀(1955)	×	本研究においては個人差を扱わないこととする。

上記をふまえ, RQ2 では, (1)漢字の特性(a.漢字制限, b.親密度, c.画数), (2)音韻特性(d.表外音訓, e.音転訛形), (3)意味特性(f.意味分野), の 3 つを取り上げて調査を行う。具体的な調査手法は以下の表 2 のようになる。

表 2 各影響要因および調査手法

観点		手法
漢字の特性	a.漢字制限	<u>『常用漢字表』にある漢字であるかを調べる。</u> たとえば, 「勿論」であれば「勿」は表外漢字となる。
	b.親密度	<u>ある語は日本語語彙における重要度や親密度と相関がある(天野・近藤(2000)など)ため, ここでは, 親密度を代表する指標として, 各漢語の BCCWJ における頻度をあげる。</u> たとえば, 「到頭」であれば, BCCWJ における頻度は 1889 である。
	c.画数	<u>漢語を構成する 2 文字の画数を数える。</u>

		たとえば、「到頭」であれば、「到」は 8 画、「頭」は 16 画であるため、合わせて 24 画となる。
音韻特性	d.表外音訓	『常用漢字表』にある読み方であるかを調べる。 たとえば、「到頭」であれば「到(とう)」と「頭(とう)」の両方とも『常用漢字表』に載る読み方であるため、2 文字とも表内音訓となる。
	e.音転訛形	この漢語の通常の発音と違う発音で仮名表記されている用例の頻度を調査する。 たとえば、「一杯」であれば「いっぱい」と発音すべきが、「三歳なんてまだまだいーぱい甘えたい時期ですよ」(OC10_01007)という用例においては「いーパイ」と発音するため、これは音の転訛形の 1 例として数える。
意味特性	f.意味分野	個々の語について語義分類を調査する。語彙分類については、国立国語研究所が刊行した『分類語彙表』に準ずる。なお、『分類語彙表』では、まず、「体の類」(名詞の類),「用の類」(動詞の類),「相の類」(形容詞・形容動詞・副詞・連体詞の類),「その他の類」(一部の副詞, 接続詞, 感動詞)という 4 つに分類し, それから, 意味的に大きなまとまりである〈抽象的關係〉〈人間活動の主体〉〈人間活動—精神および行為〉〈生産物および用具〉〈自然物および自然現象〉という 5 つの部門に分類している。さらに, 部門より小さい意味的なまとまりを示すために, 《様相》や《量》などのような中項目 50 個(類を区別しない場合)を設けている。ここでは, まずより大きなまとまりである部門と仮名表記率の関係を概観してから, より小さいまとまりである中項目と仮名表記率の関係を見ていく。 たとえば, 「到頭」であれば, 語義部門は〈抽象的關係〉であり, 中項目は《時間》である。

RQ3 について, RQ1 で計算された仮名表記率が 30%~70%にある漢語のうち, 重要度ランキングもっとも高い「奇麗」をサンプルとして調査する。分析は, (1) 分野, (2) 品詞用法, (3) 共起語という 3 つの観点について, 仮名表記と漢字表記において使い分けがあるかを調査する。

まず, (1) について, 表記ごとに, 韻文を除いた 12 ジャンルにおける出現頻度を数える。なお, 「出版・書籍」, 「図書館・書籍」, 「特定目的・ベストセラー」という 3 つのジャンルについては同じく書籍に分類する。

(2) について, 各用法で使った各表記の数を数える。個々の表記が具体的にどのように使われているかについて, 本研究は実際のデータを観察し, 筆者がラベリングしていく。具体的には以下の 5 種にまとめられる。

[[kirei]+ナ+名詞] (以下, 「ナ」用法と略称する): (6) 春と言えば桜なんです, 先日実家の庭に咲いていた桜草もなかなかきれいな花です。(OY14_50717)

[[kirei]+ニ+動詞] (以下, 「ニ」用法と略称する): (7) 止んだ後は, 空気も新鮮だし, 町もきれ

いになるし、人々の気分はたいへんよくなる。(LBk3_00042)

[[kirei]+だ](以下、「ダ」用法と略称する):(8) 空から見たけしきはきれいだった。

(PB53_00335)

[名詞用法]:(9) 本当のキレイを手に入れるために、「美肌キープの法則」をお教えます。

(PB3n_00099)

[定型句用法]:(10) サーフな気分を取り入れたきれいめな着こなしが新鮮。(PM31_00861)

最後に、(3) 共起語について、個々の用例における「奇麗」の共起語について調査していく。なお、共起語と言っても前後の様々な要素が含まれると考えられるが、ここでは、連体用法で使われている時に「奇麗」の後ろに来る体言(例(6)における「花」と、連用用法で使われている時に共起する動詞(例(7)における「なる」)、そして、述語用法で使われている時にその句の主語(例(8)における「景色」)という 3 つの共起語に注目し、それぞれを抽出して頻度を数える。

なお、連体用法で使われている時に注目すべきは、以下のような用例であった。

(11) きれいな(青緑色のネクタイ)も、あらぬ方向に曲がって凍りついていた。

(12) 色でいうと、通常レバーは赤みがキレイな(小豆色のもの)が最高だ。

上記のいずれについて、A:(きれいな青緑色)のネクタイ、(キレイな小豆色)のもの、および、B:きれいな(青緑色のネクタイ)、キレイな(小豆色のもの)という 2 種の解釈が可能であるが、本研究はもっとも直接に修飾がかかる「青緑色」と「小豆色」を共起語として抽出する。

9.2.4.2 第 2 課題 (外来語)

まず、調査対象語の抽出について、第 5 章で抽出された重要外来語 1,612 語をすべて原語に書き換える。その後、日本語で二重母音「エイ」と発音される可能性があるスペル文字列である ei (**weight** など), ai(**mail** など), ea(**steak** など), a*e(**make** など), ay(**delay** など)の 5 種を含む語を抽出する。その後、個々の語について、日本語形態素辞書 UniDic の登録を確認し、長音(「ー」)または「エイ」のいずれかの表記が登録されているものをさらに抽出した。これにより、調査対象語は 95 語となった。

RQ1 について、まず、個々の調査対象語に対し、長音表記された用例の数と、連母音表記された用例の数を数え、分析の基礎資料とした。また、2 種の表記の中では長母音がデフォルトで、連

母音が特殊形であると考えられることから、連母音表記頻度を全体頻度で割って、連母音表記率を算出した。分析は、(1)全体における連母音表記率と長音表記率の調査、(2)異なる連母音表記率ごとの該当外来語の調査、という2段階で進める。

なお、連母音表記率の高低判断については、小椋(2015)では、ゆれの見られない語は「固定」、一方の表記が8割以上を占めている語は「独占」、それ以外を「ゆれ」という枠組みを示している。この分類は一定の有用性があるが、2表記ゆれているものが20%~80%という幅広く範囲に捉え、細かい表記率のずれを見るにはやや緩いと考えられる。そこで本研究は、この枠組みをさらに精緻化し、10%単位での議論を行うこととした。

RQ2 について、連母音表記に影響する要因として、先行研究において以下の表3のようにまとめられる。

表3 想定される連母音表記の影響要因

観点		先行研究	本研究における扱い	
原語特性	借入時代	荻野(2014)	○	先行研究において、借入時代が遅いと連母音表記する傾向があると述べられたが、具体的な検証が行われていない。本研究は個々の外来語の借入時代を調査して検証を行っていく。
	原語出自	宮島・高木(1984)	○	先行研究は長音表記全体に対する調査であり、必ずしも[ei]表記の傾向になるとは限らないため、本研究は個々の外来語の出自を調査して検証を行っていく。
	原語のスペル		○	二重母音[ei]と発音したものは原語におけるスペルが様々あり、アルファベット2文字(ai,ea,ei,ay)で2重母音と発音するものもあれば、アルファベット1文字(a*e)で2重母音と発音するものもある。 ○ 原語のスペルができれば反映されたいという観点から見れば、アルファベット2文字である外来語は連母音表記と表記しやすく、アルファベット1文字である外来語は長音表記しやすいのではないかと考えられるため、この点について調査を行うこととする。
音韻特性	モーラ数		○	
	2重母音の位置	宮島・高木(1984)	○	先行研究では、2重母音は語尾にあるか語頭にあるかを調査したが、本研究は二重母音が個々の語の何拍目で出現しているかを調査し、全体のモーラ数で割った相対位置を用いて検証を行う。
	日本語の発音	宮島・高木(1984)	○	先行研究は子音があるかどうかを調査したものであり、子音のタイプなどについて調査は行われていないため、本研究はさらに子音のタイプは表記に影響されるかも調査する。

意味特性	意味差	小椋 (2015)	○	RQ1 では、①個々の単語の語義数、および、②類義漢語(和語)存在の比率を調査して検証を行う。 RQ2 では、異なる表記が多用される語義に統計的な差があるかを調査して検証する。
使用環境	分野差	小椋 (2015)	○	先行研究において、書籍や雑誌など大きいジャンル間の差を調査したが、同じ書籍であっても、工学や文学などの間にも大きな差異があるものも存在すると考えられる。本研究の RQ2 においてはさらに細かい分野を調べる。

上記に基づき、本研究は(1)原語特性(a.借入時代, b.原語出自, c.原語のスペル), (2)音韻特性(d.モーラ数, e.2 重母音の相対位置, f.子音タイプ), (3)意味特性(g.語義数, h.類義語保有語義比率)の3つを取り上げて調査を行う。具体的には以下の表4のようになる。また、これらの要因は連母音表記率とどの程度相関しているかを相関分析で検証する。なお、c.子音タイプ, d.借入時代, e.原語の出自, f.原語のスペルという4つの観点について、得られたデータの尺度は名義尺度であるため、この4つの観点については検定をかけないこととする。

表4 各影響要因および調査手法

観点		手法
原語の特性	a.借入時代	『外来語の語源』における個々の外来語の借入時代を調査する。 たとえば、「ペイント」であれば借入時代は明治時代である。
	b.原語出自	『外来語の語源』における個々の外来語の原語の出自を調べる。 たとえば、「ペイント」であれば出自は英語となる。
	c.原語のスペル	原語のスペルにおいて、スペル文字列は <u>ei(weight など)</u> , <u>ai(mail など)</u> , <u>ea(steak など)</u> , <u>a*e(make など)</u> , <u>ay(delay など)</u> のいずれにあたるかを調査する。 たとえば、「ペイント」であれば「ai」にあたる。
音韻特性	d.モーラ数	モーラの数进行数える。 たとえば、「ペイント」であれば4モーラとなり、「プレイヤー」であれば5モーラとなる。
	e.2 重母音の相対位置	<u>二重母音に当たる長音表記(ー)あるいは連母音表記(イ)は全単語の何拍目にあるかを数え、その数を全単語の拍数で割って計算する。</u> たとえば、「ペイント」であれば2拍目に二重母音「イ」が来るため、相対位置は $2/4=0.5$ と算出する。
	f.子音タイプ	調音点 <u>2 重母音[ei]にあたる音節の子音の調音点によって分類を行う。具体的には、両唇音、軟口蓋音、歯茎音、子音がないという4つに分類する。</u> たとえば、「ペイント」であれば、2 重母音[ei]にあたる音節の子音は[p]であるため、調

			音点は両唇となる。
		調音法	<u>2 重母音[ei]にあたる音節の子音の調音法によって分類を行う。具体的には、摩擦音、鼻音、破裂音、弾き音、子音がないという 5 つに分類する。</u> たとえば、「ペイント」であれば、2 重母音[ei]にあたる音節の子音は[p]であるため、調音法は破裂となる。
意味特性	g. 語義数		<u>個々の語を『広辞苑国語辞典』(第 7 版)・『大辞林』(スーパー大辞林 3.0)・『新明解国語辞典』(第 6 版)・『用例でわかるカタカナ新語辞典』(改訂第 4 版)の 4 種の辞書で調べ、記載された語義数の平均値を取る。</u> たとえば、「ペイント」であれば、『広辞苑国語辞典』における語義数は 1、『大辞林』における語義数は 2、『新明解国語辞典』における語義数は 1、『用例でわかるカタカナ新語辞典』における語彙数は 2 であるため、平均値は 1.5 となる。
	h. 類義語保有語義比率		<u>全語義のうち、類義語(漢語または和語)を有する語義の比率を計算する。具体的には、個々の語を『大辞林』(スーパー大辞林 3.0)で調べ、どのぐらいの語義について類義の漢語や和語を訳語として提示しているかを数え、その数を語義の総数で割って算出する。</u> たとえば、「プレーヤー」の場合、「①競技をする人。競技者」、②「演奏者」、③「レコード盤や CD などの音響再生装置」という 3 つの語義があるが、その中、語義①と語義②は類義の漢語を持っているため、類義漢語(和語)の比率は $2/3=0.67$ となる。

RQ3 について、RQ1 の分類にて「2 表記ゆれているもの」に属するものの中、重要度ランキングもっとも高い「プレーヤー」をサンプルとして調査を行う。具体的には、この語について、各分野で使った 2 表記の用例の数と、各語義で使った 2 表記の数(筆者が目視してラベリングした)を数える。また、分野間と語義間において統計的な差異が存在するかについてカイ二乗検定を用いて検証する。

なお、各辞書における「プレーヤー」の意味を確認した結果、以下のような表 5 が得られた。

表 5 各辞書における「プレーヤー」の語義

辞書	語義
『広辞苑』(第 7 版)	1. 競技者。2. 演技者。演奏者。 3. レコード・プレーヤー・CD プレーヤーなどの略。
『用例でわかるカタカナ新語辞典』(改訂第 4 版)	1. 《音》《劇》《人》演奏者。演技者。 2. 《スポーツ》競技者。 3. 《音》CD やレコードなどの再生専用機。
『日本国語大辞典』	1. スポーツ競技の選手。球技についていうことが多い。2. 演奏家。

(第2版)	3. レコード盤, 光ディスクなどを開店させて音声や映像を再生する機器。装置。
『デジタル大辞泉』	1. 競技者。2. 演技者, 俳優。3. 演奏者。 4. トランプやコンピューターゲームなどの遊戯に参加している人。 5. 金融市場などに参加している人や組織。 6. 記憶媒体に収められた映像や音声などを再生するための装置の総称。

上記から, いずれの辞書において出現する語義をまとめると, 以下の6種が挙げられる。

-
1. 競技者。
 2. 演技者, 俳優。
 3. 演奏者。
 4. トランプやコンピューターゲームなどの遊戯に参加している人。
 5. 金融市場などに参加している人や組織。
 6. 記憶媒体に収められた映像や音声などを再生するための装置の総称。
-

筆者が目視した結果, 今回のデータにおいて, 上記のいずれの語義の出現が確認した。以下, 具体的な例を挙げる。

競技者: (13) ただし, 攻撃側センタープレイヤーの手からセットプレーのボールが離れた地点から防御に出ることができる。(LBm7_00035)

演技者, 俳優: (14) 地味な印象だが, 新選組の活動を支え続けたバイプレイヤー。(LBs2_00072)

演奏者: (15) NYでの演奏を聴いたある人からサックスプレイヤーとして再度活躍するように勧められた阿川。(OY14_05585)

トランプやコンピューターゲームなどの遊戯に参加している人: (16) 1996年の2月27日に, 第一作「ポケットモンスター赤・緑」がゲームボーイソフトとして発売されてから, 国内でも海外でも数千万本も売れるという大ヒットのゲームです。プレイヤーは冒険の旅へ出て, ポケモンたちをつかまえます。(LBt6_00004)

金融市場などに参加している人や組織: (17) ただ, ベンチャー立ち上げの重要性をアピールするだけではなく, 上記スパイラルを効果的に回すキープレイヤーとしてのベンチャーの役割が正しく理解されなければ, 立ち上がれど成長せずで終わる可能性が心配されます。

(PB35_00202)

記憶媒体に収められた映像や音声などを再生するための装置の総称: (18) 秀治は食堂からロビーに移り, 購入してから十五年はたっている古いレコードプレーヤーのスイッチを入れようとしているところだった。(LBk9_00027)

そこで本研究は, 上記の 6 種の語義分類に基づき分析を行っていく。

9.3 結果と考察

9.3.1 第 1 課題(漢語)

9.3.1.1 RQ1 全体傾向

まず, (A) 対象漢語(副詞・形状詞)全体の仮名表記率について, 以下の結果が得られた。

図 1 漢語の仮名表記トークン率

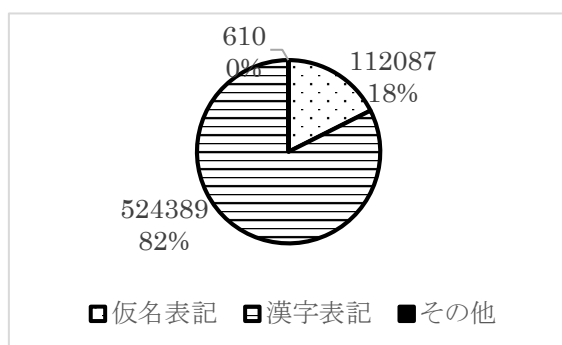


図 2 漢語の仮名表記タイプ率

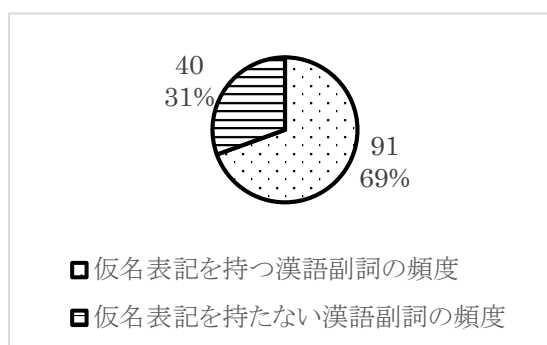


図 1 と図 2 を見ると, 延べ 637,086 回の漢語使用のうち, 18%が漢字以外の仮名で表記されている。また, 全 131 種の漢語のうち, 69%に達する 91 種の語で, 漢字以外の仮名で表記する場合があることが確認された。先行研究の多くは, 仮名表記が存在する語彙を対象として調査したもので, 漢語の仮名表記が全表記に占める比率, そして仮名表記が存在する漢語は全漢語に占める比率について報告したものはほとんどなかったが, 今回の結果から見ると, 漢語副詞・形状詞に絞った場合, 仮名表記は全表記の 2 割程度, 仮名表記を持つ漢語の数は全漢語の 7 割程度を占めており, 普通に見られる現象であることが確認された。

次に, (B) 仮名表記率の高い／低い漢語に関して, 以下の結果が得られた。

表 6 各階級に属する漢語

連母音 表記率	語数	外来語(見出しは BCCWJ の語彙素表記に従う)
100%	0 語	
90%～	4 語	到頭, 精々, 勿論, 折角
80%～	4 語	丁度, 段々, 大分, 沢山
70%～	4 語	一杯, 無論, 大抵, 一旦
60%～	3 語	随分, 奇麗, 是非
50%～	1 語	多分
40%～	4 語	到底, 一体, 早速, 曖昧
30%～	2 語	一層, 一向
20%～	3 語	余計, 丁寧, 結構
10%～	4 語	一番, 全然, 大変, 立派
0%～	62 語	頻繁, 地味, 丈夫, 簡単, 依然, 突然, 懸命, 上手, 案外, 大切, 肝心, 別々, 大事, 夢中, 微妙, 無事, 非常, 相当, 十分, 当然, 残念, 一見, 強引, 必死, 大胆, 堂々, 奇妙, 幼稚, 特別, 新鮮, 熱心, 容易, 透明, 強烈, 不当, 有利, 貴重, 正直, 厳密, 簡易, 完全, 優秀, 豊富, 最適, 有効, 同等, 単純, 活発, 無数, 確実, 顕著, 有名, 直接, 急激, 独自, 純粹, 独特, 高度, 知的, 急速, 巨大, 重要
0%	33 語	順次, 公的, 可能, 同様, 適切, 明確, 特殊, 主要, 多様, 新規, 意外, 同一, 適正, 深刻, 高等, 正式, 重大, 単独, 健全, 不要, 法的, 的確, 有力, 温暖, 順調, 柔軟, 円滑, 迅速, 不法, 有害, 良好, 特有, 着実, 私的, 広大, 偉大, 密接, 率直, 性的, 忠実

上表に示されるように、漢語の仮名表記率は語によって 0%～99%まで、きわめて大きくぶれることが確認された。また、仮名表記を許容する漢語のうち、73%の仮名表記率は 10%未満であり、7 割以上の漢語は「局所的・例外的出現」のレベルを超えない範囲で仮名表記を使用していることがわかった。すなわち、多くの漢語に対して、仮名表記という現象は特殊なものに留まり、これらの語彙について特に 2 表記の使い分けを学習者に教える必要性が低いと考えられる。それに対して、仮名表記の高い語彙が多く存在しないため、これらの語彙について直接学習者に提示したほうが有効なのではないかと考えられる。特に漢字知識を持つ中国語を母語とする学習者について言えば漢字で表記する傾向があると考えられるが、どのようなものが仮名で表記するのがより一般的であることを教えることが非常に重要になってくる。

また、仮名表記を持つ 2 字漢語全体を調査した間淵(2017)の結果と比べると(表 7)、副詞と形容詞に絞った場合、仮名表記率の高いものが多くなり、仮名表記率 50%以上の漢語の比率は間

淵(2017)よりおよそ 1 割程度多いことが確認された。すなわち、漢語の仮名表記は、全体より副詞と形状詞のほうがより多く見られると言えるであろう。

表 7 間淵(2017)との比較

研究 \ 仮名表記率	～25%	～50%	～75%	～100%
間淵(2017)	82%	8%	5%	5%
本研究	74%	9%	7%	11%

仮名表記率の高い副詞(到頭, 精々など)の多くは, 全体の意味が, 語を構成する 2 文字の字義から抽象化しており, 個々の漢字の意味から語の意味を推測することが難しい。一方, 仮名表記率の低い副詞(順次, 直接など)の多くは, 語の意味と, それを構成する字義の関連が強く, 漢字を見れば単語の意味が推測できる。以下, 仮名表記率がもっとも高い 3 語(なお, 「勿論」についてはすでに述べたように, 表外漢字を含む点で仮名表記を選好すると考えられるため, ここでは 4 番目の「折角」を見ることとする), および, 仮名表記率がもっとも低い 3 語を例として, それぞれの副詞の意味, および, その副詞を構成する漢字の意味を見ていく。

表 8 各副詞およびそれを構成する漢字の意味

副詞		意味(『スーパー大辞林 3.0』より一部抜粋)
到頭	到頭	最終的な結果として物事が実現した, あるいは実現しなかったという意を表す。ついに。結局。
	到	(1)いきつく。いたる。(2)配慮がゆきとどく。
	頭	(1)あたま。(2)かしら。(3)祭礼・集会などの世話役。頭人。(4)律令制で, 寮の長官。
精々	精々	(1)できるだけ。一生懸命。 (2)最大限見積もってもそれが限度だという気持ちを表す。多くても。力の限り物事を行うさま。
	精	(1)生物の根元にあるもの。たましい。精霊。多く人間以外の霊魂についていう。スピリット。 (2)生命の根本にある力。心や体に備わる力。精力。(3)まじりけのないもの。
折角	折角	(1)①努力・尽力・期待が空しくなって残念に思う意を表す。 ②相手の努力・尽力・期待にこたえられなくて, 申し訳ない気持ちを表す。 ③稀にしかないこと, 幸運などが無駄になって, または, 生かせなくて惜しい, 残念だ, という気持ちを表す。 (2)十分に気をつけて。せいぜい。つとめて。
	折	(1)おる。おれる。(2)くじく。(3)責める。(4)わける。(5)死ぬ。
	角	(1)4 角。方形。また, 4 角なさま。

		(2) 1 点から出る 2 本の半直線で作られる図形。また、その開き方の度合い。角度。 (3) 将棋の駒の 1。角行。 (4) つので作った笛。中国から伝わり、古く軍隊で用いた。つのはえ。 (5) 中国・日本の音楽理論でいる 5 音のうち、低い方から数えて 3 番目の音。 (6) 28 宿の 1。(7) 紋の輪郭として使われる正方形。平角・隅入角など。
順次	順次	順序 に従って、物事をするさま。順繰り。順に。
	順	物事の先であるか後であるかの関係。
	次	序数詞。回数・ 順序 などを表す。
直接	直接	(1) 間に何も挟まず、対象に直に接するさま。 直に。そのまま。 (2) 回り道や寄り道をしないで、目的地に行くさま。まっすぐ。
	直	間に他のものが入らないこと(さま)。 直接。じか。
	接	近づく。ふれる。
正直	正直	(1) うそやごまかしのないこと。 裏表のないこと。また、そのさま。 (2) 本当のところ。正直に言って。
	正	間違いのないこと。うそでないこと。
	直	物事の関係がごく近いこと(さま)。

この点について、先行研究でも漢字本来の字義からかけ離れた語義を表す場合仮名表記を選ばれやすいと報告されたが(吉村(1982)や堀尾他(2005)など)、この要因は副詞の表記に影響する大きな要因であることが今回の調査から示唆されたといえる。

以上 RQ1 において、(A)トークンで見ると、仮名表記は全体の 20%を占めており、タイプで見ると、約 7 割の漢語が仮名表記を許すこと、(B)仮名表記を許容する漢語のうち、73%の語は仮名表記率が 10%未満であり、「局所的・例外的」な仮名表記にとどまっていること、そして、構成する 2 種の漢字の字義が抽象化され、個々の漢字から語の意味を推測しにくい漢語の仮名表記率が高いこと、などが確認された。

教育的観点から言えば、学習者に対して、(1)漢語であっても漢語表記と仮名表記の両方が存在すること、(2)多くの漢語に対して、仮名表記という現象は特殊なものに留まっていること、(3)特に漢字知識を持つ中国語を母語とする学習者に対して仮名表記率の高い漢語を明示し、これらの漢語について仮名で表記するのがより一般的であること、などを教えることが重要であると考えられる。

9.3.1.2 RQ2 選択要因

以下、RQ2 では、仮名表記を選択する要因について見ていく。すでに述べたように、本研究では、仮名表記の選択要因候補として、(A)漢字の特性(a.漢字制限, b.親密度, c.画数)、(B)音韻特性(d.表外音訓, e.音転訛形)、(C)意味特性(f.意味分野)、の 3 つを取り上げて調査した。以下、それぞれについて調査結果を示す。

(A) 漢字特性の影響

まず、a.漢字制限との関係について見ておこう。一般に、表外漢字を含む語について、漢字表記を避け、仮名表記される傾向にある(堀尾他, 2005)と報告されている。常用漢字表において上記の語彙にある文字の存在の有無を確認したところ、常用漢字表にないものは副詞「勿論」における「勿」の 1 文字しかないことがわかった。「勿論」の仮名表記率は 93.10%であり、先行研究で示したように常用漢字表以外のものは仮名表記を選好する傾向が見られるが、仮名表記率のうち、常用漢字表以内のものもたくさん存在している。間淵(2017)が全体漢語に対して調査を行った結果、表内字のみの漢語は圧倒的に仮名表記率が低いことが確認されたが、今回副詞に絞った結果、表内漢字であっても仮名表記率の高い漢語が一定程度存在し、このルールだけでは必ずしも副詞の仮名表記のメカニズムが説明できるとは言えない。

図 3 漢語頻度と仮名表記率の散布図

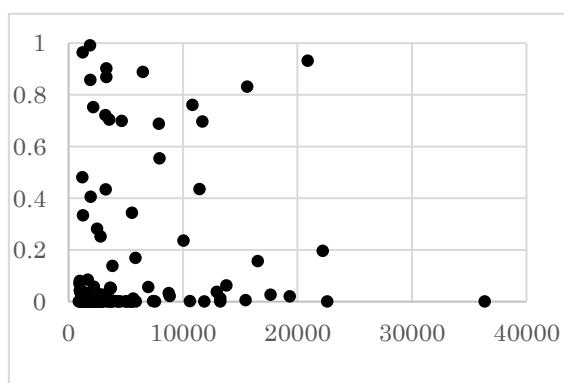
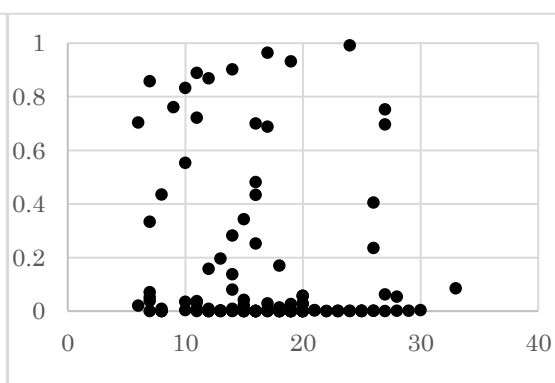


図 4 漢語画数と仮名表記率の散布図



次に、b.親密度と仮名表記の関係について見ていこう。すでに述べたように、ここでは、BCCWJにおける各漢語の頻度が親密度を代表する指標の 1 つとして調査していく。その結果、各漢語の頻度と仮名表記率の関係は以下の図 3 のようになる。

間淵(2017)では、常用漢字であれば総じて仮名表記率が低い中で、語彙レベル(頻度の累積

比によって 5 段階分類したもの)が高いほど仮名表記率は低く、語彙レベルが低いほど仮名表記率は高くなる傾向があると報告されたが、図 3 を見ると、頻度が高いほど仮名表記率が低い傾向が見られなかった。また、頻度と仮名表記率の相関を求めたところ、両者の間には有意な相関が認められなかった($r=-0.136, p=.12$)。

最後に、c.画数と仮名表記の関係について見ていく。各漢語の画数を数えたところ、図 4 が得られた。一般に、画数の多い漢字は仮名表記しやすいかと思いがちであるが、図 4 を見るとわかるように、今回のデータに限って言うと、画数と仮名表記率との間には必ずしも関係しているとは限らない。また、各漢語の画数と仮名表記率との相関を求めたところ、両者の間には有意な相関が認められなかった($r=-0.147, p=.09$)。

(B) 音韻特性の影響

漢語の音韻特性が仮名表記率に与える影響について、まず、d. 表外音訓について見てみよう。表外音訓も、表外漢字と同様に、一般的な読み方でないため仮名表記されやすいとされている(堀尾, 2005)。調査を行った結果、表外音訓であるものは副詞「勿論」における「勿」の 1 文字しかなかった。すでに述べたように、「勿論」の仮名表記率は 93.10%であり、確かに先行研究と同じ傾向が見られるが、今回のデータにおいて表外音訓の数が少ないため、この点については客観的検証にはならなかった。

次に、e.音転訛形は仮名表記率に影響しているかを見てみよう。音転訛形というのは、通常の漢字音から逸脱している音で表記される形のことである。たとえば、以下のような用例である。

(19) 西麻布にはステキで人気のあるいいお店がた一くさんあるのに。(OC11_00688)

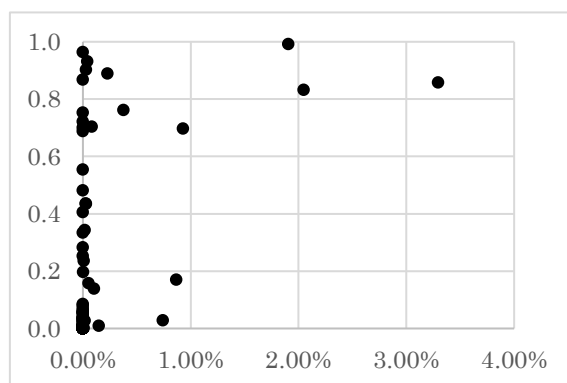
(20) 膿んだら、てえへんなことになるぞ。お医者さんに、刀で切ってもらうべえ。(LBbn_00013)

(21) ブームになって初来日した時か帰る時に、空港にた～くさんのファンが来てくれて(自分が想像していた以上の数)それに感動した際にしてたポーズが、胸に手を当てるものだったからだと思います。(OC01_04638)

例(19)のように通常の音に長音を加えたり(たくさん→た一くさん)、あるいは例(20)のように通常の音と母音が違ったり(たいへん→てえへん)する用例があった。また、例(21)のような「～」記号を使用した用例も見つかった。これは標準の音を表す記号ではないが、「～」を使用することで長引いた音を表していると考えられるため、本研究においてはすべて音声転訛形として扱う。そこで、

個々の漢語の音転訛形の比率を求めた結果、以下のような図 5 が得られた。

図 5 漢語の音転訛形比率と仮名表記率の散布図



一般に、標準の音との間に乖離が見られる場合に、仮名表記される頻度が高いと予想されるが、各漢語の音転訛形比率と仮名表記率との相関を求めたところ、両者の間には中程度の相関が認められた($r=0.466, p<.001$)。間淵(2017)では、常用漢字表外字を含む漢語では音声転訛形のある語は仮名表記率が高く、常用漢字のみからなる漢語の場合、そのような差が見られなかったと報告されたが、今回の結果から見れば、常用漢字のみからなる漢語の場合(すでに述べたように今回のデータにおいて常用漢字外の漢語は「勿論」の1語しか存在しない)でも、音転訛形の多い語は仮名表率が高い傾向が見られた。

(C) 意味特性の影響

最後に、f.意味分野について、個々の語について語義分類を調査する。すでに述べたように、ここでは、まずより大きなまとまりである語義部門と仮名表記率の関係を概観してから、より小さいまとまりである中項目と仮名表記率の関係を見ていく。

はじめに、個々の漢語の分類部門を調査した結果、以下の図 6 が得られた。なお、「その他の類」には部門を設けていないため、そのまま「その他の類」としてまとめる。

図 6 意味分野(部門)と仮名表記率

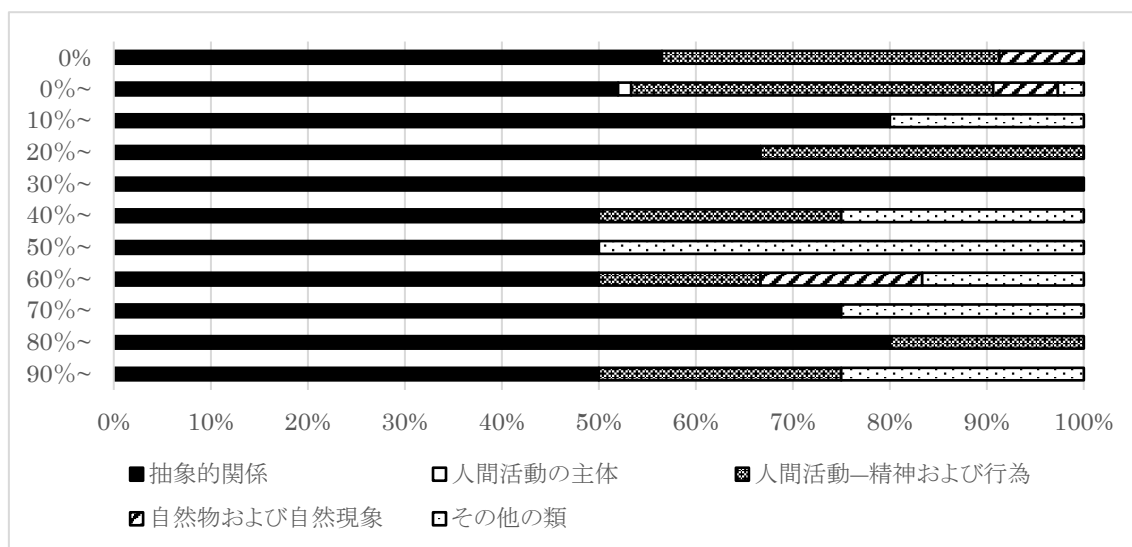


図 6 を見ると、〈人間活動の主体〉(例:上手)と〈自然物および自然現象〉(例:透明, 柔軟)という 2 つの語義部門に属する漢語の仮名表記率が低く、「奇麗」の 1 語以外にすべて 10%以下であることがわかった。

また、「その他の類」に属する漢語の仮名表記率がより高いことも確認された。すでに述べたように、「その他の類」には部門を設けていないため、具体的な中項目を見ると、「残念」(中項目は《挨拶》である)の 1 語以外に、残りのものはすべて《判断》という中項目に属している。なお、この点についてはまた後で記述する。

則松他(2006)では、〈抽象的關係〉〈人間活動—精神および行為〉という 2 つの意味分野において、カタカナ表記語が頻出されると報告されたが、今回の結果から見れば、仮名表記率のどの階層においても〈抽象的關係〉と〈人間活動—精神および行為〉という 2 つの部門に属する漢語が多かった。この点について、(1)ひらがな表記も数えたこと、および、(2)副詞化しやすい漢語(そのほとんどは〈抽象的關係〉〈人間活動—精神および行為〉という 2 つの意味分野に属する)に絞ったことに起因しているのではないかと考えられる。

次に、個々の漢語に属する意味分類の中項目について調査した結果、以下の図 7 が得られた。

図 7 意味分野(中項目)と仮名表記率

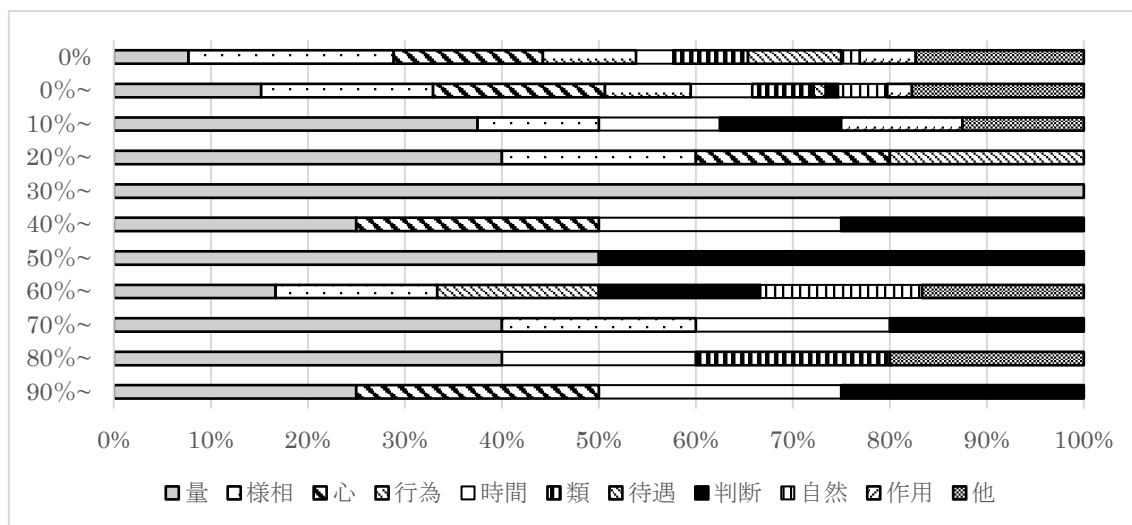


図 7 を見ると、《判断》という中項目に属する漢語は仮名表記率が高いことがわかった。以下、具体的な用例を見ていく。

(22) もちろん, 野球を続けると意志は堅い。(LBk3_00094)

(23) 実際に見ると数字以上に大きく迫力がありますので、ぜひ会いに来てください。

(OP50_00001)

上記のように、「もちろん」(例 22)や「ぜひ」(例 23)など、物事について直感的あるいは論理的な判断を表す副詞は仮名表記しやすいことが、今回のデータからわかった。

また、《行為》という中項目に属する漢語は仮名表記率が低いことがわかった。たとえば、以下の用例を見てみよう。

(24) 憲平は彼らの前を堂々と通ってきたらしい。(PB1n_00057)

(25) 慎重かつ、大胆に、はわれわれのモットーです」(PB29_00237)

このように、人間の行為のありさまを表現する副詞・形状詞は漢字で表記することが多かった。

以上 RQ2 では、(1) 漢字特性の影響、(2) 音韻特性の影響、(3) 意味特性の影響という 3 つの観点から、仮名表記率に影響する要因について調査を行った。その結果、(1) 漢字特性について、仮名表記率は a.親密度と b.画数との関係が薄いこと、(2) 音韻特性について、音転訛率と仮名表

記率との間に中程度の相関があること、(3)意味特性について、〈人間活動の主体〉と〈自然物および自然現象〉という2つの語義部門に属する漢語の仮名表記率が低く、また、《判断》という中項目に属する漢語は仮名表記率が高く、《行為》という中項目に属する漢語は仮名表記率が低いこと、などが明らかになった。

9.3.1.3 RQ3 実例調査（奇麗）

RQ3 では、具体的な漢語を取り上げて、仮名表記はどのような意味機能的特性を持っているかを調査していく。ここでは、RQ1 で得られた仮名表記率に基づき、仮名表記率が30%～70%にある漢語の中、重要度ランキングが高い「奇麗」を例として調査していく。なお、「奇麗」の表記について、今回 BCCWJ から「きれい」(6784 語)、「綺麗」(3358 語)、「キレイ」(1261 語)、「奇麗」(200 語)、「ぎれい」(108 語)、「きれえ」(2 語)、「キレイ」(2 語)、「ギレイ」(1 語)、「きれみ」(1 語)という9種が抽出されたが、漢字表記として頻度の高い「綺麗」を調査対象として絞る。また、仮名表記について、同じ仮名表記といっても、ひらがな表記とカタカナ表記には意味機能の差も存在する可能性があると考えられるため、ここでは、ひらがな表記「きれい」とカタカナ表記「キレイ」の両方とも調査対象とする。以下、(1)分野、(2)品詞用法、(3)共起語という3つの観点について、ひらがな表記、カタカナ表記、および、漢字表記においてどのような意味機能的差異があるかを調査する。

まず、(1)使用される分野は表記の選択との関係について、各ジャンルにおけるそれぞれの表記の頻度を調査した結果、以下の表9が得られた。

表9 各ジャンルにおける3つの表記の頻度

分野 \ 表記	きれい	キレイ	綺麗
書籍	4027(59.56%)	253(20.08%)	735(21.89%)
雑誌	569(8.42%)	219(17.38%)	45(1.34%)
新聞	39(0.58%)	2(0.16%)	0(0%)
ブログ	808(11.95%)	354(28.10%)	1561(46.50%)
広報紙	262(3.88%)	7(0.56%)	5(0.15%)
知恵袋	911(13.47%)	425(33.73%)	1011(30.12%)
国会会議録	80(1.18%)	0(0%)	0(0%)
教科書	60(0.89%)	0(0%)	0(0%)
白書	5(0.07%)	0(0%)	0(0%)
合計	3357(100%)	6761(100%)	1260(100%)

表 9 に基づき、3 つの表記を比較すると、「きれい」は書籍・白書・教科書・国会会議録・新聞・広報紙・ジャンルにおいて特徴的に使用され、「キレイ」は雑誌ジャンルと知恵袋において特徴的に多く使用され、そして、漢字表記「綺麗」は知恵袋とブログジャンルに特徴的に多く使用されることがわかった。

また、新聞・広報紙・国会会議録・教科書・白書のジャンルにおいて、ほとんど仮名表記しか使用しないことに注目を引く。特に白書・教科書・国会会議録という 3 つのジャンルにおいて、「きれい」という表記しか使用されなかったことも確認された。間淵(2017)では、用字の統制が効いている新聞や雑誌などにおいて、表外字や副詞用法を持つ語でひらがな表記の比率が高く、著者の用字がより反映やすい書籍において表外字の漢字表記が新聞・雑誌より多く、さらに表記統制の影響を受けにくい Web 媒体において漢字表記率が高く、仮名漢字変換の影響として変換候補に現れる漢字表記を無意識に選択している傾向があると報告された。今回のデータについて言えば、漢字表記における「綺麗」の「綺」は表外漢字となったため、間淵(2017)の結論と合致していると言える。

また、柏野(2013)において、教科書や白書ではカタカナ表記が避けられ、逆に、新聞・雑誌・知恵袋・ブログではカタカナ表記が好まれる傾向があるとされているが、今回漢語副詞・形状詞に絞った場合、確かに教科書や白書においてカタカナ表記を避け、雑誌・知恵袋・ブログジャンルにおいてカタカナ表記を選好する傾向が見られたが、新聞ジャンルにおいてカタカナ表記を好む傾向が今回のデータから見られなかった。

以下、それぞれのジャンルに好まれる表記の用例を見てみよう。

(26) また、この選挙は、金のかからない、きれいな選挙の実現を目的とした「公職選挙法の一部を改正する法律」の国会審議中に施行されたことから、有権者の関心は高かった。(白書)

(OW1X_00187)

(27) あゆは、きれいな川にしかいない魚で、ほかに、いわな、やまめ、さけなどの魚がいます。

(教科書)(OT31_00014)

(28) 訪問販売という言葉、この言葉の持つ意味は、通産当局の説明、関係者の説明はきわめてきれいな表現の中で行われております。(国会会議録)(OM11_00005)

(29) 商工会青年部では、町民の皆さんにきれいな夜桜を楽しんでもらうため、ライトアップを行います。(広報紙)(OP04_00001)

(30) 約四十人が、収穫したレタスをみそ汁やサラダにして、きれいに管理された開放感のある庭

園で昼食を楽しんだ。(新聞)(PN4o_00017)

(31) 森がなくなったために、海はやせて海草一つ落ちていないので地中海はきれいなのです。

(書籍)(PB12_00263)

(32) 持っているパウダーを、さっそくチェックしてみては？触れてみたくなるほどの素肌感こそが、キレイの真髄。(雑誌)(PM11_00428)

(33) 山下クンとはバラエティ番組を一緒にやりましたが、お母さんがキレイです！(知恵袋)(PM11_00062)

(34) デスクトップ用に綺麗なジブリの画像が欲しいです。(知恵袋)(OC01_02224)

(35) 加温・循環の状況常に適度な温度を保つ為に加温し、綺麗なお湯を保つ為に循環ろ過しています。(ブログ)(OY01_00854)

上記のように、白書(例(26))・教科書(例(27))・国会会議録(例(28))・広報紙(例(29))・新聞(例(30))・書籍(例(31))ジャンルにおいて「きれい」が選好される。また、例(32)と例(33)のように、カタカナ表記「キレイ」が雑誌と知恵袋に多く使用され、例(34)と例(35)のように、漢字表記「綺麗」が知恵袋やブログに多く使用される。

なお、ここで注目すべきは、どのように「綺麗」が使われているかによって、表記が変わってくる可能性があることである。たとえば、例(26)において、「綺麗」は連体用法に使われているが、例(32)においては名詞として使われ、この名詞を全体から際立たせるためにカタカナ表記が使われた可能性も考えられる。

そこで、以下は各表記が使われた(2)品詞用法について見ていく。個々の表記が各文章においてどのように使われているかを調査し、筆者がラベリングした結果、以下のような表 10 が得られた。

表 10 各用法における 3 つの表記の頻度

表記 用法	きれい	キレイ	綺麗
「ナ」用法	2040(30.09%)	274(21.73%)	985(29.65%)
「ニ」用法	2770(40.86%)	518(41.08%)	1086(32.69%)
「ダ」用法	1567(23.11%)	342(27.12%)	1121(33.74%)
名詞用法	48(0.71%)	45(3.57%)	24(0.72%)
定型句用法	355(5.24%)	82(6.50%)	106(3.19%)

表 10 を見ると、3 つの表記における各用法の関係が以下のようにになっていることが確認された。

きれい:「ナ」用法>「ニ」用法>「ダ」用法>定型句用法>名詞用法

キレイ:「ニ」用法>「ダ」用法>「ナ」用法>定型句用法>名詞用法

綺麗:「ダ」用法>「ニ」用法>「ナ」用法>定型句用法>名詞用法

上記から、3 つの表記の用法について、上位 3 種の順位が若干違っているが、その比率が類似していることがわかった。

なお、名詞用法について、どの表記も低い頻度で使われているが、カタカナ表記「キレイ」の名詞用法は他より 5 倍多いことが注目を引くところである。たとえば、以下の用例を見てみよう。

(36) 独自の大量発汗とともに、毒素排泄し、お客様のキレイを「体質美人」というカタチで目指します。(OY07_00379)

(37) 医学的視点からキレイを実現、ドクターズコスメの力を研究。(PM21_01033)

上記の用例のように、特に商品の宣伝文章において、「綺麗」が名詞として使われ、意味的には実現しようとする目標として捉えている時にカタカナ表記が使いやすい。中山(1998)では、見出し語などの強調、そして視覚的効果を狙っている場合でカタカナ表記を使用すると報告され、また、則松他(2005)においても、前後のひらがな連続への埋没を回避し、視覚的にきわだたせる効果を発揮するためにわざとカタカナ表記を使用すると報告された。この点について言えば、上記の用例におけるカタカナ表記の使用も、「綺麗」という概念が表記上きわだたせたいという目的からなのではないかと考えられる。

最後に、「綺麗」の各表記の共起語について見ていこう。

表 11 連体用法で使われている時に「綺麗」と共起する体言上位 10 語

	きれい(計 985 語)		綺麗(計 2040 語)		キレイ(計 274 語)	
1	人	73	花	45	色	10
2	水	61	人	40	<u>お姉さん</u>	9
3	色	59	<u>もの</u>	25	人	9
4	<u>もの</u>	57	色	25	物	9
5	花	47	顔	20	女性	8
6	ところ	31	方	19	花	6

7	女性	26	女性	19	体	5
8	川	24	<u>お姉さん</u>	15	人名	5
9	顔	24	<u>子</u>	13	カール	5
10	<u>子</u>	22	目	11	顔	4
	形	22			状態	4
					肌	4
					脚	4

表 12 「ニ」用法で使われている時に「奇麗」と共起する動詞上位 10 語

	きれい(計 1086 語)		綺麗(計 2770 語)		キレイ(計 521 語)	
1	する	468	なる	257	なる	117
2	なる	453	する	134	する	76
3	見える	98	見える	57	見える	25
4	<u>洗う</u>	76	<u>咲く</u>	35	<u>見せる</u>	17
5	<u>掃除する</u>	40	できる	26	<u>仕上がる</u>	15
6	できる	36	<u>洗う</u>	23	落とす	9
7	<u>取れる</u>	36	<u>撮れる</u>	21	取る	8
8	<u>咲く</u>	35	<u>掃除する</u>	13	<u>撮れる</u>	7
9	<u>仕上がる</u>	29	<u>取れる</u>	13	できる	7
10	<u>見せる</u>	29	いる	12	撮る	6

表 13 「ダ」用法で使われている時に「奇麗」と共起する主語上位 10 語

	きれい(計 1121 語)		綺麗(計 1567 語)		キレイ(計 339 語)	
1	色	24	<u>花</u>	27	色	7
2	水	24	<u>海</u>	21	肌	6
3	<u>花</u>	20	肌	21	人名	6
4	肌	20	<u>夜景</u>	16	<u>夜景</u>	5
5	<u>海</u>	20	<u>〇〇さん</u>	14	ライン	5
6	見た目	18	色	12	仕上がり	4
7	人名	17	雲	12	あなた	3
8	目	13	人名	12	お母さん	3
9	空気	13	紅葉	12	<u>〇〇さん</u>	3
10	景色	13	水面	11	写真集	3
					グラデーション	3
					店内	3
					夕焼け	3
					カール	3

表 11～表 13 を見ると、まず、「ナ」用法において、3 つの表記と共起する体言上位 10 語のうち、5 語が 3 つの表記とも使用され、また、3 語が 2 つの表記とも使用されること、次に、「ニ」用法につ

いて、4 語が 3 つの表記とも使用され、また、7 語が 2 つの表記とも使用されること、最後に、「ダ」用法について、3 語が 3 つの表記とも使用され、また、4 語が 2 つの表記とも使用されることがわかった。この重なり度について言うと、3 つの表記の上位語には大きな差異がなく、共起語によって表記が選択される傾向が今回のデータから見られなかった。

以上、RQ3 において、漢語「奇麗」を例として、(1)分野、(2)品詞用法、(3)共起語という 3 つの観点から、ひらがな表記、カタカナ表記、および、漢字表記においてどのような意味機能的差異があるかを調査した。その結果、(1)分野について、用字の統制が効いている新聞や教科書などの媒体においてひらがな表記「きれい」が多用され、雑誌と知恵袋において「キレイ」が多用され、また、個人的な用字傾向が反映しやすいブログや知恵袋など Web の媒体において漢字表記「綺麗」が多用されることが確認された。また、(2)品詞用法と(3)共起語について、3 種の表記の間には大きな差異がないことがわかった。すなわち、「奇麗」に限って言えば、表記の選択は、使用される分野による影響が大きく、この語の用法と共起語による影響がより薄いと言えるであろう。

9.3.2 第 2 課題(外来語)

以上、第 1 課題(漢語)において、漢語の表記ゆれ問題について調査を行ってきた。まず、RQ1 において、漢語副詞・形状詞に絞った場合、仮名表記は全表記の 2 割程度、仮名表記を持つ漢語の数は全漢語の 7 割程度を占めており、普通に見られる現象であるが、仮名表記を持つ漢語のうち、7 割以上は「局所的・例外的出現」のレベルを超えない範囲で仮名表記を使用していることが確認された。また、仮名表記率の高い副詞について、構成する 2 文字の漢字の意味との関連がより薄く、直接単語の意味を推測することが難しいが、仮名表記率の低い副詞について、構成する 2 文字の漢字の意味との関連がより大きく、漢字の文字を見て単語の意味を推測しやすい傾向があることが確認された。

次に、RQ2 において、音転訛率と仮名表記率との間に中程度の相関があること、そして、〈人間活動の主体〉と〈自然物および自然現象〉という 2 つの語義部門に属する漢語の仮名表記率が低く、また、《判断》という中項目に属する漢語は仮名表記率が高く、《行為》という中項目に属する漢語は仮名表記率が低いこと、が明らかになった。

最後に、RQ3 において、漢語「奇麗」を例として表記間の意味機能的違いについて調査した結果、表記の選択は使用される分野による影響が大きく、この語の用法と共起語による影響がより薄いと言えることが確認された。なお、カタカナ表記「キレイ」について、他の表記より名詞用法に多用され、視覚的にきわだたせる効果を発揮する傾向があることが明らかになった。

以下、第2課題(外来語)について見ていきたい。

9.3.2.1 RQ1 全体傾向

まず、(A)対象外来語全体の連母音表記率について、以下の結果が得られた。

図8 外来語の連母音表記トークン率

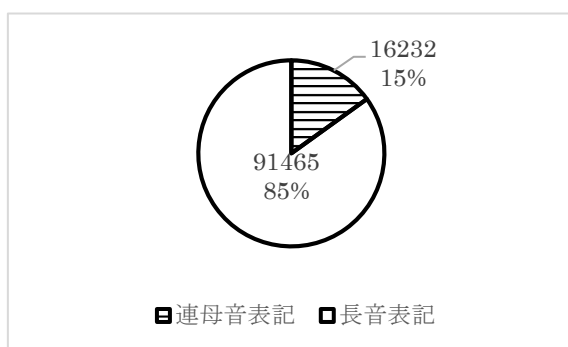


図9 外来語の連母音表記タイプ率

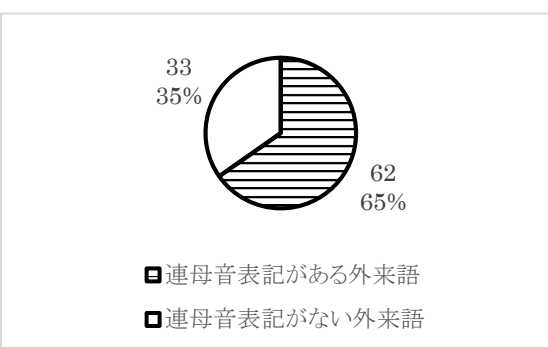


図8を見ると、長音表記は全体の約9割を占めており、長音表記は圧倒的に多いが、図9を見るとわかるように、常に長音で表記する外来語は4割に達しておらず、残りの6割は場合によって2重母音表記を許す。すなわち、2種の表記間のゆれは多くの外来語に見られ、学習者に混乱をさせないために、「ゆれ現象」を教える必要性が示唆されたのではないかと考えられる。

次に、(B)仮名表記率の高い／低い漢語に関して、以下の結果が得られた。

表14 各階級に属する外来語

連母音 表記率	語数	外来語(見出しはBCCWJの語彙素表記に従う)
100%	4語	ペイント(paint), レイヤー(layer), ベイ(bay), ゲイ(gay)
90%～	3語	エンターテインメント(entertainment), メード(made), メーン(main)
80%～	6語	テースト(taste), エージ(age), ネール(nail) ハイウエー(highway), スター(stay), ディスプレー(display)
70%～	4語	エッセー(essay), ウエート(weight), メーク(make), トレー(tray)
60%～	1語	フエース(face)
50%～	1語	レーン(rain)
40%～	3語	デー(day), プレーヤー(player), プレー(play)
30%～	1語	インターフェース(interface)

20%～	0 語	
10%～	8 語	グレイ(gray), コーディネート(coordinate), テール(tail), ウェーブ(wave), セーフティー(safety), オーケー(okay), ステート(state), クレーン(crane)
0%～	31 語	デート(date), ベール(veil), セーフ(safe), セーブ(save), トレーナー(trainer), ゲート(gate), スプレー(spray), フレーム(frame), サンデー(Sunday), ストレート(straight), レール(rail), フレーズ(phrase), チェーン(chain), マネージメント(management), ペースト(paste), キャンペーン(campaign), プライベート(private), パレード(parade), メール(mail), クレーム(claim), ケーキ(cake), チョコレート(chocolate), ベース(base), メーカー(maker), ケーブル(cable), リレー(relay), トレード(trade), メッセージ(message), エース(ace), スペース(space), レーザー(laser)
0%	33 語	イメージ(image), ゲーム(game), ケース(case), テーブル(table), テープ(tape), レース(race), ステージ(stage), トレーニング(training), ペース(pace), ペーパー(paper), ブレーキ(brake), プレート(plate), マネージャー(manager), パッケージ(package), データベース(database), スケール(scale), レート(rate), ネーム(name), セール(sale), ダメージ(damage), マヨネーズ(mayonnaise), セーター(sweater), ソーセージ(sausage), ステーキ(steak), ベージュ(beige), スケート(skate), ドメイン(domain), グレード(grade), ガレージ(garage), セーラー(sailor), ゲージ(gauge), スーツケース(suitcase), エスカレーター(escalate)

表 14 を見ると、連母音表記を許容する外来語のうち、50%の語彙は 10%未満の連母音表記率で、また、63%の語彙は 20%未満の比率で使用され、高い連母音表記率で使用されている語彙は実は多く存在しないことがわかった。6 割以上の外来語は「局所的・例外的出現」のレベルを超えない範囲で連母音表記を使用しており、これらの語彙について特に両表記の使い分けなど学習者に教える必要性が低いと考えられる。すなわち、連母音表記という現象が全体として特殊なものであるということはまず基本的な方針として示すべきであろう。それに対して、連母音表記率の高い語彙が多く存在していないため、これらの語彙については学習者に提示し、特に連母音表記率 50%に近いものについて 2 表記の使い分けを学習者に教えたらいのではないかと考えられる。

以上、RQ1 では、(A)対象外来語全体の連母音表記率はどの程度であるか、そして、(B)連母音表記率の高い／低い外来語にはどのようなものがあるかという 2 つの問題について調査を行った。その結果、(A)トークンを見ると、連母音表記は全体の 15%を占めており、必ずしも多いではないが、タイプで見ると、約 6 割の対象語は 2 重母音表記を許すこと、(B)連母音表記を許す外来語のうち、63%は「局所的・例外的出現」のレベルを超えない範囲で連母音表記を使用していること、が確認された。

また、教育現場への応用について、(1)連母音表記と長音表記が両方存在すること、すなわち「ゆれ現象」が存在することを教えながら、この現象は全体としてより特殊なものであることを学習者に明示し、(2)連母音表記率の高い語彙を学習者に提示し、連母音表記率 50%に近いものについて 2 表記の使い分けを学習者に教える、ということが考えられる。

9.3.2.2 RQ2 選択要因

以下、RQ2 において、連母音表記を選択する要因について見ていく。すでに述べたように、本研究では、(A)原語特性(a.借入時代, b.原語出自, c.原語のスペル)、(B)音韻特性(d.モーラ数, e.2 重母音の相対位置, f.子音タイプ)、(C)意味特性(g.語義数, h.類義語保有語義比率)の要因を調査していく。

(A) 原語特性の影響

まず、(A) 外来語の原語の特性について調査を行ったところ、a.外来語の借入時代は連母音表記率との間には相関が認められなかった($r=0.113, p=.27$)。また、b.原語の出自について調査を行ったところ、今回調査対象とした 95 語のうち、オランダ語 1 語(ペイント(paint))とフランス語 2 語(マヨネーズ(mayonnaise), ベージュ(beige))以外に、他の外来語はすべて英語出自であったため、この点については検証できなかった。ただし、宮島他(1984)において、フランス語とオランダ語出自の外来語は連母音表記が多いと述べられたが、フランス語出自の「マヨネーズ」と「ベージュ」の 2 語ともに連母音表記率 0%であったため、必ずしも先行研究の傾向と一致しているとは言えない。最後に、c.原語のスペルについて調査を行ったところ、以下のような図 10 が得られた。

図 10 原語のスペルと連母音表記率

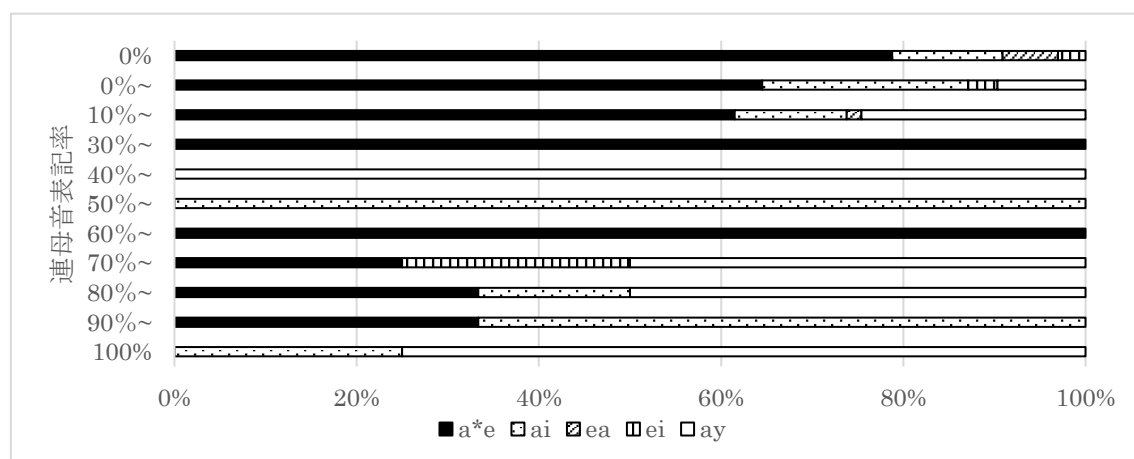


図 10 を見るとわかるように、連母音表記率の高い外来語のうち、原語においてアルファベット 2 文字(ai,ea,ei,ay)であるものは 2 重母音と発音するものが多く、それに対して、連母音表記率の低い外来語のうち、アルファベット 1 文字(a*e)であるものは連母音と発音するものが多い。特に、連母音表記率が 100%である外来語のうち、原語においてアルファベット 1 文字の語が 1 語も存在していない。また、原語においてアルファベット 2 文字で 2 重母音として発音する外来語の中、特に「ay」の連母音表記率が高く、連母音表記率 100%である外来語のうち「ay」にあたるものは 3 語(75%)があり、また、連母音表記率 0%である外来語のうち、「ay」にあたるものが 1 語も存在していない。

この点について言うと、外来語が日本語に入ってきたときに、その時の知識人が英語の文献を見ながら翻訳をしていたことを考えると、実際に発音される音というよりは、スペルの構造というものが大きく反映している可能性が浮かび上がる。たとえば、ペイント(paint)やレイヤー(layer)の場合、原語に「ai」や「ay」という 2 文字が存在するため、「エー」のように 1 つの母音だけで表記するとは思いにくく、「エイ」のように 2 つの母音で表記しやすいと考えられる。それに対して、イメージ(image)やゲーム(game)の場合、原語にアルファベット「a」1 文字しか存在しないため、「エイ」というように連母音で表記しにくく、「エー」のように長音で伸ばしやすいのではないかと考えられる。

(B) 音韻特性の影響

次に、(B) 音韻特性について、d.モーラ数と e.2 重母音の相対位置という 2 つの要因と連母音表記率との相関を求めたところ、モーラ数($r=-0.084, p=.415$)と 2 重母音の相対位置($r=-0.192, p=.061$)のどちらも相関が認められなかった。また、f.子音タイプ(調音点・調音法)と連母音表記率との関係について、各連母音表記率の階級に属する外来語の子音のタイプを調査した結果、以下の図が得られた。

図 11 調音点と連母音表記率

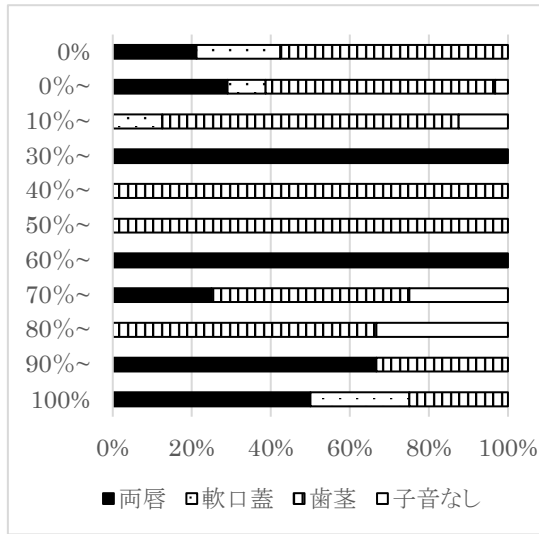


図 12 調音法と連母音表記率

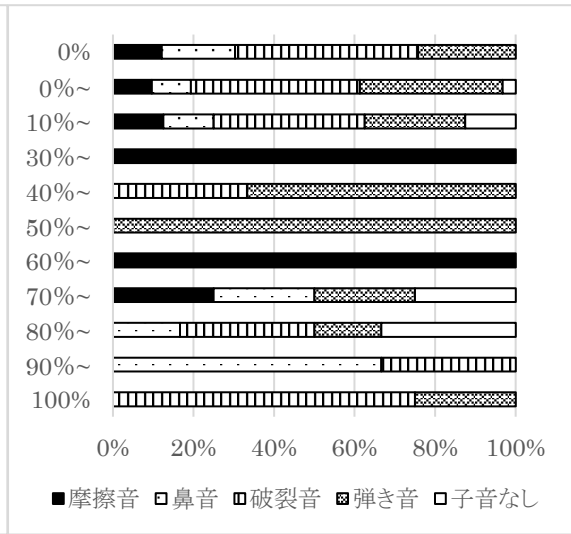


図 11 と図 12 を見るとわかるように、連母音表記率は子音タイプとの関係が相対的に薄く、特にある子音タイプの連母音表記率が高いというような傾向が今回のデータから見られなかった。

すでに(A)原語特性についての調査では、連母音表記率と原語のスペルとの関係が大きいことがわかった。この点と合わせて考慮すると、日本語の外来語は、音から表記を決まるというよりは、スペルで表記を決めるといったほうが妥当なのではないかと考えられる。

(C) 意味特性の影響

最後に、(C)意味特性について調査を行ったところ、g.語義数と連母音表記率の間には弱い負の相関($r=-0.235, p<.05$)が、また、h.類義語保有語義比率と連母音表記率の間には弱い正の相関($r=0.233, p<.05$)が認められた。それぞれの散布図は以下の図 13 と図 14 のようになる。

図 13 語義数と連母音表記率の散布図

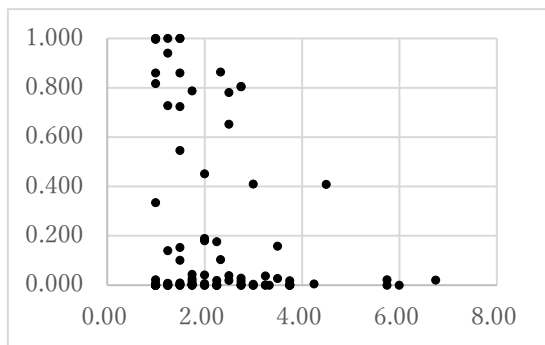
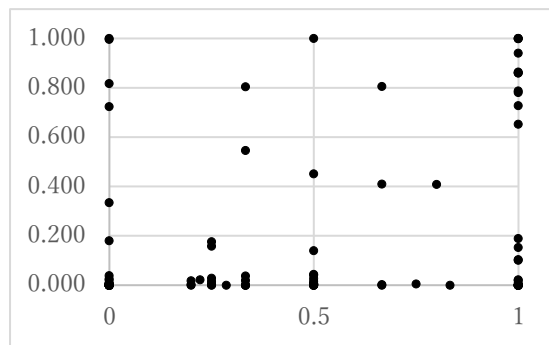


図 14 類義語保有語義比率と連母音表記率の散布図



まず、図 5 を見ると、語義数が多ければ連母音表記率が少ない傾向があることがわかった。この点について言えば、一般に、辞書に記載された多義語は、細かいニュアンスで分けられたものではなく、異なる分野で使用されることや異なる品詞として使用されることなど大きな違いで分けられたものが多い。そのため、語義の間に差がより大きく、異なる標識を使用して区別する必要性が低い。それに対して、語義の少ない語彙について、1 つの語義に細かいニュアンスを含まれ、それらのニュアンスを区別するためにわざと異なる表記で表現しようとしたのではないかと考えられる。

また、図 6 のように、類義語保有語義比率は高ければ連母音表記率も高い傾向が見られた。日本語の中であまりニュアンスが意識されていないものと、細かくニュアンスが分かれているもの、の 2 種が存在する。ある概念はいろんな言い方で表現できるということは、その語自体は様々なニュアンスが持たれているということである。これらの語彙に対して、まず漢語和語か外来語かというように語種レベルで選べ、それから長音か連母音かというように表記のレベルでまた選べる。さらに言うと、長音と連母音表記の使い分けは語種の使い分けに入っている可能性もあるのではないかと考えられる。

以上 RQ2 では、(A)原語特性、(B)音韻特性、(C)意味特性という 3 つの観点から、連母音表記率に影響する要因について調査を行った。その結果、(1)連母音表記率と音韻特性の関係が薄く、日本語の外来語は、音から表記を決まるというよりは、原語のスペルで表記を決めること、(2)語義数と連母音表記率の間には弱い負の相関が、また、類義語保有語義比率と連母音表記率の間には弱い正の相関が認められたこと、などが確認された。

9.3.2.3 RQ3 実例調査（プレーヤー）

以下 RQ3 では、具体的な外来語を取り上げて、連母音表記はどのような意味機能的特性を持っているかを調査していく。ここでは、RQ1 で得られた連母音表記率に基づき、連母音表記率が 30%～70%にある外来語 5 語の中、重要度ランキングが高いものを例として調査していく。なお、重要度ランキングが 1 位である「プレー (play)」と 3 位である「プレーヤー (player)」は同じルートであり、かつ、「プレーヤー」の方が「プレーする人」という意味に特定されている分で語義分類がしやすいと考えられるため、本研究は「プレーヤー」を例として調査していくこととする。

以下、(1)分野、(2)語義という 2 つの観点について、連母音表記はどのような意味機能的特性を持っているかを調査していく。

まず、「プレイヤー」と「プレーヤー」の使用分野はどのような違いがあるかを見ていく。各分野における 2 表記の頻度を数えたところ、以下のような表 15 が得られた。

表 15 各分野における「プレイヤー」と「プレーヤー」の 2 表記の頻度

分野	連母音表記	長音表記	<i>p</i> 値	
書籍	372(48.69%)	501(45.42%)	0.164	n.s.
雑誌	48(6.28%)	140(12.69%)	0.000	****
新聞	0(0%)	12(1.09%)	0.004	***
ブログ	79(10.34%)	104(9.43%)	0.515	n.s
広報紙	9(1.18%)	8(0.73%)	0.311	n.s
知恵袋	253(33.12%)	323(29.28%)	0.078	+
国会会議録	0(0%)	5(0.45%)	0.062	+
教科書	3(0.39%)	2(0.18%)	0.385	n.s
白書	0(0%)	8(0.73%)	0.018	*
合計	764(100%)	1103(100%)		

上表のように、知恵袋ジャンル($p=.07$)において連母音表記が多く使われている傾向があること、また、書籍ジャンルにおいては、統計的には有意な差異が認められなかったが、連母音表記がより大きい比率で使用されていることが確認された。それに対して、雑誌ジャンル($p<.001$)、新聞ジャンル($p<.01$)、そして白書ジャンル($p<.05$)において長音表記が有意に多く使われていることを確認し、また、国会会議録ジャンルにおいて($p=.06$)長音表記があることを確認した。このように、連母音表記は知恵袋や書籍など書き手の個性が重視される分野において多用され、それに対して、長音表記は雑誌や新聞など表記に規定のルールが存在し、編集がかけられた分野において多用される。小椋(2015)は美容・ファッション関係で使用される「メイク」について調査を行った結果、出版サブコーパスでは表記のゆれが生じているのに対し、個人が表記を自由に選択できるウェブにおいては連母音表記が定着していると報告されたが、今回「プレーヤー」に限って調査を行った結果、確かに個人が表記を自由に選びやすいウェブや書籍において連母音表記が多用する傾向が見られたが、連母音表記が定着しているとまでは言えないであろう。それに対して、新聞、国会会議録、白書という 3 つのジャンルにおいて連母音表記がまったく使用されておらず、これらについて言えば長音表記が定着していると考えられている。

以下、それぞれの用例を見てみよう。

(38) 当時、一流プレイヤーの証として「月給百万円」と言われてました。(知恵袋・OC06_02180)

(39) 返事はなかったが、三紗はプレイヤーをあけた。(書籍・LBb9_00051)

(40) 液晶, 薄型, DVD プレーヤーもついた美しいデザインのテレビ。(雑誌・PM41_00229)

(41) 夫の協力で主婦とプレーヤーの二役を両立させ「金メダル」を目指して五輪のピッチに立つ。(新聞・PN4f_00012)

なお, ここで注目すべきは, 上記の表記の差異は文体による差異だけではなく, あるジャンルに特徴的に使用した語義にもかかわる可能性があることである。たとえば, 書籍ジャンルをさらに細分類すると, 社会科学分野 ($p<.01$) において連母音表記が統計的に有意に多く使われているが, 書籍の芸術・美術分野 ($p<.001$) において長音表記が有意に多く使われている。それは, 社会科学ジャンルにおいて特に経済に関わる内容が多く, 「プレーヤー」は「金融市場などに参加している人や組織」という意味で使われているのに対し, 芸術・美術分野において特にスポーツに関わる内容が多く, 「プレーヤー」は「競技者」という意味で使われていることに起因している可能性がある。そこで, 以下は語義によって表記が変わってくるかについて調査していく。

個々の語義における 2 表記の頻度を数えた結果, 以下のような表 16 が得られた。

表 16 個々の語義における 2 表記の頻度(語義頻度順で並べる)

語義	連母音表記	長音表記	p 値		各語義が全体に占める比率
記憶媒体に収められた映像や音声などを再生するための装置	336 (43.98%)	576 (52.22%)	0.000	***	48.85%
競技者	160 (20.94%)	420 (38.08%)	0.000	****	31.07%
トランプやコンピューターゲームなどの遊戯に参加している人	147 (19.24%)	24 (2.18%)	0.000	****	9.16%
金融市場などに参加している人や組織	59 (7.72%)	62 (5.62%)	0.070	+	6.48%
演奏者	57 (7.46%)	12 (1.09%)	0.000	****	3.70%
演技者	5 (0.65%)	9 (0.82%)	0.691	n.s	0.75%
合計	764	1103			100%

上表のように, 「演奏者」($p<.001$), および, 「トランプやコンピューターゲームなどの遊戯に参加している人」($p<.001$) という 2 つの語義において連母音表記が有意に多く使われ, また, 「金融市場などに参加している人や組織」($p=.07$) という語義において連母音表記が多く使われている傾向が見られた。では, 連母音表記はなぜこれらの語義において多用されているのであろうか。

実際に、これらの語義が全体頻度に占める比率に注目すると、「演奏者」は全体の 3.70%、「トランプやコンピューターゲームなどの遊戯に参加している人」は 9.16%、また、「金融市場などに参加している人や組織」は 6.48%を占めていることがわかった。すなわち、連母音表記が選好される語義はより頻度の少ない語義であり、いずれでも基本義ではないことがわかった。この点について言えば、連母音表記はある種の特殊性マーカーであり、わざと変わった表記を使用することで、その語の表現する内容の特殊性を伝えようとしているのではないかと考えられる。以下、具体的な用例を見てみよう。

(42) また、プレイヤーの飛び入り演奏、情熱籠った熱唱の数々にも感謝致します。

(OY04_03444)

(43) まるで見えない回線で世界中のマッキントッシュと繋がっていて、自分を含めた大勢のプレイヤーがこのゲームを同時進行させているような感じがするのだ。(LBm9_00238)

(44) だが、デコンストラクションを前提として考えれば、既存・新興のプレイヤーにとってはるかに有力な競争方法は、情報のリッチネスを高めることで顧客との関係を深め、ブランド・エクイティを構築することである。(LBn3_00169)

上記の例はそれぞれ、「演奏者」という意味で(例 42)、「遊戯に参加している」という意味で(例 43)、そして、「金融市場などに参加している人や組織」(例 44)という意味で使われていることから、「プレイヤー」の方が選ばれやすいのではないかと考えられる。

以上、RQ3 において、外来語「プレーヤー」を例として、(1)分野、(2)語義という 2 つの観点から、連母音表記がどのような意味機能的特性を持っているかを調査した。その結果、(1)分野について、連母音表記は知恵袋や書籍など書き手の個性が重視される分野において多用され、それに対して、長音表記は雑誌や新聞など表記に規定のルールが存在し、編集がかけられた分野において多用されること、(2)語義について、連母音表記は「演奏者」、「トランプやコンピューターゲームなどの遊戯に参加している人」、そして、「金融市場などに参加している人や組織」など頻度の少ない語義において多用され、作家がわざと変わった表記を使用することで、その語の表現する内容の特殊性を伝えようとしていること、が確認された。

なお、今回のデータから以下の用例も見つかった。

(45) オーケストラピットは、それからけして広くはありません。となりのプレーヤーに体があたるか

あたらないか、ぎりぎりという狭さで演奏しますからとなりのプレイヤーの音も、自分の音も、
どんなに密やかに弾いても手に取るように聴こえます。(OY03_02740)

例(45)では、同じ作者が短文中で「プレーヤー」と「プレイヤー」という 2 表記を併用している。文脈をふまえれば、これらの間に異なるニュアンスの含意はないと考えられる。この例は、2 種の表記が安定的な意味上の違いを持たない可能性を示唆する。

9.4 まとめ

以上、本章では、非和語系語彙の表記ゆれについて、漢語副詞の仮名表記問題を、2 重母音 [ei] を含む外来語の連母音表記問題を取り上げて調査を行った。その結果、以下のような知見が得られた。

漢語の仮名表記の問題:

(1) 漢語副詞・形状詞に絞った場合、仮名表記は全表記の 2 割程度、仮名表記を持つ漢語の数は全漢語の 7 割程度を占めているが、仮名表記を持つ漢語のうち 7 割以上は「局所的・例外的出現」のレベルを超えない範囲で仮名表記を使用している。また、仮名表記率の高い副詞について、構成する 2 文字の漢字の意味との関連がより薄く、直接単語の意味を推測することが難しい傾向がある。…9.3.1.1 節

(2) 影響要因: 仮名表記率と音転訛率との間に中程度の相関があり、そして、〈人間活動の主体〉と〈自然物および自然現象〉という 2 つの語義部門に属する漢語の仮名表記率が低く、また、《判断》という中項目に属する漢語は仮名表記率が高く、《行為》という中項目に属する漢語は仮名表記率が低い傾向がある。…9.3.1.2 節

(3) 漢語「奇麗」を例とした場合、表記の選択は使用される分野による影響が大きく、この語の用法と共起語による影響がより薄いと言える。なお、カタカナ表記「キレイ」について、他の表記より名詞用法に多用され、視覚的にきわだたせる効果を発揮する傾向があることが明らかになった。…

9.3.1.3 節

二重母音 [ei] を含む外来語の連母音表記の問題:

(1) 連母音表記は全体の 15% を占めており、また、約 6 割の対象語は 2 重母音表記を許す。なお、連母音表記を許す外来語のうち、63% は「局所的・例外的出現」のレベルを超えない範囲で

連母音表記を使用している。…9.3.2.1 節

(2) 影響要因: 連母音表記率と音韻特性の関係が薄く、原語のスペルによって表記を決める傾向がある。また、語義数と連母音表記率の間には、また、類義語保有語義比率と連母音表記率の間には弱い相関が認められた。…9.3.2.2 節

(3) 外来語「プレーヤー」を例とした場合、連母音表記は知恵袋や書籍など書き手の個性が重視される分野において多用され、また、頻度の少ない語義において多用され、わざと変わった表記を使用することで、その語の表現する内容の特殊性を伝えようとしている傾向がある。…9.3.2.3 節

上記を見ると、非和語系語彙全体について言うと、漢語と外来語のいずれにおいても、表記ゆれを許す語彙の数は少なくないが、ほとんどの場合「局所的・例外的出現」のレベルを超えない範囲でゆれ表記を使用している。

また、いずれにおいても分野による影響が大きく、ゆれ表記は雑誌や新聞など表記に規定のルールが存在し、編集がかけられた分野においてほとんど使用されていないのに対し、書き手の個性が重視される分野、特に Web においてゆれ表記が多用される。また、多用される理由として、ワープロの変換候補に現れる表記を無意識に選択している可能性がある。

最後に、ゆれ表記の意味特性について言うと、ゆれ表記はある種の特殊マーカーであり、特に表現する内容の特殊性を伝えようとしている、あるいは強調しようとしている時に選択される傾向がある。

ただし、本章の課題として、前章でも述べたように、質的用例分析のサンプル語は 1 語に限られていることが挙げられる。今後、さらなる高頻度語を質的調査のサンプルに取り上げ、得られた結論が他の語においても再現されるかについて調査し、さらに分析の精緻化を図りたい。

第 10 章 語用論的特性：産出モード・産出環境の影響

10.1 はじめに

本論文の第Ⅱ部においては、非和語系語彙の言語特性を、(1)重要語抽出、(2)統語論、(3)意味論、(4)形態論、(5)語用論という 5 観点から調査するが、すでに第 5 章において、重要語抽出という観点から、「重要漢語」2865 語、「重要外来語」1612 語、あわせて「重要非和語系語彙」4477 語を特定した。また、第 6 章と第 7 章において、統語論的観点から非和語系語彙と他の体言との接続現象に注目して調査を行った。具体的には、第 6 章において、非和語系語彙に後続する「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的 ϕ」・「的ナ」という 5 つの連体修飾標識の許容性がどのように異なるか、また、その意味機能にどのような影響が生じるかを解明した。第 7 章において、類似した形式を持つ「ナ」と「ノ」に絞り、許容度調査と 2 標識の選択モデルの構築を行った。第 8 章において、意味論的観点から、類義漢語・外来語の使い分けの問題に注目し、外来語「ストップ」とその類義漢語「停止」を例としてその意味機能の使い分けを解明した。第 9 章において、形態論的観点から、漢語の仮名表記と外来語の連母音表記ゆれに注目して、非和語系語彙の表記ゆれの問題について調査を行った。本章は、語用論的観点に注目して調査を行っていきたい。

非和語系語彙は、抽象的な使用環境において使用されるのではなく、(1)特定の産出モードにおいて、(2)特定の産出環境で使用される。この点をふまえれば、(1')産出モード(書き言葉・話し言葉)、(2')産出環境(レジスター)の 2 観点により、非和語系語彙の使用パターンも変化している可能性がある。ゆえに、本章では、上記の 2 観点が、非和語系語彙の実際的使用にどのように影響しているかを調査していく。

10.2 リサーチデザインと手法

10.2.1 研究目的と RQ

前述のように、本研究は産出モードと産出環境という 2 つの観点が、非和語系語彙の使用に及ぼす影響を調査する。調査にあたっては、これまでの各章での分析手法を踏襲し、観点別に、使用量と、使用される語彙内容の両面を検討する。

この目的に沿い、以下の 4 つの RQ を設定した。

第 1 課題(漢語)

RQ1 産出モード(書き言葉 vs 話し言葉)は漢語使用の量にどのように影響するか？(産出モード別使用量)

RQ2 産出モード(書き言葉 vs 話し言葉)は漢語使用の内容にどのように影響するか？(産出モード別語彙内容)

RQ3 産出環境(ジャンル)は漢語使用の量にどのように影響するか？(産出環境別使用量)

RQ4 産出環境(ジャンル)は漢語使用の内容にどのように影響するか？(産出環境別語彙内容)

第2課題(外来語)

RQ1 産出モード(書き言葉 vs 話し言葉)は外来語使用の量にどのように影響するか？(産出モード別使用量)

RQ2 産出モード(書き言葉 vs 話し言葉)は外来語使用の内容にどのように影響するか？(産出モード別語彙内容)

RQ3 産出環境(ジャンル)は外来語使用の量にどのように影響するか？(産出環境別使用量)

RQ4 産出環境(ジャンル)は外来語使用の内容にどのように影響するか？(産出環境別語彙内容)

なお、以下これらのリサーチクエスチョンを実例データのもとに検証していくわけであるが、あとで行う検証をより体系化するため、事前にそれぞれの課題に対する仮説を考えておきたい。

まず、第1課題(漢語)については、漢語は硬い文脈で使用されやすいと考えられるため、書き言葉で多く(RQ1)、公的で難度の高いジャンルで多い(RQ3)のではないかと予想される。また、第2課題(外来語)については、外来語にはファッション用語なども多く、比較的くだけた文脈で散見されることから、話し言葉で多く(RQ1)、私的でくだけたジャンルで多い(RQ2)のではないかと推測される。つまり、2つの観点において、漢語と外来語は鏡像的なふるまいを示す可能性が予測される。これらの点を以下の分析で検証していく。

10.2.2 データ

本章では、書き言葉コーパスとして BCCWJ を、話し言葉コーパスとして CEJC を利用する。

まず、BCCWJ は全体で 13 種の内容ジャンルに区分されているが、そのうち、「出版・書籍」、「図書館・書籍」、そして「特定目的・ベストセラー」はすべて書籍であるため、本章はこれらを「書籍」として 1 つにまとめる。なお、「韻文」は対象に含めない。次に、CEJC では、会話の形式によって会議会合、用談相談、雑談という 3 つに区分されているが、本研究はこの 3 つすべてを分析対象とする。これにより、実際に検討するジャンル数は、書き言葉 10 種と話し言葉 3 種で、全 13 種とな

る。具体的な内訳は以下の表 1 のようになる。

表 1 使用するデータ

コーパス	ジャンル	総語数
BCCWJ (書き言葉コーパス)	書籍(出版・図書館・ベストセラー)	62,672,407
	雑誌	4,444,492
	新聞	1,370,233
	白書	4,882,812
	教科書	928,447
	広報紙	3,755,161
	Yahoo! 知恵袋	10,256,877
	Yahoo! ブログ	10,194,143
	法律	1,079,146
	国会会議録	5,102,469
	合計	104,686,187
CEJC (話し言葉コーパス)	会議会合	51,985
	用談相談	120,403
	雑談	428,137
	合計	600,525

なお、個々ジャンルの総語数については、「中納言」で表示された各ジャンルの「検索対象語数」(記号・補助記号・空白を除く)を利用する。

10.2.3 手法

まず、各コーパスから漢語と外来語を抽出する方法について述べる。はじめに、BCCWJ における抽出方法を見ていく。本研究は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』語彙表』を利用して漢語(外来語)を抽出する。『現代日本語書き言葉均衡コーパス』語彙表』は国立国語研究所が編纂して一般に公開されたものであり、そこに各分野における個々の語の頻度が含まれている。本章は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』語彙表』の短単位語彙表データを使用し、語種が漢語と外来語に該当するものを抽出する。ただし、漢語の場合、筆者、あるいは書き起こしの方によって漢字で書いたりひらがなで書いたりするぶれが存在する可能性があり(たとえば、「勿論」と「もちろん」)、これが分析結果に影響する可能性もあるが、今回は「形態素」に注目するため、実際のテキ

ストにおける表記の文字種に関係なく、すべて漢語(外来語)を抽出することができる。

さて、今回の分析では、非和語系語彙の使用量と内容の両面を分析することになるが、以下、それぞれの手法について述べたい。まず、使用量の調査では、トークン(延べ語数)とタイプ(異なり語数)の両面に注目する。ただし、今回は比較するデータ間でデータ量が揃っていないため、何らかの調整が必要となる。そこで、トークンについては、 $\text{トークン} / \text{総語数} * 100000$ の処理を行い、10 万語あたりの調整頻度に変換して議論する。また、タイプについては、トークンのようにデータ量によって線形的に増加するわけではないものの、データ量の影響は否定できない。この調整には、タイプをトークンで割った TTR (Type Token Ratio) 値、タイプをトークンの平方根で割った Guiraud の R 値、そして、データ量(トークン)の影響をもっとも強く抑制するとされ(石川, 2012)、タイプの自然対数をトークンの自然対数で割った Herdan の C 値といった語彙多様性指標が便宜的に使用可能であるが、今回は、データサイズの差が大きすぎて、C 値を使っても、厳密に同じ環境でタイプの量を議論しているわけではない。そこで、本研究では、各ジャンルからおおよそ同等量の小規模なサンプル(500 語程度*30 本)を抽出した上で、UniDic 辞書が搭載された Web 茶まめで形態素の数を数え、それぞれ 500 語(形態素単位)に厳密にそろえたあとで、サンプル内のタイプ数を直接比較する。

なお、トークン使用量の比較の際には、差の有意性を統計的に検定する。RQ1(産出モード別使用量)では、トークン使用量についてカイ二乗検定を行い、タイプ使用量について t 検定を行う。

次に、非和語系語彙の内容についてであるが、今回は、比較するデータにおける高頻度 20 語を抽出して検討する。ただし、抽出された語の中には、数詞(例:1, 2)、助数詞(例:本, 円)、接尾辞(例:的, 化)、接頭詞(例:第, 不)といった機能語が多く含まれると想定される。これらはテキストの内容を反映しにくいと考えられるため、本研究はこれらを除去することとする。

以下、RQ ごとに処理の流れを簡潔に記す。まず、RQ1(産出モード別使用量)では、BCCWJ(書き言葉)と CEJC(話し言葉)を比較し、漢語(外来語)の調整トークン使用量と調整タイプ使用量を計算して比較する。

RQ2(産出モード別語彙内容)では、それぞれのコーパスにおいて使用した漢語(外来語)上位 20 語を抽出して比較を行う。

RQ3(産出環境別使用量)では、BCCWJ と CEJC の全ジャンル(全 13 種)について調査を行い、ジャンルごとに調整トークン使用量とタイプ使用量を比較する。

RQ4(産出環境別語彙内容)では、BCCWJ と CEJC の全ジャンル(全 13 種)において使用した漢語(外来語)上位 20 語を比較する。

10.3 結果と考察

10.3.1 第1課題(漢語)

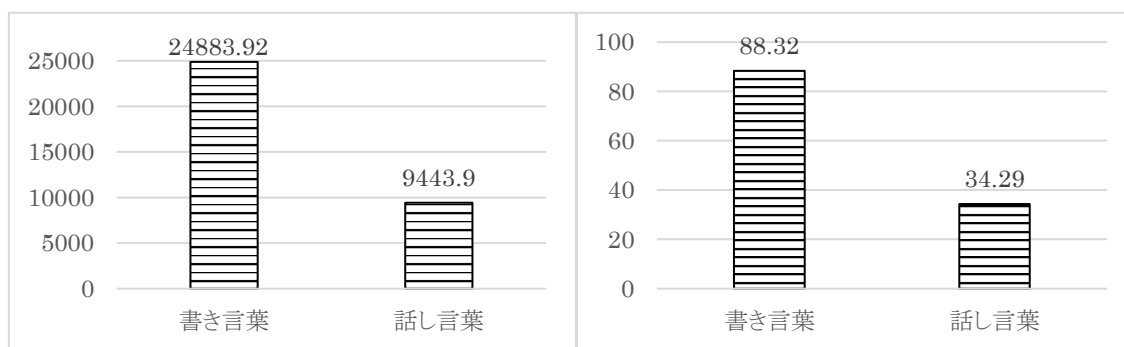
10.3.1.1 RQ1 産出モード別使用量

まず、産出モードが漢語使用にどう影響するかを概観する。分析は、分量(RQ1)と内容(RQ2)の両面で行うこととなるが、先に分量の概観を行いたい。産出モード別調整漢語トークン使用量とタイプ使用量を調査した結果、以下の図1と図2が得られた。

図1 漢語の産出モード別調整トークン使用量

図2 漢語の産出モード別タイプ使用量

(サンプルデータ)



まず、トークン使用量について、図1より、書き言葉における漢語のトークン使用量は話し言葉より1.6倍程度多いことが観察された。カイ二乗検定を行った結果、統計的にも差は有意であった($p<.001$)。漢語の使用は、日本語全体で安定的で普遍であるわけではなく、書き言葉か話し言葉かという言語の産出モードによって、大きく変化することが実証された。

一般に、漢語は硬い文体において多用されるとみなされる(蓮井(2014)、小磯他(2009)など)。話し言葉に比べると、書き言葉は硬いものが多いことから、今回の結果はこうした先行研究の結果を裏付けるものであると言える。また、宮島(1994)では「漢語と和語とがおなじ意味分野にあるとき、一般に、漢語は文章語的、和語は日常的である」と、多門他(2005)では、「一般に、漢語がかつて正式・公式の文章であった漢文でつかわれてきたために文章語である」と述べられたが、今回の結果もこれらを裏付けると言える。

漢語が書き言葉で多用される理由としては、(a)漢語によるフォーマリティの表出、(b)漢語複合名詞の多用、(c)漢語専門用語の多用、(d)サ変動詞の漢語名詞化、(e)和語による相槌の少なさ、の5点が考えられる。以下、それぞれの用例を見てみよう。

まず、(a)漢語によるフォーマリティの表出について、類似の内容を表す話し言葉の例(用例(1))、

(3))と書き言葉の例(用例(2), (4))を比較してみよう。

(1)だから最近はめっちゃ怒ったりしてる。(CEJC・T011_005)

(2)『将来になりたい職業は?』という問いに対して「漫画家」と書いたところ、家内が激怒して「漫画家」なんかで食えるわけないでしょう!(BCCWJ・OC10_00676)

(3)あんまともに答える気なかったから。(CEJC・C002_004)

(4)HSIA は、このふたりの有名教授に対して、人間に限った研究でTCE が癌を引き起こしたことが証明されたかという、偏った質問に絞って返答するよう求めていたのだった。(BCCWJ・LBm9_00053)

上例において、話し言葉では、くだけたニュアンスを含意する「めっちゃ怒った」および「答える」という和語が選ばれているが、書き言葉では、それぞれ、「激怒」および「返答」という漢語が選択されている。用例(2)や(4)において、仮に、漢語に代えて(1)(3)のような和語を使用すれば、文のフォーマリティが著しく低下して、きわめて不自然な印象を与えるだろう。(2)では、漢語を用いることで、描写しようとする事態から一步距離を取って、配偶者の怒りを冷静に客観化して表出している。(4)では、同じく漢語を用いることで、教授への問いかけが所定の形式に則った正式のものであることが含意されている。このように、書き言葉では、和語に代えて意図的に漢語を選択することで、表出する内容のフォーマリティの高さを含意し、あわせて、表出される内容の客観性や正式性を含意することが多い。

次に、(b)漢語複合名詞の多用について考えたい。石井(2002)は、書き言葉では、複合名詞のように、「単語連続から臨時一語をつくるその過程が文章の中に顕現」しやすいと述べる。また、林他(2007)は、書き言葉では、「送信が完全に完了してから受信が行われ、受け手は何度でも読み返すことが可能」であるため、話し言葉に比べ、複合名詞を含めて、「長い文、重文・複文のようなやや複雑な構文、難解な語彙などが…躊躇なく用いられる」としている。小磯他(2009)は、複合名詞が、書き言葉のなかでも、白書のような漢語率の高いジャンルで頻出することを指摘している。複合名詞の構成語彙の大半が漢語であることをふまえると(小磯他, 2009)、書き言葉における漢語の多用の一因は、漢語複合名詞が相対的に多いためと考えられる。以下、具体的な用例を見てみよう。

(5) 水産物について高度経済成長期と安定経済成長期における品目別の価格の変動と購入量の変動との関係についてみると、高度経済成長期には価格が上昇しても購入量が伸びているものが多かったが、安定経済成長期には価格変動に敏感に反応し、価格の上昇と消費量の減少、価格の下落と消費量の増大という関係が強く現われている。(BCCWJ・OW2X_00173)

(6) 国内需要をみると、消費者物価の安定にもかかわらず、個人消費が実収入の伸び悩み等による実質可処分所得の減少などを主因に低調に推移し、民間住宅投資も五十五年度に引き続き停滞した。(BCCWJ・OW2X_00092)

たとえば、例(5)の「高度経済成長期」と「安定経済成長期」、例(6)の「実質可処分所得」について言うと、それぞれ 4 語の漢語(短単位)が連続した複合名詞となっている。これらは本来、「経済が高度に成長する時期」、「経済が安定(的)に成長する時期」、「実質(的)に処分することが可能な所得」などの内容を示すわけであるが、複合名詞では単語間の統語的關係性を示す助詞を省略できるため、複合名詞が多くなればなるほど、助詞(和語)が減り、結果として、漢語率が上昇する。これは書き言葉の大きな特徴の一つである。もちろん、複合名詞を一般の会話で使うことが不可能というわけではないが、形態素が長くつらなつた複合名詞を会話で使うのは、かなり不自然であり、十分な背景知識がなければ、聞き手がうまく聞き取れない可能性も高い。

なお、前出の(5)や(6)の複合名詞は経済分野で多用されるもので、分野の専門用語にもなっていることに注目したい。(c) 漢語専門用語の多用は、すでに見た(b)の要因とも重なるものだが、書き言葉では、各種の専門的用語が頻出し、その多くは漢語で表記される。こうした語彙もまた、学会発表などの専門家同士のやり取りを除き、一般の話し言葉で 사용되는ことはほとんどない。日本語の語種のうち(混種語を除く)、漢語はもっとも高い専門度を有し(馬場, 2018)、漢語は専門用語として大きな役割を果たす(太田, 2008)。以下の例を見てみよう。

(7) 二千五年三月期の連結経常利益が一千億円で、前期比三十六%増える見通しと発表したことが好感された。(BCCWJ・PN4m_00013)

(8) 水溶性のポリマーは従来の通常の合成界面活性剤とは原理の異なるタイプの界面活性剤なのですが、合成界面活性剤と併用すると界面活性は一段と強くなります。(BCCWJ・LBs5_00043)

例(7)で使用された「連結経常利益」は経済分野の専門用語で、例(8)で使用された「合成界面活性剤」は化学分野の専門用語である。書き言葉では、こうした専門的な語彙の多くはすでに見た複合名詞の形で頻出し、そのことも、書き言葉における漢語率を高めていると言えよう。

続いて、(d)サ変動詞の漢語名詞化について考えたい。Halliday(1995)では、複雑な文章ほど動詞群を名詞化するとされる。また、小磯他(2009)も、より複雑でフォーマルな文体においては名詞率が高くなると指摘している。漢語動詞を名詞化すると、「する」が脱落する(例:～を改善する→～の改善)。これにより、「スル」動詞(和語)の使用量が少なくなり、結果的に、漢語率も上昇する。以下、用例を見てみよう。

(9)作業環境については、リフター等による重筋作業の軽減や作業姿勢の改善、作業レイアウトの見直し、採光、空調等職場施設の改善等により改善が図られている。(BCCWJ・OW5X_00818)

(10)都市部以上に進行している農山漁村の少子・高齢化に的確に対応するため、少子化対策として、農山漁村の実情に適合した少子化への取組の啓発・普及、子育て支援体制の整備と女性が活動しやすい環境づくり等を実施し、高齢者対策として、高齢者等に対する農業による心身リフレッシュの支援活動の促進、高齢者のいきがい活動の支援、高齢者活動を支援するボランティアの育成を行う。(BCCWJ・OW6X_00209)

上例のように、サ変動詞の「する」を省いた漢語名詞を集中的に使うことは、一般の話し言葉ではほとんどない。書き言葉というモードでのみ、こうした表現が許され、このことが(すでに見た他の理由とともに)書き言葉における漢語の多さの一因となっていると言えよう。

なお、以上で見た(b)漢語複合名詞、(c)漢語専門用語、(d)サ変動詞の漢語名詞化という3つの要因は、それぞれ密接に関与している。サ変動詞が漢語名詞化したものの大半は専門用語であり、それらは容易に他の漢語と結合して複合名詞を作る。以下の例(11)を見てみよう。

(11)c.相互依存はしばしば非対称となる。(BCCWJ・PB13_00686)

例(11)で使用された「相互依存」は、全体として専門用語的な使われ方をしているが、同時に、「相互」+「依存」という複合名詞であり、「依存」はサ変動詞「依存する」の漢語名詞化でもある。

最後に、(e)和語による相槌の少なさについて考えたい。以下の話し言葉の用例を見てみよう。

(12)A: であまそのコートを開放オー試合終わってからコート開放するからま普通のこうゆう会員
さんもえ一來て見に来てもらって。

B: うーん。C: うんうんうん。B: うん。

C: うんそだよね。応援に来たりするかもしれないよね。

A: 応援に来てもらって。

C: ちょっと盛り上がるよね。

A: そそそう。(CEJC・S001_018)

このように、話し言葉においては、相手の話に同意や同感を表し、コミュニケーションを円滑にするために、「うんうん」や「そうそう」といった和語の相槌が多い。書き言葉では、これらが存在しないため、このことも、書き言葉における漢語率との高さに影響している可能性がある。

以上で、トークンについて、漢語は書き言葉のほうで多いことを確認してきた。続いて、タイプ使用量について、図 2 を見ると、トークン使用量の場合と同じように、書き言葉は話し言葉の約 1.6 倍多いという観察がなされ、 t 検定により、差の有意も確認された ($t < .001$)。

書き言葉における漢語のタイプ使用量が多い理由として、(i) トークン使用量の多さ、(ii) 同一名詞の反復間隔の長さ、(iii) 冗長的表現の少なさ、という 3 点が考えられる。まず、(i) について、すでに述べたように、漢語のトークン使用量は書き言葉のほうがかかなり多い。このことが書き言葉におけるタイプ使用量の多さにつながると考えられる。たとえば、以下の用例を見てみよう。これらはどちらも 100 語程度の同じ長さのものである。

(13) 大きくふたつに分けられる。「新国家エネルギー政策」を打ち出し、現状をエネルギー危機と位置づけ、その対応策を提示したこと。もう一つは国際的に議論が進んできた地球問題へ環境の対応で、その中心的な役割を果たす京都議定書の枠組みに入ることを拒否したことだ。評価は定まらないが、共通していえるのは、ブッシュ政権が独善的ともいえる形で「強いアメリカ」を打ち出したことだと理解されている。(BCCWJ・PN1c_00012)

(14)A: でもあたしの社員証は結構長いよ。

B: それかもっとミ。うそ。A: ほんと。C: そうなんだ B: 見たことない。

A: それキョきょう突っ込まれたんだけど。B: うん。C: うん。

A: それさ何年前とかゆわれて。だって撮ってから変えてないじゃん。みんな変えてないんじゃないのとかってゆったら。B: え。

C:社員証ねみんな変えないでしょう。B:えー。あっそうなのね。A:そう。

B:社員証ってさじゃ何年。

C:あ。そっか。じゃ社員証の顔って皆さんすごい違う人になってんのね。(CEJC・C002_006a)

例を見ると、書き言葉(例(13))では漢語が 27 語使用されているのに対し、話し言葉(例(14))では 12 語しか使用されていない。必然的に、話し言葉におけるタイプ使用量も少なくなる。実際、例(6)のタイプ使用量は 24 種で、例(7)のタイプ使用量は 5 種にとどまっている。

次に、(ii) 同一名詞の反復間隔の長さについて、鯨井(2012)では、書き言葉よりも話し言葉の方が反復の間隔が短く、特に、話し言葉の中の対話はもっとも反復の間隔が短いと述べられている。というのも、話し言葉では、聞き手が容易に理解できるように、文を短めにしたりする傾向があるため、主体や客体となりやすい名詞の反復間隔が必然的に短くなるからである。一方、書き言葉では、送信が完全に完了してから受信が行われ、受け手は何度でも読み返すことが可能であり、長い文、重文・複文のようなやや複雑な構文が話し言葉に比べて躊躇なく用いられる傾向がある(林他, 2007)ため、同一名詞の反復間隔が長くなる。たとえば、以下の用例を見てみよう。

(15) 講師陣は稲田俊治・高知大教授をはじめ、県外の先進地や研究者らで、一般論から各種教室のプログラム立案や会計処理、事故予防と保険に至るまで事細かな内容だ。講師の一人で、全国各地で同様の講習会に招かれることの多い富山浩三・北九州市立大助教授は…(BCCWJ・PN3m_00009)

(16) A:例えば例えばそのみんなでこう抽選会みたいなのをやるとか。

B:うんうん。あっ抽選会ね。

A:親睦会みたいに。

B:うん。そそう。親睦会みたい。(CEJC・S001_018)

例を見ると、例(15)では「講師」が 2 回使用されたが、その間には 40 語の間隔がある。一方、例(16)では、「抽選会」と「親睦会」はそれぞれ 2 回使用されたが、その間には、9 語と 4 語の間隔しか存在しない。このように、書き言葉にける同一名詞の反復間隔が話し言葉より長いため、結果としてタイプ使用量も多くなる。

最後に、(iii) 冗長的表現の少なさについて、話し言葉においては、自分の言っていることを言

い直したり、相手の言っていることを繰り返したり、先取りしたりする現象が見られる。これらの冗長表現は、なんらかの意味で一種の繰り返しの冗長な表現であり、同一話者による「言い直し」や、異なる話者による「重なり合い」・「先取り」などに分けられる(川森他, 1996)。一方、書き言葉は一般に綿密に計画されており、小説の会話文以外に、上述のような冗長的表現はほとんど出現しない。そのため、話し言葉より書き言葉における語の繰り返しが少なく、タイプ率も上がっていく。以下、話し言葉の用例を見てみよう。

(17)なんかちょっと深刻テ深刻に深刻なお手紙みたいな、こうさピアニストがなかなかなくてってゆう文章で、それを読んで、ああかわいそうだななんか協力できるかなって思う人がいたら連絡をしてくれるかもしれないじゃない。

(18)A:変な話し失敗はさせないよ。

B:もちろん。

A:大きな失敗はね

(19)A:でさ仲良し公園のともなくなったよね。

B:仲良しレ公園?

C:あつ仲良し公園てあれ

A:あのうちんちからすぐ近くの。

例(17)では、話者が助詞の使用に間違っていることに気づき、「深刻て」、「深刻に」、「深刻な」のように3回も繰り返して修正を行った。例(18)も、話者自身が言ったことが不十分であることに気づき、1回修正(失敗→大きな失敗)を行った。例(19)では、話者Bは話者Aが言った「仲良し公園」を繰り返すことで、自分がその情報を正しく受け取ったかどうかを確認していると考えられる。また、話者Cは自分の理解したことが正しいかどうかを確認ために、「仲良し公園」を繰り返した。このように、話し言葉における冗長的表現が多く、その結果として、漢語のタイプ使用量も減少している。

なお、上記の(ii)と(iii)という2つの理由については、2つとも話し言葉の特徴であり、漢語だけではなく、外来語と和語にも影響されていると考えられる。なお、(ii)については主語や客体になりうる名詞に対して影響が大きいことから、名詞となりやすい漢語と外来語に影響をより及ぼしやすいと考えられる。

以上で、RQ1では、トークンとタイプの2つの観点から漢語の使用量を概観した。その結果、2つの観点のどちらにおいても、書き言葉における漢語使用量が話し言葉より多いことが確認された。

そして、書き言葉におけるトークン使用量が多い理由として、(a) 漢語によるフォーマリティの表出、(b) 漢語複合名詞の多用、(c) 漢語専門用語の多用、(d) サ変動詞の漢語名詞化、(e) 和語による相槌の少なさ、という 5 つが挙げられ、また、タイプ使用量が多い理由として、(i) トークン使用量の多さ、(ii) 同一名詞の反復間隔の長さ、(iii) 冗長的表現の少なさ、という 3 つが挙げられる。

続いて、産出モードごとに使用される上位漢語の内容について見ていこう。

10.3.1.2 RQ2 産出モード別語彙内容

書き言葉と話し言葉のそれぞれにおける漢語上位 20 語を調査した結果、表 2 が得られた。

表 2 書き言葉と話し言葉における漢語上位 20 語

書き言葉		話し言葉	
上位語	10 万語当り調整頻度	上位語	10 万語当り調整頻度
様(ヨウ)	357.01	本当	242.62
自分	106.18	方(ハウ)	164.52
方(ハウ)	92.32	多分	126.22
問題	68.33	大丈夫	120.06
必要	67.49	結構	117.23
時間	64.87	全然	99.75
会	58.76	自分	86.92
気	55.86	様(ヨウ)	86.42
関係	55.06	君	73.10
市	48.53	気	60.28
社会	46.82	時間	58.45
僕	45.56	全部	55.62
以上	44.62	一緒	54.95
事業	44.47	生	53.79
世界	41.04	普通	53.29
人間	40.74	先生	52.12
生活	40.31	御免	49.62
法	40.29	一番	48.46
会社	39.35	別	44.13
研究	38.11	絶対	42.13

表 4 を見ると、書き言葉と話し言葉の上位 20 語のうちに、重複は 5 語のみで、多用される漢語の内容は、書き言葉と話し言葉で大きな違いがあることが示唆された。

使用される漢語の具体的内容に注目すると、書き言葉では、主体や客体となりうる名詞(例: 社会, 事業, 人間, 会社など)や、関係を表す抽象名詞(例: 必要, 関係, 以上など)が多く、話し言葉では程度副詞(例: 本当, 多分, 結構, 絶対など)や、くだけたニュアンスを含意する名詞の副詞的使用(例, 多分, 結構, 絶対など)が多いことがわかる。これは、書き言葉と話し言葉の基本的な機能の差を反映している可能性がある。

書き言葉では、正確な情報伝達が主な機能となり、そこでは、誰が(主体)誰に対して(客体)何を(客体)しているのかを正しく伝達することが重要になる。一方、話し言葉では、情報よりも、相手との関係性の構築・維持に主眼が置かれる。この時、重要になるのは、話者がスタンスを調整することで、話者の主張をやわらげたり強調したりする程度副詞や、くだけたニュアンスを有する副詞的名詞が多用されるのはこのためであると考えられる。

以上、RQ2 では、産出モードは使用された漢語の内容にどのような影響を及ぼすかについて調査を行った。その結果、書き言葉と話し言葉における漢語使用の内容が大きく異なり、書き言葉では、主体や客体となりうる名詞や、関係を表す抽象名詞が多く、話し言葉では程度副詞や、くだけたニュアンスを含意する、名詞の副詞的使用が多いことがわかる。次節では、産出環境の影響について見ていく。

10.3.1.3 RQ3 産出環境別使用量

ここでは、産出環境(ジャンル)が漢語使用に影響するかどうかを概観していく。BCCWJ と CEJC の全ジャンル(全 13 種)に対して調査を行った結果、ジャンルごとの漢語使用量に関して以下の結果が得られた。

表 3 漢語の産出環境別使用量

コーパス	ジャンル	トークン順位 (10 万当り調整トークン)	タイプ順位 (タイプ数)
BCCWJ	書籍	8 位(22682.93)	9 位(75.20)
	雑誌	7 位(24460.82)	7 位(75.97)
	新聞	4 位(35178.76)	1 位(115.17)
	白書	3 位(48158.52)	2 位(111.57)
	教科書	5 位(30990.89)	4 位(88.47)

	広報紙	1 位 (50312.22)	3 位 (111.30)
	Yahoo! 知恵袋	10 位 (17645.45)	10 位 (69.93)
	Yahoo! ブログ	9 位 (20941.34)	6 位 (78.60)
	法律	2 位 (48776.81)	8 位 (75.47)
	国会会議録	6 位 (25350.26)	5 位 (81.57)
CEJC	会議会合	11 位 (10824.28)	12 位 (34.13)
	用談相談	12 位 (10494.76)	11 位 (35.20)
	雑談	13 位 (8980.77)	13 位 (33.53)

上表よりわかることは 4 点ある。1 点目は、順位の点で、話し言葉ジャンルがすべて書き言葉ジャンルの下に来ていることに示されるように、すでに前節で検討したモード差(書き言葉・話し言葉)の影響がジャンル差の影響を上回っていることである。

2 点目は、上記にもかかわらず、たとえば、書き言葉の諸ジャンルに対象を絞っても、ジャンル間の最大値と最小値の比率はトークンでは 2.9 倍、タイプでは 1.6 倍になっており、ジャンルによっても一定の頻度差が生じているということである。このことは、ジャンル差が、モード差に次いで、漢語使用量に影響を及ぼしていることを証明する。

3 点目は、トークン・タイプ間で若干の差はあるものの、総じて言えば、広報紙・白書・新聞・教科書(いずれの基準でも上位 5 位以内)で漢語が多用され、雑談・用例相談・会議会合・知恵袋(いずれの基準でも下位 4 位以内)で漢語の頻度が低くなっているということである。下記の 2 つの用例を比較してみよう。

(20) 就職やキャリアアップのため、仕事に結びつく教育訓練講座を受講する場合、費用の一部を支給します。●支給額 費用の十分の 2(四千一円から十万円を限度)●対象講座 雇用保険法に基づく教育訓練給付の指定教育訓練講座(ホームヘルパー1.2 級、パソコン訓練等)【高等技能訓練促進費】指定された対象資格を取得するため、2年以上養成機関で修業する場合、高等技能訓練促進費(上限十二か月)および入学支援修了一時金を支給します。(広報紙(書)・OP86_00004)

(21) A: でその介護関連の仕事は結構あるから。うん。なんか資格でもとあーのだけでも取っとくとね、損ないわよみたいな話をして。B: うん

A: でなんかちょうどその堀江さんが行ってるところであーの平日の昼間だったかな。なんか手が足りなくて。B: うん。うん。

A: 全然資格とかもいらない。うん。ただまあ体力があればいいみたいな感じで。あーの今ちょうど募集してるんだけどどうみたいな感じで言われて。B: うん

A: ただやっぱりちょっと平日の休みがやっぱりイレギュラーだし。(雑談(話)・C001_012)

上記に明らかなように、情報伝達型のジャンルでは漢語の使用量が増え、対人関係構築型のジャンルでは漢語の使用量が減ると言える。特に、例(20)と(21)について、広報紙では「資格を取得する」という漢語が選択されているが、雑談では「資格を取る」という和語が選ばれている。これらは、ジャンルによって、漢語のトークン使用量が影響を受けることを傍証している。

4点目は、大半のジャンルでトークン順位とタイプ順位の差はおよそ0～3位程度にそろっているが、法律でのみ、大きな乖離が見られたことである(トークン2位, タイプ8位, 6位差)。これには法律文の特殊な事情が考えられる。以下の用例を見てみよう。

(22) 一 輸送の安全を確保するための事業の運営の方針に関する事項。二 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制に関する事項。三 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の方法に関する事項。(法律(書)・OL3X_00017)

(23) 一 第四条第一項の登録申請書又は同条第二項の書類に虚偽の記載をして提出した者。二 第十一条第二項又は第三項の規定に違反した者。三 第二十一条第一項(第二十四条第二項, 第二十四条の二第二項, 第二十四条の三第二項, 第二十四条の四第二項, 第二十四条の五第二項及び第二十四条の六において準用する場合を含む。)の規定に違反した者。(法律(書)・OL2X_00084)

このような特殊な同一語の反復により、法律文においては、漢語のトークン量が高く、タイプ量はそれほど多くないという結果になったものと考えられる。

以上 RQ3 では、産出環境別漢語使用量について調査を行った。その結果、調整トークン使用量とタイプ使用量のどちらの観点においても、産出環境は漢語使用量に影響を与え、情報伝達型のジャンルでは漢語の使用量が増え、対人関係構築型のジャンルでは漢語の使用量が減ることがわかった。また、漢語使用量に限って言えば、産出環境の差が、産出モード差に次いで、漢語使用量に影響を及ぼしていることも合わせて確認された。次節では、産出環境別に使用された漢語上位語の内容について調査を行っていきたい。

10.3.1.4 RQ4 産出環境別語彙内容

最後に、産出環境(ジャンル)別の漢語上位語の内容について調査していく。全 13 ジャンルにおける漢語上位 20 語について調査を行った結果、以下の表 4 が得られた。また、表 4 に基づき、各ジャンル間の漢語上位語の重なり語数を整理した結果、の表 5 が得られた。

表 4 産出環境別漢語上位 20 語

	順位	上位語	順位	上位語		順位	上位語	順位	上位語
書籍	1	様	11	世界	雑誌	1	様	11	僕
	2	自分	12	社会		2	自分	12	以上
	3	方	13	意味		3	写真	13	撮影
	4	僕	14	時代		4	気	14	女性
	5	気	15	生活		5	感	15	時代
	6	人間	16	会		6	方	16	問題
	7	必要	17	以上		7	世界	17	価格
	8	問題	18	本当		8	可能	18	市
	9	関係	19	女性		9	必要	19	会社
	10	化	20	会社		10	県	20	人気
新聞	1	市	11	昨年	白書	1	年度	11	様
	2	様	12	政府		2	事業	12	推進
	3	県	13	首相		3	研究	13	増加
	4	会	14	関係		4	整備	14	環境
	5	問題	15	代表		5	地域	15	企業
	6	区	16	自分		6	図	16	別
	7	同	17	監督		7	調査	17	施設
	8	世界	18	経済		8	実施	18	対策
	9	選手	19	参加		9	技術	19	表
	10	米	20	事件		10	開発	20	利用
教科書	1	様	11	利用	広報紙	1	市	11	参加
	2	図	12	運動		2	会	12	地域
	3	生活	13	社会		3	午後	13	電話
	4	変化	14	関係		4	午前	14	事業
	5	式	15	線		5	区	15	学校
	6	地域	16	自分		6	対象	16	土
	7	表	17	量		7	相談	17	福祉
	8	地球	18	問題		8	健康	18	以上
	9	世界	19	必要		9	市民	19	内容
	10	例	20	情報		10	保険	20	方
知恵	1	様	11	必要	ブログ	1	様	11	最近
	2	方	12	回答		2	自分	12	世界

袋	3	自分	13	女性	グ	3	方	13	県
	4	質問	14	普通		4	気	14	撮影
	5	気	15	問題		5	写真	15	駅
	6	会社	16	最近		6	本当	16	最後
	7	出品	17	意味		7	今回	17	記事
	8	方法	18	可能		8	市	18	以上
	9	本当	19	結婚		9	会	19	一番
	10	落札	20	一番		10	僕	20	問題
法律	1	項	11	前項	国会 会議 録	1	様	11	法
	2	規定	12	以下		2	委員	12	関係
	3	当該	13	事項		3	問題	13	必要
	4	事業	14	必要		4	風	14	事業
	5	法	15	指定		5	政府	15	年度
	6	法律	16	額		6	大臣	16	指摘
	7	大臣	17	特定		7	点	17	制度
	8	他	18	法人		8	方	18	説明
	9	会社	19	計画		9	会	19	調査
	10	業務	20	準用		10	非常	20	状況
会議 会合	1	本当	11	全部	用談 相談	1	本当	11	気
	2	方	12	御免		2	方	12	会
	3	多分	13	関係		3	大丈夫	13	普通
	4	大丈夫	14	全然		4	多分	14	全部
	5	様	15	去年		5	結構	15	一番
	6	会	16	半		6	様	16	別
	7	結構	17	委員		7	自分	17	一応
	8	風	18	結局		8	先生	18	一緒
	9	一応	19	大変		9	全然	19	大変
	10	自分	20	一緒		10	御免	20	僕
雑談	1	本当	11	全部					
	2	方	12	普通					
	3	多分	13	一番					
	4	結構	14	絶対					
	5	全然	15	別					
	6	大丈夫	16	先生					
	7	自分	17	僕					
	8	様	18	御免					
	9	気	19	御飯					
	10	一緒	20	辺					

表 5 各ジャンル間の漢語上位語の重なり語数

	書籍	雑誌	新聞	白書	教	広	知	ブ	法律	国会	会議	用談
雑誌	12											
新聞	6	7										
白書	1	1	1									
教	8	5	5	1								
広	2	3	4	2	1							
知	10	9	3	1	4	1						
ブ	10	12	7	1	4	4	8					
法律	2	2	0	1	1	1	2	0				
国会	6	4	5	4	4	3	4	4	4			
会議	6	3	4	1	3	2	4	5	0	6		
用談	6	4	3	2	2	2	7	7	0	3	14	
雑談	6	5	2	2	2	1	7	7	0	2	11	16

表 4 と表 5 からわかることとして以下の 2 点が挙げられる。

1 点目は、産出環境の差に関して、ジャンル間での漢語上位 20 語の重なり語数は 0 から 16 まです、ばらつきが大きいことである。たとえば、法律ジャンルと新聞ジャンル、そして、法律ジャンルとブログジャンルについて言うと、上位 20 語のうち 1 語も重なっておらず、これらのジャンルの漢語使用には大きな違いが存在すると言える。一方、雑談ジャンルと用談相談ジャンルを見ると、上位語 20 語のうち 16 語が重なり、この 2 つのジャンルにおいて使用された漢語の内容は非常に類似していると言える。なお、ここで注目すべきは、ジャンルの差が、書き言葉と話し言葉の差を超えて漢語使用の内容に影響することである。たとえば、同じ書き言葉であっても、雑誌ジャンルは白書ジャンル 1 語しか重なっていない。しかし、話し言葉である雑談ジャンルとは 5 語が重なっている。産出モードが異なっているにも関わらず、雑誌ジャンルの漢語の内容は、白書ジャンルよりむしろ雑談ジャンルと類似していると言える。

2 点目は、上位の漢語が、ジャンル汎用語と、ジャンル固有語に区分できるということである。たとえば、様態助動詞「様」(○○のように)や、代名詞「自分」、そして「方」(例:○○のほうが)は、いずれも機能語的な特質を持つが、これらは、13 ジャンル中、11, 9, 9 ジャンルで上位語に入っており、ジャンル汎用的に使用できる一般的な漢語と言える。一方、「福祉」や「市民」は広報紙ジャンル、「施設」は白書ジャンル、「前項」は法律ジャンルをそれぞれ特徴づけている。これらはすべて、1 つのジャンルでのみ上位語に入っている。

以上、第1課題(漢語)では、産出モード別の漢語使用(RQ1(使用量)・RQ2(内容))、および、産出環境別の漢語使用(RQ3(量)・RQ4(内容))について調査を行った。

RQ1 では、産出モード別漢語使用量について、調整トークン使用量とタイプ使用量の2観点のどちらにおいても、書き言葉における漢語使用量が話し言葉より多いことが確認された。

RQ2 では、産出モード別漢語の語彙内容について、書き言葉と話し言葉における漢語使用の内容が大きく異なり、書き言葉では、主体や客体となりうる名詞や、関係を表す抽象名詞が多く、話し言葉では程度副詞や、くだけたニュアンスを含意する名詞の副詞的使用が多いことがわかる。

RQ3 では、産出環境別漢語使用量について、調整トークン使用量とタイプ使用量のどちらの観点においても、産出環境は漢語使用量に影響を与え、情報伝達型のジャンルでは漢語の使用量が増え、対人関係構築型のジャンルでは漢語の使用量が減ることがわかった。また、漢語使用量に限って言えば、産出環境の差が、産出モード差に次いで、漢語使用量に影響を及ぼしていることも合わせて確認された。

RQ4 では、産出環境別漢語の語彙内容について言うと、上位語の重なり語数はジャンル間に大きく異なり、また、産出環境の差異は産出モードの差を超えて漢語の使用内容に影響していることが確認された。

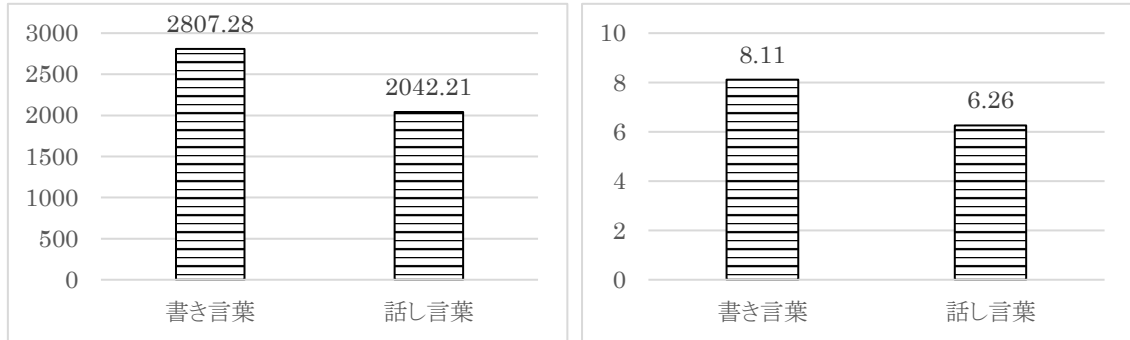
10.3.2 第2課題(外来語)

以下第2課題(外来語)では、産出モード別の、および産出環境別の外来語使用について調査を行っていく。また、すでに述べたように、分析の観点としては分量と内容の2つを挙げる。

10.3.2.1 RQ1 産出モード使用量

まず、産出モード別の外来使用量について概観していく。それぞれの産出モードにおける外来語の調整トークン使用量とタイプ使用量を調査した結果、以下の図3と図4が得られた。

図3 外来語の産出モード別調整トークン使用量 図4 外来語の産出モード別タイプ使用量
(サンプルデータ)



まず、調整トークン使用量について、図3を見ると、書き言葉における外来語の調整トークン使用量は話し言葉より37%多いことが観察された。カイ二乗検定を行った結果、統計的にも差が有意であった($p<.001$)。

外来語の使用量が話し言葉よりも書き言葉で多いことの背景としては、(a)外来語専門用語の多用、(b)和語による相槌の少なさ、の2点が考えられる。まず、(a)については、外来語の多くが専門語かそれに準ずる語で、一般の発話においては話題として扱われにくい点が考えられる。以下の例を見てみよう。

(24) ペニシリンはペプチジルトランスフェラーゼの活性部位に、おそらく不可逆的に結合して、酵素活性を阻害し、ペプチドグリカンの生合成がそれ以上進むのを抑えてしまう。
(BCCWJ・PB34_00302)

(25) 最近のヴィジュアル・スタディーズの目玉の一つが、「ニュー・ミュージオロジー」といって、近代がつくってきた展示教育システムのイデオロギー的偏向や悪意を分析し、告発するという動きですが、それをもふまえた上で、ぜひヴンダーカンマーのマニエリスムの世界とつなげて見てみたい。(BCCWJ・LBq7_00055)

これらは専門的な書き言葉であるから出現したもので、専門家同士のフォーマルや口頭のやり取りの場を除くと、これらを一般会話で使うことはほとんどないと思われる。

また、(b)については、すでに第1課題のRQ1で述べたように、話し言葉においてはコミュニケーションを円滑にするための相槌が多い。書き言葉では、これらが存在しないため、結果的に書き言葉における外来語率が高くなる。

なお、以上で概観したように、外来語は書き言葉で多用するわけだが、書き言葉と話し言葉での使用量の差は、漢語の場合が 263:100 であったのに対し、外来語では 137:100 で、大きく減少している。すでに見たように、漢語の場合は、(a) 漢語によるフォーマリティの表出、(b) 漢語複合名詞の多用、(c) 漢語専門用語の多用、(d) サ変動詞の漢語名詞化、(e) 和語による相槌の少なさ、という 5 つの理由より、書き言葉において大幅に使用量が増えたわけだが、外来語の場合、(a) (b) (d) の理由があてはまらず、専門用語の多用以外に、書き言葉と話し言葉における外来語の使用量の差がそれほど大きくない。馬場(2018)でも、漢語は外来語に比べて文体差が大きい傾向にあることを指摘したが、今回の結果はこうした先行研究の結果を裏付けるものであると言える。以下、用例を見てみよう。これらはどちらも 100 語程度の同じ長さのものである。

(26) みたらしだんごのタレが余っていたので投入。味をみて、塩が足りなかったので投入。鶏肉は塩・こしょうしてオリーブ油で炒めてワインを入れ、それと上記のトマトソースをあわせて出来上がり。ちょっとだけ煮詰めたら、ご飯を適当に(たぶん5人前ぐらいは大丈夫)入れて和えるとチキンライスができる。チーズを角切りにして入れても美味しい。一人前卵を3個も使えば誰でも上手にオムレツは焼けるけれど、そんな事すると身体に悪いので、4人分だと卵4個を割り、少量の牛乳を加えて塩・こしょうをちょっとだけしておく。(BCCWJ・OY03_08644)

(27) A: でもイタリアンおいしいと思うけど。お母さんイタリアン行き？

B: おいしいけど、なんかパンとかパスタばっかかって思うと嫌なんだよね。A: うんうん。

B: 好きなんだけど。好きだけど、たまに食べる分にはいいんだよ。あとはまあタイ料理屋さんとかだったら働きたいけど。アウトスペースでどう？

A: いんじゃない？あ。いやバイト募集してるか？ないんじゃない？

B: 行ったことないけど。みんな行ってていいなって思ってる。勝手に。

A: 行ってみようか。一緒に。今度。B: うん。今度行く。A: きょう行く。B: いや。いいよ。

A: きょうランチ行ってもいいよ。(CEJC・K002_007)

例(26)と例(27)はいずれも外来語 8 語が使用されており、専門の場面を除けば、使用された外来語の量には明白な差異がほとんど見られなかった。

続いて、タイプ使用量について、図 4 を見ると、調整トークン使用量と同じように、書き言葉において外来語が多い傾向が見られた。また、*t* 検定を行った結果、書き言葉のほうが多いことが確認

された($p<.01$)。その理由としては、漢語と同じく、(i)トークン使用量の多さ、(ii)同一名詞の反復間隔の長さ、(iii)冗長的表現の少なさ、という3点が考えられる。

まず、(i)トークン使用量の多さについて、すでに述べたように、書き言葉において外来語の専門用語の多用が多く見られる。このことが書き言葉における外来語のタイプ使用量の多さにつながると考えられる。

続いて、(ii)同一名詞の反復間隔の長さについて注目したい。すでに述べたように、話し言葉では、聞き手が容易に理解できるように、文を短めにする傾向がある一方、書き言葉では読み手がまた読み返すことが可能であるため、長くて複雑な構文が用いられやすい。そのため、話し言葉では主体や客体となりやすい名詞の反復間隔も自然的に短くなる。以下、用例を見てみよう。

(28)最近では、コンピューターを自分で組み立てる人も増えていて、複雑な作業をこつこつやるから、機械への思い入れもすごいですね。普通のコンピューターでも、自分で使いやすいように、いろいろと手を加えてきた人は、愛着をもっていますね。でも、それは、砂漠遭難課題をやるときに、たまたま出合ったコンピューターに恩を感じるというのとは、ちょっと違いますね。(BCCWJ・LBr4_00035)

(29)A:モデルとかもよくわかんないしな。

B:わかんないね。いっぱいいいすぎてね。A:うーん。C:うん。

A:石を投げたらアイドルに当たる。

B:うん。アイドルって言えばいんだもんね。

A:うん。読モとアイドルはさ。なんかほぼ自称じゃないの？あれ。

B:そうだよな。(CEJC・T008_017b)

例(28)の書き言葉では「コンピューター」が3回使用され、それぞれの間には27語と40語の間隔がある。それに対して、例(29)の話し言葉では「アイドル」も3回使用されるが、それぞれの間には3語と12語の間隔しか存在しない。

最後に、(iii)冗長的表現の少なさについて見てみよう。すでに述べたように、話し言葉においては、自分の言っていることを言い直したり、相手の言っていることを繰り返したり、先取りしたりする現象が見られるが、書き言葉ではこのような冗長的表現はほとんど出現しない。そのため、話し言葉より書き言葉における語の繰り返しが少なく、タイプ率も上がっていく。たとえば、以下の用例を見てみよう。

(30) A: ボールがあつて, ボール型のロボットがあつて, それを応用して, ああゆう形になつたらしい。 B: そうだよ。(BCCWJ・T008_022b)

(31) A: 二人とも働いてるんだ。 B: うん。

A: キャリアウーマンなんだからいいの？

B: うん キャリアウーマン じゃないのよ。

C: キャリアウーマン じゃないよ。

B: わたしも全然フルタイムで働く気はもう全然ないの。(CEJC・C002_006a)

例(30)について、話者は自分が話した情報が不十分であり、相手に誤解を招いた可能性があることに気づき、1回修正を行った(ボール→ボール型のロボット)。また、例(31)について、実際の録音において確認したところ、話者 B と話者 C がほとんど同時に発言し、2句ともに話者 A への返答であり、重なり合いと見なすべきであろう。これは、相手の発言が予測できない話し言葉しか現れない冗長的表現であると考えられる。このように、話し言葉においては冗長的表現が多く、結果としてタイプ使用量も減少している。

なお、第1課題の RQ1 でも述べたように、(ii)と(iii)の2つの理由ともに話し言葉の特徴であり、産出モードの違いによる外来語の使い方の差異ではなく、見かけ上外来語のタイプ使用量が減少しているのに留まっている。

以上 RQ1 では、産出モードは外来語の使用量に影響を及ぼすかについて調査を行った。その結果、調整トークン使用量についてもタイプ使用量についても書き言葉の方が多いことが確認された。なお、書き言葉と話し言葉における外来語の使用量の差は、漢語より大きく減少し、外来語は漢語に比べてモード差が小さい傾向にあることが示唆された。

次に、産出モードごとに使用される上位外来語の内容について見ていこう。

10.3.2.2 RQ2 産出モード別語彙内容

書き言葉と話し言葉のそれぞれにおける外来語の上位 20 語を調査した結果、以下のような表 6 が得られた。

表 6 書き言葉と話し言葉における外来語上位 20 語

書き言葉		話し言葉	
上位語	10 万語調整頻度	上位語	10 万語調整頻度
センター	19.75	ママ	36.80
サービス	15.90	オーケー	33.64
システム	15.73	パパ	31.97
テレビ	14.95	ビール	22.98
メール	14.90	バス	21.98
データ	12.63	ホテル	16.82
ホーム	10.31	パン	16.65
ホテル	10.04	メール	14.15
ブログ	9.76	ワイン	11.82
クリック	9.64	カレー	11.82
グループ	9.56	クラス	10.66
エネルギー	9.49	イメージ	10.49
タイプ	9.10	グループ	9.16
アップ	8.89	ルール	8.99
イメージ	8.78	カメラ	8.99
スポーツ	8.53	トマト	8.99
パソコン	8.45	コーヒー	8.16
モデル	8.27	テレビ	7.99
レベル	8.22	バナナ	7.99
カード	8.12	チーズ	7.66

表 6 を見ると、書き言葉と話し言葉の上位 20 語のうちに、5 語が重なっていることがわかった。この重なり度について言うと、漢語と同じく、書き言葉における外来語の上位語の内容は、話し言葉と大きな違いがあることが示唆された。具体的な語彙内容を見ると、話し言葉においては、食料品（ビール、パン、ワイン、カレー、トマト、コーヒー、バナナ、チーズ）を表す外来語が上位語全体の 40% を占めており、圧倒的に多いことがわかった。また、人称（パパ、ママ）や、生活用品（カメラ）なども存在する。それに対して、書き言葉においては、抽象的概念を表す語（サービス、システム、データ、タイプ、レベル）が多い。また、それぞれのモードにおける上位語の品詞性を見ると、書き言葉においては、動詞として使う外来語（クリック（する）、アップ（する）など）が散見されたが、話し言葉においては、2 つのモードが重なっている「メール」と「イメージ」以外には見られなかった。

また、2 つの産出モードで重なっている上位外来語を見ると、それらの語が多用される理由として、日常生活に近い内容を表していることが挙げられるのではないかとと思われる。すでに述べたように、2 つの産出モードで重なっている上位漢語のうち、様態助動詞「様」(○○のように)や、代名詞「自分」、そして「方」(例:○○のほうが)のような機能的な語彙が多いが、外来語の場合、これらの機能語がほとんど存在しておらず、内容によって外来語の使用量が決まっていると言えるだろう。

以上、RQ1 と RQ2 においては、産出モードは外来語使用にどのように影響するかを調査してきた。その結果、RQ1(産出モード別使用量)では、調整トークン使用量とタイプ使用量のいずれの観点においても、書き言葉における外来語は話し言葉より多いが、漢語よりその差がかなり縮小していること、RQ2(産出モード別語彙内容)では、話し言葉において食料品や人称、そして生活用品などを表す外来語が多いが、書き言葉において抽象的概念を表す語が多く、また、動詞として使う外来語が多いこと、が確認された。

10.3.2.3 RQ3 産出環境別使用量

続いて、産出環境は外来語使用に影響するかを概観していく。BCCWJ と CEJC の全ジャンル(全 13 種)に対して調査を行った結果、以下の表 7 が得られた。

表 7 外来語の産出環境別使用量

コーパス	ジャンル	トークン順位 (10 万当り調整トークン)	タイプ順位 (タイプ数)
BCCWJ	書籍	7 位 (2354.04)	8 位 (6.00)
	雑誌	1 位 (6929.03)	1 位 (21.00)
	新聞	4 位 (3208.14)	3 位 (9.77)
	白書	8 位 (2220.65)	11 位 (4.63)
	教科書	6 位 (2515.17)	6 位 (7.73)
	広報紙	5 位 (3136.94)	5 位 (8.37)
	Yahoo! 知恵袋	3 位 (3633.45)	4 位 (9.63)
	Yahoo! ブログ	2 位 (4436.30)	2 位 (11.87)
	法律	13 位 (208.87)	13 位 (0.13)
	国会会議録	12 位 (763.45)	12 位 (1.97)
CEJC	会談会合	11 位 (1608.16)	10 位 (5.17)
	用談相談	10 位 (2058.92)	7 位 (7.67)
	雑談	9 位 (2090.22)	9 位 (5.93)

表 9 を見るとわかることとして以下の 3 点が挙げられる。

1 点目は、順位の点で、話し言葉ジャンルと書き言葉ジャンルが混ざっており、前節で検討した産出モードの影響より、産出環境の差が外来語に対する影響が大きいことである。すでに述べたように、漢語使用量に限って言えば、産出環境の影響が産出モードより小さいが、外来語の場合、産出モードを超えた産出環境の影響が見られた。すなわち、外来語使用量について言えば、必ずしも書き言葉と話し言葉によって区別されないことがここで確認された。

2 点目は、調整トークン使用量とタイプ使用量のいずれの観点から見ても、ジャンルの間の差が非常に大きいことである。たとえば、外来語がもっとも多く使用される雑誌ジャンルともっとも少なく使用される法律ジャンルを比較すると、トークンについて言うとその間には 33 倍の差が、また、タイプについて言うとその間には 162 倍の差があることがわかった。すでに述べたように、漢語の使用量にも産出環境が影響を及ぼしている。しかしながら、変動係数(標準偏差／平均値)を求めると、外来語の調整トークン使用量とタイプ使用量の変動係数は 1.66 と 1.56 となり、漢語の 0.51 と 0.36 よりかなり大きいことがわかった。これは、産出環境が外来語使用量に及ぼす影響は漢語に及ぼす影響より大きいことを傍証している。以下、分量が同じ程度である雑誌ジャンルと法律ジャンルの 2 つの用例を比較してみよう。

(32)そして最初に戻りますが、深いコブで瞬間的なエッジングで滑ると、スキー板の振りの角度は自動的に溝の角度になるためラインの自由度がなくなりますが、このエッジングをすれば上からでは見えないコブの裏側の部分でエッジングすることができ、溝に落ちる前にターンが終わっているので図3のようなモーグルのラインに変更することが可能になります(雑誌・PM41_01038)

(33)第十六条第十四条第一項の規定による負担金(以下この条において「負担金」という。)を納付しない計画水道事業者(地方公共団体を除く。)があるときは、国の行政機関の長、地方公共団体の長又は地方公共団体(以下この条において「国の行政機関の長等」という。)は、督促状によって納付すべき期限を指定して督促しなければならない。(法律・OL4X_00052)

例を見ると、量が同じ程度であるが、例(32)の雑誌ジャンルでは外来語 8 語が使用されているのに対して、例(33)の法律では外来語 1 語も使用されなかった。このように、ジャンル間の外来語使用量は大きく異なっている。

3 点目は、調整トークン使用量とタイプ使用量の間に若干差があるものの、雑誌・知恵袋・ブログ・新聞・広報紙(いずれの基準でも上位 5 位以内)で外来語が多用され、会議会合・国会会議録・法律(いずれの基準でも下位 4 位以内)で外来語が低くなっていることである。この点について言えば、外来語の多用は必ずしもジャンルのフォーマリティとは関係しておらず、それぞれのジャンルを表す内容と関係しているのではないかと考えられる。たとえば、雑誌ジャンルにおいてはファッションや新しいものの紹介が多く、おしゃれ感がより重視されている。また、知恵袋やブログなど個人が書くジャンルにおいては、筆者の個性がより表現しやすく、新しさや斬新さを表現する語彙が使用されやすい。外来語は、「しゃれた」「モダンな」「明るい」「かっこいい」などのニュアンスを伴う場合が多く(多門他, 2005)、また、斬新で垢抜けした感じが伴われる(国立国語研究所, 1985)ため、上記のジャンルにおいて使用されやすいのではないかと考えられる。

以上 RQ3 において、産出環境別の外来語使用量について調査を行った。その結果、おしゃれの感じや斬新さを求められているジャンルにおいては外来語が使用されやすいことがわかった。また、漢語の場合と異なり、外来語の場合、産出モードを超えた産出環境の影響が見られ、外来語使用量について言えば、必ずしも書き言葉と話し言葉によって区別されないことがここで確認された。次節では、産出環境別に使用された外来語の内容について調査を行っていきたい。

10.3.2.4 RQ4 産出環境別語彙内容

最後に、産出環境(ジャンル)別の外来語上位語の内容について概観していく。全 13 ジャンルにおける外来語上位 20 語について調査を行った結果、以下の表 8 が得られた。また、表 8 に基づき、各ジャンル間の外来語上位語の重なり語数を整理した結果、表 9 が得られた。

表 8 産出環境別外来語上位 20 語

	順位	上位語	順位	上位語		順位	上位語	順位	上位語
書籍	1	システム	11	タイプ	雑誌	1	デザイン	11	データ
	2	テレビ	12	イメージ		2	アップ	12	ライン
	3	ドア	13	ケース		3	バッグ	13	サイズ
	4	ホテル	14	レベル		4	スタイル	14	パンツ
	5	サービス	15	ボール		5	モデル	15	イメージ
	6	データ	16	タバコ		6	トップ	16	カメラ
	7	ベッド	17	ファイル		7	カラー	17	ブランド
	8	グループ	18	モデル		8	タイプ	18	チーム
	9	テーブル	19	クリック		9	テレビ	19	チェック

	10	エネルギー	20	コンピューター		10	シャツ	20	アイテム
新聞	1	チーム	11	ビル	白書	1	サービス	11	スポーツ
	2	テロ	12	テーマ		2	システム	12	コスト
	3	テレビ	13	トップ		3	センター	13	テレビ
	4	センター	14	クラブ		4	エネルギー	14	プロジェクト
	5	リーグ	15	サッカー		5	ベース	15	レベル
	6	グループ	16	ホール		6	データ	16	グループ
	7	ホテル	17	メンバー		7	ネットワーク	17	コンピューター
	8	プロ	18	スタート		8	シェア	18	モデル
	9	スポーツ	19	ホーム		9	ガス	19	ボランティア
	10	サービス	20	システム		10	ニュース	20	レクリエーション
教科書	1	エネルギー	11	ナトリウム	広報紙	1	センター	11	コース
	2	グラフ	12	グループ		2	ファックス	12	コーナー
	3	データ	13	ソフトウェア		3	ホーム	13	クラブ
	4	イオン	14	コイル		4	スポーツ	14	グループ
	5	コンピューター	15	ソフト		5	テル	15	バス
	6	ガス	16	インターネット		6	サービス	16	プラザ
	7	イスラム	17	ベクトル		7	ボランティア	17	テーマ
	8	テーマ	18	アルコール		8	ホール	18	コミュニティ
	9	ウェブ	19	テープ		9	メール	19	パソコン
	10	ガラス	20	プレート		10	イベント	20	チーム
知恵袋	1	メール	11	メーカー	ブログ	1	センター	11	グループ
	2	サイト	12	アドレス		2	サービス	12	エネルギー
	3	パソコン	13	オーケー		3	システム	13	タイプ
	4	ソフト	14	タイプ		4	テレビ	14	アップ
	5	オークション	15	クリック		5	メール	15	イメージ
	6	テレビ	16	ホーム		6	データ	16	スポーツ
	7	ネット	17	サイズ		7	ホーム	17	パソコン
	8	旦那	18	アドバイス		8	ホテル	18	モデル
	9	カード	19	ウインドー		9	ブログ	19	レベル
	10	ファイル	20	インターネット		10	クリック	20	カード
法律	1	タバコ	11	ファイル	国会会議録	1	サービス	11	バランス
	2	センター	12	マスト		2	ケース	12	リスク
	3	エネルギー	13	フロン		3	システム	13	ガス
	4	ガス	14	ダイオキシン		4	センター	14	ホーム
	5	メール	15	マイクロフィルム		5	エネルギー	15	テレビ
	6	マンション	16	プログラム		6	マルチ	16	プロジェクト
	7	スポーツ	17	タイヤ		7	ダム	17	マイナス
	8	ネットワーク	18	ディスク		8	データ	18	ベース
	9	サービス	19	スパイク		9	レベル	19	チェック
	10	データ	20	オゾン		10	コスト	20	ルール
会	1	オーケー	11	パンフ	用	1	オーケー	11	イベント

議 会 合	2	ルール	12	メール	談 相 談	2	ホテル	12	チョコレート
	3	コーラス	13	プリント		3	メール	13	プラス
	4	グループ	14	ウェブ		4	ママ	14	シール
	5	カラー	15	ファイル		5	ゼミ	15	シーズン
	6	ポスター	16	プラス		6	パン	16	カメラ
	7	ディベート	17	デビュー		7	カード	17	グループ
	8	ピアノ	18	テキスト		8	ボール	18	キャンパス
	9	テーマ	19	パステル		9	バター	19	イメージ
	10	マンション	20	シフト		10	カフェ	20	メンバー
雑 談	1	パパ	11	ホテル					
	2	ママ	12	テレビ					
	3	ビール	13	バナナ					
	4	バス	14	エレベーター					
	5	オーケー	15	アイス					
	6	パン	16	チーズ					
	7	ワイン	17	イメージ					
	8	カレー	18	シーン					
	9	クラス	19	ワン					
	10	トマト	20	クラシック					

表 9 各ジャンル間の外来語上位語の重なり語数

	書籍	雑誌	新聞	白書	教	広	知	ブ	法律	国会	会議	用談
雑誌	5											
新聞	5	3										
白書	9	3	6									
教	4	1	2	5								
広	2	1	9	5	2							
知	4	3	2	1	2	3						
ブ	12	6	8	10	3	7	7					
法律	5	1	3	7	3	4	2	6				
国会	7	3	5	11	3	3	2	8	5			
会議	2	1	2	1	3	3	3	2	3	1		
用談	4	2	3	1	1	3	3	5	1	0	4	
雑談	3	2	2	1	0	1	2	3	0	1	1	5

表 8 と表 9 からわかることとして以下の 3 点を指摘したい。

1 点目は、産出環境の差に関して、ジャンル間の外来語上位 20 語の重なり語数は 0 から 12 ま

で、ばらつきが大きいことである。また、ジャンルの差が、書き言葉と話し言葉の差を超えて外来語使用の内容に影響することである。たとえば、同じ書き言葉であっても、ブログジャンルは教科書ジャンルと 3 語しか重なっていない。しかし、話し言葉である用談ジャンルとは 5 語が重なっている。産出モードが異なっているにも関わらず、ブログジャンルの外来語の内容は、教科書ジャンルよりむしろ用談ジャンルと類似していると言える。

2 点目は、上位の外来語が、ジャンル汎用語と、ジャンル固有語に区分できるということである。たとえば、「テレビ」や「グループ」などの外来語は、13 ジャンルのうち 8 ジャンルに使用され、ジャンル汎用的に使用できる一般的な外来語と言える。それに対して、「レクリエーション」(白書)や「ダイオキシン」(法律ジャンル)などの外来語はそれぞれ特定のジャンルに特徴づけられている。

3 点目は、漢語における様態助動詞「様」(○○のように)や「方」(例:○○のほうが)のように、機能語的な特質を持ち、どのような文脈でも使用できる汎用語が見られないことである。同じ汎用語といっても、漢語の一部が一般語彙の中に深く入り込んでいるのに対し、外来語はあくまでも、指し示す事物の内容的一般性によって広く使われているに過ぎない。この点に、漢語と外来語の機能的な違いを見ることができよう。

以上、第 2 課題(外来語)では、産出モード別の外来語使用(RQ1(使用量)・RQ2(内容))、および、産出環境別の外来語使用(RQ3(量)・RQ4(内容))について調査を行った。

RQ1 では、産出モード別外来語使用量について、調整トークン使用量とタイプ使用量のいずれの観点においても、書き言葉における外来語は話し言葉より多いが、漢語よりその差がかなり縮小していることがわかった。

RQ2 では、産出モード別外来語の語彙内容について、話し言葉において食料品や人称、そして生活用品などを表す外来語が多いが、書き言葉において抽象的概念を表す語が多く、また、動詞として使う外来語が多いことが確認された。

RQ3 では、産出環境別外来語使用量について、おしゃれの感じや斬新さを求められているジャンルにおいては外来語が使用されやすいことがわかった。また、漢語の場合と異なり、外来語の場合、産出モードを超えた産出環境の影響が見られ、外来語使用量について言えば、必ずしも書き言葉と話し言葉によって区別されていないことがここで確認された。

RQ4 では、産出環境別外来語の語彙内容について言うと、上位語の重なり語数はジャンル間に大きく異なり、また、産出環境の差異は産出モードの差を超えて外来語の使用内容に影響していることが確認された。また、ジャンル汎用外来語とジャンル汎用漢語と比較する場合、ジャンル汎用漢語には機能語的な特質を持つ語が多いが、外来語のジャンル汎用語にはこのような機能語

がほとんど見られず、内容が一般生活と関わって使いやすいため汎用語になる語彙が多い。

10.4 まとめ

以上、本章では、産出モードと産出環境という 2 つの観点から、非和語系語彙の使用に及ぼす影響を調査する。その結果、以下のような知見が得られた。

産出モード別使用量:

(1) 漢語の場合も外来語の場合も、調整トークン使用量とタイプ使用量の 2 観点のどちらにおいても、書き言葉における使用量が話し言葉より多いことが確認された。…10.3.1.1 節と 10.3.2.1 節

(2) 外来語に見る産出モードの差は、漢語よりその差がかなり縮小していることがわかった。…10.3.2.1 節

産出モード別語彙内容:

(1) 漢語の場合、書き言葉と話し言葉における漢語使用の内容が大きく異なり、書き言葉では、主体や客体となりうる名詞や、関係を表す抽象名詞が多く、話し言葉では程度副詞や、くだけたニュアンスを含意する、名詞の副詞的使用が多い。…10.3.1.2 節

(2) 外来語の場合、話し言葉において食料品や人称、そして生活用品などを表す外来語が多いが、書き言葉において抽象的概念を表す語が多く、また、動詞として使う外来語が多い。…10.3.2.2 節

産出環境別使用量:

(1) 産出環境は漢語使用量に影響を与え、情報伝達型のジャンルでは漢語の使用量が増え、対人関係構築型のジャンルでは漢語の使用量が減る。また、漢語使用量に限って言えば、産出環境の差が、産出モード差に次いで、漢語使用量に影響を及ぼしている。…10.3.1.3 節

(2) おしゃれの感じや斬新さを求められているジャンルにおいては外来語が使用されやすい。…10.3.2.3 節

(3) 漢語と比較すると、外来語の場合、産出モードを超えた産出環境の影響が見られ、外来語使用量について言えば、必ずしも書き言葉と話し言葉によって区別されていない。…10.3.2.3 節

産出環境別語彙内容:

(1) 漢語の場合も外来語の場合も、上位語の重なり語数はジャンル間に大きく異なり、また、産出環境の差異は産出モードの差を超えて使用内容に影響している。…10.3.1.4 節と 10.3.2.4 節

(2) ジャンル汎用外来語とジャンル汎用漢語と比較する場合、ジャンル汎用漢語には機能語的な特質を持つ語が多いが、外来語のジャンル汎用語には機能語がほとんど見られず、内容が一般生活と関わって使いやすいため汎用語になる語彙が多い。…10.3.2.4 節

ただし、本章の分析にはいくつかの課題も残されている。1 点目は、今回使用された話し言葉のデータについて、データ量が少なく、また、ジャンルがよりカジュアルなジャンルに限られていることである。2 点目は、非和語系語彙使用に影響する要素として、産出モードおよび産出環境という 2 つしか取り上げられていないことである。こうした制約の多くは使用したコーパスのデータ特性と関連しているため、今後より幅広いデータを使った検証が必要になるだろう。

第Ⅲ部 中国語を母語とする日本語学習者のための非和語系語彙指導

すでに第Ⅰ部「研究の枠組み」では、本研究の枠組みについて説明した。そして、第Ⅱ部「非和語系語彙の言語特性の解明」では、(1)重要語抽出という観点(第5章)、(2)統語論的観点(第6章と第7章)、(3)意味論的観点(第8章)、(4)形態論的観点(第9章)、(5)語用論的観点(第10章)、の5つの観点から、非和語系語彙の様々な言語特性の解明を試みた。

具体的に、第5章「使用実態:コーパスに基づく重要語彙の抽出」では、「重要非和語系語彙」4472語を特定した。第6章「統語論的特性:体言接続の問題(1)」では、「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的」・「的ナ」といった5種の連体標識の許容度と、それらの頻度的・ジャンルの・意味的相違を概観した。第7章「統語論的特性:体言接続の問題(2)」では、類似した形式を持つ「ナ」と「ノ」に絞り、許容度調査と2標識の選択モデルの構築を行った。第8章「意味論的特性:類義漢語・外来語の使い分けの問題」では、JNSでも意味理解に食い違いが存在し、意味の差異が不明とされる「ストップ」と「停止」を例として、外来語とその類義漢語の使い分けを解明した。第9章「形態論的特性:表記ゆれの問題」で、漢語について、副詞の仮名表記問題を、外来語について二重母音[ei]を含む外来語の連母音表記問題を取り上げて調査を行った。最後に、第10章「語用論的特性:産出モード・産出環境の影響」で、産出モード(書き言葉・話し言葉)と産出環境(レジスター)などの要素が非和語系語彙使用に与える影響に対して調査を行った。

以下第Ⅲ部「中国語を母語とする日本語学習者のための非和語系語彙指導」では、CLJによる実際の非和語系語彙の使用状況の解明、および、CLJを対象とした非和語系語彙指導シートの開発の試行を行う。前者に関しては、学習者コーパスを利用することとなるが、その際、様々な習熟度の学習者のデータを横断的に収集した学習者横断コーパスと、個々の学習者の産出を時期別に縦断的に収集した学習者縦断コーパスの両方を観察する必要があるだろう。そこで、第11章「使用実態の横断調査」では、大規模な横断学習者コーパスを利用し、様々な習熟度段階にあるCLJの非和語系語彙の使用実態を解明する。また、第12章「使用実態の縦断調査」では、学習者縦断コーパスを用い、各学習段階のCLJの非和語系語彙の使用実態を解明する。また、第13章では、CLJを対象とした非和語系語彙指導シートの開発の試行を行う。

第11章 使用実態の横断調査

11.1 はじめに

本章では、大規模な学習者コーパスを用いて、CLJの非和語系語彙使用の特徴を見出す。すでに述べたように、学習者コーパスを利用して学習者の非和語系語彙の実態を探ろうとする場合、

様々な習熟度の学習者のデータを横断的に収集した学習者横断コーパスと、個々の学習者の産出を時期別に収集した学習者縦断コーパスの両方を観察する必要がある。横断調査は、ある特定の時点における様々な習熟度段階にある学習者の問題点を明らかにし、学習者の言語習得の全体像をとらえることができるが、それは異なる学習者を比較して習熟の過程を疑似的に調査したものであり、個人の学習者が日本語学習の過程で非和語系語彙使用はどのように変化しているかを実証的に観察した結果ではない。以下、横断調査と縦断調査の概念図(張, 2020)を示しながら説明していく。

図 1 横断調査と縦断調査の概念図

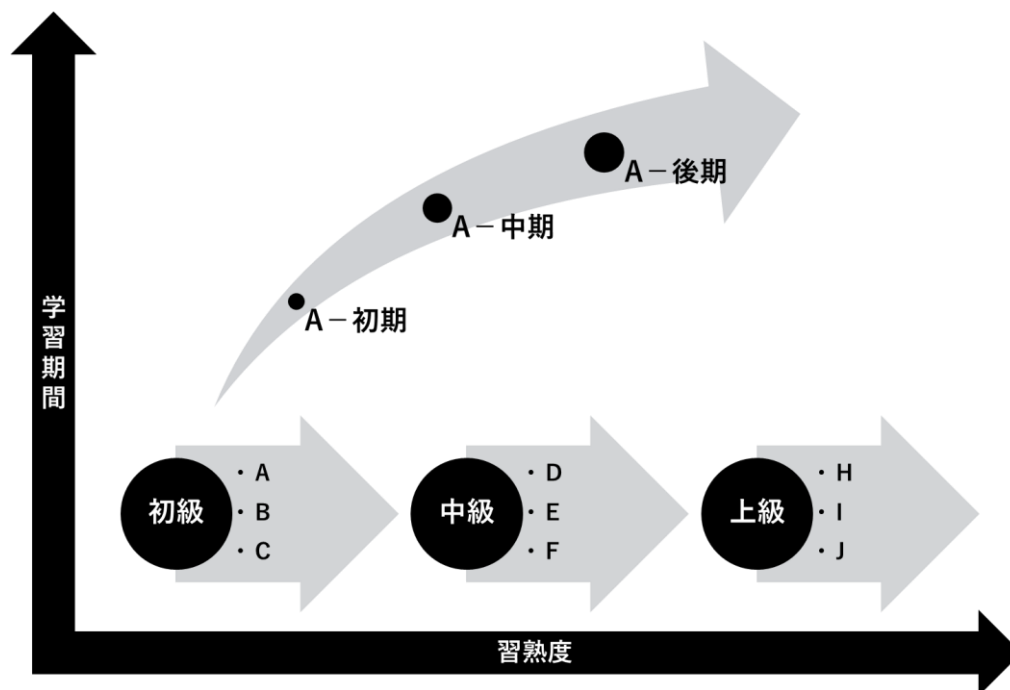


図 1 を見るとわかるように、横断データに対する考察においては、一般に学習段階を考慮せず、学習者のある時点での習熟度レベルを診断して分類し、それに基づき比較分析を行っていく。この場合、初級の学習者は上級の学習者よりも学習期間が長い可能性がある。すなわち、横断データを用いた分析は、学習時間の増加に伴う語彙使用の変化が必ずしも正しくとられているわけではない。これに対して、縦断データを用いた分析は、学習者の各学習段階における日本語使用の状況を調査していく。これにより、学習者の非和語系語彙使用がどのように段階的に変化していくかを見ることができると考えられる。そこで本研究は、CLJ の非和語系使用をより体系的に論述するため、ある特定の時点における各習熟度レベルの学習者の比較のみならず(第 11 章)、個々の学

習者に対象を絞り、当該学習者が学習の中でどのように非和語系語彙使用を変化させていくかを縦断的に観察していく(第 12 章)。

なお、学習者の非和語系語彙の使用特徴をよりよく解明するためには、比較対象が必要となる。一般に、学習者の非和語系語彙使用はどのようになれば好ましいということを論じるときに、母語話者を比較対象とすることが多い。しかしながら、最近の応用言語学の研究においては、学習者の産出を議論する際に、母語話者をモデルとすることへの批判も認められる(石川(2016), Leech(1998)など)。実際、外国人が日本語を使用する際に、すべての面において JNS と一致しなければならないというのは極論である。本研究では、この点を念頭に置きつつ、学習者の変化を見る際の 1 つの目安として、JNS の産出データを位置付けたい。JNS と比較することで、学習者が学習目標にどこまで近づいているのか、また、どのような問題を抱えているのかが明らかになる。

また、合わせて注目すべきは、そこで得られた CLJ の特性は、CLJ 特有のものであるか、あるいはその他の学習者にも共通して認められるかという点である。本章はこの点も合わせて確認していきたい。

11.2 リサーチデザインと手法

11.2.1 研究目的と RQ

本章では、大規模な日本語学習者コーパスを利用し、様々な習熟度段階にある CLJ の非和語系語彙の使用実態を明らかにすることを目指す。なお、「非和語系語彙使用」(「漢語使用」・「外来語使用」)という概念はきわめて広範であるため、本研究では語彙使用の基礎的指標として、(1)使用量(トークン・タイプ)・(2)語彙難度・(3)上位語・(4)特徴語という 4 点に着目する。

以上をふまえ、本章は以下のような 2 つの課題を設定した。

第 1 課題(漢語) CLJ の「漢語使用」という点で、

RQ1 使用量はどのようになっているか？

RQ2 語彙難度はどのようになっているか？

RQ3 上位語はどのようになっているか？

RQ4 特徴語はどのようになっているか？

第 2 課題(外来語) CLJ の「外来語使用」という点で、

RQ1 使用量はどのようになっているか？

RQ2 語彙難度はどのようにになっているか？

RQ3 上位語はどのようにになっているか？

RQ4 特徴語はどのようにになっているか？

これらの RQ を論じる際に、具体的な分析観点を設定する必要がある。すでに述べたように、本研究は、これまでの先行研究の分析の枠組みを精緻化し、(1)JNS および他の母語を持つ学習者(KLJ と ELJ)との比較、(2)習熟度別比較、という 2 つの分析観点を導入する。

なお、以下はこれらの RQ を実例データのもとに検証していくわけであるが、あとで行う検証をより体系化するため、事前にそれぞれの課題に対する仮説を考えておきたい。

H1 「漢語使用」という点において、

まず、CLJ と JNS および KLJ・ELJ の比較について、RQ1(使用量)について、母語においてすべて漢字で表記する CLJ は日本語においても JNS より多くの漢語を使用するのではないかと考えられる(胡(2012)など)。また、かつて漢字使用圏に属していた KLJ が CLJ に次ぎ、母語において漢語を使用しない ELJ がもっとも低い値になるのではないかと予想される。すなわち、全体として $CLJ > JNS > KLJ > ELJ$ という順序関係になると推定される。

同様の観点から、RQ2(語彙難度)について、本研究の分析に使用した「リーディング・チュウ太」で通例日本語能力試験レベルを超える難語に対して「級外」というレベルを与えているわけであるが、CLJ は母語の影響を受けるため、普通日本語の漢語と認定されていないもの、または使用頻度の低いものが多く使用すると考えられ、それらの語を「級外」として認定してしまう可能性があるもので、見かけ上 JNS より使用している漢語のレベルが高いと予想される。続いて $JNS > KLJ > ELJ$ というようになると予想される。

また、RQ3(上位語)と RQ4 (特徴語)について言えば、上記で述べたように、CLJ は漢語を過剰使用する可能性、また、逸脱している漢語を使用する可能性があるため、自分の固有の特徴が表れやすく、上位語の一致率が相対的に低く、特徴が表れやすいのではないかと予想される。

次に、習熟度の影響に関して言えば、習熟度が上昇につれて、CLJ の漢語使用は次第に JNS の漢語使用パターンに近接していくと考えられる。

H2 「外来語使用」という点において、

まず、CLJ と JNS および KLJ・ELJ との比較について、RQ1(使用量)について、CLJ は外来

語についてなじみが薄く、また、先行研究から CLJ は外来語が難しいと感じることから、全体として CLJ の外来語の使用量は少ないと予想される。また、KLJ の母語において日本語と似ている外来語が存在し、ELJ が母語による正の転移があり、2 グループの学習者ともに外来語に対してなじみを感じやすいため、CLJ より使用量が多いと予測される。ただし、ELJ は母語が英語であるため、表現しようとする概念の日本語がわからないとき、コミュニケーション・ストラテジーの 1 つとして英語を外来語化して使用することが挙げられるため、JNS よりも多くの外来語を使用する可能性が考えられる。すなわち、全体として $ELJ > JNS \approx KLJ > CLJ$ という順序関係になると推定される。

RQ2 (語彙難度)については、同様の理由で、CLJ が使用する漢語の語彙難度がもっとも低いと推定され、続いて $ELJ > JNS \approx KLJ > CLJ$ というようになると予想される。

RQ3(上位語)と RQ4(特徴語)について言えば、CLJ は全般的に外来語を過少使用し、使用する外来語も基本的なものに限られているため、結果として CLJ 固有の特徴が表れにくく、JNS との類似度も高いと予想される。

習熟度の影響に関して言えば、漢語使用と同じように、習熟度が上昇につれて、CLJ の外来語使用は次第に JNS の外来語使用パターンに近接していくと考えられる。

11.2.2 データ

すでに 4.1 節で述べたように、本章は I-JAS を使用する。ここで問題になるのは、学習者の非和語系語彙の使用状況を相互に比較するという本章の目的に照らし、I-JAS に含まれるどのタスクのデータを利用するのが適切か、ということである。

一般に、比較研究では、内容の影響を受けにくい統制的なタスクのデータを使うことが推奨される。一方、非和語系語彙研究としては、当該語彙が一定数出現していることが必須でもある。そこで、サンプルデータ(中国語を母語とする学習者 CCH02)を用い、タスク別に非和語系語彙の出現数を調べたところ、以下の結果を得た。

表 1 学習者 CCH02 のタスク別漢語と外来語の語数

タスク	ストーリー ライティング		ストーリー テリング		対話		ロールプレー		絵描写	
	延べ	異なり	延べ	異なり	延べ	異なり	延べ	異なり	延べ	異なり
漢語	11	10	19	11	383	124	65	32	27	17
外来語	3	2	3	1	40	18	6	3	10	6

タスクの統制が強く、個人による産出内容の変化が少ないと思われるストーリーテリング、ストーリーライティング、絵描写の場合、外来語の出現数がきわめて少ないことが確認された。そこで、本章では、統制度は他のタスクほど高くはないものの、一定の統制がかけられており、かつ、非和語系語彙の出現がもっとも多い対話タスクのデータを利用することとしたい。

対話タスクというのは、学習者と調査実施者が自然な会話を 30 分程度行うものである。データ間での比較を行うため、このタスクはある程度統一された話題(全 15 項目)を設定し、自然な会話の流れで学習者の言語運用を引き出すようにした(迫田他, 2016)。具体的な流れは以下の表 2 ようになる。

表 2 I-JAS における対話タスクの流れ

ステップ	内訳
(1) ウォーミングアップ	
(2) 現在のことを聞く	日本語学習の動機, 好きな本・ドラマ, 出身地の産物, 観光スポットなど
(3) 過去の体験を聞く	誕生日の祝い方, 幼少期の体験, 恩師の話, 怖かった・辛かった体験など
(4) 未来のことを聞く, 意見陳述	将来の夢, 議論「都会に住むか田舎に住むか」, 議論「お金と時間とどちらが大事か」など
(5) クールダウン	

基本的には、表 2 のように前半は学習者本人に関する過去、現在、未来について話せるものをバランスよく配置し、後半には意見陳述や反論ができるような話題を設定した。

なお、すでに 4.1.3 節において述べたように、I-JAS を使用して異なる母語を持つ学習者グループを比較する際に、学習者グループ間で習熟度が統制されていないことに注意する必要がある。以下はそれらの学習者グループにおける J-CAT の成績分布である。

表 3 I-JAS の母語別学習者の各習熟度にあたる人数(再掲)

習熟度	CLJ	KLJ	ELJ	合計
初級(0 点～99 点)	0	1	7	8
中級前半(100 点～149 点)	2	5	13	20
中級(150 点～199 点)	22	6	16	44
中級後半(200 点～249 点)	41	13	12	66
上級前半(250 点～299 点)	31	14	2	47
上級(300 点～349 点)	3	10	0	13
日本語母語話者相当(350 点～)	1	1	0	2

表 3 を見るとわかるように、CLJ については初級のデータが不足しており、また、ELJ については上級および日本語母語話者相当の 2 つのレベルのデータが不足している。そこで本研究は、3 つの学習者グループのデータがすべて揃っている中級前半～上級前半のデータに絞って考察を行っていきたい。

11.2.3 手法

まず、RQ1(使用量)では、トークンとタイプの 2 観点から考察する。トークンについて、各学習者が対話タスクにおいて使用した漢語(外来語)の延べ語数を数え、 $(延べ語数/総語数) \times 1000$ という調整式により 1000 語あたり頻度に統一する。タイプについては、各学習者が対話タスクにおいて使用した漢語(外来語)の異なり語数を数える。

RQ2(語彙難度)については、旧日本語能力試験で示されていた語彙基準(級外, 1 級, 2 級・3 級, 4 級, 5 級という 5 つの段階)に基づく。具体的には、旧日本語能力試験で示されていた語彙レベルを自動判定する日本語読解学習支援システム「リーディング・チュウ太」を用いる。なお、難易度を表す指標について、難度は $(6 - \text{級数})$ という式で計算する。

RQ3(上位語)については、上位 20 語の漢語(外来語)を抽出して比較し、一致率を計算する。

RQ4(特徴語)について、話者グループを第 1 アイテム(JNS・CLJ 中級前半・CLJ 中級・CLJ 中級後半・CLJ 上級前半・CLJ 全体・KLJ 全体・ELJ 全体の 8 種)とし、使用した上位語を第 2 アイテム(漢語については上記の 8 グループの上位 50 語(テーマ語を除く)から重複を除いた 121 語、外来語については 8 グループの上位 20 語(テーマ語を除く)から重複を除いた 67 語)とする頻度表を作成してコレスポンデンス分析を行う。

なお、上記の 2 つの分析観点について、まず、(1)CLJ と KLJ・ELJ・JNS の間には差があるかを確認するため検定を行う。通例、異なる文の平均値を比較するには、 t 検定を使用することが多いが、 t 検定は分布の正規性を前提としている。今回のデータでは、正規性を必ずしも前提視することはできなかったため、ノンパラメトリック検定のクラスカル・ウォリス検定で検証する。次に、(2)異なる習熟度段階の CLJ の漢語使用を比較する際に、上記の 4 つの習熟度段階ごとに比較するが、サンプル数が少ない場合が多いため、統計的検定を行わない。

11.3 結果と考察

11.3.1 第1課題(漢語)

11.3.1.1 RQ1 使用量

まず、各言語を母語とする日本語学習者およびJNSが使用した漢語のトークンについて見ていきたい。これらについて調査を行った結果、以下の図2のようになる。

図2 CLJ・KLJ・ELJ およびJNSが使用した漢語のトークン

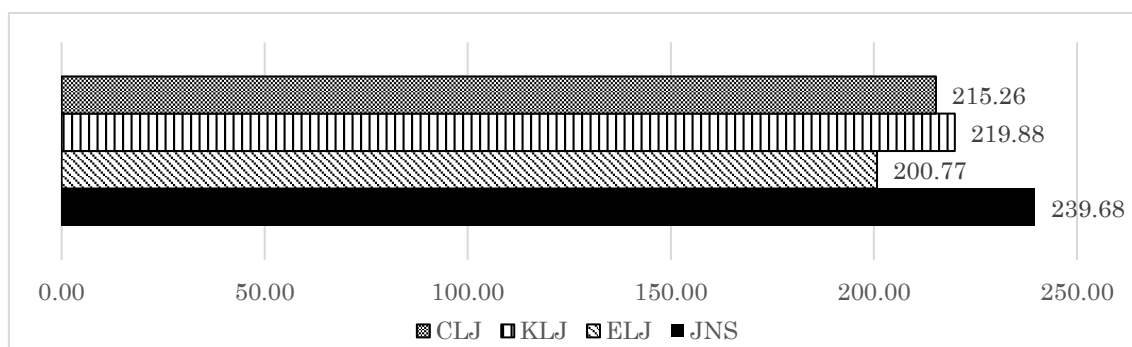


図2からわかるように、CLJとJNS・KLJ・ELJが使用した漢語の総語数はそれぞれ215.26語・239.68語・219.88語・200.77語となった。CLJの漢語使用量はJNSとKLJより少なく、JNSの約88.48%であり、KLJの約97.90%であった。母語という要因は漢語使用に影響を及ぼすかについて、クラスカル・ウォリス検定を行った結果、話者間の間には0.1%水準で差があることが確認された($K=17.32, df=3, p<.001$)。また、ボンフェローニ下位検定を行った結果、CLJとJNSの間には5%水準で、ELJとJNSの間には0.1%水準で差があることが確認されたが、他のグループ間には差が見られなかった。仮説では、漢語使用の総語数についてCLJ>JNS>KLJ>ELJという順序関係になると推定されたが、今回のデータはJNS>KLJ≒CLJ≒ELJという順序関係となり、仮説が再現されなかった結果となった。

すでに述べたように、胡(2012)ではCLJの作文においてJNSの作文より漢語率が高いと述べたが、今回の結果はこれを支持しなかった。その原因としては、今回使用したデータが話し言葉であることが考えられる。たとえば、以下の学習者とJNSの実例を見てみよう。

(1) 調査者: あーでもラーメンみたいな感じ? 〈うん〉ラーメンとどう違うんですか?

学習者: あー、んー、多分あー、すんー、あー、ラーメンでは〈うん〉水があります〈うんうん〉、
と、とあーこ、こ、あーこれは肉、んー水がありません。(発話番号: CCM17-I-01350~

CCM17-I-01380(CLJ))

(2) 調査者: へーでも『大奥』を、見ても、日本語の勉強にならないでしょう。

学習者: あー、はい、んー、あー、んー。

調査者: でもやっぱ面白いですか?

学習者: んー面白い。

調査者: はい他 (ほか) にはどんな、印象に残った、映画とか、ドラマとかありますか?

学習者: んー、あー、お、覚えません。(発話番号: CCM17-I-00930~CCM17-I-00980
(CLJ))

例(1)と例(2)のように、学習者は整った句の単位で発話ができず、あいづちなどを何回も反復して使用する例が多く見られる。学習者の日本語能力が不足しており、相手の話に乗って次の会話にいくことができず、あいづちなどを何回も使用して会話のポーズを埋めようとするため、全体として和語の使用率が多くなるのではないかと考えられる。

次に、習熟度の観点について見てみよう。

図 3 CLJ の習熟度段階別の漢語使用トークン

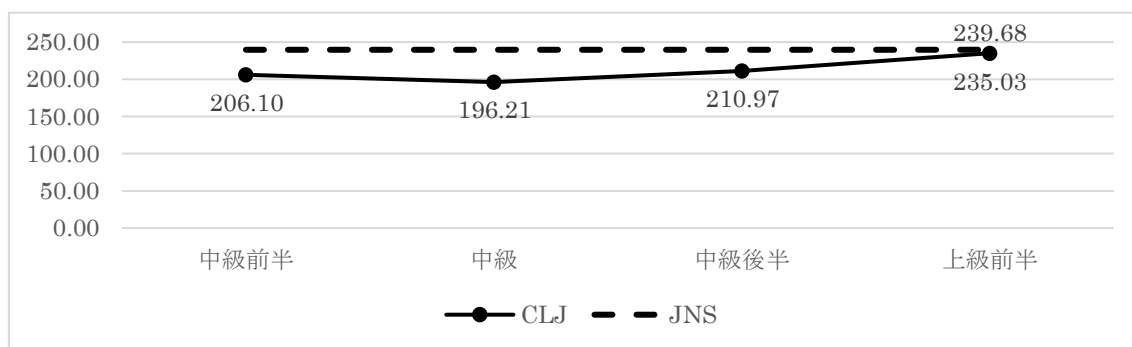


図 3 を見るとわかるように、CLJ の漢語使用の総語数は中級前半から中級にかけて低下しているが、中級から上級前半になるにつれて増加している傾向が見られた。

では、なぜ中級前半から中級になるにつれて漢語使用の総語数は大幅に減少しているのかわか。実際の学習者データを確認した結果、この点については、学習者の全般的習熟度の上昇と関わる可能性が示された。すなわち、学習者の習熟度の上がるにつれて流暢性が高くなり、単語の重複が少なくなるため、結果として使用総数が減少しているように見えるのではないかと考えられる。

以下、「誕生日の祝い方」というテーマについて学習者の実例である。

(3) 調査者: {笑} そうですね、友達とかーあの、に、こう例えば何(なん)かプレゼントーをーもらってすごく嬉しかったこととかー、なんか、思い出に残っていることとかありますか？

学習者: はいはい、うーん、あー、あーんあー、い、あー、吉林よいにはー、あ、た、あ、大学の時、〈うん〉あー、あんー、文けい部(文芸部)、〈うん〉私の一、友達ーあー、いるーのでー私の一誕生日の時、あー、ちけんー(試験)、あー、試験をしにー、あーわた、私は全部私の誕生日ーを忘れー、ちゃった

調査者: うん

学習者: ああ、ああ、彼はーおー覚えてー、ああー〈うん〉私ーのああ、寮、寮からーああ、ああ、呼びー出す〈うんうんうんうん〉、ああ、ああーああー嘘をついてー〈うん〉、ああー、あー、ああー会議をーは、んー、会議をー、ああー、するー(発話番号: CCH49-I-02590~CCH49-I-02620 (CLJ・中級前半))

(4) 調査者: ケーキを食べたり、しません？

学習者: こんな習慣がありません。

調査者: そうなんですかー。

学習者: だから〈うん〉、あー今まで、あー誕生日にはケーキをもらう、おーもらったの(過剰使用)、あーことは、あー。

調査者: ありませんか。

学習者: ありません。

調査者: そうですね、この大学に来てからはどうですかー？

学習者: うーん、来てから、あー誕生日ーの、〈うん〉日には、あー私の、おー、おー、んー、くら、んールームメイトと〈うーん〉一緒にあー、食事に、食事をしま、します。

調査者: あそうですかー〈はい〉でもそれは友達と一緒に食事をするのは、楽しいですねー。

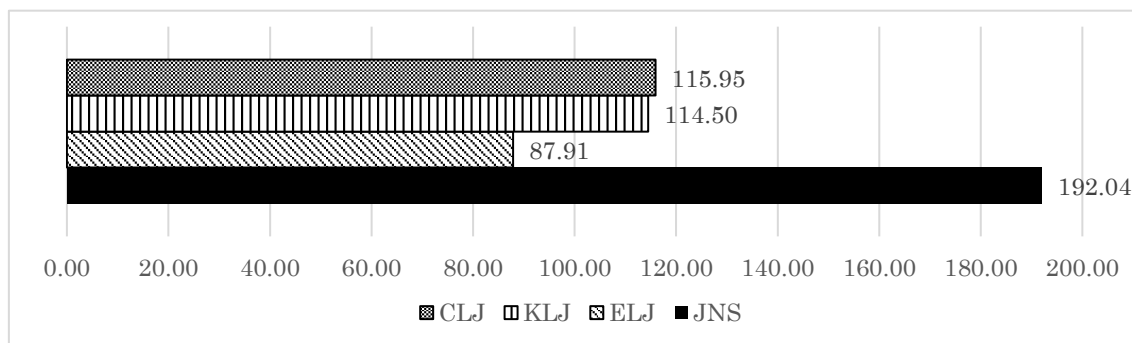
学習者: はい。(発話番号: CCH26-I-02170~CCH26-I-02260 (CLJ・中級前半))

例を見るとわかるように、中級前半の学習者の発話はほとんど句にならず、主要の語彙(たとえば、「試験」や「会議」など)を反復して使うことで自分の意思を相手に伝達する。それに対して、中級から上級前半のレベルの学習者は、まだ流暢性が足りないため主語となる名詞(たとえば、「食事」など)を重複して使用する現象が見られるが、全体として自分の意思がある程度整えている句

で表現できるようになり、結果として漢語の総語数は減少したのではないかと考えられる。

次に、漢語のタイプについて見ていく。

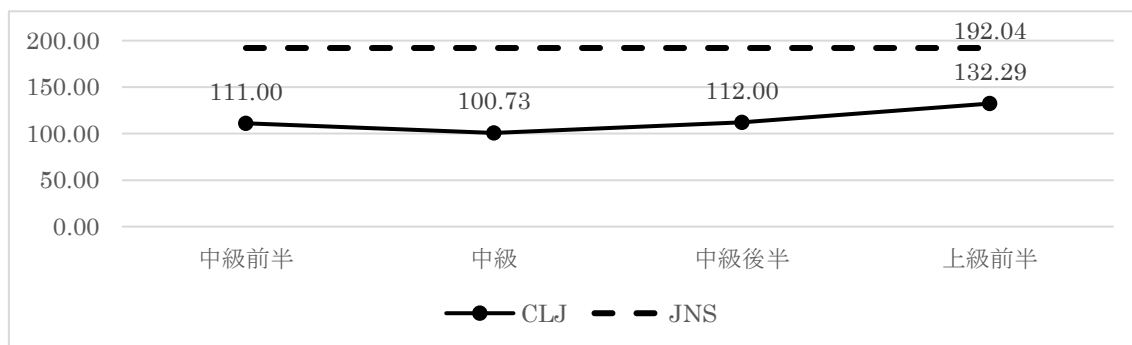
図 4 CLJ・KLJ・ELJ および JNS が使用した漢語のタイプ



まず、母語別比較について、CLJ・KLJ・ELJ が使用した漢語のタイプはそれぞれ 115.95 語・114.50 語・87.91 語となり、JNS より 39.62%・40.38%・54.22%少ないことが確認された。クラスカル・ウォリス検定を行った結果、話者間には 0.1%水準で差があることが確認された ($K=106.61, df=3, p<.001$)。また、ボンフェローニ下位検定を行った結果、CLJとKLJ以外に、すべてのグループ間において 0.1%水準で差があることが確認された。すなわち、仮説とは異なり、全体として $JNS > CLJ \approx KLJ > ELJ$ という順序関係となり、総語数と同じように使用する漢語種類が少ないという問題は、CLJ 特有のものではなく、他の言語を母語とする学習者に共通している特徴と言える。

次に、CLJ の習熟度段階の比較について見ていきたい。

図 5 CLJ の習熟度段階別の漢語使用タイプ



習熟度段階の比較について、CLJ のタイプは中級前半から中級にかけて少し低下したが、以後

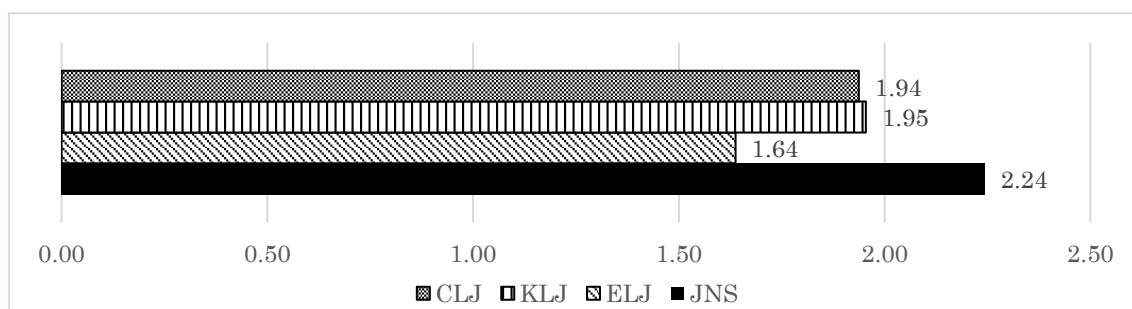
は上級になるにつれて増加していることがわかった。すなわち、全体として CLJ は習熟度の上昇につれ、漢語タイプが増加し、JNS に接近している傾向が示された。なお、上級前半になっても JNS との距離はまだ大きいことも確認された。

11.3.1.2 RQ2 語彙難度

以上、RQ1 では、「漢語使用」のトークンとタイプについて考察を行った。その結果、まず、トークンについて、(1) 全ての学習者グループは JNS より少なく、全体として $JNS > KLJ \approx CLJ \approx ELJ$ という順序関係となること、(2) 習熟度の上昇につれて、CLJ は中級前半から中級にかけて低下しているが、中級から上級前半になるにつれて増加していること、が確認された。次に、タイプについて、(1) 総語数と同じように、すべての学習者グループは JNS より少なく、全体として $JNS > CLJ \approx KLJ > ELJ$ という順序関係となり、すなわち、使用する漢語種類が少ないという問題は、CLJ 特有のものではなく、他の言語を母語とする学習者にも共通していると言えること、(2) 全体としては習熟度の上昇につれて、CLJ が使用した漢語の種類数は増加し、JNS に接近していること、が確認された。

以下、それらが使用した漢語の語彙難度について見ていく。

図 6 CLJ・KLJ・ELJ および JNS が使用した漢語の語彙難度



まず、母語比較について、CLJ・KLJ・ELJ が使用した漢語の語彙難度はそれぞれ 1.94・1.95・1.64 となり、CLJ の語彙難度は JNS と KLJ より少ないことがわかった。クラスカル・ウォリス検定を行った結果、話者間の間には 0.1% 水準で差があることが確認され ($K=133.13, df=3, p<.001$)、また、ボンフェローニ下位検定を行った結果、CLJ と KLJ 以外に、すべてのグループ間において 0.1% 水準で差があることが確認された。この点については、総種類数と同じように仮説を棄却し、全体として $JNS > KLJ \approx CLJ > ELJ$ という順序関係となり、3 つの学習者グループともに JNS より簡易な漢語を使っていることが確認された。以下は、CLJ と JNS の実例を見ていく。

(5) 調査者: あー、その(連体詞)小説は日本語で読むんですか？

学習者: うんはい。

調査者: すごいですね。

学習者: まあ辞書。(5 級)

調査者: 難しくないですか。

学習者: いや辞書(5 級), 辞書(5 級) えっと辞書(5 級)がないと困るんです。(発話番号:

CCM50-I-00810~CCM50-I-00870(CLJ))

(6) 母語話者: 本, 古本で〈はい〉一万円(5 級)ぐらいなんです(2 級)して〈はい〉よ

うやくそれ一昨日届いたので〈はい〉開封(1 級)してみたんですが, 〈はい〉古本, 屋さん

のその情報(3 級)とゆうのが, ちょっとあの, 掲載(2 級)されている, ネットに掲載(2 級)

されてるものから買ったんですが, 〈はい〉ただ情報(3 級)があまりよくなくて〈はい〉中に

はその, もうぼろぼろでその〈はい〉日焼け〈はい〉, カバーが日焼けしているってのあった

んですが, 一冊(5 級), そうですね, 手の平サイズの, まあ超えるようなまあ大きさの本(5

級)が三十一冊(5 級)入っていたんですが, 〈はい〉まあカビはない, までああ, ない,

無かったんですが, ただ中を開けるとその虫の死骸(1 級)がたくさん詰まっていたとゆうの

がありまして。(発話番号: JJJ05-I-00600-K(JNS))

例(5)と例(6)を見ると, 同じく「好きな本・ドラマ」という話題について, JNS は語彙レベルの高い語を使用した, それに対して学習者は使った語彙が非常に限定されており, そして比較的簡単なものしか使わないことがわかった。

次に, CLJ が習熟度段階別に使用した漢語の語彙難度変化について見てみよう。

図 7 CLJ の習熟度段階別の漢語語彙難度

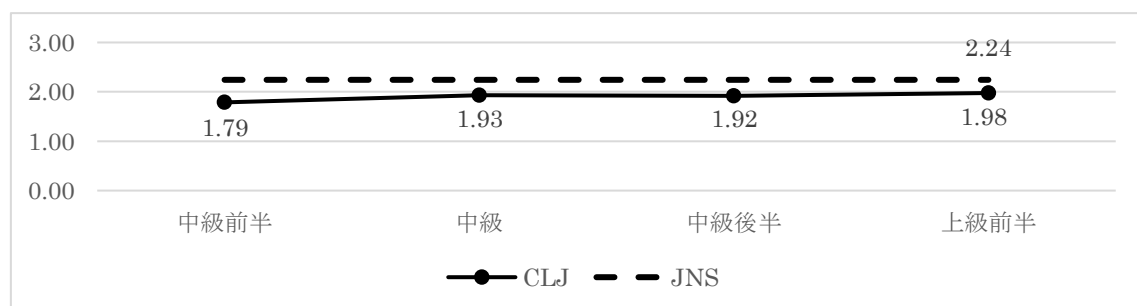


図7からわかるように、中級前半から上級までCLJが使用する漢語の難度は徐々に増加している。以下、学習者の実例を見ていきたい。

(7) 学習者:青島の海は旅行(5級), 旅行, 旅行, 旅行する, 旅行するの所です。

調査者:あーみんなが, 旅行するところ(所)なのね, あーそう, そうですかじゃああの青島のその, なんていうかな, えっと一町は一, あの上海と比べて一, あのどこが違いますか。

学習者:あーはいはい, えー, てんきよ(天気)(5級), てんきよ(天気)が, 天気が違います。

(発話番号:CCM53-I-01180~CCM53-I-01200(CLJ・中級前半))

(8) 調査者:わかりました, その(連体詞)岳陽市ってゆうのは, どんな町ですか?

学習者:えっと, 〈うん〉それは, そんなに一繁栄(1級)ではないに, ではなくて, 〈はい〉でも一, そこの, あー, 人たちは一〈うん〉とても親切(4級)で, 〈へー〉えーと, あー, あー, 食べ物に一, 情熱(1級)がある{笑}。

調査者:えどうゆう意味, 食べ物に情熱があるって一?

学習者:えっと, あー, あー, 魚とか一〈はい〉さまざまな魚とか一〈うん〉えーと, 何(なん)(5級)ですか, あーいろいろな食べ物に一〈はい〉興味(4級)が一, あって一, 〈はい〉えー, う, ち, 違い一, 作り方で, 〈うんうん〉んー料理(5級)を一, 食べる{笑}。

調査者:あーそうなんですか一, 〈はい〉すごいですね一, じゃあいろんな料理を, あの, 作ってみる。

学習者:はい。(発話番号:CCH38-I-01950~CCH38-I-02000(CLJ・中級後半))

(9) 調査者:んー, えっと, CMさんが上海で一番好きな場所ってどこですか?

学習者:えっと一上海博物館(3級)

調査者:うん, 上海はつく, ぶつかん(博物館)〈はい〉はどんなものが置いてあるんですか?

学習者:えっと一, 陶磁器(級外), えっと一しょつと(書道)(3級)のものはえと一

調査者:書道ですか?

学習者:かなえ, あはい

調査者:はい

学習者:んーびんやかんや{笑}えっと一, あー, えと, んー貨幣(1級), かへん(貨幣), 昔のかへ(貨幣)

調査者:あーお金

学習者:うんはい(発話番号:CCM50-I-01810~CCM50-I-01900(CLJ・上級))

例を見るとわかるように、同じ「出身地の産物、観光スポット」というテーマについて、中級前半の学習者は簡単な語彙(たとえば、旅行や天気など)を反復して使うのに対し、習熟度の高い中級後半・上級学習者は比較的複雑な語彙(たとえば、繁栄や陶磁器など)を使用する。

以上 RQ2 では、各言語を母語とする日本語学習者および JNS が使用した漢語の語彙難度について見てきた。その結果、(1)全体として $JNS > KLJ \approx CLJ > ELJ$ という順序関係となり、3 つの学習者グループともに JNS より簡易な漢語を使っていること、(2)習熟度の上昇につれて、CLJ が使用した漢語の難度は徐々に増加していること、が確認された

以下 RQ3 では、それぞれの話者グループが使用する上位漢語について見ていく。

11.3.1.3 RQ3 上位語

各話者グループが使用する上位漢語を調査したところ、以下のような表 4 が得られた。

表 4 CLJ・KLJ・ELJ および JNS がした漢語の上位 20 語

	上位語 20 語	一致率
CLJ	語, 時間, 先生, 自分, 学校, 勉強, 多分, 一緒, 授業, 年, 時, 大学, 生, 省, 誕生, 高校, 都会, 一番, 他, 人	45%
KLJ	語, 時間, 年, 先生, 勉強, 生, 学校, 本当, 多分, 一緒, 高校, 都会, 誕生, 授業, 方, 僕, 自分, 時, 的, 人	60%
ELJ	多分, 語, 先生, 時間, 年, 沢山, 勉強, 生, 時, 人, 大学, 方, 一番, 一緒, 高校, 歳, 都会, 本当, 料理, 学校	45%
JNS	時間, 結構, 先生, 方, 様, 本当, 多分, 自分, 年, 学校, 的, 全然, 僕, 最近, 生, 誕生, 本, 気, 一番, 映画	

表 4 からわかるように、CLJ・KLJ・ELJ と JNS の上位語との一致率はそれぞれ 60%・45%・45%となり、全体的には $KLJ > CLJ \approx ELJ$ という順序関係になった。すでに述べたように、CLJ は逸脱している漢語を使用する可能性があるため、自分の固有の特徴が表れやすく、上位語の一致率が相対的に低いと予想される。実際には、CLJ と JNS との上位語一致率は 45%となり、仮説を支持したと言える。

では、各習熟度段階の CLJ が使用する漢語上位語と JNS が使用する上位語との一致度はどのように変化しているのだろうか。各習熟度段階の CLJ が使用する漢語と JNS との一致度を調

査した結果, 以下の図 8 が得られた。

図 8 習熟度別 CLJ の漢語上位語一致率

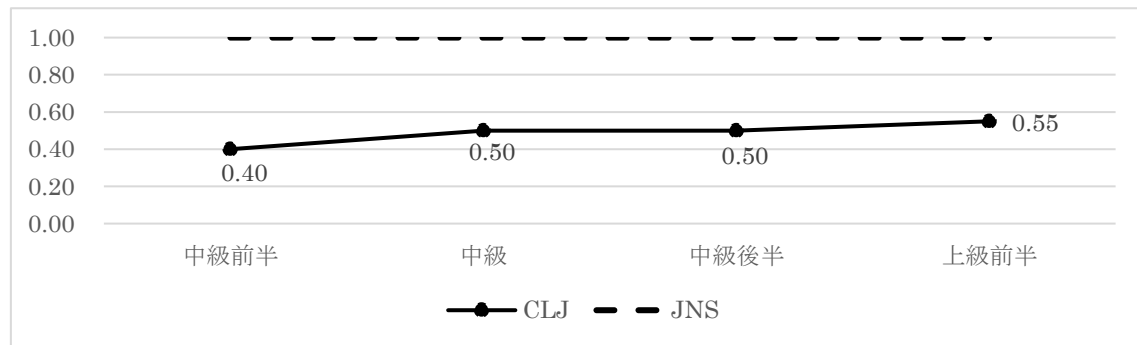


図 8 を見ると, 習熟度別 CLJ の漢語上位語一致率は中級前半から上級前半にかけて微増していることがわかった。なお, 全体から見ると, CLJ が使用する漢語の上位語と JNS が使用する上位語の一致率はほぼ 50%程度であり, 習熟度を上昇にもかかわらず安定している傾向が見られた。

以下 RQ4 では, 各話者グループが使用した漢語にはどのような特徴を持っているのかを確認していく。

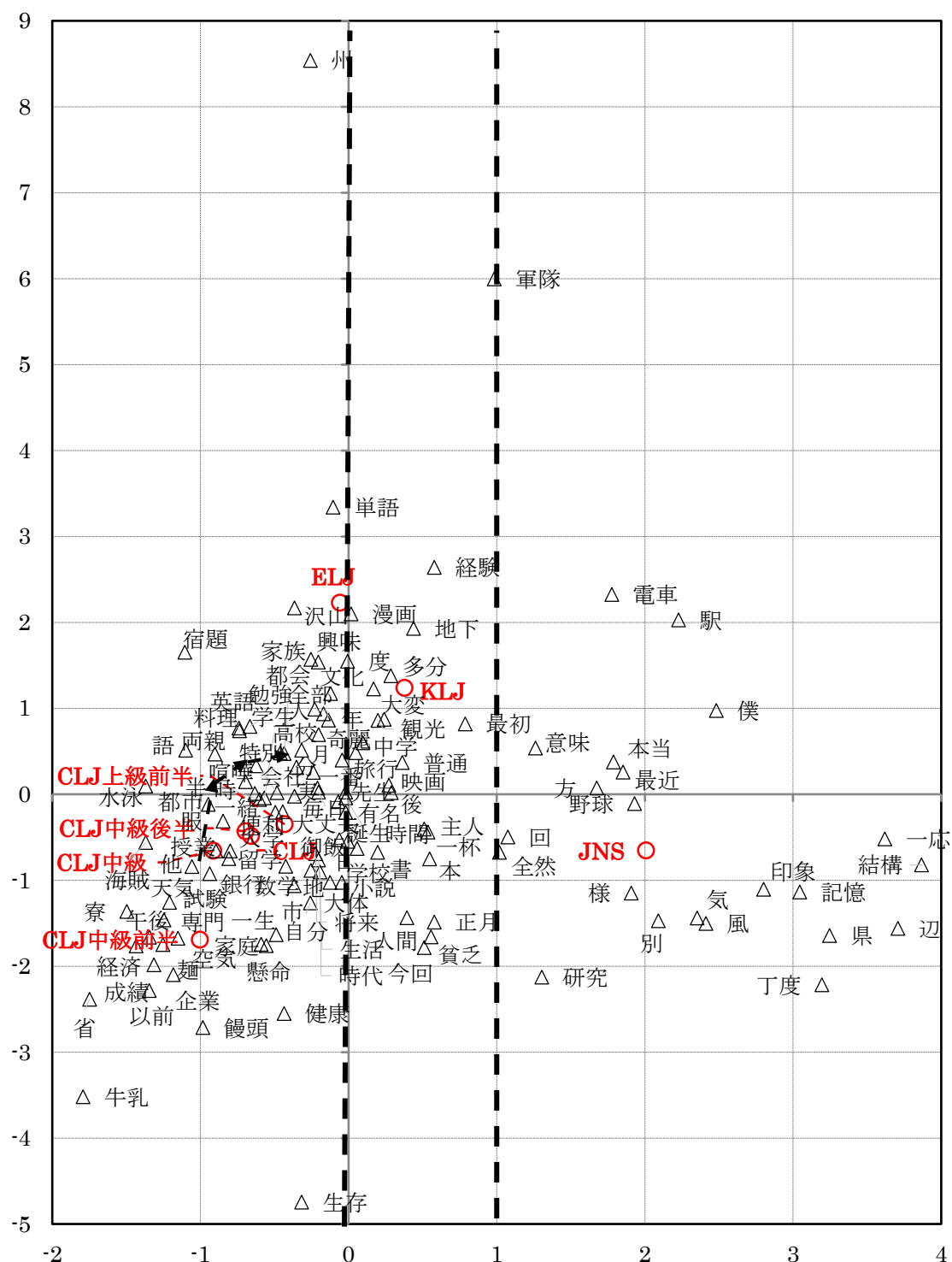
11.3.1.4 RQ4 特徴語

CLJ 中級前半・CLJ 中級・CLJ 中級後半・CLJ 上級前半・CLJ 全体・KLJ 全体・ELJ 全体・JNS という 8 種の話者グループを第 1 アイテムとし, また, これらが使用した漢語上位語 121 語を第 2 アイテムとしてコレスポネンス分析を行った結果, 以下のような図 9 が得られた。

次元 1 (横軸) と次元 2 (縦軸) の寄与率はそれぞれ 58.38% と 16.90% となり, 全体の約 75.28% を説明することがわかった。また, 2 つの軸について言えば, 次元 1 の寄与率が高く, 横軸上の位置がもっとも重要な分類観点になっていると言える。この点をふまえてデータを観察すると, もっとも右側に JNS が位置され, 原点付近に KLJ と ELJ が位置され, また, 左側に CLJ がまとまって布置されている。JNS との距離という点について言えば, $KLJ < ELJ < CLJ$ という関係になり, 当初の予測とは異なる結果となった。

横軸に従って分類すると, 1 以上は JNS ゾーンに, 0~1 は KLJ ゾーンに, また, 0 以下は ELJ と CLJ ゾーンに分類できる。

図9 各話者グループの漢語使用の特徴語



まず、JNS ゾーンに注目すると、JNS に特徴づけられるのは、一人称代名詞「僕」のほか、「一応」や「結構」「丁度」「本当」など副詞的に使用して、物事の程度や確からしさを表す語であること

がわかった。また、「様」や「気」「別」について用例分析を行ったところ、「気」については「気に入った」や「気がする」など、「別」については「別に」「別の～」など、「様」については「～のように」などの用例が大半を占めていた。一般的な漢語の概念とは若干ずれるものではあるが、こうした語が母語話者らしい漢字使用を決定していることが明らかになった。

次に、KLJ ゾーンに注目すると、KLJ ゾーンは「映画」、「学校」、「本」など身近な生活に関わる一般名詞が多く含まれているが、「多分」、「普通」、「一杯」などのような副詞的に使用される語もいくつか含まれている。結果的にみれば、このことは、3 種類の学習者グループで KLJ がもっとも JNS に近い位置に布置されていることの理由となっていると考えられる。

最後に、ELJ ゾーンと CLJ ゾーンについて言えば、「興味」、「家族」、「料理」、「高校」、「大学」、「留学」など同じく身近な生活に関わる一般名詞が多い。「沢山」のように副詞的に使われる語も存在するが、その数は KLJ より少ない。

また、CLJ の習熟度段階の変化について、第 2 軸に注目すると、下から上に向けて CLJ のレベルの上昇に合致していることがわかった。中級前半では「試験」、「牛乳」など、中級では「授業」、「留学」など、中級後半では「服」など、上級前半では「大学」、「会社」などの語に特徴づけられ、日常語の中で、より学習に直結したものから、個人生活と関わる語となり、少し内容的な変化はあるものの、その変化は漢語を副詞的に使用するといった母語話者的な漢語使用に近接していることは言えない。

以上、第 1 課題では、様々な習熟度段階にある CLJ の漢語の使用実態を解明した。

まず、漢語使用のトークンについて、(1) 全ての学習者グループは JNS より少なく、全体として $JNS > KLJ \div CLJ \div ELJ$ という順序関係となること、(2) 習熟度の上昇につれて、CLJ の漢語トークンは中級前半から中級にかけて低下しているが、中級から上級前半になるにつれて増加していること、が確認された。また、タイプについて、(1) トークンと同じように、すべての学習者グループは JNS より少なく、全体として $JNS > CLJ \div KLJ > ELJ$ という順序関係となり、使用する漢語種類が少ないという問題は、CLJ 特有のものではなく、他の言語を母語とする学習者にも共通していると言えること、(2) 全体としては習熟度の上昇につれて、CLJ が使用した漢語のタイプは増加し、JNS に接近していること、が確認された。

次に、語彙難度について、(1) 全体として $JNS > KLJ \div CLJ > ELJ$ という順序関係となり、3 つの学習者グループともに JNS より簡易な漢語を使っていること、(2) 習熟度の上昇につれて、CLJ が使用した漢語の難度は徐々に増加していること、が確認された。

続いて、上位語について、(1) 全体の一致率について言えば $KLJ > CLJ = ELJ$ という順序関

係になり、CLJ と ELJ はより逸脱している漢語を使用していること、(2) 習熟度の上昇につれて、JNS との一致率は中級前半から上級前半にかけて微増していること、が明らかになった。

最後に、(1) JNS との類似度という点について言えば、 $KLJ > ELJ > CLJ$ という関係になり、KLJ の上位語使用は JNS ともとても似ていること、(2) CLJ の習熟度段階の変化について、内容的な変化はあるものの、その変化は漢語を副詞的に使用するといった母語話者的な漢語使用に近接しているとは言えないこと、が確認された。

仮説で述べたように、CLJ の漢語使用は、同じ漢字圏の KLJ と似ているが、母語において漢字が存在していない ELJ との間に漢語使用の差が大きいと予想される。今回のデータから見ると、使用量(トークン・タイプ)と語彙難度のいずれにおいても CLJ と KLJ の間には統計的な差が確認できなかったが、CLJ と ELJ の間にはすべて統計的差があることが確認できた。このことは、仮説を支持されたと言えるであろう。また、仮説では、習熟度が上昇につれて、CLJ の漢語使用は次第に JNS の漢語使用パターンに近接していくと述べたが、使用量や語彙難度、そして上位語の一致率の 3 観点については JNS と接近しているが、特徴語という観点から見れば、必ずしも JNS に接近しているとは言えない。

以下、第 2 課題においては、CLJ の外来語使用について考察していく。

11.3.2 第 2 課題(外来語)

11.3.2.1 RQ1 使用量

まず、各言語を母語とする日本語学習者および JNS が使用した外来語のトークンについて見ていきたい。これらについて調査を行った結果、以下の図 10 のようになる。

図 10 CLJ・KLJ・ELJ および JNS が使用した外来語のトークン

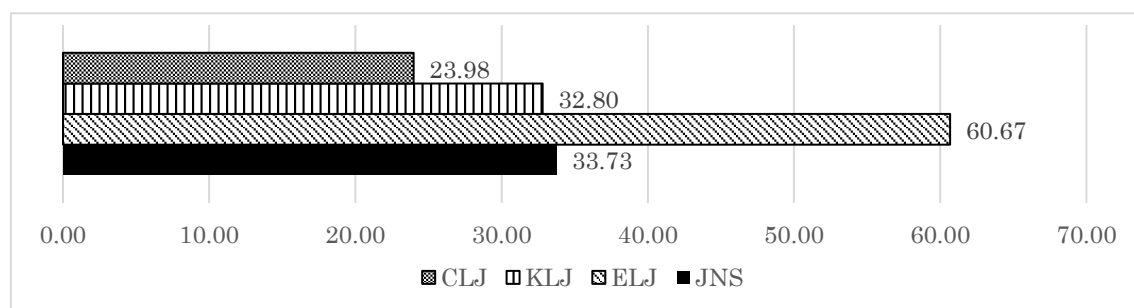


図 10 からわかるように、CLJ と JNS・KLJ・ELJ が使用した外来語の総語数はそれぞれ 23.98 語・33.73 語・32.80 語・60.67 語となった。CLJ の外来語使用量は一番少なく、JNS の 71.09%

であった。母語という要因は漢語使用に影響を及ぼすかについて、クラスカル・ウォリス検定を行った結果、話者間には0.1%水準で差があることが確認された($K=90.155, df=3, p<.001$)。また、ボンフェローニ下位検定を行った結果、KLJ と JNS 以外に、すべてのグループ間には 0.1%水準で差があることが確認された。仮説では、外来語使用のトークンについて $ELJ > JNS \approx KLJ > CLJ$ という順序関係になると予想されたが、今回のデータは仮説を支持したと言える。

次に、習熟度別 CLJ の外来語トークンの変化は以下の図 11 のようになる。

図 11 習熟度別 CLJ の外来語トークン

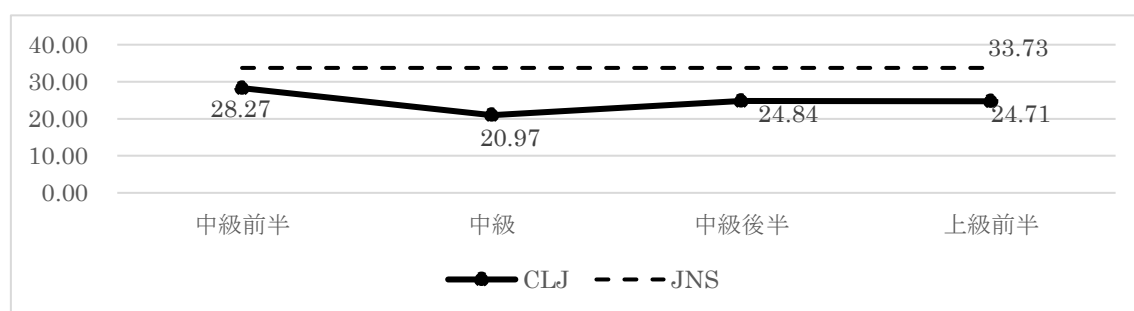
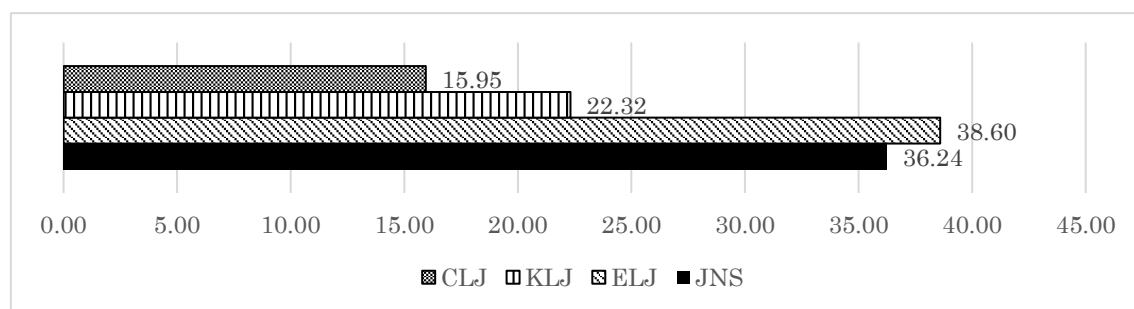


図 11 からわかるように、CLJ の外来語使用トークンは、中級から上級前半になるにつれて増加しているが、全体として減少している傾向にあることが確認された。

では、なぜ外来語トークンは増加せず、むしろ減少する傾向が見られるのであろうか。この点については、第 1 課題の RQ1 でも述べたように、学習者の全般的習熟度の上昇と関わるのではないかと考えられる。つまり、初級者は、本来の意味機能に反した不適切な外来語使用が多いが、習熟度が上昇するとこうした使用がなくなり、結果として外来語の使用量が増加しなかったり、あるいは減少したりするのである。

次に、外来語のタイプについて見ていく。

図 12 CLJ・KLJ・ELJ および JNS が使用した外来語のタイプ



まず、母語別比較について、CLJ・KLJ・ELJ が使用した外来語のタイプはそれぞれ 15.95 語・22.32 語・28.60 語となり、CLJ と KLJ はそれぞれ JNS より 55.99%と 38.41%少ないが、ELJ は JNS より 6.51%多いことが確認された。また、クラスカル・ウォリス検定を行った結果、話者間の間には 0.1%水準で差があることが確認された($K=136.09, df=3, p<.001$)。また、ボンフェローニ下位検定を行った結果、ELJ と JNS 以外に、すべてのグループ間において 0.1%水準で差があることが確認された。すなわち、全体として $ELJ \approx JNS > KLJ > CLJ$ という順序関係となったことが明らかになった。

上記のように、ELJ の外来語トークンとタイプの 2 観点においても JNS より多いこと、KLJ はタイプの観点において JNS より少ないが、トークンの観点においては JNS と同じ程度であること、また、CLJ は使用量のどの観点においても一番少ないであること、が確認された。すなわち、外来語の過少使用の問題は、他の学習者に共通するのではなく、CLJ の特有の特徴と言える。では、CLJ は ELJ と KLJ より少ない、特に ELJ より大幅に少ないのはなぜなのであろうか。その原因について、以下の 3 点が考えられる。

まず 1 点目は、仮説で述べたように、日本語の外来語の大部分は英語から起源しているので、ELJ は外来語が多く使用できていると考えられる。2 点目は、KLJ について言えば、韓国語における外来語は日本語の外来語と似ている発音や形を持っているため、日本語の外来語に対してなじみが感じられる。3 点目は、中国語においては、視覚的にはっきり認められる外来語が存在しない。中国語でも外国語の語彙を導入することがないわけではないが、意識されたり音訳されたりして、すべてが漢字表記されるため、外来語であることが分かりにくくなっている(たとえば、ソファ→沙发(音訳)・コンピューター→电脑(意識)など)。こうしたことから、CLJ は 1 つの言語の中に、他の言語をそのまま取り入れて使うということ自体になじみが薄く、このために、日本語においても、外来語をきわめて少なく使用しているのではないかと考えられる。

次に、習熟度別 CLJ の外来語使用タイプについて見ていきたい。

図 13 習熟度別 CLJ の外来語使用タイプ

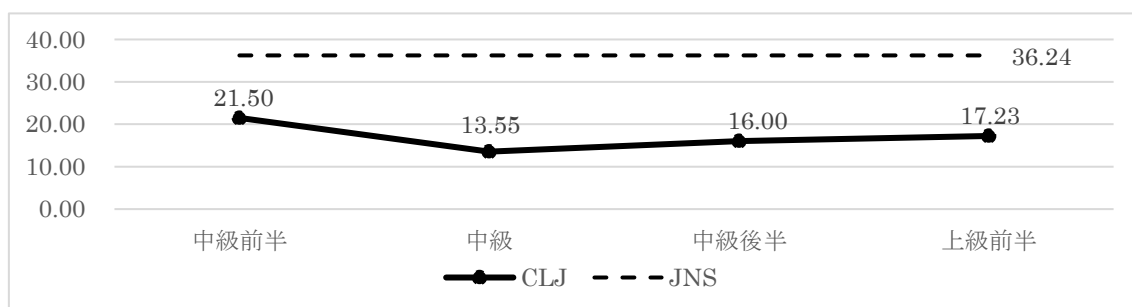


図 13 で明らかなように、CLJ の外来語使用種類数は中級前半から中級にかけて減少しているが、中級から上級前半にかけて次第に増加している。

では、なぜ中級前半から中級にかけて使用種類数が減少しているのでしょうか。この点については、実際のデータを確認したところ、以下のような用例が見つかった。

(10) 調査者: え車がありますか？

学習者: はい、ああ、バスの、ああ、バスが一、あはよー、んふー。

調査者: あ、バイク？

学習者: バイ、ああ、はい、ああ。

調査者: 自転車？

学習者: ー、いやいや、それは、疲れた、ああ、あん、あ、トライバ〈ええー〉、ああ、わ、ウーマン、あーあー、に、ヘイジャーとー、んー、呼びますん。

調査者: ん？何(なに)と？

学習者: ヘイジャー、く、ああ、黒いー車、私、あん日本。

調査者: タクシー？違う。

学習者: タクシー。(発話番号: CCH49-I-00330～CCH49-I-00420 (CLJ))

(11) 調査者: 何(なに)を食べる？

学習者: ラーメンの麺。

調査者: あ、麺を食べる。

学習者: はい、麺を食べる、〈うんうん〉うーうー、き、てき、てー、き、ケーキ？てーき、きんー、パンを食べる。

調査者: うん、パンを食べる。

学習者:はいはいはい、んー、多分、んー他(ほか)がない。(発話番号:CCM53-I-03090
~CCM53-I-03140(CLJ))

例(10)を見ると、学習者 CCH49 は「タクシー」という単語が覚え出せないため、「バス」・「バイ(バイク)」・「ドライバ」・「ウーマン」など、タクシーの特徴を表す単語を使用した。また、例(11)を見ると、学習者 CCM53 は「ケーキ」を言おうとするが、「ケーキ」という単語は正しかどうか判断できないため、「パン」を使って表現した。このように、中級前半の学習者はある外来語を話したいとき、この語が覚え出せないため別の外来語を使って特徴を表現したり、あるいは自分が使用した外来語に対して自信がないため似ている外来語で表現したりする例が見られ、結果的に中級前半の学習者の外来語種類数が高かったのではないと思われる。

以上、トークンとタイプという 2 つの観点から学習者の「外来語使用」を考察した。その結果、まず、トークンについて、(1)CLJ の外来語使用量は一番少なく、全体として $ELJ > JNS \approx KLJ > CLJ$ という順序関係になること、(2)習熟度の上昇につれて減少している傾向にあること、が明らかになった。また、タイプについて、(1) $ELJ \approx JNS > KLJ > CLJ$ という順序関係になること、(2)習熟度の上昇に伴い、外来語使用タイプは中級前半から中級にかけて減少しているが、中級から上級前半にかけて次第に増加していること、が確認された。なお、外来語の過少使用の問題は、他の学習者に共通するのではなく、CLJ の特有の特徴と言える。

以下、それらが使用した外来語の語彙難度について見ていく。

11.3.2.2 RQ2 語彙難度

各話者グループが使用した外来語の語彙難度を調査したところ、以下のような図 14 が得られた。

図 14 CLJ・KLJ・ELJ および JNS が使用した外来語の語彙難度

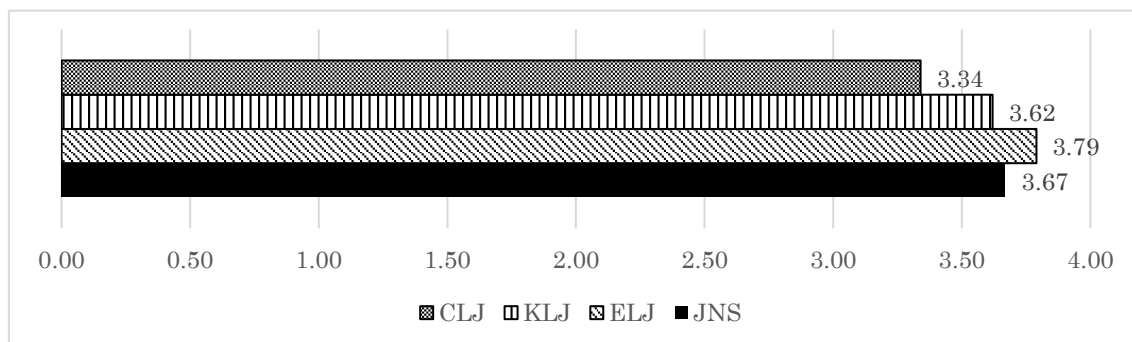


図 14 を見ると, ELJ は JNS より難度の高い外来語を使用し, JNS より 3.27%多いのに対し, CLJ は一番簡易な外来語を使用し, JNS より 8.99%少ないことがわかった。クラスカル・ウォリス検定を行った結果, 話者間の間には 0.1%水準で差があることが確認された ($K=35.074, df=3, p<.001$)。また, ボンフェローニ下位検定を行った結果, CLJ と KLJ の間には 1%水準で, CLJ と ELJ および JNS との間には 0.1%水準で差があることが確認された。なお, 他のグループの間には有意な差が確認できなかった。仮説においては, CLJ が使用する漢語の語彙難度がもっとも低く, 続いて $ELJ > JNS \approx KLJ > CLJ$ というようになると推測されたが, 結果は仮説を支持したと言える。

次に, 習熟度の観点について確認していく。以下は, 習熟度別の CLJ が使用した外来語の語彙難度である。

図 15 習熟度別 CLJ の外来語の語彙難度

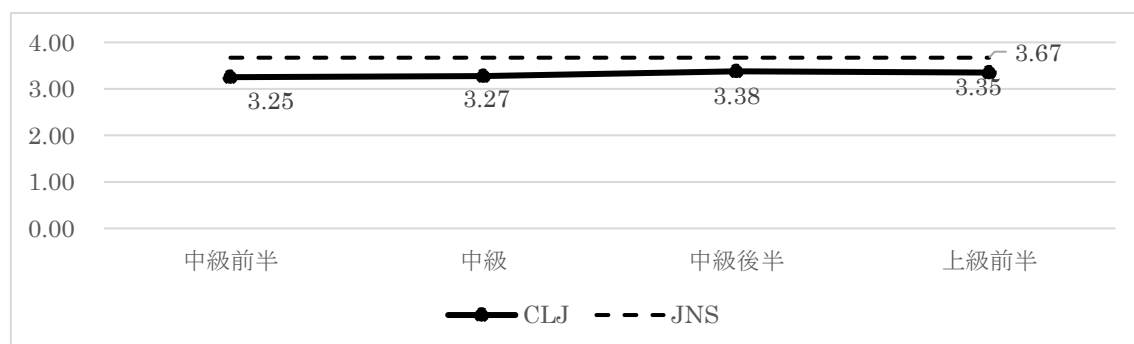


図 15 からわかるように, CLJ が使用した外来語の語彙難度はほぼ一貫して増加している。というのも, 習熟度の上昇につれて, CLJ は次第に難しい外来語を使用することが確認された。

11.3.2.3 RQ3 上位語

続いて, 各話者グループが使用した上位語に注目して比較を行っていく。以下, 各話者グループが使用した外来語の上位 20 語である。

表 5 CLJ・KLJ・ELJ および JNS の外来語上位語 20 語

	上位語 20 語	一致率
CLJ	<u>ドラマ</u> , <u>アニメ</u> , <u>ケーキ</u> , <u>プレゼント</u> , <u>クラス</u> , <u>バス</u> , <u>ラーメン</u> , <u>ストーリー</u> , インターネット, <u>テレビ</u> , クラスメート, パソコン, テスト, <u>ゲーム</u> , ネット, チャンス, ショッピング, <u>パーティー</u> , レストラン, コンピューター	50%
KLJ	<u>アニメ</u> , <u>ドラマ</u> , <u>ケーキ</u> , <u>プレゼント</u> , <u>バイト</u> , <u>バス</u> , <u>パーティー</u> , テスト, <u>ストーリー</u> , <u>ゲーム</u> , スープ, <u>サッカー</u> , <u>ラーメン</u> , <u>クラス</u> , ソース, ビビンバ, チーム, <u>テレビ</u> , ビル, カルビ	55%
ELJ	<u>アニメ</u> , <u>クラス</u> , <u>ドラマ</u> , <u>バス</u> , <u>ゲーム</u> , レストラン, <u>パーティー</u> , <u>アイ</u> , <u>テレビ</u> , <u>ケーキ</u> , プログラム, クラブ, <u>プレゼント</u> , ビーチ, <u>ストーリー</u> , フェニックス, オペラ, ハウス, <u>スポーツ</u> , シティー	50%
JNS	テレビ, ケーキ, パン, プレゼント, ドラマ, サッカー, クラス, ストーリー, ラーメン, ゲーム, バス, クリスマス, イメージ, テニス, スポーツ, タイプ, ショック, アルバイト, パーティー, マン	

表 5 を見ると, CLJ は他の学習者に比べ, JNS が使用する外来語と同様のものを使用している傾向を見せなかったことがわかった。JNS が使った上位 20 語のうち, CLJ は 10 語, KLJ は 11 語, ELJ は 10 語であり, 学習者間にはあまり差がないことが確認された。なお, 実際の語を見ると, 「ビビンバ」(KLJ)や「フェニックス」(ELJ)のように, KLJ と ELJ は JNS の使用率の高くない外来語が多く使用するのに対し, CLJ はより基本的なものを使用していることがわかった。仮説においては, CLJ は全般的に外来語を過少使用し, 使用する外来語も基本的なものに限られていると述べたが, 今回のデータから見ればある程度合致したと言える。

では, 習熟度の上昇に伴い, CLJ の上位 20 語と JNS の上位 20 語との一致率はどのように変化していくのだろうか。

図 16 習熟度別 CLJ の外来語上位 20 語一致率

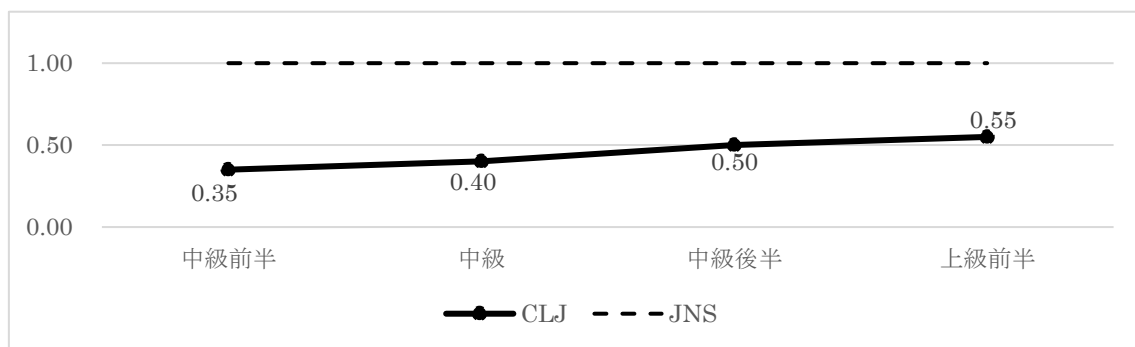


図 16 を見ると、習熟度別 CLJ の外来語上位語一致率は中級前半から上級前半にかけて次第に増加していることがわかった。

以上、上位語に注目して、学習者の外来語使用に対して考察を行った。その結果、(1) 3 つの学習者グループが使用する上位語と JNS の上位語との一致率はあまり差がないこと、(2) 習熟度の上昇につれて CLJ の外来語の上位語と JNS との一致度は増加していること、が確認された。

以下、それぞれの話者グループが使用する外来語の特徴語に注目して考察を行っていく。

11.3.2.4 RQ4 特徴語

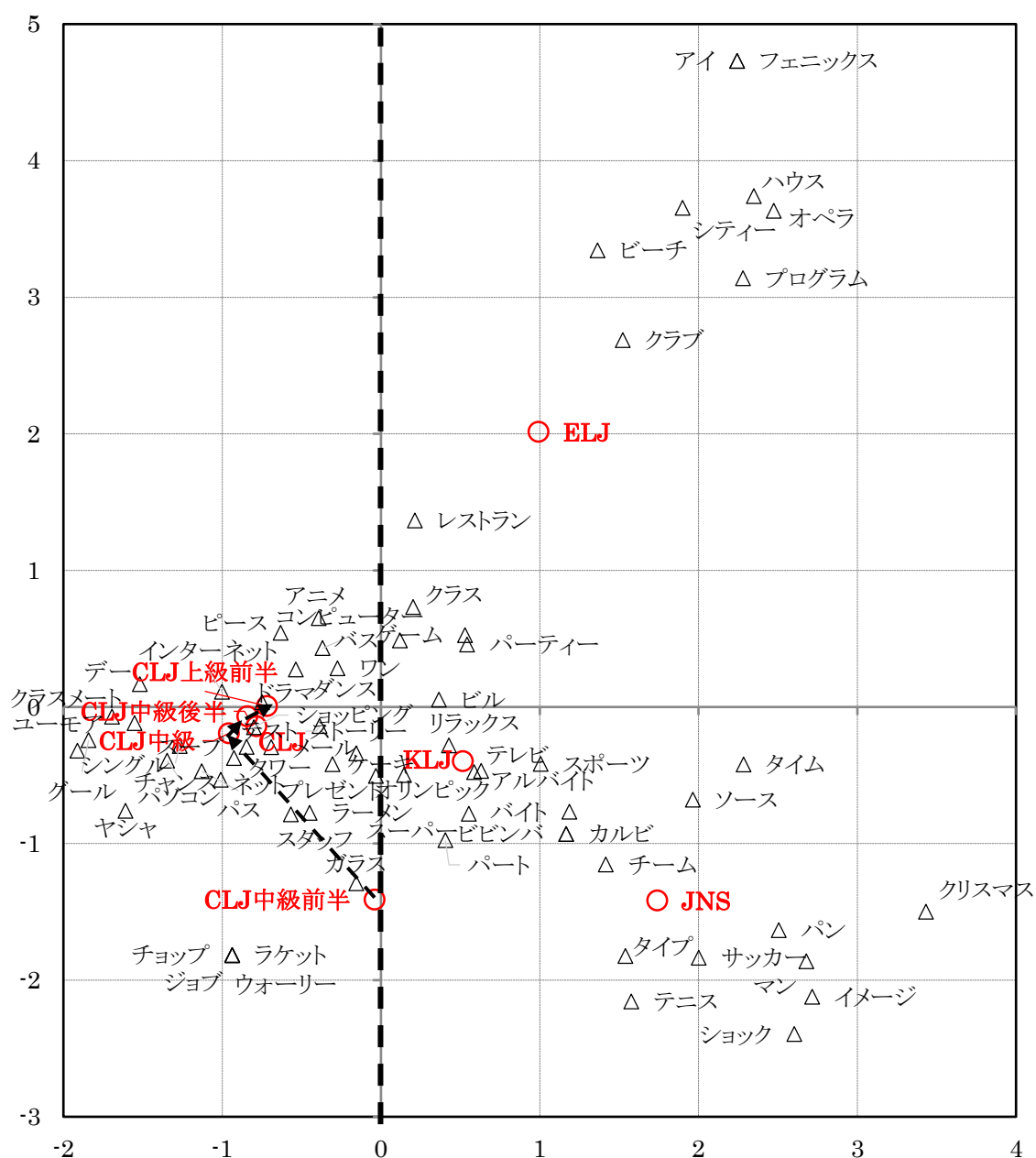
CLJ 中級前半・CLJ 中級・CLJ 中級後半・CLJ 上級前半・CLJ 全体・KLJ 全体・ELJ 全体・JNS という 8 種の話者グループを第 1 アイテムとし、また、これらが使用した外来語上位語 67 語を第 2 アイテムとしてコレスポンデンス分析を行った結果、以下のような図 17 が得られた。次元 1 (横軸)と次元 2(縦軸)の寄与率はそれぞれ 31.43%と 29.26%となり、全体の約 60.69%を説明することがわかった。

まず、次元 1 について見ると、もっとも右側に JNS が位置され、次に ELJ と KLJ が位置され、また、左側に CLJ がまとまって布置されていることがわかった。JNS との距離という点について言えば、 $KLJ < ELJ < CLJ$ という関係になり、当初の予測とは異なる結果となった。

JNS ゾーンに特徴づける外来語を見ると、「パン」や「サッカー」など日常生活に関わる具体名詞以外に、「イメージ」や「タイプ」のような「基本語化」(金(2015)など)した抽象名詞も多用することが確認された。これは CLJ と区別するもっとも重要な点であると考えられる。

また、CLJ の習熟度の変化に注目すると、中級前半が縦軸の負の方向に布置され、その他の習熟度段階がまとまって原点付近に布置されていることがわかった。具体的な特徴語を見ると、中級前半において、「ウォーリー」や「チョップ」などのような JNS がほとんど使用しておらず、より逸脱している外来語に特徴づけられているが、中級になるとこのような語彙の使用が少なくなり、「ドラマ」や「ショッピング」など日常生活に関わる語彙、「クラスメート」や「テスト」など学生生活に関わる語彙、そして、「パソコン」や「インターネット」など IT に関わる専門語彙に特徴づけられるようになった。なお、中級以降の習熟度段階においてはほとんど変化が見られておらず、基本語化した抽象外来語を使用するといった母語話者の外来語使用に近接しているとは言えない。

図 17 各話者グループの外来語使用の特徴語



以上、第 2 課題では、様々な習熟度段階にある CLJ の外来語の使用実態を解明した。

まず、外来語の使用のトークンについて、(1) ELJ 以外の学習者グループは JNS より少なく、全体として $ELJ > JNS \approx KLJ > CLJ$ という順序関係になること、(2) 習熟度の上昇につれて、CLJ の外来語使用のトークンは中級から上級前半になるにつれて増加しているが、全体として減少していること、が確認された。また、タイプについて、(1) トークンと似ているように、全体として $ELJ \approx$

JNS>KLJ>CLJ という順序関係になり、外来語の過少使用の問題は CLJ 特有の問題と言えること、(2)CLJ が使用する外来語のタイプは中級前半から中級にかけて減少しているが、中級から上級前半にかけて次第に増加していること、がわかった。

次に、語彙難度について、(1)CLJ が使用する外来語の語彙難度がもともと低く、全体として ELJ>JNS≒KLJ>CLJ というようになること、(2)習熟度の上昇につれて、CLJ が使用した外来語の語彙難度はほぼ一貫して増加していること、が確認された。

続いて、上位語について、(1)JNS の上位語との一致率という点について、KLJ>CLJ=ELJ という関係となり、KLJ の上位語使用は JNS ともともと類似していること、(2)習熟度の上昇につれて、CLJ が使用した外来語上位語と JNS との一致率は中級前半から上級前半にかけて次第に増加していること、がわかった。

最後に、特徴語について、(1)JNS との類似度という点について、KLJ>ELJ>CLJ という関係になったこと、(2)CLJ の習熟度段階の変化について、中級前半から中級にかけて大きな変化が見られ、逸脱している語彙の使用は少なくなるものの、中級以降の習熟度段階において変化がほとんど見られていないこと、がわかった。

11.4 まとめ

本章では、大規模な日本語学習者コーパスを利用し、様々な習熟度段階にある CLJ の非和語系語彙の使用実態を調査した。その結果、以下のような知見が得られた。

使用量:

(1)母語別比較について,

a.漢語の場合、トークンについては JNS>KLJ≒CLJ≒ELJ という順序関係となり、タイプについては JNS>CLJ≒KLJ>ELJ という順序関係となった。…11.3.1.1 節

b.外来語の場合、トークンについては ELJ>JNS≒KLJ>CLJ という順序関係となり、タイプについては ELJ≒JNS>KLJ>CLJ という順序関係となった。…11.3.2.1 節

(2)習熟度別比較について,

a.漢語の場合、トークンについては中級前半から中級にかけて低下しているが、中級から上級前半になるにつれて増加し、また、タイプについては増加していること、が確認された。…11.3.1.1 節

b. 外来語の場合、トークンについては中級から上級前半になるにつれて増加しているが、全体として減少し、タイプについては中級前半から中級にかけて減少しているが、中級から上級前半にかけて次第に増加していること、がわかった。…11.3.2.1 節

語彙難度:

(1) 母語別比較について,

a. 漢語の場合、 $JNS > KLJ \doteq CLJ > ELJ$ という順序関係となり、3 つの学習者グループともに JNS より簡易な漢語を使っている。…11.3.1.2 節

b. 外来語の場合、 $ELJ > JNS \doteq KLJ > CLJ$ という順序関係となり、CLJ が使用する漢語の語彙難度がもっとも低い。…11.3.2.2 節

(2) 習熟度別比較について,

漢語の場合も外来語の場合も、習熟度の上昇につれて、CLJ が使用した漢語の難度は増加していることが確認された。…11.3.1.2 節と 11.3.2.2 節

上位語:

(1) 母語別比較について,

漢語の場合も外来語の場合も、JNS の上位語との一致率について言えば、 $KLJ > CLJ = ELJ$ という関係になり、KLJ の上位語使用は JNS ともっとも類似している…11.3.1.3 節と 11.3.2.3 節

(2) 習熟度別比較について,

漢語の場合も外来語の場合も、習熟度の上昇につれて、CLJ が使用した外来語上位語と JNS との一致率は中級前半から上級前半にかけて増加している。…11.3.1.3 節と 11.3.2.3 節

特徴語:

(1) 母語別比較について,

漢語の場合も外来語の場合も、JNS との類似度について言えば、 $KLJ > ELJ > CLJ$ という関係となり、KLJ の上位語使用は JNS ともっとも類似している。…11.3.1.4 節と 11.3.2.4 節

(2) 習熟度別比較について,

a. 漢語の場合、CLJ の習熟度段階の変化について、内容的な変化はあるものの、その変化は漢語を副詞的に使用するといった母語話者的な漢語使用に近接しているとは言えない。…

11.3.1.4 節

b. 外来語の場合, CLJ の習熟度段階の変化について, 中級前半から中級にかけて大きな変化が見られ, 逸脱している語彙の使用は少なくなるものの, 中級以降の習熟度段階において変化がほとんど見られていない。…11.3.2.4 節

上記のように, 中国語を母語とする学習者による日本語非和語系語彙の使用実態に関して, 一定の指針を示すことができたと思われる。しかしながら, 本章の分析にはいくつかの課題も残されている。1 点目は, すでに 11.2.2 でも述べたように, 本章で使用した対話タスクは, 質問内容などを事前に統一するという工夫はなされているものの, それに対する学習者の回答は自由であり, 発話内容が必ずしも厳密に統制されたものではないということである。2 点目は, 使用された漢語の難度の推定にあたり, 旧日本語能力試験の語彙リストを使用した点である。本来, 語の難度は使用環境や文脈などによって変化し, 語だけを取り出して難度を議論することは必ずしも適切ではない。加えて, 日本語能力試験においてもこうした語彙レベルの発想が否定されたことも考慮すべきであろう。

第 12 章 使用実態の縦断調査

12.1 はじめに

すでに述べたように、本研究は、CLJ の非和語系使用をより体系的に論述するため、ある特定の時点における各習熟度レベルの学習者の比較のみならず(第 11 章)、個々の学習者に対象を絞り、当該学習者が学習の中でどのように非和語系語彙使用を変化させていくかを縦断的に観察していく(第 12 章)。第 11 章では、大規模な学習者横断コーパスを用いて、CLJ の非和語系使用に対して調査を行った。特に習熟度比較の観点について、学習者の習熟度レベルに注目し、習熟度レベルが異なれば、学習者の非和語系語彙使用はどのように変化していくかを調査した。そこで本章では、日本語学習者縦断コーパスを利用し、学習段階が進むにつれて、CLJ の作文における非和語系語彙の使用がどのように変化するかを観察していく。

12.2 リサーチデザインと手法

12.2.1 研究目的と RQ

本章では、日本語学習者縦断コーパスを利用し、学習段階が進むにつれて、CLJ の作文における非和語系語彙の使用がどのように変化するか、また、JNS とのズレがどのように変化していくかを実証的に調査することを目的とする。また、本研究では語彙使用の基礎的指標として、使用量(トークンとタイプ)・語彙難度・上位語・特徴語・誤用という 5 点に着目する。

以上をふまえ、本章は以下のような 3 つの課題を設定した。

第 1 課題(漢語) CLJ の「漢語使用」という点で、学習段階が進むにつれて、

RQ1 使用量はどのように変化するか？

RQ2 語彙難度はどのように変化するか？

RQ3 上位語はどのように変化するか？

RQ4 特徴語はどのように変化するか？

RQ5 誤用はどのように変化するか？

第 2 課題(外来語) CLJ の「外来語使用」という点で、学習段階が進むにつれて、

RQ1 使用量はどのように変化するか？

RQ2 語彙難度はどのように変化するか？

RQ3 上位語はどのように変化するか？

RQ4 特徴語はどのように変化するか？

RQ5 誤用はどのように変化するか？

なお、以下はこれらの RQ を実例データのもとに検証していくわけであるが、あとで行う検証をより体系化するため、事前にそれぞれの課題に対する仮説を考えておきたい。

すでに述べたように、横断調査は異なる学習者を比較して習熟の過程を疑似的に調査したものであり、個人の学習者の学習過程を必ずしも正しく反映したとは言えない。ただし、一般に学習段階の進行に伴い、習熟度も向上すると考えられるため、ここでは第 11 章の習熟度比較の結果に基づき、本章の仮説を立てておきたい。

第 11 章の第 1 課題(漢語使用)では、習熟度の向上に伴う変化について、RQ1(使用量)について、トークンは中級前半から中級にかけて微減し、中級から上級前半になるにつれて増加したこと、また、タイプは習熟度の向上につれて増加していることが確認された。RQ2(語彙難度)において、CLJ が使用する漢語の語彙難度が高くなること、RQ3(上位語)において、上位語の一致率が微増していること、RQ4(特徴語)において、CLJ が使用する漢語は内容的な変化があるものの、母語話者的な漢語使用に近接していることとは言えないこと、が確認された。

また、第 2 分析(外来語使用)では、習熟度の向上に伴う変化について、RQ1(使用量)について、中級から上級前半になるにつれて増加しているが、全体として減少していること、また、タイプは中級前半から中級まで以外に増加していることが確認された。RQ2(語彙難度)において、ほぼ一貫して高くなっていること、RQ3(上位語)において、中級前半から上級前半にかけて次第に増加していること、RQ4(特徴語)において、中級前半から中級にかけて大きな変化が見られ、逸脱している語彙の使用は少なくなるものの、中級以降の習熟度段階において変化がほとんど見られず、基本語化した抽象外来語を使用するといった母語話者の外来語使用に近接しないこと、が確認された。

以上に基づき、本章は以下の仮説を立てる。

H1 「漢語使用」という点において、まず、RQ1(使用量)について、第 11 章では CLJ が使用する漢語のトークンは中級前半から中級にかけて微減し、上級前半から上級にかけて大幅に低下したと述べたが、それは学習者の流暢性がよくなり、重複して話す単語が少なくなるという話し言葉に見られる全般的習熟度の上昇の特徴であり、書き言葉においてはこのような現象が見られないと考えられるため、学習段階が進むにつれてトークンとタイプとも増加すると予測される。

また、RQ2(語彙難度)について、使用する漢語の語彙難度が高くなること、RQ3(上位語)について、上位語の一致率が微増していること、RQ4(特徴語)について、使用する漢語の内容は変化するものの、母語話者的な漢語使用に近接しないこと、が推測される。また、RQ5(誤用)について、学習段階の進行に伴い学習者の日本語能力も増加すると想定されるため、誤用数は減少し、多用される誤用タイプは語レベルから品詞レベルへ変化すると予測される。

H2「外来語使用」という点において、RQ1(使用量)について、上記と同じ理由でトークンとタイプとも増加していること、RQ2(語彙難度)について、使用する外来語の語彙難度が高くなること、RQ3(上位語)について、上位語の一致率が増加していること、RQ4(特徴語)について、学習段階が進むにつれて逸脱している外来語の使用は少なくなりますが、基本語化した抽象外来語を使用するといった母語話者の外来語使用に近接しないこと、RQ5(誤用)について、誤用数は減少し、多用される誤用タイプは語レベルから品詞レベルへ変化すると予測される。

12.2.2 データ

本研究では CLJ 側のデータとして、「日语学习者书面语语料库」(日本語学習者書き言葉コーパス)を利用する。すでに 3.1 節で述べたように、「日语学习者书面语语料库」は上海交通大学文科科研基金項目「学習者書き言葉および日本語教学研究」(代表者:張建華, 課題番号:08TS1)の一環として、中国の 5 つの大学における日本語科の学習者 401 名の作文を収集したコーパスである。なお、同じ学期ではあっても、大学間で、学習の進度やレベルが異なる可能性がある。この点を統制するために、本研究では、学習者数が多く、作文テーマが相対的に揃っている「東北師範大学縦断データ」30 名分のみを使用した。学習段階は 3 学期から 5 学期までで、総語数は 201,857 語となる。具体的な作文テーマは以下の表 1 のようになる。

表 1 各学期の作文テーマ

学期	テーマ	学習 時数	学期	テーマ	学習 時数
3 学期	私と日本語・私の好きな言葉・故郷	764	4 学期	メタボ	1204
	信頼・自動車と交通・高校時代の恩師・手紙	844		胡錦涛訪日・四川大震災	1244
	失われつつあるもの	864		感動した一冊の本	1264
	大学就職難について	904		地球を守ろう	1284

	北京オリンピック	924		携帯電話	1304
	赤信号	944		クラスメート	1344
	真の幸せ	964		私の母	1364
4 学期	冬休み	1044	5 学期	命を大事にする	1404
	新聞を読んで(1)	1084		日本の若者に伝えたいこと	1422
	ジェンダー	1104		情報社会とマナー	1440
	命の大切さ	1144		長崎コラム	1458
	新聞を読んで(2)	1184		未来のこと	1710

なお、本コーパスでは、学習者の習熟度をテストなどの形で調査することは行っていない。しかし、中国の大学の日本語専門学科で使われているシラバス(『高等院校日语专业基础阶段教学大纲』)に基づく、2 学期終了段階の日本語レベルは語彙力で言うとおよそ 3000 語程度、4 学期終了段階で 5600 語程度である。日本語能力試験(JLPT)における語彙量の認定基準(N3:1600 語, N2:6000 語, N1:10000 語)と照らし合わせると、3~4 学期終了時点の学習者の日本語レベルはおおよそ N3 程度、5 学期終了時点でおおよそ N2 程度と推定される。

また、JNS 側のデータとして、BCCWJ を利用する。なお、BCCWJ は書籍・新聞・雑誌・白書・ブログなど様々なレジスターのテキストを集めているが、本章では、このうちのブログデータのみを利用する。ブログは、学習者が日本語の授業の中で書く作文と完全に一致するものではないが、自分の意見を自由なスタイルで書き、かつ、通例、編集が加えられていないという点で、作文に近い言語的性質を持つと考えられる。

12.2.3 手法

RQ1(使用量)については、トークン(延べ語数)とタイプ(異なり語数)の両観点から考察する。学習段階間を比較する際には、段階ごとの作文の長さ(総語数)が異なるため、トークンは 1,000 語あたりで割った調整トークン値に変換して、タイプはトークンで割った TTR 値に変換してそれぞれ比較する。また、参照基準となる JNS のタイプの算定にあたっては、CLJ の作文の分量(学期あたり平均 2268.06 語)と揃えるため、BCCWJ からランダムに 50 本分のブログを抽出して TTR 値を計算する。

RQ2(語彙難度)について、旧日本語能力試験で示されていた語彙基準(級外, 1 級, 2 級・3 級, 4 級, 5 級という 5 つの段階)に基づく。また、難易度を表す指標について、難度は(6-級数)という式で計算する。

RQ3(上位語)については、各学習段階の漢語(外来語)上位 20 語を抽出し、JNS との一致率を計算する。

RQ4(特徴語)については、各学習段階に特徴的に使用される漢語(外来語)を見るため、学習段階を第 1 アイテム(CLJ3 学期・CLJ4 学期・CLJ5 学期・JNS の 4 グループ)、使用した上位語を第 2 アイテム(漢語については上記の 4 グループの上位 50 語(テーマ語を除く)から重複を除いた 120 語、外来語については 4 グループの上位 20 語(テーマ語を除く)から重複を除いた 58 語)とする頻度表を作成してコレスポンデンス分析を行う。

RQ5(誤用)については、学習段階ごとに、(延べ漢語(外来語)誤用数/総漢語(外来語)数)*1000 という調整式により 1000 語あたりの誤用数を算出して比較する。なお、漢語と外来語の誤用を分類する際に、それぞれの分類の枠組みを決める必要がある。以下、本章における漢語と外来語の誤用分類枠組みを紹介する。

まず、漢語の誤用分類については、先行研究 5 種の枠組をふまえて筆者が独自に作成した 7 観点(15 小観点)分類(表 2)を使用する。

表 2 漢語の誤用分類の枠組み

誤用タイプ		先行研究における位置づけ				
		三喜田 (2000)	河住 (2005)	五味他 (2006)	陳 (2007)	島田 (2011)
非日漢語の使用(日本語に存在しない漢語の使用)			4 類			
字形の誤り					表 記 の 問 題	
読み方の誤り						
構造の誤り	①構成語素の数の異なりに起因する誤り	①構成語素の数の異なりによる誤り	1 類 E			
	②構成語素の配列順序の異なりによる誤り	③構成語素の配列順序の異なりによる誤り				
	③省略の間違い		1 類 E			
意味の誤り			2 類 BCD 3 類 A-2 3 類 B			

品詞の誤り	①サ変動詞と形状詞の混同		1 類 B	漢語の動詞性に関する誤用	サ変動詞の誤用・不自然な用法	
	②サ変動詞と名詞の混同					
	③形状詞と名詞の混同					
コロケーションの誤り	①「的」の有無		1 類 D		ナ形容詞に「的」を添加する誤用	
	②漢語名詞＋名詞		1 類 A			
	③漢語名詞＋動詞		3 類 A-1			
	④形状詞＋「ナ」と「ノ」の混同					「ナ」と「ノ」の使い分けに関わる誤用
	⑤「不」の有無		1 類 D			

また、外来語の誤用分類については、筆者の質的観察に基づき、まず、発音に関わる誤用について、誤用の発生する要素として母音・子音・長音・促音・撥音・濁音の 6 種類の音素タイプを区別する。また、これら 6 種類の音素に関して、具体的な誤用パターンを区分する。加えて、特定の音素と結び付けられない誤用として語彙選択の誤り、品詞の誤り、コロケーションの誤り、そして、その他という 4 つのカテゴリーを立てる。具体的には以下の表 3 のようになる。

表 3 外来語の誤用分類の枠組み

誤用タイプ		
発音の誤り	母音に関わる誤り	母音の混同
		母音の添加
		母音の脱落
	子音に関わる誤り	子音の混同
		清濁音の混同
		半濁音と濁音の混同
	長音の誤り	長音の添加
		長音の脱落
	促音の誤り	促音の添加

		促音の脱落
	撥音の誤り	撥音の脱落
	音素間の混同	長促音の混同
		長撥音の混同
	音節の誤り	音節の添加
		開音節化失敗による音節脱落
語彙選択の誤り		
品詞の誤り		
コロケーションの誤り		
その他		

本研究は、上記の誤用分類枠組みに基づき分析を行っていく。

なお、上記の分析を実施する場合、学習者個人の発達状況と、学習者集団の発達状況とは必ずしも一致しない。本研究は、特に学習時期による集団としての振る舞いの違いに焦点を当てるため、個々の学習者から得られた頻度を平均して議論を行った。

12.3 結果と考察

12.3.1 第1課題(漢語)

12.3.1.1 RQ1 使用量

まず、CLJの漢語使用量の段階的変化を見ていく。CLJの各学期の漢語使用トークンとタイプを調査したところ、以下のような図1と図2が得られた。

図1 学習段階別のCLJが使用した漢語のトークン

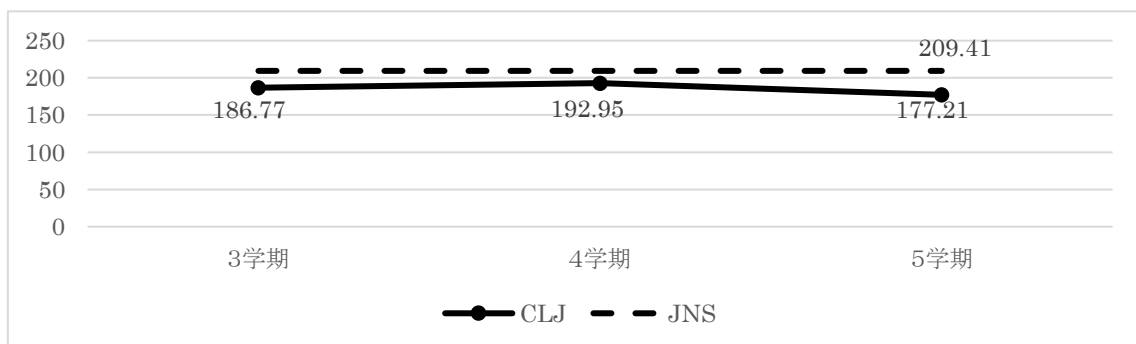


図 2 学習段階別 CLJ が使用した漢語のタイプ

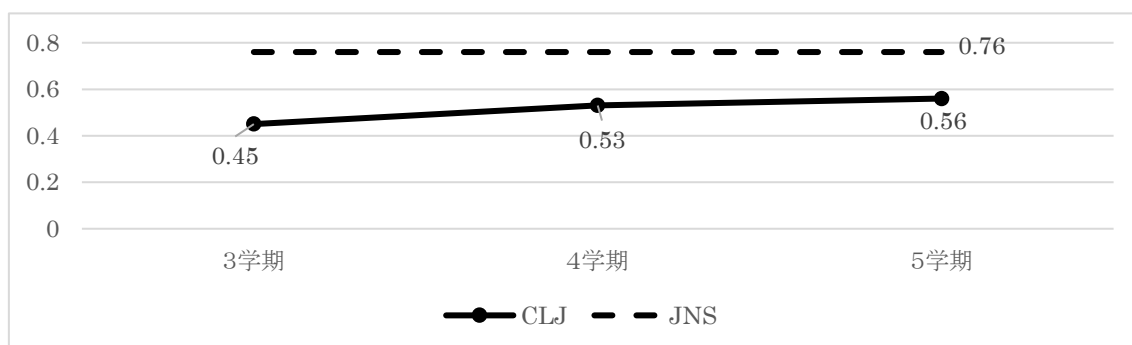


図 1 と図 2 より、トークンは学習段階が進んでも増加せず、JNS にも接近しないが、タイプは学習段階に沿って 3 学期間で 2 割以上増加し、JNS に接近することが確認された。もっとも、どちらの観点においても、CLJ の漢語使用量は JNS に比べると総じて不足しており、5 学期の段階でも、JNS と比べ、トークンは約 15.38%、タイプは約 26.32% 少ないことが明らかになった。仮説では、学習段階の進行につれてトークンとタイプとも増加すると予測されるが、トークンについては増加していないことが確認された。

胡(2012)は、CLJ の漢語使用率は 20.8%で、調査した 6 カ国の中で一番高く、JNS よりも多用すると述べたが、今回は異なる結果となった。これは 2 つの調査におけるデータや漢語の認定基準の違いの影響が考えられる。では、なぜ今回の調査において、CLJ が使用した漢語は JNS より少なかったのだろうか。実際のデータを観察したところ、胡(2012)が指摘したように、日本語がわからない時に CLJ が中国語の漢字や漢語(「非日漢語」)を使用する傾向は今回も認められた(例(1))。しかし、それらを除くと、全体的に漢語の使用度は低く、特に、文体やフォーマリティへの配慮が欠如しているため、本来は改まったニュアンスを持つ漢語を使うべきところで、くだけた和語を使う事例が散見された(例(2, 3)は CLJ の、例(4)は JNS の用例である)。

- (1) でも、失主(物事を失った人)に対して、私は責任がある事を忘れてしまいました。(作文番号: d0104(CLJ))
- (2) 赤信号の場合、車と人は止めなければならない。もし、とめらなったら、交通事故があるかねない。(作文番号: d0331(CLJ))
- (3) 赤信号がつける時、止まなかつたら、交通事故が起こりやすい。(作文番号: d0334(CLJ))
- (4) 信号無視といっても進行方向に交差する側の歩行者信号が赤になった途端に進行方向の歩行者信号も自動車用信号も赤なのに横断を始めていた…(OY03_08150(JNS))

上記に明らかなように、JNS は「自動車」・「歩行者」・「横断」などの漢語を使うことで、自身の主張にフォーマリティと客観性を持たせている。一方、CLJ 同様の内容に言及する際にも、「車」や「人」(例(2)),そして「止まらない」(例(3))のような和語を多用する。結果として、CLJ の作文は、フォーマリティが低く、主観的な印象を与えている。漢語の持つこうした文体やフォーマリティの表出機能に習熟することが CLJ にとっての課題の 1 つであると言えるだろう。

12.3.1.2 RQ2 語彙難度

以上 RQ1 では、(1)トークンは学習段階が進んでも増加せず、JNS にも接近しないが、タイプは 3 学期間で 2 割以上増加し、JNS に接近すること、(2)どちらの観点においても CLJ の漢語使用量は JNS に比べると総じて不足していること、が確認された。では、学習により CLJ が使用する漢語の語彙難度はどのように変化していくのであろうか。以下、CLJ が使用した漢語語彙難度の変化は図 3 のように示す。

図 3 学習段階別 CLJ が使用した漢語の語彙難度

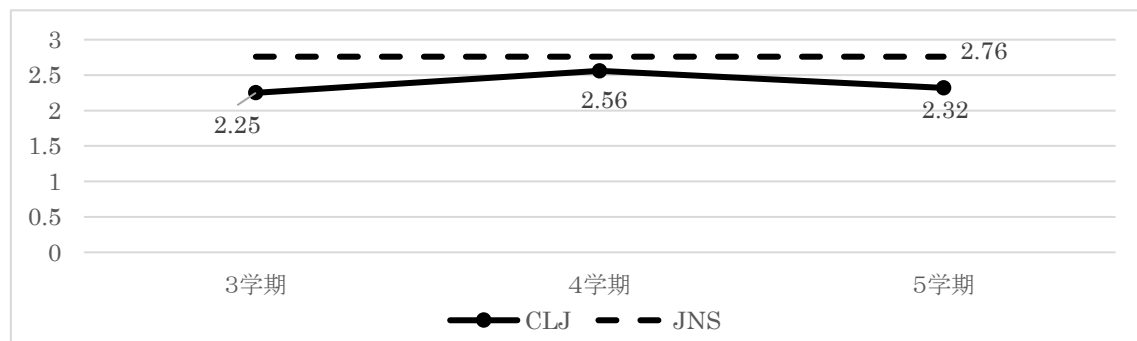


図 3 を見ると、4 学期から 5 学期にかけて若干減少しているように見えるが、全体として CLJ が使用する漢語の語彙難度は増えていることがわかった。なお、使用量と同じように、5 学期の段階でも、JNS と比べ 15.94% 少ないことが明らかになった。仮説では学習段階が進むにつれて使用する漢語の語彙難度が高くなると述べられたが、今回の結果は仮説を支持したと言える。

以下、具体的な用例を見ていこう。

(5) 大学(5 級)就職(3 級)難(2 級)という問題(5 級)は社会(4 級)の問題(5 級)になったと思う。

中国(1級)は人口(4級)が多いから、仕事を探すのはそんなに簡単(4級)ではない。そして、今の大学生(4級)は本当(5級)に能力(3級)があると言えるかどうか。たぶん(5級)成績(3級)はいいが、生活(4級)の上は上手(5級)であろう。大学(5級)を出ると、いい仕事ではない限り、その会社(5級)で働かない人もいるそうである。ところが、中国(1級)には人材(2級)がいっぱいいるから、競争(4級)は激しい。与えられたチャンスを失ったら、就職(3級)するのはもっと難しくなるに違いない。会社(5級)の面(3級)から考えてみると、大学生(4級)に対しての要求(3級)は高まる一方(3級)である。あくまでも大学(5級)を卒業(4級)したばかりの学生(5級)であるから、もっとやさしくなった方(5級)はよくないか。

仕事というものは人生(3級)に対して重要(3級)なものである。個人(3級)の生活(4級)を支えるためばかりか、精神(3級)を充実(2級)にするためでもある。大学生(4級)は自分(5級)の実力(3級)を高めなければならないとともに、会社(5級)や政府(3級)も努力(3級)すべきであると私は信じている。「大学就職難について」(作文番号:d0272(3学期))

- (6)「一衣帯水」(1級)、これは地理(4級)上(3級)での中国(5級)と日本(3級)との関係(4級)である。隣に住んでいる友達のように(4級)である。しかし、日本語(3級)を勉強(5級)する前に、日本(3級)に対してあまり知らなかった。日本(3級)の若者のみなさんもきっとそうであろう。中国(1級)に対しての印象(3級)は貧乏(2級)で、いつも戦争(4級)がある国ではないであろうか。普段(3級)は中国(5級)に関心(3級)を持っていないかも知れない。伝聞(1級)によって、判断(3級)ができるわけではない。

2008年(5級)の北京(1級)オリンピックをきっかけにして、中国(1級)に対しての態度(3級)が少し変わったであろう。中国(1級)は積極(3級)的(3級)で、楽観(2級)的(3級)に未来(3級)と勝利(2級)を信じる国だと思わないか。そして、中国人(1級)は平和(3級)を追求(1級)している国民(3級)だとは見えないか。確かに、環境(3級)問題(5級)、人口(4級)問題(5級)、政治(4級)問題(5級)などはまだひどいが、私たちが努力(3級)しているのを無視(3級)してはいけない。

今年の夏休みに、北海道大学(5級)のある先生(5級)と知り合った。先生(5級)の寛容(2級)的(3級)な態度(3級)に感動(3級)した。たぶん(5級)世界(4級)法律(4級)の研究(4級)をなさっているためであろう。先生(5級)は全(5級)世界(4級)の美しい未来(3級)を信じている方である。私もそう思う。更に、中国(5級)は世界(4級)を発展(3級)させるのに大変(5級)役立っている。昔はそうだったと同様(3級)に、今後(3級)もそうであるに違いない。

日本(3 級)と中国(5 級)との不愉快(1 級)な過去(3 級)は誰も変えられない事である。歴史(4 級)を拒否(2 級)すれば、前進(3 級)するのも難しい。しかし、今の時代(4 級)は「融合(1 級)時代(4 級)」だと思う。この時間(5 級)の流れを止めることができない。「未来の事」(作文番号:d0882(5 学期))

例(5)と例(6)に使用した漢語の語彙難度をまとめると、以下のような表 4 が得られた。

表 4 例(5)と例(6)に使用した漢語の語彙難度

例(5)		例(6)	
語彙難度	語数(比率)	語彙難度	語数(比率)
語彙難度 1 (旧日本語能力試験 5 級)	14 (32.56%)	語彙難度 1 (旧日本語能力試験 5 級)	17 (22.67%)
語彙難度 2 (旧日本語能力試験 4 級)	10 (23.26%)	語彙難度 2 (旧日本語能力試験 4 級)	14 (18.67%)
語彙難度 3 (旧日本語能力試験 2,3 級)	14 (32.56%)	語彙難度 3 (旧日本語能力試験 2,3 級)	29 (38.67%)
語彙難度 4 (旧日本語能力試験 1 級)	3 (6.98%)	語彙難度 4 (旧日本語能力試験 1 級)	5 (6.67%)
語彙難度 5 (旧日本語能力試験級外)	2 (4.65%)	語彙難度 5 (旧日本語能力試験級外)	10 (13.33%)

表 5 を見るとわかるように、3 学期と比べて、5 学期において使用した難度 1 の語彙は 30.37% 減少し、また、難度 5 の語彙は 186.67% 増加している。

12.3.1.3 RQ3 上位語

以上 RQ2 では、学習者期間が進めば CLJ が使用する漢語の語彙難度を増加していることが確認された。では、各学習段階が使用する上位語も変化しているのだろうか。以下、各学習段階の CLJ の上位漢語 20 語を表 5 のように示す。

表 5 各学習段階の CLJ と JNS の上位漢語 20 語

	上位語 20 語	一致率
CLJ (第 3 学期)	勉強, 自分, 様, 生活, 生, 本当, 毎日, 問題, 人間, 人, 一番, 世界, 人生, 学生, 沢山, 段々, 時間, 社会, 一緒, 発展	35%
CLJ (第 4 学期)	様, 生活, 自分, 問題, 人間, 人, 大, 一番, 一緒, 毎日, 社会, 世界, 発展, 本当, 健康, 大学, 政府, 環境, 生命, 大変	35%
CLJ (第 5 学期)	自分, 様, 人, 世界, 交流, 年, 愛, 友好, 語, 生, 関係, 人間, 文化, 本当, 理解, 歴史, 問題, 両国, 一番, 生活	35%
JNS	様, 自分, 方, 問題, 必要, 会, 気, 関係, 市, 社会, 僕, 以上, 事業, 世界, 人間, 生活, 法, 会社, 研究, 地域	

表 5 を見るとわかるように, 3 学期から 5 学期にかけて CLJ が使用する漢語の上位 20 語と JNS が使用するのとの一致率は変化しておらず, 35% に留まっていることがわかった。また, 具体的に使用する上位漢語もほとんど変化していないことが確認できた。

12.3.1.4 RQ4 特徴語

では, 各学習段階に CLJ が特徴的に使用する漢語はどのように変化しているのでしょうか。各学期の CLJ はどのような漢語を特徴的に使用しているかについてコレスポンデンス分析を行った結果, 以下の図 4 のような散布図が得られた。次元 1 と次元 2 の寄与率はそれぞれ 51.90% と 27.37% となり, 全体の約 79.28% が説明できる。

ここでは, (1) 書き手分類, (2) 漢語分類の 2 種に分けて結果を概観する。まず, (1) に関して, 次元 1 (横軸) を見ると, 左側に JNS が, 右側に CLJ がまとまって布置されていることから, 次元 1 は JNS と CLJ の区分軸になっていることがわかる。このことは, 漢語使用について JNS と CLJ の間に本質的な断絶が存在することを示す。学習の最終段階である 5 学期の学生であっても散布図上の配置は左側であって JNS の側には入っていない。また, 次元 2 (縦軸) を見ると, 学習段階の後期の学生が上部に, 初期の学生が下部に布置されていることから, 次元 2 は CLJ の習熟度の区分軸になっていることがわかる。3・4 学期が下部にかたまっていることから, CLJ の日本語漢語使用能力は線形的に上昇するのではなく, 4 学期が修了した段階で大きく伸びるものと推定される。

次に(2)に関して, 次元 1 の左側に存在する JNS ゾーンに注目すると, 単独では使用できず, 他の表現の一部として初めて意味機能を果たす語が多いことがわかった。たとえば, (a)「様」「気」

「別」「方」のような 1 文字語（用例：「気に入った」「気がする」／「別に」「別の～」／「～の様に」），
（b）「本当」や「以上」のような副詞的用語，（c）「市」や「県」のように接尾辞として使用する語などで
ある。これらは，一般的な漢語として想起される 2 文字熟語とは異なり，こうした特殊な漢語の使用
が母語話者らしさを形作っていることが明らかになった。一方，次元 1 の右側に属する CLJ ゾーン
を見ると，3 学期・4 学期学生の使用する「時間」「学生」「生活」や，5 学期学生の使用する「友好」
「未来」「交流」など，2 文字熟語が大半であった。次元 2 上の差については 3 学期と 4 学期では
学生生活や家族など，5 学期では日中両国の関係や文化交流などに関わる語彙が多く，テーマに
基づいた語彙の内容変化はみられるものの，漢語そのものの言語的性質が JNS に接近している
ことは確認できなかった。ただし，性質的には同様であっても，次元 2 の上下で，使用する語のレ
ベルが異なっている可能性はある。

図 4 各学習段階にある CLJ の漢語使用の特徴語

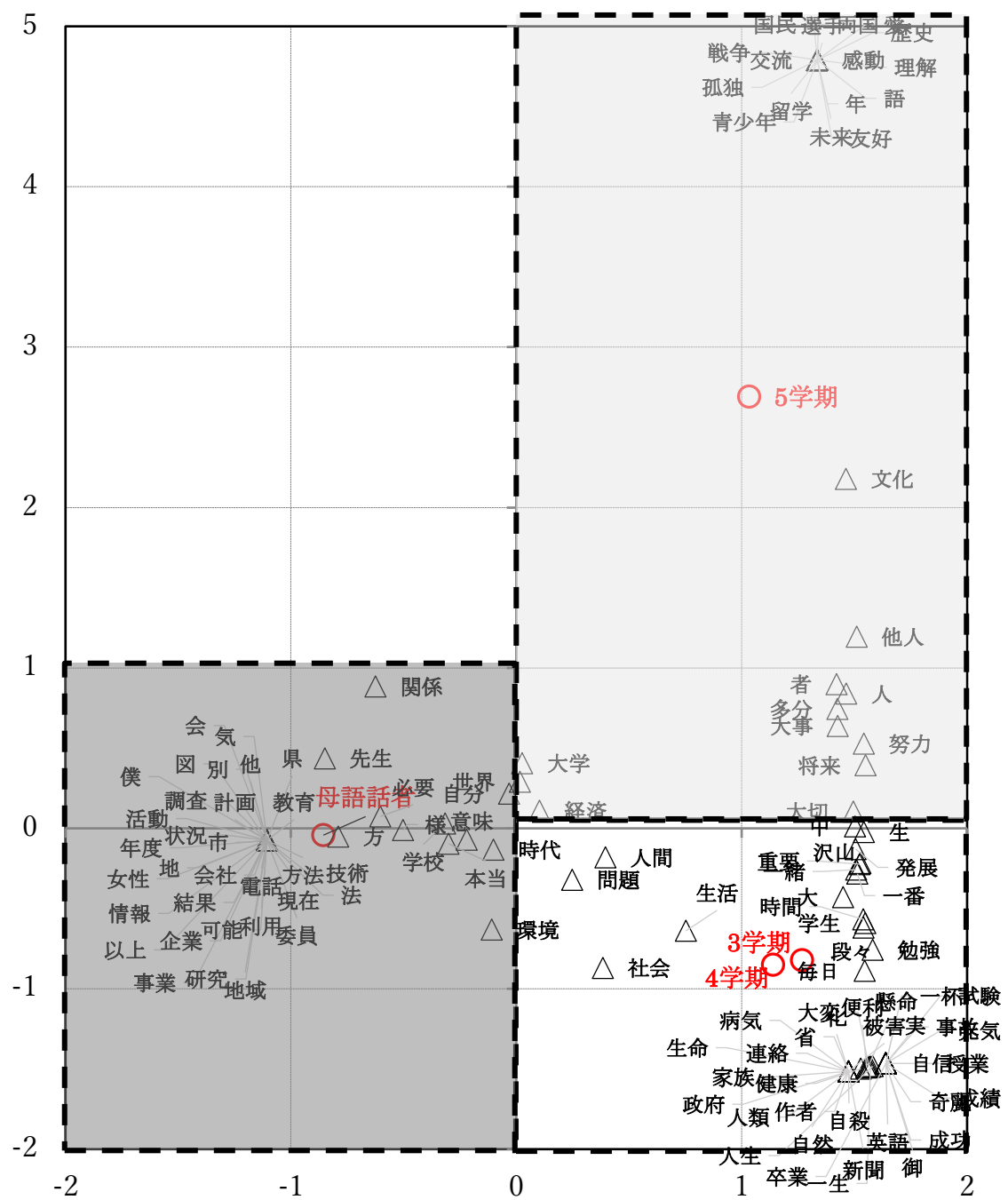


表 6 各ゾーンに属する漢語の語彙レベル

語彙レベル	3・4 学期	5 学期	JNS
5 級	40%	24%	21%
3 級・4 級	60%	69%	74%
1 級・2 級	0%	7%	5%

表 6 からわかるように、3～4 学期と比べると、5 学期では初級(5 級)語彙(例:勉強・毎日・元気など)の比率が 16%減少し、代わりに上級語彙(1・2 級)の比率が 7%上昇しており、JNS の比率に大きく近づいている。このことから、3～4 学期と 5 学期の間では、内容を除けば使用する漢語の言語的な性質は変化しないものの、語彙レベルについては一定の上昇が起こっていることが示された。ただし、このことは漢語使用能力に限った上昇というより、学習段階が進んだことによる日本語能力・日本語の語彙使用能力の全般的上昇を反映した結果にすぎないという可能性も残る。

12.3.1.5 RQ5 誤用

以上 RQ3 と RQ4 においては、上位語と特徴語という 2 つの観点から各学習段階にある CLJ の漢語使用を観察した。RQ3 では、3 学期から 5 学期にかけて CLJ が使用する漢語の上位 20 語と JNS が使用するのとの一致率は変化しておらず、35%に留まっていること、また、具体的に使用する上位漢語もほとんど変化していないことが確認された。RQ4 では、学習段階が進むにつれて、CLJ が使用される語彙の難度が増加するものの、母語話者の漢語使用に接近していないこと、が確認された。

以下 RQ5 においては、CLJ の作文における誤用について考察していく。CLJ の作文における誤用数の変化を調査したところ、以下の図 6 が得られた。なお、本節で示された誤用数は 1000 漢語あたりに調整した数値である。

図 5 漢語誤用数の使用状況変化

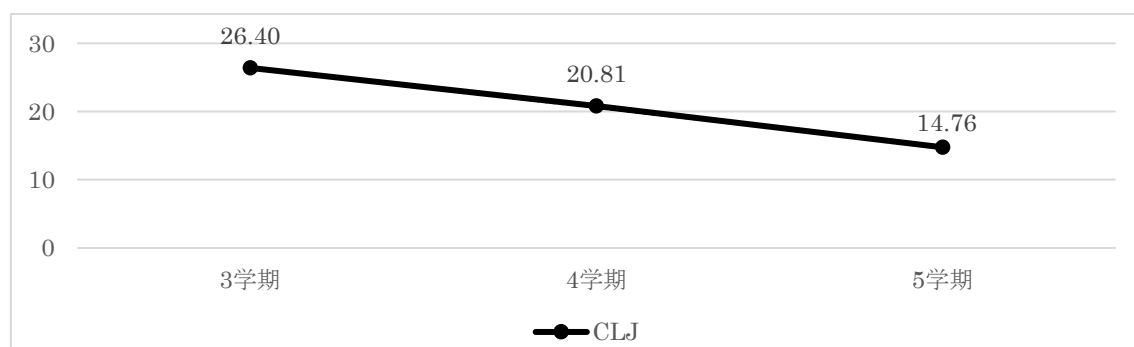


図 5 を見ると、CLJ の誤用数は 3 学期から 5 学期にかけて 44.46%を減少し、一貫して減少した傾向を示したことが確認された。この点については仮説通りであったと考えられる。

次に、学習段階が進むにつれて誤用パターンがどのように変化するかについて見ていく。各学期における誤用パターンの順位を並べ替えると表 7 のようになる。

表 7 各学期における漢語誤用パターンの順位

	3 学期	誤用数 (比率)	4 学期	誤用数 (比率)	5 学期	誤用数 (比率)
1	意味の誤り	10.82 語 (39%)	字形の誤り	8.75 語 (42%)	意味の誤り	5.20 語 (36%)
2	字形の誤り	6.86 語 (26%)	意味の誤り	4.41 語 (21%)	字形の誤り	4.84 語 (33%)
3	非日漢語の使用	3.33 語 (13%)	非日漢語の使用	2.92 語 (14%)	コロケーションの 誤り	1.94 語 (13%)
4	コロケーションの 誤り	2.70 語 (10%)	コロケーションの 誤り	2.24 語 (11%)	非日漢語の使用	1.45 語 (10%)
5	品詞の誤り	1.87 語 (7%)	品詞の誤り	1.83 語 (9%)	構造の誤り	0.85 語 (6%)
6	構造の誤り	0.97 語 (4%)	構造の誤り	0.34 語 (3%)	品詞の誤り	0.48 語 (3%)
7	読み方の誤り	0.35 語 (1%)	読み方の誤り	0.14 語 (1%)	読み方の誤り	0 語 (0%)

表 7 を見ると、「意味の誤り」・「字形の誤り」という 2 つの誤用パターンは 3 学期間ともに上位 2 位となり、多用される誤用パターンはあまり変化していないことがわかった。具体的な誤用パターン(小分類)の変化とそれぞれ誤用例は表 8 のようになる。

表 8 各学期における誤用パターン(小分類)の順位

誤用タイプ		誤用例	1000 漢語あたり誤用数 (誤用率)		
			3S	4S	5S
非日漢語の使用		中学(正:中学校)	3.33 語 (13%)	2.92 語 (14%)	1.45 語 (10%)
字形の誤り		専門(正:専門)	6.86 語 (26%)	8.75 語 (42%)	4.84 語 (33%)
読み方の誤り		せったい (正:ぜったい)	0.35 語 (1%)	0.14 語 (1%)	0 語 (0%)
構造の 誤り	①構成語素の数の異なりに 起因する誤り	毒物質(正:有毒物質)	0.76 語 (3%)	0.34 語 (2%)	0.24 語 (2%)

	②構成語素の配列順序の異なりによる誤り	和平(正:平和)	0 語 (0%)	0.20 語 (1%)	0.60 語 (4%)
	③省略の間違い	高学(正:高校)	0.21 語 (1%)	0 語 (0%)	0 語 (0%)
意味の誤り		模様(正:外見)	10.32 語 (39%)	4.41 語 (21%)	5.32 語 (36%)
品詞の誤り	①サ変動詞と形状詞の混同	統一で (正:統一されて)	0.97 語 (4%)	1.15 語 (6%)	0.36 語 (2%)
	②サ変動詞と名詞の混同	勉強の生活 (正:勉強する生活)	0.83 語 (3%)	0.54 語 (3%)	0.12 語 (1%)
	③形状詞と名詞の混同	期待的な一年 (正:期待が集まる一年)	0.07 語 (0%)	0.14 語 (1%)	0 語 (0%)
コロケーションの誤り	①「的」の有無	消極になった (正:消極的になった)	0.69 語 (3%)	0.41 語 (2%)	0.97 語 (7%)
	②漢語名詞＋名詞	公衆交通 (正:公共交通)	1.52 語 (6%)	1.02 語 (5%)	0.60 語 (4%)
	③漢語名詞＋動詞	文句をする (正:文句を言う)	0.35 語 (1%)	0.27 語 (1%)	0 語 (0%)
	④「ナ」と「ノ」の混同	本当な(正:本当の)	0.14 語 (1%)	0.54 語 (3%)	0.12 語 (1%)
	⑤「不」の有無	不理性 (正:理性がない)	0 語 (0%)	0 語 (0%)	0.24 語 (2%)

以下、上位 3 種の誤用パターン(「意味の誤り」・「字形の誤り」・「非日漢語の使用」)に絞って具体的に見ていきたい。

まず、「意味の誤り」パターンについて、学習段階が進むにつれて、1000 漢語あたり誤用数は減少しているが、全体の誤用に占める誤用率は 3%しか減少していない。特に、3 つの学期ともに犯している誤用は「感心」と「信心」の 2 語があり、また、2 つの学期ともに犯している誤用は「関心」「圧力」「原因」「需要」の 4 語があり、明示的な指導がない限り、誤用は簡易に直らない可能性があることが示された。以下、2 つ以上の学期ともに犯している誤用について見ていく。

表 9 「意味の誤り」という誤用パターンにおける誤用例

漢語	学期	学習者の ID	誤用例	正用
感心	3 学期	d10	(1) たった簡単な言葉だけど、私はとても感心していた。(d0046)	感動
			(2) 人々はもつと感心や関注を交通や自転車や環境の関係にされてきた。(d0145)	感動
			(3) 仮に私は今四年生だったら、私にとって最も感心し、困り、難しいものとは就職面接に対しなければなりません。(d0277)	苦心
	4 学期	d27	お互いに助け合うクラスメートのことを感心に思っている。(d0843)	大切
	5 学期	d12	特に日本の伝統的な行事、生け花、茶道などに感心している。(d0889)	関心
信心	3 学期	d10	最初、信心がなかった、とてもとても困りました。(d0013)	自信
	4 学期	d13,d32	すると人々は政府に信心がしなわれない。(d0470)	信頼
	5 学期	d6	五輪大会の試合を通じて、努力と信心は、どちらの方がないと、成功ができないと分かった。(d0946)	信念
原因	3 学期	d10,d19 ,d26	「三国時代」というコンピュータゲームの原因で、日本についてのことよく調べました。(d0022)	きっかけ
			特に日本の文化に興味がたくさんありました。その原因の一つは日本の古い習慣です。(d0029)	理由
	5 学期	d6,d33	その原因と言えば、ピンポンのテクニックがいいだけではなくて、中日関係のかけ橋としての原因も重要だ。(d0877)	理由
関心	3 学期	d3	平日、X 先生は私に対して関心を持った。(d0169)	世話
	4 学期	d10	今度、北京でオリンピックが行われるので、世界中、中国はせっかくなぶしいほどの関心を受けさせた。(d0639)	注目
需要	3 学期	d9,d15	実は生活の中で友達と親とほかの人とも信頼が必要で。(d0110)	必要
	4 学期	d6	何か助けたい、需要があったら、四川省汶川県へ行きたい。(d0667)	必要
	5 学期	d13	だから、インターネット世界の中でたくさん問題がまだ解決しないから、マナが必要とする。(d0922)	重要
圧力	3 学期	d28	子供時代は人生の一番幸せな時だと思われる。なぜか。悩みとか圧力とかないんだから。(d0189)	プレッシャー
	4 学期	d7,d21	人々は目先の利益に取られて、もともと脆弱な環境に圧力を与えて、環境と利益の悪循環になってしまった。(d0730)	負荷
			そして、彼氏にふられ、大変圧力が身につけられそうだ。(d0564)	ストレス

表 9 を見ると、CLJ がこのタイプの誤用をした原因は以下の 2 点が挙げられる。

1 点目は、中国語における同形語の意味をそのまま理解してしまうということである。すでに述べたように、漢語の対応関係に基づき、漢語を同形同義語(S)、同形異義語(D)、同形だが中日語間で意味にかさなりとずれがある語(O)などに分類することができるが、そのうち、特に D 語と O 語について学習者が誤用しやすい。

まず、D 語について、たとえば「信心」という漢語は、日本語において「加護を願って、神仏を信ずること。また、神仏を信ずる心」という意味であるが、中国語においては「希望・予想が必ず実現すると信じる。自信、信念、確信」という意味である。CLJ は中国語における意味をそのまま理解してしまうと、「政府に信心がない」や「努力と信心がないと、成功できない」などのような誤用が犯してしまうと考えられる。

また、O 語について、たとえば、「圧力」という語は日本語において、(1)物理的な「押さえつける力」と、(2)「他人を自己の意志に従わせようとする強い働きかけ」という 2 つの意味を持っているが、中国語においては上記以外に(3)「負担・重荷」という意味を持っている。CLJ は中国語しか存在しない(3)の意味を日本語に転移すると、「環境に圧力を与える」というような誤用を犯してしまうと考えられる。

2 点目は、読み方が同じである語と混同してしまうことである。たとえば、「関心」と「感心」はともに「かんしん」と読むため、学習者はこの 2 語を混同してしまい、「人々はもっと感心や関注を交通や自転車や環境の関係にされてきた」というような誤用を犯してしまうと考えられる。

次に、「字形の誤り」パターンについて、3 学期から 4 学期にかけて 1000 漢語あたり誤用数は増加しているが、4 学期から 5 学期にかけて減少している。なお、減少の比率は 29.45%に留まり、また、誤用全体に占める誤用率はむしろ増加している傾向にある。特に、3 つの学期ともに見られた誤用が 3 語(連絡・効率・関係)あり、また、2 つの学期に見られた誤用が 19 語(人類・評価・感動など)あった。すなわち、学習段階が進むにつれて、CLJ は「字形の誤り」パターンの誤用に対する改善が必ずしも多くないと言える。以下について見ていく。

表 10 「字形の誤り」という誤用パターンにおける誤用例

漢語	学期	学習者の ID	誤用	漢語	学期	学習者の ID	誤用
連絡	3 学期	d3	联络	想像	3 学期	d4	想象
	4 学期	d1,d4,d7,d33	联络 連絡		4 学期	d18,d32	想象

	5 学期	d20	联络		3 学期	d21	感动
	3 学期	d6	效率	感動	4 学期	d24,d28	感动
効率	4 学期	d9,d14,d28,d32	效率		3 学期	d3,d8	发展
	5 学期	d12	效率	発展	4 学期	d18	发展
	3 学期	d9	关系		3 学期	d33	噪音
関係	4 学期	d4	关系	騒音	4 学期	d2	騒音
	5 学期	d13	关系		3 学期	d7	順条
	3 学期	d11	一所	順調	4 学期	d7	順条
一生	5 学期	d24	一所		3 学期	d9	復雜
	4 学期	d2,d5,d26	人类	複雑	4 学期	d16	复杂
人類	5 学期	d24	人类		3 学期	d15	活动
	4 学期	d3	韩国	活動	4 学期	d21	活动
韓国	5 学期	d31	韩国		3 学期	d20	準備
	4 学期	d9	评价	準備	4 学期	d13	準備
評価	5 学期	d3,d13	评价		3 学期	d7	成績
	4 学期	d4	神秘	成績	4 学期	d31	成績
神秘	5 学期	d6	神秘		3 学期	d9	综合
	4 学期	d17	先进	総合	4 学期	d23	综合
先進	5 学期	d24	先进		3 学期	d9	素质
	3 学期	d20	个人	素質	4 学期	d5	素质
個人	4 学期	d16,d20	个人	物質	3 学期	d8	物质
					4 学期	d3	物质

表 10 からわかることは以下の 2 点がある。

1 点目は、2 学期にわたって同じ誤用を犯した学習者が見られたことである。たとえば、学習番号 d20 番の学習者は 3 学期と 4 学期ともに「個人」を「个人」のように誤用し、また、学習番号 d7 番の学習者も 3 学期と 4 学期ともに「順調」を「順条」のように誤用した。この点については、学習の進むにつれて誤用が化石化してしまい、簡易に直らない可能性があることが示された

2 点目は、これらの誤用を観察した結果、誤用の原因は以下の 2 つが考えられることである。まず、中国語の漢字をそのまま使用したことである。たとえば、日本語の「連絡」と対応する中国語の「联络」の漢字をそのまま使用すると、「联络」や「連絡」のような誤用を犯してしまう。次に、日本語の漢字と中国語の漢字を混同してしまうことである。たとえば、日本語の「練」と中国語の「练」を混同し、「」のような誤用を犯したと考えられる。

最後に、「非日漢語の使用」について、3つの学期におけるCLJの非日漢語の使用数はそれぞれ3.33語・2.92語・1.45語となり、3学期間において安定して減少したことが確認された。また、3つの学期ともに見られた誤用が1語(高中)あり、また、2つの学期ともに見られた誤用が5語(严峻・初中など)あった。以下、それらの語の誤用例を見ていく。

表 11 「非日漢語の使用」という誤用パターンの誤用例

漢語	学期	学習者の ID	誤用例	正用
高中	3 学期	d14,d16,d18	高中一年生の時、初めてこの言葉を見ると、すぐ好きになりました。(d0052)	高校
	4 学期	d7,d8,d20	高中生活について相談した時みんな泣いた。(d0408)	
	5 学期	d7,d33	それは高中一年生の時のことだった、夏休みお婆さんの家へ行って来ました。(d0947)	
严峻	3 学期	d9	大学就職難は今現在社会で存在している一つの严峻な問題である。(d0276)	厳しい
	5 学期	d10	でも、それに従って、いろんな严峻な問題日々に出ってくる。(d0919)	深刻
貧窮	3 学期	d14	今は貧窮でも、病気になるでも、生きてると、変わる可能性があります。(d0380)	貧乏
	5 学期	d21	貧窮人にとって、食べ物は何よりも大切な物だと思う。(d0960)	
初中	3 学期	d18	初中生の時、先生のテキストの解説は参考書と同じではなかった。(d0252)	中学校
	4 学期	d4	そして私のことよりも初中校の時の連絡ができな い友達のことをもっとうろこうとしていた。(d0404)	
放学	3 学期	d19	放学后、孫さんは学生たちと一緒に運動をしたり、インタニットでチャットをしたりする。(d0187)	放課
	4 学期	d26	放学后すぐ電車で天津に行った。(d0426)	
優點	3 学期	d31	自分の国の実力を発展させるために、日本の優點を勉強する、私は日本へ行く時を待ち望む。(d0003)	優れた点
	4 学期	d3	携帯はいろいろな優點があるの反面、欠点もあるものである。(d0755)	

では、CLJ がどのような非日漢語を多用するのであろうか。表 11 を質的に観察した結果、以下の 2 点の特徴が挙げられる。

1 点目は、使用される漢字は日本語に存在し、かつ、それらの漢字は中国語と似ている意味を持つことである。というのも、これらの非日漢語について学習者は間違っ日本語にも存在しているように思いがちからである。たとえば、3 つの学期ともに使用された「高中」(中国語では「高等中学」の略)について、「高」と「中」という 2 文字は日本語においても存在しており、また、「高」は中国語の「高等」と同じ意味を持つ日本語の「高等」の一部と、「中」は中国語の「中学」と似ている意味を持つ日本語の「中学校」の一部となっている。また、「優点」について言えば、「優」(「优」の繁体字)と「点」の 2 文字ともに日本語において存在し、また、「優」は「優れる」、「点」は「特に注目すべき箇所、ところ」の意味を持ち、中国語における「优点」の意味と同じである。

2 点目は、表現しようとする語彙が日本語において漢語ではなく、他の語種で表現すべくということである。たとえば、3 学期と 5 学期ともに使用された「严峻」について言えば、日本語において漢語ではなく、和語の「厳しい」を使用しなければならない。

以上、第 1 課題においては、学習段階の進行に伴う CLJ の作文における漢語使用の変化について見てきた。その結果、学習段階が進むにつれて、(1)使用量について、トークンは明確に上昇していないが、タイプは 22.70%増加し、JNS に接近すること、(2)語彙難度について、CLJ が使用する漢語の語彙難度は若干増加していること、(3)上位語について、CLJ が使用する漢語の上位 20 語と JNS が使用するのとの一致率は変化しておらず、35%に留まっていること、(4)特徴語について、特徴的に使用する漢語の語彙レベルは増加しているが、JNS への接近が示されていないこと、(5)誤用について、誤用数は一貫して減少したが、多用される誤用パターンはあまり変化していないこと、などが確認された。

以下第 2 課題においては、CLJ の作文における外来語使用の変化について見ていく。

12.3.2 第 2 課題(外来語)

12.3.2.1 RQ1 使用量

まず、使用量について、CLJ が使用した外来語のトークンとタイプは以下の図 6 と図 7 のようになる。

図 6 学習段階別の CLJ が使用した外来語のトークン

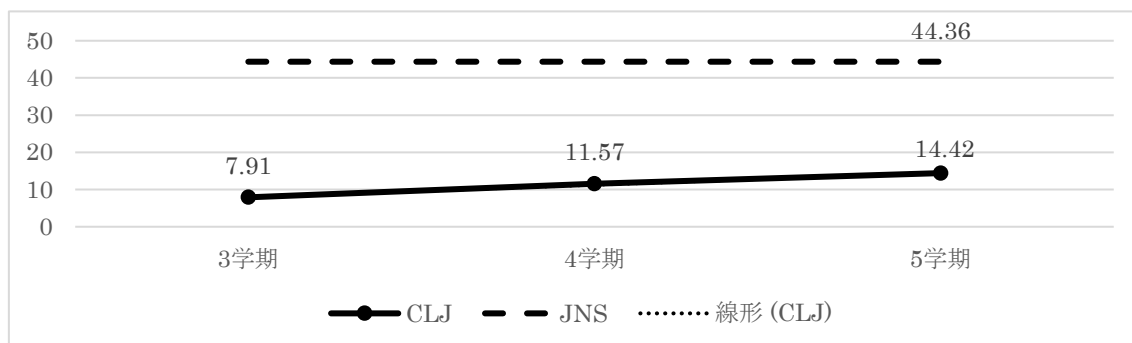


図 7 学習段階別の CLJ が使用した外来語のタイプ

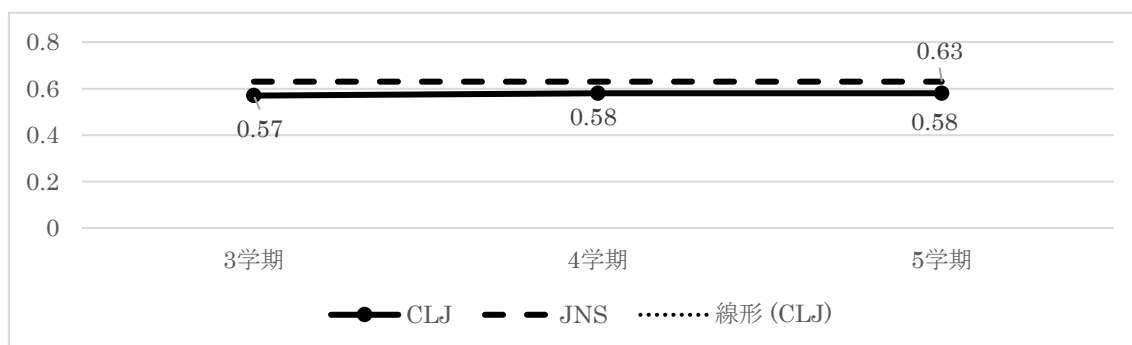


図 6 を見ると、トークンについては、3 学期より 5 学期のほうは 82.30%増加し、一貫した上昇傾向が示された。ただし、トークンが一番高い 5 学期でも JNS と比べて 3 分の 1 しか占めておらず、遥かに少ないことがわかった。また、タイプについては増加が少なく、3 学期にかけて安定していることがわかった。以下は、CLJ が書いた文章と似ているテーマで JNS が書いた文章の例である。

- (7)「冬休み」:二月十七日の朝八時ごろ私はいい友達××さんの家に行った。ちょっと休みの後一緒に阜新市に行った。だって、その日高校時代の友達の同窓会があった。みんなにもう一年半ぐらい会えなかったので胸がドキドキしまった。そして、とっても楽しかった。朝ご飯を食べなかったから私たち二人でまず飲食店を捜してご飯を食べた。市の街心公園に毛主席の銅像がある。ご飯を食べた後私たちはそこでみんなが待っていた。十一時ごろ、みんな来た。××さん以前よりもっときれいになった。××さんは成熟になった。みんな変わった。私たちまず一緒に歩行街に行った。そこにいろいろな商店がある。多くきれいな物が買える。多くおいしい食べ物が食べられる。とてもいい所だ。三時ごろみんな一緒に食事をした。食事の時みんな一緒にしゃべったり歌ったりした。高中生活について相談した時みんな泣い

た。その時のことが懐しかった。その日みんな多くビールを飲んだ。ある人酒に酔った。食事の後私たちは KTV へ行った。夜遅くまで歌を歌った。ずいぶん楽しかった。その日はもうきれいな思いでになった。私はいつまでもその日を忘れない。(作文番号:d0408(CLJ・4 学期))(外来語トークン:1 語, タイプ:1 種)

- (8)「冬休み」:今日は家で長男と二人でのんびりしてます。長男は冬休みの宿題とTVゲーム。私は相変わらず家事で忙しい～～(>__<)さきほども十二時過ぎに長男がお腹が空いたと言うのでお昼を準備をしようとリビングへ行って、『平日だし、久しぶりに笑っていいともでもみるか』と思ってテレビをつけたところ、ちょうどテレフォンショッキングのコーナーが始まり、ゲストの紹介を何気なく見ていると…『高橋尚子さんで～～す!』と言うタモリさんの声!『え～～!』と思った私は長男の昼食の準備もそっちのけでテレビにかじりついてました(長男ゴメン!)いや～～、タイミング良かったですねえ～～♡先日のスマスマ同様、朝練で五十km走るとい話から入りましたが、何度聞いてもQちゃんから直接聞くといいわあ～～でも、午後練は二十km程度だそうで、常識的には朝練が短めで本練習の午後練が長い距離を走るイメージがあったのでなんか不思議～～?引退した今は一日十二～3km程度だそうで、私と同じだ!(笑)先日のホノルルマラソンのときも応援に行ってたんですね!スタートの号砲を聞いて思わず着替えてホテルを飛び出して伴走してしまったというのもQちゃんらしいです♪(BCCWJ・JNS)(外来語トークン:12 語, タイプ:11 種)

- (9)「マナー」:21 世紀に入る以来、人間社会は高速的な情報化の社会になっていくとされている。現在は通信の技術がきわめて発達し、情報の伝わるスピードが早し、情報の量が随分多い。そうすると、人々間のコミュニケーションがだんだん便利になってくる。しかし、わずかの問題がその状況に伴って出てきてしまった。一つ明らかな問題はマナーについてことを大切にしないということである。例えば、普段手紙でよく使う警護というような言葉は今や携帯のメールであまり使わない。特に年上の人に対してこのふうなマナーは絶対だめだと思う。我が若者にとって礼儀を知らなくてははいけない。悪いマナーをする原因は多分人々間の接触が直接ではないし、目の前で話せない言葉が他の手段で話せるようになったということだ。また、人々は多分警護というような言葉、或いは正式的な行為などに対して、ある面倒臭い、煩瑣などという感じが出てしまった。実はそのすうな考えが不正確だ。いい習慣いい伝統的な行為に対して、私たちはずっと堅持すべきだ。こういう原則を必ず守らなければならない。(作文番号:d0911(CLJ・5 学期))(外来語トークン:5 語, タイプ:3 種)

- (10)「マナー」:やっぱり、それって、<言わなきゃわかんないヤツ>が増えたってことなのか

な？どうも、このコラムによると、それだけではないらしい。そもそも日本人って、マナー違反だと思われることがあっても、その場ではっきりと注意する、ってことが少ない。「空気読めよ～」って感じで、白い視線を送るパターンが圧倒的。それに最近だと、逆ギレされて、大きなトラブルになりかねないのを懸念して、あえて言わないっていうのもある。その裏で、この不満をその施設や運営会社に、苦情として持ち込む。で、持ち込まれた側としては、苦情に対応している証として、貼り紙やアナウンスをする。その結果が、「そんなことまで・・・」ってことに繋がっているらしい。なるほどね・・・しかし、こんな貼り紙やアナウンスが増えると、鬱陶しいを通り越して、イライラするように思う。このコラムにも、マナーへの注意喚起の方法を、見直す動きがあることが書かれていた。それにしても・・・常識っていうのは、時代や地域によって、多少違うものだと思う。しかし、マナーっていうのは、そんなに変わらないんじゃないかな。(BCCWJ・JNS) (外来語トークン:9 語, タイプ:5 種)

例(7)～例(10)より、CLJ は JNS よりかなり少ない外来語を使用していることがわかった。また、例(9)を見るとわかるように、5 学期になると外来語の使用が一見多くなるように見えるが、具体的に使用した外来語を見ると、テーマ語の繰り返し使用が多く見られた。すなわち、学習段階が進むにつれて、外来語使用が不足している問題は必ずしも改善したとは言えない。

すでに 12.3.2.1 において、中国語においては視覚的にはっきり認められる外来語が存在しないため、CLJ は外来語に対するなじみが薄く、きわめて少なく使用していると述べたが、今回の縦断調査の結果も同じ傾向を示し、CLJ に対する外来語指導の重要性が再示唆されたと言えるであろう。

12.3.2.2 RQ2 語彙難度

以上 RQ1 では、学習段階の進行に伴う CLJ の外来語使用量の変化について確認してきた。その結果、トークンは増加しているが、タイプは安定していることが確認された。以下、CLJ が使用した外来語の語彙難度はどのように変化するかを見ていく。

図 8 学習段階別 CLJ が使用した外来語の語彙難度

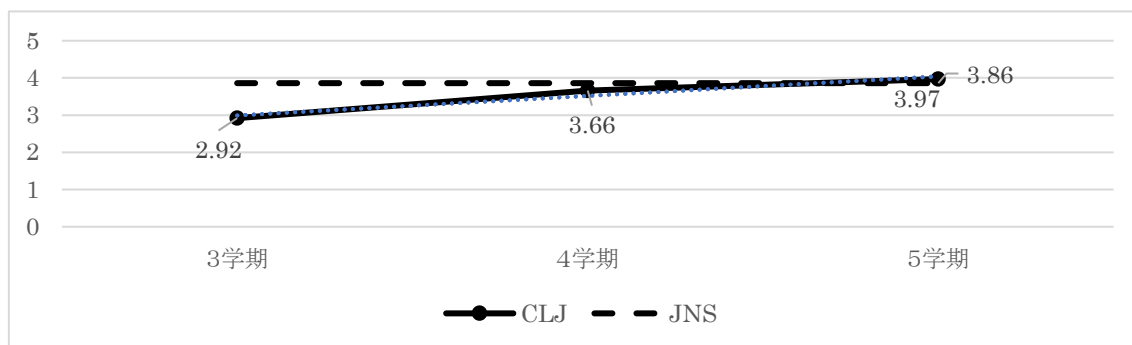


図 8 を見ると、学習段階が進むにつれて CLJ が使用する外来語の語彙難度は一貫した上昇トレンドを示したことがわかった。また、5 学期になると CLJ が使用する外来語の語彙難度は JNS を上回ることも確認された。この点については仮説を支持したと言える。

12.3.2.3 RQ3 上位語

以上 RQ2 においては、学習段階が進むにつれて CLJ が使用する外来語の語彙難度が増加し、5 学期になると JNS より上回ることが確認された。では、CLJ が使用した外来語は本当に問題がないのであろうか。以下、上位語(RQ3)と特徴語(RQ4)という 2 つの観点からこの問題について考察していきたい。

まず、CLJ が使用した外来語の上位語はどのように変化するかを見ていく。以下の表 12 で示したのは、各学習段階の CLJ と JNS の上位外来語 20 語である。

表 12 各学習段階の CLJ と JNS の上位外来語 20 語

	上位語 20 語	一致率
CLJ (第 3 学期)	クラス, チャンス, ルール, <u>テレビ</u> , <u>ドラマ</u> , アニメ, <u>バス</u> , スポーツ, スピード, ニュース, ラッシュ, コントロール, レベル, イメージ, <u>メール</u> , アワー, パーティー, ガス, カー, ボランティア, マイ, アニメーション, ママ	20%
CLJ (第 4 学期)	クラス, ストレス, ニュース, <u>テレビ</u> , <u>メール</u> , ギョーザ, リラックス, チャンス, バランス, メンタル, スピード, レベル, パーティー, ベッド, <u>バス</u> , リレー, <u>パーセント</u> , ヘルス, コンピューター, ガス	20%
CLJ (第 5 学期)	<u>ネット</u> , インターネット, <u>パーセント</u> , <u>テレビ</u> , ブログ, マスコミ, <u>メール</u> , ネット, チャンス, フォーラム, プライバシー, スピード, スポーツ, アニメ, イメージ, チャット, コンピューター, <u>ゲーム</u> , メダル, <u>ドラマ</u> , レベル, ルール,	20%

	ミルク, ピンポン, テーマ	
JNS	パーセント, クリック, アップ, ファン, テレビ, メートル, メール, コメント, パン, チーム, バス, ドラマ, ネット, ホーム, サイト, ゲーム, キロ, ランキング, ライブ, ページ	

表 12 を見ると, CLJ が使用した外来語と JNS のとの一致率は 3 学期にわたって 20%に留まっていることがわかった。CLJ は 3 学期において, 「クラス」や「テレビ」, または「バス」など日常生活と関係する簡単な具体名詞を多く使用したことがわかった。そして, 4 学期になると, 「クラス」や「テレビ」など日常生活に関わる具体名詞の多用は 3 学期と同程度であるが, 「メンタル」や「ストレス」などのような抽象的概念を表す外来語も使用できるようになった。最後に, 5 学期になると, CLJ は「ネチケツ」や「プライバシー」などのような抽象的概念を多用するほか, 母語話者の上位語に多く出現する「パーセント」などの助数詞も多用するようになった。なお, JNS の上位語を観察すると, 「パーセント」や「メートル」などの助数詞と, 「クリック」や「アップ」などの動詞性概念が多用することがわかり, 5 学期になっても CLJ が使用する上位外来語と JNS との間にはまだ距離があることが確認された。

12.3.2.4 RQ4 特徴語

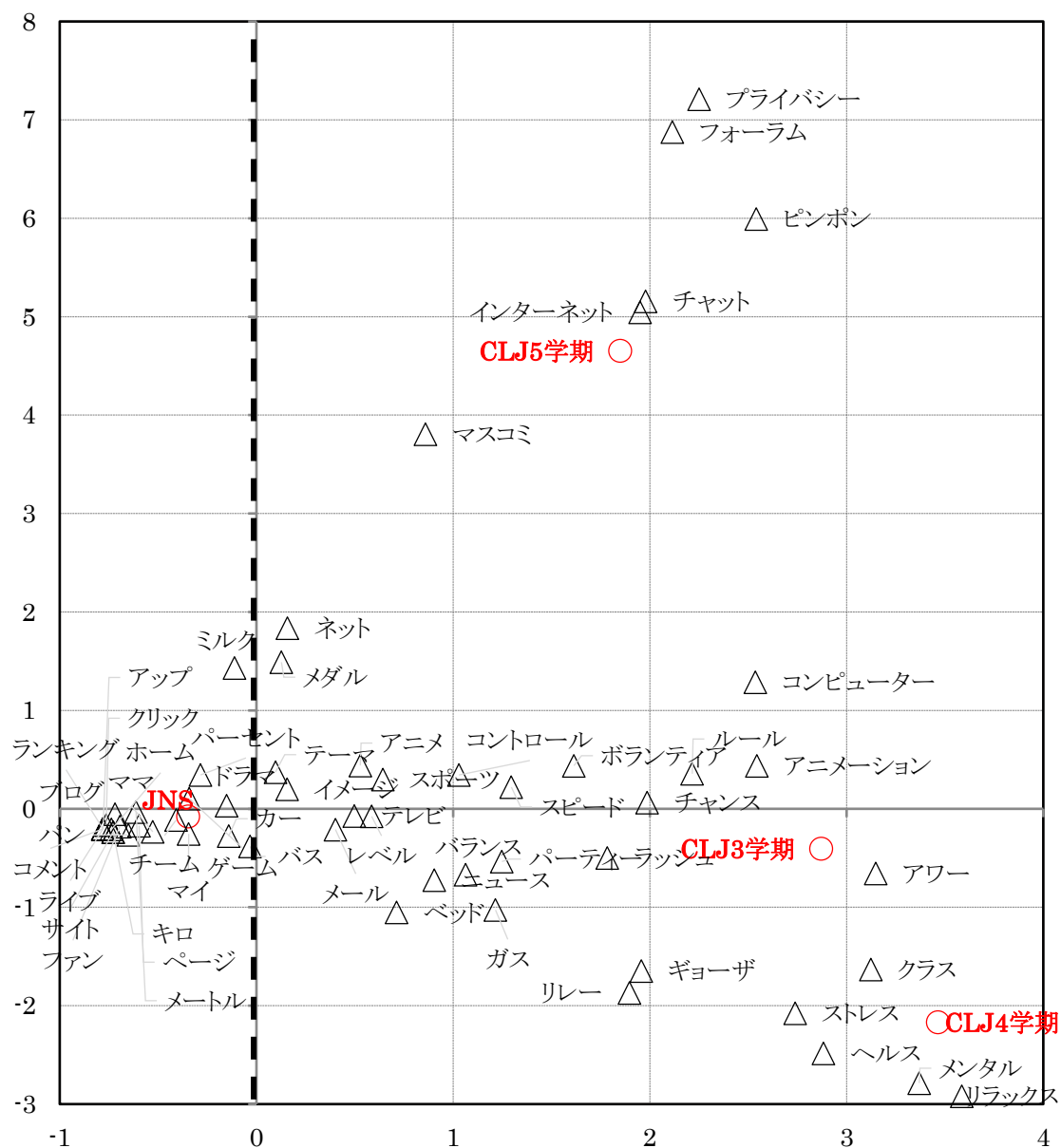
以下, 各学習段階の CLJ と JNS がどのような外来語を特徴的に使用しているかを調査していく。学習段階を第 1 アイテム(CLJ3 学期・CLJ4 学期・CLJ5 学期・JNS の 4 群)とし, 使用した上位語を第 2 アイテムとしてコレスポンデンス分析を行った結果, 以下のような散布図が得られた。次元 1 と次元 2 の寄与率はそれぞれ 44.79%と 34.75%となり, 全体の約 79.55%が説明できる。

まず, 次元 1 について見ると, CLJ と JNS が左右に分割されたことがわかった。すなわち, 5 学期になっても CLJ と JNS との間には大きな違いが存在することが確認された。JNS に特徴づけられる外来語を見ると, 「パン」や「ドラマ」など内容的には日常生活に関わるものが多いことがわかった。また, 品詞性について, JNS が使用した外来語のバリエーションが豊かで, 名詞以外に助数詞や動詞として使う外来語も多用する。この点について言うと, RQ3 においても述べたように, CLJ の 5 学期の外来語使用は助数詞なども使用するという点で JNS ともっとも接近している。

次に, 次元 2 について見ると, CLJ の 3 つの学期が分割されたことが確認された。3 学期は原点付近に位置され, 使用した外来語の内容は日常生活に関わるという点で JNS ともっとも接近していると言える。それに対して, 4 学期と 5 学期になると, 学習者が使用する外来語の内容は徐々

に日常語から専門語に変化し、母語話者の外来語使用と違う方向に進行したと言えるであろう。

図 9 各学習段階にある CLJ の外来語使用の特徴語



CLJ の外来語習得が専門用語に偏っているという点について、多くの先行研究も述べられてきた。たとえば、谷口(1994)は CLJ が専門分野での概念体系としての外来語を学習する機会が多く、専門分野の知識を得るための道具として外来語を学習していると述べた。また、田島他(2011)は CLJ が学術論文に使われた外来語に対する理解度は JNS よりも高いのに対し、新聞記事や一般文章、またインターネットに使われた外来語に対する理解度が低いことが述べた。この点につ

いては、CLJ が見落としやすい「基本語化」した外来語に対する指導の重要性が示唆されたと言えるであろう。

すでに仮説で述べたように、学習段階が進むにつれて基本語化した抽象外来語を使用するといった母語話者の外来語使用に近接しないと予測されるが、コレスポネンズ分析の結果はある程度仮説を支持したと言える。

12.3.2.5 RQ5 誤用

以上 RQ3 と RQ4 では、上位語と特徴語という 2 つの観点から CLJ の外来語使用を考察した。その結果、5 学期になると CLJ の語彙難度は JNS より上回るものの、CLJ が使用した外来語と JNS のとの一致率は 3 つの学期にわたって 20%しか留まっておらず、また、学習段階が進むにつれて特徴的に使用される外来語も母語話者に接近しないことが確認された。

最後に、CLJ の作文における外来語の誤用について見ていく。CLJ の外来語誤用数を調査したところ、以下のような図 10 が得られた。また、前節と同じように、誤用数は 1000 外来語あたりに調整した数値である。

図 10 外来語誤用数の使用状況変化

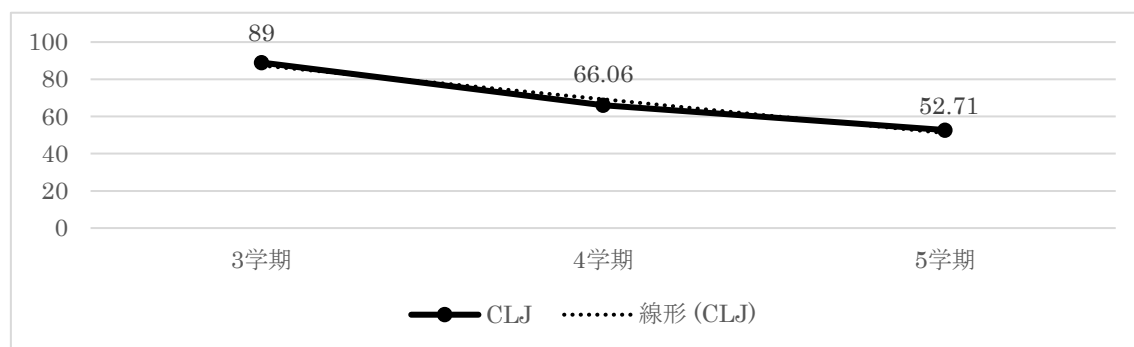


図 10 を見ると、学習段階が進むにつれて、1000 外来語あたり誤用は確実に減少し、3 学期と比べて 5 学期の誤用数は 40.78%少ないことがわかった。

次に、学習段階の進行に伴う誤用パターンの変化について見ていく。各学期における誤用パターンの順位を並べ替えると表 13 のようになる。

表 13 各学期における外来語誤用パターンの順位

	3 学期	誤用数 (比率)	4 学期	誤用数 (比率)	5 学期	誤用数 (比率)
1	発音の誤り	71.20 語 (80%)	発音の誤り	59.23 語 (90%)	発音の誤り	41.00 語 (75%)
2	語彙選択の誤り	11.33 語 (13%)	品詞の誤り	2.28 語 (3%)	語彙選択の誤り	5.86 語 (11%)
3	その他	3.24 語 (4%)	その他	2.28 語 (3%)	コロケーションの誤り	2.93 語 (6%)
4	品詞の誤り	1.62 語 (2%)	語彙選択の誤り	1.14 語 (2%)	その他	2.93 語 (6%)
5	コロケーションの誤り	1.62 語 (2%)	コロケーションの誤り	1.14 語 (2%)	品詞の誤り	0 語 (0%)

表 13 を見る, どの学期においても, 発音に関わる誤用は誤用全体の 70%以上を占め, 特に 4 学期においては誤用の 90%は発音に関わる誤用であり, どの学習段階においても「発音の誤り」パターンは圧倒的に多いことが確認された。また, 学習段階の進むにつれて, 誤用タイプは語レベルから統語レベルに変化すると一般に予想されるが, 今回の結果から見ればこのような傾向が示されていなかった。具体的な誤用パターン(小分類)の変化とそれぞれ誤用例は表 14 のようになる。

表 14 外来語誤用タイプの変化(小分類)

誤用タイプ			誤用例	1000 外来語あたり誤用数 (誤用率)		
				3S	4S	5S
発音の誤り	母音に関わる誤り	母音の混同	<u>イ</u> ンジョイ (正:エンジョイ)	11.33 語 (13%)	7.97 語 (12%)	10.25 語 (19%)
		母音の添加	デ <u>エ</u> ザイン (正:デザイン)	0 語 (0%)	0 語 (0%)	1.46 語 (3%)
		母音の脱落	ダ <u>ウ</u> ンロード (正:ダウンロード)	0 語 (0%)	2.28 語 (3%)	0 語 (0%)
	子音に関わる誤り	子音の混同	<u>シ</u> ャット(正:チャット)	4.85 語 (5%)	1.14 語 (2%)	0 語 (0%)
		清濁音の混同	<u>ケ</u> ーム(正:ゲーム)	9.71 語 (11%)	17.08 語 (21%)	0 語 (0%)

		半濁音と濁音の混同	ブ <u>ラ</u> イド(正:プライド)	0 語 (0%)	3.42 語 (5%)	0 語 (0%)
長音の誤り	長音の添加		デザ <u>ー</u> イン (正:デザイン)	11.33 語 (13%)	3.42 語 (5%)	2.93 語 (6%)
	長音の脱落		ルームメ <u>っ</u> ト (正:ルームメート)	17.80 語 (20%)	18.22 語 (28%)	23.43 語 (44%)
促音の誤り	促音の添加		キ <u>っ</u> ス(正:キス)	0 語 (0%)	1.14 語 (2%)	1.46 (3%)
	促音の脱落		スタ <u>っ</u> フ(正:スタッフ)	3.24 語 (4%)	1.14 語 (2%)	0 語 (0%)
撥音の誤り	撥音の脱落		オリ <u>っ</u> ピック (正:オリンピック)	1.62 語 (2%)	0 語 (0%)	0 語 (0%)
音素間の混同	長促音の混同		ノ <u>っ</u> ク(正:ノック)	1.62 語 (2%)	1.14 語 (2%)	1.46 語 (3%)
	長撥音の混同		チャ <u>っ</u> ス(正:チャンス)	1.62 語 (2%)	1.14 語 (2%)	0 語 (0%)
音節の誤り	音節の添加		レストラ <u>ん</u> ド (正:レストラン)	3.24 語 (4%)	1.14 語 (2%)	0 語 (0%)
	開音節化失敗による音節脱落		ポーラ <u>ん</u> <u>っ</u> (正:ポーランド)	4.85 語 (5%)	3.42 語 (5%)	0 語 (0%)
語彙選択の誤り			クール(正:かっこいい)	11.33 語 (13%)	1.14 語 (2%)	5.86 語 (11%)
品詞の誤り			スポーツ時 (正:スポーツする時)	1.62 語 (2%)	2.28 語 (3%)	0 語 (0%)
コロケーションの誤り			マナーを <u>す</u> る (正:マナーを守る)	1.62 語 (2%)	1.14 語 (2%)	2.93 語 (6%)
その他			ク <u>ス</u> ラ(正:クラス) ノー <u>と</u> (正:ノート)	3.24 語 (4%)	2.28 語 (3%)	2.93 (6%)

以下は、上位 3 種の誤用パターン(「長音の脱落」・「母音の混同」・「清濁音の混同」)に絞って具体的に見ていく。

まず、「長音の脱落」に関わる誤用について、3つの学期における誤用数は17.80語・18.22語・23.43語となり、学習が進むにつれて誤用数は減少の傾向が示されておらず、むしろ増加している傾向が示された。また、全体の誤用に占める誤用率も24%増加している。安(2011)では CLJ と

KLJ は長音による誤用がもっとも多いと述べたが、今回の結果も同じ傾向が見られたと言える。以下は学習者の誤用である。

表 15 「長音の脱落」という誤用パターンの誤用

学期	外来語	学習者 ID	誤用
3 学期	サッカー	d15,d33	サッカー φ
	インターネット	d19,d23	インタ φ ネット, インタ φ ネット
	ラッキー	d10	ラッキ φ
	スポーツ	d15	スポ φ ツ
	ルームメート	d2	ルームメ φ ト
	ホームシック	d16	ホ φ ムシック
	コンピュータ	d19	コンピュ φ タ
	タクシー	d33	タクシ φ
4 学期	インターネット	d2,d3,d13	イント φ ネット, インタ φ ネット
	スーパー	d2	スーパ φ
	ビニール	d2	ビニ φ ル
	チョコレート	d4	チョコレ φ ト
	コーヒー	d9	コーヒ φ
	マナー	d13	マナ φ
	コミュニケーション	d19	コミュニケ φ ション
	ヒーロー	d24	ヒーロ φ
	プレッシャー	d28	プレッシャ φ
5 学期	インターネット	d6,d11,d21,d31	インタ φ ネット
	マナー	d1,d7,d24	マナ φ
	メール	d6	メ φ ル
	ストーリー	d9	スト φ リー
	ゼリー	d19	ゼリ φ
	プライバシー	d28	プライバシ φ

学習者の誤用例を見ると、長音が脱落した位置について、語尾と語中ともに長音を脱落した誤用が見られることがわかった。たとえば、「スーパー」のような語尾に長音を脱落する誤用も見れば、「ルームメト」のような語中に長音を脱落する誤用も見られた。また、「チョコレート」のように 1 つの単語の中で長音の添加と長音の脱落両方見られた誤用もあった。すなわち、CLJ が外来語の長音

に対する理解は非常に不十分であると言える。この点については、CLJ の母語である中国語において「拍」という概念が存在しないためであると考えられ、外来語の長音に特化した指導が非常に重要であると言える。

次に、「母音の混同」について、表 16 を見ると、3 つの学期における「母音の混同」パターンの誤用数はそれぞれ 11.33 語・1.14 語・5.86 語となり、3 学期より 5 学期のほうが 9.53% 減少している。なお、全体に占める誤用率は 6% 増加していることが確認された。

以下の表 16 は学習者の誤用である。

表 16 「母音の混同」という誤用パターンの誤用

学期	母音混同タイプ	外来語	学習者 ID	誤用
3 学期	a→i	ファイティング	d26	フィイティング
	i→e	イアホン	d9	エアボン
		ボランティア	d23	ボランテア
4 学期	a→i	ギョウザ	d6	ギョウギー
	a→e	バー	d32	ベー
	i→a	フィルム	d33	ファルム
	i→u	フィリピン	d32	フィルビン
	o→a	ユーモア	d2	ユーマー
	o→u	スポーツ	d19	スプーツ
	o→u	ショック	d19	シュック
5 学期	a→u	ドラマ	d31	ドラム
	e→i	エンジョイ	d33	インジョイ
	o→u	スポーツ	d19	スプーツ

学習者の誤用例を観察すると、誤用の原因は以下の 4 つが挙げられる。

1 点目は、母語である中国語における発音の影響ということである。たとえば、「フィルビン」という誤用について言うと、中国語フィリピン (feilǐbīn) の発音の影響を受けて、「フィリピン」を「フィルビン」に間違ったのではないかと考えられる。

2 点目は、外来語の原語となる外国語表記の影響ということである。たとえば、上記の「エアボン」という誤用について、「イヤホン」を書くべきところは「エアホン」と書いてしまったのは、英語「earphone」の最初のアルファベットは「e」であるに起因するのではないかと考えられる。というのも、「え」という平仮名のローマ字表示は「e」であるからである。

3 点目は、外来語の原語となる外国語発音の影響ということである。たとえば、「エンジョイ」について、原語である enjoy の発音/ɪndʒ'ɔɪ/の影響を受けて、「インジョイ」に間違っているのではないかと考えられる。

4 点目は、他のカタカナと混同しているということである。たとえば、「ドラマ」を「ドラム」に間違っているのは、カタカナ「マ」と「ム」とを混同してしまうのではないかと考える。

最後に、「清濁音の混同」について、表 19 を見るとわかるように、3 学期から 4 学期にかけて「清濁音の混同」の誤用は 15% 増加しているが、5 学期になると清濁音に関わる誤用がなくなった。すなわち、清濁音の混同は特に初期の学習者に起きやすい誤用と言えるであろう。以下、学習者の用例である。

表 17 「清濁音の混同」という誤用パターンの誤用

学期	混同タイプ	外来語	学習者 ID	誤用
3 学期	清音→濁音	イアホン	d9	エアボン
		テスト	d10	テスド
		ストレス	d28	スドレス
	濁音→清音	ゲーム	d21	ケーム
		ドラマ	d33	トラマ
		アラブ	d24	アラフ
4 学期	濁音→清音	ベッド	d19,d21	ベツト
		ゲーム	d14	ケーム
		ドラマ	d24	トラマ
		ダイエット	d2	タイエツト
		チベット	d9	チヘツト
		グラント	d19	グラント

CLJ が「清濁音の混同」パターンの誤用をしやすい原因として、中国語では呼気流量の大小によって生じる有気音と無気音で意味上の区別がされるのに対し、日本語では声帯が振動するか否かという有声音・無声音で意味上の区別がなされることが挙げられる。ゆえに、中国語母語話者はたとえば「大学」・「退学」・「体格」などを混同する誤りが多いとされる(吉廣, 2003)。

なお、表 17 を見ると、3 学期においては、清音を濁音に間違った誤用と、濁音を清音に間違った誤用の両方が見られるが、4 学期になると、清音を濁音に間違った誤用がなくなったことがわかっ

た。また、すでに述べたように、5 学期になると、このタイプの誤用はなくなった。すなわち、このような誤用タイプは学習の増加につれて自然に消える可能性があり、特にこのタイプの誤用に特化して指導する必要性がより薄いと言えるであろう。

以上、第 2 課題では、各学習段階にある CLJ の外来語使用に対して調査を行った。その結果、学習段階が進むにつれて、(1)使用量について、トークンは一貫した上昇が示されたが、JNS より遥かに足りなく、また、タイプは安定していること、(2)語彙難度について、一貫した上昇が示され、また、5 学期になると CLJ が使用する外来語の語彙難度は JNS に上回ること、(3)上位語について、CLJ が使用した上位外来語と JNS のとの一致率は 3 学期にわたって 20%に留まり、5 学期になっても CLJ が使用する上位外来語と JNS との間にはまだ距離があること、(4)特徴語について、CLJ が使用する外来語の内容は徐々に日常語から専門語に変化し、母語話者の外来語使用と違う方向に進行したと言えること、(5)誤用について、誤用数は確実に減少し、また、どの学習段階においても「発音の誤り」パターンに属する誤用が圧倒的に多いこと、が確認された。

12.4 まとめ

以上、本章は日本語学習者縦断コーパスを利用し、学習段階が進むにつれて、CLJ の作文における非和語系語彙の使用がどのように変化するか、また、JNS とのズレがどのように変化しているかについて調査を行った。得られた知見は以下のようにまとめられる。

使用量:

(1) 漢語の場合、学習段階が進むにつれて、トークンは明確に上昇していないが、タイプは 22.70%増加し、JNS に接近する。…12.3.1.1 節

(2) 外来語の場合、トークンは一貫した上昇が示されたが、JNS より遥かに足りなく、また、タイプは安定していることがわかった。…12.3.2.1 節

語彙難度:

(1) 漢語の場合、CLJ が使用する漢語の語彙難度は若干増加している。…12.3.1.2 節

(2) 外来語の場合、CLJ が使用する外来語の語彙難度は一貫した上昇が示され、また、5 学期になると JNS を上回ることが確認された。…12.3.2.2 節

上位語:

漢語の場合も外来語の場合も、母語話者の上位語との一致率は増加しておらず、漢語は 35%、外来語は 20%に留まっている。…12.3.1.3 節と 12.3.2.3 節

特徴語:

(1) 漢語の場合、CLJ が特徴的に使用する漢語の語彙レベルは増加しているが、JNS への接近が示されていない。…12.3.1.4 節

(2) 外来語の場合、CLJ が使用する外来語の内容は徐々に日常語から専門語に変化し、JNS の外来語使用と違う方向に進行したと言える。…12.3.2.4 節

誤用:

(1) 漢語の場合、誤用数は一貫して減少したが、多用される誤用パターンはあまり変化していない。…12.3.1.5 節

(2) 外来語の場合、誤用数は確実に減少し、また、どの学習段階においても「発音の誤り」パターンに属する誤用が圧倒的に多い。…12.3.2.5 節

ただし、本章にはまだ以下のような課題が残されている。1 点目は学習段階に基づき分析を行ったが、厳密な意味での習熟度は調査できていないことである。同じ学習段階であっても、習熟度が高い学習者もいれば低い学習者もいると予想される。2 点目は学習時期ごとに学習者全体をまとめて分析したが、個人差については十分に観察できていないことである。3 点目は、すでに第 11 章でも述べたように、使用された漢語の難度を旧日本語能力試験の語彙リストに依拠して推定した点である。本来、語の難度は使用環境や文脈などによって変化し、語だけを取り出して難度を議論することは必ずしも適切ではない。4 点目は、学習時期ごとの作文テーマが統一されていないことである。こうした制約の多くは使用したコーパスのデータ特性と関連しているため、より幅広いデータを使った検証が必要になるだろう。

第 13 章 指導シートの開発

13.1 はじめに

本論文の第Ⅲ部においては、中国語を母語とする日本語学習者 (CLJ) による実際の非和語系語彙の使用状況の解明、および、CLJ を対象とした非和語系語彙指導シートの開発の試行を行う。すでに第 11 章と第 12 章において、CLJ の非和語系語彙使用実態の横断調査と縦断調査を行った。

第 11 章では、(1) 外来語と漢語の使用状況が学習者を区分するもっとも重要な観点となり、英語を母語とする日本語学習者 (ELJ) の非和語系語彙使用が逸脱的であるのに対し、CLJ は日本語母語話者 (JNS) に近いこと、(2) ELJ および韓国語を母語とする日本語学習者 (KLJ) は習熟度の上昇につれて非和語系語彙の用法が大きく変化するのに対し、CLJ の変化が小さいこと、(3) 3 つの学習者グループともに習熟度の上昇につれて JNS に接近していること、などがわかった。

また、第 12 章では、(1) 外来語のトークン数と漢語のタイプ数において CLJ と JNS が区分されること、(2) 3 学期から 5 学期にかけて外来語のトークン数と漢語のタイプ数が増加して JNS に接近しているが、その変化は相対的に少ないこと、などが確認された。

では、こうした実態を改善するために、日本語教育ではどのような対応が可能であろうか。すでに 2.3.1 節で述べたように、既存の日本語教科書における非和語系語彙の扱いは必ずしも十分とは言えない。将来的には教科書自体の改善に踏み込むべきであるが、目下の対策としては、今の教科書を使いながら、非和語系語彙の指導を補完する学習シートを作成して活用していくことが考えられるであろう。

そこで、本章では、第 5 章～第 10 章で得られた非和語系語彙に関わる知見を用い、CLJ のための非和語系語彙指導シートの開発を試みる。本来、教材は教室環境で実地を使用し、その効果を確認しながら不断に改善していくことが望ましいわけであるが、今回は、実地の指導が困難であるため、開発した学習シートについて、教師および上級学習者のコメントを得ることで、その内容の妥当性を判断し、不備のある場合は改善の方向性を明らかにする。

13.2 開発方針

一般に、教授法には、教授の理論に関わる「教授理念」や教授の体系化に関わる「教授設計」((1) 具体的な目標の設定、(2) 教授内容の選定と配列、(3) 学習タスクと課題の設定、(4) 学習者・教師の関係性の決定、(5) 教材の決定)、そして、教授の実践に関わる「教授過程」(PPP (presentation, practice, production)) などの過程が含まれる (石川, 2017)。教材もまた、対象

学習者や学習目標、教授法などと密接に関係する。非和語系語彙に特化した学習シートと指導法の開発を目指す際にも、対象学習者や教授内容、また、タスクや課題の詳細について方針を決めておくことが重要だろう。

まず、対象学習者については、中国人上級日本語学習者とする。上級に限定したのは、漢語や外来語といった非和語系語彙は現在の日本語教育の体系の中では独立した指導項目となっておらず、新たに指導過程に加えようとする場合、日本語の各種の語彙や文法を一通り習得した後でまとめて扱うのが効果的だと考えられるためである。また、非和語系語彙の特性は統語論・意味論・形態論・語用論を含む日本語の様々な側面と密接に関係しており、一定の日本語力がなければ指導を行っても十分な理解は困難であろう。

次に、教授内容については、本論文の第 5 章～第 10 章で得られた知見のうち、特に重要な 3 つのトピックをサンプルとしてピックアップし、3 つの学習シートとしてまとめる。具体的な内容は以下のようになる。

表 1 各シートの内訳

	内訳	
Sheet1	該当章	第 7 章
	学習内容	漢語形状詞における連体修飾標識「ナ」と「ノ」の相違
	学習目標	(1) 主要漢語の型分布を理解する。(2) 「ナ」と「ノ」の選択メカニズムを理解し、主要漢語の連体修飾パターンが使用できるようになる。
Sheet2	該当章	第 6 章
	学習内容	漢語形状詞における連体修飾標識「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的 φ」・「的ナ」の意味機能的相違(「安定」を例として)
	学習目標	「安定」の各連体修飾パターンの違いを理解し、具体的な場面に応じて使用できる。
Sheet3	該当章	第 9 章
	学習内容	異なる表記に含まれるニュアンスの相違(「奇麗」を例として)
	学習目標	(1) 「奇麗」の各標識が特徴的に使用される分野、そしてその理由について理解する。(2) 表記の一般ルールを理解する。 (3) 特殊表記を使用する理由を理解する。

続いて、タスク・課題の設定についてであるが、提案する学習シートは、タスクシートと参考シートの両方からなっている。また、タスクシートは、それぞれ、「(Ⅰ) 当ててみよう!」・「(Ⅱ) 観察してみ

よう！」「(Ⅲ)読んでみよう！」「(Ⅳ)練習してみよう！」という 4 つのタスクを設定する。以下、それぞれのタスクの構成および設定の目的について概観していきたい。

まず、「(Ⅰ)当ててみよう！」タスクでは、(Ⅰ-Ⅰ)、(Ⅰ-Ⅱ)、(Ⅰ-Ⅲ)という 3 つの小さい課題が設定される。以下は Sheet2(漢語形状詞における連体修飾標識「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的 ϕ」・「的ナ」の意味機能的相違の学習)の例である。

図 1 Sheet2 における「(Ⅰ)当ててみよう」タスク

(Ⅰ)当ててみよう！

★(Ⅰ-Ⅰ)次の()に入るもっともよいものを、1・2・3・4・5 から 1 つ選びなさい。

1.の 2.的な 3.した 4.な 5.的

- (1)それらは安定()原子だが、それに対して時に放射線を出す物質がある。
(2)コーヒーの香りは精神安定()効果があります。
(3)でも、彼との計画が確実だと信じていた私は、その安定()生活を迷いもなく捨てた。
(4)世界貿易の安定()発展のために早い機会に規律の確立が行われることが望ましい。
(5)これからの対策としては、引き続きという部分もあるわけですが、特に、やはり低コストで安定()供給体制の整備を図るという意味で、各種の共同利用施設等の整備を図る。

★(Ⅰ-Ⅱ)答えが正しいかを確認してみよう！

- (1')それらは安定(な)原子だが、それに対して時に放射線を出す物質がある。
(2')コーヒーの香りは精神安定(の)効果があります。
(3')でも、彼との計画が確実だと信じていた私は、その安定(した)生活を迷いもなく捨てた。
(4')世界貿易の安定(的)発展のために早い機会に規律の確立が行われることが望ましい。
(5')これからの対策としては、引き続きという部分もあるわけですが、特に、やはり低コストで安定(的な)供給体制の整備を図るという意味で、各種の共同利用施設等の整備を図る。

★(Ⅰ-Ⅲ)振り返ってみよう(1)！

- (1)5 問中何問できましたか？()問
(2)上記の問題の中、難しいと感じる問題がありましたか？あるならどちらですか(複数回答可)？
a.ない b.ある(問題番号:())
(3)どうして上記の問題が難しいと思いますか？自分の日本語に関してどのような知識が不足していると思いますか？()
-

(Ⅰ-Ⅰ)では、「安定()原子」、「安定()効果」のように、それぞれの連体修飾標識を穴埋め形式で回答させる。ヒントなしにこれらに正答することは上級者でも困難であろう。このタスクの狙いは、これらの内容について自身が正確に理解できていないことを上級学習者自身に気づかせる点にある。

次に、(I-II)では、上記で提示した問題の答えが提示される。ここで学習者は、正しい表現を知るとともに、新しい気づきを得る。漢語連体修飾標識を新しい文法事項として指導しようとする場合、2つの方法が考えられる。1つ目は、文脈をほとんど与えず、連体修飾標識に特化した練習問題を集中的に行わせる方法である。この方法には、ターゲットである連体修飾標識に注意を向けさせやすいという利点があるものの、文全体の意味理解とターゲットを関連づけるににくいという問題もある。2つ目は、連体修飾標識を含む長文を多読させる方法である。この方法には、文全体の意味理解を深めさせられるという利点があるものの、連体修飾標識に注意を向けさせにくいという問題もある。そこで、本研究では、第3のアプローチとして、実例を重視するコーパス言語学の理念をふまえつつ、より長い文脈の中で用例を提示し、学習者が前後関係を読みながら、適切な連体修飾標識を考えさせる課題を設定することとした。学習者は、文脈の意味理解と並行して、適切な連体修飾標識を自分の中でシミュレーションして、正解にたどり着くこととなる。

この点について言えば、Long(1991)も言うように、一般に、外国語の習得では、意味を軽視して文法や言語形式のみに注目させる *focus on forms* や、文法や言語形式を軽視して全体として伝えられる意味内容のみに注目させる *focus on meaning* といった指導法があるが、これらだけでは真の習得は進まない。それゆえ、両者を組み合わせた *focus on form* のアプローチが有効だとされる(石川, 2017)。筆者のアプローチは、意味とターゲットの形式の双方に注意を向けさせる点で、*focus on form* の理念に近いものと考えられる。意味と形式のつながりについて学習者自身に気づき(noticing)を持たせ、ターゲット形式を意識化させることが提案するアプローチの狙いである。

最後に(I-III)においては、学習者に振り返りの機会が設けられ、自分がどこに問題があるかを意識させる。学習者は、「上記の問題の内何問できたか」、「難しいと感じる問題はどちらか」、そして、「自分の日本語についてどのような知識が不足していると思うか」という3つの問題について自分で回答することを通して、自然に、自身の気づきや学びを振り返り、定着させることができる。

次に、「(II)観察してみよう」では、解説内容に関係する実用例をできるだけ多めに提示し、また、学習者に自分でメカニズムを発見するようガイド問題を答えさせる。ここでも3つの小さな課題が設けられている。以下は Sheet2(漢語形状詞における連体修飾標識「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的 φ」・「的ナ」の意味機能的相違の学習)の例である。

図 2 Sheet2 における「(Ⅱ) 観察してみよう」タスク

(Ⅱ) 観察してみよう！

★(Ⅱ-I) 用例を見て、以下の問題を考えてみよう！(上の用例も合わせて考えてね)。

- (1) 周期表一番右の十八族(希ガス)の電子配置は、きわめて安定(な)閉殻構造をとり、通常、化学反応には関与しないので上記のブロックには加えないことにする。
- (2) 酸素は電子の受容体であり、化学平衡の安定(な)状態を作るために、他の原子から2個の電子を受け入れようとしている。
- (3) しかも、二十一世紀を目前にして、平和と安定(の)時代が始まったということは、ますます「経済である」ということだ。
- (4) これは韓国の安全のみならず、アジアの安定(の)ために貢献するものであり、レーガン大統領の決断である。
- (5) にもかかわらず、仕事を辞めようと考えたときは、安定(した)収入を失うことが心配だった。
- (6) これは幸いにいたしまして、ある医療機関が受けとめていただきまして、今患者さんは比較的安定(した)状態で療養をしておられるわけでございます。
- (7) この概要は、農水省の方も入手されておると思いますし、経済企画庁の方も、野菜の問題についてこれから安定(的)供給をするためにどうしたらいいかということを政策的にいろいろ検討されている以上、この行政監察局の調査結果についての検討も加えられていることと思います。
- (8) とくに、保護貿易主義の台頭の基本的背景は、世界経済、とりわけ先進国経済の長期停滞にあることから、先進国経済の安定(的)発展は、保護貿易主義的風潮を抑制するためにも不可欠である。
- (9) 林産物の販売に当たっては、計画的かつ安定(的な)販売に努め、需要に応じた採材と販売、高品質材の選木販売等を行い有利な販売を図る一方、私・公有林と一体となって間伐材等の需要開発を図るなど収入確保に努めた。
- (10) りんご、なし、もも、かき等の落葉果樹については、産地の再編成を行い計画的かつ安定(的な)生産の拡大と生産性の向上を図るため、高能率の機械施設の導入、品質向上と栽培の省力化を推進するためのモデル団地の育成等を行ったほか、りんごの腐らん病発生園の改植等を促進した。

★例を見て空欄を埋めましょう！

	「ナ」	「ノ」	「シタ」	「的φ」	「的ナ」
(1) 前にどのようなパターンと結んでいますか？	例:修飾副詞 名詞+ノ				
(2) どの分野に使用されましたか？	例:化学分野				
(3) どのような品詞として使用されましたか？	例:形状詞				

★(Ⅱ-II) 答えを確認してみよう！

	「ナ」	「ノ」	「シタ」	「的φ」	「的ナ」
(1') 前にどのようなパターンと結んでいますか？	例:修飾副詞 名詞+ノ	名詞+ト 名詞+ノ	φ 修飾副詞	φ 名詞+ノ	○○的かつ

(2')どの分野に使用されましたか？	例:化学分野	一般分野(専門性が低い)	一般分野(専門性が低い)	経済社会分野	経済社会分野
(3')どのような品詞として使用されましたか？	例:形状詞	名詞	形状詞	形状詞	形状詞

★(Ⅱ-Ⅲ)振り返ってみよう(2)！

(1) 上記の問題のうち、まだよく理解できていないのは()ですか？(2) 具体的にどのポイントが理解できていないですか？()

最初に(Ⅱ-I)において、学習者が「当ててみよう」のタスクにて気づいた問題について、できるだけ大量の言語事実と接触する機会を提供する。最近のコーパス研究では、データ駆動型学習(data-driven learning:DDL)が提唱され、コーパスの教育活用として有効であるとされているが、本タスクの設定もこの考え方に従う。

DDL は、「膨大な量の言語との接触→気づき」という言語習得プロセスを疑似体験させることで、学習対象を暗記させるのではなく、学習者の中に文法能力を育てるための機会を与えることができる(中條他, 2007)。また、このことは、Bruner(1940)によって提唱された「学習者が自らの直感・想像を働かせて学習者自身に知識の生成過程をたどらせ、知識を『構造』として学習させる」(引用訳文は、時事通信社出版局, 2019 に基づく)という発見学習の考え方にも合致していると言える。

コーパスを教育に応用するデータ駆動型学習には、学習者が自らコンコーダンスーを用いる直接的なアプローチと、コーパスから得られた情報をシラバスや教材の作成に生かす間接的なアプローチが存在する(寺嶋, 2011)。直接的アプローチは、効果も高いと予想されるが、2つの点で課題もある。1点目は、コーパスデータを観察させただけでは、学習者が必要な認知的活動を行うとは限らないことである。2点目は、コーパスからの生データには誤用なども含まれており、それを直接、利用させるのは、特にコーパスを使ったことのない学習者にとって難度が高い(中條他, 2007)ということである。

そこで本研究は、DDL を体験したことのない学習者を対象として想定し、間接的なデータ駆動型学習のアプローチを取る。前述の2つの課題のうち、前者に関しては、シートごとに説明内容に関わる問題を用意することで、学習者を必要な認知的作業に導くようにしたい。また、後者に関しては、典型性が高く、日本語としてモデルになる用例をコーパスから慎重に抽出することとしたい。

次に(Ⅱ-II)では、(Ⅱ-I)の問題の答えが提示される。表3を見ると、学習者に「ナ」と「ノ」の使い分けのメカニズムを自分で発見できるよう、それぞれの頻度を数えてもらうとか、それぞれの修飾詞の特徴を探させるなど、いくつか学習者の認知活動を引き出す問題を用意している。

最後に、(Ⅱ-Ⅲ)では、表 3 のように、(1)上記の問題のうち、まだよく理解できていないのは何問ですか、(2)具体的にどのポイントが理解できていないですか、という 2 つの問題が出され、(Ⅱ-Ⅱ)の問題についてまだ理解できていないところがあるかを振り返えさせる。

続いて、「(Ⅲ)読んでみよう」タスクについて見ていく。なお、この部分の内容は、参考シートの部分とも関わるため、ここでは参考シートも合わせて見ることにする。以下は Sheet1 (漢語形状詞における連体修飾標識「ナ」と「ノ」の相違の学習)の「(Ⅲ)読んでみよう」タスクおよび参考シートの例である。

図 3 Sheet1 における「(Ⅲ)読んでみよう」タスクの一部

(Ⅲ)読んでみよう！	
★(Ⅲ-I)配布資料を読んで、以下の穴を埋めてみよう！	
(1)全体として、「 」型の方が多い。	
(2)名詞と結ぶときに、「ナ」と「ノ」がほとんど同じ頻度で使用されている形状詞は()です。(多い・少ない)…	
★(Ⅲ-II)答えを確認してみよう！	
(1)全体として、「 ナ 」型の方が多い。	
(2)名詞と結ぶときに、「ナ」と「ノ」がほとんど同じ頻度で使用されている形状詞は(少ない)です。…	
★(Ⅲ-III)振り返ってみよう(3)！	
(1)どの問題が間違いましたか？間違っているポイントを書き出してみよう！()	
(2)配布資料を読むことで、 振り返ってみよう(2)！ において理解できていないポイントは理解できましたか？まだ疑問を持っているところがありますか？()	

図 4 Sheet1 における参考シートの一部

★【型分類】	
…(1) 広義の「ナ型」 (「ナ型」と「ナ寄り型」)のほうが広義の「ノ型」(「ノ型」と「ノ寄り型」)より 多い	
(2)「ナ」または「ノ」を 排他的に選ぶ語は少ない	
(3)「ナ」と「ノ」のいずれにおいても選好性を持たない純粋な「両用型」が少なく、「ノ」または「ナ」の どちらかを優先的に使用する	
★【主要漢語形状詞の型分類】	
型分類	「形状詞可能型」漢語
「ノ型」	三角
「ノ寄り型」	一定、無数、沢山、単独、最高、直接、普通、大量、同一、個別、反対、普遍、秘密、独自、一杯、当然、別々、共通、抜群、種々、不足、無限、偶然、固有、新規、不意、特有、必須、連続、最悪、最低、必死、同様、長寿、緊急、独特、公式、神秘、不良、不明、不満、苦痛、肝心
…	

まず、(Ⅲ-I)においては、参考シートを読ませて、穴埋めで問題を答えさせる。参考シートでは、当該シートで説明しようとする問題に関わる本研究で得られた重要な知見ができるだけ簡易な言葉でまとめられている。なお、タスクシートの中に、学習者に必ず覚えさせたい情報と、必要な時に参考させたい参考情報の両方が含まれていたと考える。本研究は、特に学習者に覚えてもらいたい知識をわかりやすく提示するために、Ⅲ-Iで穴埋め問題の形式として提示し、学習者に答えてもらう。たとえば、表5の参考シートを見ると、【型分類】の部分は、各型に属する漢語の頻度に関わる説明となっている。この部分は、「ナ」と「ノ」という2種の連体修飾標識使用の全体的イメージを紹介しているため、学習者に把握してもらいたい。そのため、この部分の解説について、図3の「(Ⅲ)読んでみよう」タスクのⅢ-Iに穴埋め問題として学習者に提示して答えさせる。それに対して、参考シートの【主要漢語形状詞の型分類】部分の内容について、主要漢語形状詞は具体的にどのような比率で「ナ」と「ノ」が使用されるかをすべて提示しているが、この部分は学習者が混乱する時に使用できる参考資料として提示するという目的で設定するため、「(Ⅲ)読んでみよう」タスクでは特にこの部分について質問されていない。また、(Ⅲ-II)と(Ⅲ-III)では、(Ⅲ-I)の質問の答えと振り返りの部分が設けられている。

最後に、「(Ⅳ)練習してみよう！」タスクを概観していく。ここでは、シートの学習効果を測る部分となっている。以下、Sheet1の「(Ⅳ)練習してみよう」タスクおよび参考シートを例として示す。

図5 Sheet1における「(Ⅳ)練習してみよう」タスクの一部

(Ⅳ)練習してみよう！

★(Ⅳ-I) 次の()に入るもっともよいものを、1・2・3・4・5から1つ選びなさい。

(1) 偶然()一致	(2) 一定()条件	(3) 正確()情報
(4) 別々()場所	(5) 公式()場	(6) 着実()推進

★(Ⅳ-II) 答えを確認してみよう！

(1') 偶然(の)一致	(2') 一定(の)条件	(3') 正確(な)情報
(4') 別々(の)場所	(5') 公式(の)場	(6') 着実(な)推進

★(Ⅳ-III) 振り返ってみよう(4)！

(1) 6問中何問できましたか？()問

(2) 6問のうち、まだ間違っているのはどの問題ですか？どうして間違いましたか？

問題番号:() 理由:()

(Ⅳ-I)において、練習問題を提示してから、(Ⅳ-II)において答えを提示し、最後に(Ⅳ-III)においてまだ理解できていないところを学習者に考えさせる。たとえば、図5を見ると、(Ⅳ-I)は「ナ」

と「ノ」を選択させる問題であり、(IV・II)は答えであり、(IV・III)は振り返る部分である。

以上、13.2 では、開発使用とする教授内容・対象学習者の選定、および、タスク・課題の設定という 2 つについて概観されてきた。なお、具体的な学習シートは付録 3(学習シート 1(初版))、付録 5(学習シート 2(初版))、付録 7(学習シート 3(初版))に参照されたい。以下、13.3 においては、開発したシートについて教師および上級学習者のコメントを得ることで、改善のヒントを探ることとしたい。

13.3 教師および上級学習者のコメント

13.3.1 アンケート調査の実施

すでに述べたように、本来、教材は教室環境で実地に使用し、教師や学習者のフィードバックを得て不断に改善していくことが望ましいが、今回は、実地の指導が困難であるため、開発した学習シートについて、教師および上級学習者のコメントを得ることで、その内容の妥当性を判断し、不備のある場合について改善の方向性を明らかにする。

アンケートは 2021 年 9 月に実施した。アンケート協力者は、中国の大学で日本語を教える日本語教師 3 名(以下、T1、T2 と T3 と称する)(表 12)と、N1 レベルの学習者 3 名(以下、S1、S2 と S3 と称する)(表 13)である。3 名の日本語教師は、いずれも日本の大学院への留学歴があり、コーパス言語学の手法にもなじんでいる。

表 2 教師の内訳

No.	性別	日本留学歴	最終学位	年代	担当科目
T1	女性	あり	博士	30 代	専門授業科目
T2	女性	あり	博士	30 代	専門授業科目
T3	女性	あり	修士	20 代	共通授業科目

表 3 学習者の内訳

No.	学級	日本語学習歴	レベル	専門
S1	大学生(D4)	1 年半	N1	経済学
S2	大学院生(M2)	6 年	N1	外国語教育
S3	大学院生(D3)	10 年	N1	外国語教育

6名の協力者には、(1)下記の3観点に基づいて学習シートを5段階で評価させ、あわせて、(2)学習シートの評価できる点および問題点を具体的に指摘させた。

①中国人上級学習者向けの学習教材として全体の内容が妥当である(1--5)

②このシートを実際に教室で使用した場合、学習者の学修意欲や関心を高めるうえで一定の効果が期待できる(1--5)

③このシートを実際に教室で使用した場合、一定の学習効果が期待できる(1--5)

以下13.3.2節において、3観点に基づくシートの全体評価の結果を概観してから、13.3.3節および13.3.4節において、シートの評価点と問題点についてそれぞれ概観していく。

13.3.2 全体評価

前述の3観点(①中国人上級学習者向けの学習教材として全体の内容が妥当であるか、②このシートを実際に教室で使用した場合、学習者の学修意欲や関心を高めるうえで一定の効果が期待できるか、③このシートを実際に教室で使用した場合、一定の学習効果が期待できるか)についての5段階評価の結果は図6の通りであった。

図6 シートに対する評価

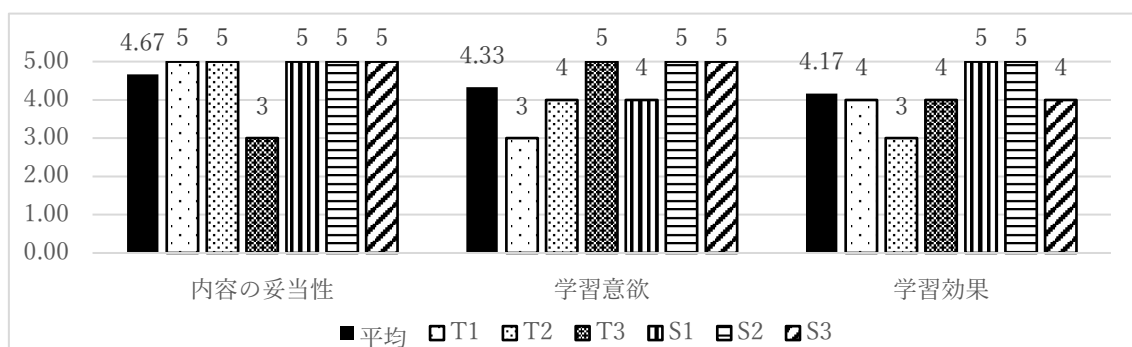


図6を見ると、3つの観点について、それぞれ4.67点、4.33点、4.17点という平均点が得られた。すなわち、今回開発した学習シートは、教師・学習者の双方から見て、全体として一定の妥当性があり、また、一定の効果が期待されるものであったと言える。

なお、観点別では、教師評価を平均すると、内容妥当性(4.33点) > 学習意欲(4点) > 学習効果(3.67点)となり、学習者評価を平均すると、内容妥当性(5点) > 学習意欲(4.67点) = 学習効果(4.67点)となる。

果(4.67 点)となる。総じて教師より学習者が、また、観点別では内容妥当性のほうが相対的に高い評価となることが確認された。特に学習効果の観点について、教師評価と学習者評価の差がもっとも大きく、教師評価が学習者評価より 21%程度低くなっていることが注目を引く。この点について言えば、教師は、今回のシートが一部の学習者に対して効果があるとしても、すべての学習者に向いているというわけではないという点を考慮して相対的に低い評価をつけたのではないかと考えられる。

以下、13.3.3 節と 13.3.4 節において、具体的にどのようなポイントが評価されているのか、また、どのような点が課題として指摘されているのかについて概観したい。

13.3.3 本シートの評価点

まず、協力者に評価されたポイントについて概観していく。なお、6 名のコメントはきわめて多岐にわたるため、筆者がそれぞれのコメントの内容に基づき、整理を行った上でラベルを付与することとした。

表 4 協力者に評価された点

内容ラベル	該当部分	具体的なコメント
全体評価 (4 人)	全体	細かいところにはまだ問題が残されているが、全体の出来がよかった。(T1, T2, T3, S3)
学習者中心 型タスク (3 人)	全体	「当ててみよう!」と「振り替えてみよう!」という 2 つのタスクの設定がいい。学習者はどこが間違っているかを自分でわかるため、学習者に好まれる。(T1)
	Sheet1	学習者は自分で問題を発見して答えを探し、ステップバイステップで学習でき、学習者の主体性が発揮できる。(S3)
内容の選定 (2 人)	Sheet1	「(程度の大小)と関係し、示された概念の中に一定の(幅)が存在する形状詞は「ナ」を用いて名詞を修飾しやすい。」や、「(数量)を表している形状詞は「ノ」を用いて名詞を修飾しやすい。」のように、重要なポイントを穴埋めさせてもらったところがよかったと思う。読んだらなるほど感じた。(S2)
	Sheet1	シートを読む前に、「ナ」と「ノ」の間にはこのような違いがあるかとは思わなかった。最初の「当ててみよう!」タスクにおける問題はすべて「ナ」を選択すべきかと思い、特に「沢山()人」という問題について、「ナ」を選択するのは当たり前だと思い、答えを見たら、「沢山」は自分の習う「たくさん」ではなく、どこかの「地名」だとすらいちでしまった。シートを読む前に、漢語の形容詞だと「ナ」を選択するのは当たり前だと思ひ込み、以前全然気づいていない問題が発見してよかったと思う。(S1)

		シートを読む前に、自分の語感で「ナ」と「ノ」のどちらを選ぶかを判断したが、シートを読むと判断の基準がややわかるようになった。(S2)
	Sheet2	この問題は試験の時語感に頼るしかできない、一番迷う問題である。(S2)
データの質 (1人)	全体	用例は生の用例であるため、実際の日本語においてこれらの語彙はどのように使用されているのかが学習できる。(S3)
解説部分の 質(1人)	Sheet3	「キレイ」が名詞として使われるときの意味は、「現実しようとする目標」であることについて同感しました。また、表記のルールについて、全部覚えるのは難しいが、見るとすごく同感を感じた。(S2)
	Sheet2	「安定的 ϕ」の典型的使用パターンを見ると、納得感を感じ、また、なぜ日常生活の中で「安定ノ」がほとんど使用されていないのかわかるようになった。(S2)

得られたコメントは合わせて 10 件であり、ラベルを付けると、上記の 5 項目にまとめられた。これらのコメントは前述の教授法の分類に照らし合わせると、全体に関わるものが「全体評価」という 1 項目であり、教授内容の選定に関わるものが「内容の選定」項目である。また、学習タスクと課題の設定に関わるものが「学習者中心型タスク」、「解説部分の質」、という 2 項目であり、教材の設定に関わるものが「データの質」という 1 項目である。以下、それぞれのラベルについて概観していく。

まず、全体の評価について、協力者 6 名のうち 4 名から、全体の出来がよかったというコメントが得られた。まだ細かいところに問題が残されているが、全体として価値のある学習シートであるという評価があった。なお、この点については、前節で示した数値による評価結果とも合致していると言える。

次に、教授内容の選定に関わるラベルについて、表 4 を見ると、今回の内容の選定は、特に学習者に評価され、普段気づいていない、あるいは一番迷う問題が選ばれているという評価が示された。たとえば、Sheet1 で説明した連体修飾標識「ナ」と「ノ」の選択について、学習者 1 から、「漢語の形容詞だと「ナ」を選択するのは当たり前だと思い込み、以前全然気づいていない問題が発見してよかったと感じる」というコメントがあった。また、Sheet 2 で説明した 5 標識の選択について、学習者 2 から「この問題は試験の時語感に頼るしかできない、一番迷う問題である」というコメントがあった。

続いて、学習タスクと課題の設定に関わるラベルについて、評価された点は「学習者中心型タスク」と「解説部分の質」の 2 点である。最初に、「学習者中心型タスク」について、今回のタスクの設定は学習者の主体性が発揮でき、学習者に好まれるものであるというコメントがあった。また、「解説部分の質」について、学習者 2 から Sheet2 と Sheet3 の解説は「自分が日本での生活経験から見

るとすごく納得感があった」という評価が得られた。

最後に、教材の設定に関わるラベルについて、「データの質」という 1 項目が挙げられた。それは、今回の学習シートにおいてコーパスからの生データを使用したことに対する評価であった (S3)。

13.3.4 本シートの問題点

続いて、協力者に指摘された問題点について見ていきたい。以下、教師および学習者のコメントを表 5 で示す。なお、すでに前節で述べたように、筆者がそれぞれ整理を行った上でラベルを付与することとした。

表 5 協力者に指摘された問題点

内容ラベル	該当部分	具体的なコメント
難度の高さ (5 人)	全体	大学 1・2 年生の学習者にとってやや難しく、3 年生の学習者はぎりぎり学習できる。また、学習者のレベル差が多いため、中国語訳をつけたほうがより良いと思う。(T1)
		参考シートの説明はやや難しく、Sheet1 のように図で表すとより分かりやすくなる。(T1)
		対象学習者の設定はどうなっているか？「観察してみよう！」タスクにおける単語がやや難しく、また、単語は漢語に偏っている。(T2)
		参考シートの解釈は抽象的である。(T2)
		全体としてはやや難しく、高学年の学習者を対象としたほうがよい。(T3)
		内容が難しく、特に専門用語が難しい。(S1)
		全体としては内容が難しいと感じた(特に「ナ」と「ノ」の区別)。大学 3 年生か N2 以上の学習者に向いている。(S3)
問題の設定 方法(3 人)	全体	「振り替えてみよう(2)！」の 2 つの問題は重なっているのではないかなと思う。(1)上記の問題のうち、まだよく理解できていないのは()ですか？(2)具体的にどのポイントが理解できていないのですか？)それぞれ、(1)「上記の問題のうち、まだ理解できていないのはありますか？」、(2)「具体的にどのポイントが理解できていないのですか？」に置き換えたほうがよいのではないかな。(S3)
	Sheet1	練習問題のところ、必ずしも「ナ」と「ノ」のどちらかを答えを選ばなければならないですか？5 段階のリッカートスケールのほうがより理解しやすいのではないかな？(T2)
	Sheet2	「読んでみよう！」の(4)問のところ、(やすい・にくい)というような選択肢を加えつけたほうがよりいい。(S3)
標識の説明 方法(4 人)	Sheet2	「φ」の意味が理解しにくい。(T2)
	Sheet2	「φ」の意味が分かりづらい。(S1)
	Sheet3	「◎」などの標識が分かりにくかった。(S2)

	Sheet3	「◎」などの標識の意味を説明したほうがいい。(S3)
用例の量 (3人)	Sheet1	【主要漢語形状詞の型分類】という表における単語が多く、列挙してもあまり習得できないのではないか。(T2)
	Sheet1	「型分類」の図のところで、それぞれの型に属する例を列挙すればよりよくなるのではないかと思う。(S2)
	Sheet2	「観察してみよう！」タスクの練習問題のところ、それぞれの項目の後ろに用例を付いたほうがより理解しやすくなるのではないかと思う。(S3)
専門用語の 量(3人)	全体	説明のところには、専門用語を用いたり、説明文が長すぎたりする場合が多く、学習者が理解するのはやや難しい。たとえば、「それらは「ナ」と「ノ」のどちらと共起しますか？」という説明における「共起」や、「使用レンジ」における「レンジ」などについて、学習者が理解しにくいかもしれない。(T1)
	Sheet1	「形状詞」という言い方が難しく、学習者が理解しにくいかもしれない。(T2)
	Sheet1	「形状詞」はどのような概念であるかがわからない。(S2)
	Sheet3	「表外漢字」という概念が分からなかった。(S2)
図表の説明 方法(1人)	Sheet1	参考シートのところの型分類の範囲の説明が分かりにくい。(T2)

得られたコメントは合わせて 22 件に上るが、ラベルを付けると、上記の 6 項目にまとめられた。また、これは前述の教授法の分類に照らし合わせると、教授内容の選定に関わるものが「難度の高さ」という 1 項目であり、学習タスクと課題の設定に関わるものが「用例の量」、「専門用語の量」、「問題の設定仕方」、「標識の説明方法」、「図表の説明方法」という 5 項目である。以下、それぞれのラベルについて概観していく。

はじめに、教授内容の選定に関わる問題点として、「難度の高さ」が挙げられる。この点について、協力者 6 名のうちの 5 名から、難度が高く、高学年の学習者を対象としたほうが良いというコメントが得られた。具体的には、単語(特に専門用語)が難しい(T2, S1)、内容が難しい(S1, S3)、そして、参考シートの説明が難しい(T1, T2)などが指摘された。また、対象学習者は高学年(大学3年生)以降に指定したほうがふさわしい(T1, T3, S3)とも指摘された。

続いて、学習タスクと課題の設定に関わる問題点として、(1)「問題の設定方法」、(2)「標識の説明方法」、(3)「用例の量」、(4)「専門用語の量」、(5)「図表の説明方法」、という 5 項目が挙げられた。具体的には、(1)「問題の設定方法」について、「振り替えてみよう(2)！」の 2 問題が重なっている(S3)、Sheet1 の練習問題はリッカートスケール式に換えたほうが良い(T2)、Sheet 2 の「読んでみよう！」の(4)問の選択肢の設定が不足している(S3)、という 3 つのコメントがあった。また、

(2)「標識の説明方法」について、Sheet2における「♂」の意味(T2, S3)と、Sheet3における「◎」の意味(S2, S3)が分かりにくいとのコメントがあった。そして、(3)「用例の量」について、Sheet1の参考シートに列挙した各型の単語が多すぎる(T2)ことや、図表や練習問題のところに用例を加えたほうが理解しやすい(S2, S3)こと、などが指摘された。続いて、(4)「専門用語の量」について、専門用語が多く(T1)、特に「形状詞」(T2, S2)や「表外漢字」(S3)などの概念が分からないという指摘が受けられた。最後に、(5)「図表の説明方法」について、Sheet1の型分類の範囲の説明が分かりにくい(T2)というコメントがあった。

以上、学習者および現場の教師から、きわめて貴重なコメントが得られた。これをふまえてどのように学習シートを改善できるかを次の節で検討したい。

13.4 シートの改善

以上、13.3においては、現場の教師および学習者は開発した学習シートに対するコメントを概観してきた。本節では、13.3.4で示された問題点のそれぞれについて、改善策を考えていきたい。

13.4.1 「難度の高さ」について

はじめに、「難度の高さ」について、全体として難度が高いというコメントが得られた。以下、Sheet1の一部を例として示す。

図7 Sheet1の初版

(Ⅱ)観察してみよう！

★(Ⅱ-I)用例を見て、以下の問題を考えてみよう！(上の正当例も合わせて考えてね)。

(1)「ノ」を使用して名詞を修飾する形状詞と「ナ」を使用した形状詞と比べて、どちらが多いですか？

「ナ」:()語

「ノ」:()語…

参考シート

(1) **広義の「ナ型」**(「ナ型」と「ナ寄り型」)のほうが広義の「ノ型」(「ノ型」と「ノ寄り型」)より**多い**

(2)「ナ」または「ノ」を**排他的に選ぶ語は少ない**

(3)「ナ」と「ノ」のいずれにおいても選好性を持たない純粋な「両用型」が少なく、「ノ」または「ナ」の**どちらかを優先的に使用する**。…

図7を見ると、タスクシートの解説や参考シートの部分に専門用語を用いたり、説明文が長すぎたりする問題点が確認された。これらは学習者の理解に困難をもたらす可能性がある。13.3.4で述

べたように、本シートは上級学習者を対象として開発されたものだが、現場の教師が指摘するように、「学習者のレベルの差が大きい」ため、上級学習者への指導であるとしても、必ずしもすべての学習者が理解できるとは限らない。

そこで、教師 1 のコメントに基づき、すべての解説に中国語訳をつけることとした。以下は Sheet1 の改善版である。

図 8 Sheet1 の改善版

(Ⅱ)観察してみよう！

★用例を見て、以下の問題を考えてみよう！（上の正当例も合わせて考えてね。）

(1)「ノ」を使用して名詞を修飾する形状詞（ここでは伝統文法でいう形容詞と形容動詞を統合した概念を「形状詞」と呼ぶ）と「ナ」を使用した形状詞と比べて、どちらが多いですか？（使用「ノ」修飾名詞の形容詞和使用「ナ」修飾名詞の形容詞相比，哪一个数量更多？（这里所说的「形状词」，是指传统的文法中的形容词和形容动词的总称。））

「ナ」:()語

「ノ」:()語…

参考シート

(1) **広義の「ナ型」**（「ナ型」と「ナ寄り型」）のほうが広義の「ノ型」（「ノ型」と「ノ寄り型」）より**多い**。

（广义的「ナ型」形容词比「ノ型」形容词数量更多。（广义的「ナ型」形容词，即「ナ型」和「ナ寄り型」，广义的「ノ型」形容词，即「ノ型」和「ノ寄り型」。））

(2)「ナ」または「ノ」を**排他的に選ぶ語は少ない**。（只用「ナ」或者只用「ノ」修饰名詞的形容詞較少。）

(3)「ナ」と「ノ」のいずれにおいても選好性を持たない純粋な「両用型」が少なく、「ノ」または「ナ」の**どちらかを優先的に使用する**。（没有偏好性，「ナ」和「ノ」几乎同等频率使用的纯粹的「両用型」形容词较少，一般优先使用「ナ」或者「ノ」的其中一个。）…

このように、すべての説明に中国語訳をつけることで、シートの難度が下げられるのではないかと考えられる。

13.4.2 「問題の設定方法」について

次に、「問題の設定方法」について、すでに述べたように、(1)「振り替えてみよう(2)！」の2問題が重なっている(S3)，(2) Sheet1 の練習問題がリッカートスケール式に換えたほうが良い(T2)，(3) Sheet 2 の「読んでみよう！」の(4)問の選択肢の設定が不足している(S3)，という3つのコメントが得られた。以下、コメント(1)，コメント(2)，コメント(3)に当たる部分をそれぞれ図 9，図 10，図 11 に示す。

図 9 「振り替えてみよう(2)！」の初版

★(Ⅱ-Ⅲ)振り返ってみよう(2)！

(1) 上記の問題のうち、まだよく理解できていないのは()ですか？(2) 具体的にどのポイントが理解できていないですか？()

図 10 Sheet1 の練習問題の初版

★(Ⅳ-Ⅰ)次の()に入るもっともよいものを、1・2・3・4・5 から 1 つ選びなさい。

(1) 偶然()一致	(2) 一定()条件	(3) 正確()情報
(4) 別々()場所	(5) 公式()場	(6) 着実()推進

図 11 Sheet 2「読んでみよう！」の(4)問の初版

★(Ⅲ-Ⅰ)配布資料を読んで、以下の穴を埋めてみよう！

(4)「綺麗」は()ジャンルで多く使用されている理由として、個人の用字が反映され()、表記統制の影響を受け()ことが挙げられる。

図 9 を見ると、コメント(1)に指摘された通り、2 つの問題は重なっていると思われるため、改善版(表 20)においては、それぞれ(1)「上記の問題のうち、まだ理解できていないのはありますか」、(2)「あるなら、具体的にどのポイントが理解できていないですか」という 2 つに置き換えた(表 20)。

図 12 「振り替えてみよう(2)！」の改善版

★(Ⅱ-Ⅲ)振り返ってみよう(2)！

(1) 上記の問題のうち、まだ理解できていないのはありますか？(2) あるなら、具体的にどのポイントが理解できていないですか？()

また、図 10 を見ると、コメント(2)に指摘されたように、「ナ」と「ノ」の選択は必ずしも 2 択 1 の問題ではなく、変動の幅が存在する。しかしながら、もし 5 段階のリッカートスケール形式で学習者に提示するような改変を行うと、問題がさらに難しくなり、逆に学習者を混乱させる可能性もあるだろう。また、すでに述べたように、本シートの練習問題についてはコーパスにおける典型性の高い用例を抽出している。これらの用例は曖昧性が少なく、「ナ」と「ノ」の択一選択にしたほうがむしろ適切だろう。そのため、この点については、あえて現行のままとして、改善しないこととしたい。

最後に、図 11 を見ると、指摘の通り、学習者が何を括弧に入れるべきかを迷う可能性が高いため、改善版(図 13)においては、「やすい・にくい」という選択肢を括弧の後ろに付けるようにした。こ

れにより、学習者がより理解しやすくなるのではないかと考えられる。

図 13 Sheet 2「読んでみよう！」の(4)問の改善版

★配布資料を読んで、以下の穴を埋めてみよう！	
(4)「綺麗」は()ジャンルで多く使用されている理由として、個人の用字が反映され()(やすい・にくい)、表記統制の影響を受け()ことが挙げられる(やすい・にくい)。(「綺麗」在()領域经常被使用的原因，是因为这个领域比较()反映作者的用字，比较()受到对表記的要求的影响。)	

13.4.3 「標識の説明方法」について

続いて、「標識の説明方法」について、Sheet2 における「φ」の意味(T2, S3)と、Sheet3 における「◎」の意味(S2, S3)が分かりにくいとのコメントが得られた。以下、それぞれに当たる部分を図 14 と図 15 に示す。

図 14 Sheet2 における「φ」を含む部分の初版

★例を見て空欄を埋めましょう！					
	「ナ」	「ノ」	「シタ」	「的φ」	「的ナ」
(1) 前にどのようなパターンと結んでいますか？	例：修飾副詞 名詞＋ノ				

図 15 Sheet3 における「◎」を含む部分の初版

★(Ⅰ-Ⅱ)答えを確認してみよう！	
(1') あゆは、(◎きれい ×キレイ ×綺麗)な川にしかいない魚で、ほかにも、いわな、やまめ、さけなどの魚がいます。(教科書)	
(2') 約四十人が、収穫したレタスをみそ汁やサラダにして、(◎きれい ×キレイ ×綺麗)に管理された開放感のある庭園で昼食を楽しんだ。(新聞)	
(3') 医学的視点から(◎キレイ ◎きれい ×綺麗)を実現、ドクターズコスメの力を研究。(雑誌(広告))	
(4') デスクトップ用に(◎綺麗 ○キレイ ○きれい)なジブリの画像が欲しいです。(知恵袋)	

図 14 を見ると、「的φ」と「的ナ」という 2 つの連体修飾標識が並列しており、「φ」の標識が削除されても学習者の理解に妨げないと思われるため、改善版においてはすべての「φ」の標識を削除することとした(図 16)。

図 16 Sheet2 における「φ」を含む部分の改善版

★例を見て空欄を埋めましょう！					
	「ナ」 (例:安定な原子)	「ノ」 (例:安定の 効果)	「シタ」 (例:安定した 生活)	「的」 (例:安定的 発展)	「的ナ」 (例:安定的 な体制)
(1)「安定」の前にどのようなパターンと結んでいますか？(「安定」的各種連体修飾模式分別に接続在什么样的用法之后?)	例:程度副詞 名詞+ノ (例: 程度副詞, 名詞+ノ)				

また、図 15 を見ると、「◎」「○」「△」「×」という 4 つの標識の意味が分かりにくかったため、改善版においては、比率により 4 つの標識を 3 つに絞り、また、以下のように注を付けることとした(図 17)。

図 17 Sheet3 における「◎」を含む部分の改善版

★(Ⅰ-Ⅱ)答えを確認してみよう！
(1)あゆは、(◎ <u>きれいい</u> × <u>キレイ</u> × <u>綺麗</u>)な川にしかいない魚で、ほかにも、いわな、やまめ、さけなどの魚がいます。(教科書)
(2)約四十人が、収穫したレタスをみそ汁やサラダにして、(◎ <u>きれいい</u> × <u>キレイ</u> × <u>綺麗</u>)に管理された開放感のある庭園で昼食を楽しんだ。(新聞)
(3)医学的視点から(◎ <u>キレイ</u> ○ <u>きれいい</u> × <u>綺麗</u>)を実現、ドクターズコスメの力を研究。(雑誌(広告))
(4)デスクトップ用に(◎ <u>綺麗</u> ○ <u>キレイ</u> ○ <u>きれいい</u>)なジブリの画像が欲しいです。(知恵袋)
(注:◎:この文脈においてもっとも使用されやすい。 ○:この文脈において使用するのがよい。 ×:この文脈においてほとんど使用しない。)

13.4.4 「用例の量」について

「用例の量」については、すでに述べたように、(1)Sheet1 の参考シートに列挙した各型の単語が多すぎる(T2)ことと、(2)参考シートの図表や練習問題のところに用例を付け加えたほうが理解しやすい(S2, S3)こと、という 2 点が指摘された。以下、コメント(1)とコメント(2)に当たる部分を図 18 と図 19 に示す。

図 18 Sheet1 の参考シートの一部

★【主要漢語形状詞の型分類】	
型分類	「形状詞可能型」漢語
「ノ型」	三角
「ノ寄り型」	一定, 無数, 沢山, 単独, 最高, 直接, 普通, 大量, 同一, 個別, 反対, 普遍, 秘密, 独自, 一杯, 当然, 別々, 共通, 拔群, 種々, 不足, 無限, 偶然, 固有, 新規, 不意, 特有, 必須, 連続, 最悪, 最低, 必死, 同様, 長寿, 緊急, 独特, 公式, 神秘, 不良, 不明, 不満, 苦痛, 肝心
「両用型」	相当, 高速, 夢中, 優位, 水平, 満足, 不能, 自然, 不正, 苦勞, 懸命, 平等, 高額, 無効, 得意
「ナ寄り型」	幸運, 特別, 垂直, 平和, 無事, 安心, 透明, 名誉, 好調, 正式, 貧困, 高度, 高級, 最適, 不安, 心配, 孤独, 不要, 自由, 高等, 幸福, 不法, 上手, 阿呆, 過剰, 非常, 純粹, 均等, 不幸, 正常, 違法, 平気, 貧乏, 異常, 不快, 馬鹿, 特殊, 正直, 慎重, 詳細, 安定, 正当, 簡易, 贅沢, 退屈, 有利, 皮肉, 乱暴, 意外, 公平, 危険, 温暖, 不利, 妥当, 有効, 可能, 十分, 多様, 誠実, 安全, 迷惑, 失礼, 極端, 良好, 優秀, 完璧, 健康, 熱心, 結構, 大事, 有力, 高価, 幼稚, 頻繁, 不当, 順調, 悲惨, 確實, 真剣, 柔軟, 面倒, 困難, 率直, 無理, 特異, 適当, 明確, 厄介, 曖昧, 元気, 有害, 残念, 親切, 簡単, 容易, 忠実, 微妙, 強力, 清潔, 活発, 広大, 必要, 知的, 重要, 適正, 余計, 冷静, 顕著, 完全, 丁寧, 公的, 偉大, 公正, 豪華, 急速, 単純, 重大, 大切, 快適, 有名, 主要, 新鮮, 貴重, 便利, 奇麗, 大変, 立派, 巨大, 奇妙, 適切
「ナ型」	正確, 複雑, 深刻, 邪魔, 豊富, 急激, 強烈, 着実, 愉快, 敏感, 厳密, 強引, 素朴, 健全, 法的, 円滑, 的確, 迅速, 私的, 大胆, 密接, 性的

図 19 参考シートの図表と練習問題の初版

Sheet1 の配布資料 ★【型分類】					
「ノ型」→「ナ」共起率※=0%					
「ノ寄り型」→「ナ」共起率<40%					
「両用型」→「ナ」共起率<60%					
「ナ寄り型」→「ナ」共起率<100%					
「ナ型」→「ナ」共起率=100%					
Sheet2					
★例を見て空欄を埋めましょう！					
	「ナ」	「ノ」	「シタ」	「的φ」	「的ナ」
(1) 前にどのようなパターンと結んでいますか？	例: 修飾副詞 名詞+ノ				

コメント(1)については、指摘されたように、単語の量が多く、学習者に全部覚えさせるのが難しいことも事実である。これは、13.2 で述べたように、参考シートの中に、学習者に必ず覚えさせたい情報と、必要な時に参考させたい参考情報の両方が含まれている。指摘された部分は、タスクシートに提示せず、参考シートだけに提示しているということは、この部分の内容は学習者が混乱する時に参考させたい参考情報であることを示しているため、ここは現行のままとして、改善しないことと

したい。

また、コメント(2)については、指摘された通りに用例を付け加えたほうがより理解しやすいと考えられるため、コメントに従いそれぞれ用例を付け加える。以下、用例を加えた図表と練習問題の部分の例を示す。

図 20 参考シートの図表と練習問題の改善版

Sheet1 の配布資料 ★【型分類】					
「ノ型」(例:三角) →ナ共起率 [※] =0%					
「ノ寄り型」(例:沢山) →ナ共起率:0%~40%					
「両用型」(例:相当) →ナ共起率:40%~60% (40%を含む)					
「ナ寄り型」(例:特別) →ナ共起率:60%~100% (60%を含む)					
「ナ型」(例:正確) →「ナ」共起率=100%					
Sheet2					
★例を見て空欄を埋めましょう！					
	「ナ」 (例:安定な原子)	「ノ」 (例:安定の 効果)	「シタ」 (例:安定した 生活)	「的」 (例:安定的 発展)	「的ナ」 (例:安定的 な体制)
(1)「安定」の前にどのようなパターンと結んでいますか？(「安定」的各種連体修飾模式分別连接在什么样的用法之后?)	例:程度副詞 名詞+ノ (例:程度副詞, 名詞+ノ)				

図 20 を見るとわかるように、たとえば Sheet1 の【型分類】のところに、各型の後ろに用例をつけることや、あるいは Sheet2 の各連体標識の後ろに「安定」の具体的な用例をつけることなどを工夫することで、学習者の理解に有益なのではないかと思われる。

13.4.5 「専門用語の量」について

「専門用語の量」について、専門用語が多く(T1)、特に「形状詞」(T2, S2)や「表外漢字」(S3)などの概念が分からないという指摘があった。たとえば、以下の表 21 を見てみよう。

図 21 専門用語を含んだ部分の初版

★(Ⅱ-I)用例を見て、以下の問題を考えてみよう！(上の正当例も合わせて考えてね)。

(1)「ノ」を使用して名詞を修飾する形状詞と「ナ」を使用した形状詞と比べて、どちらが多いですか？

「ナ」:()語

「ノ」:()語

この点の改善策として、(1)すでに述べたように学習シート全般に対して中国語訳を付け加えることと、(2)中国語には存在しておらず、中国語に翻訳しても理解には難しいと考えられる「形状詞」や「表外漢字」などの専門概念について説明を加えること、の2点が挙げられる。

図 22 専門用語を含んだ部分の改善版

★(Ⅱ-I)用例を見て、以下の問題を考えてみよう！(上の正当例も合わせて考えてね)。

(1)「ノ」を使用して名詞を修飾する形状詞(ここでは伝統文法でいう形容詞と形容動詞を統合した概念を「形状詞」と呼ぶ)と「ナ」を使用した形状詞と比べて、どちらが多いですか？

(使用「ノ」修飾名詞の形容詞和使用「ナ」修飾名詞の形容詞相比、哪一个数量更多？(这里所说的「形状词」,是指传统的文法中的形容词和形容动词的总称。))

「ナ」:()語

「ノ」:()語

図 22 のように、改善策として、シート全体に対して中国語訳をつけることと、専門用語「形状詞」について、「伝統文法でいる形容詞と形容動詞を統合した概念」のような説明を加えたこと、の2点が実施された。

13.4.6 「図表の説明方法」について

最後に、「図表の説明方法」について、参考シート(Sheet1)のところの型分類の範囲の説明が分かりにくい(T2)というコメントが得られた。図 23 は、参考シートの型分類部分の初版である。

図 23 型分類の範囲の説明部分の初版

★【型分類】

「ノ型」→「ナ」共起率^{*}=0%

「ノ寄り型」→「ナ」共起率<40%

「両用型」→「ナ」共起率<60%

「ナ寄り型」→「ナ」共起率<100%

「ナ型」→「ナ」共起率=100%

図 23 を見ると、確かに型分類の範囲の説明方法が誤解を招きやすいため、もともと「『ナ』共起率<40%」という説明を、「『ナ』共起率:0%~40%」という説明に変更した(図 24)。

図 24 型分類の範囲の説明部分の改善版

★【型分類】

「ノ型」(例:三角) →ナ共起率^{*}=0%

「ノ寄り型」(例:沢山) →ナ共起率:0%~40%

「両用型」(例:相当) →ナ共起率:40%~60% (40%を含む)

「ナ寄り型」(例:特別) →ナ共起率:60%~100% (60%を含む)

「ナ型」(例:正確) →「ナ」共起率=100%

以上、13.4 においては、前節で紹介した教師および学習者からのコメントに基づき、それぞれの改善策を考えた。なお、改善された具体的な学習シートおよび配布資料は、付録 4(学習シート 1(改善版)), 付録 6(学習シート 2(改善版)), 付録 8(学習シート 3(改善版))に参照されたい。

13.5 まとめ

以上、本章では、本研究で得られた非和語系語彙に関わる知見のうち、(1)漢語形状詞における連体修飾標識「ナ」と「ノ」の相違、(2)漢語形状詞における連体修飾標識「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的φ」・「的ナ」の意味機能的相違(「安定」を例として)、(3)異なる表記に含まれるニュアンスの相違(「奇麗」を例として)という3つのトピックをサンプルとして、CLJのための非和語系語彙指導シートの開発を試みた。また、現場の教師および上級学習者に対してアンケート調査を行い、得られたコメントに基づき改善を行ってきた。なお、実地での教育活動を実施していないことや、協力者の数は限られているなどの問題が残されている。これらの点については、今後の継続研究において引き続き改善を図っていきたい。

第IV部 まとめ

第 14 章 本研究で得られた知見および制約と課題

14.1 本論文で得られた知見

以上、本論文は、コーパス言語学・計量言語分析・日本語教育を有機的に組み合わせるという独自のアプローチのもと、(1)日本語における非和語系語彙の諸相の科学的な解明、(2)日本語学習者による実際の非和語系語彙の使用状況の解明、(3)中国語を母語とする日本語学習者を対象とした非和語系語彙指導シートの開発、の3点を目的として調査を行った。分析対象とした非和語系語彙の量と、分析に用いたコーパスに関してまだ拡張の余地が残されたものの、一定の有益な知見が得られたと結論できるであろう。以下、各部・各章の内容について簡潔に要約する。

本論文は全4部、全14章で構成されている。第I部「研究の枠組み」には4つの章が含まれている。まず、第1章において、日本語における非和語系語彙の重要性、また、日本語教育における非和語系語彙の研究の重要性を確認し、本研究の目的と構成を説明した。その後、第2章では、定義、現代日本語における位置づけ、日本語教育における位置づけ、そして、研究の現状という4観点から、非和語系語彙の諸相が紹介された。また、第3章では、本研究で扱う6つの具体的な研究課題に即して、非和語系語彙の先行研究が概観された。最後に、第4章「リサーチデザイン」では、本論文で使用したデータおよび統計手法について概説された。

第II部「非和語系語彙の言語特性の解明」には6つの章が含まれている。これらの章では、日本語母語話者コーパスの調査を通して、非和語系語彙の使用実態を解明した後、統語論、意味論、形態論、語用論の観点からその特性が検討された。

まず、第5章「使用実態:コーパスに基づく重要語彙の抽出」では、A(重要語抽出)に関して、コーパスにおける各言語変種の使用頻度と使用レンジという2つの観点から、「重要漢語」2865語、「重要外来語」1612語、あわせて「重要非和語系語彙」4477語が特定された。

また、第6章「統語論的特性:体言接続の問題(1)」では、非和語系語彙に関わる各種の統語的特性の中から連体接続の問題に焦点を絞り、非和語系語彙と5種の連体標識(「ナ」「ノ」「シタ」「的」「的ナ」)の共起許容度を調査した後、「安定」と「オープン」をサンプルとして、異なる連体標識を用いることで意味機能にどのような影響が生じるか調査した。その結果、(1)各標識に結合しうる語種においても頻度占有比においても「ノ」が圧倒的に多いこと、(2)「安定」を例として調査した場合、「安定シタ」>「安定的ナ」>「安定的φ」>「安定ノ」>「安定ナ」という頻度関係となり、「安定ナ」と「安定的ナ」はジャンル制限が高いこと、(3)「オープン」を例として調査した場合、「オープンシタ」>「オープンナ」>「オープンノ」という頻度関係となり、また、「オープンノ」と「オープンシタ」

は営業や催しを始めるという意味合いに使われ、「オープンナ」は隠しだてのないさま、開放的という意味合いに使われていること、などが明らかになった。

続く第 7 章「統語論的特性:体言接続の問題(2)」では、前章の議論を発展させ、類似した形式を持つ「ナ」と「ノ」に絞り、許容度調査と 2 標識の選択モデルの構築を行った。その結果、(1)「形状詞可能型」外来語であれ「形状詞可能型」漢語であれ、「ナ」のほうが多数を占めるが、「ノ」も 4 分の 1 程度使用されていること、(2)「形状詞可能型」外来語と「形状詞可能型」漢語の型分類について似たような構造を持ち、「ノ」または「ナ」を優先的に使用し、純粋な「両用型」の数は少ないこと、(3)前後要素による判別モデルを構築してみた場合、「ノ」を判別する場合よりも「ナ」を判別する場合のほうがより高い判別率が出ていること、などが確認された。

第 8 章「意味論的特性:類義漢語・外来語の使い分けの問題」では、類義の漢語・外来語の一例として「ストップ」と「停止」を取り上げ、両者の意味論的差異を調査した。その結果、(1)頻度の点において、「停止」は「ストップ」より 2 倍以上使用されること、(2)活用タイプの点において、「ストップ」は使役態が多く、「強制的・意図的」を含意しているのに対し、「停止」は受け身形が多く、「状況受け身的・必然的」という意味を含んでいること、(3)特徴ジャンルの点において、「ストップ」はくだけた文脈で好まれ、「停止」はよりフォーマリティの高いジャンルで多用されること、(4)共起語の点において、「ストップ」は「抵抗の大きいもの、または進行中の動作」を表す語と共起することが多いが、「停止」は機械に関わる名詞、そして、身体の機能に関わる名詞など、「抵抗の小さいもの」を表す語と共起することが多いこと、が明らかになった。

加えて、第 9 章「形態論的特性:表記ゆれの問題」では、非和語系重要語彙について、(1)表記のゆれがどの程度存在しているのか、(2)表記選択に影響する要因はどのようなものか、(3)表記のゆれが存在する語彙について異なる表記に意味やニュアンスの違いが存在するかを調査した。漢語について副詞の仮名表記問題を、外来語について二重母音[ei]を含む外来語の連母音表記問題を取り上げて調査を行った。その結果、(1)漢語について、a.仮名表記率の高い漢語副詞は漢字の意味との関連が薄く、単語の意味の推測が難しいこと、b.「奇麗」を例とした場合、カタカナ表記は名詞用法が多用され、視覚的にきわだたせる効果を発揮する傾向があること、などが明らかになった。(2)外来語について、a.その連母音表記率と音韻特性の関係は薄く、原語のスペルによって表記が決まること、b.外来語「プレーヤー」を例とした場合、連母音表記は書き手の個性が重視される分野と頻度の少ない語義において多用され、変わった表記を使用することで内容の特殊性を伝えようとしている傾向があること、が明らかになった。

最後に、第 10 章「語用論的特性:産出モード・産出環境の影響」では、産出モードと産出環境

という 2 つの観点から、非和語系語彙の使用に及ぼす影響を調査した。その結果、(1)産出モード別使用量について、漢語の場合も外来語の場合も、書き言葉における使用量が話し言葉より多いことがわかった。(2)産出モード別語彙内容について、a.漢語の場合、書き言葉では、主体や客体となりうる名詞や関係を表す抽象名詞が多く、話し言葉では程度副詞やくだけたニュアンスを含意する名詞の副詞的使用が多いこと、b.外来語の場合、話し言葉においては食料品や人称、そして生活用品などを表す外来語が多いが、書き言葉においては抽象的概念を表す語が多く、また、動詞として使う外来語が多いこと、がわかった。(3)産出環境別使用量について、a.漢語の場合、情報伝達型のジャンルでは漢語の使用量が増え、対人関係構築型のジャンルでは漢語の使用量が減ること、b.外来語の場合、おしゃれの感じや斬新さを求められているジャンルにおいては外来語が使用されやすいこと、が確認された。(4)産出環境別語彙内容について、漢語の場合も外来語の場合も、上位語の重なり語数はジャンル間に大きく異なるが、ジャンル汎用漢語には機能語的な特質を持つ語が多いのに対して、外来語のジャンル汎用語には機能語がほとんど見られず、内容が一般生活と関わって使いやすいため汎用語になる語彙が多いこと、が明らかになった。

以上の母語話者コーパスの調査結果をふまえ、第Ⅲ部「中国語を母語とする日本語学習者のための非和語系語彙指導」では学習者コーパスの分析を行う。第Ⅲ部には 3 つの章が含まれる。

まず、第 11 章「使用実態の横断調査」では、縦断型学習者コーパスを利用し、様々な習熟度段階にある学習者の非和語系語彙の使用実態を調査した。その結果、(1)漢語使用について、a.異なる母語を持つ学習者間の比較を見ると、中国語と韓国語を母語とする学習者の漢語使用は母語話者のと類似し、英語を母語とする学習者の漢語使用はより逸脱していること、b.習熟度別比較を見ると、使用量や語彙難度、そして上位語の一致率の 3 観点については母語話者に接近しているが、特徴語から見れば、必ずしも母語話者に接近していないこと、が確認された。(2)外来語使用について、a.他の母語を持つ学習者と比較すると、中国語を母語とする学習者の外来語使用には過少使用が見られ、より基本的なものしか使用できていないこと、b.習熟度別比較を見ると、タイプや語彙難度、そして上位語の一致率の 3 観点については母語話者と接近しているが、特徴語についてはほとんど変化が見られていないこと、などが確認された。

続く第 12 章「使用実態の縦断調査」においては、縦断型学習者コーパスを用い、各学習段階にある学習者の非和語系語彙の使用実態を調査した。その結果、(1)漢語使用について、学習段階が進むにつれて、a.トークンは明確に上昇していないが、タイプは 22.70%増加していること、b.語彙難度について若干増加していること、c.上位語の一致率については変化しておらず、35%に留まっていること、d.特徴的に使用する漢語の語彙レベルは増加しているが、母語話者への接近が

示されていないこと、e.誤用数は一貫して減少したが、多用される誤用パターンはあまり変化していないこと、などが確認された。また、(2) 外来語使用について、学習段階が進むにつれて、a.トークンは一貫した上昇が示されたが、母語話者より遥かに足りないこと、b.語彙難度については一貫した上昇が示され、5 学期になると母語話者に上回ること、c.上位語の一致率については 20%に留まっていること、d.特徴語について、使用する外来語の内容は徐々に日常語から専門語に変化し、母語話者の外来語使用と違う方向に進行したと言えること、e.誤用数は確実に減少したが、どの学習段階においても「発音の誤り」パターンに属する誤用が圧倒的に多いこと、が確認された。

最後に、第 13 章「指導シートの開発と検証」においては、本研究で得られた知見を実際の日本語教育に応用する可能性を検討し、非和語系語彙指導シートの開発の試行を行い、その内容について検討を加えた。具体的には、(1) 漢語形状詞における連体修飾標識「ナ」と「ノ」の相違、(2) 漢語形状詞における連体修飾標識「ナ」・「ノ」・「シタ」・「的 ϕ」・「的ナ」の意味機能的相違（「安定」を例として）、(3) 異なる表記に含まれるニュアンスの相違（「奇麗」を例として）という 3 つのトピックをサンプルとして、CLJ のための非和語系語彙指導シートの開発を試みた。また、上級学習者 3 名、中国人日本語教師 3 名にヒアリングを行った結果、シートの利点と欠点を確認された。これをふまえ、シートの改善を行った。

第Ⅳ部「まとめ」、第 14 章「本研究で得られた知見および制約と課題」では、以上の議論を総括し、本論文で得られた知見、また、制約と課題についてまとめた。

14.2 本論文の課題と今後の方向性

本研究では、日本語学・日本語教育学において、必ずしも十分な扱いがなされていなかった非和語系語彙に焦点を定め、コーパス言語学の手法を適用することで、現代日本語におけるその位置づけと、学習者の習得上の問題を多角的に議論してきた。多くの興味深い知見が得られと考える一方、課題も多く残されている。ここでは、(1)コーパス種別、(2)話し言葉データ比率、(3)質的用例分析、(4)対象学習者、(5)学習シート効果検証、の 5 点について述べていきたい。

まず、(1)「コーパス種別」について、本研究は、非和語系語彙の言語特性調査において、書き言葉では BCCWJ を、話し言葉では CEJC を使用した。すでに 4.1.1 節に述べたように、BCCWJ は書き言葉の多様な実態がとらえられる日本初の大規模均衡コーパスである一方、書籍ジャンルに偏っていることや、データの収集期間が統制されていないなど、データの均衡分布という点ではまだ問題点も残されている。また、CEJC は、さまざまな場面における日常会話をバランスよく収集した世界初の日常場面を扱うコーパスであるが、モニター版であるためデータ量が少ないことや、く

だけのジャンルに限られている, などの問題点も残されている。については, 今後, 書き言葉・話し言葉とも, 1 つのコーパスに限るのではなく, 他のコーパスや自作のデータベースを合わせて調査することで, 本研究で得られた結果が再現性を持つかどうかを確認し, 調査の範囲をさらに拡大していく必要がある。

次に, (2)「話し言葉データ比率」について, 今回の重要語抽出に当たっては, 話し言葉コーパスを 1 つのジャンルとして扱った。しかし, 書き言葉のジャンル数のほうが圧倒的に多いため, この方法で抽出した語彙は書き言葉に偏ったものとならざるを得ず, 必ずしも日本語全体が反映されているとは言えない。この点については, 上述のように, 使用できる話し言葉コーパスの種別に制約がある点も関わるが, 今後, より多くの産出モードが反映できる話し言葉コーパスや自作のデータベースを使用することで, さらに重要語抽出の精緻化を図っていきたい。

(3)「質的用例分析」について, 本研究では, 統語論, 意味論, 形態論などの観点について調査を行う際, 出現状況の量的調査に加えて, それぞれサンプル語を決めて具体的な文脈における使用を調査した。ただし, サンプル語はそれぞれ 1 語に限られ, 得られた結論が他の語においても再現されるかについては確認を行えていない。この点について, 今後さらなる高頻度語を質的調査のサンプルに取り上げ, 具体的な文脈の中でそれらがどのような意味機能を果たしているかを研究していくことで対応したい。

(4)「対象学習者」について, 冒頭でも述べたように, 本研究は日本語学習者のうち, 圧倒的に多数を占めている中国語を母語とする学習者を念頭に置いて調査を行った。しかし, 第Ⅱ部の調査で得られた非和語系語彙に関わる知見の大部分は, 他の母語を有する学習者にも適応できるものと考えられる。本研究においては, 中国語母語話者に議論の対象を限定したため, 得られた知見のうち, どの部分が幅広い学習者に適用可能で, どの部分が中国語話者のみに適用されるかについては整理が十分に行えていない。この点については, 今後, 分析する学習者の母語の範囲を拡張するとともに, 現場での実証検証で対応していきたい。

最後に, (5)「学習シート効果検証」について, 第 13 章では, 本研究で得られた非和語系語彙に関わる知見のうち, 3 つのトピックをサンプルとして指導シートの開発を試みた。また, 現場の教師および上級学習者のフィードバックを得て改善の方向性を示した。ただし, 改善版のシートを用いた実践は行っていない。このため, 本シートを実際に現場で使用した場合にどのような効果があり, また, どのような問題が生じるか, についてのデータはまだ得られてない。近い将来, 筆者が日本語教育の現場に関わることで, 開発した学習シートの効果を実地に検証するとともに, 本研究で試みたような, コーパス研究を基盤とする日本語学習支援システムの総合的確立の可能性を探っ

ていくこととしたい。

参考文献

- 荒川清秀(1979)「中国語と漢語:文化庁『中国語と対応する漢語』の評を兼ねて」『愛知大学文学論叢』,62,361-388.
- 安楽花(2011)「日本語学習者に対するカタカナ語教育の問題と提案」『玉藻』(フェリス学院大学国文学会),46,55-66.
- 石井正彦(2002)「『文章における臨時一語化』の基本類型」『日本語学と言語学』東京:明治書院.
- 石川慎一郎(2012)『ベーシックコーパス言語学』東京:ひつじ書房.
- 石川慎一郎(2016)「日本語学習者コーパスの教育応用における留意点—『多言語母語の日本語学習者横断コーパス』に見る母語話者 L1 産出データの安定性検証を中心に—」『言語資源活用ワークショップ発表論文集』,1,190-200.
- 石川慎一郎(2017)『ベーシック応用言語学:L2 の習得・処理・学習・教授・評価』東京:ひつじ書房.
- 石川慎一郎・前田忠彦・山崎誠(2010)『言語研究のための統計入門』東京:くろしお出版.
- 石綿敏雄(1985)『日本語のなかの外国語』東京:岩波書店.
- 一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会(2015)「外来語(カタカナ)表記ガイドライン」(第三版)https://www.jtca.org/standardization/katakana_guide_3_20171222.pdf(2020年1月5日閲覧).
- 井上道雄(2004)「カタカナ語(外来語)基本語彙 550 語:その語彙特性と選定基準」『神戸山手大学紀要』,6,65-79.
- 井上道雄(2005)「カタカナ語(外来語)基本語彙 550 語からの最重要語の選定とその妥当性」『神戸山手大学紀要』,7,1-14.
- 上野山愛弥(2010)「日本語学習者の外来語習得:地域別に見られる習得の傾向」『産業と経済』(奈良産業大学),24(5),1-20.
- 遠藤織枝(1984)「接尾語『的』の意味と用法」『日本語教育』,53,125-138.
- 王娟(2008)「『的』付きナ形容詞の統語機能に関して」『ニダバ』(西日本言語学会),37, 125-134.
- 大島弘子・中島晶子・ブラン＝ラウル(2010)『漢語の言語学』東京:くろしお出版.
- 太田泰弘(2008)「専門用語策定の諸問題:日本語で書かれた専門用語は生き残れるか」『情報知識学会誌』,18(4),315-322.
- 岡本佐智子(1996)「外来語の習得戦略:中国で学ぶ中国人研究者に見る外来語の中間言語」『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』,23,97-109.

- 荻野綱男(2006)「形容動詞連体形における『な/の』選択について:田野村氏の結果を WWW で調べる」『計量国語学』,25(7),309-317.
- 荻野綱男(2013a)「外来語の語形のゆれ:チックとティック」『計量国語学』(計量国語学会),29(1),34-39.
- 荻野綱男(2013b)「外来語の語形のゆれ(2):バとブァ」『計量国語学』(計量国語学会),29(2),59-65.
- 荻野綱男(2014)『ウェブ検索による日本語研究』東京:朝倉書店.
- 奥垣内健(2010)「カタカナ表記語の意味についての一考察:身体性とイメージの観点から」『言語科学論集』(京都大学),16,79-92.
- 小椋秀樹(2012)「コーパスに基づく現代語表記のゆれの調査:BCCWJ コアデータを資料として」『第 1 回コーパス日本語学ワークショップ』(国立国語研究所),321-328.
- 小椋秀樹(2013)「外来語語末長音の表記のゆれについて」『第 4 回コーパス日本語学ワークショップ予稿集』(国立国語研究所),243-248.
- 小椋秀樹(2015)「外来語における『ei』の表記のゆれ」『第 8 回コーパス日本語学ワークショップ予稿集』(国立国語研究所),75-82.
- 郭奂君(2012)「現代日本語におけるカタカナ語使用状況の計量的研究」,神戸大学修士論文.
- 学研辞典編集部(2016)『用例でわかるカタカナ新語辞典』(改訂第 4 版)東京:学研プラス.
- 柏野和佳子(2014)「『現代日本語書き言葉均衡コーパス』によるカタカナ表記語の研究」『日本語学』(明治書院)33(10),98-103.
- 加藤重広(2003)『日本語修飾構造の語用論的研究』東京:ひつじ書房.
- 亀井孝・河野六郎・西田龍雄(1996)『言語学大辞典』東京:三省堂.
- 河住有希子(2005)「中国人学習者の漢字語彙使用に見られる問題点」『早稲田大学日本語教育研究』,7,53-65.
- 川森雅仁・島津明(1996)「話し言葉における冗長表現の解釈」『音声言語情報処理』,14,31-38.
- 喜古容子(2007)「片仮名の表現効果:戦後の小説を資料に」『早稲田日本語研究』,16,61-72.
- 北澤尚・李金蓮(2009)「日本語の接尾辞『的』に対応する中国語表現について」『東京学芸大学紀要 人文社会科学系』,60,161-176.
- 許恵玉(2011)「日本語と中国語の同形語の意味・用法の差異について:漢字熟語の使用に関する調査結果の分析」『山口国文』,34,108-120.
- 桐生りか(2007)「新聞の面種と外来語」『公共媒体の外来語:「外来語」言い換え提案を支える調

- 査研究』東京：国立国語研究所.
- 金剣峰・野崎浩成(2010)「中国人留学生を対象とした情報用語のカタカナ語の個別指導：入学前教育としての情報教育」,愛知教育大学修士論文.
- 金丹(2017)「日中同形語における二文字漢語についての一考察」『東京外国語大学記述言語学論集』,13,87-94.
- 金城ふみ子(1998)「『大学広告』におけるカタカナ表記語及びアルファベット表記語の使用状況：調査報告」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』,10,97-118.
- 鯨井綾希(2012)「同一名詞の反復から見たジャンル間の文体差とその要因：コーパスを用いた定量的分析を通して」『言語科学論集』(京都大学),16,13-25.
- 久屋愛実(2013)「現代書き言葉における外来語の共時的分布：『ケース』を例として」『国立国語研究所論集』(国立国語研究所),6,45-65.
- クルボノーヴァ(2016)「日本語の外来語の研究」『日本語・日本語文化研修プログラム研修レポート集』(広島大学国際センター),31,64-74.
- 呉人恵・趙虹(2008)「日本語の接尾辞『一的』の意味論および統語論的一考察」『富山大学人文学部紀要』,49,19-43.
- 見坊豪紀・市川孝・飛田良文・山崎誠・飯間浩明・塩田雄大(2014)『三省堂国語辞典』東京：三省堂.
- 胡環(2016)「中国語を母語とする初級日本語学習者における日本語漢字語彙の学習ストラテジーに関する調査」『アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル』,8,37-44.
- 胡曉睿(2012)「日本語学習者の作文における漢語の使用について」『第九回国際日本語教育・日本研究シンポジウム予稿集』香港日本語教育研究会.
- 小磯花絵・小木曾智信・小椋秀樹・宮内佐夜香(2009)「コーパスに基づく多様なジャンルの文体比較—短単位情報に着目して—」『言語処理学会年次大会発表論文集』,15,594-597.
- 小磯花絵・天谷晴香・居關友里子・臼田泰如・柏野和佳子・川端良子・田中弥生・西川賢哉・伝康晴(2018)「『日本語日常会話コーパス』モニター公開版の概要」『言語資源活用ワークショップ発表論文集』,3,475-484.
- 五味政信・今村和宏・石黒圭(2006)「日中語の品詞のズレー二字漢語の動詞性をめぐって—」『一橋大学留学生センター紀要』,9,3-13.
- 国立国語研究所(1962)『現代雑誌九十種の用語用字第一分冊：総記および語彙表』東京：秀英出版.

- 国立国語研究所(1972)『電子計算機による新聞の語彙調査Ⅲ』東京:秀英出版.
- 国立国語研究所(1984)『日本語教育のための基本語彙調査』東京:秀英出版.
- 国立国語研究所(2005)『現代雑誌の語彙調査:1994年発行70種』東京:国立国語研究所.
- 国立国語研究所「外来語」委員会(2006)『分かりやすく伝える 外来語 言い換え手引き』東京:ぎょうせい.
- 近藤安月子・小森和子(2012)『研究社 日本語教育事典』東京:研究社.
- 斎賀秀夫(1955)「総合雑誌の片かな語」『言語生活』(筑摩書房) 46,37-45.
- 迫田久美子・小西円・佐々木藍子・須賀和香子・細井陽子(2016)「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」『国語研プロジェクトレビュー』, 6(3), 93-110.
- 佐竹秀雄(1989)「若者の文章とカタカナ効果」『日本語学』(明治書院) 8(1), 60-67.
- 佐藤琢三(2013)「外来語研究における意味分析:『ムード』と『雰囲気』の類義分析による事例研究」『学習院女子大学紀要』, 15, 45-46.
- 時事通信社出版局(2019)『教育用語の基礎知識』東京:時事通信社.
- 周慶玲(2014)「語種による類義語使用の特徴:大学生に対する調査に基づいて」『静岡産業大学情報学部研究紀要』, 16, 33-44.
- 秀茹(2013)「日中両言語における外来語の対照研究」, 広島市立大学博士論文.
- 邵俊秋・才田春夫(2019)「中国人日本語学習者の外来語に関する意識と外来語教育の必要性」『富山国際大学現代社会学部紀要』, 11(2), 83-92.
- 陣内正敬(2008)「日本語学習者のカタカナ語意識とカタカナ語教育」『言語と文化』(関西学院大学), 11, 47-60.
- 新村出(2018)『広辞苑国語辞典(第7版)』東京:岩波書店
- 杉本つとむ・岩淵匡(1994)『日本語学辞典』東京:おうふう.
- スリーエーネットワーク(2012)『みんなの日本語初級Ⅰ』東京:スリーエーネットワーク.
- スリーエーネットワーク(2012)『みんなの日本語初級Ⅱ』東京:スリーエーネットワーク.
- スワン彰子(1994)「形容動詞+『な』『の』について」『講座日本語教育』, 29, 245-269.
- 田島毓堂・金華(2011)「日本語の外来語の増加と中国の日本語教育」『人間文化』(愛知学院大学人間文化研究所), 26, 138-128.
- 田中牧朗(2006)「現代社会における外来語の実態」『新「ことば」シリーズ 19 外来語と現代社会』国立国語研究所.
- 田辺和子・中條清美(2014)「日英新聞コーパス及びBCCWJ比較に基づく二字漢語動名詞使用

- の分析」『日本女子大学紀要』,63,1-11.
- 田野村忠温(2002)「形容動詞連体形における『な/の』選択の一要因:『有名な』と『無名の』」『計量国語学』23(4),207-213.
- 多門靖容・半沢幹一(2005)『ケーススタディ日本語の表現』東京:おうふう.
- 玉岡賀津雄(1997)「中国語と英語を母語とする日本語学習者の漢字および仮名表記語彙の処理方略」『言語文化研究』17,65-77.
- 中條清美・西垣知佳子・内堀朝子(2007)「パラレルコーパスを利用した文法発見学習の試み」『日本大学生産工学部研究報告 B 文系』40,33-46.
- 陳曉静(2014)「類義語としてのカタカナ語・漢語の意味の相違:『ケア』と『介護』の意味上の相違について」『立命館文学』637,1438-1450.
- 陳毓敏(2003)「中国語を母語とする日本語学習者における漢語習得研究の概観:意味と用法を中心に」『言語文化と日本語教育』,増刊特集号,96-113.
- 陳志文(2012)「漢語動名詞についての日中対訳研究」『国立高雄第一科技大学応用外語学報』,18,111-126.
- 陳淑娟(2007)「作文における漢語語彙の習得についての考察:LARP at SCU のデータに基づく事例研究」『台湾日本語文学報』,22,379-403.
- 土屋信一(1976)「新聞語彙調査のカタカナ表記語」『昭和 50 年度国立国語研究所研究発表会要旨:用語用字調査と機械処理』(国立国語研究所),34-39.
- 寺嶋弘道(2011)「日本語教育におけるコーパスの応用:データ駆動型学習とその実践方法の考察」『ポリグロシア』,20,91-103.
- 鄧琪(2017a)「渡日留学生のための重要外来語語彙リストの開発:アカデミック・ジャパニーズの観点から」『統計数理研究所共同研究リポート』,373-374,89-104.
- 鄧琪(2017b)「『外来語』言い換え提案」に対する一考察:朝日新聞データベースを用いた計量的調査をふまえて」『電子情報通信学会技術研究報告』,117(81),19-24.
- 鄧琪(2018a)「中国人日本語学習者の外来語使用に対する一考察:『多言語母語の日本語学習者横断コーパス』を用いた調査をふまえて」『Learner Corpus Studies in Asia and the World (LCSAW)』,3,241-261.
- 鄧琪(2018b)「現代日本語における 4 種の外来語特殊表記:日本語母語話者・中国語母語話者の意識調査及び現代小説コーパスの調査をふまえて」『統計数理研究所共同研究リポート』,400,97-110.

- 鄧琪(2019a)「日本語外来語の新聞におけるジャンル別出現状況の調査:朝日新聞「聞蔵 II ビジュアル」を用いた計量的調査」『統計数理研究所共同研究リポート』,414,145-156.
- 鄧琪(2019b)「日本語における外来語:コーパス言語学と日本語教育の視点から」,神戸大学修士論文.
- 鄧琪(2019c)「コーパスに基づく外来語形状詞の後続要素「ナ」・「ノ」についての調査」『電子情報通信学会技術研究報告』119(114),25-30.
- 鄧琪(2020)「中国語を母語とする日本語学習者の発話における漢語使用の実態:『多言語母語の日本語学習者横断コーパス』を用いた調査」『統計数理研究所共同研究リポート』,435,121-138
- 鄧琪(2021a)「非和語系語彙の連体修飾用法に対する一考察:異なる連体標識の許容度に注目した計量調査」『統計数理研究所共同研究リポート』444,123-138.
- 鄧琪(2021b)「中国語を母語とする学習者の作文における日本語漢語の使用状況ー日本人のブログとの比較ー」『小出記念日本語教育研究会論文集』29,135-143.
- 鄧琪(2021c)「漢語名詞の連体修飾用法:異なる連体標識の選択が意味機能に及ぼす影響:漢語名詞「安定」を例にしたコーパス調査」『計量国語学』,33(2),65-80.
- 戸田利彦(1993)「外来語に関する基礎的研究(Ⅰ):基本外来語の語形を中心に」『比治山女子短期大学紀要』,28,57-68.
- 豊田豊子(1980)「漢字構成の『な形容詞』(形容動詞)」『日本語学校論集』,7,85-99.
- 中溝朋子・坂井美恵子・金森由美・大岩幸太郎(2011)「漢語名詞『進歩』と『向上』のコロケーションの異同について」『大学教育』(山口大学),8,88-95.
- 中山恵理子(1998)「非外来語の片仮名表記」『日本語教育』(日本語教育学会),96,61-72.
- 中山健一(2014)「漢語『了解』の意味変化:太陽コーパスの分析を中心に」『茨城キリスト教大学紀要』,48,1-14.
- 中山健一(2016)「類義漢語『貧乏』と『貧困』の品詞と意味:コーパス調査にもとづいて」『茨城キリスト教大学紀要』,50,1-14.
- 中山陽介(2004)「『特別な思い』と『特別の思い』:<第二形容詞>と<第三形容詞>の揺れについて」『阪大日本語研究』,16,131-158.
- 成田徹男・榊原浩之(2004)「現代日本語の表記体系と表記戦略:カタカナの使い方の変化」『名古屋市立大学大学院人間文化研究科人間文化研究』,2,41-55.
- 西尾実・岩淵悦太郎・水谷静夫(2011)『岩波国語辞典(第7版新版)』東京:岩波書店.

- 西尾実・岩淵悦太郎・水谷静夫・柏野和佳子・星野和子・丸山直子(2019)『岩波国語辞典(第8版)』東京:岩波書店.
- 日本語学会(編)(2018)『日本語学大辞典(初版)』東京:東京堂.
- 日本語教育学会(編)(2005)『新版日本語教育事典』東京:大修館書店.
- 野村雅昭(1999)「語彙調査データによる基本漢語の抽出」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』,12,21-54.
- 則松智子・堀尾香代子(2006)「若者雑誌における常用漢字のカタカナ表記化:意味分析の観点から」『北九州市立大学文学部紀要』,72,19-32.
- 橋本和佳(2003)「40年間の新聞投書欄に見る外来語の定着」『同志社国文学』,59,89-102.
- 橋本和佳(2006)「朝日新聞社説の外来語:出自別推移を中心に」『同志社国文学』,64,186-178.
- 蓮井理恵(2014)「動詞・形容詞・副詞における語種比率(RJF)を用いた文体分析—公人のスピーチ・「天声人語」・女性ファッション誌記事を事例に—」『学習院大学大学院日本語日本文学』,10,68-93.
- 馬場俊臣(2018)「『BCCWJ 図書館サブコーパスの文体情報』を利用した語の文体差研究の可能性」『言語資源活用ワークショップ発表論文集』(国立国語研究所),3,241-256.
- 林由紀子・松原茂樹(2007)「聞きやすい読み上げ音声出力のためのテキスト変換の検討」『第69回情報処理学会全国大会講演論文集』,2,581-582.
- 原田朋子(2016)「接尾辞『的』の連体修飾用法『一的φ』と『一的な』に関する一考察」『同志社大学日本語・日本文化研究』,14,1-27.
- 文化庁(編)(1978)『中国語と対応する漢語』東京:大蔵省印刷局.
- 堀尾香代子・則松智子(2005)「若者雑誌におけるカタカナ表記とその慣用化をめぐる」『北九州市立大学文学部紀要』69,35-44.
- 堀畑正臣(2019)「小・中学校の国語科に於ける語彙・文法の指導から表現指導への展開」『国語国文研究と教育』(熊本大学),57,45-66.
- 前川喜久雄(2011)「第1章『現代日本語書き言葉均衡コーパス』入門」『＜現代日本語書き言葉均衡コーパス＞利用の手引き 第1.1版』(国立国語研究所),1-18.
- 増地ひとみ(2013)「テレビ番組の文字情報における文字種の選択:番組のジャンルと語用論的要素に着目して」『早稲田日本語研究』,22,24-35.
- 松田梨江(2007)「外来語の変遷:新聞記事における外来語とカタカナ表記語」『東京女子大学言語文化研究』,16,115-132.

- 松村明・三省堂編集所(2006)『大辞林(第3版)』東京:三省堂.
- 松村明・三省堂編集所(2019)『大辞林(第4版)』東京:三省堂.
- 間淵洋子(2017)「漢語の仮名表記:実態と背景」『言語資源活用ワークショップ発表論文集』(国立国語研究所),1,201-213.
- 間淵洋子(2017)「近代雑誌コーパスにおける漢語語彙の特徴:BCCWJ との比較から」『国立国語研究所論集』,13,143-166.
- 三喜田光次(2000)『ここが違う日本語語彙と中国語語彙』天理大学出版部.
- 宮島達夫(1994)『語彙論研究』東京:むぎ書房.
- 宮島達夫・高木翠(1984)「雑誌九十種資料の外来語表記」『国立国語研究所報告』,79(5),43-76.
- 宮田公治(2007)「外来語『メリット』とその類義語の意味比較:新聞を資料として」『公共媒体の外来語-「外来語」言い換え提案を支える調査研究-』東京:国立国語研究所.
- 宮田公治・田中牧郎(2006)「外来語『リスク』とその類義語の意味比較:既存の類義語を持つ外来語の存在理由」『言語処理学会第12回年次大会発表論文集』(言語処理学会),12,600-603.
- 村木新次郎(2012)『日本語の品詞体系とその周辺』東京:ひつじ書房.
- 茂木俊伸(2015)「コーパスを用いた外来語サ変動詞の分析:『マーク』を例として」『文学部論叢』(熊本大学),106,83-95.
- 望月通子(2012)「基本語化を考慮したカタカナ外来語の学習と教材開発:その振り返りと新たな開発に向けて」『関西大学外国語学部紀要』,6,1-16.
- 文部科学省(1991)『外来語の表記』
https://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kijun/naikaku/gairai/index.html (2020年1月5日閲覧).
- 山崎誠(2011)「第2章『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の設計」『<現代日本語書き言葉均衡コーパス>利用の手引き 第1.1版』(国立国語研究所),20-27.
- 山下喜代(1999)「字音接尾辞『的』について」『日本語研究と日本語教育』森田良行教授古希記念論文集刊行,24-38.
- 山下直子・畑ゆかり・轟木靖子(2018)「日本語母語話者のカタカナ語と類義語の使い分け:カタカナ語とその類義の和語・漢語の調査から」『香川大学教育学部研究報告第I部』,149,45-52.
- 山田忠雄・柴田武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄・上野善道・井島正博・笹原宏之(2012)『新明解国語辞典』(第7版)東京:三省堂.

- 山田忠雄・倉持保男・上野善道・山田明雄・井島正博・笹原宏之(2020)『新明解国語辞典』(第 8 版)東京:三省堂.
- 山田雄一郎(2005)『来語の社会学:隠語化するコミュニケーション』東京:春風社.
- 吉沢典男・石綿敏雄(1979)『外来語の語源』東京:角川書店.
- 吉廣綾子(2003)「日本語の無声子音・有声子音, 中国語の有気音・無気音の比較:日本語母語話者及び中国語母語話者の発音を比較して」『徳島大学国語国文学』,17,1-13.
- 吉村弓子(1982)「現代日本語における漢字の表意性」『言語学論叢』(筑波大学),1,2-16.
- 羅濟立(2010)「カタカナ語の習得についての事例研究:LARP at SCU による縦断的資料の分析から」『台湾日本語文学報』,27,219-240.
- 羅蓮萍(2009)「『ナ形容詞』と『ノ形容詞』のイメージ:日本語母語話者の使用意識」『山口国文』,32,110-120.
- 李在鎬(2013)「形状詞の『ナ』共起と『ノ』共起のコーパス基盤調査」『計量国語学』,29(3),77-95.
- 李楓(2011)「漢語サ変動詞の卓立性の再考:動詞形・構文形比率を手掛かりとして」『第 6 回コーパス日本語学ワークショップ予稿集』(国立国語研究所),63-72.
- Halliday, M.A.K.(1985).*Spoken and written language*. Deakin University Press.
- Leech, G. (1998). Preface. In S. Granger (Ed.), *Learner English on computer* (pp. xiv-xx). Addison Wesley Longman.
- Long, M. (1991). Focus on form: A design feature in language teaching methodology. In K. Ginsberg, R. de Bot, & C. Kramsch (Eds.), *Foreign language research in crosscultural perspective* (pp.39-52). John Benjamins.

付録

付録 1 「重要漢語語彙リスト」

順位	漢語	順位	漢語	順位	漢語	順位	漢語	順位	漢語	順位	漢語
1	必要	479	教室	957	従業	1435	会館	1913	有害	2391	冒険
2	関係	480	性格	958	御飯	1436	支店	1914	船舶	2392	異議
3	以上	481	用意	959	成績	1437	規格	1915	生存	2393	国債
4	社会	482	現代	960	捜査	1438	苦情	1916	固有	2394	刑務
5	情報	483	全員	961	講座	1439	業界	1917	平気	2395	装着
6	問題	484	半分	962	随分	1440	順位	1918	再現	2396	名簿
7	生活	485	本来	963	創造	1441	電源	1919	複合	2397	過失
8	地域	486	登場	964	趣味	1442	三角	1920	社内	2398	単語
9	学校	487	一時	965	演奏	1443	人民	1921	中旬	2399	対決
10	利用	488	関心	966	天然	1444	愛情	1922	日数	2400	参画
11	会社	489	困難	967	記者	1445	大使	1923	植民	2401	名詞
12	研究	490	男女	968	商店	1446	客観	1924	戦前	2402	連載
13	自分	491	許可	969	模様	1447	由来	1925	克服	2403	順序
14	環境	492	援助	970	唯一	1448	損失	1926	遺族	2404	清潔
15	活動	493	回復	971	予測	1449	賛成	1927	登校	2405	主任
16	内容	494	案内	972	動向	1450	豆腐	1928	水素	2406	損益
17	企業	495	観察	973	挑戦	1451	例外	1929	圧縮	2407	換算
18	事業	496	処分	974	容易	1452	金銭	1930	喫煙	2408	同行
19	結果	497	生命	975	一旦	1453	結合	1931	配偶	2409	樹木
20	基本	498	人気	976	金利	1454	法務	1932	逆転	2410	統制
21	可能	499	時点	977	首都	1455	締結	1933	勿体	2411	理屈
22	一般	500	生物	978	軍事	1456	実力	1934	信託	2412	表紙
23	方法	501	前後	979	栽培	1457	西洋	1935	冒頭	2413	突入
24	状況	502	鉄道	980	訴訟	1458	文句	1936	法令	2414	養護
25	経済	503	宇宙	981	医者	1459	詐欺	1937	教養	2415	父母
26	調査	504	審査	982	構築	1460	決議	1938	横断	2416	拡充
27	世界	505	合計	983	掃除	1461	法的	1939	通用	2417	馳走
28	大学	506	注目	984	損害	1462	双方	1940	起動	2418	提言
29	現在	507	魅力	985	人材	1463	室内	1941	節約	2419	勘定
30	使用	508	記事	986	限界	1464	衝撃	1942	本書	2420	率直
31	計画	509	協議	987	療法	1465	代金	1943	親族	2421	残業
32	管理	510	元気	988	判決	1466	拡張	1944	閲覧	2422	高価
33	自然	511	独立	989	逮捕	1467	看板	1945	適合	2423	通商
34	部分	512	約束	990	体重	1468	急激	1946	自家	2424	垂直
35	教育	513	連続	991	作家	1469	不況	1947	連盟	2425	併用
36	電話	514	現状	992	適正	1470	説得	1948	良好	2426	代謝
37	技術	515	結局	993	人事	1471	関与	1949	経路	2427	同法
38	地方	516	植物	994	自立	1472	日中	1950	科目	2428	発注

39	人間	517	指示	995	性能	1473	再建	1951	実習	2429	復旧
40	参加	518	促進	996	自殺	1474	寄付	1952	簡易	2430	航海
41	時代	519	資源	997	一瞬	1475	市内	1953	故郷	2431	低迷
42	委員	520	競争	998	協定	1476	回線	1954	絵画	2432	探偵
43	状態	521	空気	999	出産	1477	加盟	1955	始末	2433	一昨
44	目的	522	継続	1000	賃金	1478	同盟	1956	財団	2434	計測
45	以外	523	確実	1001	事例	1479	翌年	1957	子宮	2435	幻想
46	程度	524	提案	1002	移転	1480	入場	1958	特有	2436	対戦
47	保険	525	訓練	1003	味噌	1481	不幸	1959	合同	2437	条項
48	説明	526	取得	1004	日時	1482	公正	1960	前期	2438	選出
49	開発	527	感覚	1005	性質	1483	休暇	1961	主題	2439	欲望
50	個人	528	有名	1006	気味	1484	前日	1962	負荷	2440	人件
51	対象	529	低下	1007	早期	1485	典型	1963	弟子	2441	飛躍
52	重要	530	記憶	1008	拒否	1486	出資	1964	貴族	2442	敗戦
53	確認	531	教授	1009	循環	1487	興奮	1965	座席	2443	退院
54	労働	532	天皇	1010	近所	1488	読者	1966	高額	2444	紅葉
55	施設	533	従来	1011	想定	1489	連結	1967	景色	2445	欲求
56	国際	534	社員	1012	化粧	1490	独特	1968	疲労	2446	投稿
57	対応	535	職業	1013	基地	1491	電池	1969	当面	2447	肯定
58	理由	536	作用	1014	抑制	1492	当局	1970	開業	2448	喫茶
59	評価	537	連合	1015	概念	1493	品種	1971	前述	2449	黄金
60	健康	538	他人	1016	砂糖	1494	消化	1972	融合	2450	麻薬
61	国民	539	主人	1017	部品	1495	外科	1973	俳優	2451	水槽
62	文化	540	設計	1018	発電	1496	覚悟	1974	倉庫	2452	契機
63	事件	541	保育	1019	崩壊	1497	極端	1975	権威	2453	採択
64	年度	542	数字	1020	領域	1498	一斉	1976	書店	2454	算定
65	制度	543	昨年	1021	改良	1499	夜間	1977	木造	2455	生育
66	十分	544	財産	1022	総会	1500	年末	1978	税務	2456	発射
67	自由	545	議論	1023	育児	1501	心身	1979	存続	2457	営利
68	安全	546	以内	1024	当日	1502	帰宅	1980	郊外	2458	演劇
69	商品	547	誕生	1025	深刻	1503	国籍	1981	医薬	2459	全額
70	中心	548	長期	1026	犠牲	1504	教員	1982	親切	2460	分別
71	期間	549	装置	1027	水産	1505	受診	1983	爆弾	2461	稼働
72	機能	550	宗教	1028	成分	1506	炭素	1984	検定	2462	好意
73	女性	551	支配	1029	出品	1507	幕府	1985	負債	2463	税率
74	意味	552	化学	1030	前半	1508	検察	1986	学者	2464	対面
75	自動	553	予約	1031	混乱	1509	職務	1987	沿岸	2465	悲鳴
76	影響	554	姿勢	1032	正面	1510	最小	1988	美人	2466	性的
77	特別	555	神経	1033	博士	1511	集会	1989	故障	2467	成熟
78	全体	556	広告	1034	悪化	1512	商売	1990	挿入	2468	乗用
79	機関	557	自転	1035	列車	1513	名誉	1991	警告	2469	遺体
80	対策	558	弁護	1036	支出	1514	住居	1992	名義	2470	車内

81	効果	559	内閣	1037	感動	1515	演出	1993	工程	2471	周知
82	指導	560	練習	1038	天気	1516	偶然	1994	街道	2472	悲惨
83	存在	561	文書	1039	調子	1517	制御	1995	相違	2473	警部
84	意見	562	就職	1040	定員	1518	大気	1996	性別	2474	国防
85	都市	563	空間	1041	来年	1519	装備	1997	添付	2475	寝室
86	以下	564	内部	1042	集合	1520	認可	1998	市長	2476	庭園
87	家族	565	追加	1043	外部	1521	恋愛	1999	買収	2477	色彩
88	普通	566	標準	1044	区別	1522	合成	2000	民衆	2478	初代
89	消費	567	出身	1045	乾燥	1523	血管	2001	細菌	2479	到来
90	一部	568	保障	1046	爆発	1524	引用	2002	上場	2480	所持
91	事務	569	保証	1047	共産	1525	加速	2003	領土	2481	任期
92	決定	570	人物	1048	総額	1526	保安	2004	後方	2482	養育
93	報告	571	手段	1049	高等	1527	違法	2005	中世	2483	青春
94	販売	572	授業	1050	根拠	1528	大根	2006	水面	2484	諸島
95	実施	573	項目	1051	市街	1529	背後	2007	巨人	2485	追及
96	発生	574	達成	1052	合意	1530	送信	2008	皇帝	2486	農協
97	理解	575	会計	1053	公的	1531	公民	2009	比例	2487	艦隊
98	写真	576	危機	1054	真剣	1532	境界	2010	食堂	2488	生息
99	生産	577	高速	1055	交付	1533	同居	2011	拘束	2489	肝心
100	代表	578	結構	1056	人工	1534	様式	2012	継承	2490	答申
101	条件	579	伝統	1057	融資	1535	途端	2013	負傷	2491	反面
102	協力	580	椅子	1058	競技	1536	冷凍	2014	告白	2492	施工
103	相談	581	原子	1059	名称	1537	集落	2015	来日	2493	利息
104	整備	582	交渉	1060	分割	1538	処置	2016	食物	2494	執筆
105	外国	583	満足	1061	不良	1539	体質	2017	集計	2495	素朴
106	実際	584	適切	1062	件数	1540	走行	2018	実務	2496	乗客
107	最近	585	症状	1063	貴重	1541	交差	2019	占領	2497	東部
108	変化	586	供給	1064	正直	1542	追求	2020	苦痛	2498	発音
109	予定	587	経過	1065	信号	1543	創設	2021	決勝	2499	密着
110	運動	588	違反	1066	所属	1544	長男	2022	圧迫	2500	添加
111	保護	589	突然	1067	中止	1545	収納	2023	祖父	2501	普遍
112	質問	590	気分	1068	優勝	1546	上司	2024	接近	2502	皮肉
113	障害	591	診断	1069	施策	1547	血圧	2025	堂々	2503	発症
114	処理	592	明確	1070	特性	1548	新鮮	2026	下旬	2504	一族
115	最初	593	部門	1071	預金	1549	伝達	2027	特集	2505	周期
116	作業	594	美術	1072	付属	1550	任意	2028	加熱	2506	月額
117	時期	595	異常	1073	著作	1551	的確	2029	入居	2507	不便
118	歴史	596	背景	1074	返事	1552	業績	2030	小児	2508	混雑
119	病院	597	雑誌	1075	合格	1553	有力	2031	豪華	2509	同等
120	交通	598	募集	1076	筋肉	1554	対照	2032	夢中	2510	罰金
121	経験	599	限定	1077	洗濯	1555	警備	2033	大分	2511	検挙
122	責任	600	記載	1078	部隊	1556	財源	2034	郵政	2512	不意

123	判断	601	現地	1079	立派	1557	展望	2035	歩道	2513	与党
124	政治	602	印象	1080	側面	1558	数量	2036	革新	2514	中枢
125	紹介	603	事態	1081	一応	1559	分子	2037	天下	2515	名目
126	経営	604	要素	1082	直前	1560	就業	2038	表記	2516	戦場
127	団体	605	優先	1083	外交	1561	容量	2039	飲食	2517	管轄
128	本当	606	温泉	1084	意義	1562	実家	2040	歌詞	2518	内臓
129	組織	607	命令	1085	落札	1563	米軍	2041	着手	2519	除外
130	銀行	608	過程	1086	個々	1564	原稿	2042	出荷	2520	補強
131	基準	609	特殊	1087	排出	1565	相对	2043	団地	2521	他者
132	最後	610	勤務	1088	高級	1566	音声	2044	総裁	2522	示唆
133	表示	611	後半	1089	酸化	1567	放棄	2045	衣装	2523	肝臓
134	土地	612	定期	1090	先輩	1568	家具	2046	公立	2524	書籍
135	設定	613	失敗	1091	徐々	1569	元年	2047	原油	2525	機動
136	契約	614	会場	1092	編成	1570	歓迎	2048	花粉	2526	店内
137	専門	615	感染	1093	相続	1571	学問	2049	早朝	2527	傷害
138	政府	616	住所	1094	水道	1572	発信	2050	階層	2528	論議
139	指定	617	信用	1095	河川	1573	休憩	2051	講義	2529	大将
140	一方	618	需要	1096	博物	1574	地面	2052	水平	2530	進路
141	産業	619	高度	1097	権力	1575	視聴	2053	入浴	2531	利点
142	種類	620	石油	1098	我慢	1576	国務	2054	中途	2532	書記
143	非常	621	操作	1099	心臓	1577	調節	2055	本文	2533	一々
144	道路	622	態度	1100	手法	1578	配分	2056	前項	2534	決済
145	当時	623	疑問	1101	税金	1579	東南	2057	喪失	2535	修行
146	価格	624	普及	1102	居住	1580	再度	2058	正午	2536	再編
147	資料	625	栄養	1103	救急	1581	倫理	2059	同期	2537	精度
148	精神	626	活躍	1104	行事	1582	被告	2060	妥当	2538	窒素
149	全国	627	同士	1105	公式	1583	幸福	2061	国有	2539	子孫
150	意識	628	入院	1106	受験	1584	半数	2062	下記	2540	包括
151	原因	629	編集	1107	一気	1585	出張	2063	農薬	2541	結核
152	安定	630	太陽	1108	同意	1586	抽選	2064	先頭	2542	応答
153	中央	631	出版	1109	得意	1587	撰取	2065	完璧	2543	著書
154	家庭	632	死亡	1110	体力	1588	職人	2066	増殖	2544	入社
155	住宅	633	所為	1111	留学	1589	毎週	2067	分散	2545	役者
156	直接	634	看護	1112	品質	1590	依然	2068	選定	2546	運送
157	被害	635	機構	1113	観測	1591	録音	2069	最中	2547	待機
158	自己	636	画像	1114	通過	1592	署名	2070	独身	2548	再発
159	行動	637	配慮	1115	御覧	1593	運輸	2071	支部	2549	路上
160	事故	638	貿易	1116	後期	1594	温暖	2072	会談	2550	風味
161	行為	639	複数	1117	区域	1595	分間	2073	投手	2551	欠点
162	年金	640	想像	1118	全身	1596	物件	2074	感心	2552	宅地
163	注意	641	把握	1119	上下	1597	連中	2075	特色	2553	悪魔
164	放送	642	統計	1120	皮膚	1598	水分	2076	類似	2554	先週

165	裁判	643	役所	1121	慎重	1599	投入	2077	稽古	2555	庁舎
166	同時	644	小学	1122	現金	1600	冷静	2078	引退	2556	規範
167	負担	645	感情	1123	完了	1601	計上	2079	形状	2557	欠陥
168	医療	646	正確	1124	臨時	1602	変換	2080	個体	2558	阻害
169	一緒	647	債務	1125	発想	1603	除去	2081	了解	2559	天使
170	一番	648	当初	1126	移行	1604	蓄積	2082	検診	2560	地名
171	今後	649	細胞	1127	進展	1605	熱心	2083	移住	2561	整形
172	科学	650	緊急	1128	今日	1606	確信	2084	助手	2562	上限
173	記録	651	意思	1129	動作	1607	担保	2085	所要	2563	難民
174	以降	652	思想	1130	解放	1608	保守	2086	孤独	2564	旅客
175	市場	653	舞台	1131	権限	1609	日程	2087	庶民	2565	常時
176	勿論	654	本部	1132	進出	1610	十字	2088	歌手	2566	警官
177	福祉	655	形式	1133	提示	1611	到達	2089	調停	2567	上空
178	総合	656	社長	1134	制定	1612	進化	2090	砂漠	2568	院長
179	能力	657	駐車	1135	意欲	1613	一貫	2091	着実	2569	液体
180	関連	658	理事	1136	実感	1614	純粹	2092	実証	2570	包丁
181	会議	659	設立	1137	緩和	1615	懸念	2093	扶養	2571	閣僚
182	構造	660	配置	1138	修理	1616	部下	2094	正義	2572	裝飾
183	連絡	661	画面	1139	調理	1617	国道	2095	刊行	2573	一二
184	計算	662	現象	1140	公害	1618	貨物	2096	記号	2574	次男
185	最高	663	確定	1141	兵器	1619	法案	2097	期日	2575	經常
186	新聞	664	最低	1142	優秀	1620	次元	2098	軍人	2576	中核
187	検査	665	世帯	1143	失業	1621	特例	2099	高原	2577	合戦
188	変更	666	専用	1144	正式	1622	一連	2100	蜜柑	2578	學歷
189	危険	667	成果	1145	診療	1623	陸上	2101	後悔	2579	苦笑
190	方向	668	民族	1146	休日	1624	浸透	2102	到頭	2580	落下
191	提供	669	批判	1147	教会	1625	一家	2103	首脳	2581	合衆
192	準備	670	退職	1148	殺人	1626	関節	2104	先着	2582	學術
193	規模	671	国会	1149	要件	1627	用途	2105	隣接	2583	貧困
194	位置	672	一層	1150	反省	1628	独占	2106	上部	2584	百貨
195	調整	673	加工	1151	重大	1629	虐待	2107	後継	2585	動搖
196	選択	674	素材	1152	論文	1630	体調	2108	無効	2586	守備
197	建設	675	工夫	1153	平等	1631	官僚	2109	文庫	2587	新築
198	行政	676	接続	1154	出演	1632	技能	2110	出生	2588	微塵
199	期待	677	戦後	1155	感想	1633	東西	2111	短縮	2589	起源
200	通信	678	進行	1156	分離	1634	補正	2112	診察	2590	奴隸
201	警察	679	当該	1157	食料	1635	美容	2113	勤勞	2591	終戦
202	主義	680	主要	1158	拠点	1636	母子	2114	天候	2592	理性
203	試験	681	徹底	1159	醬油	1637	北部	2115	封筒	2593	強引
204	結婚	682	証券	1160	記述	1638	制約	2116	奇妙	2594	文芸
205	自身	683	芸術	1161	公表	1639	直線	2117	都心	2595	天文
206	文字	684	更新	1162	避難	1640	先行	2118	侵略	2596	昆布

207	作成	685	輸出	1163	文部	1641	注射	2119	競馬	2597	別々
208	登録	686	暴力	1164	哲学	1642	同僚	2120	民法	2598	結晶
209	同様	687	一生	1165	象徴	1643	有機	2121	情熱	2599	通話
210	法律	688	多様	1166	開放	1644	視野	2122	正解	2600	誠実
211	開始	689	話題	1167	主婦	1645	指名	2123	近隣	2601	予選
212	設置	690	延長	1168	一種	1646	永遠	2124	協同	2602	健診
213	先生	691	転換	1169	実績	1647	商法	2125	内外	2603	不信
214	事実	692	運用	1170	回数	1648	同年	2126	源泉	2604	寺院
215	一体	693	相互	1171	蛋白	1649	法則	2127	商人	2605	麻痺
216	大臣	694	季節	1172	限度	1650	経由	2128	実情	2606	耐震
217	今回	695	普段	1173	急速	1651	要領	2129	永久	2607	停滞
218	規定	696	要因	1174	恐怖	1652	通貨	2130	視覚	2608	部会
219	以前	697	出発	1175	冷蔵	1653	一面	2131	抗議	2609	酵素
220	年齢	698	民主	1176	制作	1654	順調	2132	救助	2610	貧乏
221	目標	699	格好	1177	体系	1655	移植	2133	太鼓	2611	主力
222	検討	700	総理	1178	区分	1656	少数	2134	得点	2612	体温
223	資金	701	加入	1179	世間	1657	翻訳	2135	配達	2613	来週
224	政策	702	面積	1180	司法	1658	一見	2136	西部	2614	郷土
225	担当	703	言語	1181	商業	1659	年代	2137	女王	2615	貨幣
226	金融	704	停止	1182	広報	1660	消滅	2138	無論	2616	反論
227	平均	705	近代	1183	監査	1661	周波	2139	創作	2617	下部
228	投資	706	否定	1184	業者	1662	通行	2140	工学	2618	白人
229	支援	707	入力	1185	役員	1663	議長	2141	直径	2619	昆虫
230	具体	708	各種	1186	構想	1664	療養	2142	乗車	2620	連鎖
231	運転	709	周囲	1187	復活	1665	歯科	2143	女房	2621	少子
232	戦争	710	丁度	1188	財務	1666	衝突	2144	移民	2622	官庁
233	利益	711	国立	1189	脂肪	1667	侵害	2145	今週	2623	司会
234	比較	712	水準	1190	豊富	1668	納税	2146	制服	2624	創業
235	午後	713	会員	1191	原理	1669	誤解	2147	無限	2625	養子
236	構成	714	検索	1192	人形	1670	人格	2148	放出	2626	繁殖
237	範囲	715	野球	1193	予備	1671	柔軟	2149	着用	2627	予感
238	公園	716	防衛	1194	衛星	1672	司令	2150	修復	2628	聖書
239	過去	717	男子	1195	解散	1673	大衆	2151	衆議	2629	細工
240	法人	718	事前	1196	先進	1674	東洋	2152	地形	2630	点数
241	映画	719	教師	1197	流行	1675	牛肉	2153	年々	2631	妨害
242	業務	720	条約	1198	怪我	1676	一環	2154	任命	2632	方策
243	国家	721	機器	1199	控除	1677	閉鎖	2155	熱帯	2633	図表
244	努力	722	貢献	1200	少々	1678	失礼	2156	省略	2634	都度
245	高齢	723	発言	1201	委託	1679	乃至	2157	密度	2635	平行
246	参考	724	緊張	1202	電力	1680	器具	2158	投与	2636	平方
247	男性	725	統一	1203	譲渡	1681	才能	2159	流動	2637	列島
248	段階	726	表面	1204	自覚	1682	本体	2160	贅沢	2638	幸運

249	体験	727	挨拶	1205	勢力	1683	持参	2161	人種	2639	高温
250	大切	728	多分	1206	若干	1684	農地	2162	祖母	2640	傾斜
251	介護	729	初期	1207	知的	1685	国語	2163	貯蓄	2641	排気
252	簡単	730	便利	1208	武器	1686	間隔	2164	前進	2642	後日
253	希望	731	青年	1209	幹部	1687	改造	2165	郵送	2643	送料
254	治療	732	憲法	1210	対立	1688	海洋	2166	介入	2644	発酵
255	大変	733	認定	1211	増大	1689	発足	2167	直面	2645	先祖
256	増加	734	瞬間	1212	意図	1690	経緯	2168	脅威	2646	究極
257	成長	735	複雑	1213	人員	1691	農民	2169	遂行	2647	年収
258	電気	736	前年	1214	放置	1692	披露	2170	飲料	2648	内科
259	将来	737	電車	1215	火災	1693	体操	2171	国産	2649	厳密
260	食事	738	左右	1216	繊維	1694	人参	2172	発掘	2650	頂戴
261	不安	739	發揮	1217	階級	1695	調和	2173	省庁	2651	規約
262	海外	740	合併	1218	弁当	1696	受賞	2174	死刑	2652	愉快
263	地区	741	研修	1219	先端	1697	一覧	2175	胡椒	2653	搜索
264	少年	742	知恵	1220	応募	1698	余計	2176	闘争	2654	会費
265	相当	743	地図	1221	御免	1699	死体	2177	通訳	2655	幹旋
266	高校	744	実態	1222	決算	1700	發送	2178	主流	2656	原作
267	完全	745	表情	1223	講習	1701	土壤	2179	全力	2657	犯行
268	解決	746	依頼	1224	上手	1702	本社	2180	公益	2658	選考
269	表現	747	自宅	1225	先日	1703	初心	2181	加算	2659	操縦
270	確保	748	観点	1226	半島	1704	出力	2182	検出	2660	本能
271	共同	749	自信	1227	講師	1705	次回	2183	外来	2661	県立
272	発表	750	未来	1228	微妙	1706	格差	2184	余地	2662	前線
273	知識	751	文章	1229	芸能	1707	光景	2185	北方	2663	地中
274	国内	752	日曜	1230	段々	1708	胡麻	2186	飼育	2664	討論
275	材料	753	発達	1231	折角	1709	食糧	2187	端末	2665	感触
276	最終	754	秘密	1232	短期	1710	楽器	2188	変形	2666	同級
277	動物	755	議会	1233	収益	1711	家計	2189	役人	2667	猶予
278	金額	756	抵抗	1234	無事	1712	倒産	2190	体内	2668	不能
279	市民	757	手術	1235	入手	1713	答弁	2191	頻度	2669	感性
280	機会	758	総務	1236	点検	1714	結成	2192	家電	2670	信念
281	選挙	759	消防	1237	開設	1715	政令	2193	復元	2671	学力
282	地球	760	両親	1238	勝利	1716	定年	2194	渋滞	2672	解雇
283	発見	761	書類	1239	強力	1717	売却	2195	生成	2673	標識
284	移動	762	規則	1240	最新	1718	昼食	2196	週刊	2674	無言
285	旅行	763	生涯	1241	助成	1719	受給	2197	抽出	2675	中断
286	作品	764	地上	1242	売買	1720	招待	2198	還元	2676	忠実
287	監督	765	確立	1243	成人	1721	葡萄	2199	斜面	2677	老後
288	費用	766	債権	1244	去年	1722	頻繁	2200	公団	2678	自律
289	発展	767	自衛	1245	収穫	1723	在庫	2201	真理	2679	指令
290	改善	768	主体	1246	返済	1724	公平	2202	収録	2680	出動

291	拡大	769	宣言	1247	对抗	1725	不当	2203	総数	2681	奨励
292	工場	770	展示	1248	途上	1726	清掃	2204	強烈	2682	態勢
293	沢山	771	破壊	1249	見解	1727	当選	2205	協調	2683	麻醉
294	体制	772	比率	1250	氏名	1728	外出	2206	履行	2684	運搬
295	分野	773	心理	1251	顧客	1729	都会	2207	予報	2685	長寿
296	絶対	774	映像	1252	入札	1730	産地	2208	鑑定	2686	火事
297	特定	775	小説	1253	記入	1731	曖昧	2209	提起	2687	視界
298	現実	776	不明	1254	報酬	1732	給食	2210	自国	2688	弾力
299	最大	777	証拠	1255	復帰	1733	遠慮	2211	饅頭	2689	出願
300	距離	778	景気	1256	漢字	1734	休業	2212	顕著	2690	抽象
301	午前	779	一切	1257	正常	1735	今夜	2213	膨大	2691	死後
302	観光	780	修正	1258	給与	1736	受講	2214	処方	2692	対外
303	反対	781	海岸	1259	無線	1737	進学	2215	石炭	2693	一向
304	実現	782	大体	1260	物理	1738	補給	2216	一行	2694	露出
305	基礎	783	中間	1261	承知	1739	振動	2217	大蒜	2695	線路
306	学習	784	世話	1262	保管	1740	税制	2218	警視	2696	孤立
307	価値	785	免許	1263	賠償	1741	機嫌	2219	出勤	2697	起訴
308	購入	786	会話	1264	将軍	1742	睡眠	2220	入国	2698	戦車
309	展開	787	遺伝	1265	紛争	1743	武士	2221	突破	2699	入会
310	毎日	788	医学	1266	帰国	1744	重量	2222	財布	2700	一段
311	農業	789	形態	1267	单独	1745	身長	2223	系列	2701	未知
312	維持	790	新規	1268	常識	1746	姉妹	2224	急増	2702	優遇
313	推進	791	投票	1269	警戒	1747	返還	2225	食器	2703	基調
314	予算	792	実質	1270	登記	1748	貯金	2226	目撃	2704	国王
315	交換	793	詳細	1271	本質	1749	野生	2227	認証	2705	鉛筆
316	製品	794	候補	1272	要望	1750	木材	2228	私的	2706	作物
317	終了	795	支給	1273	根本	1751	排水	2229	集積	2707	名刺
318	開催	796	適當	1274	重点	1752	免疫	2230	店員	2708	電流
319	住民	797	反映	1275	情勢	1753	円滑	2231	証人	2709	塗装
320	公共	798	犯人	1276	交代	1754	旅館	2232	訂正	2710	刑法
321	公開	799	回転	1277	借金	1755	正規	2233	優位	2711	特権
322	工事	800	人権	1278	大陸	1756	浄化	2234	蒸気	2712	追放
323	病気	801	会長	1279	帝国	1757	著者	2235	前者	2713	干涉
324	保存	802	独自	1280	早速	1758	学園	2236	更生	2714	地味
325	音楽	803	首相	1281	宿泊	1759	最適	2237	中年	2715	減額
326	通常	804	全然	1282	压倒	1760	復興	2238	女優	2716	人体
327	人口	805	理論	1283	幼児	1761	景観	2239	混合	2717	加害
328	認識	806	公務	1284	調達	1762	今月	2240	増進	2718	絶望
329	心配	807	執行	1285	指数	1763	再開	2241	糖尿	2719	特異
330	積極	808	車両	1286	接触	1764	口調	2242	演説	2720	強盗
331	全部	809	応援	1287	当事	1765	共済	2243	動員	2721	受注
332	番号	810	廃止	1288	大戦	1766	自慢	2244	殺害	2722	多額

333	生徒	811	活性	1289	夫人	1767	機種	2245	大胆	2723	超過
334	職員	812	金属	1290	戦闘	1768	登山	2246	啓発	2724	変革
335	活用	813	審議	1291	日記	1769	搭載	2247	後退	2725	検事
336	整理	814	輸送	1292	古代	1770	日間	2248	鑑賞	2726	異性
337	世紀	815	人数	1293	視線	1771	地獄	2249	同社	2727	提唱
338	導入	816	発売	1294	天井	1772	開拓	2250	空中	2728	承諾
339	予想	817	掲載	1295	压力	1773	迅速	2251	提携	2729	到底
340	当然	818	測定	1296	共和	1774	軍隊	2252	黒人	2730	照射
341	規制	819	残念	1297	過剰	1775	作者	2253	物資	2731	公庫
342	学生	820	政権	1298	信仰	1776	前方	2254	毎回	2732	調味
343	電子	821	代理	1299	物価	1777	矛盾	2255	脱出	2733	土木
344	患者	822	納得	1300	確率	1778	分担	2256	こつ	2734	停車
345	周辺	823	強制	1301	判定	1779	新設	2257	履歴	2735	教訓
346	改革	824	感謝	1302	定着	1780	寿命	2258	画家	2736	食卓
347	身体	825	考慮	1303	喧嘩	1781	商工	2259	広大	2737	一同
348	料理	826	前提	1304	前回	1782	大豆	2260	大地	2738	上旬
349	事情	827	対処	1305	生理	1783	有料	2261	分泌	2739	入金
350	本人	828	刑事	1306	徴収	1784	留守	2262	症候	2740	早々
351	携帯	829	刺激	1307	林檎	1785	解明	2263	通学	2741	精密
352	地震	830	知事	1308	海上	1786	本気	2264	繁栄	2742	見物
353	営業	831	振興	1309	散歩	1787	破綻	2265	一流	2743	惑星
354	権利	832	時計	1310	全面	1788	出血	2266	林業	2744	推計
355	課題	833	分類	1311	秩序	1789	中継	2267	工芸	2745	衣服
356	次第	834	馬鹿	1312	尊重	1790	照明	2268	神話	2746	了承
357	選手	835	報道	1313	健全	1791	付加	2269	初日	2747	銀河
358	有効	836	連携	1314	文明	1792	発明	2270	詩人	2748	委任
359	制限	837	経費	1315	台風	1793	推測	2271	立体	2749	原価
360	老人	838	育成	1316	有無	1794	意気	2272	顧問	2750	染色
361	様子	839	印刷	1317	特許	1795	知人	2273	動画	2751	上映
362	減少	840	神社	1318	分布	1796	輿論	2274	偉大	2752	好奇
363	平和	841	文学	1319	運命	1797	公社	2275	評論	2753	狩猟
364	人生	842	解説	1320	趣旨	1798	判明	2276	葬儀	2754	潜水
365	物質	843	削減	1321	侵入	1799	市販	2277	潜在	2755	用事
366	義務	844	近年	1322	滞在	1800	揭示	2278	法定	2756	経理
367	防止	845	本格	1323	疾患	1801	朝食	2279	入所	2757	両側
368	特徴	846	施行	1324	必死	1802	国境	2280	木曜	2758	贈与
369	所得	847	重視	1325	海軍	1803	利子	2281	改定	2759	自発
370	改正	848	保全	1326	意志	1804	解体	2282	流出	2760	拡散
371	機械	849	苦勞	1327	勇氣	1805	粒子	2283	参入	2761	四季
372	以来	850	都合	1328	気温	1806	古典	2284	自社	2762	放題
373	不足	851	差別	1329	受信	1807	帽子	2285	王国	2763	原爆
374	協会	852	出席	1330	金曜	1808	他方	2286	不快	2764	本件

375	兒童	853	推移	1331	出現	1809	文獻	2287	新生	2765	航路
376	雇用	854	無視	1332	外務	1810	騒音	2288	洪水	2766	原点
377	副詞	855	製作	1333	救濟	1811	最惡	2289	悲劇	2767	拍手
378	製造	856	余裕	1334	活発	1812	不法	2290	議決	2768	好調
379	指摘	857	体育	1335	両者	1813	動脈	2291	沈黙	2769	順次
380	勉強	858	廃棄	1336	死者	1814	後者	2292	彫刻	2770	決心
381	充実	859	各地	1337	実用	1815	現役	2293	筆者	2771	必須
382	今度	860	兄弟	1338	学年	1816	反射	2294	考察	2772	鉄砲
383	一杯	861	監視	1339	用語	1817	系統	2295	半身	2773	識別
384	要求	862	回収	1340	正月	1818	道德	2296	風土	2774	親友
385	傾向	863	注文	1341	排除	1819	会合	2297	下落	2775	地盤
386	野菜	864	期限	1342	丁寧	1820	適応	2298	表彰	2776	電磁
387	撮影	865	収集	1343	宣伝	1821	在宅	2299	風俗	2777	天才
388	女子	866	血液	1344	軽減	1822	配当	2300	運賃	2778	覚醒
389	資本	867	諸国	1345	策定	1823	免除	2301	立法	2779	自作
390	採用	868	離婚	1346	配布	1824	校長	2302	行列	2780	洗剤
391	卒業	869	翌日	1347	口座	1825	養成	2303	奉仕	2781	是正
392	民間	870	獲得	1348	快適	1826	学級	2304	活力	2782	中立
393	輸入	871	付近	1349	基金	1827	任務	2305	友好	2783	出土
394	交流	872	基盤	1350	廊下	1828	主導	2306	陛下	2784	包装
395	提出	873	動産	1351	主催	1829	明記	2307	上流	2785	坊主
396	発行	874	防災	1352	工作	1830	祝日	2308	採取	2786	急性
397	向上	875	課税	1353	不要	1831	決断	2309	敏感	2787	転職
398	航空	876	視点	1354	持続	1832	服装	2310	建造	2788	店頭
399	保健	877	温度	1355	補償	1833	中期	2311	演技	2789	資材
400	犯罪	878	該当	1356	南部	1834	火山	2312	課程	2790	気力
401	運営	879	給付	1357	原料	1835	海水	2313	無償	2791	一帯
402	地下	880	幼稚	1358	見学	1836	接種	2314	通路	2792	好評
403	食品	881	習慣	1359	真実	1837	兵士	2315	破産	2793	海底
404	奇麗	882	燃料	1360	往復	1838	尊敬	2316	賃貸	2794	大名
405	無理	883	自主	1361	所在	1839	観客	2317	改修	2795	準用
406	成功	884	到着	1362	縮小	1840	部長	2318	町内	2796	違和
407	集中	885	個別	1363	収支	1841	焦点	2319	分裂	2797	拍子
408	収入	886	巨大	1364	地点	1842	順番	2320	防御	2798	種子
409	集团	887	森林	1365	地帯	1843	指針	2321	統治	2799	摩擦
410	一定	888	未満	1366	推定	1844	平日	2322	防犯	2800	遺言
411	措置	889	流通	1367	牛乳	1845	作曲	2323	意地	2801	次官
412	禁止	890	解釈	1368	震災	1846	解析	2324	大国	2802	集約
413	安心	891	菓子	1369	深夜	1847	志向	2325	損傷	2803	後輩
414	大会	892	単純	1370	理念	1848	間接	2326	均等	2804	転倒
415	議員	893	放射	1371	給料	1849	軌道	2327	一員	2805	接着
416	料金	894	呼吸	1372	決意	1850	対話	2328	被災	2806	各社

417	所有	895	国土	1373	農村	1851	通報	2329	石鹼	2807	切断
418	請求	896	玄関	1374	濃度	1852	課長	2330	果实	2808	迫力
419	適用	897	以後	1375	勝負	1853	上陸	2331	年数	2809	参議
420	共通	898	迷惑	1376	行使	1854	証言	2332	算出	2810	矯正
421	夫婦	899	教科	1377	進歩	1855	薬物	2333	治安	2811	異動
422	医師	900	方面	1378	面接	1856	両国	2334	多発	2812	年賀
423	世代	901	直後	1379	従事	1857	均衡	2335	慢性	2813	注入
424	資格	902	両方	1380	肉体	1858	読書	2336	効力	2814	選任
425	成立	903	取材	1381	劇場	1859	関数	2337	中古	2815	就労
426	設備	904	実践	1382	認知	1860	勸告	2338	共感	2816	宝石
427	記念	905	通知	1383	指標	1861	秘書	2339	都内	2817	法廷
428	建築	906	戦略	1384	月曜	1862	区間	2340	撤退	2818	戦時
429	単位	907	合理	1385	不正	1863	会見	2341	火曜	2819	特急
430	厚生	908	指揮	1386	動機	1864	広域	2342	償却	2820	解答
431	自治	909	理想	1387	上位	1865	公演	2343	一括	2821	乱暴
432	派遣	910	共有	1388	大抵	1866	家屋	2344	在日	2822	変身
433	申請	911	路線	1389	在住	1867	公衆	2345	部位	2823	告知
434	工業	912	要請	1390	気象	1868	徒歩	2346	頭痛	2824	開花
435	実験	913	速度	1391	上記	1869	審判	2347	利害	2825	婚姻
436	完成	914	道具	1392	日米	1870	伝説	2348	生姜	2826	警報
437	訪問	915	少女	1393	概要	1871	冗談	2349	支度	2827	絶滅
438	再生	916	幹線	1394	遺跡	1872	回避	2350	古墳	2828	騒動
439	主張	917	結論	1395	農林	1873	開示	2351	強度	2829	戦国
440	原則	918	妊娠	1396	仏教	1874	反発	2352	連帯	2830	通称
441	回答	919	保有	1397	講演	1875	支障	2353	曲線	2831	解約
442	分析	920	農家	1398	民営	1876	臨床	2354	阻止	2832	導体
443	企画	921	衛生	1399	電波	1877	意向	2355	使命	2833	国税
444	興味	922	面倒	1400	数学	1878	推薦	2356	密接	2834	言動
445	強化	923	統合	1401	就任	1879	納付	2357	区画	2835	疾病
446	実行	924	支持	1402	容器	1880	週末	2358	武力	2836	精々
447	予防	925	長官	1403	条例	1881	容疑	2359	農産	2837	社債
448	参照	926	階段	1404	本日	1882	代替	2360	教材	2838	描写
449	証明	927	変動	1405	誘導	1883	品目	2361	成年	2839	港湾
450	大量	928	定義	1406	分解	1884	気候	2362	送付	2840	物体
451	飛行	929	入学	1407	連邦	1885	非難	2363	頂点	2841	増強
452	反応	930	依存	1408	収容	1886	私立	2364	新人	2842	不審
453	補助	931	透明	1409	表明	1887	南北	2365	分配	2843	非行
454	多数	932	婦人	1410	家事	1888	水質	2366	昨夜	2844	余分
455	途中	933	漫画	1411	思考	1889	中毒	2367	両面	2845	職種
456	攻撃	934	革命	1412	検証	1890	寄与	2368	幹事	2846	合流
457	形成	935	解消	1413	漁業	1891	歩行	2369	必然	2847	臓器
458	信頼	936	不満	1414	大半	1892	魔法	2370	打撃	2848	若年

459	方針	937	個性	1415	有利	1893	陸軍	2371	少量	2849	貸借
460	資産	938	店舗	1416	現行	1894	食材	2372	民事	2850	高層
461	効率	939	一致	1417	応用	1895	生態	2373	儀式	2851	丈夫
462	郵便	940	風景	1418	遺産	1896	肥料	2374	擁護	2852	因子
463	友人	941	申告	1419	布団	1897	主役	2375	担任	2853	案外
464	財政	942	削除	1420	出場	1898	立地	2376	交際	2854	合唱
465	是非	943	承認	1421	既存	1899	上級	2377	水中	2855	無数
466	英語	944	人類	1422	全般	1900	觀念	2378	習得	2856	辞書
467	事項	945	作戦	1423	時刻	1901	評判	2379	留意	2857	燃烧
468	災害	946	意外	1424	邪魔	1902	助言	2380	不在	2858	不全
469	中学	947	多少	1425	加減	1903	洋服	2381	本店	2859	奇跡
470	方式	948	地位	1426	論理	1904	地理	2382	食欲	2860	県民
471	図書	949	吸収	1427	角度	1905	下水	2383	録画	2861	伝承
472	無料	950	汚染	1428	保持	1906	運行	2384	戸籍	2862	噴火
473	固定	951	数值	1429	通勤	1907	薬剂	2385	不利	2863	英雄
474	自体	952	各国	1430	業種	1908	水曜	2386	武装	2864	納豆
475	上昇	953	懸命	1431	酸素	1909	親戚	2387	末期	2865	本土
476	大事	954	同一	1432	政党	1910	回路	2388	書面		
477	日常	955	土曜	1433	解除	1911	絵本	2389	仮定		
478	空港	956	強調	1434	正当	1912	学会	2390	夫妻		

付録 2 「重要外来語語彙リスト」

順位	外来語	順位	外来語	順位	外来語	順位	外来語
1	テレビ	404	チョコレート	807	プロデューサー	1210	スパイス
2	サービス	405	ハム	808	ライト	1211	ハット
3	センター	406	ボリュウム	809	ディーゼル	1212	ユナイテッド
4	ホーム	407	キス	810	ウラン	1213	レフ
5	スポーツ	408	レンタル	811	キャスト	1214	ボール
6	データ	409	セミナー	812	コンタクト	1215	カレッジ
7	グループ	410	グランド	813	セールス	1216	フレーズ
8	システム	411	ゾーン	814	ゲリラ	1217	スキャン
9	メール	412	シンプル	815	スパゲッティ	1218	トリック
10	バス	413	コンビニ	816	バレエ	1219	アルミニウム
11	チーム	414	リポート	817	ライフスタイル	1220	パズル
12	イメージ	415	ストック	818	ベーコン	1221	ミュージアム
13	カード	416	ヘッド	819	インフラ	1222	ヘリ
14	ホテル	417	オーバー	820	クローズ	1223	リッチ
15	ソフト	418	ボーイ	821	コイン	1224	アカウント
16	チェック	419	アイテム	822	バケツ	1225	トレイ
17	レベル	420	マッチ	823	アニメーション	1226	メイ
18	デザイン	421	ベル	824	レジャー	1227	ハン
19	モデル	422	ハンドル	825	ランナー	1228	ピン
20	パソコン	423	リボン	826	トレード	1229	モンスター
21	ゲーム	424	スペシャル	827	コンクール	1230	クーデター
22	タイプ	425	シルバー	828	ダイレクト	1231	ディープ
23	クラブ	426	シングル	829	ツリー	1232	パセリ
24	ケース	427	エアコン	830	スマート	1233	シリコン
25	テーマ	428	キャッシュ	831	エプロン	1234	エトセトラ
26	エネルギー	429	ラベル	832	コーディネート	1235	ビート
27	バランス	430	ゴールド	833	パール	1236	エコー
28	ライン	431	タウン	834	テクノロジー	1237	シャトル
29	ボール	432	フレーム	835	ドラッグ	1238	モーニング
30	コース	433	アイ	836	カジュアル	1239	ハンバーガー
31	インターネット	434	プラザ	837	フォント	1240	クオリティー
32	メーカー	435	カップル	838	アカデミー	1241	ハンデ
33	クラス	436	ダイヤモンド	839	アップル	1242	シェル
34	ネット	437	エピソード	840	メンテナンス	1243	オンリー
35	ビル	438	カーブ	841	ファイバー	1244	セッティング
36	タイム	439	ジャケット	842	バトル	1245	ココア
37	カメラ	440	シャワー	843	スコア	1246	ホモ
38	トップ	441	マルチ	844	ラリー	1247	キシタン
39	ガス	442	ミサイル	845	ハンバーグ	1248	スペック

40	ビデオ	443	エコ	846	ビーズ	1249	セレクト
41	パン	444	パーツ	847	アマチュア	1250	カリスマ
42	プログラム	445	タワー	848	コレステロール	1251	ペンキ
43	メンバー	446	サロン	849	達磨	1252	ルーツ
44	セット	447	スタジオ	850	プロバイダー	1253	ピアニスト
45	ドア	448	パッケージ	851	タブ	1254	アスファルト
46	スタート	449	パフォーマンス	852	サポーター	1255	ジェンダー
47	タバコ	450	ジェット	853	ブディング	1256	アンティーク
48	スーパー	451	ティー	854	リクエスト	1257	トランス
49	シート	452	コーチ	855	ノーマル	1258	リハビリテーション
50	ファイル	453	キャッチ	856	プレッシャー	1259	スキャンダル
51	イベント	454	コレクション	857	クイーン	1260	ウッド
52	ニュース	455	テント	858	バトロール	1261	ラフ
53	サイト	456	スクリーン	859	マヨネーズ	1262	エンジニア
54	フリー	457	バナナ	860	ミー	1263	キャンバス
55	メニュー	458	カテゴリー	861	レクリエーション	1264	ジャイアント
56	ルール	459	レシピ	862	ホイール	1265	エージェント
57	プラス	460	オート	863	モール	1266	スピン
58	プロ	461	マイクロ	864	ミッション	1267	ギャンブル
59	ベース	462	タレント	865	ネック	1268	ヘッダー
60	カラー	463	デモ	866	フェスティバル	1269	ブッシュ
61	キー	464	ステーション	867	ウエーブ	1270	アクリル
62	ガラス	465	ヘア	868	パウダー	1271	ライナー
63	コンピューター	466	リース	869	キック	1272	フットボール
64	ネットワーク	467	マスク	870	ベイ	1273	スニーカー
65	マーク	468	レッスン	871	コーン	1274	イースト
66	トイレ	469	プライバシー	872	タイル	1275	メソッド
67	オープン	470	マイク	873	ウォーク	1276	ブレンド
68	マンション	471	テクニク	874	ミシン	1277	キャンドル
69	ビール	472	ジャズ	875	カルチャー	1278	バード
70	デジタル	473	ドレス	876	クリップ	1279	シアター
71	テーブル	474	ストア	877	ヨーグルト	1280	クリスタル
72	ラジオ	475	マネージメント	878	オブジェクト	1281	ランダム
73	ビジネス	476	ダウンロード	879	テラス	1282	アルファベット
74	スタイル	477	メーカー	880	ハイテク	1283	アトリエ
75	ベッド	478	センス	881	菩薩	1284	ポリ
76	カー	479	センサー	882	ディーラー	1285	ダッシュ
77	ボタン	480	ランチ	883	フラワー	1286	ファイナル
78	コスト	481	コラム	884	セーター	1287	ガイドブック
79	テスト	482	ラウンド	885	アナウンサー	1288	キュート
80	メディア	483	ズボン	886	ヘルメット	1289	ウエディング
81	コーヒー	484	ロープ	887	コンサルタント	1290	ヒンドゥー

82	カップ	485	オペラ	888	ヒーロー	1291	ペースト
83	メッセージ	486	アメリカン	889	サンダル	1292	アタック
84	ストレス	487	ユー	890	ワープロ	1293	アダプター
85	エンジン	488	モーター	891	ウイン	1294	レザー
86	スペース	489	バージョン	892	セラー	1295	ベリー
87	コーナー	490	カルシウム	893	サンドイッチ	1296	ハイブリッド
88	マン	491	データベース	894	ソーセージ	1297	ラグ
89	スタッフ	492	メジャー	895	ブランド	1298	ドキュメンタリー
90	プレー	493	ドクター	896	トレンド	1299	ストローク
91	ファン	494	グレー	897	ズーム	1300	サプリメント
92	サッカー	495	インストール	898	ナチュラル	1301	ノブ
93	グリーン	496	スケール	899	ステーキ	1302	フェア
94	ゴルフ	497	ソファ	900	ヒール	1303	コンディション
95	ホール	498	グッド	901	クライアント	1304	ネール
96	ブラン	499	サンプル	902	マガジン	1305	セロリ
97	ボランティア	500	ストレート	903	ホース	1306	コンセント
98	スピード	501	リビング	904	パー	1307	ホルダー
99	ファックス	502	ジャンル	905	ライト	1308	プログラミング
100	バック	503	エッチ	906	メード	1309	イタリアン
101	アクセス	504	スライド	907	バトン	1310	ワックス
102	ショップ	505	デザイナー	908	ライセンス	1311	アトピー
103	テープ	506	ゴー	909	アイデンティティ	1312	瑠璃
104	パワー	507	ショット	910	モラル	1313	キャスター
105	マイナス	508	ログ	911	ロス	1314	バッテリー
106	ナンバー	509	ゴールド	912	テンション	1315	ジャージ
107	ブランド	510	レート	913	ビザ	1316	ワイルド
108	ベスト	511	ビジョン	914	ストーブ	1317	ストーカー
109	ワイン	512	クリニック	915	ロケ	1318	セメント
110	トラブル	513	ターン	916	キャプテン	1319	スナック
111	ウイルス	514	シナリオ	917	ナトリウム	1320	ウォー
112	ボックス	515	ライター	918	コミック	1321	コットン
113	ドラマ	516	アーティスト	919	ロー	1322	リューマチ
114	コード	517	ブラシ	920	トーン	1323	バイパス
115	カバー	518	グッズ	921	セクション	1324	カルテ
116	ワード	519	トーク	922	デスクトップ	1325	スパイク
117	クリック	520	ポジション	923	パレエ	1326	ヒューマン
118	ハウス	521	ポンプ	924	ヒル	1327	プロダクション
119	チャンス	522	コップ	925	エクスプレス	1328	スリッパ
120	ブルー	523	フライパン	926	マリン	1329	ペニス
121	リスク	524	レディー	927	ウルトラ	1330	プロデュース
122	コメント	525	ナイト	928	ブリッジ	1331	アナウンス
123	コミュニケーション	526	フルーツ	929	バリエーション	1332	チャーハン

124	ニュー	527	リフォーム	930	リフレッシュ	1333	バニラ
125	シリーズ	528	ジャンプ	931	ニュアンス	1334	キャット
126	パターン	529	チューブ	932	コンテナ	1335	ポーチ
127	デー	530	キャラ	933	キープ	1336	ブラザー
128	レストラン	531	ジュニア	934	カウント	1337	ナイロン
129	コピー	532	オーダー	935	イヤー	1338	ビーフ
130	パート	533	ギャラリー	936	トランク	1339	タスク
131	トラック	534	メダル	937	ヨット	1340	フオーン
132	ママ	535	キャンセル	938	エントリー	1341	レポーター
133	ショック	536	ロケット	939	デフレ	1342	タイムリー
134	マイ	537	シール	940	シニア	1343	阿片
135	カット	538	フィルター	941	ドック	1344	ピル
136	サイド	539	メカニズム	942	メロン	1345	タブー
137	リスト	540	カボチャ	943	ドロップ	1346	マインド
138	アドバイス	541	ゲート	944	ハードディスク	1347	ドラフト
139	レース	542	バイト	945	カウンセラー	1348	ハンマー
140	ケア	543	クラシック	946	パレード	1349	アーム
141	バー	544	スピーカー	947	キッド	1350	プロトコル
142	シャツ	545	ライオン	948	ダイニング	1351	ケチャップ
143	クリーム	546	フロー	949	ヨーガ	1352	モジュール
144	コントロール	547	ノウハウ	950	アクセル	1353	チューリップ
145	バッグ	548	マクロ	951	ルネサンス	1354	ステレオ
146	パーティー	549	マネー	952	スト	1355	ポロ
147	ミニ	550	テンポ	953	アルカリ	1356	ハードウェア
148	トマト	551	サイズ	954	キャンパス	1357	ナショナリズム
149	カレー	552	インパクト	955	フレンチ	1358	プラットホーム
150	スター	553	ペア	956	ブラウス	1359	ウォール
151	ショー	554	オープン	957	ユニホーム	1360	クローン
152	ゴム	555	ドラム	958	ヒップ	1361	マダム
153	プロジェクト	556	セント	959	ドッグ	1362	ハイウエー
154	メモ	557	タグ	960	レビュー	1363	セントラル
155	ステージ	558	リラックス	961	セクター	1364	テール
156	プレゼント	559	オリーブ	962	ダイアログ	1365	フィードバック
157	ツアー	560	インターナショナル	963	スルー	1366	インデックス
158	タイトル	561	シャッター	964	タイ	1367	ロン
159	ルート	562	フォーク	965	ドレッシング	1368	ワーキング
160	スキー	563	アナログ	966	オールド	1369	シャドー
161	パック	564	マジック	967	ピン	1370	ガーゼ
162	シーン	565	インター	968	インフォメーション	1371	シード
163	ブロック	566	ポート	969	ノイズ	1372	バーベキュー
164	ミス	567	ライバル	970	ベージュ	1373	チューナー
165	ハイ	568	カタログ	971	ミュージカル	1374	パーマ

166	メーン	569	グラウンド	972	マージャン	1375	コマンド
167	オーケー	570	インフレ	973	デメリット	1376	リップ
168	シーズン	571	フォルダー	974	ホーク	1377	ジャーナリズム
169	アイディア	572	ユニーク	975	ペイント	1378	バッジ
170	フル	573	ハーフ	976	フリーター	1379	プル
171	キャンプ	574	ロビー	977	インシュリン	1380	シロップ
172	プール	575	パンチ	978	スケート	1381	ヘルシー
173	アドレス	576	アレンジ	979	パトカー	1382	セーフ
174	ホワイト	577	ボーナス	980	マニア	1383	トースト
175	ローン	578	レイアウト	981	カンパニー	1384	クラフト
176	リーダー	579	デッキ	982	スライス	1385	ワークショップ
177	タクシー	580	ヘルパー	983	ミュージシャン	1386	キャピタル
178	ピンク	581	ビーチ	984	フォン	1387	マーカー
179	ワーク	582	スイート	985	プロパティ	1388	プレビュー
180	ライフ	583	ベテラン	986	ミーティング	1389	ソーブ
181	アパート	584	アプリケーション	987	ユーモア	1390	ホラー
182	ノート	585	カレンダー	988	スポンサー	1391	レコーディング
183	ウインドー	586	パスポート	989	カントリー	1392	ボンド
184	オフィス	587	バリア	990	ナビ	1393	オルガン
185	ステップ	588	レジ	991	セクシー	1394	ハードル
186	ワールド	589	ゼリー	992	カセット	1395	ジョギング
187	アルコール	590	ダイヤル	993	ドット	1396	ドラッグ
188	サポート	591	ウエート	994	スチール	1397	フォース
189	ブログ	592	パイロット	995	ミステリー	1398	ストライク
190	オレンジ	593	スプーン	996	リサーチ	1399	クッキング
191	バイク	594	コンパクト	997	ブラグ	1400	ライフル
192	バンド	595	プリンター	998	シンポジウム	1401	スキン
193	ポケット	596	ドライ	999	ステンレス	1402	ダンサー
194	ソース	597	パン	1000	ボルト	1403	プラズマ
195	テキスト	598	カウンセリング	1001	スピーチ	1404	サンド
196	ピアノ	599	マス	1002	ピンチ	1405	アウトルック
197	トレーニング	600	ゲット	1003	チャート	1406	リニューアル
198	サイン	601	インフルエンザ	1004	ヘッジ	1407	プレゼンテーション
199	チーズ	602	マラソン	1005	レア	1408	アトラクション
200	バス	603	ホスト	1006	サマー	1409	ナウ
201	ユーザー	604	ガード	1007	ダイナミック	1410	エクスペローラー
202	バンク	605	ラスト	1008	オートバイ	1411	パット
203	ドライブ	606	シンボル	1009	サングラス	1412	三昧
204	コート	607	ラッキー	1010	スポンジ	1413	ポピュラー
205	ウェブ	608	コール	1011	ヘルス	1414	チャイルド
206	オリンピック	609	エース	1012	アーチ	1415	ホステス
207	アンケート	610	バッテリー	1013	イエロー	1416	ミドル

208	ルーム	611	デジカメ	1014	タイマー	1417	菩提
209	ペン	612	ハッピー	1015	リフト	1418	サーブ
210	スクール	613	ミュージック	1016	シェフ	1419	スノー
211	コンサート	614	ウエー	1017	メタル	1420	カム
212	ライブ	615	デスク	1018	ピアス	1421	スリッパ
213	パネル	616	ハンド	1019	イデオロギー	1422	キャンデー
214	クリスマス	617	フロア	1020	ヤング	1423	セーフティー
215	リサイクル	618	ミックス	1021	ディナー	1424	リハーサル
216	旦那	619	チョコ	1022	ディレクター	1425	スーパーマーケット
217	メリット	620	クリーン	1023	ココ	1426	ジャー
218	フード	621	キング	1024	ブロードバンド	1427	セクハラ
219	マスコミ	622	リストラ	1025	アクティブ	1428	テーク
220	テロ	623	プレス	1026	チャン	1429	マスカラ
221	レポート	624	クール	1027	スタンプ	1430	トラスト
222	スープ	625	ローカル	1028	ヘルプ	1431	コンサルティング
223	タイヤ	626	ターミナル	1029	ファイア	1432	モザイク
224	オイル	627	ミスター	1030	パレット	1433	モン
225	レンズ	628	ネーム	1031	リターン	1434	アンブ
226	リーグ	629	ピーマン	1032	サイエンス	1435	オアシス
227	ケーキ	630	スタジアム	1033	ルーター	1436	グランプリ
228	サラダ	631	ロマン	1034	マックス	1437	パラメーター
229	ランド	632	ディスプレイ	1035	ボウリング	1438	コック
230	ファッション	633	トータル	1036	レター	1439	コン
231	ペット	634	ユーロ	1037	スナック	1440	ヒート
232	ホルモン	635	ユニット	1038	エステ	1441	ネオン
233	ガソリン	636	ギャップ	1039	セルフ	1442	セーブ
234	ラン	637	サウンド	1040	ループ	1443	ウーロン
235	リズム	638	アルミ	1041	シルエット	1444	シャフト
236	ダブル	639	ストリート	1042	ロマンチック	1445	リタイア
237	ニュース	640	スロー	1043	カーボン	1446	ブルーベリー
238	ゴール	641	デザート	1044	エンターテインメント	1447	コカ
239	モード	642	プチ	1045	ソックス	1448	テレビジョン
240	タイミング	643	ファンド	1046	パーソナル	1449	ウイル
241	バター	644	ポット	1047	ウォッチ	1450	リバー
242	ケーブル	645	メーター	1048	ユース	1451	背広
243	リード	646	ウォーター	1049	シチュー	1452	チューン
244	ツール	647	ワイド	1050	ジャングル	1453	アリーナ
245	ペース	648	プライド	1051	リトル	1454	シンガー
246	フィルム	649	ドリンク	1052	ドリーム	1455	モニタリング
247	イオン	650	キット	1053	ジャバ	1456	シグナル
248	ボディー	651	キーボード	1054	ソナタ	1457	ドーナツ
249	インタビュー	652	レコーダー	1055	ユニバーサル	1458	クラッチ

250	サラリーマン	653	ターゲット	1056	スタンス	1459	コントラスト
251	ブラック	654	ジャーナリスト	1057	レンタカー	1460	レトロ
252	ダンス	655	コンビ	1058	ヒーター	1461	ピーナッツ
253	チケット	656	メロディー	1059	スクエア	1462	アリバイ
254	ヒット	657	ナショナル	1060	スティック	1463	ハーモニー
255	コンクリート	658	ネクタイ	1061	デバイス	1464	アンサー
256	ミルク	659	リア	1062	グローブ	1465	ルー
257	ノー	660	ベランダ	1063	デニム	1466	ソフトボール
258	ベルト	661	ヘリコプター	1064	ミラー	1467	ステロイド
259	テニス	662	スプレー	1065	シー	1468	ノース
260	ビニール	663	パスワード	1066	ストラップ	1469	アングル
261	オリジナル	664	フライ	1067	ドメイン	1470	クリスチャン
262	チェーン	665	プレミアム	1068	テロリスト	1471	エール
263	カウンター	666	ドラゴン	1069	ハイキング	1472	カツ
264	ボトル	667	ニット	1070	コーディネーター	1473	ギャグ
265	リアル	668	チャンピオン	1071	レバー	1474	ウイナ
266	ショート	669	ポーズ	1072	インディアン	1475	レーシング
267	オークション	670	リンパ	1073	フラット	1476	ツーリング
268	スタンド	671	エンジェル	1074	オープニング	1477	リアリティ
269	ブーム	672	ラップ	1075	レイヤー	1478	アイランド
270	タオル	673	アイドル	1076	プロレス	1479	パンプス
271	チャンネル	674	エクセル	1077	ドキュメント	1480	ソーダ
272	ガイド	675	ライス	1078	バス	1481	クルーズ
273	レコード	676	ブーツ	1079	トーナメント	1482	シック
274	エアー	677	ポップ	1080	ツイン	1483	ネーミング
275	ロボット	678	ネックレス	1081	サーキット	1484	マルチメディア
276	グラフ	679	クレーム	1082	ノック	1485	ラベンダー
277	パーク	680	インク	1083	フィギュア	1486	フルート
278	トンネル	681	ウイスキー	1084	モデム	1487	porno
279	アイス	682	ジム	1085	ランニング	1488	プル
280	マップ	683	ビュー	1086	コマーシャル	1489	チーフ
281	モニター	684	アクセサリ	1087	アシスタント	1490	コメディ
282	プレーヤー	685	パスタ	1088	ベーシック	1491	エンディング
283	プロセス	686	セール	1089	オゾン	1492	ポートフォリオ
284	バブル	687	天麴羅	1090	ゲイ	1493	チェリー
285	エリア	688	ガール	1091	チャット	1494	サード
286	ロック	689	ギョーザ	1092	ガム	1495	ステート
287	デビュー	690	スカイ	1093	インターフェース	1496	イコール
288	ドライバー	691	コア	1094	スケッチ	1497	ポリス
289	アート	692	ダメージ	1095	ライト	1498	トランプ
290	ポスター	693	ワイヤ	1096	バスケット	1499	サイレン
291	ブック	694	ウォーキング	1097	メンタル	1500	カリウム

292	ペーパー	695	フォロー	1098	ラグビー	1501	フロッピー
293	パパ	696	ワクチン	1099	カクテル	1502	エッグ
294	アルバイト	697	ベンチャー	1100	バレーボール	1503	サウナ
295	パンツ	698	エラー	1101	フォーマット	1504	ストッキング
296	アニメ	699	コンセプト	1102	ダイオキシン	1505	ミート
297	ラブ	700	インテリア	1103	アナ	1506	ウーマン
298	スイッチ	701	ピッチ	1104	テースト	1507	ファースト
299	レンジ	702	パイ	1105	ボーカル	1508	エッセンス
300	オール	703	サミット	1106	ビートル	1509	チョイス
301	テル	704	ロイヤル	1107	ウイング	1510	ゲノム
302	サークル	705	オーディオ	1108	オーラ	1511	コースター
303	ラーメン	706	ミネラル	1109	ロッカー	1512	ペンギン
304	チャレンジ	707	バラエティー	1110	ポスト	1513	ゴルフアー
305	ピーク	708	ハーブ	1111	カッター	1514	ハブ
306	マスター	709	チェンジ	1112	ビジネスマン	1515	バーチャル
307	ディスク	710	フェース	1113	トピック	1516	インナー
308	スケジュール	711	カトリック	1114	スローガン	1517	トルク
309	プラスチック	712	クイズ	1115	スプリング	1518	ハザード
310	ビタミン	713	リーダーシップ	1116	ビジュアル	1519	コレクター
311	ベビー	714	ジーンズ	1117	ポッド	1520	チー
312	タンク	715	イング	1118	ギヤ	1521	ダウンタウン
313	キャラクター	716	ムード	1119	プリンス	1522	バリュー
314	スカート	717	クーラー	1120	カプセル	1523	ピット
315	セックス	718	ガン	1121	スクリプト	1524	クレーン
316	リング	719	スキル	1122	ベール	1525	アセスメント
317	アピール	720	キャップ	1123	スパ	1526	ストライキ
318	スポット	721	スイング	1124	インスタント	1527	ブラン
319	ロード	722	プライベート	1125	カート	1528	ブラウン
320	オーナー	723	ダイヤ	1126	ワーカー	1529	ルーズ
321	ハード	724	トライ	1127	ファンタジー	1530	クーリング
322	ベンチ	725	カメラマン	1128	サーカス	1531	ハニー
323	パートナー	726	スパイ	1129	コロッケ	1532	ルアー
324	ビッグ	727	シャンプー	1130	ウェア	1533	ボトム
325	イスラム	728	ボス	1131	アイロン	1534	ディレクトリー
326	ストーリー	729	チキン	1132	ボイス	1535	キリ
327	プリント	730	ソロ	1133	パルス	1536	カヌー
328	ナイフ	731	ウエスト	1134	ダイビング	1537	ミント
329	スムーズ	732	シュート	1135	ビー	1538	スマイル
330	エレベーター	733	スタンダード	1136	グレード	1539	ラインアップ
331	コミュニティ	734	ウイーク	1137	ペダル	1540	ターボ
332	ヒント	735	シミュレーション	1138	アダルト	1541	ペナルティー
333	サン	736	コンテンツ	1139	ブース	1542	ヘビー

334	クリア	737	バット	1140	パッド	1543	ポインター
335	シェア	738	モチーフ	1141	グリップ	1544	ポリシー
336	ブレーキ	739	ソング	1142	ピッチャー	1545	ルーク
337	ダイエット	740	ガーデン	1143	バジヤマ	1546	セーラー
338	アプローチ	741	バックアップ	1144	リモコン	1547	チューニング
339	カフェ	742	バイオ	1145	ピストル	1548	マント
340	ジュース	743	リレー	1146	ナース	1549	ゼネラル
341	マシン	744	マフラー	1147	アース	1550	プレスレット
342	アルバム	745	ラッシュ	1148	ポジティブ	1551	プロダクト
343	レッド	746	ロゴ	1149	ソーシャル	1552	エクササイズ
344	アレルギー	747	シャープ	1150	ヒロイン	1553	ウィザード
345	プレート	748	ブレイク	1151	カーペット	1554	バイキング
346	マネージャー	749	エリート	1152	サンデー	1555	エアロ
347	ホット	750	シルク	1153	ファー	1556	ミセス
348	マーケット	751	ロール	1154	ステー	1557	フェニックス
349	シティー	752	リハビリ	1155	ベクトル	1558	ルック
350	イラスト	753	エッセー	1156	テレホン	1559	プロモーション
351	キャベツ	754	レール	1157	スカウト	1560	クライマックス
352	レモン	755	レーダー	1158	スカーフ	1561	プラトニウム
353	グラス	756	オーケストラ	1159	イレブン	1562	チャリティー
354	チップ	757	モバイル	1160	ヤンキー	1563	ステッチ
355	ロング	758	コーラ	1161	ファイブ	1564	ピアー
356	キャリア	759	パニック	1162	ビックアップ	1565	カーソル
357	カーテン	760	マーケティング	1163	フライト	1566	ネオ
358	ダム	761	モダン	1164	バンク	1567	ギャル
359	ピース	762	ハロー	1165	ダーク	1568	ビキニ
360	マナー	763	ポスト	1166	シャンパン	1569	ジャンパー
361	フィールド	764	シューズ	1167	ミクロ	1570	ウール
362	フォーム	765	アミノ	1168	コイル	1571	スピリット
363	ショッピング	766	ガイドライン	1169	パブリック	1572	ウェル
364	ドーム	767	コム	1170	ボクシング	1573	メッセンジャー
365	ファミリー	768	マザー	1171	シンク	1574	ギフト
366	サーバー	769	ボウル	1172	ハンター	1575	イニシアチブ
367	ストップ	770	エンド	1173	ラウンジ	1576	ディフェンス
368	リンク	771	アクセント	1174	ライブラリー	1577	クラウン
369	パイプ	772	グラフィック	1175	セッション	1578	シチュエーション
370	グローバル	773	フォーラム	1176	エキス	1579	アクア
371	フロント	774	グルメ	1177	パンダ	1580	ポンド
372	ソフトウェア	775	キムチ	1178	フィット	1581	スタイリスト
373	クレジット	776	ストレッチ	1179	ムービー	1582	パノラマ
374	サイズ	777	プロフィール	1180	カリキュラム	1583	刹那
375	ボート	778	レーン	1181	カラフル	1584	ミキサー

376	アクション	779	ビーム	1182	アドバイザー	1585	トッピング
377	タッチ	780	リリース	1183	ナイン	1586	デス
378	マット	781	アイコン	1184	アウトドア	1587	フラ
379	キャンペーン	782	ポテト	1185	カテ	1588	コンビニエンス
380	キッチン	783	ライダー	1186	スロット	1589	ジャーナル
381	ゲスト	784	コンテスト	1187	ドリル	1590	リセット
382	マッサージ	785	ピザ	1188	スリム	1591	ガッツ
383	ランク	786	ドゥー	1189	ゴロ	1592	バスケットボール
384	セキュリティー	787	ブラウザ	1190	ジェル	1593	バルコニー
385	マウス	788	ティッシュ	1191	エージ	1594	ゲージ
386	サイクル	789	フェリー	1192	ホームレス	1595	ロマンス
387	スーツ	790	ジャム	1193	キャラメル	1596	ファーム
388	デパート	791	フレンド	1194	コンプレックス	1597	ゴシック
389	ボード	792	ワゴン	1195	ガレージ	1598	ウイン
390	デート	793	クリーニング	1196	ダーツ	1599	ファクター
391	メモリー	794	ラテン	1197	カスタム	1600	ピント
392	マニュアル	795	ストーン	1198	コスモス	1601	ウェブサイト
393	ランキング	796	タイガー	1199	トレーナー	1602	クイック
394	アンテナ	797	クロース	1200	ブロッコリー	1603	パーカ
395	ハート	798	レタス	1201	ロック	1604	トリートメント
396	ギター	799	クロス	1202	フェンス	1605	アンサンブル
397	レーザー	800	レギュラー	1203	バルブ	1606	ファイナンス
398	オプション	801	バイオリン	1204	コーラス	1607	スーツケース
399	セル	802	ピラミッド	1205	マイナー	1608	ローラー
400	ランプ	803	フラッシュ	1206	ネガティブ	1609	マフィア
401	リンク	804	クッキー	1207	イブ	1610	スラム
402	パンフレット	805	ハンカチ	1208	フレッシュ	1611	エスカレート
403	シフト	806	クッション	1209	フック	1612	ウェア

付録 3 学習シート 1 (初版)

タスクシート

(I) 当ててみよう!

★(I-I) 次の()に入るもっともよいものを, 「な」と「の」から 1 つ選びなさい。

(1) 無数() 星	(2) 豊富() 経験	(3) 沢山() 人
(4) 正確() 情報	(5) 健全() 法律	

★(I-II) 答えを確認してみよう!

(1') 無数(の) 星	(2') 豊富(な) 経験	(3') 沢山(の) 人
(4') 正確(な) 情報	(5') 健全(な) 法律	

★(I-III) 振り返ってみよう(1)!

- (1) 5 問中何問できましたか? () 問
- (2) 上記の問題の中, 難しいと感じる問題がありましたか? あるならどちらですか(複数回答可)?
a. ない b. ある(問題番号: ())
- (3) どうして上記の問題が難しいと思いますか? 自分の日本語に関してどのような知識が不足していると思いますか? ()

(II) 観察してみよう!

★(II-I) 用例を見て, 以下の問題を考えてみよう! (上の正当例も合わせて考えてね)。

(1) 独自(の) コンセプト	(2) 無限(の) 可能性	(3) 特有(の) 匂い
(4) 最高(の) 一日	(5) 活発(な) 活動	(6) 微妙(な) ところ
(7) 立派(な) 人	(8) 新鮮(な) 野菜	(9) 詳細(な) 説明
(10) 最悪(の) 実態	(11) 立派(な) 社会人	(12) 丁寧(な) 言葉
(13) 深刻(な) 問題	(14) 複雑(な) 気持ち	(15) 強烈(な) 印象
(16) 厳密(な) 意味	(17) 有名(な) 話	(18) 貴重(な) 資料
(19) 適切(な) 対応		

- (1) 「ノ」を使用して名詞を修飾する形状詞と「ナ」を使用した形状詞と比べて, どちらが多いですか?

「ナ」: () 語 「ノ」: () 語

- (2) それぞれの形状詞の前に, 修飾副詞(例: 非常に, きわめて)を加えると, 意味的には不自然と感じる語としてどのようなものが挙げられますか? それらは「ナ」と「ノ」のどちらと共起しますか?
()

- (3) 上記の形状詞のうち, 数量に関係するものとしてどのような語が挙げられますか? それらは「ナ」と「ノ」のどちらと共起しますか? ()

★(II-II) 答えを確認してみよう!

- (1) 上記の 19 例のうち, 「ナ」と共起するのは 15 語で, 「ノ」と共起するのは 4 語であるので, 「ナ」と共起する語の方が多いです。
- (2) たとえば, 「無限」は「限度がない」という意味であるため, 「非常に」と共起すると意味的には違和感がありま

す。同じく、「独自」や「特有」、そして「最高」も「非常に」などの修飾副詞と共起しにくいです。それらは名詞を修飾する時に、すべて「ノ」を使用しました。

(3)たとえば、「無数」、「沢山」、「無限」などの語は数量と関係しています。それらは名詞を修飾する時に、すべて「ノ」を使用しました。

★(Ⅱ-Ⅲ)振り返ってみよう(2)！

(1)上記の問題のうち、まだよく理解できていないのは()ですか？(2)具体的にどのポイントが理解できていないですか？()

(Ⅲ)読んでみよう！

★(Ⅲ-Ⅰ)配布資料を読んで、以下の穴を埋めてみよう！

- (1)全体として、「」型の方が多い。
- (2)名詞と結ぶときに、「ナ」と「ノ」がほとんど同じ頻度で使われている形状詞は()です。(多い・少ない)
- (3)()と関係し、示された概念の中に一定の()が存在する形状詞は「ナ」を用いて名詞を修飾しやすい。たとえば、()()などがある。(例を2つ挙げてください)
- (4)()を表している形状詞は「ノ」を用いて名詞を修飾しやすい。たとえば、()()などがある。(例を2つ挙げてください)

★(Ⅲ-Ⅱ)答えを確認してみよう！

- (1)全体として、「**ナ**」型の方が多い。
- (2)名詞と結ぶときに、「ナ」と「ノ」がほとんど同じ頻度で使われている形状詞は(**少ない**)です。
- (3)(**程度の大小**)と関係し、示された概念の中に一定の(**幅**)が存在する形状詞は「ナ」を用いて名詞を修飾しやすい。たとえば、(**複雑**) (**便利**) などがある。(例を2つ挙げてください)
- (4)(**数量**)を表している形状詞は「ノ」を用いて名詞を修飾しやすい。たとえば、(**無数**) (**複数**) などがある。(例を2つ挙げてください)

★(Ⅲ-Ⅲ)振り返ってみよう(3)！

- (1)どの問題が間違いましたか？間違っているポイントを書き出してみよう！()
- (2)配布資料を読むことで、**振り返ってみよう(2)！**において理解できていないポイントは理解できましたか？まだ疑問を持っているところはありますか？()

(Ⅳ)練習してみよう！

★(Ⅳ-Ⅰ)次の()に入るもっともよいものを、1・2・3・4・5から1つ選びなさい。

- (1)偶然()一致 (2)一定()条件 (3)正確()情報
(4)別々()場所 (5)公式()場 (6)着実()推進

★(Ⅳ-Ⅱ)答えを確認してみよう！

(1') 偶然(の)一致

(2') 一定(の)条件

(3') 正確(な)情報

(4') 別々(の)場所

(5') 公式(の)場

(6') 着実(な)推進

★(IV-Ⅲ)振り返ってみよう(4)！

(1) 6 問中何問できましたか？() 問

(2) 6 問のうち、まだ間違っているのはどの問題ですか？どうして間違いましたか？

問題番号:() 理由:()

★【型分類】

80

60

40

20

0

(%)

0.47

20.38

7.11

61.61

10.43

漢語

「ノ型」

「ノ寄り型」

「両用型」

「ナ寄り型」

「ナ型」

「ノ型」→「ナ」共起率^{*}=0%

「ノ寄り型」→「ナ」共起率<40%

「両用型」→「ナ」共起率<60%

「ナ寄り型」→「ナ」共起率<100%

「ナ型」→「ナ」共起率=100%

＊「ナ」共起率＝「ナ」共起の出現頻度／（「ナ」共起の出現頻度＋「ノ」共起の出現頻度）

たとえば、「正確＋ナ＋名詞」の頻度は 1339 であり、「正確＋ノ＋名詞」の頻度は 0 であるから、正確の「ナ」共起率は 1339／（1339＋0）＝1 となる。

(1) 広義の「ナ型」（「ナ型」と「ナ寄り型」）のほうが広義の「ノ型」（「ノ型」と「ノ寄り型」）より多い

(2) 「ナ」または「ノ」を排他的に選ぶ語は少ない

(3) 「ナ」と「ノ」のいずれにおいても選好性を持たない純粋な「両用型」が少なく、「ノ」または「ナ」のどちらかを優先的に使用する

★【主要漢語形状詞の型分類】

型分類	「形状詞可能型」漢語
「ノ型」	三角
「ノ寄り型」	一定，無数，沢山，単独，最高，直接，普通，大量，同一，個別，反对，普遍，秘密，独自，一杯，当然，別々，共通，拔群，種々，不足，無限，偶然，固有，新規，不意，特有，必須，連続，最悪，最低，必死，同様，長寿，緊急，独特，公式，神秘，不良，不明，不満，苦痛，肝心
「両用型」	相当，高速，夢中，優位，水平，満足，不能，自然，不正，苦勞，懸命，平等，高額，無効，得意
「ナ寄り型」	幸運，特別，垂直，平和，無事，安心，透明，名誉，好調，正式，貧困，高度，高級，最適，不安，心配，孤独，不要，自由，高等，幸福，不法，上手，阿呆，過剰，非常，純粹，均等，不幸，正常，違法，平気，貧乏，異常，不快，馬鹿，特殊，正直，慎重，詳細，安定，正当，簡易，贅沢，退屈，有利，皮肉，乱暴，意外，公平，危険，温暖，不利，妥当，有効，可能，十分，多様，誠実，安全，迷惑，失礼，極端，良好，優秀，完璧，健康，熱心，結構，大事，有力，高価，幼稚，頻繁，不当，順調，悲惨，確實，真剣，柔軟，面倒，困難，率直，無理，特異，適當，明確，厄介，曖昧，元気，有害，残念，親切，簡単，容易，忠実，微妙，強力，清潔，活発，広大，必要，知的，重要，適正，余計，冷静，顕著，完全，丁寧，公的，偉大，公正，豪華，急速，単純，重大，大切，快適，有名，主要，新鮮，貴重，便利，奇麗，大変，立派，巨大，奇妙，適切
「ナ型」	正確，複雑，深刻，邪魔，豊富，急激，強烈，着実，愉快，敏感，厳密，強引，素朴，健全，法的，円滑，的確，迅速，私的，大胆，密接，性的

★【異なる型に属する漢語の意味特性】

(1) 程度の大小に関係しており、示される概念の中に一定の幅が存在する形状詞は「ナ」を用いて名詞を修飾しやすい(たとえば、「正確」や「複雑」など示される概念の中に一定の幅が存在する語が挙げられる)。そのため、

これらの語彙は修飾副詞と共起しやすい。

(2) 数量(存在の有無)を表す形状詞は「ノ」を用いて名詞を修飾しやすい(たとえば、「無数」・「沢山」・「大量」など数量を表している語が挙げられる)。

(3) 択一的属性を表す形状詞は「ノ」を用いて名詞を修飾しやすい

付録 4 学習シート 1(改善版)

タスクシート

(Ⅰ) 当ててみよう！

★(Ⅰ-Ⅰ) 次の()に入るもっともよいものを, 「な」と「の」から 1 つ選びなさい。

(1) 無数() 星	(2) 豊富() 経験	(3) 沢山() 人
(4) 正確() 情報	(5) 健全() 法律	

★(Ⅰ-Ⅱ) 答えを確認してみよう！

(1') 無数(の) 星	(2') 豊富(な) 経験	(3') 沢山(の) 人
(4') 正確(な) 情報	(5') 健全(な) 法律	

★(Ⅰ-Ⅲ) 振り返ってみよう(1)！

- (1) 5 問中何問できましたか？() 問
- (2) 上記の問題の中, 難しいと感じる問題がありましたか？あるならどちらですか(複数回答可)？
a. ない b. ある(問題番号:())
- (3) どうして上記の問題が難しいと思いますか？自分の日本語に関してどのような知識が不足していると思いますか？()

(Ⅱ) 観察してみよう！

★(Ⅱ-Ⅰ) 用例を見て, 以下の問題を考えてみよう！(上の正当例も合わせて考えてね)。

(1) 独自(の) コンセプト	(2) 無限(の) 可能性	(3) 特有(の) 匂い
(4) 最高(の) 一日	(5) 活発(な) 活動	(6) 微妙(な) ところ
(7) 立派(な) 人	(8) 新鮮(な) 野菜	(9) 詳細(な) 説明
(10) 最悪(の) 実態	(11) 立派(な) 社会人	(12) 丁寧(な) 言葉
(13) 深刻(な) 問題	(14) 複雑(な) 気持ち	(15) 強烈(な) 印象
(16) 厳密(な) 意味	(17) 有名(な) 話	(18) 貴重(な) 資料
(19) 適切(な) 対応		

(1) 「ノ」を使用して名詞を修飾する形状詞(ここでは伝統文法でいう形容詞と形容動詞を統合した概念を「形状詞」と呼ぶ)と「ナ」を使用した形状詞と比べて, どちらが多いですか？

(使用「ノ」修飾名詞の形容詞和使用「ナ」修飾名詞の形容詞相比, 哪一个数量更多？(这里所说的「形状詞」, 是指传统的文法中的形容词和形容动词的总称。))

「ナ」:() 語 「ノ」:() 語

(2) それぞれの形状詞の前に, 程度副詞(例: 非常に, きわめて)を加えると, 意味的には不自然と感じる語としてどのようなものが挙げられますか？それらは「ナ」と「ノ」のどちらと共起しますか？(在以上的形容词前搭配程度副词(例如: 非常, 很)使用之后, 在意思上会产生违和感的有哪些词语？它们是使用「ナ」的形容词还是使用「ノ」的形容词呢？)()

(3) 上記の形状詞のうち, 数量に関係するものとしてどのような語が挙げられますか？それらは「ナ」と「ノ」のどち

らと共起しますか？（以上の词中，和数量相关的有哪些呢？它们是使用「ナ」的形容词还是使用「ノ」的形容词呢？）
（ ）

★(Ⅱ-Ⅱ)答えを確認してみよう！

(1) 上記の 24 例のうち，「ナ」と共起するのは 18 語で，「ノ」と共起するのは 6 語であるので，「ナ」と共起する語の方が多いです。（在上面的 24 个例子中，和「ナ」搭配的有 18 个，和「ノ」搭配的有 6 个，和「ナ」搭配的词语会更多一些。）

(2) たとえば，「無限」は「限度がない」という意味であるため，「非常に」と共起すると意味的には違和感があります。同じく，「独自」や「特有」，そして「最高」も「非常に」などの修飾副詞と共起しにくいのです。それらは名詞を修飾する時に，すべて「ノ」を使用しました。（例如「無限」是「没有限度」的意思，所以和「非常」搭配使用的话就会产生違和感。同样，「独自」，「特有」，「最高」等词语也很难和「非常」这样的程度副词搭配使用。这样的词在和名词搭配使用的时候通常使用「ノ」。）

(3) たとえば，「無数」，「沢山」，「無限」などの語は数量と関係しています。それらは名詞を修飾する時に，すべて「ノ」を使用しました。（例如，「無数」，「沢山」，「無限」等等就是和数量相关的词语。这些词在修饰名词的时候通常使用「ノ」。）

★(Ⅱ-Ⅲ)振り返ってみよう(2)！

(1) 上記の問題のうち，まだ理解できていないのはありますか？(2)あるなら，具体的にどのポイントが理解できていないですか？（ ）

(Ⅲ) 読んでみよう！

★(Ⅲ-Ⅰ)配布資料を読んで，以下の穴を埋めてみよう！

(1) 全体として，「 」型の方が多い。（整体来说「 」型的词语数量更多。）

(2) 名詞と結ぶときに，「ナ」と「ノ」がほとんど同じ頻度で使用されている形状詞は（ ）です。（多い・少ない）

（修饰名词时，以几乎同等频率使用「ナ」和「ノ」的词语较（ ）。（多・少））

(3) （ ）と関係し，示された概念の中に一定の（ ）が存在する形状詞は「ナ」を用いて名詞を修飾しやすい。たとえば，（ ）（ ）などがある。（例を 2 つ挙げてください）

（和（ ）相关，所指示的概念中有一定（ ）存在的形容词通常使用「ナ」。例如，（ ）（ ）。）

(4) （ ）を表している形状詞は「ノ」を用いて名詞を修飾しやすい。たとえば，（ ）（ ）などがある。（例を 2 つ挙げてください）（表示（ ）的形容词在修饰名词时通常使用「ノ」。例如，（ ）（ ）。）

★(Ⅲ-Ⅱ)答えを確認してみよう！

(1) 全体として，「ナ」型の方が多い。（整体来说「ナ」型的词语数量更多。）

(2) 名詞と結ぶときに，「ナ」と「ノ」がほとんど同じ頻度で使用されている形状詞は（少ない）です。

（修饰名词时，以几乎同等频率使用「ナ」和「ノ」的词语较（少）。）

(3) （程度の大小）と関係し，示された概念の中に一定の（幅）が存在する形状詞は「ナ」を用いて名詞を修飾しやすい。たとえば，（複雑）（便利）などがある。（例を 2 つ挙げてください）

（和（程度）相关，所指示的概念中有一定（幅度）存在的形容词通常使用「ナ」。例如，（複雑）（便利）。）

(4) （数量）を表している形状詞は「ノ」を用いて名詞を修飾しやすい。たとえば，（無数）（複数）などがある。（例

を2つ挙げてください)(表示(数量)的形容词在修饰名词时通常使用「ノ」。例如,(無数)(複数)。)

★(Ⅲ-Ⅲ)振り返ってみよう(3)!

- (1)どの問題が間違いましたか?間違っているポイントを書き出してみよう!()
- (2)配布資料を読むことで、振り返ってみよう(2)!において理解できていないポイントは理解できましたか?まだ疑問を持っているところはありますか?()

(Ⅳ)練習してみよう!

(Ⅳ-I)★次の()に入るもっともよいものを、1・2・3・4・5から1つ選びなさい。

- (1)偶然()一致 (2)一定()条件 (3)正確()情報
(4)別々()場所 (5)公式()場 (6)着実()推進

(Ⅳ-II)★答えを確認してみよう!

- (1')偶然(の)一致 (2')一定(の)条件 (3')正確(な)情報
(4')別々(の)場所 (5')公式(の)場 (6')着実(な)推進

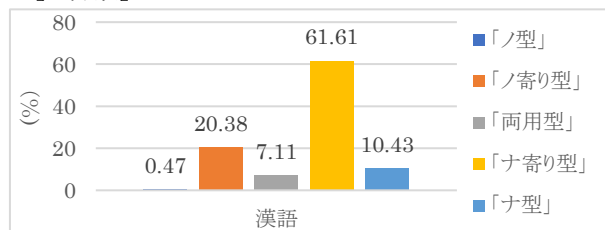
(Ⅳ-Ⅲ)★振り返ってみよう(4)!

- (1)6問中何問できましたか?()問
(2)6問のうち、まだ間違っているのはどの問題ですか?どうして間違いましたか?

問題番号:() 理由:()

参考シート

★【型分類】



「ノ型」(例:三角)→ナ共起率^{*}=0%

「ノ寄り型」(例:沢山)→ナ共起率:0%~40%

「両用型」(例:相当)→ナ共起率:40%~60%(40%を含む)

「ナ寄り型」(例:特別)→ナ共起率:60%~100%(60%を含む)

「ナ型」(例:正確)→「ナ」共起率=100%

^{*}「ナ」共起率=「ナ」共起の出現頻度/(「ナ」共起の出現頻度+「ノ」共起の出現頻度)

たとえば、「正確+ナ+名詞」の頻度は1339であり、「正確+ノ+名詞」の頻度は0であるから、正確の「ナ」共起率は $1339/(1339+0)=1$ となる。

(1)広義の「ナ型」(「ナ型」と「ナ寄り型」)のほうが広義の「ノ型」(「ノ型」と「ノ寄り型」)より多い。

(广义的「ナ型」形容词比「ノ型」形容词数量更多。(广义的「ナ型」形容词,即「ナ型」和「ナ寄り型」,广义的「ノ

型」形容词，即「ノ型」和「ノ寄り型」)。(

(2)「ナ」または「ノ」を**排他的に選ぶ語は少ない**。(只用「ナ」或者只用「ノ」修饰名词的形容词较少。)

(3)「ナ」と「ノ」のいずれにおいても選好性を持たない純粹な「両用型」が少なく、「ノ」または「ナ」の**どちらかを優先的に使用する**。(没有偏好性，「ナ」和「ノ」几乎同等频率使用的纯粹的「両用型」形容词较少，一般优先使用「ナ」或者「ノ」的其中一个。)

★【主要漢語形状詞の型分類】

型分類	「形状詞可能型」漢語
「ノ型」	三角
「ノ寄り型」	一定，無數，沢山，单独，最高，直接，普通，大量，同一，個別，反对，普遍，秘密，独自，一杯，当然，別々，共通，拔群，種々，不足，無限，偶然，固有，新規，不意，特有，必須，連續，最悪，最低，必死，同様，長寿，緊急，独特，公式，神秘，不良，不明，不満，苦痛，肝心
「両用型」	相当，高速，夢中，優位，水平，満足，不能，自然，不正，苦勞，懸命，平等，高額，無効，得意
「ナ寄り型」	幸運，特別，垂直，平和，無事，安心，透明，名誉，好調，正式，貧困，高度，高級，最適，不安，心配，孤独，不要，自由，高等，幸福，不法，上手，阿呆，過剰，非常，純粹，均等，不幸，正常，違法，平気，貧乏，異常，不快，馬鹿，特殊，正直，慎重，詳細，安定，正当，簡易，贅沢，退屈，有利，皮肉，乱暴，意外，公平，危険，温暖，不利，妥当，有効，可能，十分，多様，誠実，安全，迷惑，失礼，極端，良好，優秀，完璧，健康，熱心，結構，大事，有力，高価，幼稚，頻繁，不当，順調，悲惨，確実，真剣，柔軟，面倒，困難，率直，無理，特異，適當，明確，厄介，曖昧，元氣，有害，残念，親切，簡単，容易，忠実，微妙，強力，清潔，活発，広大，必要，知的，重要，適正，余計，冷静，顕著，完全，丁寧，公的，偉大，公正，豪華，急速，単純，重大，大切，快適，有名，主要，新鮮，貴重，便利，奇麗，大変，立派，巨大，奇妙，適切
「ナ型」	正確，複雑，深刻，邪魔，豊富，急激，強烈，着実，愉快，敏感，厳密，強引，素朴，健全，法的，円滑，的確，迅速，私的，大胆，密接，性的

★【異なる型に属する漢語の意味特性】

(1) **程度の大小に関係**しており，示される**概念の中に一定の幅が存在する**形状詞は「ナ」を用いて名詞を修飾しやすい(たとえば，「正確」や「複雑」など示される概念の中に一定の幅が存在する語が挙げられる)。そのため，これらの語彙は**程度副詞と共起しやすい**。(与程度相关，所指示的概念中有一定（幅度）存在的形容词通常和「ナ」搭配使用修饰名词。例如，「正確」和「複雑」等词汇，其指示的概念里就有一定变化的幅度)。因此，这类词汇容易和程度副词搭配使用。)

(2) **数量(存在の有無)**を表す形状詞は「ノ」を用いて名詞を修飾しやすい(たとえば，「無数」・「沢山」・「大量」など数量を表している語が挙げられる)。(表示数量，存在的形容词通常和「ノ」搭配使用。例如，「無数」，「沢山」，「大量」等表始数量的词通常和「ノ」搭配使用。)

(3) **択一的属性**を表す形状詞は「ノ」を用いて名詞を修飾しやすい。(表示择一属性的形容词通常和「ノ」搭配使用。)

付録 5 学習シート 2(初版)

タスクシート

(I) 当ててみよう!

★(I-I) 次の()に入るもっともよいものを、1・2・3・4・5 から1つ選びなさい。

1.の 2.的な 3.した 4.な 5.的

(1) それらは安定()原子だが、それに対して時に放射線を出す物質がある。

(2) コーヒーの香りは精神安定()効果があります。

(3) でも、彼との計画が確実だと信じていた私は、その安定()生活を迷いもなく捨てた。

(4) 世界貿易の安定()発展のために早い機会に規律の確立が行われることが望ましい。

(5) これからの対策としては、引き続きという部分もあるわけですが、特に、やはり低コストで安定()供給体制の整備を図るという意味で、各種の共同利用施設等の整備を図る。

★(I-II) 答えが正しいかを確認してみよう!

(1') それらは安定(な)原子だが、それに対して時に放射線を出す物質がある。

(2') コーヒーの香りは精神安定(の)効果があります。

(3') でも、彼との計画が確実だと信じていた私は、その安定(した)生活を迷いもなく捨てた。

(4') 世界貿易の安定(的)発展のために早い機会に規律の確立が行われることが望ましい。

(5') これからの対策としては、引き続きという部分もあるわけですが、特に、やはり低コストで安定(的な)供給体制の整備を図るという意味で、各種の共同利用施設等の整備を図る。

★(I-III) 振り返ってみよう(1)!

(1) 5 問中何問できましたか? () 問

(2) 上記の問題の中、難しいと感じる問題がありましたか? あるならどちらですか(複数回答可)?

a. ない b. ある(問題番号: ())

(3) どうして上記の問題が難しいと思いますか? 自分の日本語に関してどのような知識が不足していると思いますか? ()

(II) 観察してみよう!

★(II-I) 用例を見て、以下の問題を考えてみよう!(上の用例も合わせて考えてね)。

(1) 周期表一番右の十八族(希ガス)の電子配置は、きわめて安定(な)閉殻構造をとり、通常、化学反応には関与しないので上記のブロックには加えないことにする。

(2) 酸素は電子の受容体であり、化学平衡の安定(な)状態を作るために、他の原子から2個の電子を受け入れようとしている。

(3) しかも、二十一世紀を目前にして、平和と安定(の)時代が始まったということは、ますます「経済である」ということだ。

(4) これは韓国の安全のみならず、アジアの安定(の)ために貢献するものであり、レーガン大統領の決断である。

(5) にもかかわらず、仕事を辞めようと考えたときは、安定(した)収入を失うことが心配だった。

- (6)これは幸いにいたしまして、ある医療機関が受けとめていただきまして、今患者さんは比較的安定(した)状態で療養をしておられるわけでございます。
- (7)この概要は、農水省の方も入手されておるといいますし、経済企画庁の方も、野菜の問題についてこれから安定(的)供給をするためにどうしたらいいかということを政策的にいろいろ検討されている以上、この行政監察局の調査結果についての検討も加えられていることと思います。
- (8)とくに、保護貿易主義の台頭の基本的背景は、世界経済、とりわけ先進国経済の長期停滞にあることから、先進国経済の安定(的)発展は、保護貿易主義的風潮を抑制するためにも不可欠である。
- (9)林産物の販売に当たっては、計画的かつ安定(的な)販売に努め、需要に応じた採材と販売、高品質材の選木販売等を行い有利な販売を図る一方、私・公有林と一体となって間伐材等の需要開発を図るなど収入確保に努めた。
- (10)りんご、なし、もも、かき等の落葉果樹については、産地の再編成を行い計画的かつ安定(的な)生産の拡大と生産性の向上を図るため、高能率の機械施設の導入、品質向上と栽培の省力化を推進するためのモデル団地の育成等を行ったほか、りんごの腐らん病発生園の改植等を促進した。

★例を見て空欄を埋めましょう！

	「ナ」	「ノ」	「シタ」	「的φ」	「的ナ」
(1)前にどのようなパターンと結んでいますか？	例：修飾副詞 名詞＋ノ				
(2)どの分野に使用されましたか？	例：化学分野				
(3)どのような品詞として使用されましたか？	例：形状詞				

★(Ⅱ-Ⅱ)答えを確認してみよう！

	「ナ」	「ノ」	「シタ」	「的φ」	「的ナ」
(1')前にどのようなパターンと結んでいますか？	例：修飾副詞 名詞＋ノ	名詞＋ト 名詞＋ノ	φ 修飾副詞	φ 名詞＋ノ	○○的かつ
(2')どの分野に使用されましたか？	例：化学分野	一般分野(専門性が低い)	一般分野(専門性が低い)	経済社会分野	経済社会分野
(3')どのような品詞として使用されましたか？	例：形状詞	名詞	形状詞	形状詞	形状詞

★(Ⅱ-Ⅲ)振り返ってみよう(2)！

- (1)上記の問題のうち、まだよく理解できていないのは()ですか？(2)具体的にどのポイントが理解できていないですか？()

(Ⅲ)読んでみよう！

★(Ⅲ-Ⅰ)配布資料を読んで、以下の穴を埋めてみよう！

- 「安定」の5つの連体修飾パターンの中、(1)頻度が高最も高いパターンは()である。
- (2)用法が高最も類似しているパターンは()と()である。
- (3)名詞的用法に使用されているのは()である。(4)形状詞的用法に使用されているのは()である。

- (5) 特に物理や化学分野に使用されているのは()である。
- (6) 特に法律や白書ジャンルに使用されているのは()である。
- (7) 「物体・物質に少々の変化を与えても、もとの状態にもどろう、またはもとの状態を保とうとする性質」という意味で使用されているのは()である。
- (8) 「激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にある」という意味で使用されているのは()である。
- (9) ()が修飾する名詞は自然科学などに関わる専門性が高い名詞が多い。
- (10) ()が修飾する名詞は社会や経済に関わる名詞が多い。
- (11) 「〇のかつ安定()+名詞」というパターンにおいて、()が使用されやすいです。

★(Ⅲ-Ⅱ)答えを確認してみよう！

- 「安定」の5つの連体修飾パターンの中、(1')頻度をもっとも高いパターンは(安定シタ)である。
- (2')用法をもっとも類似しているパターンは(安定的φ)と(安定的ナ)である。
- (3')名詞的用法に使用されているのは(安定ノ)である。
- (4')形状詞的用法に使用されているのは(安定ナ, 安定シタ, 安定的φ, 安定的ナ)である。
- (5')特に物理や化学分野に使用されているのは(安定ナ)である。
- (6')特に法律や白書ジャンルに使用されているのは(安定的φ, 安定的ナ)である。
- (7')「物体・物質に少々の変化を与えても、もとの状態にもどろう、またはもとの状態を保とうとする性質」という意味で使用されているのは(安定ナ)である。
- (8')「激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にある」という意味で使用されているのは(安定シタ, 安定ノ, 安定的φ, 安定的ナ)である。
- (9') (安定ナ)が修飾する名詞は自然科学などに関わる専門性が高い名詞が多い。
- (10') (安定的φ, 安定的ナ)が修飾する名詞は社会や経済に関わる名詞が多い。
- (11') 「〇のかつ安定()+名詞」というパターンにおいて、(的ナ)が使用されやすいです。

★(Ⅲ-Ⅲ)振り返ってみよう(3)！

- (1) どの問題が間違いましたか？間違っているポイントを書き出してみよう！()
- (2) 配布資料を読むことで、振り返ってみよう(2)！において理解できていないポイントは理解できましたか？まだ疑問を持っているところはありますか？()

(Ⅳ)練習してみよう！

★(Ⅳ-Ⅰ)次の()に入るもっともよいものを、1・2・3・4・5から1つ選びなさい。

- 1.の 2.的な 3.した 4.な 5.的
- (1) 原子が安定()電子配置になろうと電子を失ったり受け取ったりして生じる。
- (2) 効率的かつ安定()農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に関する目標
- (3) ほか、被災地や商店街の特別警戒、生活関連物資をめぐる不法事案の予防、事件、事故防止広報等の諸活動を行い、被災後における住民生活の安定()確保に努めた。
- (4) 結婚をして安定()家庭を持つ時期ではないかと考え始めていた。
- (5) 国民の持家取得を推進するため、個人向け住宅融資については、従来から住宅金融公庫融資の充実、民

間住宅金融の安定()拡大等を図ってきたところである。

★(IV-Ⅱ)答えを確認してみよう！

- (1')原子が安定(な)電子配置になろうと電子を失ったり受け取ったりして生じる。
- (2')効率的かつ安定(的な)農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に関する目標
- (3')ほか、被災地や商店街の特別警戒、生活関連物資をめぐる不法事案の予防、事件、事故防止広報等の諸活動を行い、被災後における住民生活の安定(の)確保に努めた。
- (4')結婚をして安定(した)家庭を持つ時期ではないかと考え始めていた。
- (5')国民の持家取得を推進するため、個人向け住宅融資については、従来から住宅金融公庫融資の充実、民間住宅金融の安定(的)拡大等を図ってきたところである。

★(IV-Ⅲ)振り返ってみよう(4)！

- (1) 6 問中何問できましたか？() 問
- (2) 6 問のうち、まだ間違っているのはどの問題ですか？どうして間違いましたか？

問題番号:() 理由:()

参考シート

★【「安定」の各連体修飾パターンの意味用法】

【安定シタ】:使用頻度:★★★★使用レンジ:幅広い使用されている

意味:激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にあること 用法:形状詞的用法

典型的使用パターン:[φ+【安定シタ】+専門性の低い名詞概念(一般用語)]

使用例:【安定シタ】生活, 【安定シタ】収入

【安定的ナ】:使用頻度:★★★使用レンジ:特に法律や白書ジャンルに使用されている

意味:激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にあること 用法:形状詞的用法

典型的使用パターン:

[φ+【安定的ナ】+社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念]

[名詞+ノ+【安定的φ】+社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念]

[〇的カツ(「,」「・」)+【安定的ナ】+社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念]

使用例:【安定的ナ】供給, 水の【安定的ナ】供給, 効率的かつ【安定的ナ】経営

【安定的φ】:使用頻度:★★使用レンジ:特に法律や白書ジャンルに使用されている

意味:激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にあること 用法:形状詞的用法

典型的使用パターン:

[名詞+ノ+【安定的φ】+社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念]

[φ+【安定的φ】+社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念]

使用例:経済の【安定的φ】発展, 【安定的φ】供給

【安定ノ】使用頻度:★★使用レンジ:幅広い使用されている

意味:激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にあること 用法:名詞的用法

典型的使用パターン:

〔名詞＋ノ＋【安定ノ】＋専門性の低い名詞概念(一般用語)〕

〔名詞＋ト＋【安定ノ】＋専門性の低い名詞概念(一般用語)〕

〔φ＋【安定ノ】＋専門性の低い名詞概念(一般用語)〕

使用例:生活の【安定ノ】ため, 平和と【安定ノ】維持, 【安定ノ】ため

【安定ナ】使用頻度:★使用レンジ:特に物理・化学の教科書に使用されている

意味:〔物理・化学〕物体・物質に少々の変化を与えても、もとの状態にもどろう、またはもとの状態を保とうとする性質を示すこと 用法:形状詞的用法に使われている

典型的使用パターン:

〔φ＋【安定ナ】＋自然科学に関する専門性の高い名詞概念〕

〔程度副詞＋【安定ナ】＋自然科学に関する専門性の高い名詞概念〕

使用例:【安定ナ】形態, 最も【安定ナ】原子核

注:「★」は各連体修飾パターンの頻度を表しており,「★」の多いパターンは頻度が高い

付録 6 学習シート 2(改善版)

タスクシート

(I) 当ててみよう！

★次の()に入るもっともよいものを、1・2・3・4・5 から 1 つ選びなさい。

1.の 2.的な 3.した 4.な 5.的

- (1)それらは安定()原子だが、それに対して時に放射線を出す物質がある。
- (2)コーヒーの香りは精神安定()効果があります。
- (3)でも、彼との計画が確実だと信じていた私は、その安定()生活を迷いもなく捨てた。
- (4)世界貿易の安定()発展のために早い機会に規律の確立が行われることが望ましい。
- (5)これからの対策としては、引き続きという部分もあるわけですが、特に、やはり低コストで安定()供給体制の整備を図るという意味で、各種の共同利用施設等の整備を図る。

★答えが正しいかを確認してみよう！

- (1')それらは安定(な)原子だが、それに対して時に放射線を出す物質がある。
- (2')コーヒーの香りは精神安定(の)効果があります。
- (3')でも、彼との計画が確実だと信じていた私は、その安定(した)生活を迷いもなく捨てた。
- (4')世界貿易の安定(的)発展のために早い機会に規律の確立が行われることが望ましい。
- (5')これからの対策としては、引き続きという部分もあるわけですが、特に、やはり低コストで安定(的な)供給体制の整備を図るという意味で、各種の共同利用施設等の整備を図る。

★振り返ってみよう(1)！

- (1)5 問中何問できましたか？()問
- (2)上記の問題の中、難しいと感じる問題がありましたか？あるならどちらですか(複数回答可)？
a.ない b.ある(問題番号:())
- (3)どうして上記の問題が難しいと思いますか？自分の日本語に関してどのような知識が不足していると思いますか？()

(II) 観察してみよう！

★用例を見て、以下の問題を考えてみよう！(上の用例も合わせて考えてね)。

- (1)周期表一番右の十八族(希ガス)の電子配置は、きわめて安定(な)閉殻構造をとり、通常、化学反応には関与しないので上記のブロックには加えないことにする。
- (2)酸素は電子の受容体であり、化学平衡の安定(な)状態を作るために、他の原子から2個の電子を受け入れようとしている。
- (3)しかも、二十一世紀を目前にして、平和と安定(の)時代が始まったということは、ますます「経済である」ということだ。
- (4)これは韓国の安全のみならず、アジアの安定(の)ために貢献するものであり、レーガン大統領の決断である。
- (5)にもかかわらず、仕事を辞めようと考えたときは、安定(した)収入を失うことが心配だった。

- (6)これは幸いにいたしまして、ある医療機関が受けとめていただきまして、今患者さんは比較的安定(した)状態で療養をしておられるわけでございます。
- (7)この概要は、農水省の方も入手されておるといいますし、経済企画庁の方も、野菜の問題についてこれから安定(的)供給をするためにどうしたらいいかということを政策的にいろいろ検討されている以上、この行政監察局の調査結果についての検討も加えられていることと思います。
- (8)とくに、保護貿易主義の台頭の基本的背景は、世界経済、とりわけ先進国経済の長期停滞にあることから、先進国経済の安定(的)発展は、保護貿易主義の風潮を抑制するためにも不可欠である。
- (9)林産物の販売に当たっては、計画的かつ安定(的な)販売に努め、需要に応じた採材と販売、高品質材の選木販売等を行い有利な販売を図る一方、私・公有林と一体となって間伐材等の需要開発を図るなど収入確保に努めた。
- (10)りんご、なし、もも、かき等の落葉果樹については、産地の再編成を行い計画的かつ安定(的な)生産の拡大と生産性の向上を図るため、高能率の機械施設の導入、品質向上と栽培の省力化を推進するためのモデル団地の育成等を行ったほか、りんごの腐らん病発生園の改植等を促進した。

★例を見て空欄を埋めましょう！

	「ナ」 (例:安定な原子)	「ノ」 (例:安定の 効果)	「シタ」 (例:安定した 生活)	「的」 (例:安定的 発展)	「的ナ」 (例:安定的 な体制)
(1)「安定」の前にどのようなパターンと結んでいますか？(「安定」的各種連体修飾モード分別接続在什么样的用法之后?)	例:程度副詞 名詞+ノ (例:程度副詞, 名詞+ノ)				
(2)どの分野に使用されましたか？(「安定」的各種連体修飾モード分別使用在什么领域?)	例:化学分野 (例:化学领域)				
(3)どのような品詞として使用されましたか？(「安定」的各種連体修飾モード中,「安定」的詞性是什么?)	例:形状詞 (例:形容词)				

★答えを確認してみよう！

	「ナ」 (例:安定な 原子)	「ノ」 (例:安定の効 果)	「シタ」 (例:安定した 生活)	「的」 (例:安定的発 展)	「的ナ」 (例:安定的な 体制)
(1)「安定」の前にどのようなパターンと結んでいますか？(「安定」的各種連体修飾モード分別接続在什么样的用法之后?)	例:程度副詞 名詞+ノ	名詞+ト 名詞+ノ	なし 程度副詞	なし 名詞+ノ	〇〇的かつ
(2)どの分野に使用されましたか？(「安定」的各種連体修飾モード分別使用在什么)	例:化学分野 (例:化学领域)	一般分野(専門 性が低い) (专门性较低)	一般分野(専門 性が低い) (专门性较低)	経済社会分野 (社会经济领域)	経済社会分野 (社会经济领域)

領域?)		的一般領域)	的一般領域)		
(3')どのような品詞として使用されましたか? (「安定」的各种连体修饰模式中, 「安定」的词性是什么?)	例: 形状詞 (例: 形容詞)	名詞 (名詞)	形状詞 (形容詞)	形状詞 (形容詞)	形状詞 (形容詞)

★振り返ってみよう(2)!

(1) 上記の問題のうち, まだ理解できていないのはありますか? (2) あるなら, 具体的にどのポイントが理解できていないですか? ()

(Ⅲ) 読んでみよう!

★配布資料を読んで, 以下の穴を埋めてみよう!

「安定」の5つの連体修飾パターンの中, (1) 頻度がもっとも高いパターンは()である。(「安定」的各种连体修饰模式中, 使用频率最高的是()。)

(2) 用法がもっとも類似しているパターンは()と()である。(用法最类似的模式是()和()。)

(3) 名詞的用法に使用されているのは()である。(通常作为名词使用的是()。)

(4) 形状詞的用法に使用されているのは()である。(通常作为形容词使用的是()。)

(5) 特に物理や化学分野に使用されているのは()である。(在物理和化学领域经常使用的是()。)

(6) 特に法律や白書ジャンルに使用されているのは()である。(在法律和白皮书等领域经常使用的是()。)

(7) 「物体・物質に少々の変化を与えても, もとの状態にもどろう, またはもとの状態を保とうとする性質」という意味で使用されているのは()である。(()中「安定」的意思是「即使给予物体和物质少量的变化也能恢复原来的状态, 或者能保持原来状态的性质」。)

(8) 「激しい変化がなく, 物事が落ち着いた状態にある」という意味で使用されているのは()である。(()中「安定」的意思是「没有剧烈的变化, 事物处于平静状态」。)

(9) ()が修飾する名詞は自然科学などに関わる専門性が高い名詞が多い。(()修饰的名词多为自然科学领域的专业词汇。)

(10) ()が修飾する名詞は社会や経済に関わる名詞が多い。(()修饰的名词多和社会经济领域的词汇相关。)

(11) 「○的かつ安定()+名詞」というパターンにおいて, ()が使用されやすいです。(在「○的かつ安定()+名詞」这个搭配中经常使用的是()。)

★答えを確認してみよう!

「安定」の5つの連体修飾パターンの中, (1') 頻度がもっとも高いパターンは(**安定シタ**)である。

(「安定」的各种连体修饰模式中, 使用频率最高的是(安定シタ)。)

(2') 用法がもっとも類似しているパターンは(**安定的**)と(**安定的ナ**)である。(用法最类似的模式是(安定的)和(安定的ナ)。)

(3') 名詞的用法に使用されているのは(**安定ノ**)である。(通常作为名词使用的是(安定ノ)。)

(4') 形状詞的用法に使用されているのは(**安定ナ, 安定シタ, 安定的, 安定的ナ**)である。(通常作为形容词使用的是(安定ナ, 安定シタ, 安定的, 安定的ナ)。)

(5') 特に物理や化学分野に使用されているのは(**安定ナ**)である。(在物理和化学领域经常使用的是(安定ナ)。)

(6)特に法律や白書ジャンルに使用されているのは(安定的, 安定的ナ)である。(在法律和白皮书等领域经常使用的是(安定的, 安定的ナ)。)

(7)「物体・物質に少々の変化を与えても、もとの状態にもどろう、またはもとの状態を保とうとする性質」という意味で使用されているのは(安定ナ)である。((安定ナ)中「安定」的意思是「即使给予物体和物质少量的变化也能恢复原来的状态、或者能保持原来状态的性质」。)

(8)「激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にある」という意味で使用されているのは(安定シタ, 安定ノ, 安定的, 安定的ナ)である。((安定シタ, 安定ノ, 安定的, 安定的ナ)中「安定」的意思是「没有剧烈的变化, 事物处于平静状态」。)

(9)(安定ナ)が修飾する名詞は自然科学などに関わる専門性が高い名詞が多い。((安定ナ)修飾的名词多为自然科学领域的专门词汇。)

(10)(安定的, 安定的ナ)が修飾する名詞は社会や経済に関わる名詞が多い。((安定的, 安定的ナ)修飾的名词多和社会经济领域的词汇相关。)

(11)「〇的かつ安定()+名詞」というパターンにおいて、(的ナ)が使用されやすいです。(在「〇的かつ安定()+名詞」这个搭配中经常使用的是(的ナ)。)

★振り返ってみよう(3)！

- (1)どの問題が間違いましたか？間違っているポイントを書き出してみよう！()
- (2)配布資料を読むことで、振り返ってみよう(2)！において理解できていないポイントは理解できましたか？まだ疑問を持っているところはありますか？()

(IV)練習してみよう！

★次の()に入るもっともよいものを、1・2・3・4・5から1つ選びなさい。

1.の 2.的な 3.した 4.な 5.的

- (1)原子が安定()電子配置になろうと電子を失ったり受け取ったりして生じる。
- (2)効率的かつ安定()農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に関する目標
- (3)ほか、被災地や商店街の特別警戒、生活関連物資をめぐる不法事案の予防、事件、事故防止広報等の諸活動を行い、被災後における住民生活の安定()確保に努めた。
- (4)結婚をして安定()家庭を持つ時期ではないかと考え始めていた。
- (5)国民の持家取得を推進するため、個人向け住宅融資については、従来から住宅金融公庫融資の充実、民間住宅金融の安定()拡大等を図ってきたところである。

★答えを確認してみよう！

- (1')原子が安定(な)電子配置になろうと電子を失ったり受け取ったりして生じる。
- (2')効率的かつ安定(的な)農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に関する目標
- (3')ほか、被災地や商店街の特別警戒、生活関連物資をめぐる不法事案の予防、事件、事故防止広報等の諸活動を行い、被災後における住民生活の安定(の)確保に努めた。
- (4')結婚をして安定(した)家庭を持つ時期ではないかと考え始めていた。
- (5')国民の持家取得を推進するため、個人向け住宅融資については、従来から住宅金融公庫融資の充実、民

間住宅金融の安定(的)拡大等を図ってきたところである。

★振り返ってみよう(4)！

(1) 6 問中何問できましたか？() 問

(2) 6 問のうち、まだ間違っているのはどの問題ですか？どうして間違いましたか？

問題番号:() 理由:()

参考シート

★【「安定」の各連体修飾パターンの意味用法】

【安定シタ】:使用頻度:★★★★使用レンジ:幅広い使用されている(使用範囲:在广泛的领域被使用)

意味:激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にあること 用法:形状詞的用法

(词义: 没有剧烈的变化, 事物处于平静状态。用法: 形容词性用法)

典型的使用パターン:【安定シタ】+専門性の低い名詞概念(一般用語)

(典型用法:【安定シタ】+专业性低的一般名词概念)

使用例:【安定シタ】生活, 【安定シタ】収入

【安定的ナ】:使用頻度:★★★使用レンジ:特に法律や白書ジャンルに使用されている

(使用範囲: 特別在法律和白皮书等领域使用)

意味:激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にあること 用法:形状詞的用法

(词义: 没有剧烈的变化, 事物处于平静状态。用法: 形容词性用法)

典型的使用パターン:

【安定的ナ】+社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念]

[名詞+ノ+【安定的】+社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念]

[〇的カツ(「,」「・」)+【安定的ナ】+社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念]

(典型用法:【安定的ナ】+和社会经济相关的动作性名词)

[名詞+ノ+【安定的】+和社会经济相关的动作性名词]

[〇的カツ(「,」「・」)+【安定的ナ】+和社会经济相关的动作性名词)]

使用例:【安定的ナ】供給, 水の【安定的ナ】供給, 効率的かつ【安定的ナ】経営

【安定的】:使用頻度:★★使用レンジ:特に法律や白書ジャンルに使用されている

(使用範囲: 特別在法律和白皮书等领域使用)

意味:激しい変化がなく、物事が落ち着いた状態にあること 用法:形状詞的用法

(词义: 没有剧烈的变化, 事物处于平静状态。用法: 形容词性用法)

典型的使用パターン:

[名詞+ノ+【安定的】+社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念]

【安定的】+社会や経済に関わる動作性を含んだ名詞概念]

使用例: 経済の【安定的】発展, 【安定的】供給

【安定ノ】使用頻度: ★★使用レンジ: 幅広い使用されている

(使用范围: 在广泛的领域被使用)

意味: 激しい変化がなく, 物事が落ち着いた状態にあること **用法:** 名詞的用法

(词义: 没有剧烈的变化, 事物处于平静状态。用法: 名词性用法)

典型的使用パターン:

[名詞+ノ+【安定ノ】+専門性の低い名詞概念(一般用語)]

[名詞+ト+【安定ノ】+専門性の低い名詞概念(一般用語)]

[【安定ノ】+専門性の低い名詞概念(一般用語)]

(典型用法: [名詞+ノ+【安定ノ】+专业性低的一般名词概念]

[名詞+ト+【安定ノ】+专业性低的一般名词概念], [【安定ノ】+专业性低的一般名词概念])

使用例: 生活の【安定ノ】ため, 平和と【安定ノ】維持, 【安定ノ】ため

【安定ナ】使用頻度: ★使用レンジ: 特に物理・化学の教科書に使用されている

(使用范围: 特別在物理和化学领域使用)

意味: [物理・化学] 物体・物質に少々の変化を与えても, もとの状態にもどろう, またはもとの状態を保とうとする性質を示すこと **用法:** 形状詞的用法に使われている

(词义: 即使给予物体和物质少量的变化也能恢复原来的状态, 或者能保持原来状态的性质。)

用法: 形容词性用法)

典型的使用パターン:

[【安定ナ】+自然科学に関する専門性の高い名詞概念]

[程度副詞+【安定ナ】+自然科学に関する専門性の高い名詞概念]

(典型用法: [【安定ナ】+自然科学领域的专业词汇], [程度副詞+【安定ナ】+自然科学领域的专业词汇])

使用例: 【安定ナ】形態, 最も【安定ナ】原子核

注: 「★」は各連体修飾パターンの頻度を表しており, 「★」の多いパターンは頻度が高い

注: 「★」表示「安定」的各种连体修饰模式的使用频率, 「★」多的模式使用频率较高。

付録 7 学習シート 3(初版)

タスクシート

(I) 当ててみよう!

★(I-I) 次の()にもっとも入れやすいものを、「綺麗」・「きれい」・「キレイ」の 3 つから選りなさい。()の中はこの用例が使用される文脈です。それぞれが使用されるジャンルも合わせて考えてみよう。

- (1) あゆは、()な川にしかいない魚で、ほかにも、いわな、やまめ、さけなどの魚がいます。(教科書)
- (2) 約四十人が、収穫したレタスをみそ汁やサラダにして、()に管理された開放感のある庭園で昼食を楽しんだ。(新聞)
- (3) 医学的視点から()を実現、ドクターズコスメの力を研究。(雑誌)
- (4) デスクトップ用に()なジブリの画像が欲しいです。(知恵袋)

★(I-II) 答えを確認してみよう!

- (1') あゆは、(◎きれい ×キレイ ×綺麗)な川にしかいない魚で、ほかにも、いわな、やまめ、さけなどの魚がいます。(教科書)
- (2') 約四十人が、収穫したレタスをみそ汁やサラダにして、(◎きれい ×キレイ ×綺麗)に管理された開放感のある庭園で昼食を楽しんだ。(新聞)
- (3') 医学的視点から(◎キレイ ◎きれい ×綺麗)を実現、ドクターズコスメの力を研究。(雑誌(広告))
- (4') デスクトップ用に(◎綺麗 ◎キレイ ◎きれい)なジブリの画像が欲しいです。(知恵袋)

★(I-III) 振り返ってみよう(1)!

- (1) 4 問中何問できましたか?()問
- (2) 上記の問題の中、難しいと感じる問題がありましたか? あるならどちらですか(複数回答可)?
a. ない b. ある(問題番号:())
- (3) どうして上記の問題が難しいと思いますか? 自分の日本語に関してどのような知識が不足していると思いますか?()

(II) 観察してみよう!

★(II-I) 用例を見て、以下の問題を考えてみよう!(上の用例も合わせて考えてね)。

- (1) オフィスでは少し控えめな色調のジャケットを選び、シルエットがきれいなパンツで。(新聞)
- (2) きれいな自然環境を映像で再現するだけなら、実際に本物を見に行ったらいい。(新聞)
- (3) きれいなまちは、犯罪の抑止効果があります。(広報紙)
- (4) 明るいきれいな選挙の実現・投票総参加を呼びかけるものならば、テーマは自由です。(広報紙)
- (5) きれいな水と空気のもとで、さまざまな植物や動物がともにくらし、豊かな自然環境が保たれている。(教科書)
- (6) そこで、きれいで新しいエネルギーとして、生活のさまざまなところで、光電池が利用されるようになってきています。(教科書)
- (7) 古来より水豊かな国といわれる我が国の美しい国土づくりには、きれいな水環境が欠かせません。(白書)
- (8) また、この選挙は、金のかからない、きれいな選挙の実現を目的とした「公職選挙法の一部を改正する法律」

- の国会審議中に施行されたことから、有権者の関心は高かった。(白書)
- (9) 国民政治協会のパンフレットを見ると、「きれいな政治資金を広く集め、政治の公明、公正を期す」と書いてあるわけです。(国会会議録)
- (10) 商店街はその地域で中心だ、顔だ、やはり顔をきれいなにしなければいけないというのがそれぞれの地域での町づくりの大きな眼目でもあるわけでございます。(国会会議録)
- (11) 片付けながら、彼が今年の夏に来たとき、きれいなボロシャツを着ていたことを思い出した。(書籍)
- (12) 次の日、織り物の部屋に行ったら、きれいなに掃除されていました。(書籍)
- (13) さちんとしたきれいな字で書いてある。(書籍)
- (14) やわらかめのブラシとなめらかな液がキレイにまつげにフィットし、どんな角度から見られてもOKな美しいまつげを作る。(書籍)
- (15) だが、白髪を綺麗に結び上げ、頬に薄く紅をさして腰がぴんと伸びている。(書籍)
- (16) サッパリ系のきれいな顔立ちに、私服のセンスもグッド。(雑誌)
- (17) 洗顔料は短時間できれいなに泡立つのが時間に余裕のない私にピッタリ。(雑誌)
- (18) パンツのシルエットが本当にきれいな。(雑誌)
- (19) シンプルとは言っても、健康とキレイを保つ工夫は忘れていません。(雑誌)
- (20) 上まぶたにはキレイなグラデーションで透明感を、下まぶたは目頭の明るさを強調してキュートに、が秘訣です。(雑誌)
- (21) 連休最終日、朝からきれいな秋晴れでした。(ブログ)
- (22) 独自の大量発汗とともに、毒素排泄し、お客様のキレイを「体質美人」というカタチで目指します。(ブログ)
- (23) 綺麗なエメラルド・グリーン^①の海、海底が透き通って見えたよ！(ブログ)
- (24) 今日は朝から天気も良くて、富士山も綺麗に見えました。(ブログ)
- (25) ここの紅葉が一番綺麗でしたネ♪(ブログ)
- (26) とてもきれいな海で、同じ伊豆でも、大浜海岸や田牛海岸、外浦海岸とは違って、どうしても白浜に行きたいのです。(知恵袋)
- (27) きれいな歯並びを矯正して百万前後も使うのはもったいないです。(知恵袋)
- (28) キレイを維持しようとその時は思います。(知恵袋)
- (29) 商品画像撮影にはいつも携帯電話のカメラを使うのですが、綺麗に撮れる時もあれば、どうにもボヤけてしまう時もあります。(知恵袋)
- (30) 模様が凄く綺麗です^^ (知恵袋)

例を見て空欄を埋めましょう！

		「きれいな」	「キレイ」	「綺麗」
(1) どのジャンルに使用されましたか？ (使用されるジャンルに○をつけ	書籍	例:○		
	雑誌			
	新聞			
	ブログ			
	広報紙			

てください))	知恵袋			
	国会会議録			
	教科書			
	白書			
(2) 使用されるジャンルはどのような特徴がありますか？	例：編集がかけているジャンルもかけていないジャンルともに使用される。			
(3) どの品詞として使用されましたか？	例：形状詞			

★(Ⅱ-Ⅱ) 答えを確認してみよう！

		「きれい」	「キレイ」	「綺麗」
(1) どのジャンルに使用されましたか？ (使用されるジャンルに○をつけてください))	書籍	例：○	○	○
	雑誌	○	○	
	新聞	○		
	ブログ	○	○	○
	広報紙	○		
	知恵袋	○	○	○
	国会会議録	○		
	教科書	○		
	白書	○		
(2) 使用されるジャンルはどのような特徴がありますか？	例：編集がかけているジャンルもかけていないジャンルともに使用される。	雑誌のような編集がかけて、表記統制に強いジャンルも使用されるが、書籍やブログ、知恵袋など著者の用字が反映されやすく、表記統制の影響を受けにくいジャンルも使用される。		書籍やブログ、知恵袋など著者の用字が反映されやすく、表記統制の影響を受けにくいジャンルに使用される。
(3) どの品詞として使用されましたか？	例：形状詞	形状詞・名詞		形状詞

★(Ⅱ-Ⅲ) 振り返ってみよう(2)！

(1) 上記の問題のうち、まだよく理解できていないのは()ですか？(2) 具体的にどのポイントが理解できていないですか？()

(Ⅲ) 読んでみよう！

★(Ⅲ-Ⅰ) 配布資料を読んで、以下の穴を埋めてみよう！

(1) 「きれい」は()ジャンルで特徴的に多く使用されている理由として、「綺麗」は()であり、上記のジャンルは用字の統制が効いていることが挙げられる。

(2) 「キレイ」は特に()文章で使用されやすい。

(3) 「キレイ」は他の表記と比較する場合、()として使用されやすい。(品詞)

(4) 「綺麗」は()ジャンルで多く使用されている理由として、個人の用字が反映され()(やすい・にくい)、表記統制の影響を受け()ことが挙げられる(やすい・にくい)。

(5) 法令, 公用文書, 新聞, 雑誌, 放送など分野において, 表外漢字が()で表記されやすいです。(ひらがな・カタカナ・漢語)

(6) Web 媒体において, 仮名漢字変換の影響で表外漢字でも()で表記されやすいです。

(7) カタカナ表記は視覚的に()効果がある。

(8) 植動物の名前はよく()で書く(ひらがな・カタカナ・漢語)。

(9) 代名詞や副詞はよく()で書く(ひらがな・カタカナ・漢語)。

(10) なにか特別の効果を狙うためにはよく()を使う(ひらがな・カタカナ・漢語)。

★(Ⅲ-Ⅱ) 答えを確認してみよう！

(1) 「きれい」は(新聞・白書・教科書・国会会議録・書籍・広報紙)ジャンルで特徴的に多く使用されている理由として, 「綺」は(表外漢字)であり, 上記のジャンルは用字の統制が効いていることが挙げられる。

(2) 「キレイ」は特に(広告や宣伝)文章で使用されやすい。

(3) 「キレイ」は他の表記と比較する場合, (名詞)として使用されやすい。

(4) 「綺麗」は(ブログ・知恵袋)ジャンルで多く使用されている理由として, 個人の用字が反映され(やすく), 表記統制の影響を受け(にくい)ことが挙げられる。

(5) 法令, 公用文書, 新聞, 雑誌, 放送など分野において, 表外漢字が(ひらがな)で表記されやすいです。

(6) Web 媒体において, 仮名漢字変換の影響で表外漢字でも(漢字)で表記されやすいです。

(7) カタカナ表記は視覚的に(きわだたせる)効果がある。

(8) 植動物の名前はよく(カタカナ)で書く。(9) 代名詞や副詞はよく(ひらがな)で書く。

(10) なにか特別の効果を狙うためにはよく(カタカナ)を使う。

★(Ⅲ-Ⅲ) 振り返ってみよう(3)！

(1) どの問題が間違いましたか？間違っているポイントを書き出してみよう！()

(2) 配布資料を読むことで, 振り返ってみよう(2)！において理解できていないポイントは理解できましたか？まだ疑問を持っているところはありますか？()

(Ⅳ) 練習してみよう！

★(Ⅳ-Ⅰ) 以下の文章を読んで, 下線部分の表記を選ぶ理由について考えてみよう！

(1) ところが, 松方は自ら軽い, 落ち着きがないなどと平気で言っただけ, せっかく持参したシャンパンも飲むふりをするだけ。

(2) 市内のオススメのお店を教えてください！

(3) 今日天上チキ, サイッコウでした！

(4) 「経済学者の予測が驚くほどハズレる根本理由: ノーベル賞受賞経済学者による告白と解決策」(新聞『東洋経済』の記事タイトル(2021/08/05))

(5) この国は不法滞在の外国人や難民を, おとなしく低賃金で働いてくれ, いつでも雇ったりクビにしたりできる便利な労働力として必要としている。

(6) 根性は必要ですが, 短期的断続的に使用し, 時々, 我に返ることを忘れないのがコツかと思います。

★(Ⅳ-Ⅱ) 答えを確認してみよう！

- (1) 副詞用法を持つ漢語はひらがなで表記しやすい。
- (2) 宣伝文章であるため、意味をきわだたせたい。
- (3) 標準の発音でないため、音を明示したい。
- (4) 見出し語など強調や前後のひらがな連続への埋没を避け当該語を視覚的にきわだたせたい。
- (5) 一般の意から特殊の意味に限定して使用される。
- (6) 漢字の表す本来の字義と実際の使用場における語義との間にすでに大きな隔たりが存在する。

★(IV-Ⅲ)振り返ってみよう(4)！

- (1) 6 問中何問できましたか？() 問
 - (2) 6 問のうち、まだ間違っているのはどの問題ですか？どうして間違いましたか？
- 問題番号:() 理由:()

★【各ジャンルにおける3つの表記の頻度】

分野 \ 表記	きれい	キレイ	綺麗
書籍	4027 (59.56%)	253 (20.08%)	735 (21.89%)
雑誌	569 (8.42%)	219 (17.38%)	45 (1.34%)
新聞	39 (0.58%)	2 (0.16%)	0 (0%)
ブログ	808 (11.95%)	354 (28.10%)	1561 (46.50%)
広報紙	262 (3.88%)	7 (0.56%)	5 (0.15%)
知恵袋	911 (13.47%)	425 (33.73%)	1011 (30.12%)
国会会議録	80 (1.18%)	0 (0%)	0 (0%)
教科書	60 (0.89%)	0 (0%)	0 (0%)
白書	5 (0.07%)	0 (0%)	0 (0%)
合計	6761 (100%)	1260 (100%)	3357 (100%)

★【3つの表記の違い】

(1)「きれい」

(a) 特徴的に使用されるジャンル: 新聞・白書・教科書・国会会議録・書籍・広報紙ジャンル

(b) 上記のジャンルで使用されやすい理由:

日本語における漢字について、文化庁が規定された『常用漢字表』が存在する。この表は、「法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安」を示している。すなわち、上記の分野の場合、『常用漢字表』以内の文字を使用することが望ましい。そのため、新聞や教科書、そして白書(公用文書)など用字の統制が効いているジャンルでは、表外字を持つ語でひらがな表記の比率が高い。「綺麗」は表外漢字となったため、上記のジャンルではひらがな表記が使用されやすい。)

(2)「キレイ」

(a) 特徴的に使用されるジャンル: 雑誌と知恵袋ジャンル

(b) 「キレイ」を使用する理由:

見出し語の強調、前後のひらがな連続への埋没の回避、そして視覚的にきわだたせる効果を発揮する。

(c) 特に商品の広告や宣伝文章において、「キレイi」が名詞として使われ、意味的には実現しようとする目標として捉えている時にカタカナ表記が使いやすい

(3)「綺麗」

(a) 特徴的に使用されるジャンル: 知恵袋とブログジャンル

(b) 上記のジャンルで使用されやすい理由:

これらの Web 媒体はほとんど個人で書いており、著者の用字が反映されやすく、表記統制の影響を受けにくい。漢字表記率が高い。特に、Web 媒体の場合、仮名漢字変換の影響として変換候補に現れる漢字表記を無意識に選択している傾向があるため、漢字表記率が高い。

★【補足知識】

日本語には、漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベットなど多様な文字が存在するが、非和語系語彙について言うと、漢語は漢字で表記され、外来語はカタカナで表記されるのが一般的である(『新版日本語教育事典』(2005)など)。しかしながら、実際の日本語において、非和語系語彙の表記は必ずしもこのようなルールに従うものではない。たとえば、以下の場合である。

(1) 漢語がひらがなで表記する場合：

- (a) **漢字制限**のため漢字で書けず、ひらがなで書く(たとえば、きれい(綺麗)やもちろん(勿論)など)
- (b) 代名詞・**副詞**・接続詞・感動詞・助動詞・助詞は、ひらがな書きにする
(たとえば：もちろん(勿論)やどうとう(到頭)など)

(2) 漢語・和語がカタカナで表記する場合：

- (a) 物品や道具の名前(例：カバン(鞆)やクシ(櫛)など)
- (b) **動植物**の名前(例：ネコ(猫)やナス(茄子)など)
- (c) **オノマトペ**や畳語(例：ガタガタ)
- (d) 固有名詞(例：ワセダ(早稲田)やタカシマヤ(高島屋)など)
- (e) 医学・衛生関係の語(例：テンカン(癲癇)やニキビ(面皰)など)
- (f) 俗語や流行語(例：ザマ(を見ろ)やモテモテなど)
- (g) 造語や略語(例：クロヨン(九・六・四)など)
- (h) **漢字制限**のため漢字で書けず、カタカナで書く(表外漢字や表外音訓)
(例：キレイ(綺麗)やメリハリ(減り張り)など)
- (i) 漢字で表される漢語の第1義でない場合(例：本のオビ(帯)，カギ(鍵)を握る)
- (j) 一般の意から特殊の意味に限定して用いた語(例：アカ(赤)→共産主義)
- (k) 漢字の表す本来の字義と実際の使用場における語義との間にすでに大きな隔たりが存在すること
(例：モテる(持てる)やコツ(骨)など)
- (l) なにか**特別の効果を狙う**ために当用漢字であるのにわざわざカタカナで書く
 - ① 見出し語など強調や前後のひらがな連続への埋没を避け当該語を視覚的にきわだたせる場合
(新聞等書き言葉特有の視覚的効果をねらったもの)
(例，ナゾ(謎)やコレ(これ)など)
 - ② 意味をきわだたせたい，などの表現意図があるとき(例：今晚はヤマ(山)である)
 - ③ **感情や評価を表す**場合(主観的な評価)(例：ダメ(駄目)やカッコいい(格好いい)など)
 - ④ **音を明示したい**(例：メンド(面倒)やゼッタイ(絶対)など)
 - ⑤ 話し言葉ふうの表現を表す場合(例：「ネ」や「ヨ」のような終助詞や，「けれど」の口語形「ケド」)
 - ⑥ 表記の段階で，他とのバランスを考えたと思われる場合
(例：ケイリン(自転車競技の種目として「エリミネーションレース，ポイントレース」など他のカタカナ表記の種目と並ぶ場合)
 - ⑦ あるニュアンスを持たせるもの(例：現実する可能性のない「ユメ」など)

付録 8 学習シート 3(改善版)

タスクシート

(I) 当ててみよう!

★(I-I) 次の()にもっとも入れやすいものを、「綺麗」・「きれい」・「キレイ」の 3 つから選りなさい。()の中はこの用例が使用される文脈です。それぞれが使用されるジャンルも合わせて考えてみよう。

- (1) あゆは、()な川にしかいない魚で、ほかにも、いわな、やまめ、さけなどの魚がいます。(教科書)
- (2) 約四十人が、収穫したレタスをみそ汁やサラダにして、()に管理された開放感のある庭園で昼食を楽しんだ。(新聞)
- (3) 医学的視点から()を実現、ドクターズコスメの力を研究。(雑誌)
- (4) デスクトップ用に()なジブリの画像が欲しいです。(知恵袋)

★(I-II) 答えを確認してみよう!

- (1') あゆは、(◎きれい ×キレイ ×綺麗)な川にしかいない魚で、ほかにも、いわな、やまめ、さけなどの魚がいます。(教科書)
 - (2') 約四十人が、収穫したレタスをみそ汁やサラダにして、(◎きれい ×キレイ ×綺麗)に管理された開放感のある庭園で昼食を楽しんだ。(新聞)
 - (3') 医学的視点から(◎キレイ ○きれい ×綺麗)を実現、ドクターズコスメの力を研究。(雑誌(広告))
 - (4') デスクトップ用に(◎綺麗 ○キレイ ○きれい)なジブリの画像が欲しいです。(知恵袋)
- (注: ◎: この文脈においてもっとも使用されやすい。
○: この文脈において使用するのがよい。
×: この文脈においてほとんど使用しない。)

★(I-III) 振り返ってみよう(1)!

- (1) 4 問中何問できましたか? () 問
- (2) 上記の問題の中、難しいと感じる問題がありましたか? あるならどちらですか(複数回答可)?
a. ない b. ある(問題番号: ())
- (3) どうして上記の問題が難しいと思いますか? 自分の日本語に関してどのような知識が不足していると思いますか? ()

(II) 観察してみよう!

★(II-I) 用例を見て、以下の問題を考えてみよう! (上の用例も合わせて考えてね)。

- (1) オフィスでは少し控えめな色調のジャケットを選び、シルエットがきれいなパンツで。(新聞)
- (2) きれいな自然環境を映像で再現するだけなら、実際に本物を見に行ったらいい。(新聞)
- (3) きれいなまちは、犯罪の抑止効果があります。(広報紙)
- (4) 明るいきれいな選挙の実現・投票総参加を呼びかけるものならば、テーマは自由です。(広報紙)
- (5) きれいな水と空気のもとで、さまざまな植物や動物がともにくらし、豊かな自然環境が保たれている。(教科書)
- (6) そこで、きれいで新しいエネルギーとして、生活のさまざまなところで、光電池が利用されるようになってきて

- います。(教科書)
- (7) 古来より水豊かな国といわれる我が国の美しい国土づくりには、きれいな水環境が欠かせません。(白書)
- (8) また、この選挙は、金のかからない、きれいな選挙の実現を目的とした「公職選挙法の一部を改正する法律」の国会審議中に施行されたことから、有権者の関心は高かった。(白書)
- (9) 国民政治協会のパンフレットを見ると、「きれいな政治資金を広く集め、政治の公明、公正を期す」と書いてあるわけです。(国会会議録)
- (10) 商店街はその地域で中心だ、顔だ、やはり顔をきれいなにしなきゃいけないというのがそれぞれの地域での町づくりの大きな眼目でもあるわけでございます。(国会会議録)
- (11) 片付けながら、彼が今年の夏に来たとき、きれいなボロシャツを着ていたことを思い出した。(書籍)
- (12) 次の日、織り物の部屋に行ったら、きれいなに掃除されていました。(書籍)
- (13) さちんとしたきれいな字で書いてある。(書籍)
- (14) やわらかめのブラシとなめらかな液がキレイにまつげにフィットし、どんな角度から見られてもOKな美しいまつげを作る。(書籍)
- (15) だが、白髪を綺麗に結び上げ、頬に薄く紅をさして腰がぴんと伸びている。(書籍)
- (16) サッパリ系のきれいな顔立ちに、私服のセンスもグッド。(雑誌)
- (17) 洗顔料は短時間できれいなに泡立つのが時間に余裕のない私にピッタリ。(雑誌)
- (18) パンツのシルエットが本当にきれいな。(雑誌)
- (19) シンプルとは言っても、健康とキレイを保つ工夫は忘れていません。(雑誌)
- (20) 上まぶたにはキレイなグラデーションで透明感を、下まぶたは目頭の明るさを強調してキュートに、が秘訣です。(雑誌)
- (21) 連休最終日、朝からきれいな秋晴れでした。(ブログ)
- (22) 独自の大量発汗とともに、毒素排泄し、お客様のキレイを「体質美人」というカタチで目指します。(ブログ)
- (23) 綺麗なエメラルド・グリーン^①の海、海底が透き通って見えたよ！(ブログ)
- (24) 今日は朝から天気も良くて、富士山も綺麗に見えました。(ブログ)
- (25) ここの紅葉が一番綺麗でしたネ♪(ブログ)
- (26) とてもきれいな海で、同じ伊豆でも、大浜海岸や田牛海岸、外浦海岸とは違って、どうしても白浜に行きたいのです。(知恵袋)
- (27) きれいな歯並びを矯正して百万前後も使うのはもったいないです。(知恵袋)
- (28) キレイを維持しようとその時は思います。(知恵袋)
- (29) 商品画像撮影にはいつも携帯電話のカメラを使うのですが、綺麗に撮れる時もあれば、どうにもボヤけてしまう時もあります。(知恵袋)
- (30) 模様が凄く綺麗です^^(知恵袋)

例を見て空欄を埋めましょう！

		「きれいな」	「キレイ」	「綺麗」
(1) どのジャンルに	書籍	例:○		

使用されましたか？ (使用されるジャンルに○をつけてください) (上述 3 个表記分別用在什么领域？ 在使用的领域类别后标记○)	雑誌			
	新聞			
	ブログ			
	広報紙			
	知恵袋			
	国会会議録			
	教科書			
	白書			
(2) 使用されるジャンルはどのような特徴がありますか？ (上述表記使用的领域类别分別有什么特征？)		例：編集がかけているジャンルもかけていないジャンルともに使用される。 (例：使用的领域中既有需要校阅的领域，也有不需要校阅的领域。)		
(3) どの品詞として使用されましたか？ (上述表記分別作为什么词性使用？)		例：形状詞 (例：形容词)		

★(Ⅱ-Ⅱ) 答えを確認してみよう！

		「きれい」	「キレイ」	「綺麗」
(1) どのジャンルに使用されましたか？ (使用されるジャンルに○をつけてください) (上述 3 个表記分別用在什么领域？ 在使用的领域类别后标记○)	書籍	例：○	○	○
	雑誌	○	○	
	新聞	○		
	ブログ	○	○	○
	広報紙	○		
	知恵袋	○	○	○
	国会会議録	○		
	教科書	○		
	白書	○		
(2) 使用されるジャンルはどのような特徴がありますか？ (上述表記使用的领域类别分別有什么特征？)		例：編集がかけているジャンルもかけていないジャンルともに使用される。 (例：使用的领域中既有需要校阅的领域，也有不需要校阅的领域。)	雑誌のような編集がかけて、表記統制に強いジャンルも使用されるが、書籍やブログ、知恵袋など著者の用字が反映されやすく、表記統制の影響を受けにくいジャンルも使用される。(使用的领域中既有像杂志一样需要校阅并且对表記规定比较严格的领域，也有像书籍，blog，智慧袋等比较容易反映作者的用字，对表記的要求相对不严格的领域。)	書籍やブログ、知恵袋など著者の用字が反映されやすく、表記統制の影響を受けにくいジャンルに使用される。(使用的领域多为不需要校阅的，对表記要求相对不严格的领域)
(3) どの品詞として使用されましたか？ (上述表記分別作为什么词性使用？)		例：形状詞 (例：形容词)	形状詞・名詞 (形容词，名词)	形状詞 (形容词)

★(Ⅱ-Ⅲ)振り返ってみよう(2)！

(1) 上記の問題のうち、まだ理解できていないのはありますか？(2) あるなら、具体的にどのポイントが理解できていないですか？()

(Ⅲ)読んでみよう！

★(Ⅲ-Ⅰ)配布資料を読んで、以下の穴を埋めてみよう！

(1) 「きれい」は()ジャンルで特徴的に多く使用されている理由として、「綺麗」は()であり、上記のジャンルは用字の統制が効いていることが挙げられる。「きれい」在()領域比较多使用的原因是因为「綺麗」在日语中是()，而上述的领域有比较严格的用字规范。)

(2) 「キレイ」は特に()文章で使用されやすい。「キレイ」特別在()文章中较多使用。)

(3) 「キレイ」は他の表記と比較する場合、()として使用されやすい。(品詞)「キレイ」和其他的表記相比，比较容易作为()使用(词性)。

(4) 「綺麗」は()ジャンルで多く使用されている理由として、個人の用字が反映され()(やすい・にくい)、表記統制の影響を受け()ことが挙げられる(やすい・にくい)。「綺麗」在()領域经常被使用的原因，是因为这个领域比较()反映作者的用字，比较()受到对表記的要求的影响。)

(5) 法令，公用文書，新聞，雑誌，放送など分野において，表外漢字が()で表記されやすいです。(ひらがな・カタカナ・漢語)(在法令，公用文书，报纸，杂志，广播等领域，表外汉字通常用()来表記。)

(6) Web 媒体において，仮名漢字変換の影響で表外漢字でも()で表記されやすいです。(在网络媒体中，由于输入法中假名汉字变换的影响，表外汉字较易用()来表記。)

(7) カタカナ表記は視覚的に()効果がある。(片假名表記有视觉上()的效果。)

(8) 植動物の名前はよく()で書く(ひらがな・カタカナ・漢語)。(动植物的名称通常用()来表記。)

(9) 代名詞や副詞はよく()で書く(ひらがな・カタカナ・漢語)。(代名词或副词通常用()来表記。)

(10) なにか特別の効果を狙うためにはよく()を使う(ひらがな・カタカナ・漢語)。(想要表达特别的效果是通常用()来表記。)

★(Ⅲ-Ⅱ)答えを確認してみよう！

(1) 「きれい」は(新聞・白書・教科書・国会会議録・書籍・広報紙)ジャンルで特徴的に多く使用されている理由として、「綺麗」は(表外漢字)であり，上記のジャンルは用字の統制が効いていることが挙げられる。「きれい」在(报刊，白皮书，教科书，国会会议录，书籍，机关报)領域比较多使用的原因是因为「綺麗」在日语中是(表外汉字)，而上述的领域有比较严格的用字规范。)

(2) 「キレイ」は特に(広告や宣伝)文章で使用されやすい。「キレイ」特別在(广告或宣传)文章中较多使用。)

(3) 「キレイ」は他の表記と比較する場合，(名詞)として使用されやすい。「キレイ」和其他的表記相比，比较容易作为(名词)使用。)

(4) 「綺麗」は(ブログ・知恵袋)ジャンルで多く使用されている理由として，個人の用字が反映され(やすく)，表記統制の影響を受け(にくい)ことが挙げられる。「綺麗」在(blog，智慧袋等)領域经常被使用的原因，是因为这个领域比较(容易)反映作者的用字，比较(不容易)受到对表記的要求的影响。)

(5) 法令，公用文書，新聞，雑誌，放送など分野において，表外漢字が(ひらがな)で表記されやすいです。(在

法令、公用文書、报纸、杂志、广播等领域、表外漢字通常用（平假名）来表記。）

(6') Web 媒体において、仮名漢字変換の影響で表外漢字でも(漢字)で表記されやすいです。(在网络媒体中, 由于输入法中假名汉字变换的影响, 表外漢字较易用(漢字)来表記。)

(7') カタカナ表記は視覚的に(きわだたせる)効果がある。(片假名表記有视觉上(强调)的效果。)

(8') 植物の名前はよく(カタカナ)で書く。(动植物的名称通常用(片假名)来表記。)

(9') 代名詞や副詞はよく(ひらがな)で書く。(代名词或副词通常用(平假名)来表記。)

(10') なにか特別の効果を狙うためにはよく(カタカナ)を使う。(想要表达特别的效果是通常用(片假名)来表記。)

★(Ⅲ-Ⅲ) 振り返ってみよう(3)！

(1) どの問題が間違いましたか？間違っているポイントを書き出してみよう！()

(2) 配布資料を読むことで、振り返ってみよう(2)！において理解できていないポイントは理解できましたか？まだ疑問を持っているところはありますか？()

(Ⅳ) 練習してみよう！

★(Ⅳ-I) 以下の文章を読んで、下線部分の表記を選ぶ理由について考えてみよう！

(1) ところが、松方は自ら軽い、落ち着きがないなどと平気で言っただけ、せっかく持参したシャンパンも飲むふりをするだけ。

(2) 市内のオススメのお店を教えてください！

(3) 今日天上チキ、サイッコウでした！

(4) 「経済学者の予測が驚くほどハズレの根本理由：ノーベル賞受賞経済学者による告白と解決策」(新聞『東洋経済』の記事タイトル(2021/08/05))

(5) この国は不法滞在の外国人や難民を、おとなしく低賃金で働いてくれ、いつでも雇ったりクビにしたりできる便利な労働力として必要としている。

(6) 根性は必要ですが、短期的断続的に使用し、時々、我に返ることを忘れないのがコツかと思います。

★(Ⅳ-II) 答えを確認してみよう！

(1) 副詞用法を持つ漢語はひらがなで表記しやすい。

(2) 宣伝文章であるため、意味をきわだたせたい。

(3) 標準の発音でないため、音を明示したい。

(4) 見出し語など強調や前後のひらがな連続への埋没を避け当該語を視覚的にきわだたせたい。

(5) 一般の意から特殊の意味に限定して使用される。

(6) 漢字の表す本来の字義と実際の使用場における語義との間にすでに大きな隔たりが存在する。

★(Ⅳ-Ⅲ) 振り返ってみよう(4)！

(1) 6 問中何問できましたか？() 問

(2) 6 問のうち、まだ間違っているのはどの問題ですか？どうして間違いましたか？

問題番号:() 理由:()

★【各ジャンルにおける3つの表記の頻度】

分野 \ 表記	きれい	キレイ	綺麗
書籍	4027 (59.56%)	253 (20.08%)	735 (21.89%)
雑誌	569 (8.42%)	219 (17.38%)	45 (1.34%)
新聞	39 (0.58%)	2 (0.16%)	0 (0%)
ブログ	808 (11.95%)	354 (28.10%)	1561 (46.50%)
広報紙	262 (3.88%)	7 (0.56%)	5 (0.15%)
知恵袋	911 (13.47%)	425 (33.73%)	1011 (30.12%)
国会会議録	80 (1.18%)	0 (0%)	0 (0%)
教科書	60 (0.89%)	0 (0%)	0 (0%)
白書	5 (0.07%)	0 (0%)	0 (0%)
合計	6761 (100%)	1260 (100%)	3357 (100%)

★【3つの表記の違い】

(1)「きれい」(a)特徴的に使用されるジャンル:新聞・白書・教科書・国会会議録・書籍・広報紙ジャンル

((a) 较多使用的领域:报纸, 白皮书, 教科书, 国会会议录, 书籍, 机关报等领域。)

(b) 上記のジャンルで使用されやすい理由:

日本語における漢字について、文化庁が規定された『常用漢字表』が存在する。この表は、「法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安」を示している。すなわち、上記の分野の場合、**『常用漢字表』以内の文字を使用することが望ましい**。そのため、新聞や教科書、そして白書(公用文書)など用字の統制が効いているジャンルでは、表外字を持つ語でひらがな表記の比率が高い。「綺麗」は表外漢字(『常用漢字表』にない漢字のこと)となったため、上記のジャンルではひらがな表記が使用されやすい。)((b)在上述領域多用的原因:关于日语的汉字,文化厅制定了《常用汉字表》。该表中对,“法令,共用文书,报刊杂志,广播等,一般社会生活中使用的汉字”做出了指南。即在上述领域中,推荐使用《常用汉字表》内的文字。因此,在报纸,教科书,以及白皮书等用字规定比较严格的领域,表外汉字用平假名来标记的比例较高。「綺麗」是表外汉字(即《常用汉字表》中没有的汉字),因此在上述领域中多使用平假名。

(2)「キレイ」

(a)特徴的に使用されるジャンル:雑誌と知恵袋ジャンル

((a) 较多使用的领域:杂志, 智慧袋等领域。)

(b)「キレイ」を使用する理由:

見出し語の強調,前後のひらがな連続への埋没の回避,そして**視覚的にきわだたせる効果**を発揮する。((b) 使用「キレイ」的理由:强调词条,避免在前后的平假名中不容易分辨,以及发挥视觉上突出强调的效果。)

(c)特に**商品の広告や宣伝文章**において,「キレイ」が名詞として使われ,意味的には**実現しようとする目標**として捉えている時にカタカナ表記が使いやすい

(c) 特别是在商品的广告和宣传文章中,「キレイ」常作为名词使用,语义上表示想要实现的目标。)

(3)「綺麗」

(a) 特徴的に使用されるジャンル:知恵袋とブログジャンル ((a) 较多使用的领域:智慧袋, blog 等领域。)

(b) 上記のジャンルで使用されやすい理由:

これらの Web 媒体はほとんど個人で書いており, 著者の用字が反映されやすく, 表記統制の影響を受けにくい, 漢字表記率が高い。特に, Web 媒体の場合, 仮名漢字変換の影響として**変換候補に現れる漢字表記を無意識に選択している**傾向があるため, 漢字表記率が高い。

(b) 在上述領域多用的原因: 网络媒体多为个人的文章, 较容易反映作者的用字, 不容易受到标记规则的影响, 因此汉字标记的比例较高。特别是网络媒体容易受到输入法中假名汉字变换的影响, 容易无意识的选择输入法中提供的汉字标记, 因此汉字标记率较高。)

★【補足知識】

日本語には, 漢字, ひらがな, カタカナ, アルファベットなど多様な文字が存在するが, 非和語系語彙について言うと, 漢語は漢字で表記され, 外来語はカタカナで表記されるのが一般的である(『新版日本語教育事典』(2005)など)。しかしながら, 実際の日本語において, 非和語系語彙の表記は必ずしもこのようなルールに従うものではない。たとえば, 以下の場合である。(日语中有汉字, 平假名, 片假名, 罗马字等多种多样的文字, 对于非和语系词汇来说, 汉语词一般用汉字标记, 外来语一般用片假名标记。但是, 在实际的日语运用中, 并不一定遵循这样的规则。比如以下的情况。)

(1) 漢語がひらがなで表記する場合: (汉字词用平假名标记的情况:)

(a) **漢字制限**のため漢字で書けず, ひらがなで書く(たとえば, きれい(綺麗)やもちろん(勿論)など)

(a) 由于是表外汉字所以不用汉字标记而用平假名标记。(例如, きれい(綺麗)或者もちろん(勿論)等。)

(b) 代名詞・**副詞**・接続詞・感動詞・助動詞・助詞は, ひらがな書きにする

(たとえば:もちろん(勿論)やどうとう(到頭)など)

(b) 代名词, 副词, 接续词, 感叹词, 助动词, 助词等常用平假名书写。(例如, もちろん(勿論)或者どうとう(到頭)等。)

(2) 漢語・和語がカタカナで表記する場合: (汉字词, 和语词用片假名标记的情况:)

(a) 物品や道具の名前(例:カバン(鞆)やクシ(櫛)など) ((a) 物品或道具的名称)

(b) **動植物**の名前(例:ネコ(猫)やナス(茄子)など) ((b) 动植物的名称)

(c) **オノマトペ**や量語(例:ガタガタ) ((c) 拟声拟态词及叠词)

(d) 固有名詞(例:ワセダ(早稻田)やタカシマヤ(高島屋)など) ((d) 固有名词)

(e) 医学・衛生関係の語(例:テンカン(癲癇)やニキビ(面皰)など) ((e) 医学卫生相关的词汇)

(f) 俗語や流行語(例:ザマ(をしろ)やモテモテなど) ((f) 俗语及流行语)

(g) 造語や略語(例:クロヨン(九・六・四)など) ((g) 造词或缩略词)

(h) **漢字制限**のため漢字で書けず, カタカナで書く(表外漢字や表外音訓)

((h) 由于是表外汉字所以不用汉字标记而用片假名标记。)

(例:キレイ(綺麗)やメリハリ(減り張り)など)

(i) 漢字で表される漢語の第 1 義でない場合(例:本のオビ(帯), カギ(鍵)を握る) ((i) 不是第一义的情况)

- (j) 一般の意から特殊の意味に限定して用いた語(例:アカ(赤)→共産主義)
- (j) 限定在以特殊义使用的情况)
- (k) 漢字の表す本来の字義と実際の使用場における語義との間にすでに大きな隔たりが存在すること
- (k) 汉字本来表达的语义和实际使用时的语义之间相差较大的情况)
- (例:モテる(持てる)やコツ(骨)など)
- (l) なにか**特別の効果を狙う**ために当用漢字であるのにわざわざカタカナで書く
- (l) 想要表达特殊效果的情况)
- ① 見出し語など強調や前後のひらがな連続への埋没を避け当該語を視覚的にきわだたせる場合
- (① 强调标题, 避免在前后的平假名中不容易分辨, 以及发挥视觉上突出强调的效果。)
- (新聞等書き言葉特有の視覚的效果をねらったもの)(在报纸等书面语中想要表达特殊的视觉效果)
- (例, ナゾ(謎)やコレ(これ)など)
- ② 意味をきわだたせたい, などの表現意図があるとき(例: 今夜はヤマ(山)である)
- (② 想要强调词义等特殊的表现意图)
- ③ **感情や評価を表す**場合(主観的な評価)(例:ダメ(駄目)やカッコいい(格好いい)など)
- (③ 表达情感或评价的情况 (主观评价))
- ④ **音を明示したい**(例:メンド(面倒)やゼッテイ(絶対)など) (④ 想要明确发音的情况)
- ⑤ 話し言葉ふうの表現を表す場合(例: 「ネ」や「ヨ」のような終助詞や, 「けれど」の口語形「ケド」)
- (⑤ 想要表达出口语化的效果的情况)
- ⑥ 表記の段階で, 他とのバランスを考えたと思われる場合 (⑥ 表記时想要和前后的词汇保持平衡的情况)
- (例: ケイリン(自転車競技の種目として「エリミネーションレース, ポイントレース」など他のカタカナ表記の種目と並ぶ場合)
- ⑦ あるニュアンスを持たせるもの(例: 現実する可能性のない「ユメ」など) (⑦ 有特殊的含义的情况)

謝辞

本研究を進めるにあたり、多くの方々からご指導・ご協力をいただきました。お力添えをいただいた方々に、心から感謝を申し上げます。

まず、終始温かいご指導と励ましを賜りました主指導教員である石川慎一郎教授に心から感謝の意を表します。博士前期課程の研究生として入学してから後期課程が終わるまでの 5 年半、研究の方向から手法まで丁寧にご指導をいただきました。また、論文の執筆に詰まった時や落ち込んだ時もいつも励ましてくださいました。ありがとうございました。

また、審査委員として多くの貴重なご助言をいただいた柏木治美先生と李在鎬先生、ならびに、コース集団指導の場においていつも丁寧なアドバイスをいただいた外国語教育コンテンツ論コースの木原恵美子先生、Timothy GREER 先生、朱春躍先生、芹澤円先生、大和知史先生に深くお礼を申し上げます。

ならびに、学外の先生方や研究会でお会いした方々も、様々な励ましやご助言をいただきました。とりわけ、学部時代にご指導くださり、卒業後も励ましてくださいました山東大学の邢永凤先生に感謝の意を申し上げたいと存じます。

あわせて、論文作成にあたり応援してくれた石川研究室の先輩方、また、ゼミ生の皆様に、そして、協力していただいた調査対象者の皆様に、心から感謝いたします。

最後になりますが、これまで私を温かく応援してくれた家族に感謝します。